ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事　　図面リスト（１）

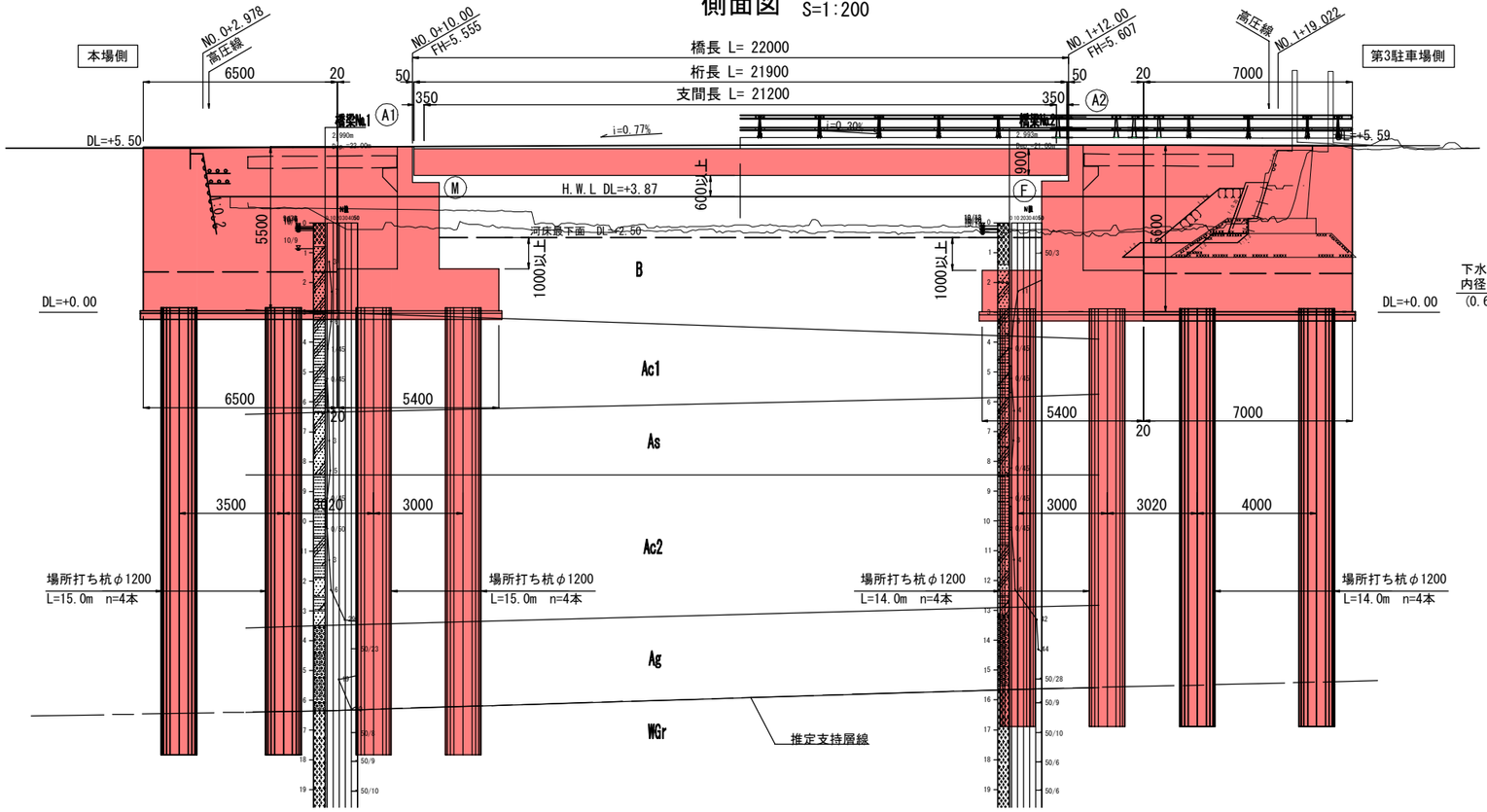
No.	図面名称	備考	No.	図面名称	備考	No.	図面名称	備考
1	橋梁一般図(その1)		61	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その2)	橋梁下部工	121	浮体(1)進水用金物詳細図	救助艇浮桟橋
2	橋梁一般図(その2)		62	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その3)	〃	122	浮体(1)アンカー金物詳細図	〃
3	上部工線形図	橋梁上部工	63	A1橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図	〃	123	浮体(1)配筋図（その1）	〃
4	上部工構造一般図	〃	64	A2橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図	〃	124	浮体(1)配筋図（その2）	〃
5	主桁配筋図	〃	65	下部工施工要領図(その1)	〃	125	浮体(1)配筋図（その3）	〃
6	地覆配筋図	〃	66	下部工施工要領図(その2)	〃	126	浮体(1)配筋図（その4）	〃
7	排水工詳細図	〃	67	仮設工全体計画図	〃	127	浮体(1)配筋図（その5）	〃
8	防水工詳細図	〃	68	仮設土留工計画図(その1)	〃	128	浮体(1)鉄筋加工図（その1）	〃
9	舗装工詳細図	〃	69	仮設土留工計画図(その2)	〃	129	浮体(1)鉄筋加工図（その2）	〃
10	塗装工詳細図	〃	70	仮設土留工計画図(その3)	〃	130	浮体(1)渡板詳細図	〃
11	支承詳細図(参考)	〃	71	仮設土留工計画図(その4)	〃	131	浮体(2)構造一般図	〃
12	伸縮継手詳細図(参考)	〃	72	仮設桟橋工計画図(その1)	〃	132	浮体(2)係留ガイド詳細図（その1）	〃
13	防護柵詳細図(その1)	〃	73	仮設桟橋工計画図(その2)	〃	133	浮体(2)係留ガイド詳細図（その2）	〃
14	防護柵詳細図(その2)	〃	74	仮設桟橋工計画図(その3)	〃	134	浮体(2)係留ローラー詳細図（その1）	〃
15	半屋外上屋(3)詳細図(その1)	〃	75	仮設桟橋工計画図(その4)	〃	135	浮体(2)係留ローラー詳細図（その2）	〃
16	半屋外上屋(3)詳細図(その2)	〃	76	既設護岸工撤去復旧図	〃	136	浮体(2)防舷材詳細図（その1）	〃
17	半屋外上屋(3)詳細図(その3)	〃	77	計画平面図（その1）	水域施設	137	浮体(2)防舷材詳細図（その2）	〃
18	半屋外上屋(3)詳細図(その4)	〃	78	計画平面図（その2）	〃	138	浮体(2)係船柱及びバラストタンク蓋詳細図	〃
19	半屋外上屋(3)詳細図(その5)	〃	79	計画平面図（その3）	〃	139	浮体(2)屋根支柱基部及び敷板詳細図	〃
20	半屋外上屋(3)詳細図(その6)	〃	80	浮桟橋一般図	アクセス浮桟橋	140	浮体(2)進水用金物詳細図	〃
21	半屋外上屋(3)詳細図(その7)	〃	81	上下限勾配計画図（その1）	〃	141	浮体(2)アンカー金物詳細図	〃
22	半屋外上屋(3)詳細図(その8)	〃	82	上下限勾配計画図（その2）	〃	142	浮体(2)配筋図（その1）	〃
23	半屋外上屋(3)詳細図(その9)	〃	83	構造一般図	〃	143	浮体(2)配筋図（その2）	〃
24	半屋外上屋(3)詳細図(その10)	〃	84	係留ガイド詳細図	〃	144	浮体(2)配筋図（その3）	〃
25	半屋外上屋(3)詳細図(その11)	〃	85	係留ローラー詳細図	〃	145	浮体(2)配筋図（その4）	〃
26	半屋外上屋(3)詳細図(その12)	〃	86	アンカー金物詳細図	〃	146	浮体(2)配筋図（その5）	〃
27	添架物取付(参考)	〃	87	バラストタンク蓋及び敷鉄板詳細図	〃	147	浮体(2)鉄筋加工図	〃
28	架設要領図(参考)	橋梁下部工	88	屋根支柱基部詳細図	〃	148	連絡橋一般図	〃
29	下部工座標図	〃	89	進水用金物詳細図	〃	149	連絡橋固定スロープ詳細図	〃
30	A1橋台構造一般図(その1)	〃	90	配筋図（その1）	〃	150	支柱基部詳細図	〃
31	A1橋台構造一般図(その2)	〃	91	配筋図（その2）	〃	151	落橋防止チェーン詳細図	〃
32	A2橋台構造一般図(その1)	〃	92	配筋図（その3）	〃	152	土木関連図	〃
33	A2橋台構造一般図(その2)	〃	93	配筋図（その4）	〃	153	係留杭詳細図	〃
34	配筋及び加工説明図	〃	94	配筋図（その5）	〃	154	戸当り詳細図（その１）	〃
35	共通かぶり詳細図(その1)	〃	95	鉄筋加工図（その1）	〃	155	戸当り詳細図（その２）	〃
36	共通かぶり詳細図(その2)	〃	96	鉄筋加工図（その2）	〃	156	浮体(1)意匠図	〃
37	A1橋台配筋図(その1)	〃	97	渡板詳細図	〃	157	浮体(1)小屋伏図	〃
38	A1橋台配筋図(その2)	〃	98	連絡橋一般図	〃	158	浮体(1)矩形図	〃
39	A1橋台配筋図(その3)	〃	99	支柱基部詳細図	〃	159	浮体(2)意匠図	〃
40	A1橋台配筋図(その4)	〃	100	落橋防止チェーン詳細図	〃	160	浮体(2)小屋伏図	〃
41	A1橋台配筋図(その5)	〃	101	土木関連図	〃	161	浮体(2)矩形図（その1）	〃
42	A1橋台配筋図(その6)	〃	102	係留杭詳細図	〃	162	浮体(2)矩形図（その2）	〃
43	A1橋台配筋図(その7)	〃	103	戸当り詳細図	〃	163	連絡橋意匠図	〃
44	A1橋台場所打ち杭配筋図	〃	104	浮体意匠図	〃	164	連絡橋小屋伏図	〃
45	A2橋台配筋図(その1)	〃	105	浮体小屋伏図	〃	165	連絡橋矩形図	〃
46	A2橋台配筋図(その2)	〃	106	浮体矩形図	〃	166	根巻コンクリート詳細図	〃
47	A2橋台配筋図(その3)	〃	107	連絡橋意匠図	〃	167	橋台詳細図	〃
48	A2橋台配筋図(その4)	〃	108	連絡橋小屋伏図	〃	168	浮桟橋一般図	ﾎｲｽﾄｸﾚｰﾝ浮桟橋
49	A2橋台配筋図(その5)	〃	109	連絡橋矩形図	〃	169	上下限勾配計画図（その1）	〃
50	A2橋台配筋図(その6)	〃	110	根巻コンクリート詳細図	〃	170	上下限勾配計画図（その2）	〃
51	A2橋台配筋図(その7)	〃	111	橋台詳細図	〃	171	構造一般図	〃
52	A2橋台場所打ち杭配筋図	〃	112	浮桟橋一般図	救助艇浮桟橋	172	MH01詳細図	〃
53	A1橋台踏掛版配筋図	〃	113	上下限勾配計画図（その1）	〃	173	MH02詳細図	〃
54	A2橋台踏掛版配筋図	〃	114	上下限勾配計画図（その2）	〃	174	MH03,04詳細図	〃
55	A1橋台背面U型擁壁工構造図	〃	115	浮体(1)構造一般図	〃	175	パイルガイド詳細図	〃
56	A2橋台背面U型擁壁工構造図	〃	116	浮体(1)係留ガイド詳細図	〃	176	張出デッキ詳細図	〃
57	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その1)	〃	117	浮体(1)係留ローラー詳細図	〃	177	連絡橋一般図	〃
58	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その2)	〃	118	浮体(1)防舷材詳細図	〃	178	支柱基部詳細図	〃
59	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その3)	〃	119	浮体(1)バラストタンク蓋及び敷板詳細図	〃	179	落橋防止チェーン詳細図	〃
60	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その1)	〃	120	浮体(1)屋根支柱基部詳細図	〃	180	土木関連図	〃

ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事　　図面リスト（２）

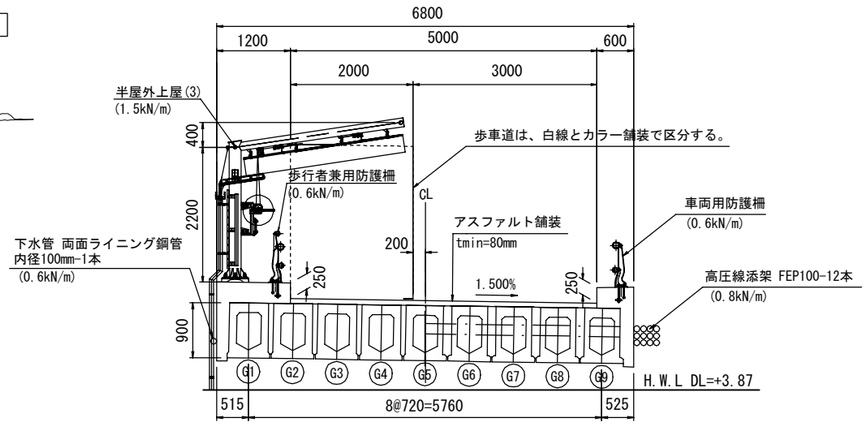
No.	図面名称	備考	No.	図面名称	備考	No.	図面名称	備考
181	係留杭詳細図（その1）	ﾎｲｽﾄｸﾚｰﾝ浮桟橋	241	既設発着ピット_係留杭詳細図	発着ピット移設	301	建築工事特記仕様書(12)＜構造関係(3)＞	建築構造図
182	係留杭詳細図（その2）	〃	242	既設発着ピット_戸当り詳細図	〃	302	建築工事特記仕様書(13)＜構造関係(追補)＞ R4	〃
183	戸当り詳細図	〃	243	仮設構台平面図	〃	303	鉄筋コンクリート造配筋規準図(1)	〃
184	連絡橋意匠図	〃	244	構造一般図	施工計画図	304	鉄筋コンクリート造配筋規準図(2)	〃
185	連絡橋小屋伏図	〃	245	上部工詳細図（その1）	〃	305	鉄筋コンクリート造配筋規準図(3)	〃
186	連絡橋矩形図	〃	246	上部工詳細図（その2）	〃	306	鉄骨鉄筋コンクリート造規準図	〃
187	橋台詳細図	〃	247	下部工詳細図（その1）	〃	307	鉄骨規準図	〃
188	浮桟橋一般図	掃海艇浮桟橋	248	下部工詳細図（その2）	〃	308	溶接規準図(1)	〃
189	構造一般図	〃	249	標準断面図	〃	309	溶接規準図(2)	〃
190	MS-01詳細図	〃	250	架設計画図（その1）	〃	310	配筋規準図（補足RC1）	〃
191	MS-02詳細図	〃	251	架設計画図（その2）	〃	311	配筋規準図（補足RC2）	〃
192	MS-03詳細図	〃	252	架設計画図（その3）	〃	312	配筋規準図（補足Ｓ1）	〃
193	係留ガイド詳細図（その１）	〃	253	仮設備計画図（その1）	〃	313	梁貫通孔補強要領基準図	〃
194	係留ガイド詳細図（その2）	〃	254	仮設備計画図（その2）	〃	314	仮設倉庫棟　基礎伏図・基礎断面詳細図	〃
195	係船柱詳細図	〃	255	仮設備計画図（その3）	〃	315	仮設倉庫棟　軸組図	〃
196	係留杭詳細図	〃	256	揚降装置仮設備計画図（その1）	〃	316	仮設倉庫棟　小屋梁伏図・部材リスト	〃
197	戸当り詳細図	〃	257	揚降装置仮設備計画図（その2）	〃	317	仮設倉庫棟　鉄骨詳細図	〃
198	標準断面図（その1）	揚降装置ｱｸｾｽ桟橋	258	揚降装置架設計画図	〃	318	仮設掃海詰所棟　基礎伏図・基礎断面詳細図	〃
199	標準断面図（その2）	〃	259	仮囲い・汚濁防止膜設置参考図	〃	319	仮設掃海詰所棟　軸組図	〃
200	構造一般図	〃	260	解体工事特記仕様書	建築意匠図	320	仮設掃海詰所棟　小屋梁伏図・部材リスト	〃
201	床版割付図	〃	261	付近見取図・全体配置図・平面図（掃海詰所）	〃	321	仮設掃海詰所棟　鉄骨詳細図	〃
202	床版取付詳細図	〃	262	平面詳細図・姿図・仕上表（掃海詰所）	〃	322	燃料配管盛替図	機械設備図
203	梁伏図・軸組図	〃	263	展開図・建具表（掃海詰所）	〃	323	機械設備特記仕様書(1)	〃
204	G桁詳細図（その1）	〃	264	基礎伏図・軸組図・屋根伏図・断面図（掃海詰所）	〃	324	機械設備特記仕様書(2)	〃
205	G桁詳細図（その2）	〃	265	平面図・矩計図・姿図（倉庫１・２）	〃	325	機械設備特記仕様書(3)	〃
206	G桁詳細図（その3）	〃	266	建築工事特記仕様書（１）	〃	326	機械設備特記仕様書(4)	〃
207	B桁詳細図（その1）	〃	267	建築工事特記仕様書（２）	〃	327	空調調和換気設備　凡例・施工要領図(1)	〃
208	B桁詳細図（その2）	〃	268	建築工事特記仕様書（３）	〃	328	空調調和換気設備　施工要領図(2)	〃
209	S桁詳細図	〃	269	建築工事特記仕様書（４）	〃	329	給排水衛生設備　凡例・施工要領図(1)	〃
210	下部工詳細図	〃	270	建築工事特記仕様書（５）	〃	330	給排水衛生設備　施工要領図(2)	〃
211	渡板詳細図	〃	271	建築工事特記仕様書（６）	〃	331	機械設備工事特記仕様書	〃
212	転落防止柵詳細図（その1）	〃	272	建築工事特記仕様書（７）	〃	332	機械設備工事特記仕様書3-2	〃
213	転落防止柵詳細図（その2）	〃	273	建築工事特記仕様書（８）	〃	333	機械設備工事特記仕様書3-3	〃
214	標準断面図	〃	274	建築工事特記仕様書（９）	〃	334	製造業者指定名簿・機械設備工事標準詳細図	〃
215	床掘詳細図	〃	275	建築工事特記仕様書（１０）	〃	335	昇降機械室　ダクト平面図	〃
216	嵩上げ部詳細図	〃	276	揚降装置機械室梁部材計画図（１）【参考】	〃	336	空気調和換気設備　空調配管平面図　掃海仮設棟	〃
217	被覆石詳細図	〃	277	揚降装置機械室梁部材計画図（２）【参考】	〃	337	空気調和換気設備　ダクト平面図　掃海事務所棟	〃
218	鉄骨構造標準図（その１）	揚降装置ｱｸｾｽ桟橋上屋	278	揚降装置昇降テーブル組立図【参考】	〃	338	掃海仮設棟　外構図	〃
219	鉄骨構造標準図（その２）	〃	279	揚降装置駆動部組立図【参考】	〃	339	給排水衛生設備　平面図　掃海仮設棟	〃
220	鉄骨構造標準図（その３）	〃	280	揚降装置全体組立図【参考】	〃	340	電気設備工事特記仕様書（１）	電気設備図
221	鉄骨構造標準図（その４）	〃	281	揚降装置機械室 平面図・立面図【参考】	〃	341	電気設備工事特記仕様書（２）	〃
222	平面図・立面図	〃	282	揚降装置機械室 断面図【参考】	〃	342	動力盤標準図・動力盤リスト・分電盤リスト	〃
223	梁伏図・軸組図・部材リスト	〃	283	揚降装置機械室 屋根詳細図【参考】	〃	343	電灯盤標準結線図	〃
224	断面詳細図	〃	284	配置図（仮設倉庫・詰所）	〃	344	仮設掃海詰所　幹線・動力設備　平面図	〃
225	鉄骨詳細図（その1）	〃	285	設計概要・仕上表・建具表（詰所）	〃	345	仮設掃海詰所　電灯・コンセント設備　平面図	〃
226	鉄骨詳細図（その2）	〃	286	平面図（詰所）	〃	346	仮設倉庫　電灯・コンセント設備　平面図	〃
227	鉄骨詳細図（その3）	〃	287	立面図・断面図（詰所）	〃	347	仮設掃海詰所　幹線・動力設備　平面図（撤去図）	〃
228	屋根詳細図（その1）	〃	288	設計概要・仕上表・建具表・平面図(仮設倉庫)	〃	348	仮設掃海詰所　電灯・コンセント設備　平面図（撤去図）	〃
229	屋根詳細図（その2）	〃	289	立面図・断面図（仮設倉庫）	〃	349	仮設倉庫　電灯・コンセント設備　平面図（撤去図）	〃
230	揚降装置機械室梁部材計画図（１）	揚降装置	290	建築工事補足仕様書（１）	〃	350	構内配電線路図	〃
231	揚降装置機械室梁部材計画図（２）	〃	291	建築工事補足仕様書（２）	〃	351	揚降装置　平面図（１）	〃
232	揚降装置昇降テーブル組立図	〃	292	建築工事補足仕様書（３）	〃	352	揚降装置　平面図（２）	〃
233	揚降装置駆動部組立図	〃	293	建築工事補足仕様書（４）	〃	353		
234	揚降装置全体組立図	〃	294	建築工事補足仕様書（５）	〃	354		
235	揚降装置機械室断面図	〃	295	建築工事補足仕様書（６）	〃	355		
236	揚降装置機械室屋根詳細図	〃	296	耐震･耐風圧 天井補強 特記･要領図	〃	356		
237	鉄骨構造図	〃	297	水域施設　揚降装置（仮設）構造図	建築構造図	357		
238	鉄骨架構詳細図	〃	298	水域施設　揚降装置（仮設）鉄骨架構詳細図	〃	358		
239	揚降装置基礎詳細図	〃	299	建築工事特記仕様書(10)＜構造関係(1)＞	〃	359		
240	計画平面図	発着ピット移設	300	建築工事特記仕様書(11)＜構造関係(2)＞	〃	360		

橋梁一般図(その1)

側面図 S=1:200

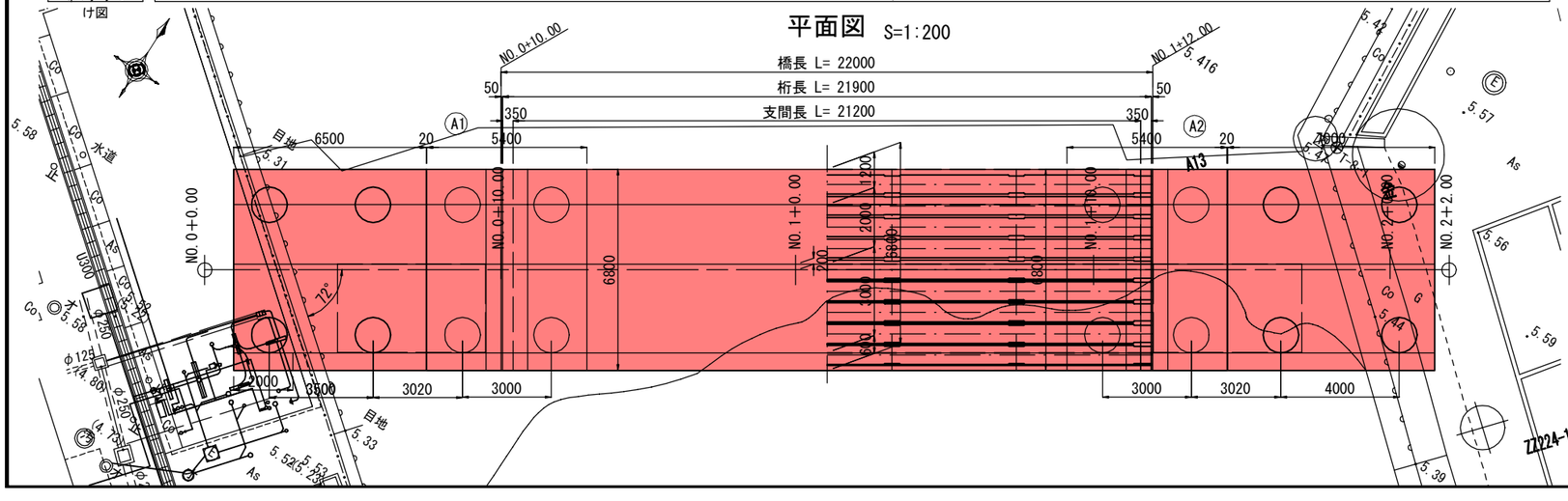


上部工標準断面図 S=1:100



B	埋土
Ac1	沖積第1粘性土層
As	沖積砂質土層
Ac2	沖積第2粘性土層
Ag	沖積礫質土層
WGr	風化花崗岩

平面図 S=1:200



注記)
1. 標高は、下関港(長府)CDL基準で記載。

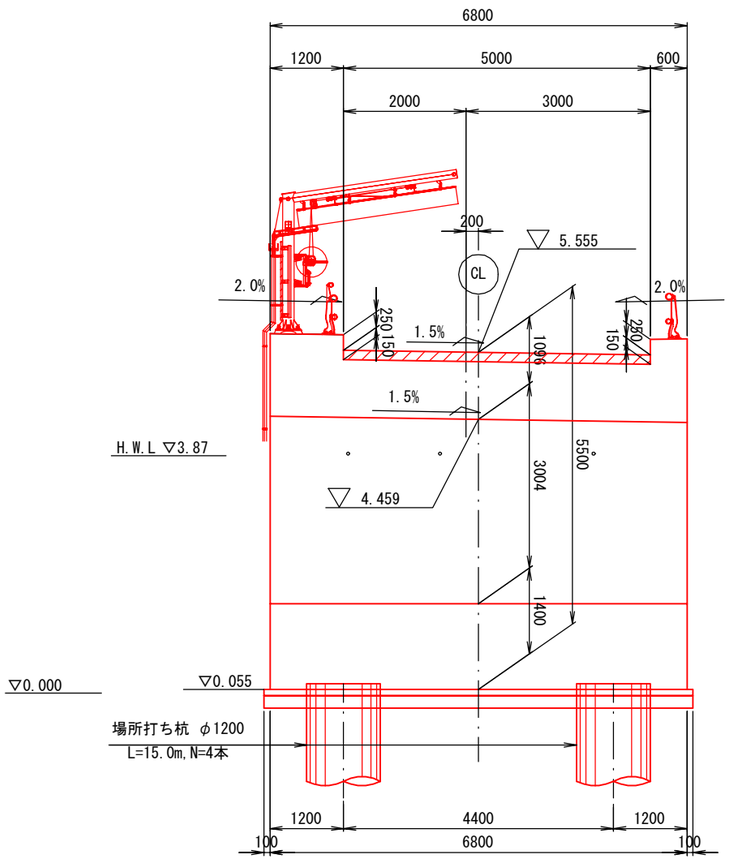
原図:A3、単位 : mm

工事名	ポートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	橋梁一般図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	1
下関市ポートレース企業局			

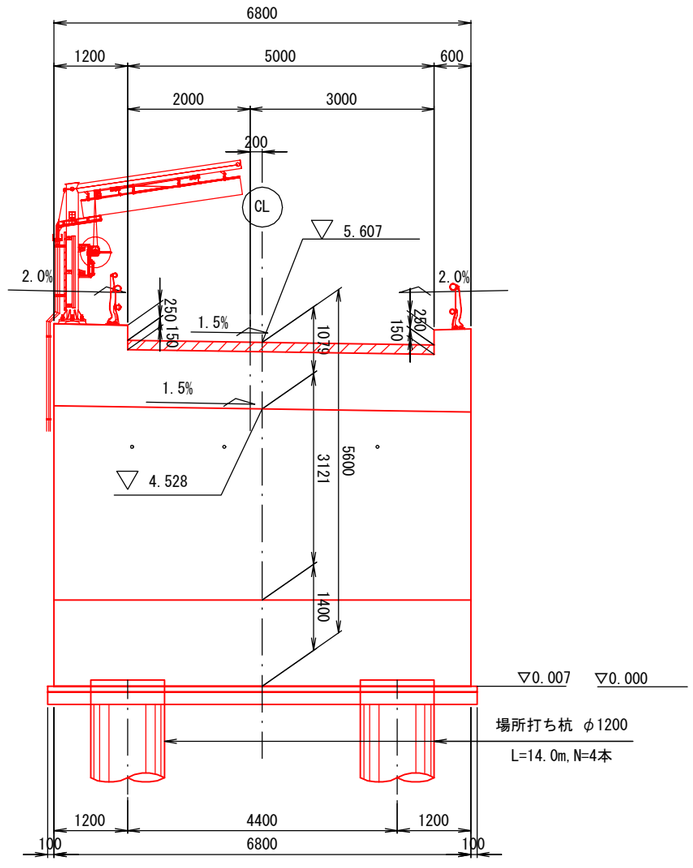
橋梁一般図(その2)

下部工断面図　S=1:100

A1橋台



A2橋台



設計条件表

橋梁名 （ふりがな）					
路線名		―			
道路規格		第3種5級	設計速度	V=20 Km/h	
計画交通量		500未満　台／日（想定）	大型車交通量	500未満(設計想定車両：4tトラック)	
耐震設計上の橋の重要度区分		A種の橋			
設計活荷重		A活荷重			
橋長		22.000 m			
支間長		21.200 m			
幅員	全幅	1.200 ＋ 5.000 ＋ 0.600　計 6.800　m			
	有効幅員	3.000　m（車道）＋ 2.000　m（歩道）			
平面線形		∞			
縦断勾配		↙ i=0.77% vc1=30 i=0.30% ↘	横断勾配	1.50%（片勾配）	
斜角		90°	橋面積	149.6 m2	
添架物		下水管Φ100 N=1　高圧線FEP100 N=12			
橋の耐荷性能		橋の耐荷性能1			
地盤種別		Ⅱ種地盤			
地盤特性		液状化の有(L1時：As、L2時：B,As,Ac2)、風化花崗岩WGrを支持層とする			
踏掛版の有無		有			
設計水平震度	レベル1	橋軸方向	0.18	直角方向	0.18
	レベル2（Ⅰ）	橋軸方向	0.47	直角方向	0.47
	レベル2（Ⅱ）	橋軸方向	0.46	直角方向	0.38
支承条件		ゴム支承 A1：可動　A2：固定			
落橋防止システム		橋軸方向　桁かかり長の確保 橋軸直角方向　桁かかり長の確保 回転方向　省略(直橋のため)			
伸縮装置		A1側：伸縮量 37.5 mm，遊間量 50 mm　A2側：伸縮量 13.3 mm，遊間量 50 mm			
塩害対策区分		塩害対策区分S（C区域）			
塗装系（鋼橋）	外面	―			
	内面	―			
	連結部	―			
	コンクリート接触面	―			
裏込土の土質定数		γ= 19 kN/m3，c= 0 kN/m2，φ= 30°			
防水層（車道・歩道）		塗膜系			
舗装（車道・歩道）		アスファルト舗装 tmin= 80 mm			
橋梁用防護柵の種類（車道・歩道）		種別C ダクタイル鋳鉄製（ダクタイル鋳鉄 ＋ 鋼製）、（半屋外上屋(3)）			
形式	上部工	PC単純プレテンション方式中空床版橋			
	下部工	逆T式橋台　2基			
	基礎工	杭基礎　（場所打ち杭 φ1200）			
使用材料	上部工	コンクリート σck= 50 N/mm2,鉄筋 SD345			
	下部工	コンクリート σck= 30 N/mm2（底版 24N/mm2），鉄筋 SD345			
	基礎工	コンクリート σck= 24 N/mm2（呼び強度 30 N/mm2），鉄筋 SD345			
交差条件	河川名	―			
	道路名	―			
製作・施工の条件		A1背面の選手宿舎への騒音・振動に配慮すること。			
維持管理の条件		―			
適用示方書		道路橋示方書・同解説　（平成29年11月）			

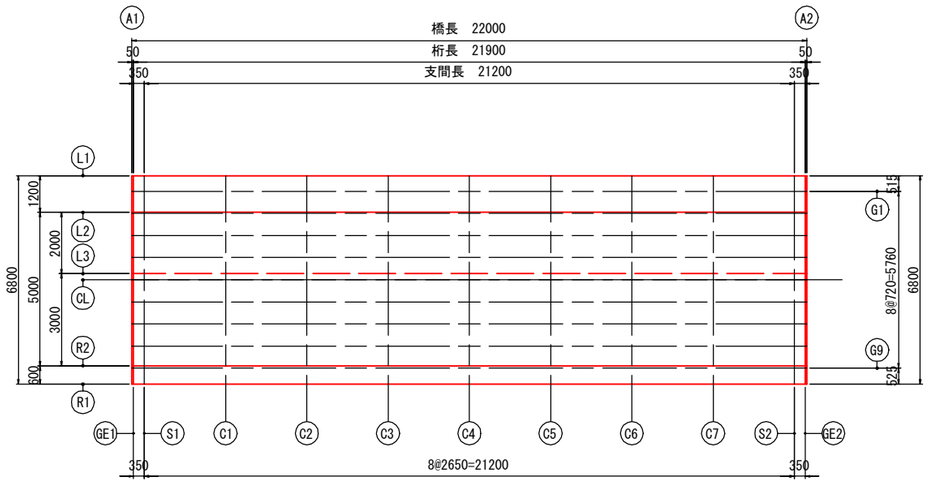
注記）
1.標高は、下関港(長府)CDL基準で記載。

原図:A3、単位：mm

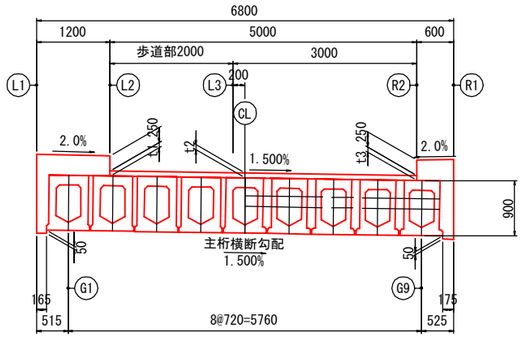
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	橋梁一般図(その2)		
縮　尺	図示	図面番号	2
下関市ボートレース企業局			

上部工線形図

平面図　S=1:200



断面図　S=1:100



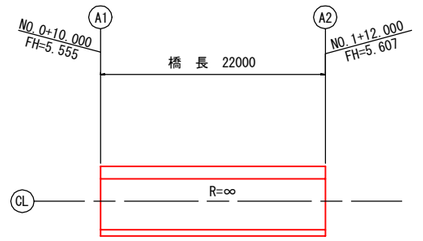
数値表

（単位：mm）

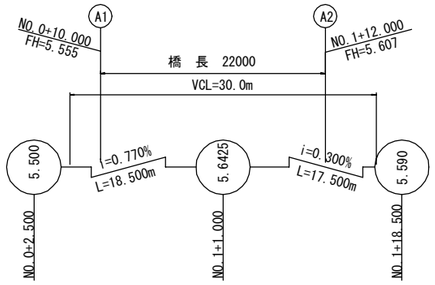
	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2
t1(L2)	80.0	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	80.0
t2(CL)	80.0	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	80.0
t3(R2)	80.0	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	80.0

線形要素

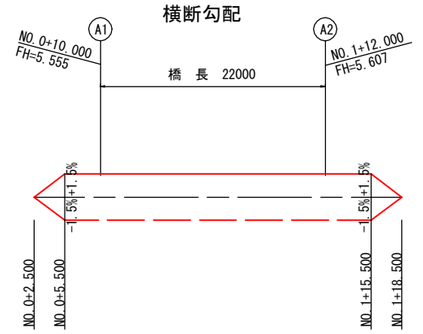
平面線形



縦断勾配



横断勾配

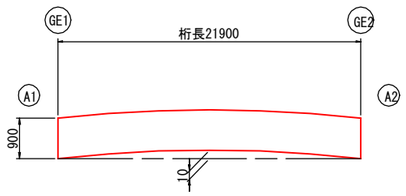


各点の小座標値及び計画高表

（単位：m）

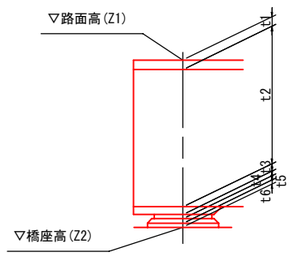
		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L1	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000	-3.4000
	Z	5.8619	5.8622	5.8644	5.8794	5.8919	5.9019	5.9094	5.9143	5.9168	5.9168	5.9142	5.9137	5.9136
G1	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850	-2.8850
	Z	5.8516	5.8519	5.8541	5.8691	5.8816	5.8916	5.8991	5.9040	5.9065	5.9065	5.9039	5.9034	5.9033
L2	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000	-2.2000
	Z	5.5879	5.5882	5.5904	5.6054	5.6179	5.6279	5.6354	5.6403	5.6428	5.6428	5.6402	5.6397	5.6396
L3	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000	-0.2000
	Z	5.5579	5.5582	5.5604	5.5754	5.5879	5.5979	5.6054	5.6103	5.6128	5.6128	5.6102	5.6097	5.6096
CL	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	5.5549	5.5552	5.5574	5.5724	5.5849	5.5949	5.6024	5.6073	5.6098	5.6098	5.6072	5.6067	5.6066
R2	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000	2.8000
	Z	5.5129	5.5132	5.5154	5.5304	5.5429	5.5529	5.5604	5.5653	5.5678	5.5678	5.5652	5.5647	5.5646
G9	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750	2.8750
	Z	5.7644	5.7647	5.7669	5.7819	5.7944	5.8044	5.8119	5.8168	5.8193	5.8193	5.8167	5.8162	5.8161
R1	X	0.0000	0.0500	0.4000	3.0500	5.7000	8.3500	11.0000	13.6500	16.3000	18.9500	21.6000	21.9500	22.0000
	Y	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000	3.4000
	Z	5.7749	5.7752	5.7774	5.7924	5.8049	5.8149	5.8224	5.8273	5.8298	5.8298	5.8272	5.8267	5.8266

主桁キャンバー図



注：　全死荷重時のそり量を示す。

構造高図

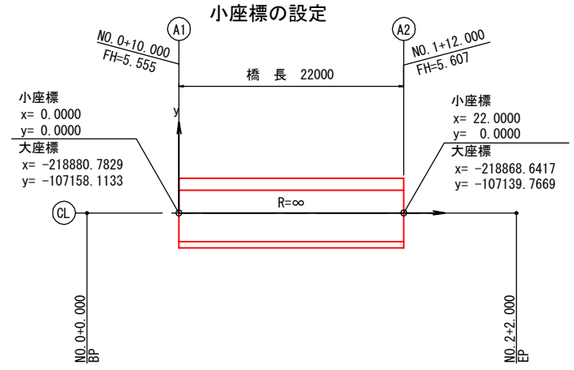


構造高表

（単位：m）

		A1橋台S1			A2橋台S2		
		G1	CL	G9	G1	CL	G9
路面高	Z1	5.854	5.557	5.767	5.904	5.607	5.817
舗装厚(地覆厚)	t1	0.334	0.081	0.333	0.334	0.081	0.333
桁高	t2	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900
レアー厚	t3	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
支承厚	t4	0.088	0.088	0.088	0.068	0.068	0.068
モルタル厚	t5	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	t6	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合計	Σt	1.352	1.099	1.351	1.332	1.079	1.331
橋座高	Z2	4.502	4.458	4.416	4.572	4.528	4.486

小座標の設定



1．道路中心線(CL)とA1,A2との交点を結んだ直線をx軸(CL)とする
2．ｘ軸とA1パラペット前面との交点を小座標の原点とする。
3．原点に於いてｘ軸に垂直な直線をｙ軸とする。
4．主桁はｘ軸に平行に配置する。
5．各クロスラインは、A1パラペットと平行とする。

主要点大座標

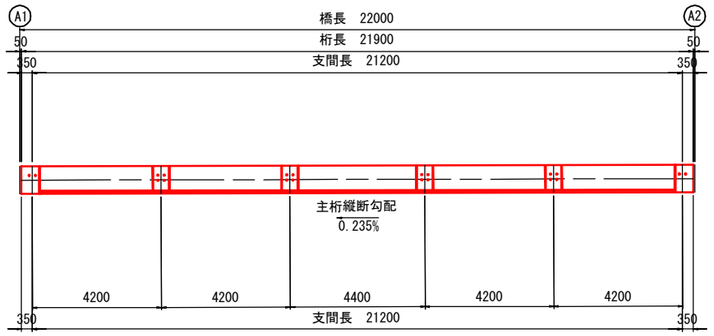
主要点	測　点	X座標	Y座標	半径,パラメータ
BP	0+0.000	-218886.3016	-107166.4526	R=∞
EP	2+2.000	-218863.1230	-107131.4276	

原図：A3、単位：mm

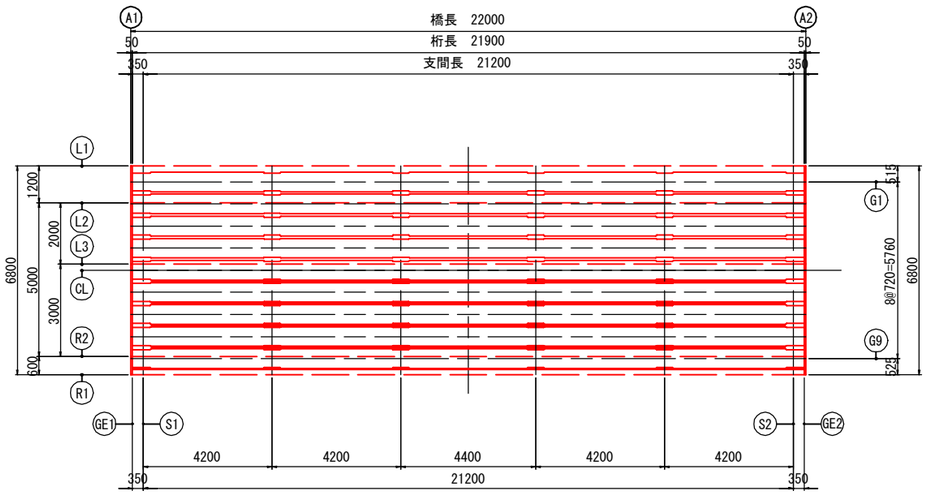
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上部工線形図		
縮　尺	図示	図面番号	3
下関市ボートレース企業局			

上部工構造一般図

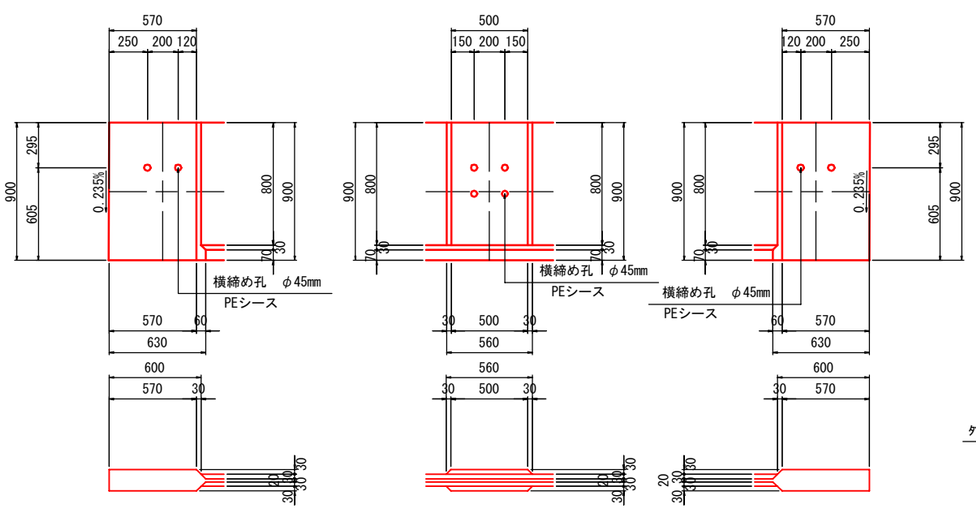
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200

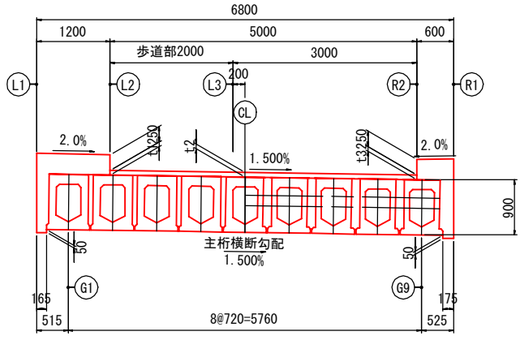


横桁詳細図 S=1:40

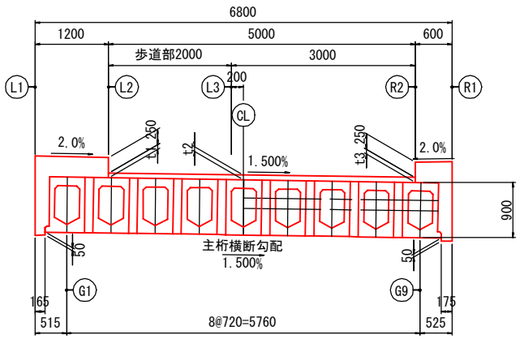


断面図 S=1:100

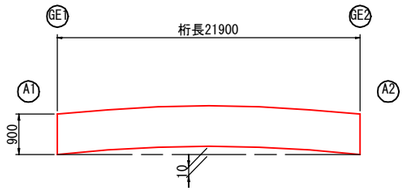
標準部



支点部



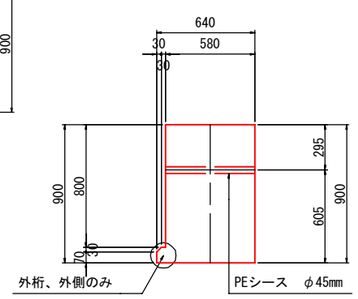
主桁キャンバー図



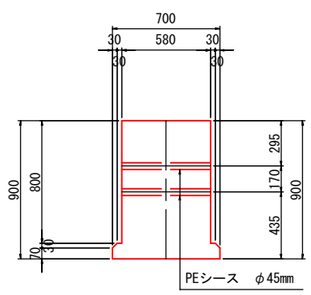
注： 全死荷重時のそり量を示す。

主桁断面図 S=1:40

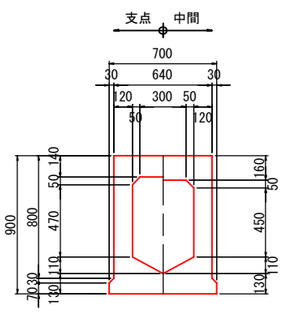
支点部



中間横桁部



標準部



設計条件	
種別	プレストレストコンクリート道路橋
形式	PC単純プレテンション方式中空床版橋
活荷重	A活荷重
橋長	22.000 m
桁長	21.900 m
支間	21.200 m
有効幅員	5.000 m
斜角	なし
縦断勾配	i=0.77% VCL=30 i=0.30%
横断勾配	1.50%(片勾配)
塩害区分	C－S

材料強度 及び 制限値

	種別		単位	主桁	場所打ち
コンクリート	設計基準強度		N/mm2	50.0	30.0
	プレストレスト導入時圧縮強度		〃	35.0	25.0
	曲げ圧縮応力度制限値	プレストレス導入直後	〃	23.33	16.67
		前提条件	〃	16.00	11.00
		耐荷性能	〃	24.00	16.50
		耐久性能	〃	16.00	11.00
	曲げ引張応力度制限値	プレストレス導入直後	〃	1.89	1.51
		前提条件	〃	0.00	0.00
		耐荷性能	〃	3.10	2.20
		耐久性能	〃	1.80	1.20
	コンクリートが負担できる平均せん断応力度	基本値	〃	0.44	0.37
		最大値	〃	6.00	4.00
	斜引張応力度制限値	前提条件 せん断orねじり	〃	1.20	0.80
		前提条件 せん断+ねじり	〃	1.50	1.10
		耐荷性能 せん断orねじり	〃	2.60	1.70
		耐荷性能 せん断+ねじり	〃	3.10	2.20
		耐久性能 せん断orねじり	〃	2.30	1.70
		耐久性能 せん断+ねじり	〃	2.80	2.20
	押抜きせん断応力度の制限値		〃	1.40	－
	弾性係数	プレストレス導入時	〃	2.95×10^4	2.55×10^4
		設計時	〃	3.30×10^4	2.80×10^4

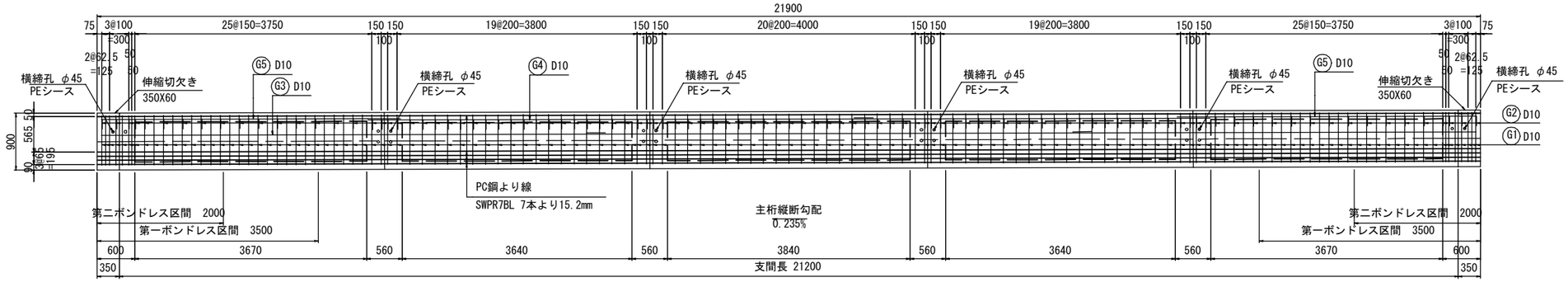
	種別		単位	縦締	横締
PC鋼材	呼び径			SWPR7BL 1S15.2	SWPR19L 1S17.8
	引張強度		N/mm2	1880	1850
	降伏点応力度		〃	1600	1580
	引張応力度制限値	導入時	〃	1440	1422
		導入直後	〃	1316	1295
		有効（耐荷性能）	〃	1222	1202
		有効（耐久性能）	〃	1128	1110
	鋼材断面積		mm2	138.7	208.4
	シース径		mm	－	53
鉄筋	種別			SD345	
	降伏点応力度			345	
	引張応力度最大値	一般	N/mm2	210	
		耐久性（防食）	〃	100	
		耐久性（疲労）	〃	180	
	引張応力度制限値	頂版部 耐久性(防食)	〃	100	
		頂版部 耐久性(疲労)	〃	120	

原図:A3、単位：mm

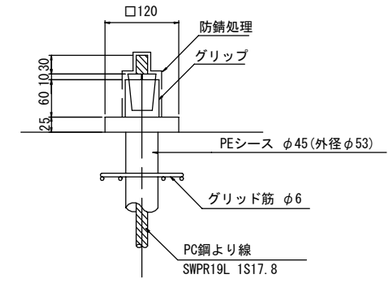
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上部工構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	4
下関市ボートレース企業局			

主桁配筋図

側面図 S=1:80

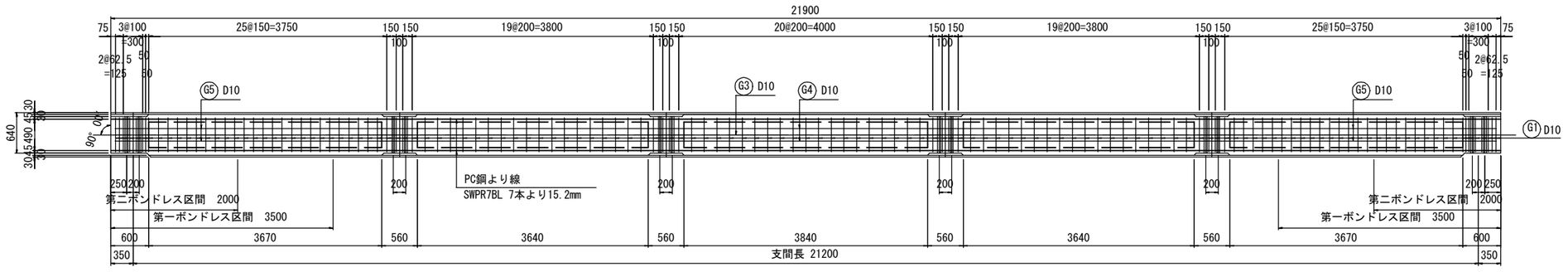


定着具詳細図 S=1:10

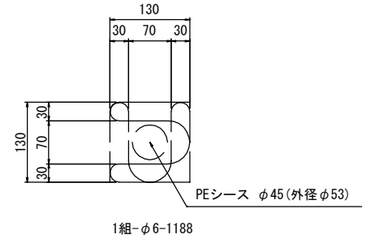


※定着具及びPC鋼材端は防錆処理を施すこと

平面図 S=1:80

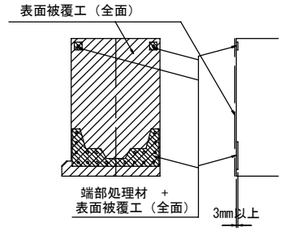


グリッド筋 S=1:10



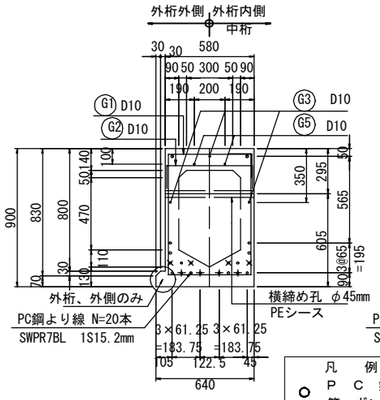
1組-φ6-1188

塩害対策用端部処理図

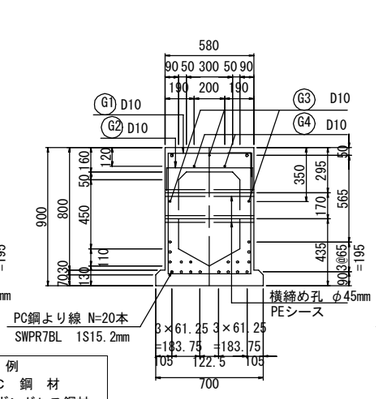


主桁断面図 S=1:40

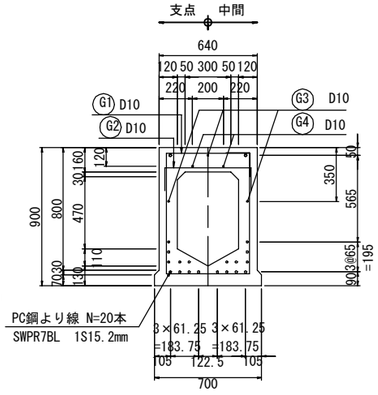
支点部



中間横桁部

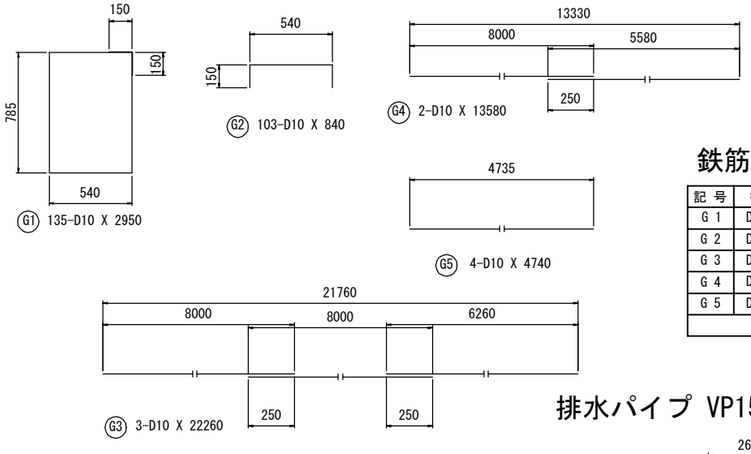


標準部



凡例
- P C 鋼 材
- 第一ボンドレス鋼材
- 第二ボンドレス鋼材
- 鉄 筋

鉄筋加工図 S=1:40



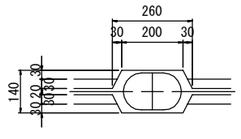
鉄筋表

(1桁当り)

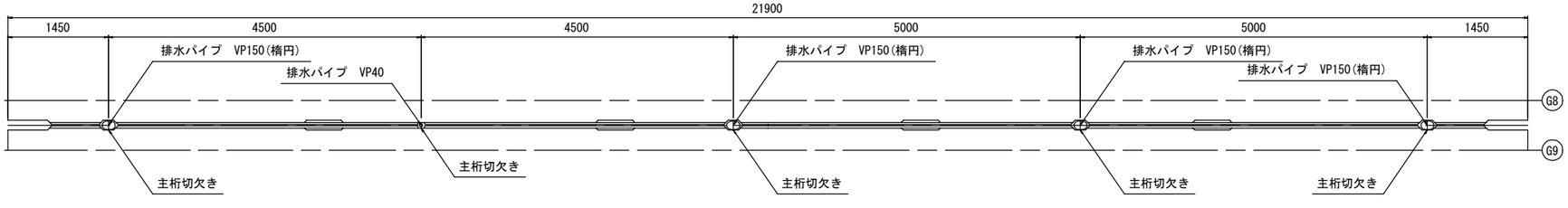
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
G 1	D10	2950	135	0.560	1.65	223	
G 2	D10	840	103	0.560	0.47	48	
G 3	D10	22260	3	0.560	12.47	37	
G 4	D10	13580	2	0.560	7.60	15	
G 5	D10	4740	4	0.560	2.65	11	
SD345 D10 334 kg							

注）コンクリート強度σck=50N/mm2
鉄筋の材質は全てSD345である。

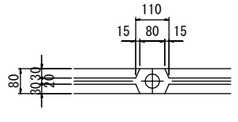
排水パイプ VP150(楕円)切欠き S=1:20



排水施設用切欠き詳細図 S=1:80



排水パイプ VP40切欠き S=1:20

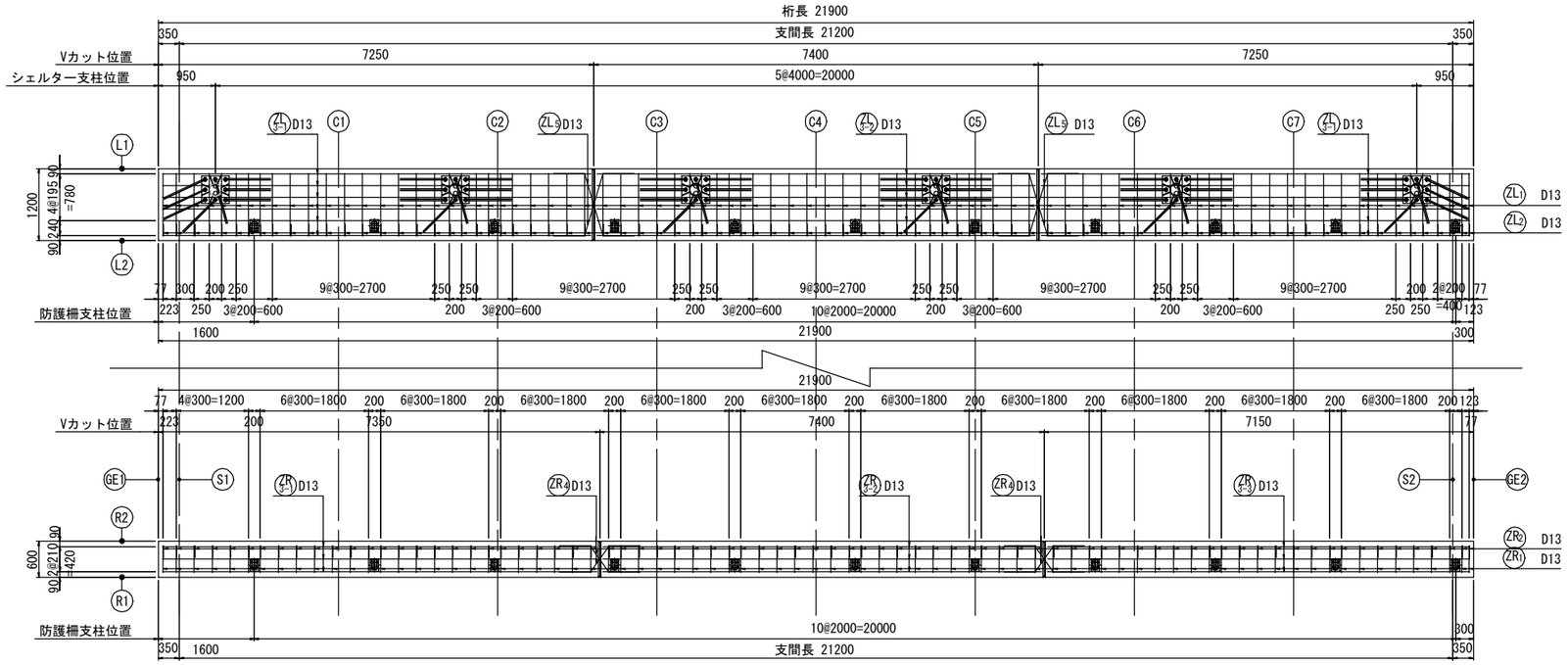


原図:A3、単位：mm

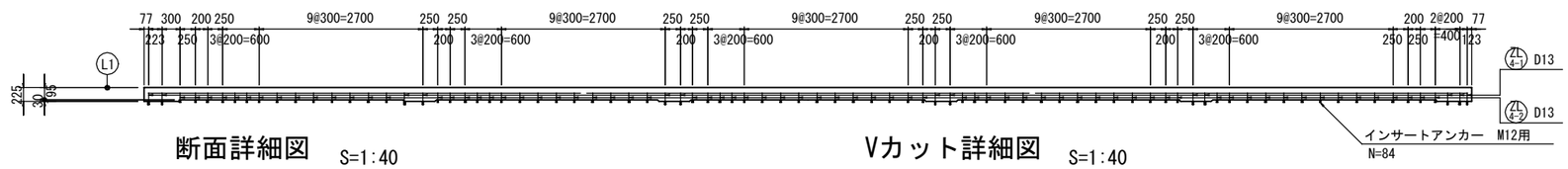
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	主桁配筋図		
縮尺	図示	図面番号	5
下関市ボートレース企業局			

地覆配筋図

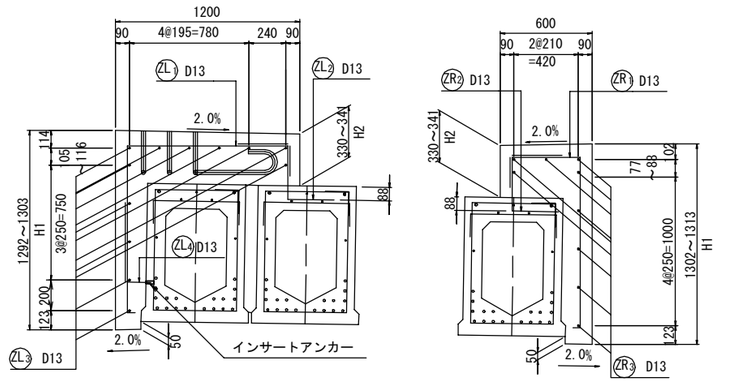
平面図 S=1:100



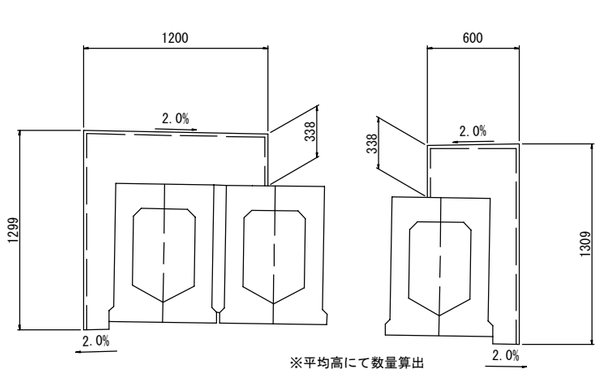
アンカー定着位置



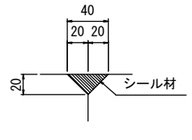
断面詳細図 S=1:40



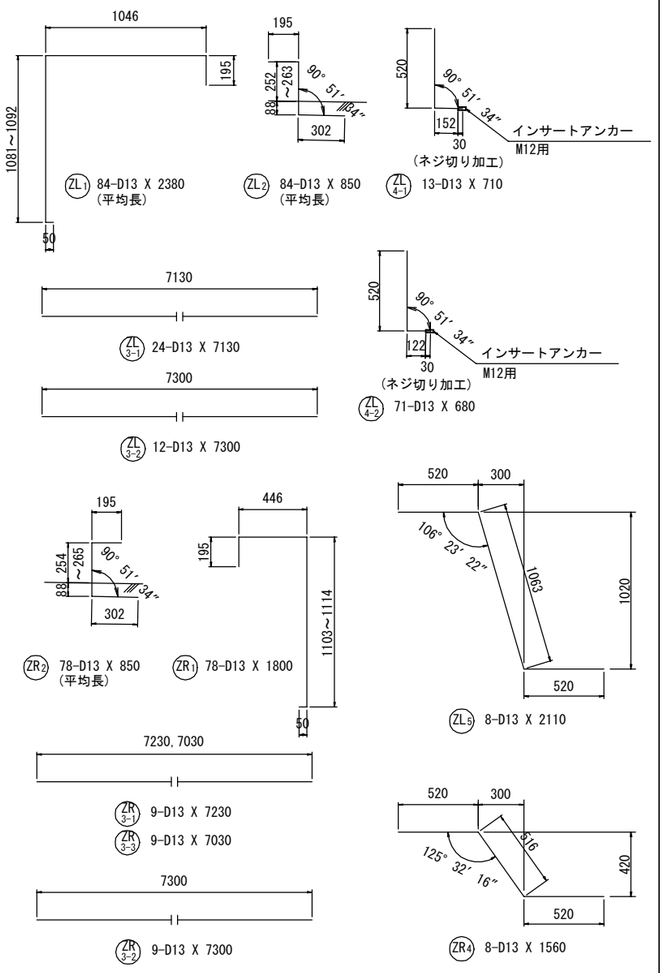
Vカット詳細図 S=1:40



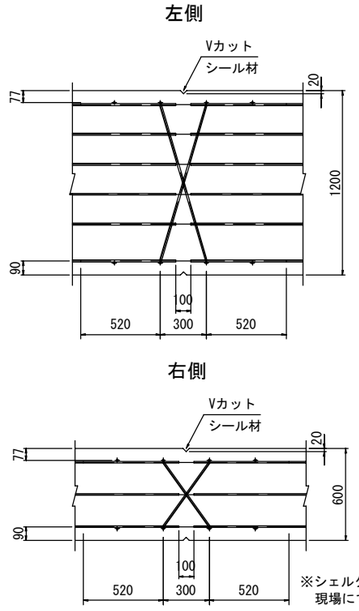
Vカット断面図 S=1:6



鉄筋加工図 S=1:40



平面図 S=1:40



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
ZL1	D13	2380	84	0.995	2.37	199	(平均長)
※ ZL2	D13	850	84	0.995	0.85	71	(平均長)
ZL3-1	D13	7130	24	0.995	7.09	170	—
ZL3-2	D13	7300	12	0.995	7.26	87	—
ZL4-1	D13	710	13	0.995	0.71	9	(平均長)
ZL4-2	D13	680	71	0.995	0.68	48	(平均長)
ZL5	D13	2110	8	0.995	2.10	17	
ZR1	D13	1800	78	0.995	1.79	140	(平均長)
※ ZR2	D13	850	78	0.995	0.85	66	(平均長)
ZR3-1	D13	7230	9	0.995	7.19	65	—
ZR3-2	D13	7300	9	0.995	7.26	65	—
ZR3-3	D13	7030	9	0.995	6.99	63	—
ZR4	D13	1560	8	0.995	1.55	12	
SD345 D13 1012 kg							
インサートアンカー M12用 84 組							

注) コンクリート強度σck=24N/mm2
※印は主桁埋込鉄筋を示す。
鉄筋の材質は全てSD345(エポキシ樹脂塗装鉄筋)である。

数値表

		GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	平均
左地覆	H1	1292	1293	1297	1301	1303	1303	1303	1301	1297	1293	1292	1299
	H2	330	331	335	339	341	341	341	339	335	331	330	338
右地覆	H1	1302	1303	1307	1311	1313	1313	1313	1311	1307	1303	1302	1309
	H2	330	331	335	339	341	341	341	339	335	331	330	338

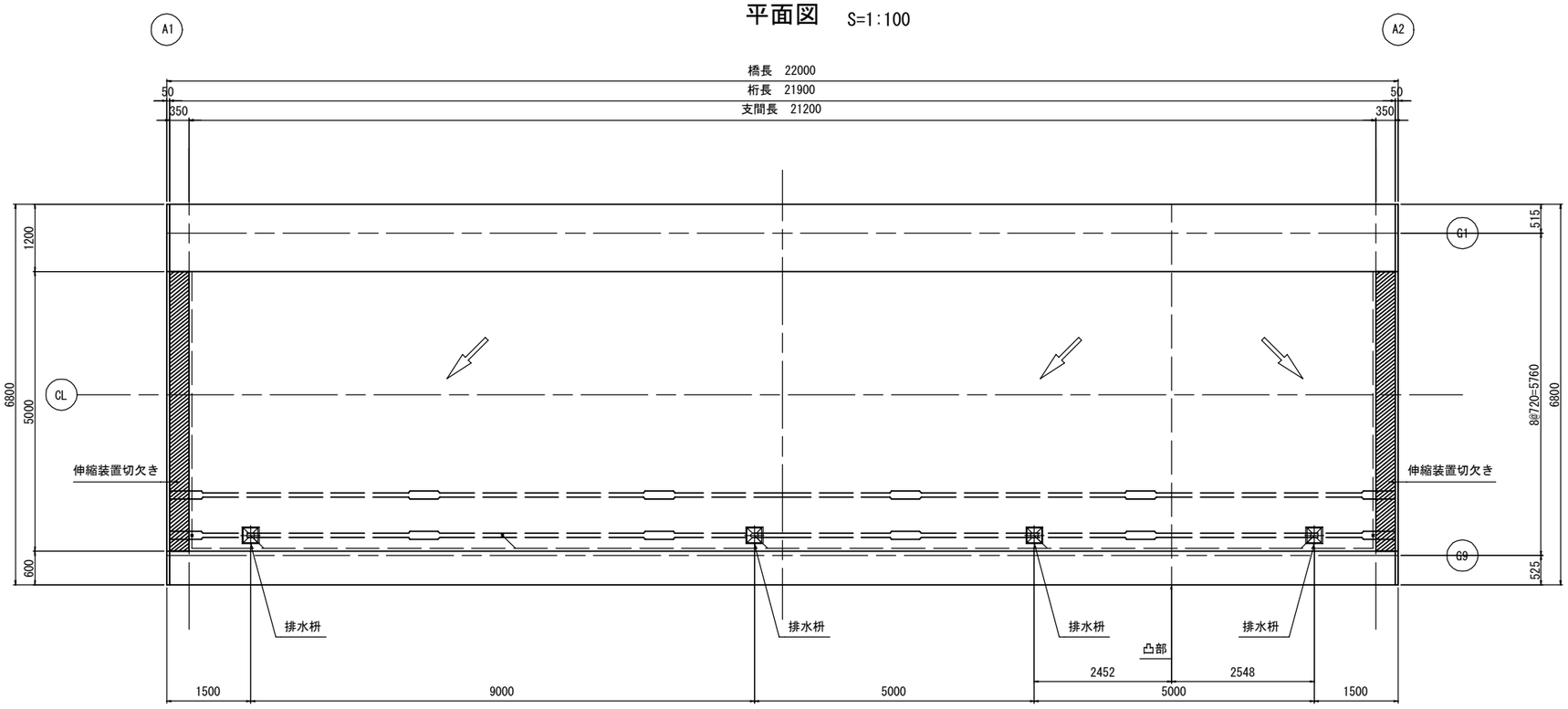
※シェルター支柱アンカーと地覆鉄筋が干渉しないよう、現場にてアンカーの曲げ方向、鉄筋位置を調整すること。

原図:A3、単位:mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	地覆配筋図		
縮尺	図示	図面番号	6
下関市ボートレース企業局			

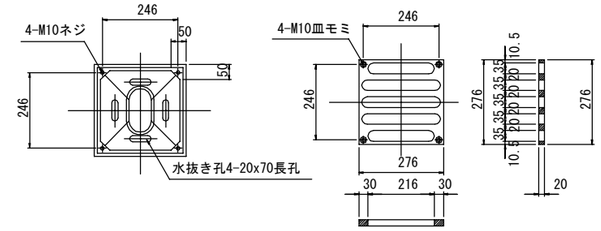
排水工詳細図

平面図 S=1:100



排水枡詳細図 S=1:20

N = 1



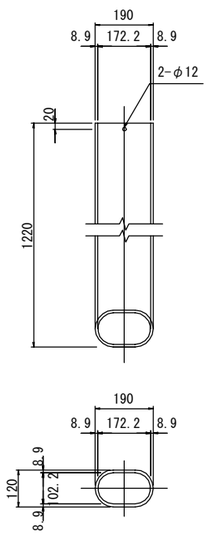
排水桝材料表

1ヶ所当り

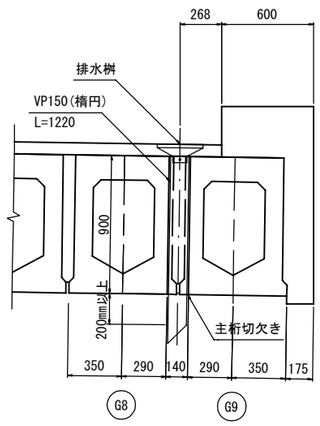
符号	品　　名	材　質	数量	質量(kg)	備　考
1	本　体	FC250	1	9.0	
2	目　皿	FC250	1	4.6	亜鉛メッキ
3	ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
4	サラボルト	SS400	4	0.1	亜鉛メッキ
1組分合計				13.8 kg	

塩ビ管（VP150） S=1:20

N = 4



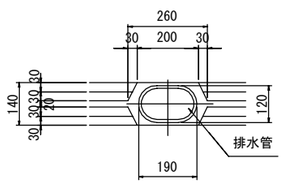
取付断面図 S=1:40



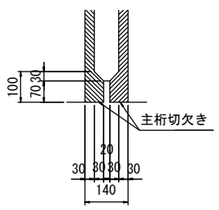
主桁切欠き詳細図 S=1:20

N = 4

平面図



断面図

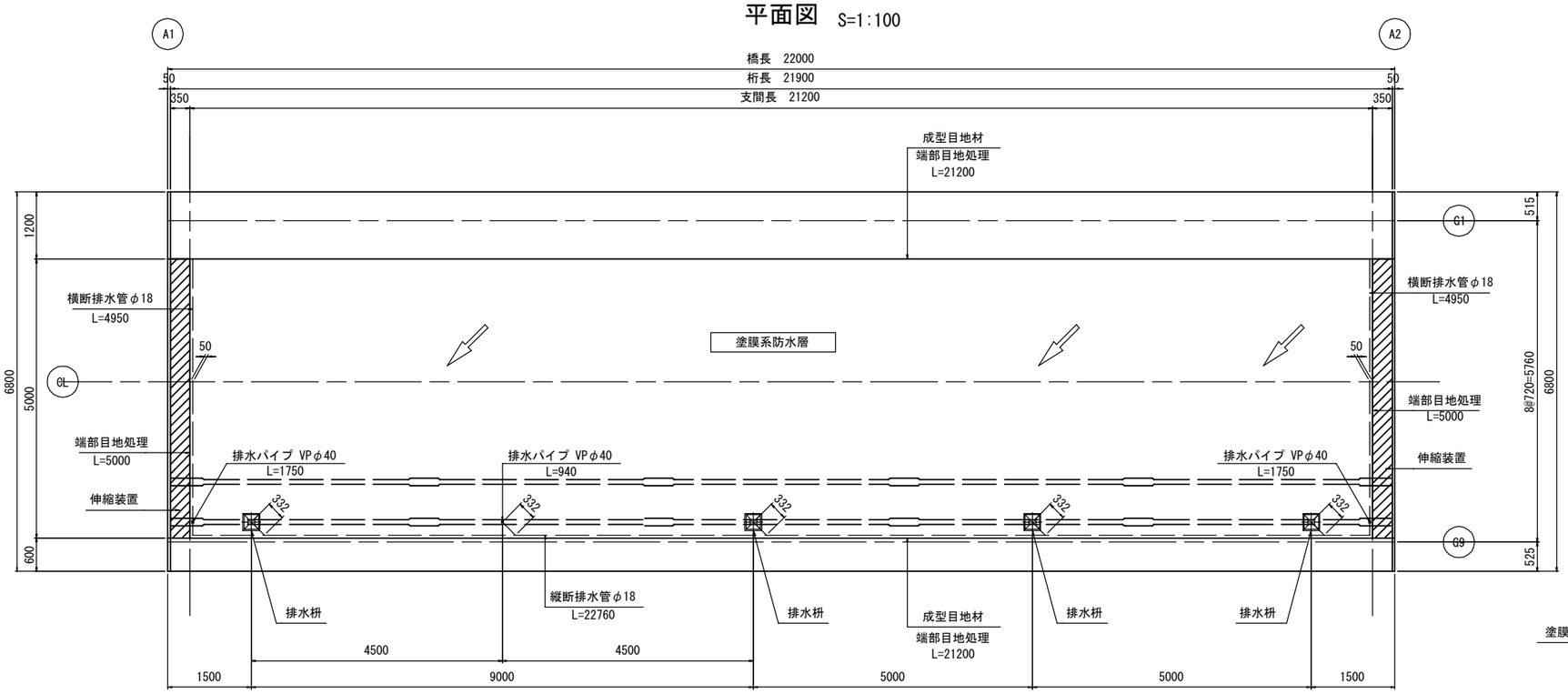


原図:A3、単位：mm

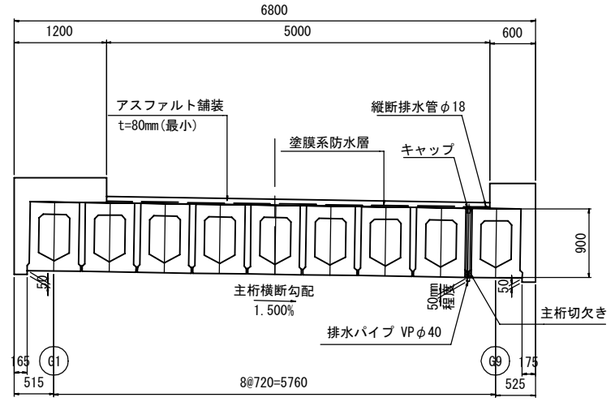
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	排水工詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	7
下関市ボートレース企業局			

防水工詳細図

平面図 S=1:100

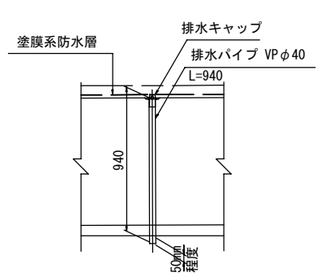


断面図 S=1:80

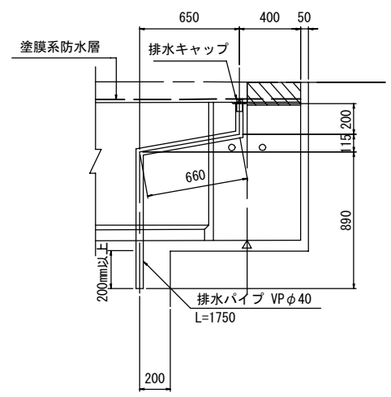


排水パイプ取付図 S=1:40

支間部

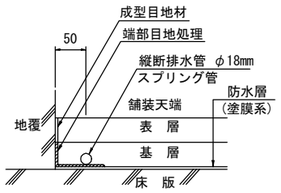


伸縮装置部

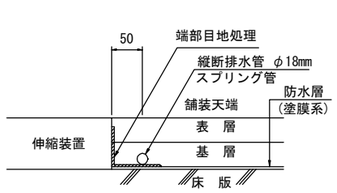


防水層詳細図

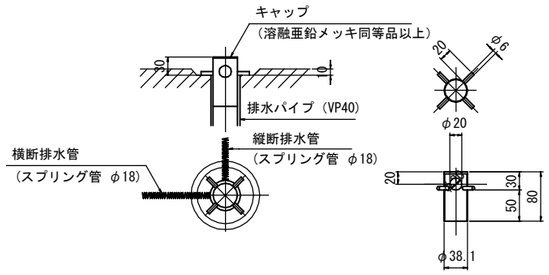
車道部



伸縮装置部



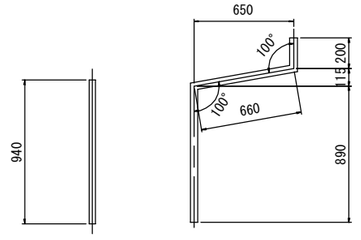
キャップ詳細図 S=1:10



注) 縦横断排水管φ18(スプリング管)の表面処理は、
溶融亜鉛メッキ(HDZ35)と同等品以上とする。
また、縦横断排水管の継手の重ね幅は、5cm以上とする。

排水パイプ図 S=1:40

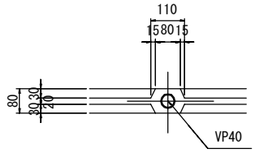
支間部	伸縮装置部
N=1, L=940	N=2, L=1750



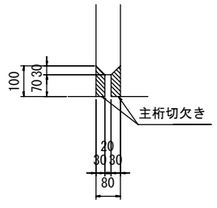
主桁切欠き詳細図 S=1:20

N=1

平面図



断面図



防水工材料表

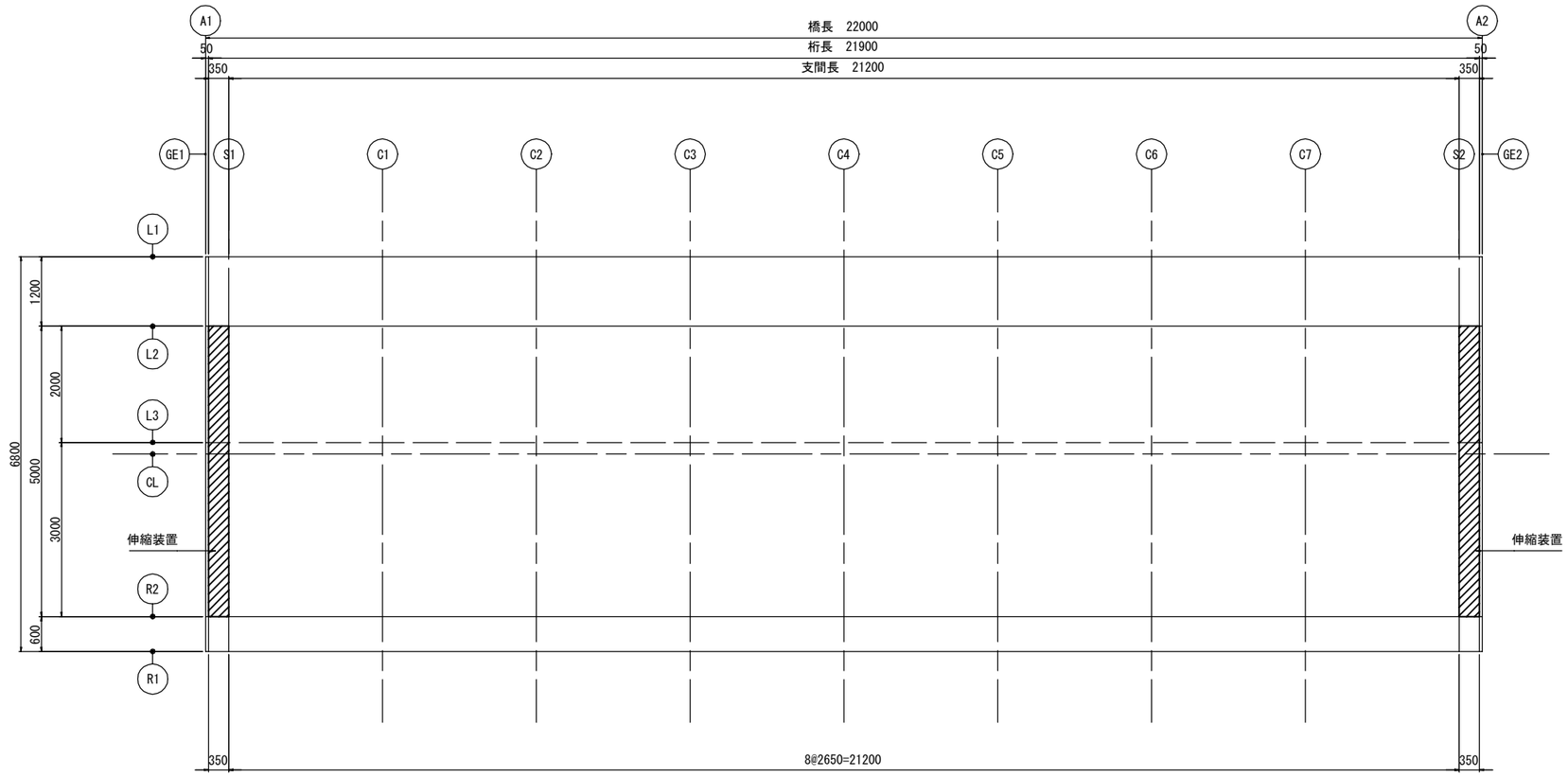
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
塗膜系防水層		m2	106.00	5.000 x 21.200
導水管(溶融亜鉛メッキ仕様)	スプリング管 φ18mm	m	22.76	縦断排水管 21.100+0.332x5
		m	9.90	横断排水管 4.950x2
排水パイプ(伸縮装置部)	VP40、曲管	個	2	L= 1.750
排水パイプ(支間部)	VP40、直管	m	0.94	
成型目地材	W=35mm, t=5mm	m	42.40	21.200x2
端部目地処理		m	52.40	21.200x2+5.000x2
キャップ		個	3	溶融亜鉛メッキ仕様

原図:A3、単位 : mm

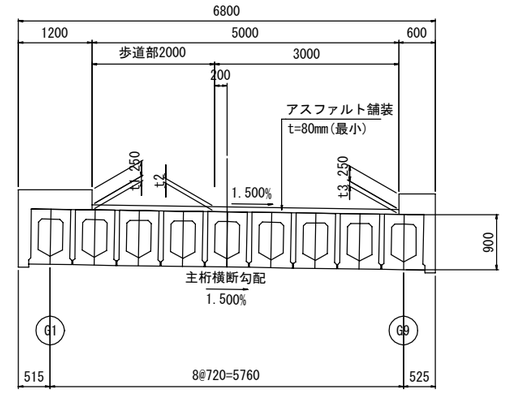
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	防水工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	8
下関市ボートレース企業局			

舗装工詳細図

平面図　S=1:100



断面図　S=1:100



舗装数量（車道部）

舗装面積	A = 3.000 x 21.200 = 63.600 m2
舗装厚平均	t = 88 mm
舗装体積	V = 63.600 x 0.088 = 5.597 m3

舗装数量（歩道部）

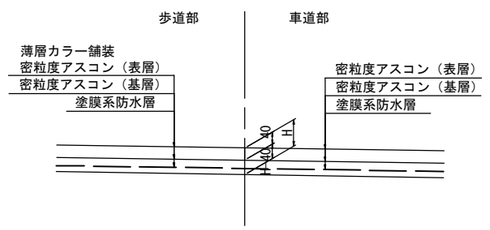
舗装面積	A = 2.000 x 21.200 = 42.400 m2
舗装厚平均	t = 88 mm
舗装体積	V = 42.400 x 0.088 = 3.731 m3

数値表

（単位:mm）

	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	平均
t1(L2)	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	87.7
t2(L3)	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	87.7
t3(R2)	80.7	85.4	88.7	90.7	91.4	90.7	88.7	85.4	80.7	87.7

舗装厚詳細図



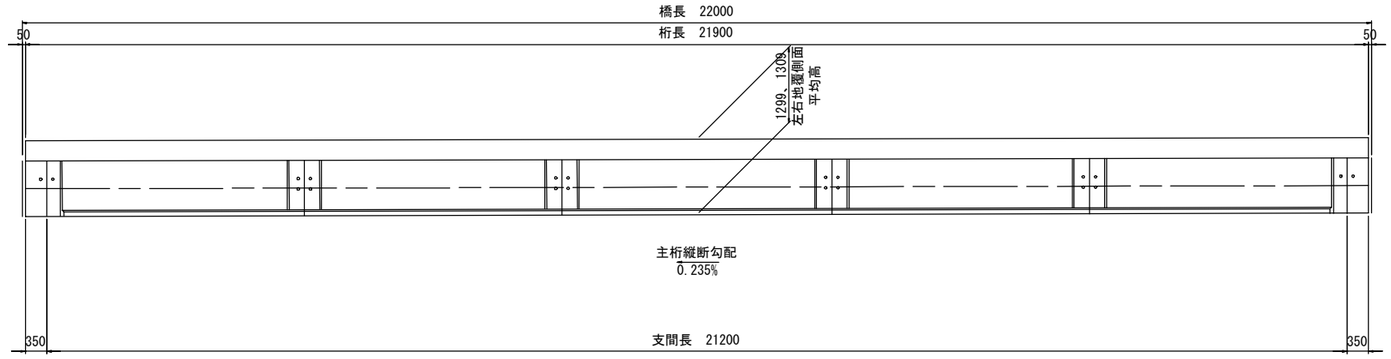
注1. 歩道部の景観舗装については、施工の際に仕様等の協議を行い、
使用する製品に応じた舗装構成にて施工すること。

原図:A3、単位：mm

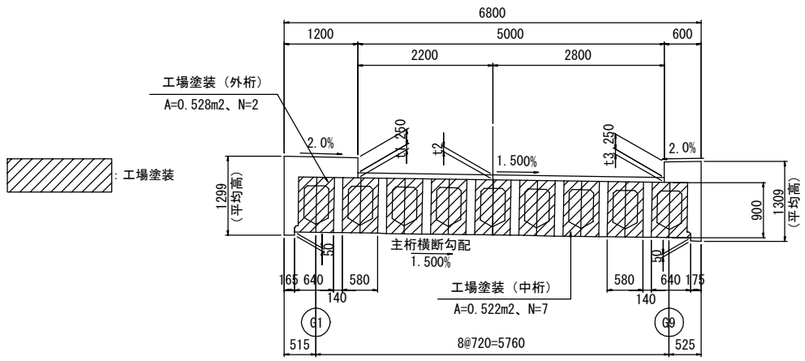
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	舗装工詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	9
下関市ボートレース企業局			

塗装工詳細図

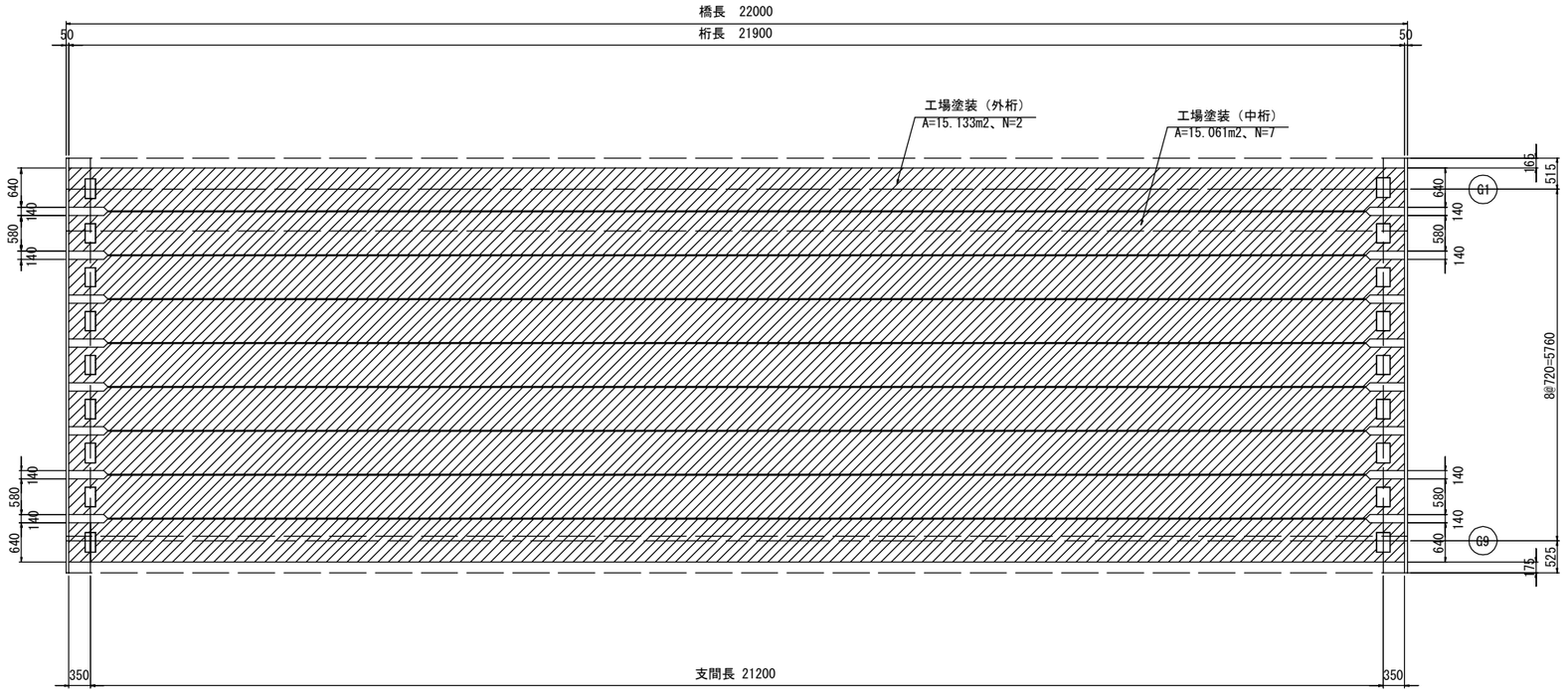
側面図 S=1:100



断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



数量表

(m2)

項　目	数 量	備　考
工場塗装	145.1	主桁断面・底面

コンクリート面への塗装仕様(CC-A)

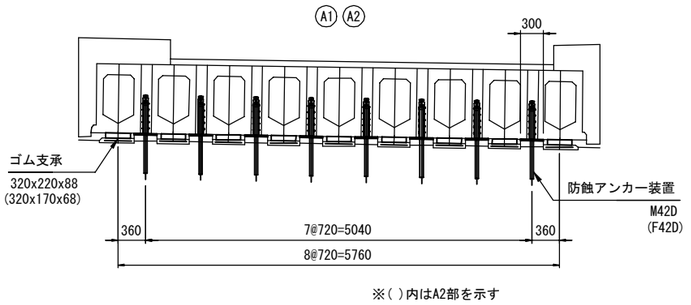
工　程		使 用 材 料	塗 装 条 件			塗装間隔
			目標膜厚 (μ)	標準使用量 (kg/m2)	塗装方法	
前処理	プライマー	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	—	0.10	スプレー (はけ・ローラー)	1～10 日
	パ テ	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	—	0.30	へら	1～10 日
中　塗		コンクリート塗装用 エポキシ樹脂塗料中塗	60	0.32 (0.26)	スプレー (はけ・ローラー)	
上　塗		コンクリート塗装用 ふっ素樹脂塗料上塗	30	0.15 (0.12)	スプレー (はけ・ローラー)	1～10 日

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	塗装工詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	10
下関市ボートレース企業局			

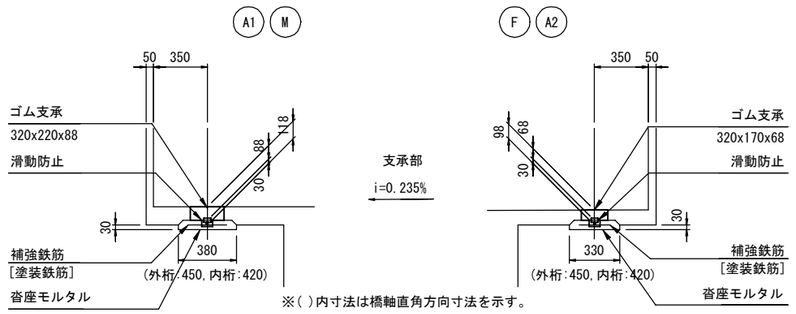
支承詳細図（参考）

断面図 S=1:80



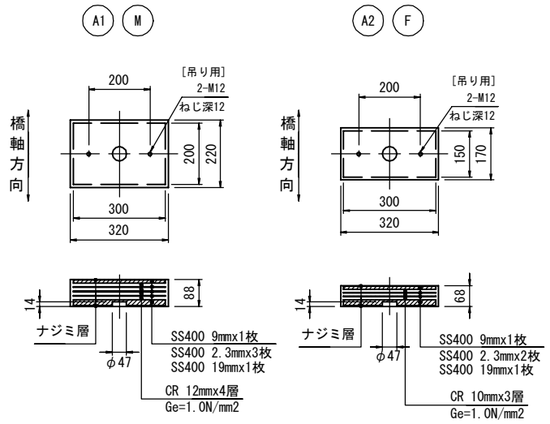
※( )内はA2部を示す

側面図 S=1:40

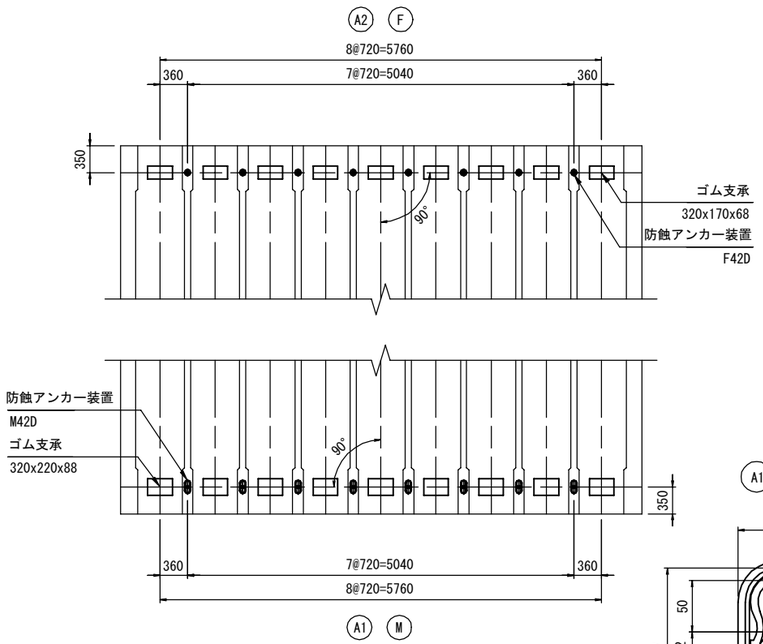


※( )内寸法は橋軸直角方向寸法を示す。

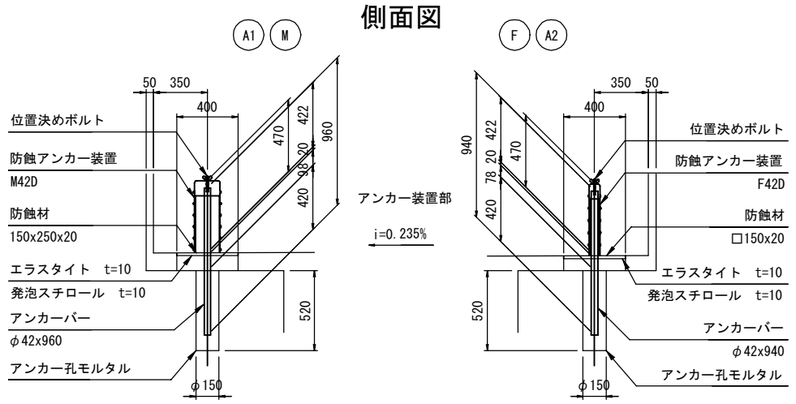
ゴム支承 S=1:20



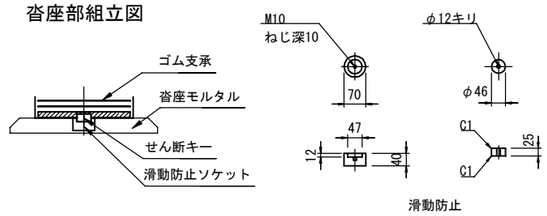
平面図 S=1:80



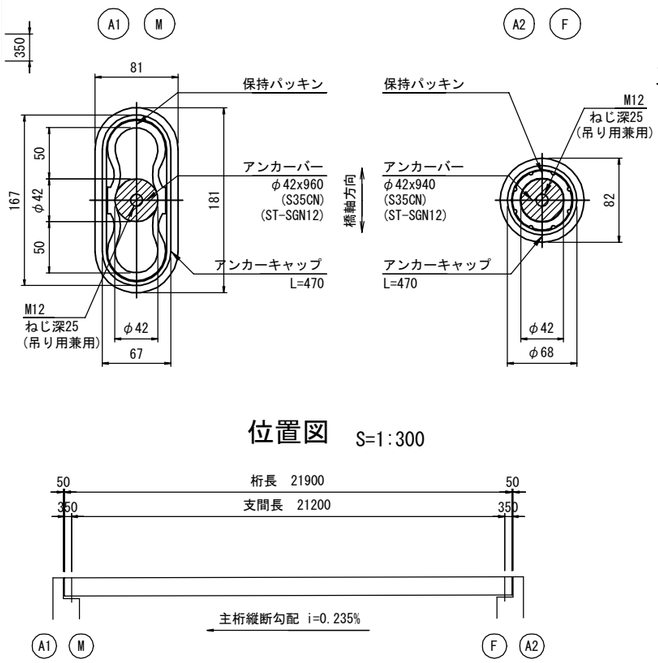
側面図



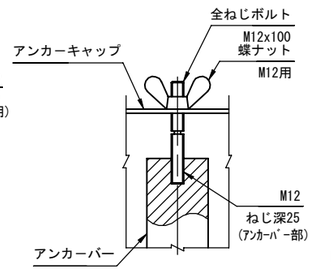
沓座部組立図



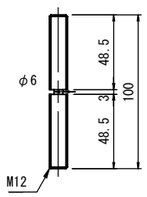
防蝕アンカー装置 S=1:6



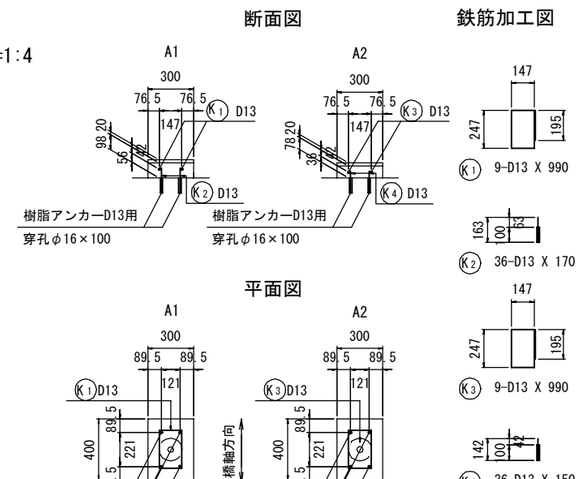
位置決めボルト詳細図 S=1:6



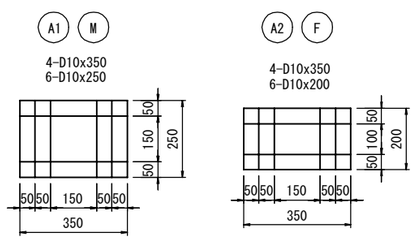
全ねじボルト S=1:4



アンカー補強筋 S=1:40



補強鉄筋 S=1:20



位置図 S=1:300

材料表(機能分離型)

名　称	寸　法	材　質	単位	数　量			備　考
				A1(M)	A2(F)	合計	
ゴム支承	320x220x88	図　示	枚	9		9	CR Ge=1.0、W=22.6kg 滑動防止一式含む
〃	320x170x68	〃	〃		9	9	CR Ge=1.0、W=14.8kg 滑動防止一式含む
防蝕アンカー装置α	M42D(L=960)	S35CN ボルト又はFRP合成ゴム	組	8		8	ST-SGN12
〃	F42D(L=940)	〃	〃		8	8	〃
防 蝕 材	150x250x20	CRスポンジ	枚	8		8	RDパッキン
〃	□150x20	〃	〃		8	8	〃
補強鉄筋	D10x50x50	SD345 塗装鉄筋	kg	14.62	13.10	27.72	
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.088	0.076	0.164	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m3	0.069	0.069	0.138	
エラスタイト	t=10		m2	0.960	0.960	1.920	
発泡スチロール	t=10		m2	0.960	0.960	1.920	
アイボルト	M12用		本	10	10	20	ゴム支承施工用
〃	〃		〃	4	4	8	アンカー装置施工用
保護コンクリート		σck=30N/mm2	m3	0.094	0.075	0.169	
型枠			m2	1.098	0.874	1.972	
アンカーバー補強鉄筋		SD345 塗装鉄筋	kg	15	14	29	
樹脂アンカー	D13用		個	32	32	64	
削孔	φ16×100		箇所	32	32	64	

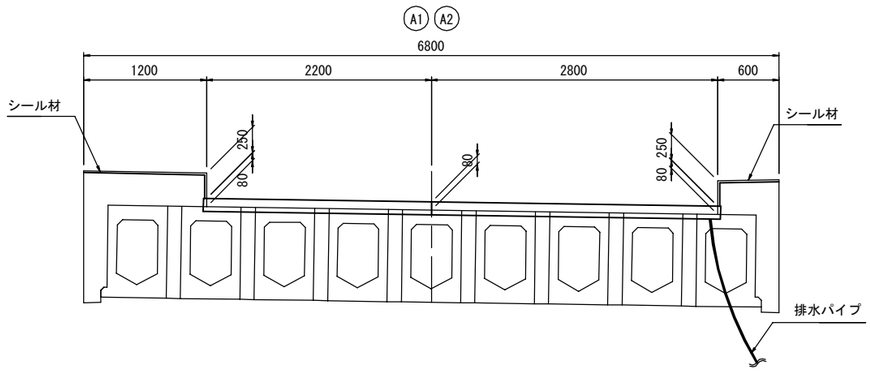
※支承はH30年便覧仕様に準拠する
※施工用アイボルト数量は、1支承線当り半数分を計上しているため、適宜流用すること

原図:A3、単位：mm

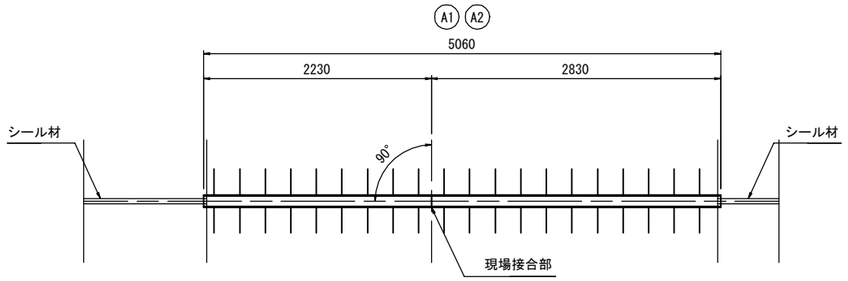
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	支承詳細図（参考）		
縮　尺	図示	図面番号	11
下関市ボートレース企業局			

伸縮継手詳細図（参考）

断面図　S=1:60



平面図　S=1:60

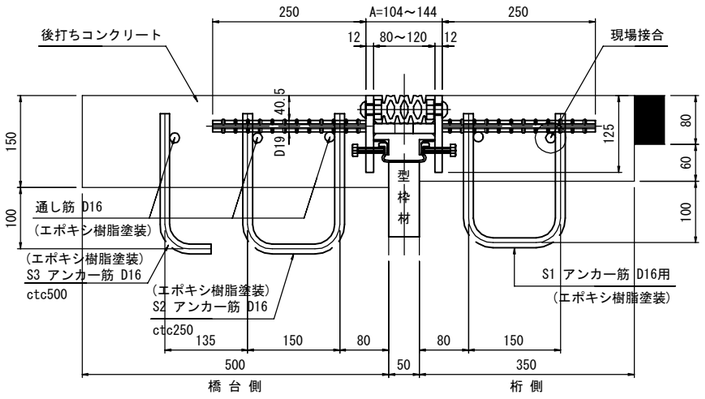


※止水性を考慮して伸縮装置本体を地覆部に30mm程度埋め込むこと。
※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
　また、指定範囲に溶接を施すこと。

伸縮継手断面図　S=1:10

ブロフジョイントNx型-40用(止水樋付き)

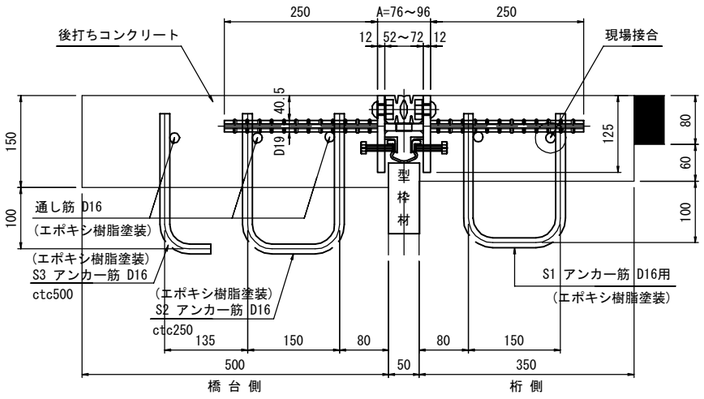
A1 車道用



※A寸法は、施工時に決定

ブロフジョイントNx型-20用(止水樋付き)

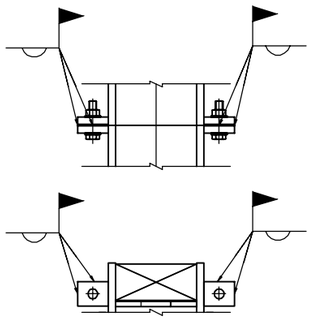
A2 車道用



※A寸法は、施工時に決定

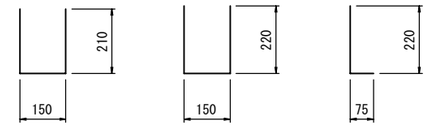
現場接合部詳細

ブロフジョイントＮｘ型

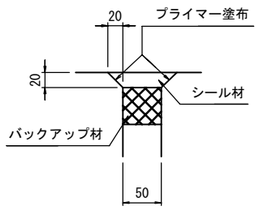


アンカー筋埋設図　S=1:40

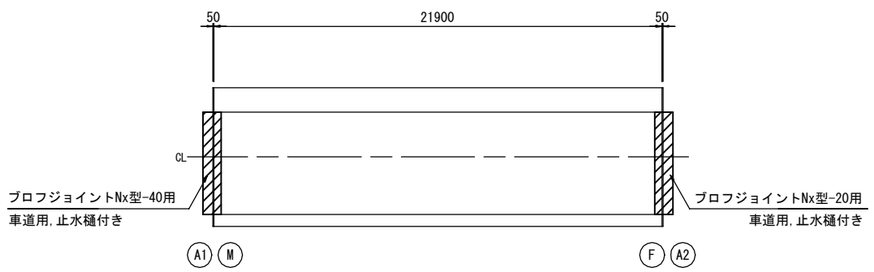
鉄筋加工図　S=1:20



シール材充填図　S=1:8



配置図　S=1:300



伸縮継手材料表

名　　称	材　質	A1数量	A2数量	合計数量	備　考
ブロフジョイントNx型－40用	SS400 合成ゴム SD345	5.060 m		5.060 m	車道用、樋付き
ブロフジョイントNx型－20用	〃		5.060 m	5.060 m	〃
シール材	シリコン系	3.220ﾘｯﾀｰ	3.220ﾘｯﾀｰ	6.440ﾘｯﾀｰ	
バックアップ材		2.300 m	2.300 m	4.600 m	
後打ちコンクリート		0.620 m³	0.620 m³	1.240 m³	
通　し　筋	SD345,塗装鉄筋	5　本	5　本	10　本	D16x5060
Nx型用接着剤		1　式		1　式	40用
Nx型用接着剤			1　式	1　式	20用
排水パイプ	ステンレス	1　本	1　本	2　本	15Ax5000

※排水パイプ長は、現地測量の上決定すること。

アンカー鉄筋表

寸　法	A1数量	A2数量	合計数量	合計重量	備　　考
D16x570	28　本	28　本	56　本	50　kg	S1 アンカー筋(上部工側),塗装鉄筋
D16x590	20　本	20　本	40　本	37　kg	S2 アンカー筋(下部工側),塗装鉄筋
D16x295	10　本	10　本	20　本	9　kg	S3 アンカー筋(下部工側),塗装鉄筋

※本図面は設計時に参考で計画した製品であり参考図である。
　本製品と同等品以上のものとすること。

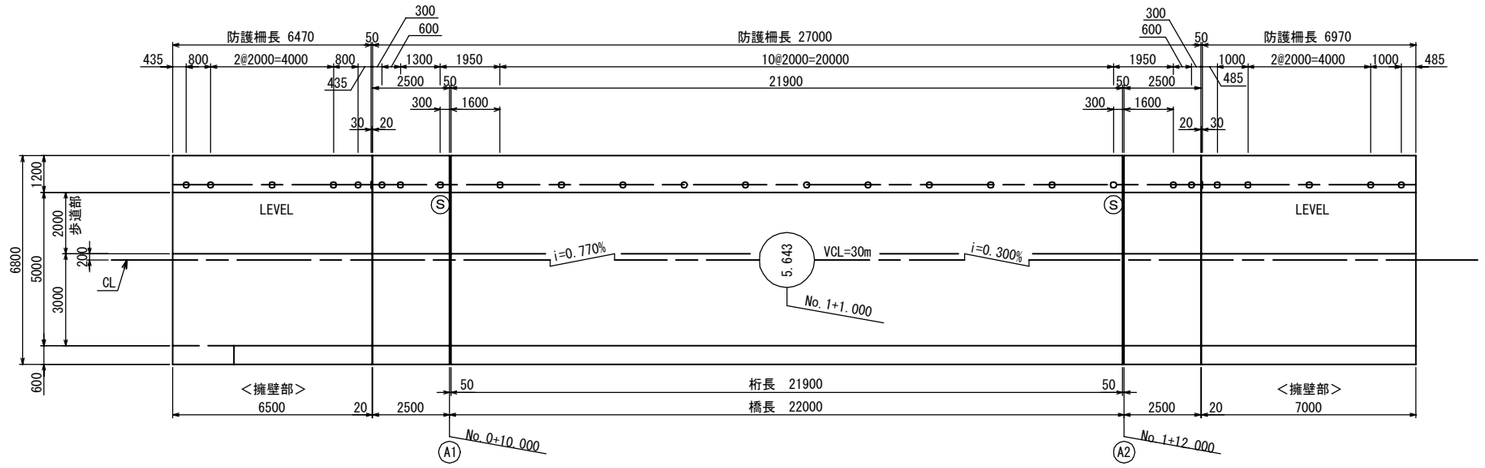
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	伸縮継手詳細図（参考）		
縮　尺	図示	図面番号	12
下関市ボートレース企業局			

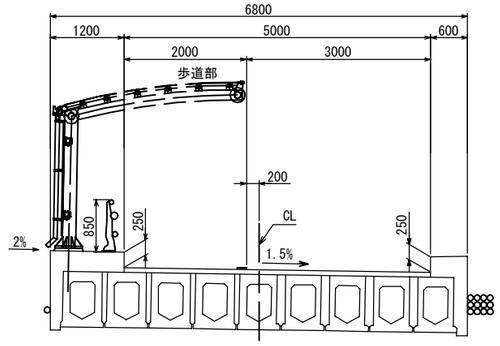
防護柵詳細図（その1）

平面割付図　S=1:200

＜注記＞
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。
・ Ⓢ部は伸縮継手取付ポスト位置を示す。

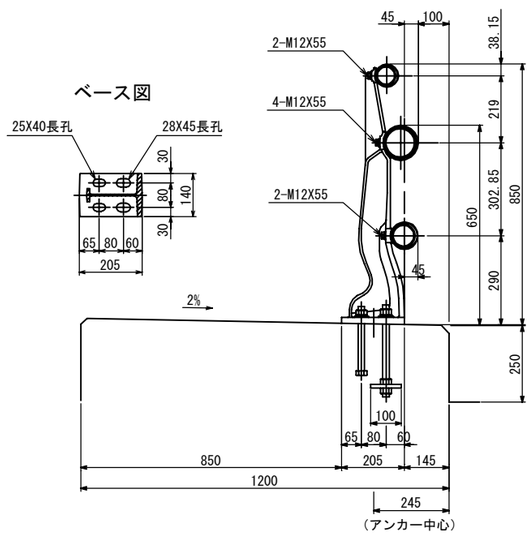


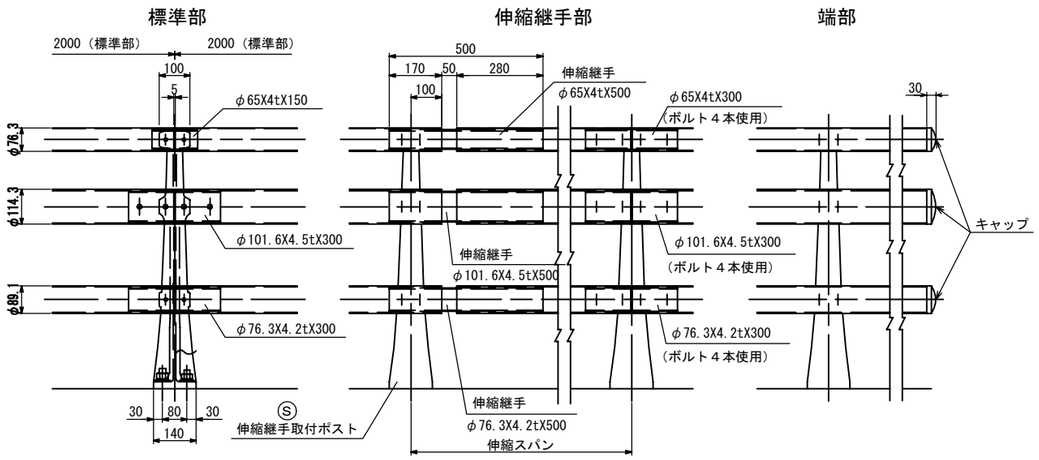
断面図　S=1:100

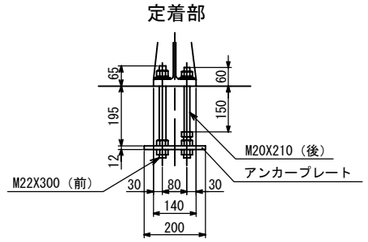


橋梁用ビーム型防護柵
鋳鉄製　C種　H＝８５０
（２%勾配対応）

S=1:20







材料表　鋳鉄製　C種　H＝８５０　（標準部ポストピッチ２m／１０m当り）

名　称	寸　法	材　質	単　重	数　量	重　量
ポ　ス　ト	838X205X140	FCD450	14.30	5.0　本	71.5
レ　ー　ル	φ114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レ　ー　ル	φ89.1X2.8t	STK400	5.96	9.975 m	59.5
レ　ー　ル	φ76.3X2.8t	STK400	5.08	9.975 m	50.7
継　　手	φ101.6X4.5tX300	STK400	3.23	5.0　本	16.2
継　　手	φ76.3X4.2tX300	STK400	2.24	5.0　本	11.2
継　　手	φ65X4tX150	STK400	0.91	5.0　本	4.6
止メボルト	M12X55(B,W,SW)	強度区分:6.8以上	0.08	40.0　本	3.2
アンカーボルト	M22X300(B.3N.W.SW)	強度区分:8.8以上	1.14	10.0　本	11.4
アンカーボルト	M20X210(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.69	10.0　本	6.9
アンカープレート	100X200X12t	SS400	1.80	5.0　枚	9.0
				合　計	365.9Kg

防護柵長	Ｌ＝　４０．４４０m
伸縮処理	２ケ所
ポスト総数量	２６本
表面処理：溶融亜鉛めっき後、高耐久塗装仕上げ（標準塗装膜厚１５５μm）	
・塗装色は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」に準拠とする。	
・止メボルトは高耐食性ボルト仕様、アンカーボルトは高耐久性アンカーボルトA.T.C※。	
（但しアンカープレートは黒皮品。）	
※高耐久性アンカーボルトA.T.Cは、溶融亜鉛めっきボルトの一部および地覆上のN,W,SWに塗装を施す。	
注＞施工時はアンカーボルトの塗装面が地覆上に露出するよう設置の事。	
注＞橋梁用ビーム型防護柵は（一社）全国高欄協会で認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。	

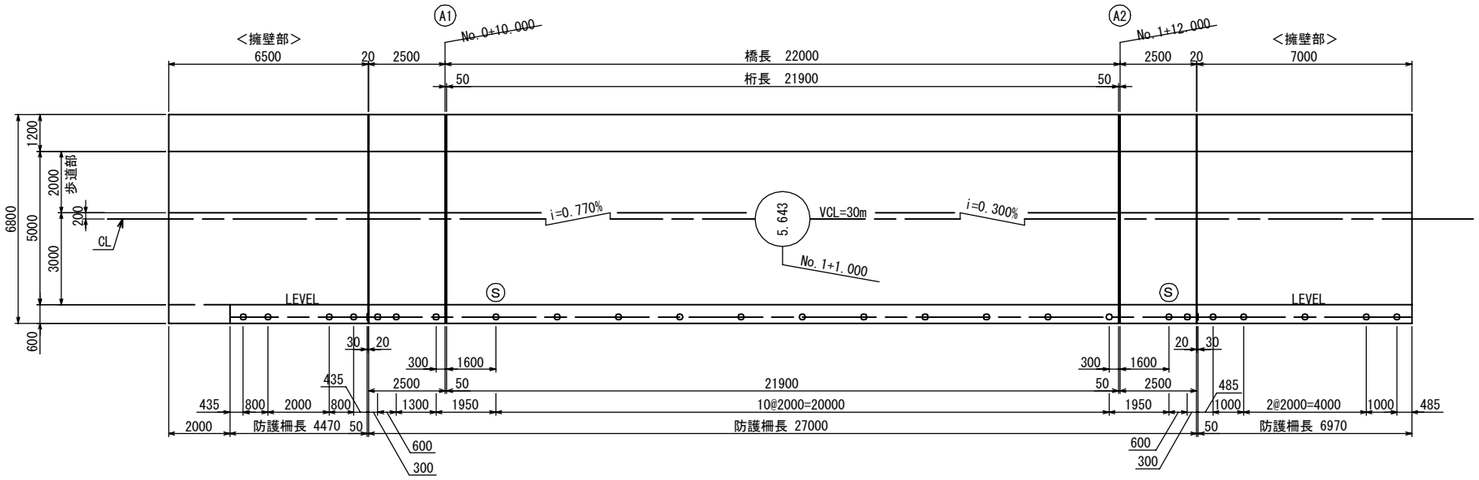
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	防護柵詳細図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	13
下関市ボートレース企業局			

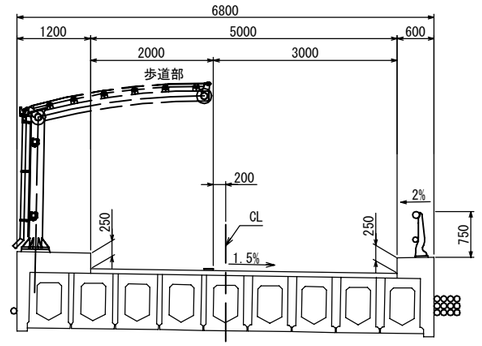
防護柵詳細図（その2）

平面割付図　S=1:200

＜注記＞
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。
・ Ⓢ部は伸縮継手取付ポスト位置を示す。



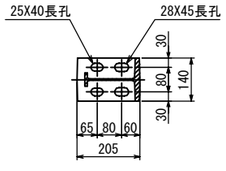
断面図　S=1:100

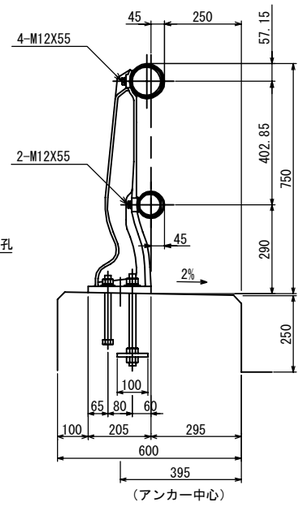


橋梁用ビーム型防護柵
鋳鉄製　C種　H＝７５０
（２%勾配対応）

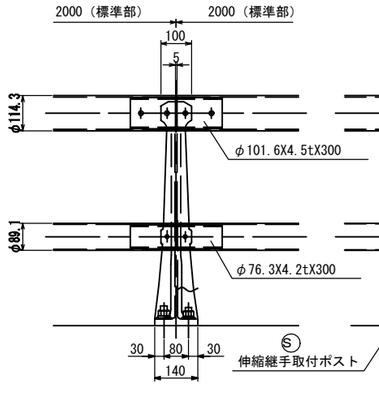
S=1:20

ベース図

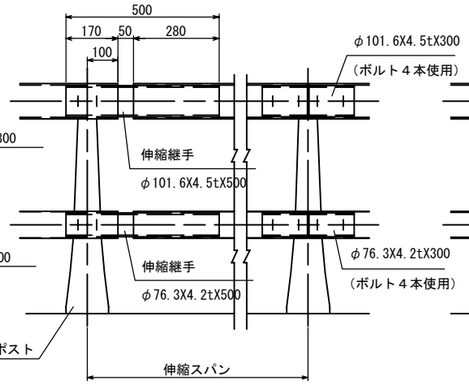




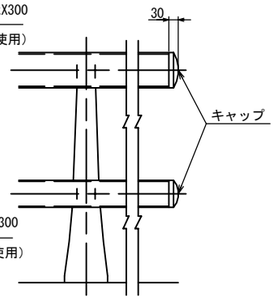
標準部



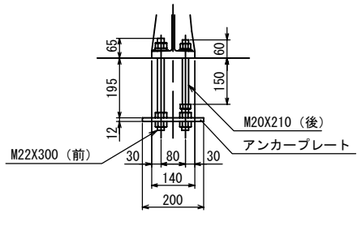
伸縮継手部



端部



定着部



材料表

鋳鉄製　C種　H＝７５０　（標準部ポストピッチ２m／１０m当り）

名　称	寸　法	材　質	単　重	数　量	重　量
ポ　ス　ト	730X205X140	FCD450	13.42	5.0　本	67.1
レ　ー　ル	φ114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975　m	121.7
レ　ー　ル	φ89.1X2.8t	STK400	5.96	9.975　m	59.5
継　　手	φ101.6X4.5tX300	STK400	3.23	5.0　本	16.2
継　　手	φ76.3X4.2tX300	STK400	2.24	5.0　本	11.2
止メボルト	M12X55(B,W,SW)	強度区分:6.8以上	0.08	30.0　本	2.4
アンカーボルト	M22X300(B,3N,W,SW)	強度区分:8.8以上	1.14	10.0　本	11.4
アンカーボルト	M20X210(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.69	10.0　本	6.9
アンカープレート	100X200X12t	SS400	1.80	5.0　枚	9.0
				合　計	305.4Kg

防護柵長	Ｌ＝　３８．４４０m
伸縮処理	２ケ所
ポスト総数量	２５本

表面処理：溶融亜鉛めっき後、高耐久塗装仕上げ（標準塗装膜厚１５５μm）
・塗装色は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」に準拠とする。
・止メボルトは高耐食性ボルト仕様、アンカーボルトは高耐久性アンカーボルトA.T.C※。
（但しアンカープレートは黒皮品。）
※高耐久性アンカーボルトA.T.Cは、溶融亜鉛めっきボルトの一部および地覆上のN,W,SWに塗装を施す。
注＞施工時はアンカーボルトの塗装面が地覆上に露出するよう設置の事。
注＞橋梁用ビーム型防護柵は（一社）全国高欄協会で認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

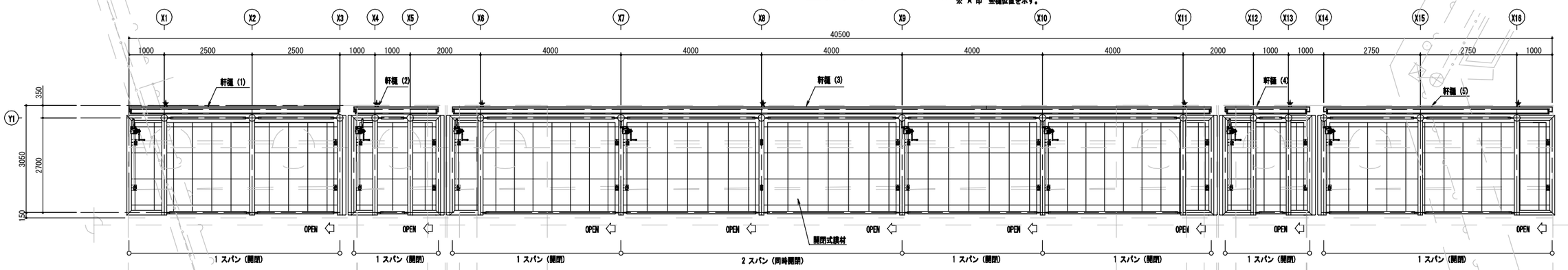
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	防護柵詳細図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	14
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その1）

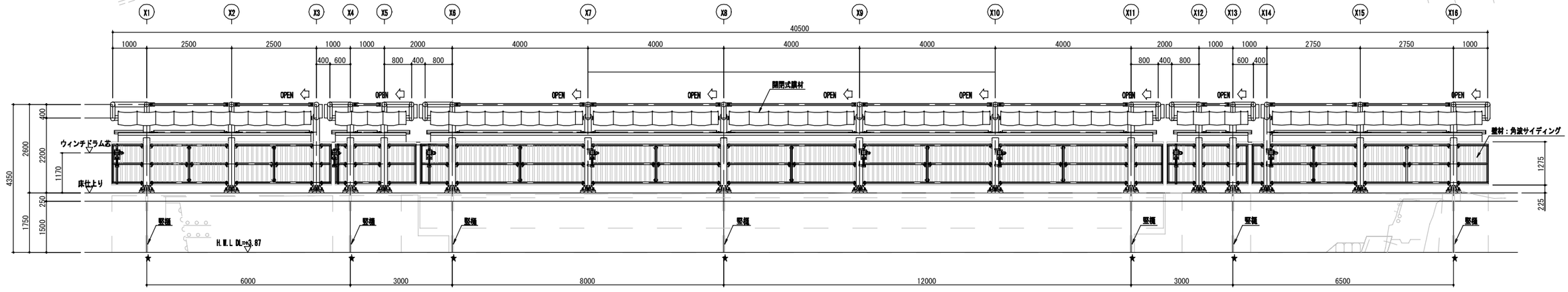
屋根伏図　S=1:120

※ ★印　竪樋位置を示す。

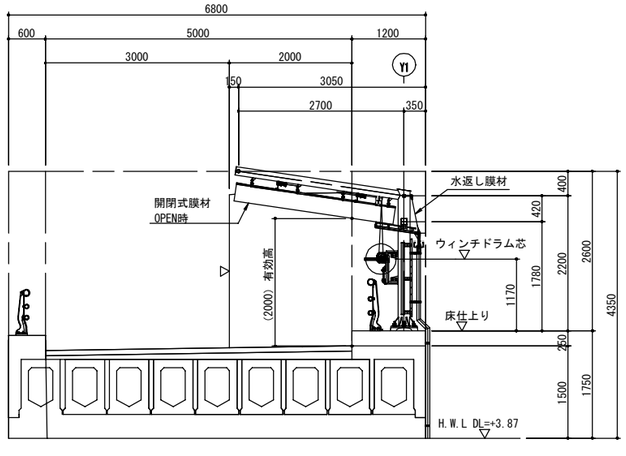


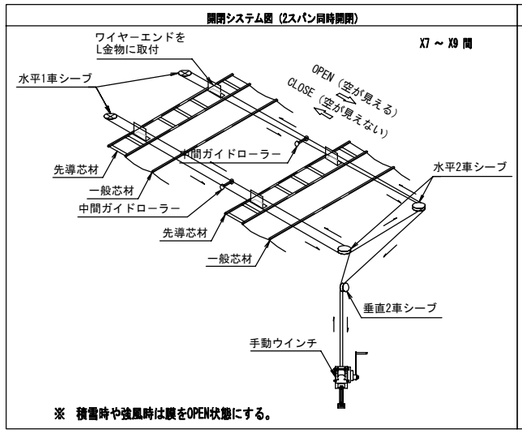
立面図　S=1:120

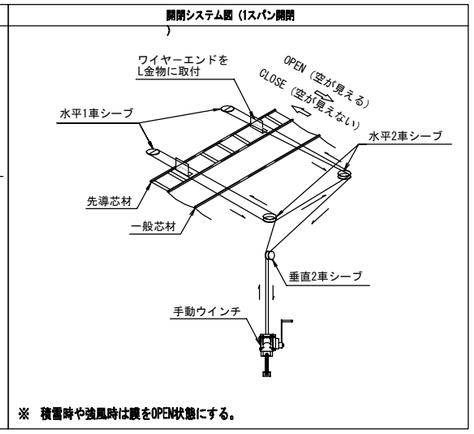
※ ★印　竪樋落し位置を示す。



断面図　S=1:100







仕上げリスト		
一般（張付）芯材	P-21.7φ×1.9t	STK400
先導芯材	2P-21.7φ×1.9t Dx=200	STK400
	格子材：FB-3×32 @300	SS400
サスペンダー	W.R-6.0φ（6×19）SUS	
開閉ワイヤー	W.R-6.0φ（6×37）SUS	
水受けキャンバス下地材	P-34.0φ×2.3t @900内外	STK400
手動ウィンチ	100kg用（8台）	
軒樋	[-150×75×15×1.5t（SUS フッ素焼付塗装）7ヶ所	
竪樋	P-60.5φ×1.5t（SUS フッ素焼付塗装）7 本	
膜材	膜材名：５Ｒ－Ｆ	
	建築基準法第37条第二号（材料認定）　MMEM-0021	
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号　UW-9010	

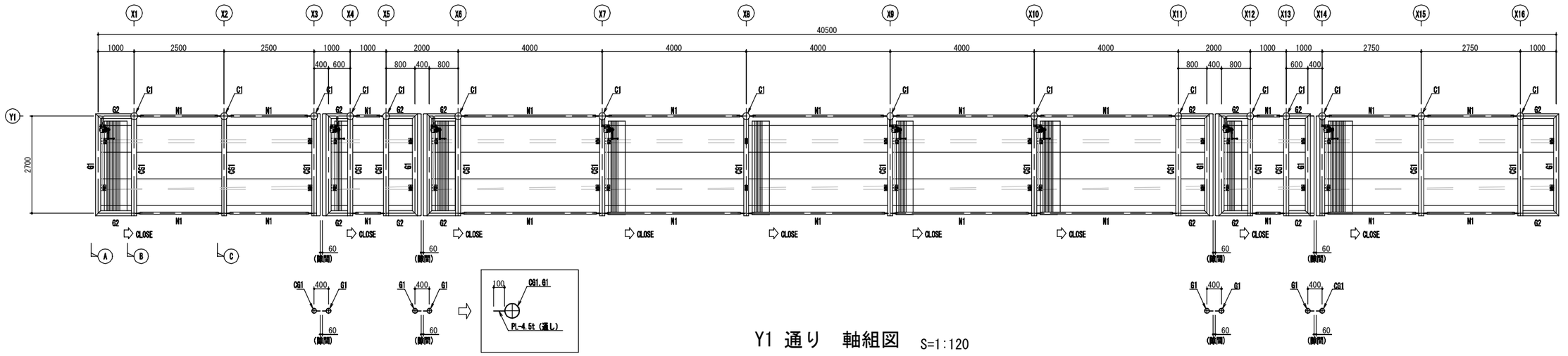
特記）シーブ・ブルック車・吊り金具はSUS製とする。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	15
下関市ボートレース企業局			

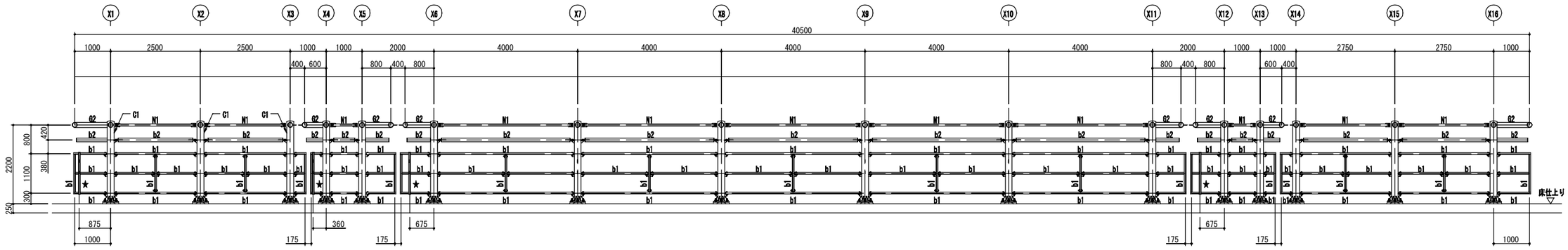
半屋外上屋(3)詳細図（その2）

小屋伏図　S=1:120

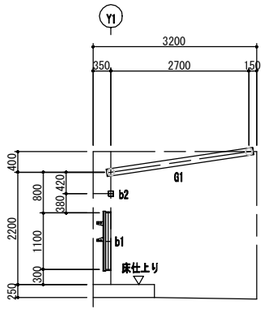


Y1 通り　軸組図　S=1:120

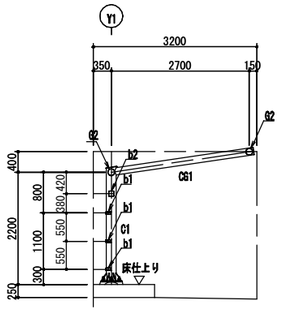
※ ★印　ジョイント（サヤ管）位置を示す。



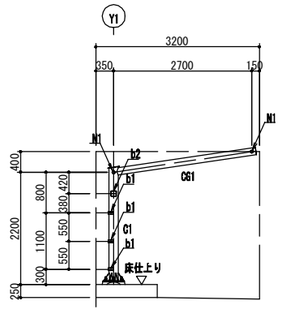
A 矢視　軸組図　S=1:120



B 矢視　軸組図　S=1:120



C 矢視　軸組図　S=1:120



MEMBER LIST

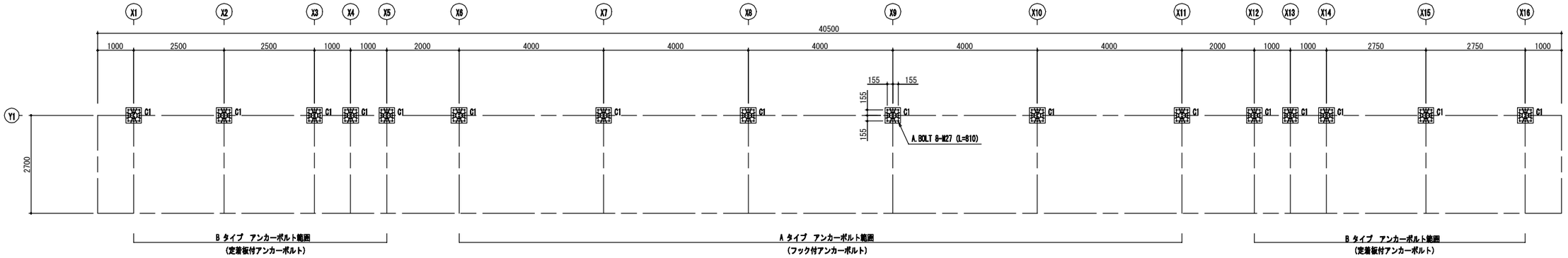
符号	部材		材質
C1	P-190.7φ×6.3t		STK400
CG1	P-139.8φ×4.5t		STK400
G1	P-139.8φ×4.5t		STK400
G2	P-139.8φ×4.5t		STK400
N1	P-60.5φ×2.3t		STK400
b1	□-100×50×2.3t	サイディング用下地材	STKR400
b2	□-100×100×3.2t	軒樋受け用支持材	STKR400
PL 類			SS400

原図:A3、単位：mm

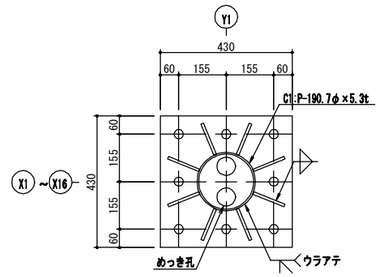
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その2）		
縮　尺	1:120	図面番号	16
下関市ボートレース企業局			

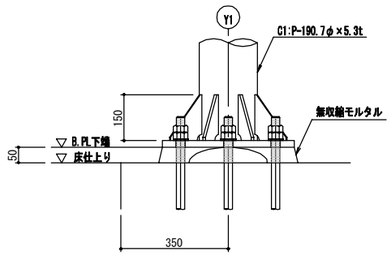
半屋外上屋(3)詳細図（その3）

アンカープラン　S=1:120



01　C1 柱脚詳細図　S=1:20

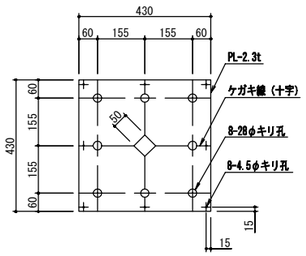




Base PL-22t (SM490C)	
8Rib PL-9t　h=150	
A.BOLT 8-M27(SNR400B)	
L=810（フック付き、Wナット止メ）	

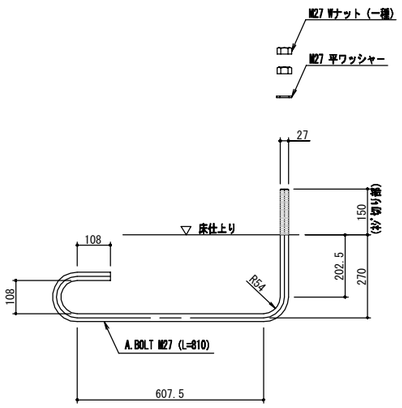
員数:16

02　C1 テンプレート詳細図　S=1:20



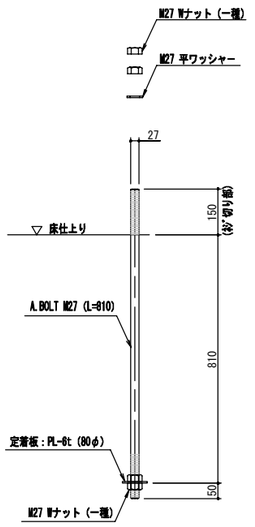
員数:16

03　A タイプ　アンカーボルト詳細図　S=1:20



員数:48

04　B タイプ　アンカーボルト詳細図　S=1:20



員数:80

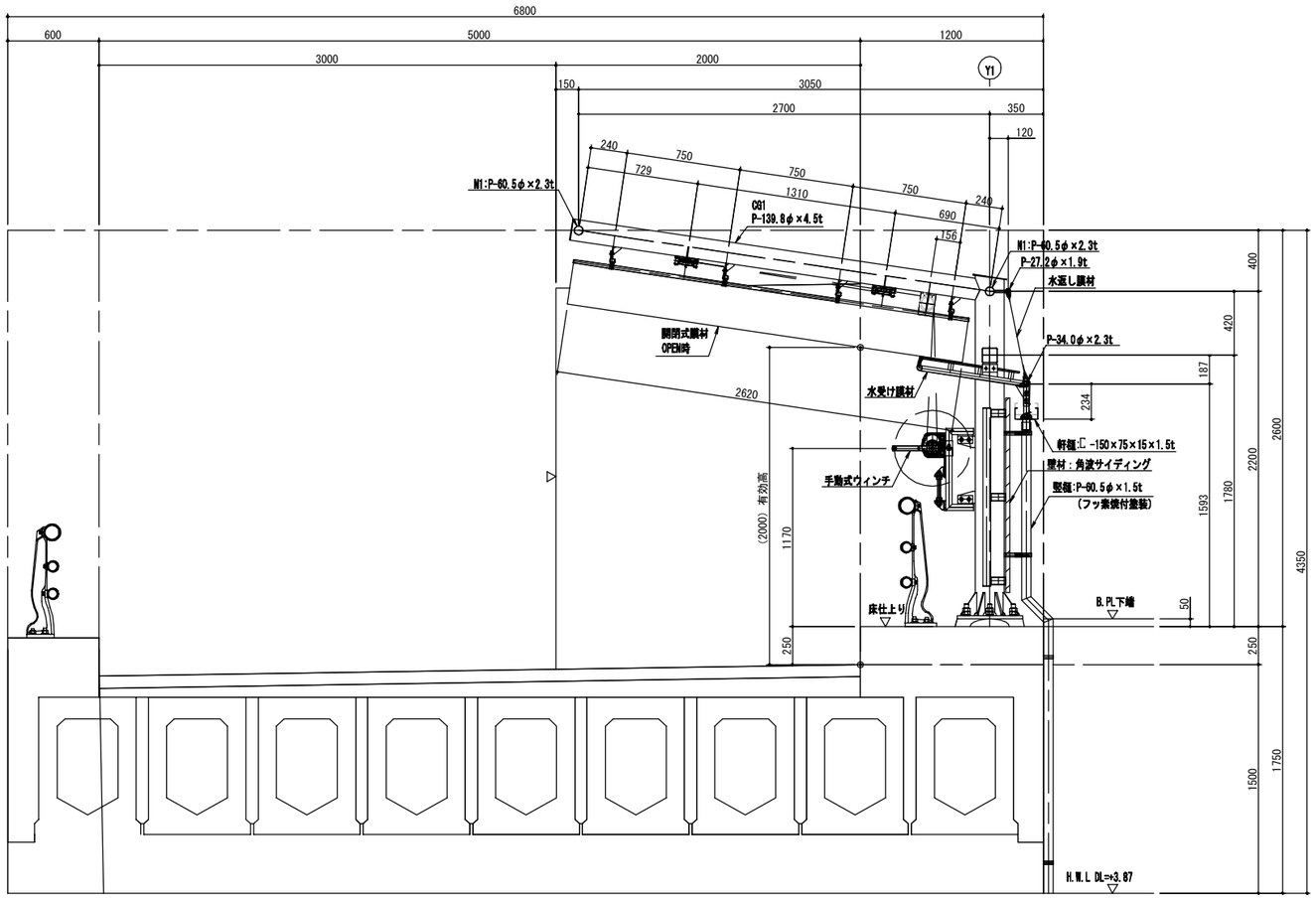
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その3）		
縮　尺	図示	図面番号	17
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その4）

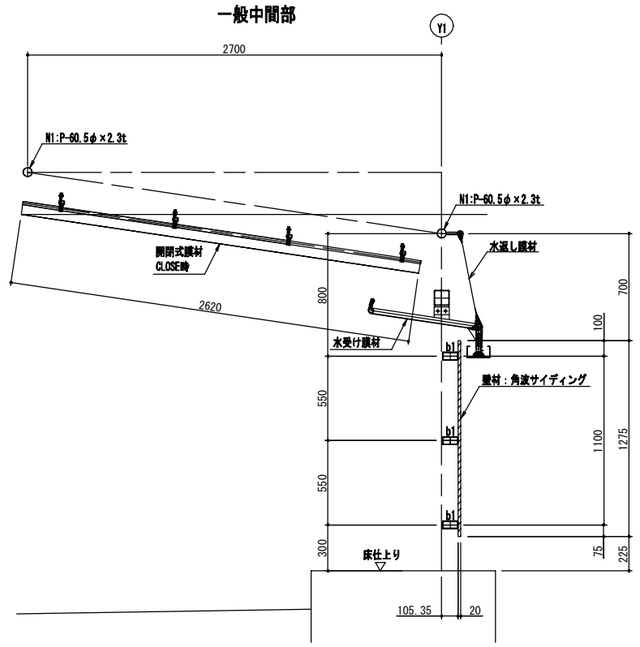
小屋伏図　S=1:40

CG1材部



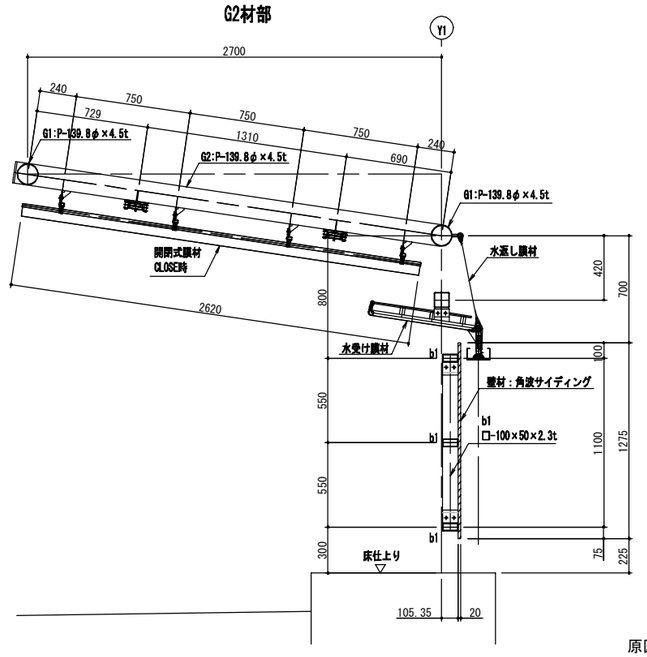
断面図　S=1:40

一般中間部



断面図　S=1:40

G2材部

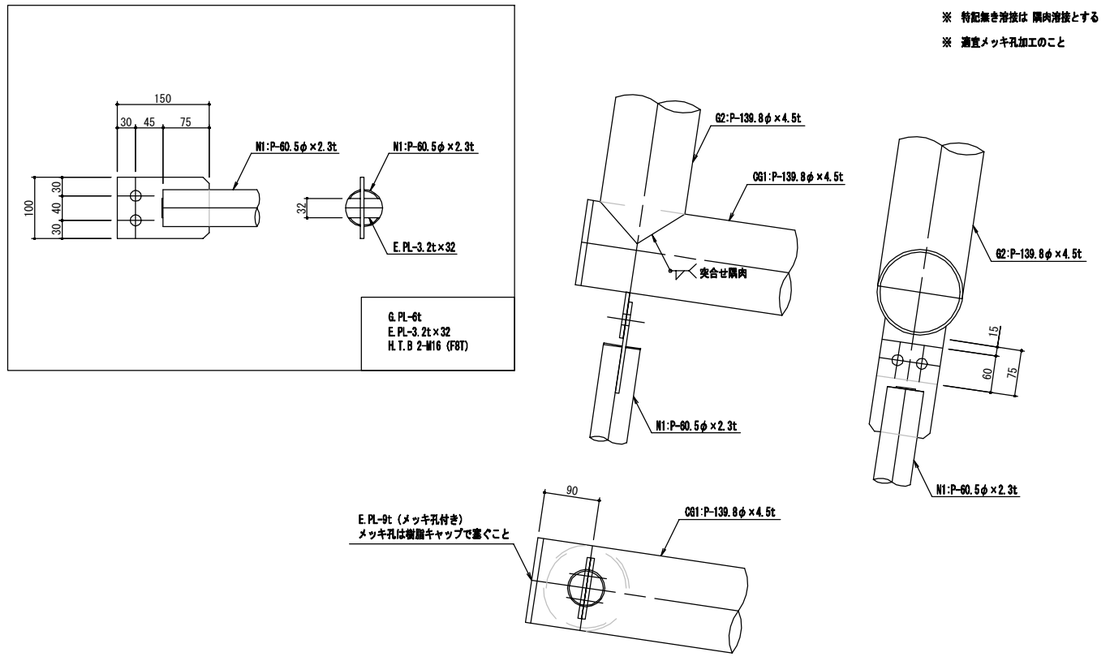


原図:A3、単位：mm

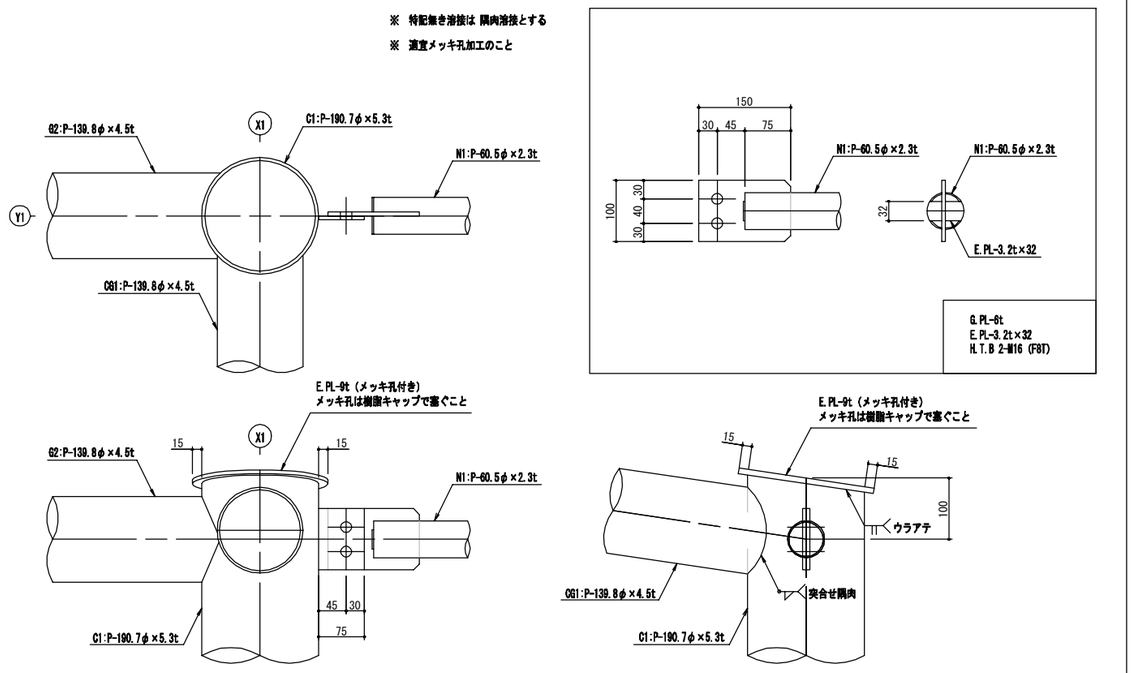
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その4）		
縮　尺	1:40	図面番号	18
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その5）

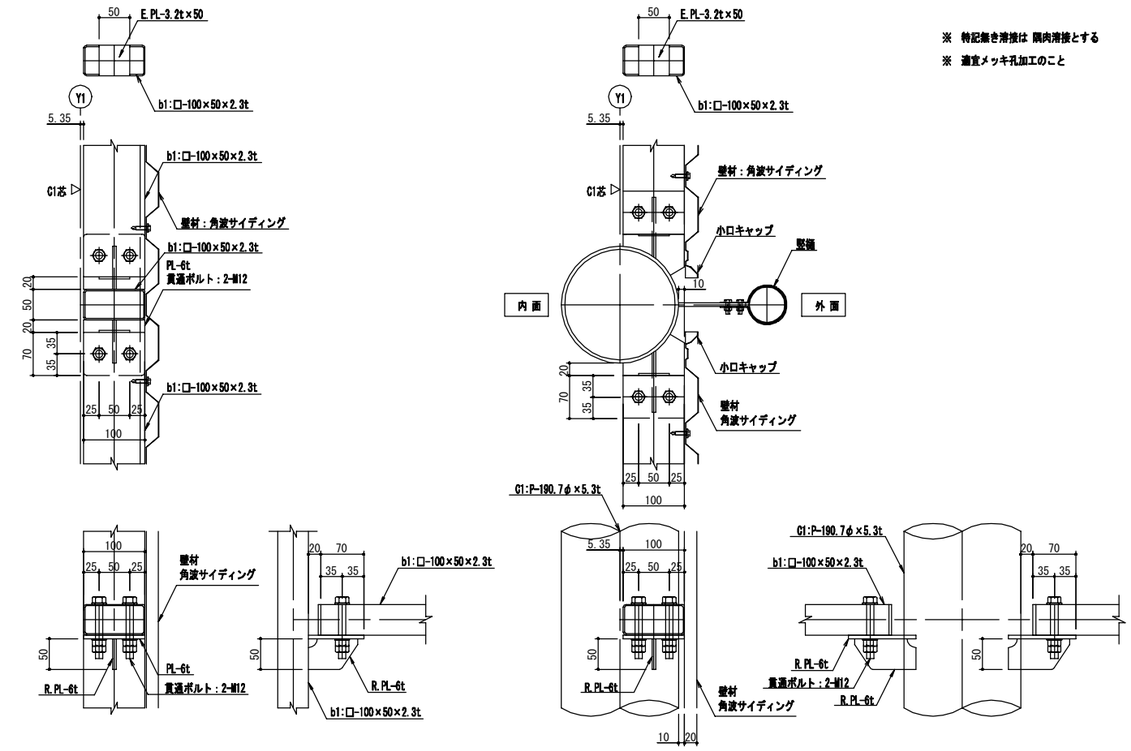
01 CG1+N1.G2 鉄骨取合い詳細図（水上側） S=1:10



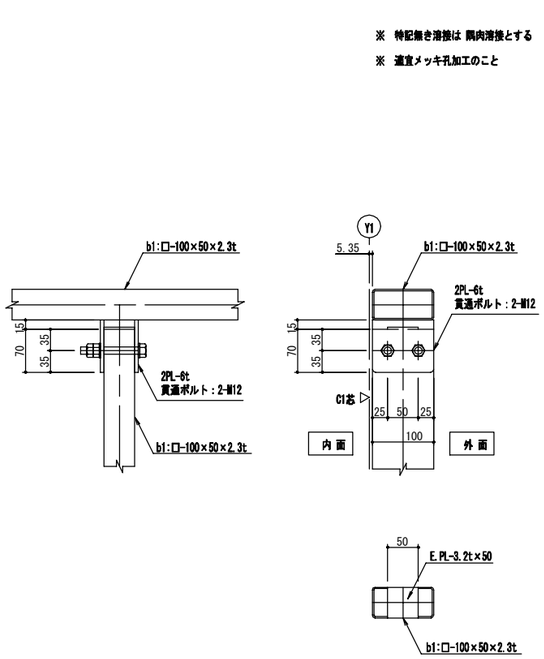
02 C1+N1.CG1 鉄骨取合い詳細図（水下側） S=1:10



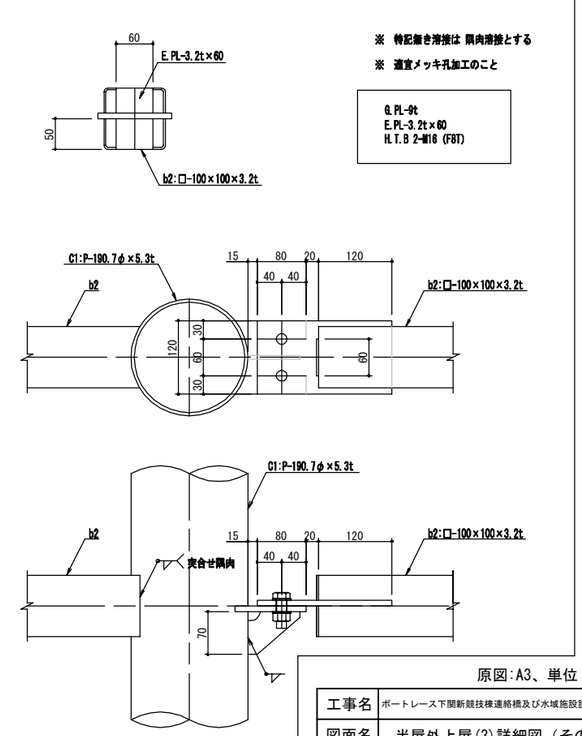
03 C1.b1+b1 鉄骨取合い詳細図 S=1:10



04 b1+b1 鉄骨取合い詳細図 S=1:10



05 C1+b2 鉄骨取合い詳細図 S=1:10



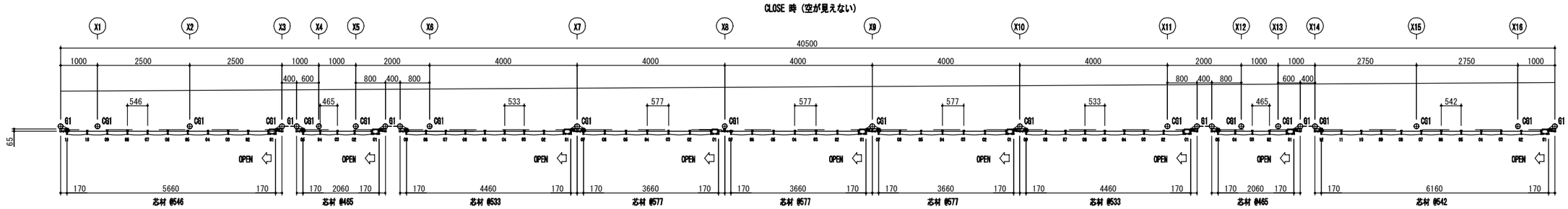
原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その5）		
縮　尺	1:10	図面番号	19
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その6）

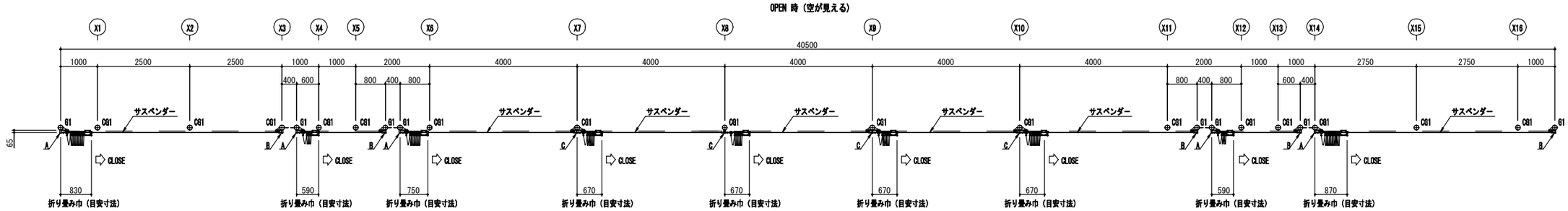
開閉式テント断面図　S=1:120

CLOSE 時（空が見えない）



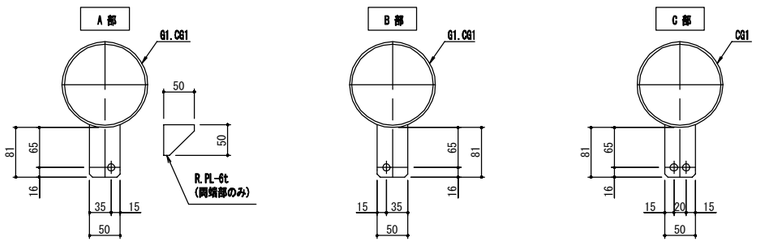
開閉式テント断面図　S=1:120

OPEN 時（空が見える）

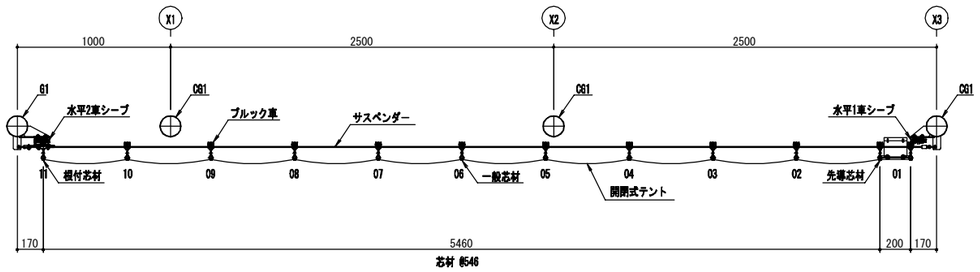


サスペンダー受け金具詳細図　S=1:10

サスペンダー受け
FB-50×6t 1-12φキリ孔 @750

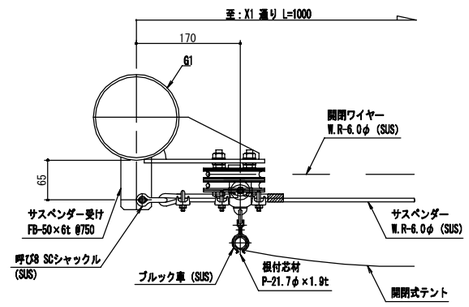


開閉式テント断面図　S=1:40



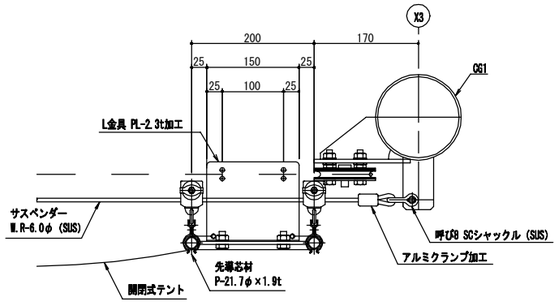
根付芯材廻り詳細図　S=1:10

CLOSE 時（空が見えない）



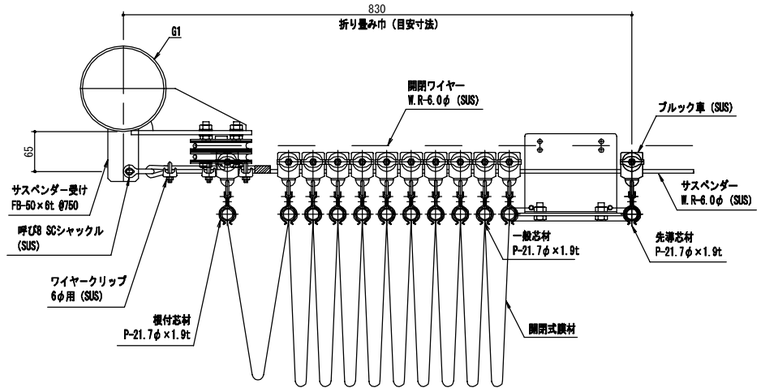
先導芯材廻り詳細図　S=1:10

CLOSE 時（空が見えない）



根付芯材廻り詳細図　S=1:10

OPEN 時（空が見える）



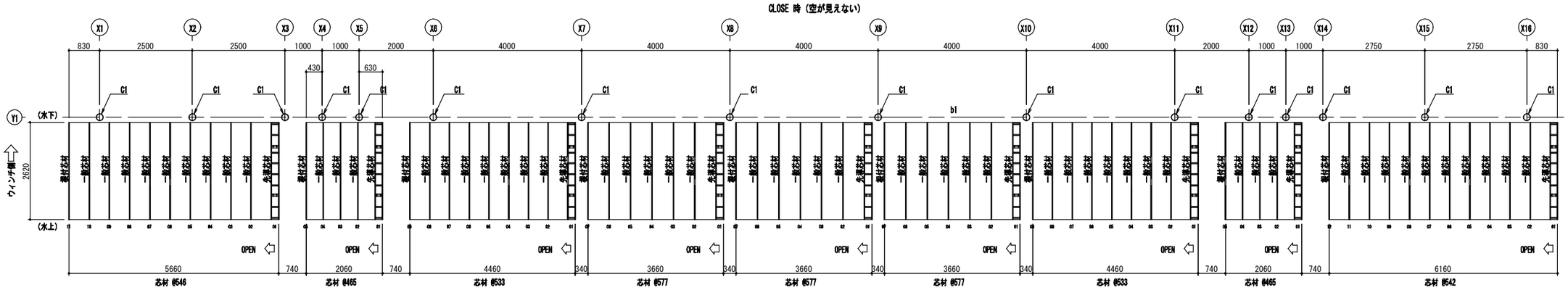
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その6）		
縮　尺	図示	図面番号	20
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その7）

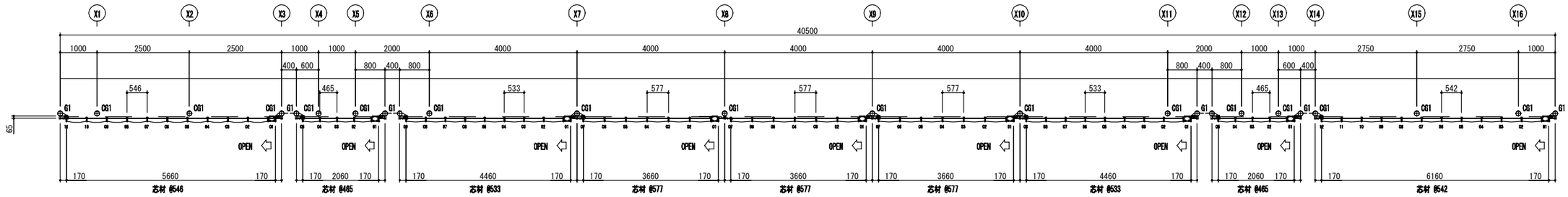
開閉式テント伏図　S=1:120

CLOSE 時（空が見えない）



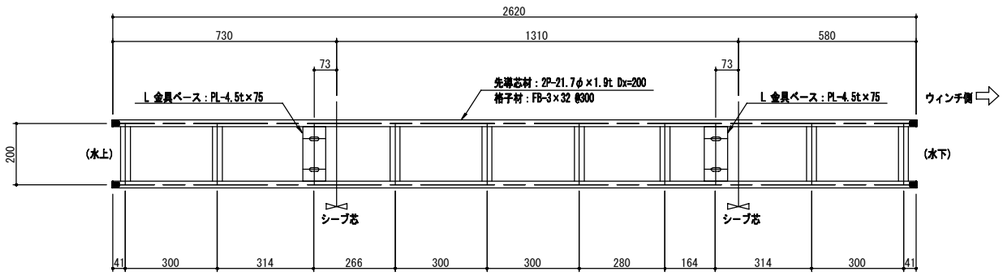
開閉式テント断面図　S=1:120

CLOSE 時（空が見えない）



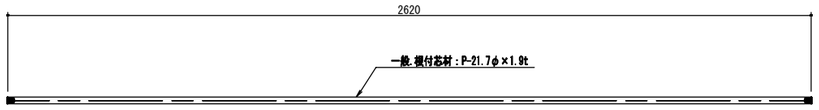
先導芯材　詳細図　S=1:20

※ 必要数：09本



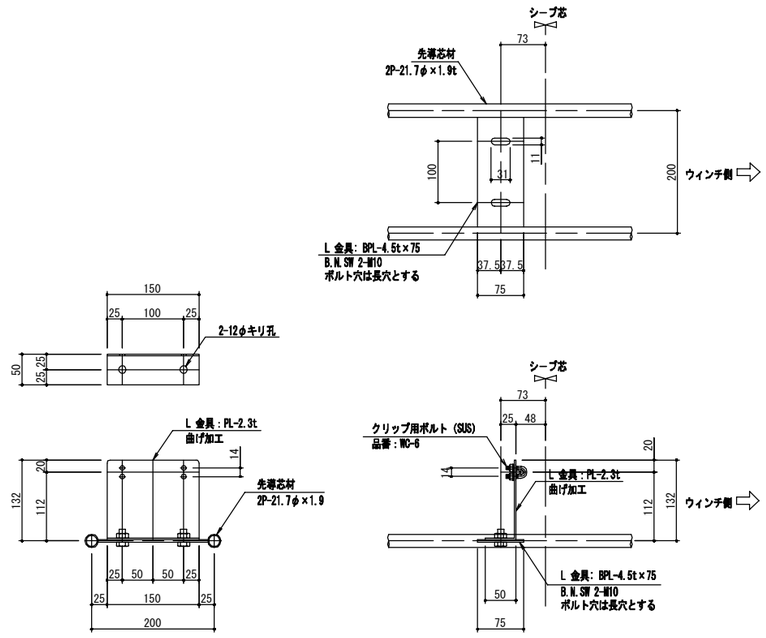
一般、根付芯材　詳細図　S=1:20

※ 必要数：63本



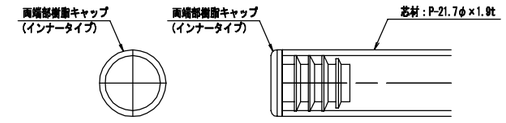
L金具廻り詳細図　S=1:10

※ 必要数：18ヶ



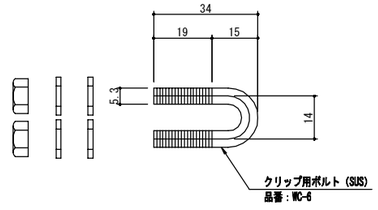
芯材端部納まり詳細図　S=1:2

※ 必要数：162ヶ



クリップ用ボルト詳細図　S=1:2

※ 必要数：36ヶ

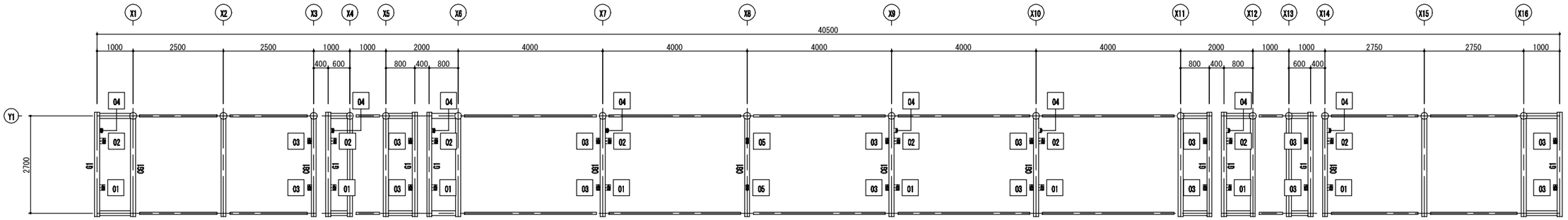


原図：A3、単位：mm

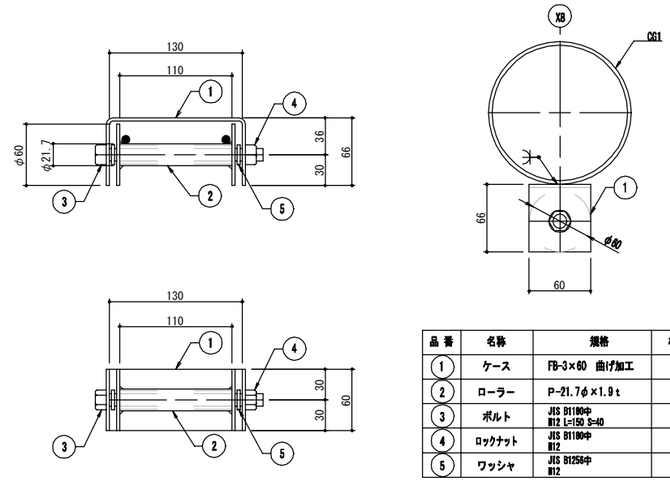
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その7）		
縮　尺	図示	図面番号	21
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その8）

シーブ　位置図　S=1:120



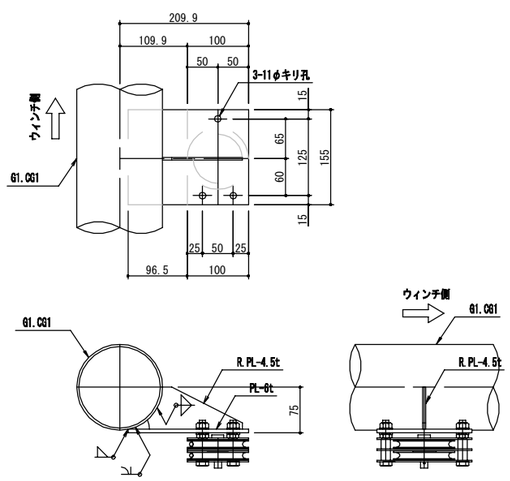
05　中間ガイドローラ詳細図　S=1:6



品番	名称	規格	材質
①	ケース	FB-3×60　曲げ加工	SS400
②	ローラー	P-21.7φ×1.9t	SUS
③	ボルト	JIS B1180中 M12 L=150 S=40	SUS
④	ロックナット	JIS B1180中 M12	SUS
⑤	ワッシャ	JIS B1256中 M12	SUS

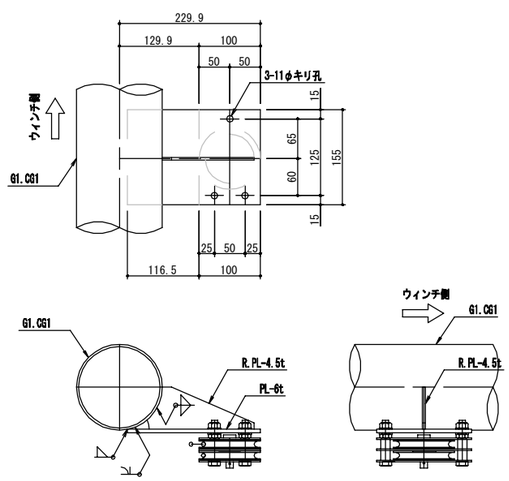
必要数：02ヶ

01　シーブ（水平2車）詳細図（ウィンチから遠い側）　S=1:10



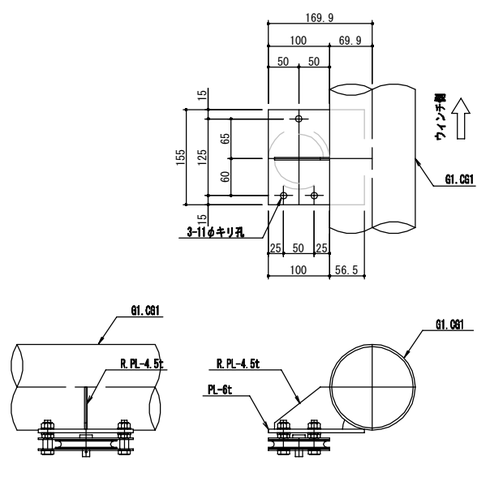
必要数：06ヶ

02　シーブ（水平2車）詳細図（ウィンチから近い側）　S=1:10



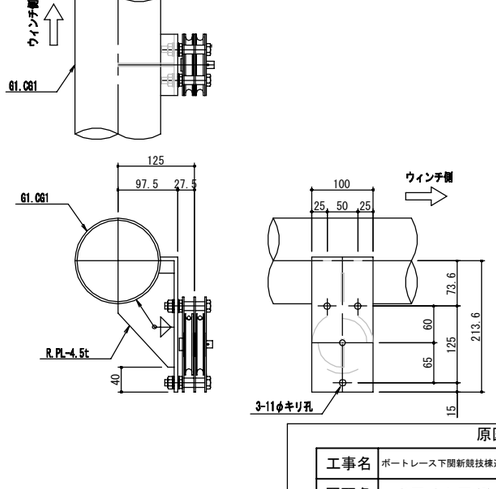
必要数：06ヶ

03　シーブ（水平1車）詳細図　S=1:10



必要数：16ヶ

04　シーブ（垂直2車）詳細図　S=1:10



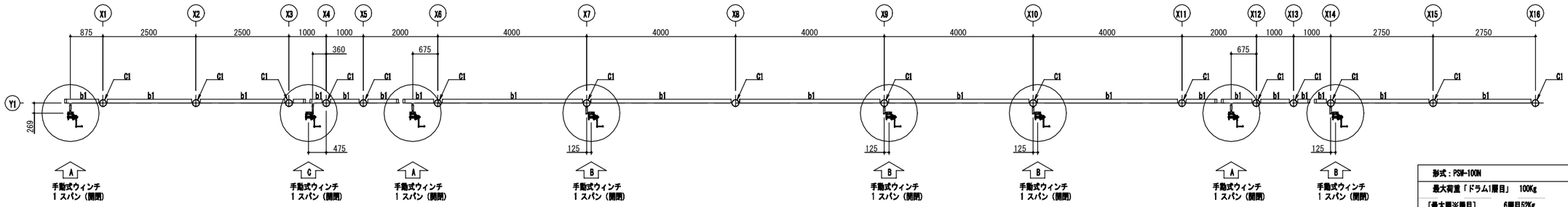
必要数：08ヶ

原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その8）		
縮　尺	図示	図面番号	22
下関市ボートレース企業局			

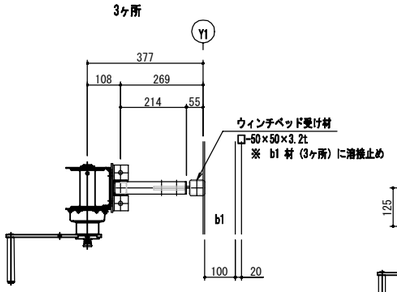
半屋外上屋(3)詳細図（その9）

手動式ウィンチ伏図　S=1:120

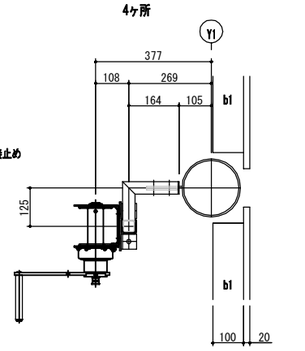


形式：PSW-100N	
最大荷重「ドラム1層目」	100Kg
[最大層※層目]	6層目52Kg
手動力：116N	
ハンドル1回転当たりの巻取り長さ：172.7mm	
使用ロープ径：5.0φ（SUS）	
ロープ収容能力：30m	
製品質量：7.5kg	
減速比：1:1	

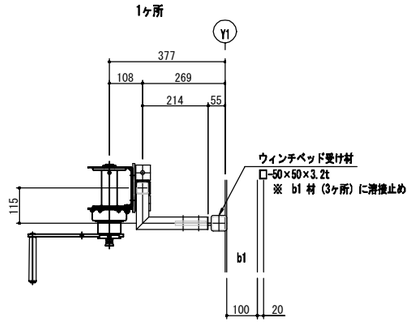
A 部　詳細図　S=1:20



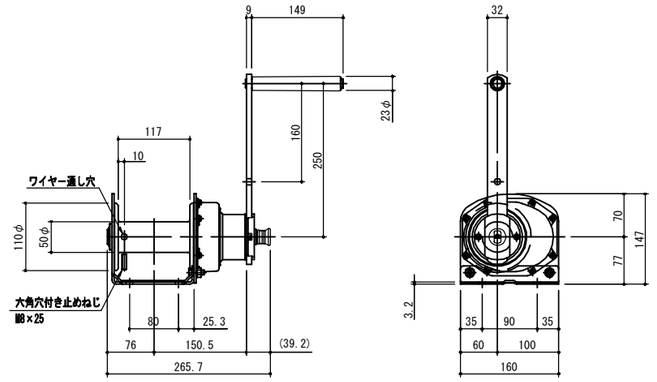
B 部　詳細図　S=1:20



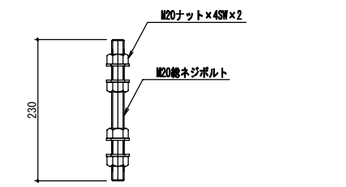
C 部　詳細図　S=1:20



① PSW-500 外形図　S=1:10

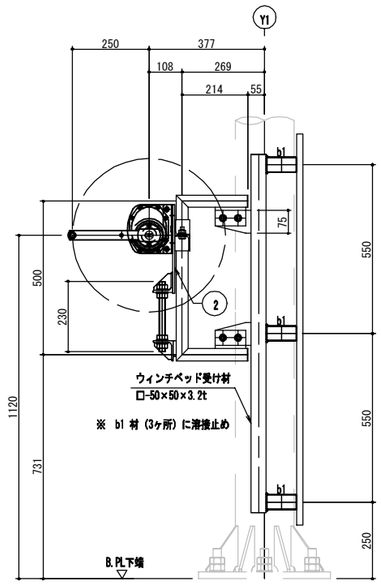


④ 張力導入ボルト図　S=1:10

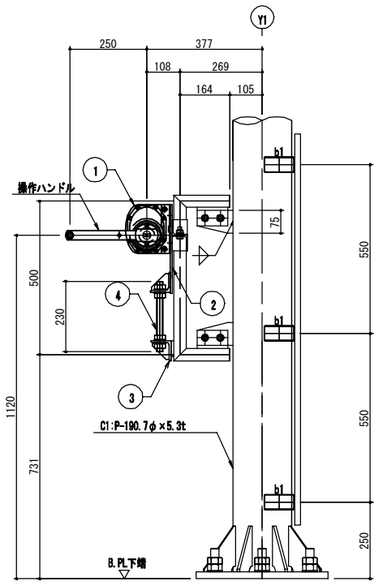


手動式ウィンチ伏図　S=1:60

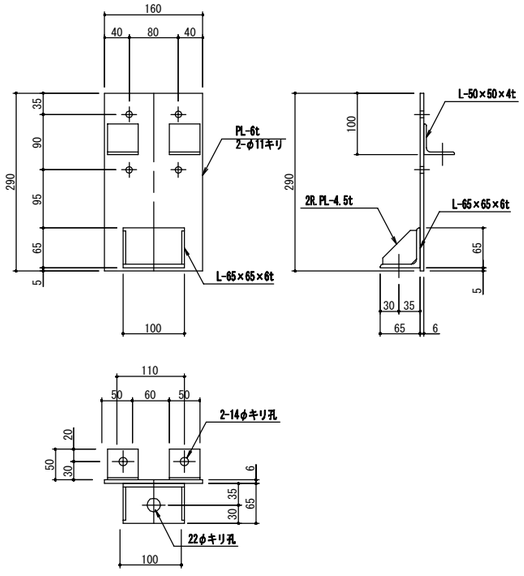
A 部　詳細図　S=1:20



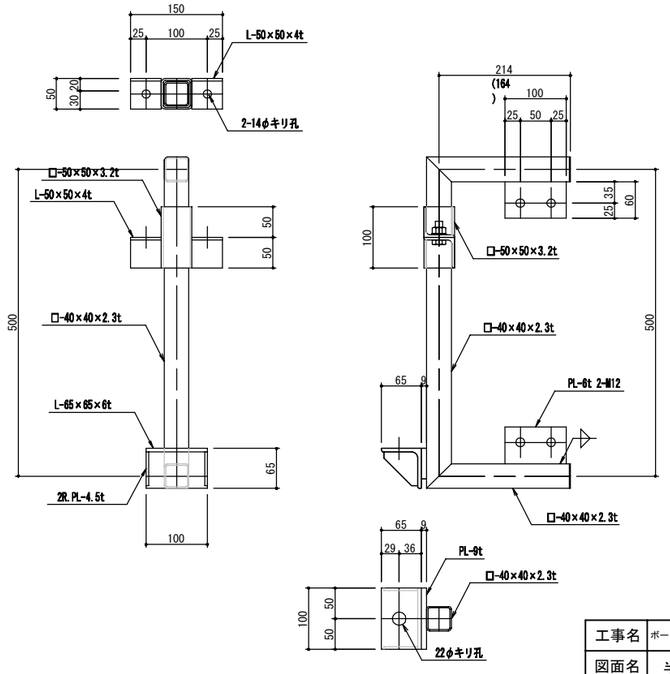
B 部　詳細図　S=1:20



② ウィンチベッドスライダー　S=1:10



③ ウィンチベッドガイド　S=1:10



原図:A3、単位：mm

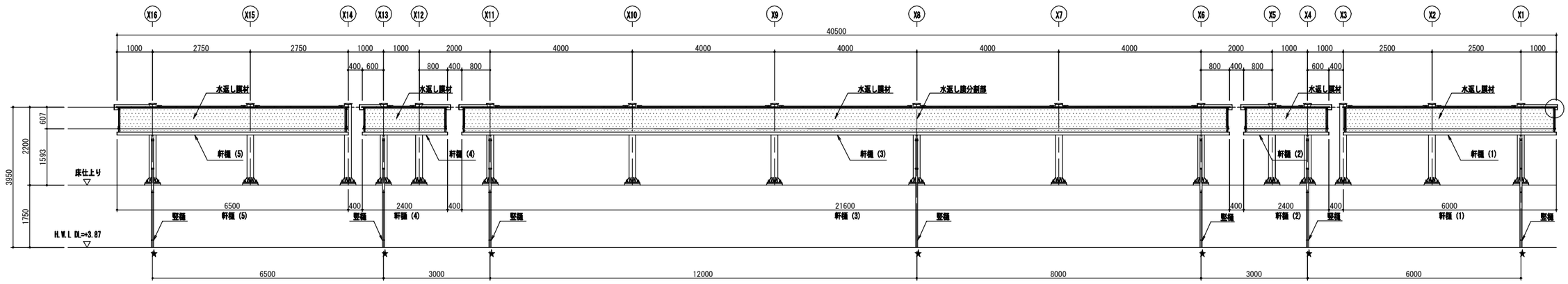
※ 特記無き溶接は 隅肉溶接とする
※ 適宜メッキ孔加工のこと

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その9）		
縮　尺	図示	図面番号	23
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その10）

イ 矢視　立面図　S=1:120

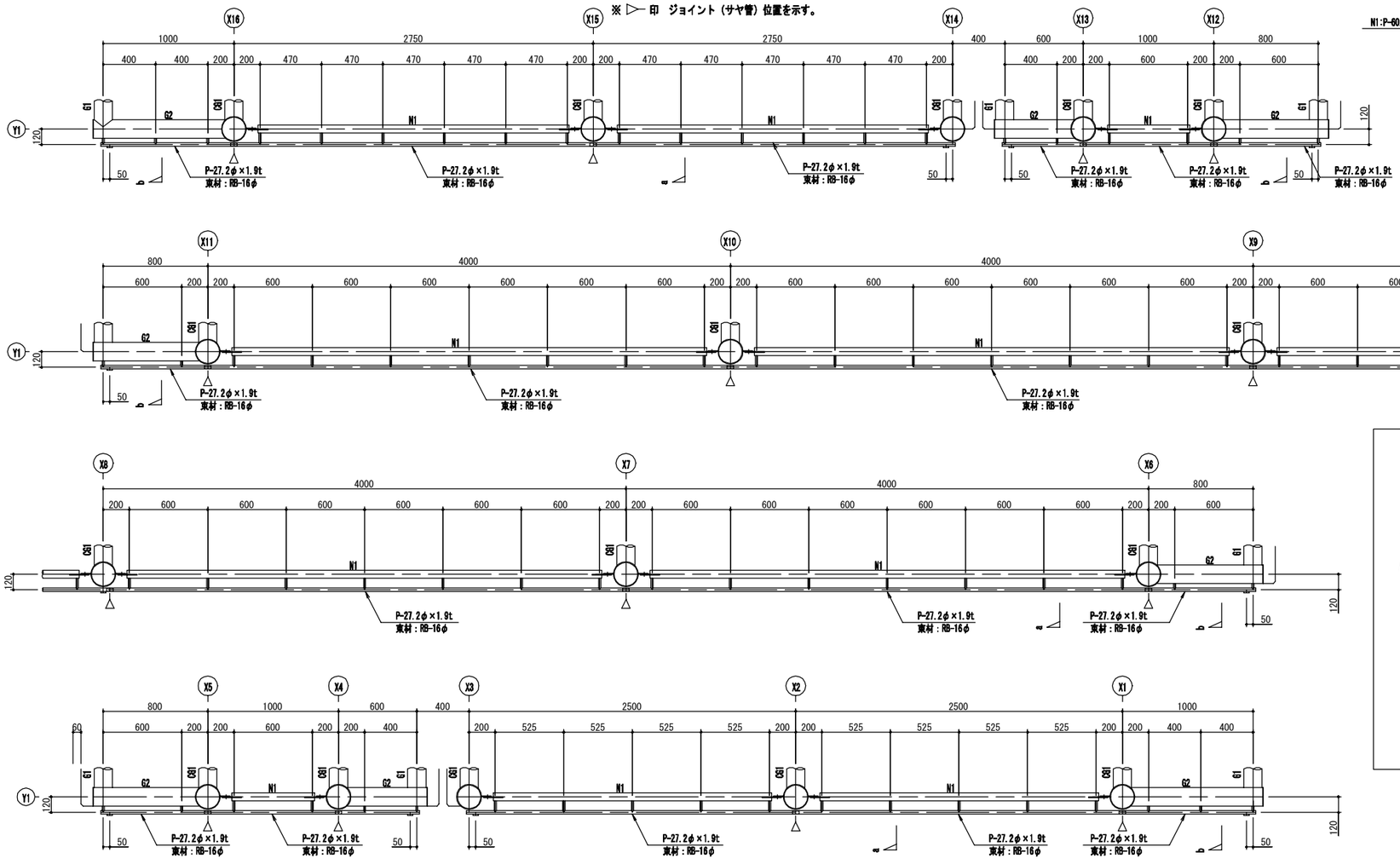
※ ★印　竪樋常し位置を示す。



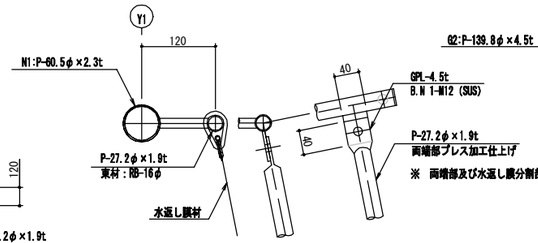
上部フレーム伏図　S=1:40

水返し膜材用

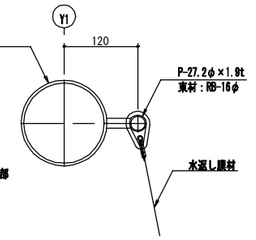
※ ▷ 印　ジョイント（サヤ管）位置を示す。



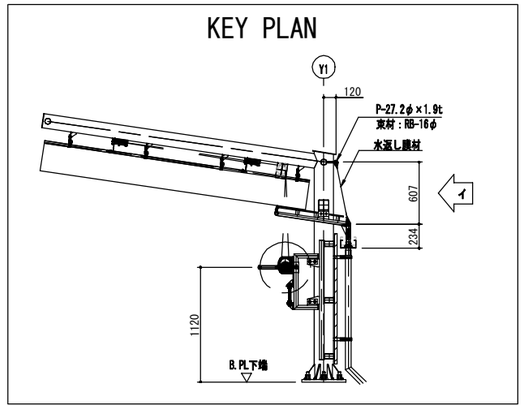
a 矢視　断面図　S=1:10



b 矢視　断面図　S=1:10



KEY PLAN

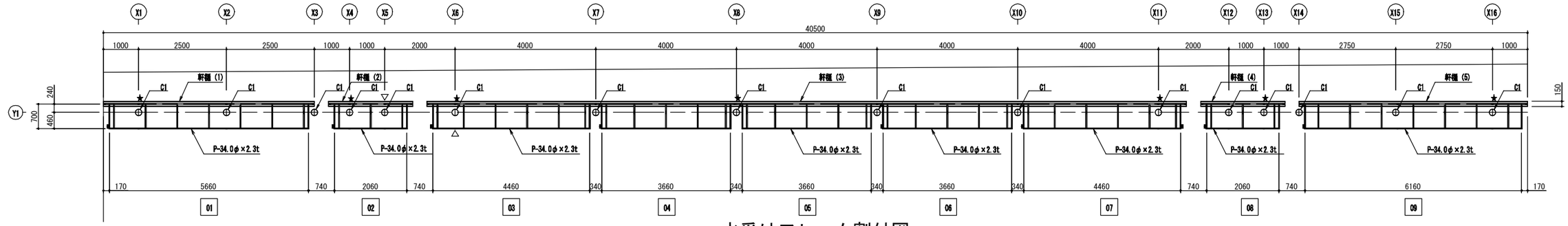


原図:A3、単位：mm

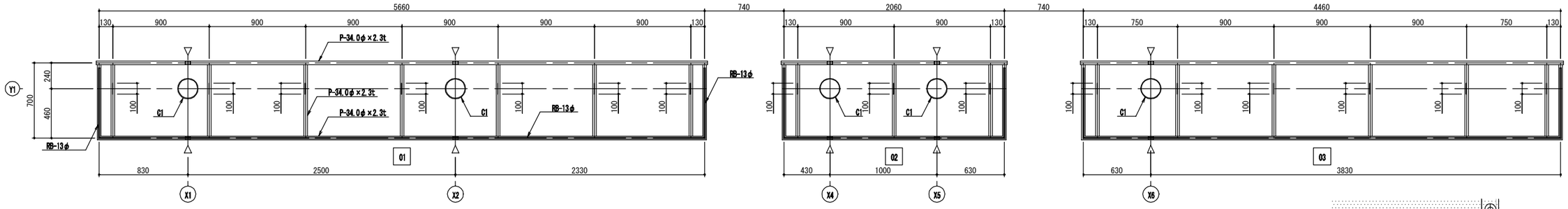
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その10）		
縮　尺	図示	図面番号	24
下関市ボートレース企業局			

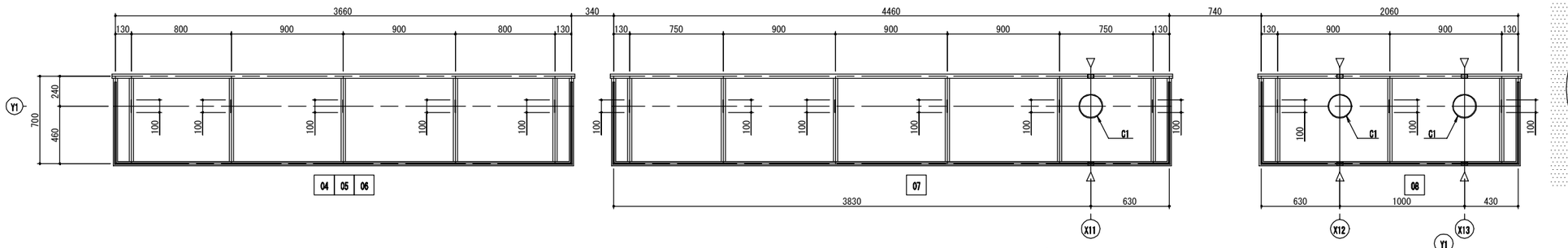
半屋外上屋(3)詳細図（その11）

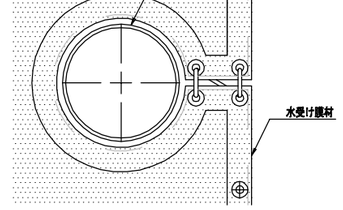
水受けフレーム伏図　S=1:120　※★印　整極位置を示す。



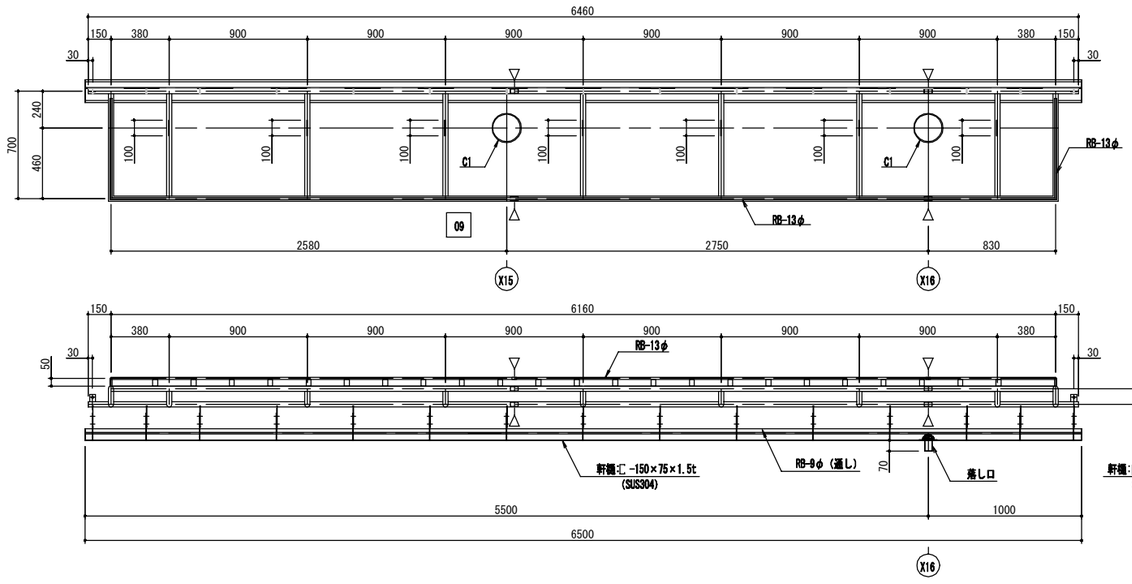
水受けフレーム割付図　S=1:40　※▷印　ジョイント（サヤ管）位置を示す。

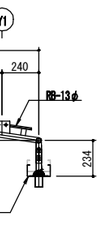






水受けフレーム断面図　S=1:10



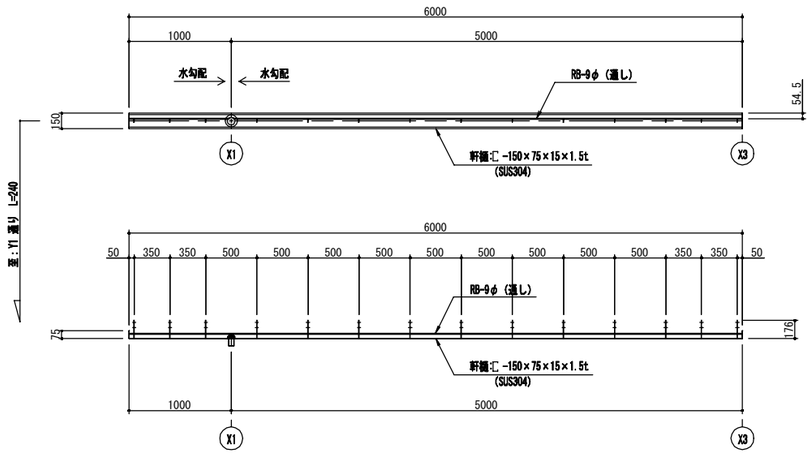


原図:A3、単位：mm

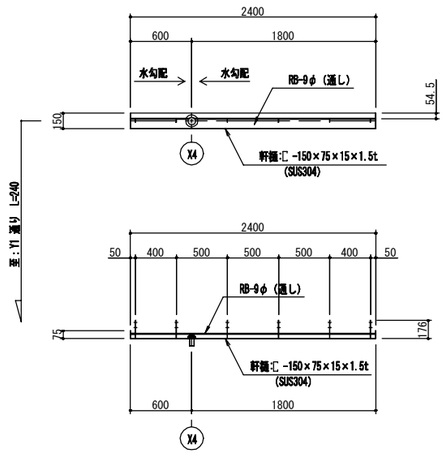
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その11）		
縮　尺	図示	図面番号	25
下関市ボートレース企業局			

半屋外上屋(3)詳細図（その12）

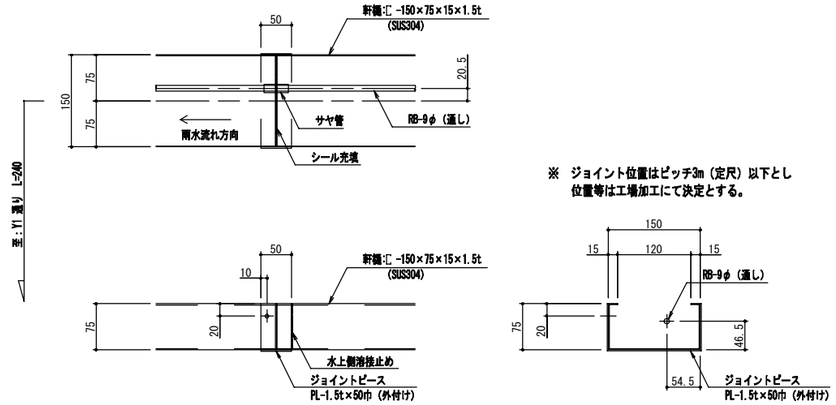
軒樋（1）詳細図 S=1:60



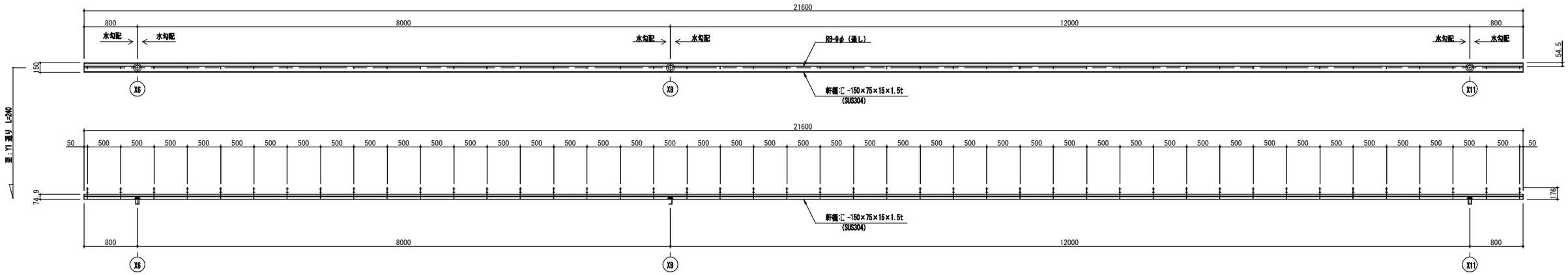
軒樋（2）詳細図 S=1:60



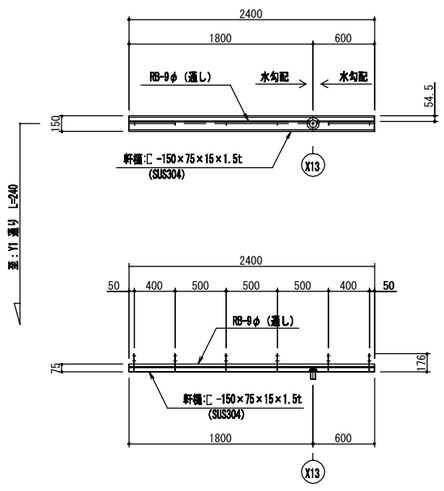
軒樋ジョイント部詳細図 S=1:10



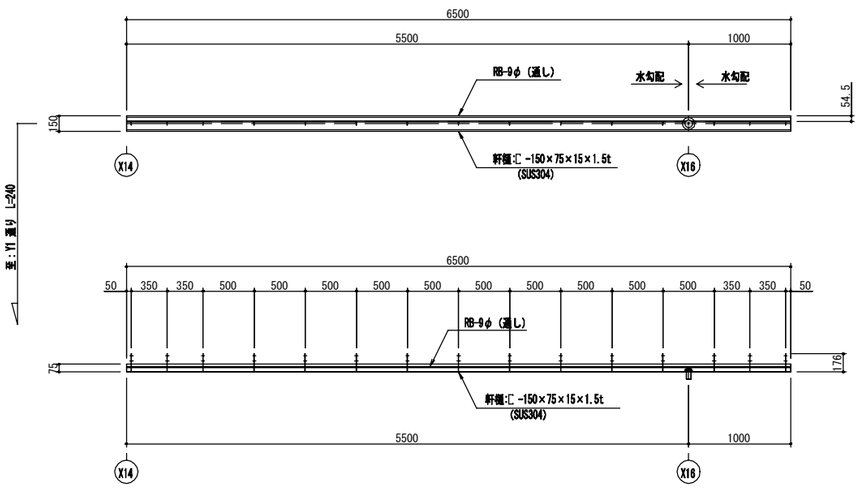
軒樋（3）詳細図 S=1:60



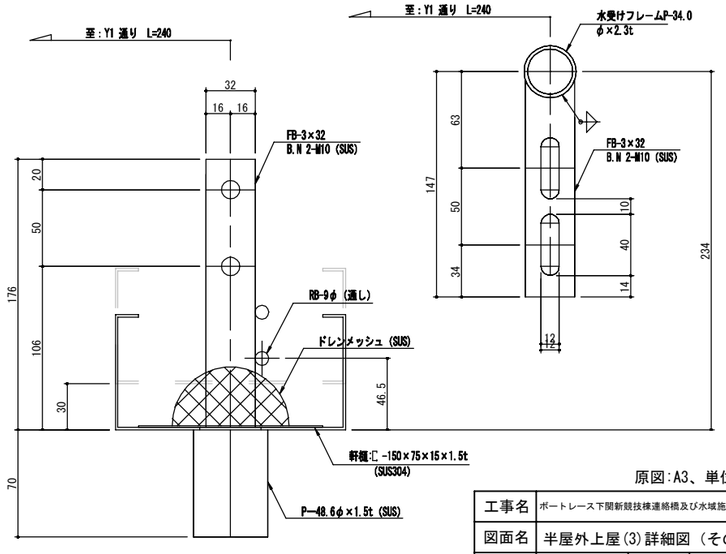
軒樋（4）詳細図 S=1:60



軒樋（3）詳細図 S=1:60



軒樋 詳細図 S=1:4

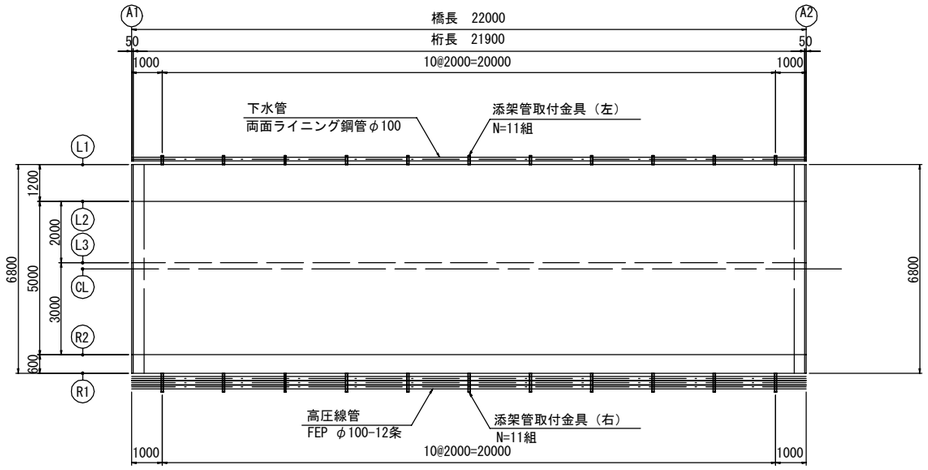


原図:A3、単位：mm

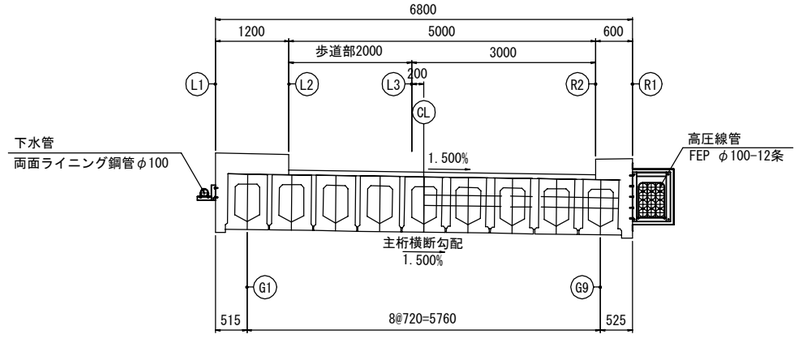
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	半屋外上屋(3)詳細図（その12）		
縮　尺	図示	図面番号	26
下関市ボートレース企業局			

添架物取付（参考）

平面図　S=1:200



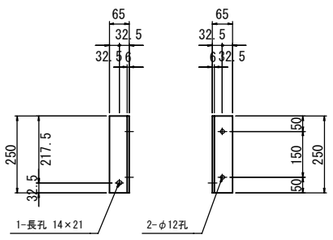
断面図　S=1:100



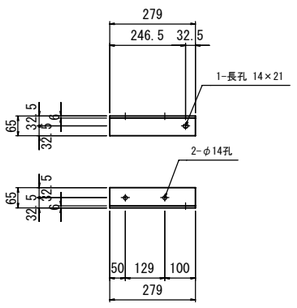
加工図　S=1:20

左側

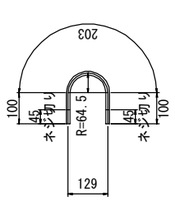
① 等辺山形鋼
L-65×65×6×250



② 等辺山形鋼
L-65×65×6×279

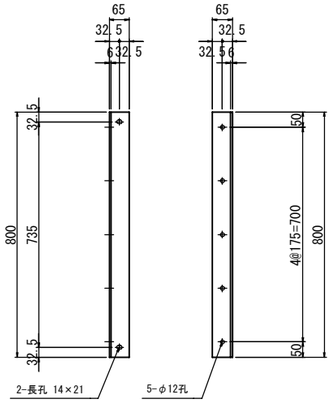


③ U字ボルト
M12×410

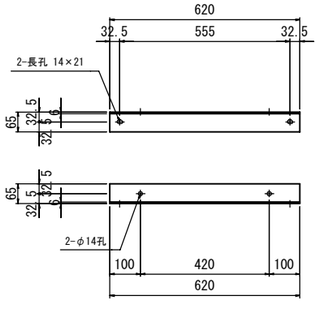


右側

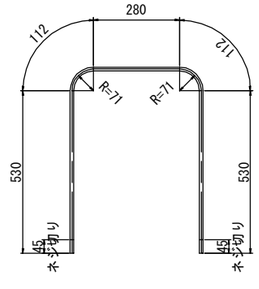
④ 等辺山形鋼
L-65×65×6×800



⑤ 等辺山形鋼
L-65×65×6×620

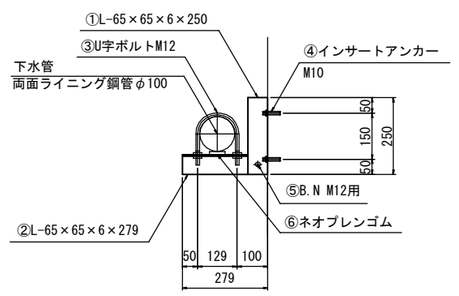


⑥ U字ボルト
M12×1570

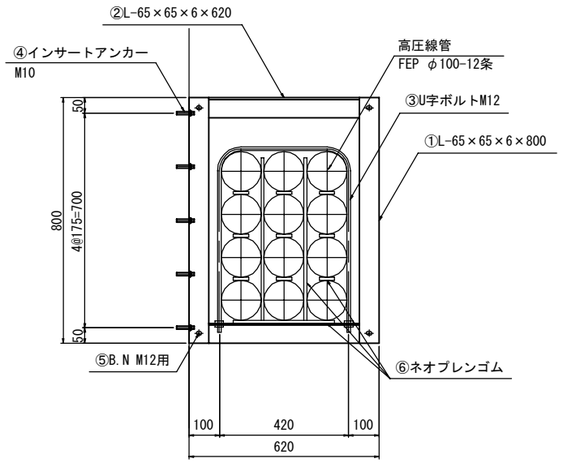


取付詳細図　S=1:20

左側



右側



材料表（左側）

（1組当り）

符号	名称	仕様	単位	数量	摘要
下水管　φ100-1条					
1	等辺山形鋼	L-65×65×6×250　N=1	kg	1.48	W=5.91kg/m
2	等辺山形鋼	L-65×65×6×279　N=1	〃	1.65	〃
3	U字ボルト	M12 × 410	個	1	ﾅｯﾄﾜｯｼｬｰ付
4	取付ボルト	ホールインアンカー　M10	組	2	
5	ボルト・ナット	M12	〃	1	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50,t=10	m	0.05	

注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

材料表（右側）

（1組当り）

符号	名称	仕様	単位	数量	摘要
高圧線管　φ100-12条					
1	等辺山形鋼	L-65×65×6×800　N=2	kg	9.46	W=5.91kg/m
2	等辺山形鋼	L-65×65×6×620　N=2	〃	7.33	〃
3	U字ボルト	M12 × 1570	〃	1	〃
4	取付ボルト	ホールインアンカー　M10	組	5	
5	ボルト・ナット	M12	〃	4	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50,t=10	m	1.84	

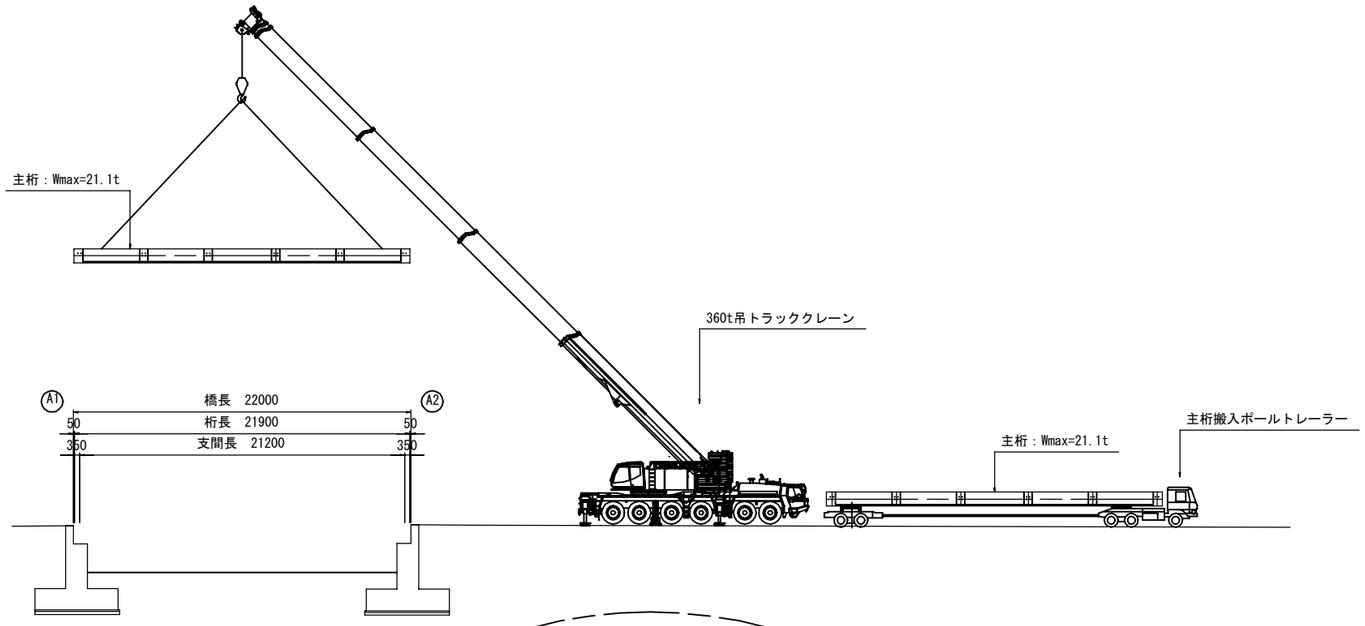
注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

原図:A3、単位：mm

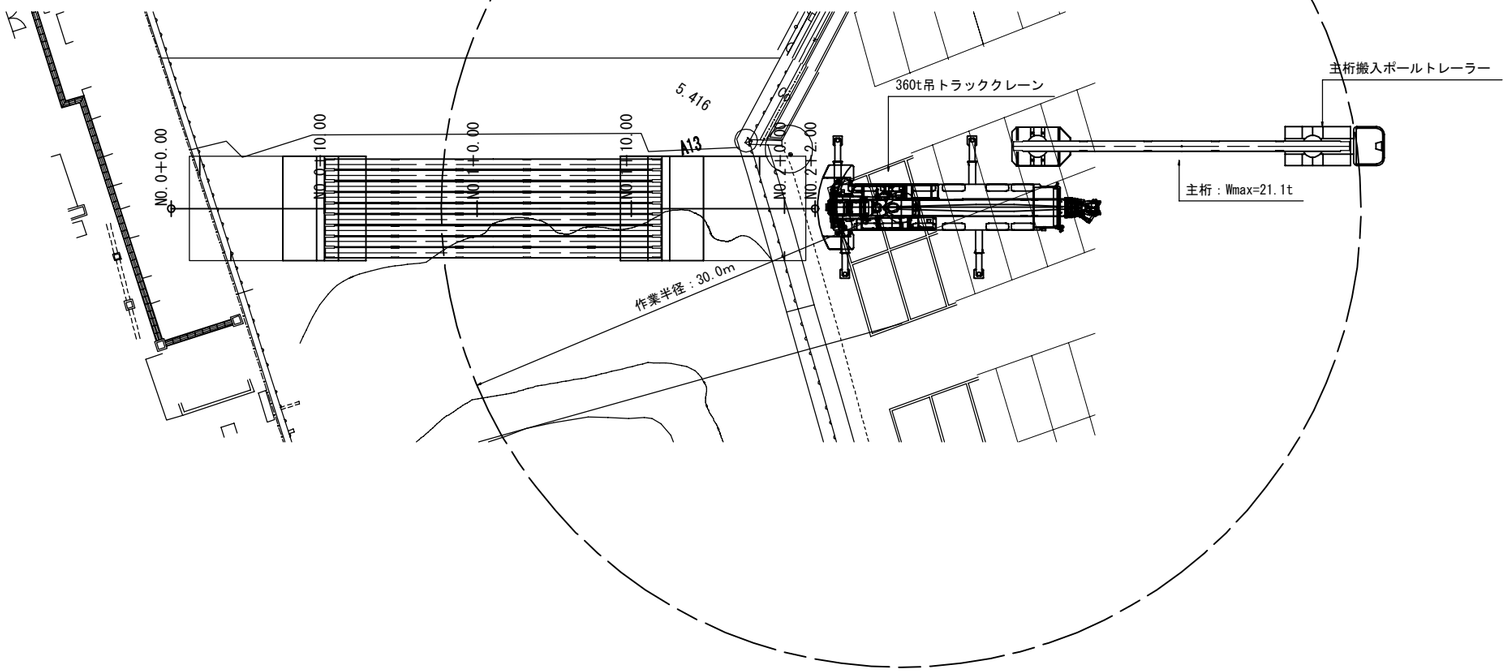
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	添架物取付（参考）		
縮　尺	図示	図面番号	27
下関市ボートレース企業局			

架設要領図（参考）

側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



定格総荷重表

（参考：タダノ オールテレーンクレーン GA-3600N型）

ブーム長さ / 作業半径	13.9 m	18.2 m	26.7 m	35.2 m	43.7 m	52.2 m	60.0 m
11.0 m	84.5	90.5	85.4	79.2	65.0	44.7	
12.0 m	66.6	82.5	78.6	73.2	64.8	44.7	
14.0 m		67.2	67.4	64.9	56.3	44.7	29.0
16.0 m		47.8	59.5	58.5	49.4	41.7	27.0
18.0 m			52.7	52.8	43.8	37.4	25.2
20.0 m			46.1	46.2	39.2	33.9	23.5
22.0 m			40.0	40.8	35.3	30.9	21.9
24.0 m			31.5	36.0	32.0	28.4	20.7
26.0 m				32.0	29.2	26.2	19.6
28.0 m				28.6	26.8	24.2	18.7
30.0 m				25.8	24.6	22.3	18.0
32.0 m				20.5	22.2	20.7	17.0

(A性能、ｶｳﾝﾀｳｪｲﾄ:105t、ｱｳﾄﾘｶﾞ幅:8.7m)　　単位： t

吊荷重

架設重量 = 主桁最大重量 21.1(t/本) ＋ フック等 1.4(t) ＝ 22.5(t/本当り)

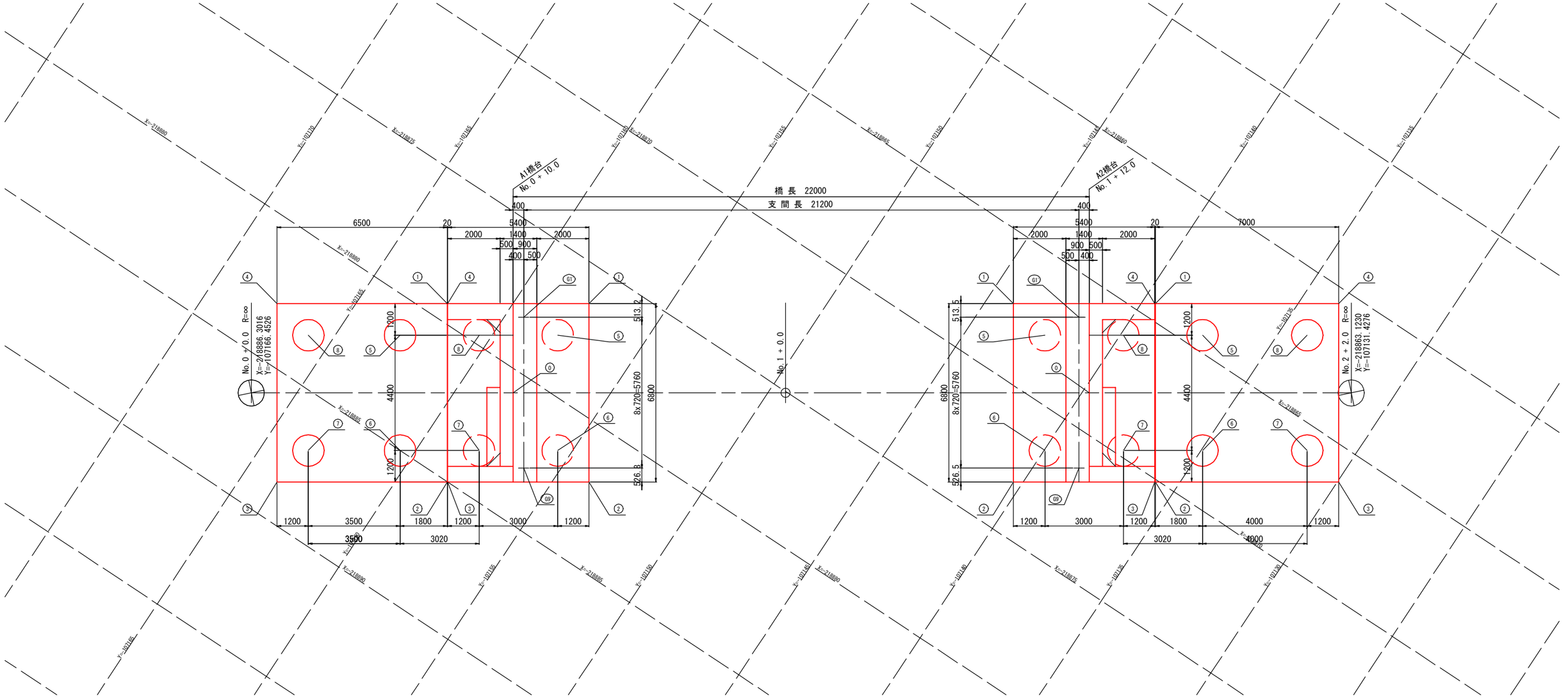
施工概要

1. PC桁の製作は専門工場で行い、運搬はポールトレーラーにて行う。
2. PC桁の架設は、360t吊トラッククレーンをA2橋台背面に設置して行う。
3. A2橋台背面へポールトレーラーを搬入し、360t吊トラッククレーンでPC桁を直接吊り上げ、終点側から順に架設を行う。
4. PC桁の架設完了後に、360t吊トラッククレーンを分解して搬出する。
5. 横組工・緊張工
   足場組立→シース・横締PC鋼材配置→コンクリート打設→養生
   →PC鋼材緊張・グラウト注入
6. 地覆工・防護柵工
   鉄筋組立→型枠組立→コンクリート打設→養生→防護柵工→足場解体

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	架設要領図（参考）		
縮　尺	図示	図面番号	28
下関市ボートレース企業局			

下部工座標図



A1橋台側擁壁工座標値表(大座標値)

	番号	X座標	Y座標
フーチング四隅	1	-218879.3382	-107162.0912
	2	-218885.0090	-107158.3385
	3	-218888.5961	-107163.7590
	4	-218882.9254	-107167.5117
杭中心	5	-218881.3323	-107162.9300
	6	-218885.0016	-107160.5018
	7	-218886.9332	-107163.4205
	8	-218883.2639	-107165.8488

A1橋台座標値表(大座標値)

	番号	X座標	Y座標
CL	0	-218880.7829	-107158.1133
フーチング四隅	1	-218876.3471	-107157.5713
	2	-218882.0178	-107153.8186
	3	-218884.9979	-107158.3218
	4	-218879.3272	-107162.0745
杭中心	5	-218878.0101	-107157.9097
	6	-218881.6793	-107155.4815
	7	-218883.3350	-107157.9833
	8	-218879.6657	-107160.4115
支承中心(S1)	G1	-218878.1562	-107159.3719
	G1'	-218878.1548	-107159.3729
	G9	-218882.9597	-107156.1931
	G9'	-218882.9582	-107156.1941

A2橋台座標値表(大座標値)

	番号	X座標	Y座標
CL	0	-218868.6417	-107139.7669
フーチング四隅	1	-218867.4068	-107144.0616
	2	-218873.0775	-107140.3089
	3	-218870.0974	-107135.8057
	4	-218864.4267	-107139.5584
杭中心	5	-218867.7452	-107142.3987
	6	-218871.4145	-107139.9704
	7	-218869.7589	-107137.4686
	8	-218866.0896	-107139.8969
支承中心(S2)	G1	-218866.4566	-107141.6926
	G1'	-218866.4551	-107141.6936
	G9	-218871.2600	-107138.5138
	G9'	-218871.2585	-107138.5148

A2橋台側擁壁工座標値表(大座標値)

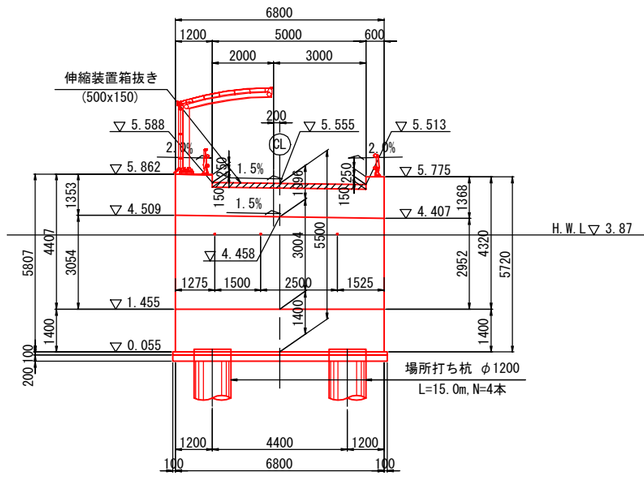
	番号	X座標	Y座標
フーチング四隅	1	-218864.4156	-107139.5417
	2	-218870.0864	-107135.7890
	3	-218866.2232	-107129.9515
	4	-218860.5525	-107133.7042
杭中心	5	-218864.4230	-107137.3784
	6	-218868.0923	-107134.9502
	7	-218865.8848	-107131.6145
	8	-218862.2155	-107134.0427

原図:A3、単位：mm

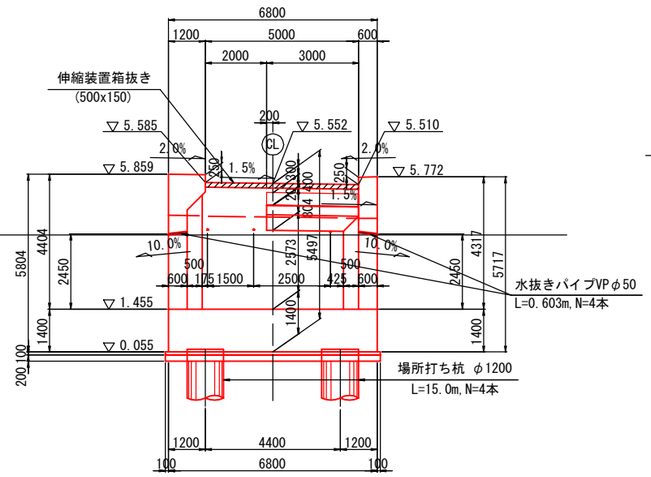
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	下部工座標図		
縮　尺	1/150	図面番号	29
下関市ボートレース企業局			

A1橋台構造一般図(その1)　S=1:200

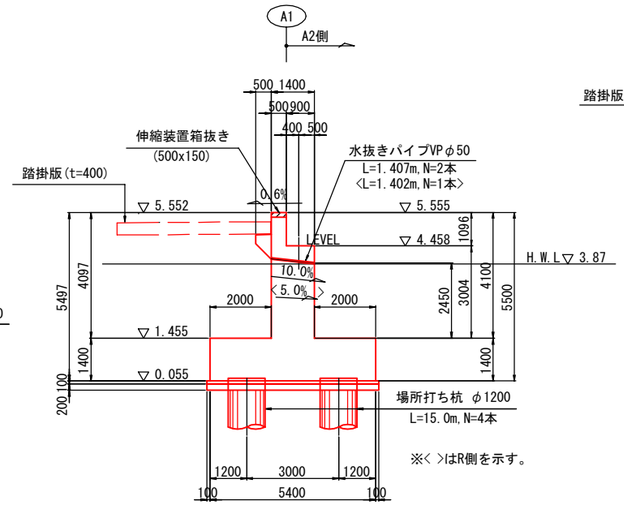
正 面 図
(パラペット前面)



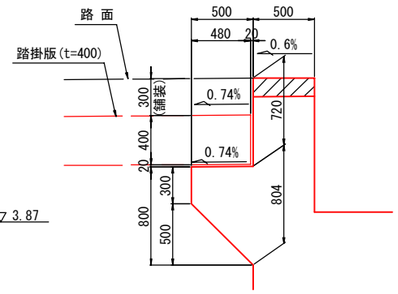
背 面 図
(パラペット背面)



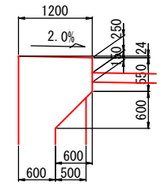
断 面 図



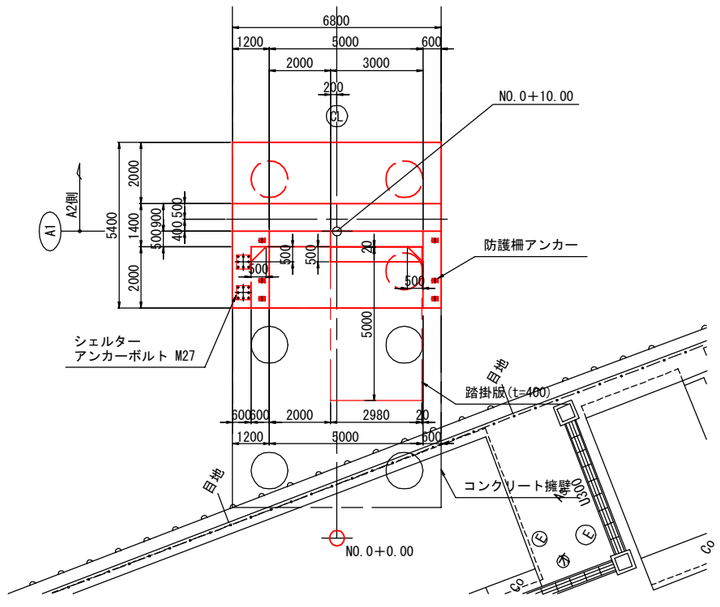
受台詳細図　S=1:50



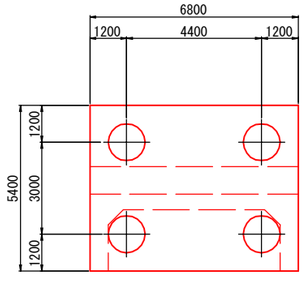
L側地覆部詳細図　S=1:100



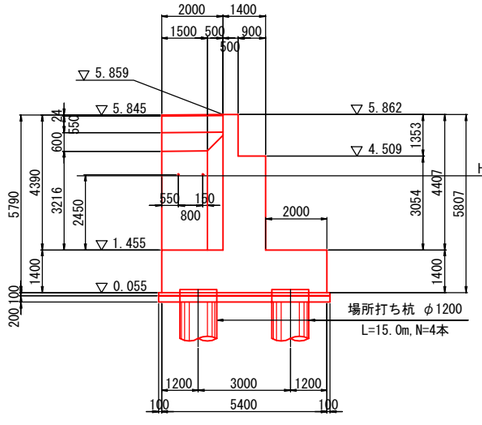
平 面 図



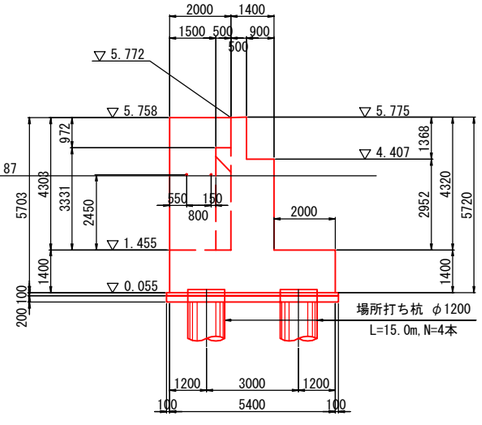
杭 配 置 図

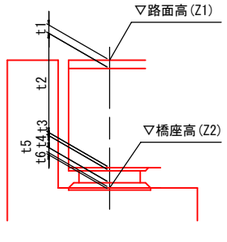


L 側 側 壁



R 側 側 壁





構造高表

A1橋台S1				
		G1	CL	G9
路面高標高	Z1	5.854	5.557	5.767
舗装厚	t1	0.334	0.081	0.333
桁高	t2	0.900	0.900	0.900
レアー厚	t3	0.000	0.000	0.000
支承高	t4	0.088	0.088	0.088
モルタル厚	t5	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	t6	0.000	0.000	0.000
合計	Σt	1.352	1.099	1.351
橋座高標高	Z2	4.502	4.458	4.416

使用材料表

		コンクリート	鉄 筋	
			主鉄筋	帯鉄筋他
躯 体	パラペット	σck=30N/mm²	SD345	SD345
	竪壁	〃	〃	〃
底 版		σck=24N/mm²	〃	〃
場所打ち杭		σck=24N/mm² (呼び強度 30N/mm²)	〃	〃
均しコンクリート		σck=18N/mm²	−	−
基 礎 材		クラッシャーラン(RC-40)		

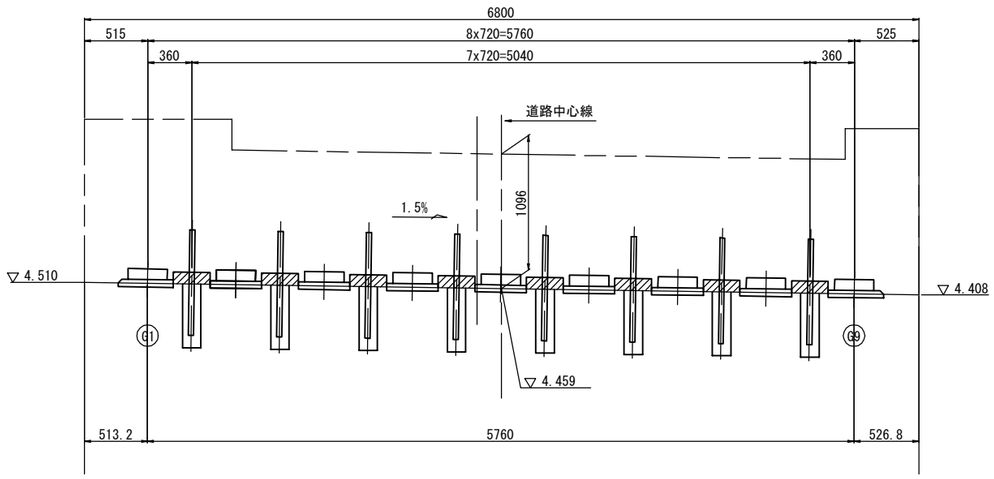
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台構造一般図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	30
下関市ボートレース企業局			

A1橋台構造一般図(その2) S=1:50

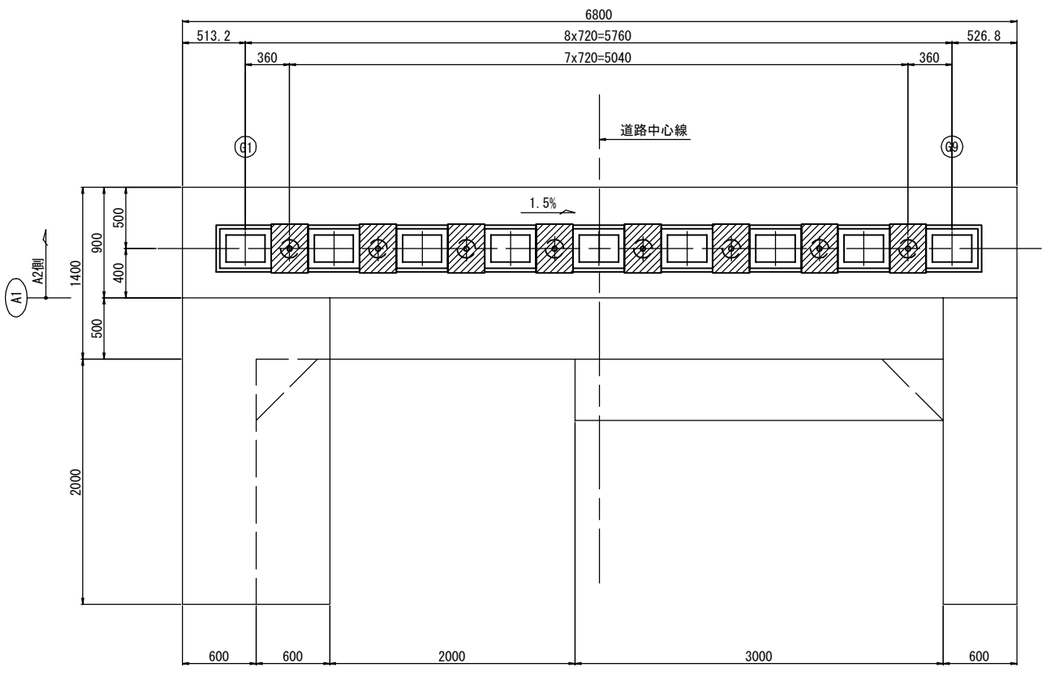
橋座詳細図及び止水板

正 面 図



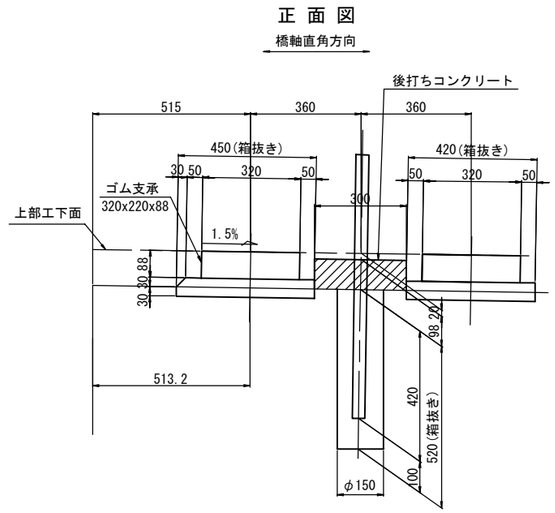
※▨は、後打ち(上部工施工)を示す。

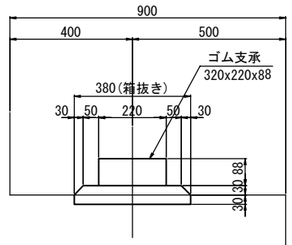
平 面 図



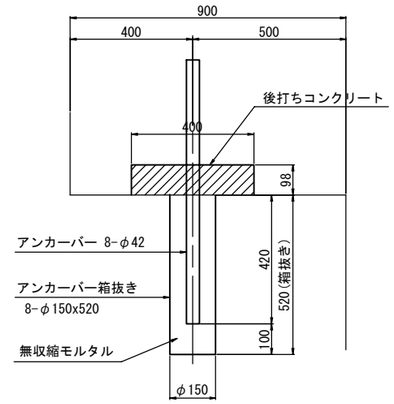
支承部詳細図 S=1:20

(Move)

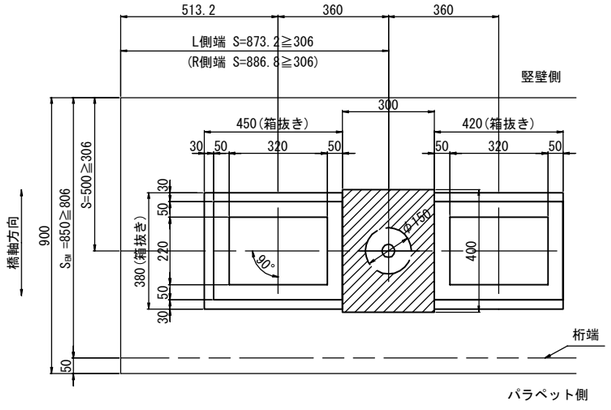




アンカー部詳細図 S=1:20



平 面 図



支承縁端距離 S=0.2+0.005L (H29.道路橋示方書Ⅳ 式…(7.6.1))
S：支承縁端距離(m)
L：支間長(m)

S = 0.2 + 0.005 x 21.2 = 0.306m

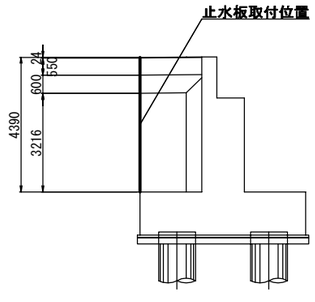
必要桁かかり長 S_{EM}=0.7+0.005L (H29.道路橋示方書Ⅴ 式…(13.3.2))
S_{EM}：必要桁かかり長の最小値(m)
L：支間長(m)

S_{EM} = 0.7 + 0.005 x 21.2 = 0.806m

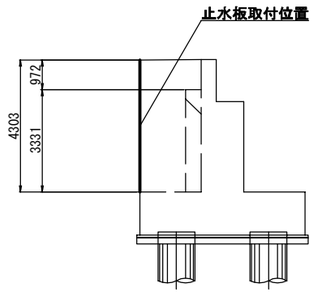
止水板参考図

止水板取付位置図 S=1:200

L 側 側 壁



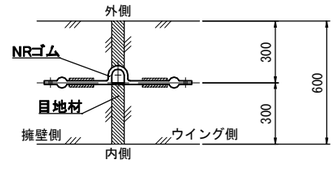
R 側 側 壁



止水板取付図 S=1:30

材 料 表 (1m当たり)

名 称	寸 法	材 質	単位	数量	重量
止水板	t=6,W=200	ＮＲゴム	m	1	約 3.2kg



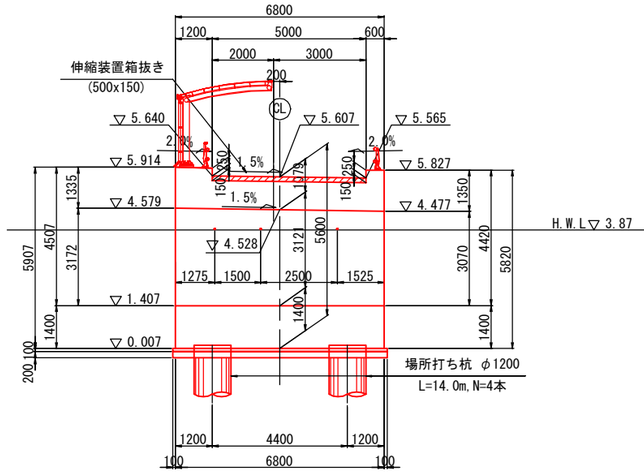
※橋台及びU型擁壁の配筋を避けた位置で計画しているが
施工時の状況に応じて調整すること

原図:A3、単位：mm

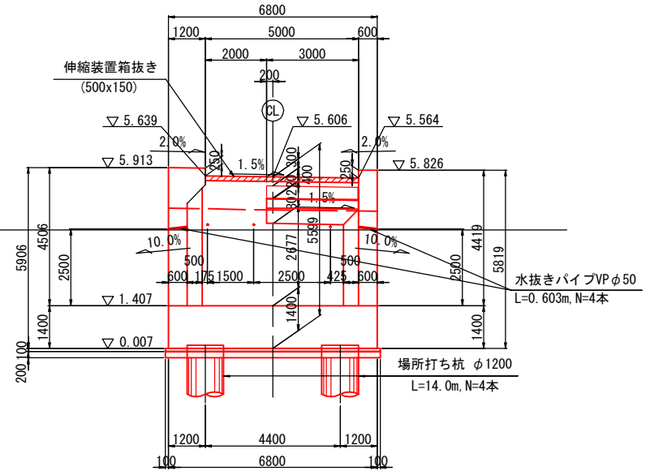
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台構造一般図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	31
下関市ボートレース企業局			

A2橋台構造一般図(その1) S=1:200

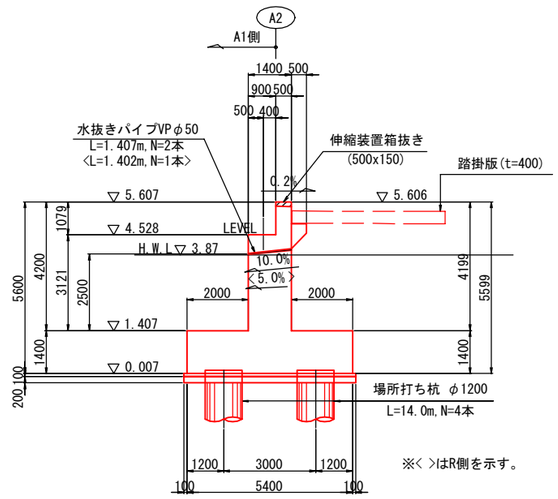
正 面 図
(パラペット前面)



背 面 図
(パラペット背面)

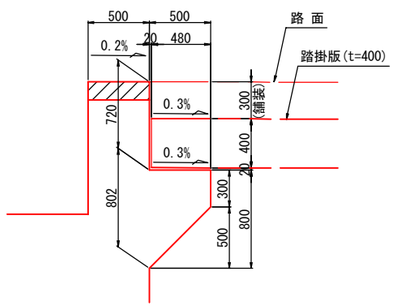


断 面 図

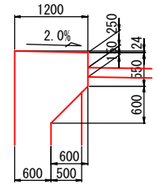


※< >はR側を示す。

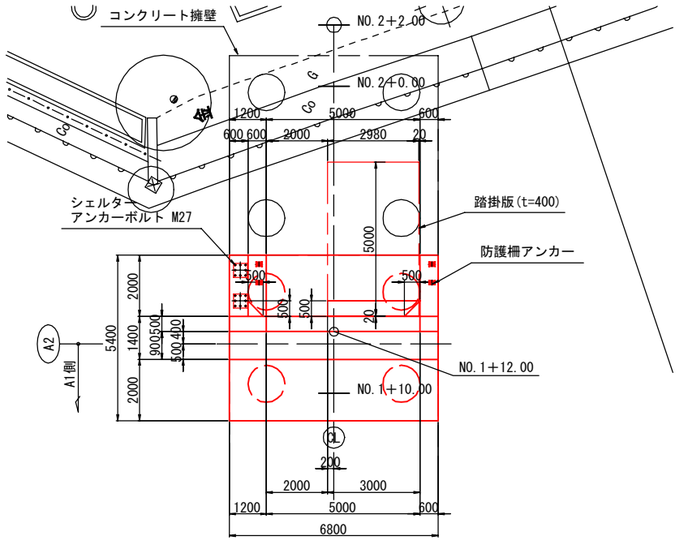
受台詳細図 S=1:50



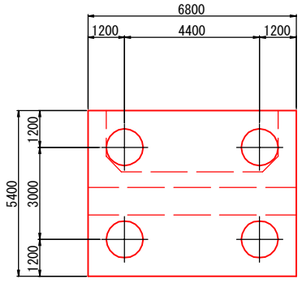
L側地覆部詳細図 S=1:100



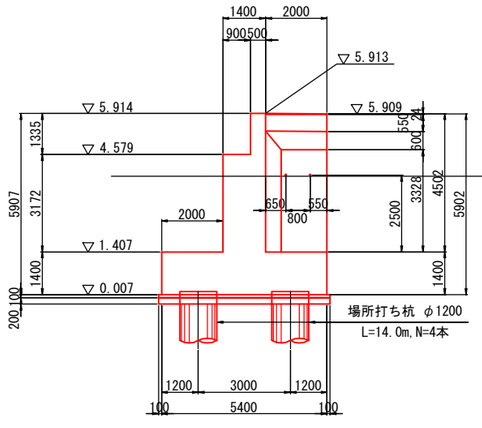
平 面 図



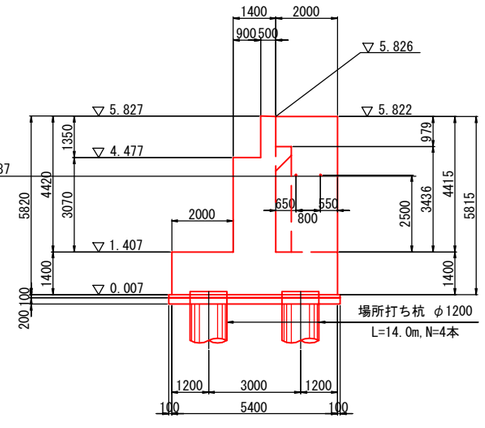
杭 配 置 図

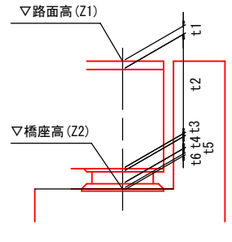


L 側 側 壁



R 側 側 壁





構造高表

A2橋台S2				
		G1	CL	G9
路面高	Z1	5.904	5.607	5.815
舗装厚	t1	0.334	0.081	0.333
桁高	t2	0.900	0.900	0.900
レアー厚	t3	0.000	0.000	0.000
支承高	t4	0.068	0.068	0.068
モルタル厚	t5	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	t6	0.000	0.000	0.000
合計	Σt	1.332	1.079	1.331
橋座高	Z2	4.572	4.528	4.486

使用材料表

		コンクリート	鉄 筋	
			主鉄筋	帯鉄筋他
躯 体	パラペット	σck=30N/mm²	SD345	SD345
	竪壁	〃	〃	〃
底 版		σck=24N/mm²	〃	〃
場所打ち杭		σck=24N/mm² 呼び強度 30N/mm²	〃	〃
均しコンクリート		σck=18N/mm²	−	−
基 礎 材		クラッシャーラン(RC-40)		

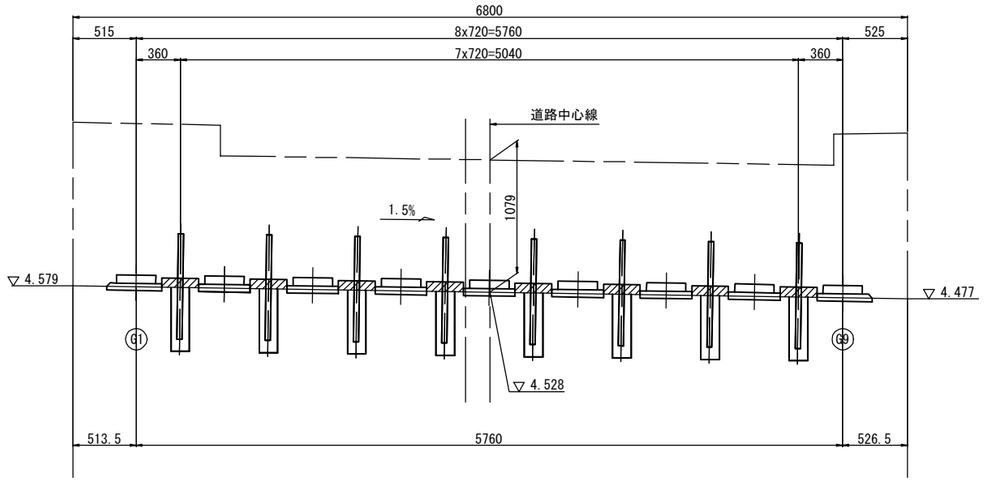
原図:A3、単位:mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台構造一般図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	32
下関市ボートレース企業局			

A2橋台構造一般図(その2) S=1:50

橋座詳細図及び止水板

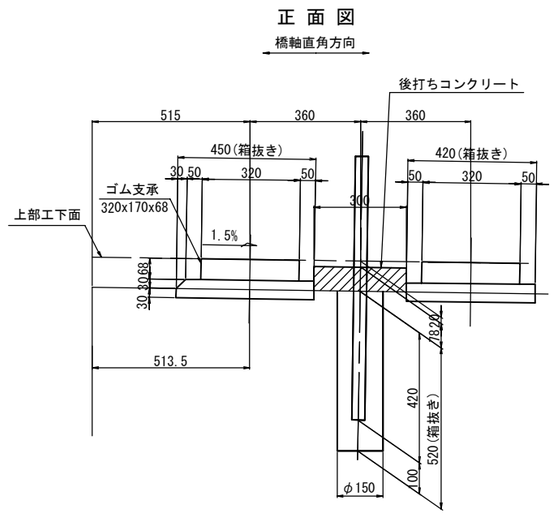
正 面 図



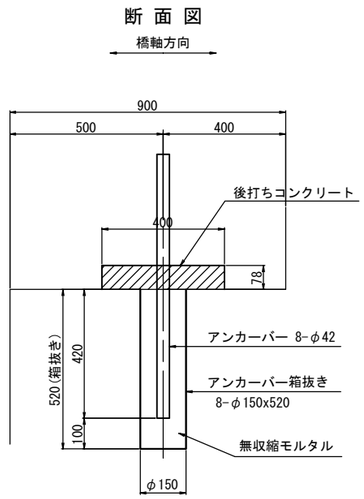
※▨は、後打ち(上部工施工)を示す。

支承部詳細図 S=1:20

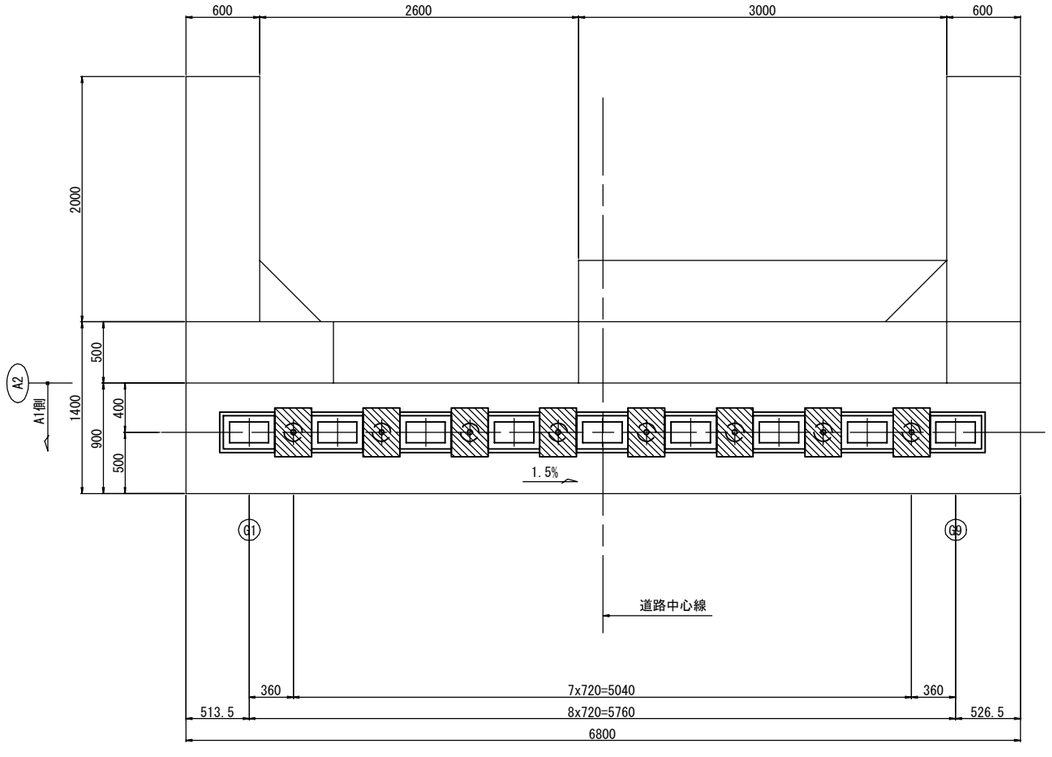
(Fix)



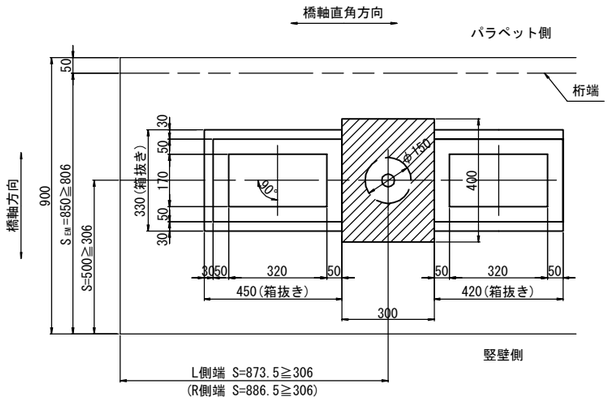
アンカー部詳細図 S=1:20



平 面 図



平 面 図



支承縁端距離 S=0.2+0.005L (H29.道路橋示方書Ⅳ 式…(7.6.1))
S：支承縁端距離(m)
L：支間長(m)

S = 0.2 + 0.005 x 21.2 = 0.306m

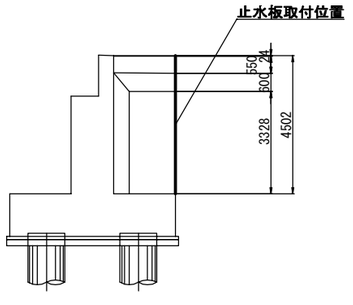
必要桁かかり長 S_{EM}=0.7+0.005L (H29.道路橋示方書Ⅴ 式…(13.3.2))
S_{EM}：必要桁かかり長の最小値(m)
L：支間長(m)

S_{EM} = 0.7 + 0.005 x 21.2 = 0.806m

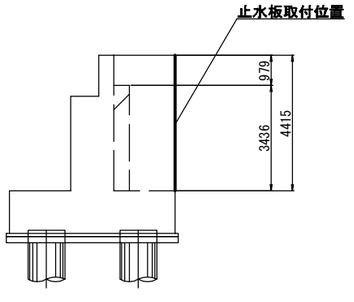
止水板参考図

止水板取付位置図 S=1:200

L 側 側 壁



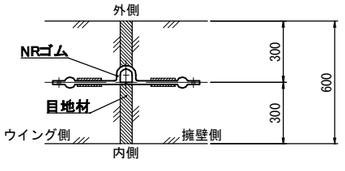
R 側 側 壁



止水板取付図 S=1:30

材 料 表 (1m当たり)

名 称	寸 法	材 質	単位	数量	重量
止水板	t=6,W=200	ＮＲゴム	m	1	約 3.2kg



※橋台及びU型擁壁の配筋を避けた位置で計画しているが
施工時の状況に応じて調整すること

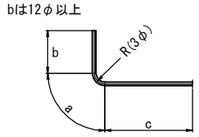
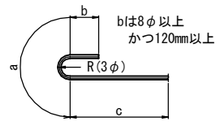
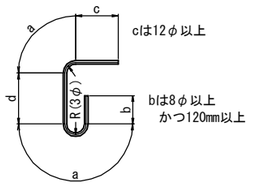
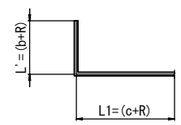
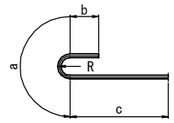
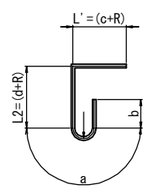
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台構造一般図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	33
下関市ボートレース企業局			

配筋及び加工説明図

鉄筋加工寸法と表示

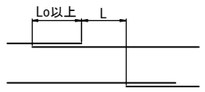
鉄筋加工寸法と図面上の表示との関係は、以下に示すとおりである。
注）フックとせん断補強鉄筋の曲げ半径を統一

	形式(1)	形式(2)	形式(3)
加工	bは12φ以上 		
図面表示			

鉄筋の継手

鉄筋の継手方法、継手長さ、継手の位置は次の通りとする。

D25mm以下・・・ 重ね継手



Lは25φ以上とする。

① σck=24N/mm²、鉄筋SD345のとき

$$Lo = \frac{\sigma sa}{4 \cdot \tau oa} \cdot \phi$$

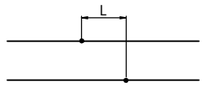
$$= \frac{200}{4 \times 1.6} \cdot \phi \quad (10mm単位に切り上げる)$$

② σck=30N/mm²、鉄筋SD345(塗装鉄筋)のとき

$$Lo = \frac{\sigma sa}{4 \cdot \tau oa \times 0.85} \cdot \phi$$

$$= \frac{200}{4 \times 1.8 \times 0.85} \cdot \phi \quad (10mm単位に切り上げる)$$

D29mm以上・・・ 圧接継手

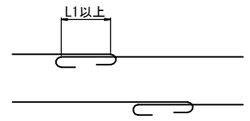


Lは25φ以上とする。

場所打ち杭
σck=24N/mm²、鉄筋SD345のとき

$$Lo = \frac{\sigma sa}{4 \cdot \tau oa} \cdot \phi$$

$$= \frac{200}{4 \times 1.2} \cdot \phi \quad (10mm単位に切り上げる)$$



注）せん断補強筋はL1=40φ以上(10mm切り上げ)とし、
端部に直角フックを設ける。(せん断補強筋は半円形フック)
せん断補強筋は千鳥配置とする。
(せん断補強筋は、必ずしも千鳥配置としなくてよい。)

径別の加工寸法

	直角フック				半円形フック		
径	a	b	R	L'	a	b	R
D13	61	156	39	195	123	120	39
D16	75	192	48	240	151	128	48
D19	90	228	57	285	179	152	57
D22	104	264	66	330	207	176	66
D25	118	300	75	375	236	200	75
D29	137	348	87	435	273	232	87

径別の定着長

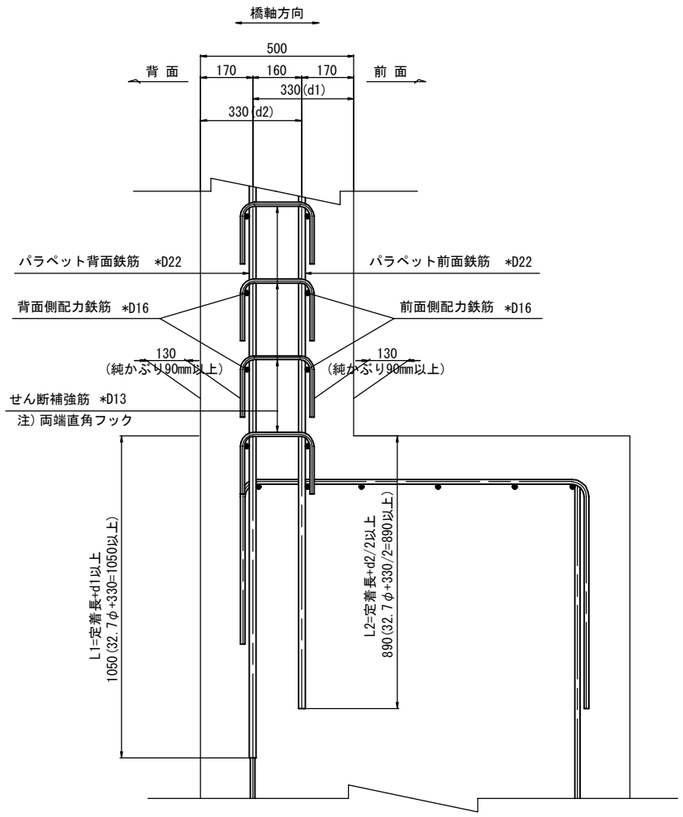
	① 鉄筋	② 鉄筋	場所打ち杭主筋	せん断補強筋
径	Lo	Lo	Lo	L1
D13	410	430	550	520
D16	510	530	670	640
D19	600	630	800	760
D22	690	720	920	880
D25	790	820	1050	1000
D29	910	950	1210	1160

原図:A3、単位：mm

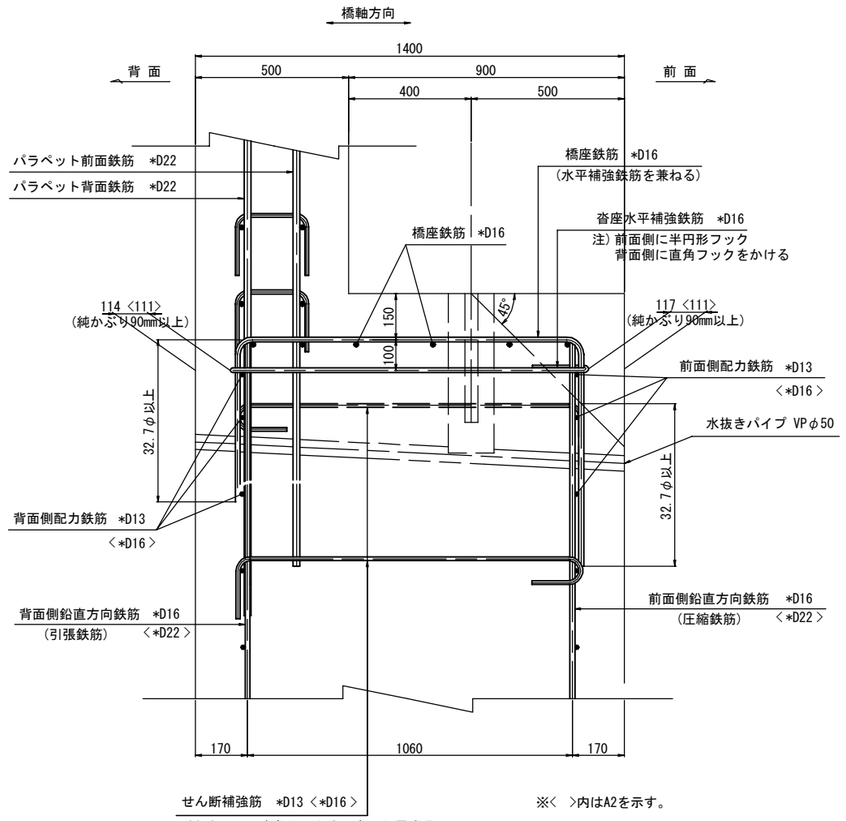
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋及び加工説明図		
縮　尺	－	図面番号	34
下関市ボートレース企業局			

共通かぶり詳細図(その1)

パラペット

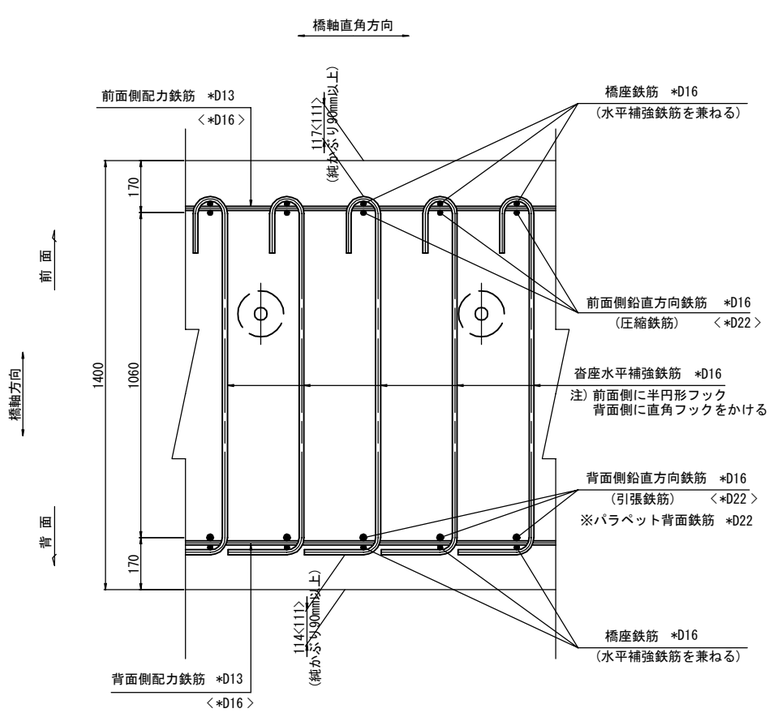


竪 壁



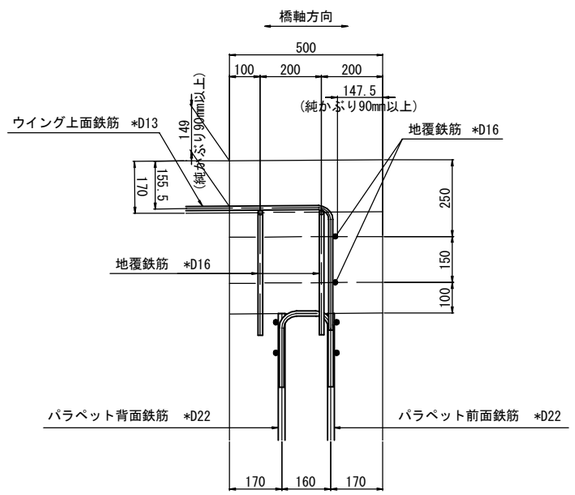
※< >内はA2を示す。

沓座水平補強鉄筋



※< >内はA2を示す。

地 覆 部

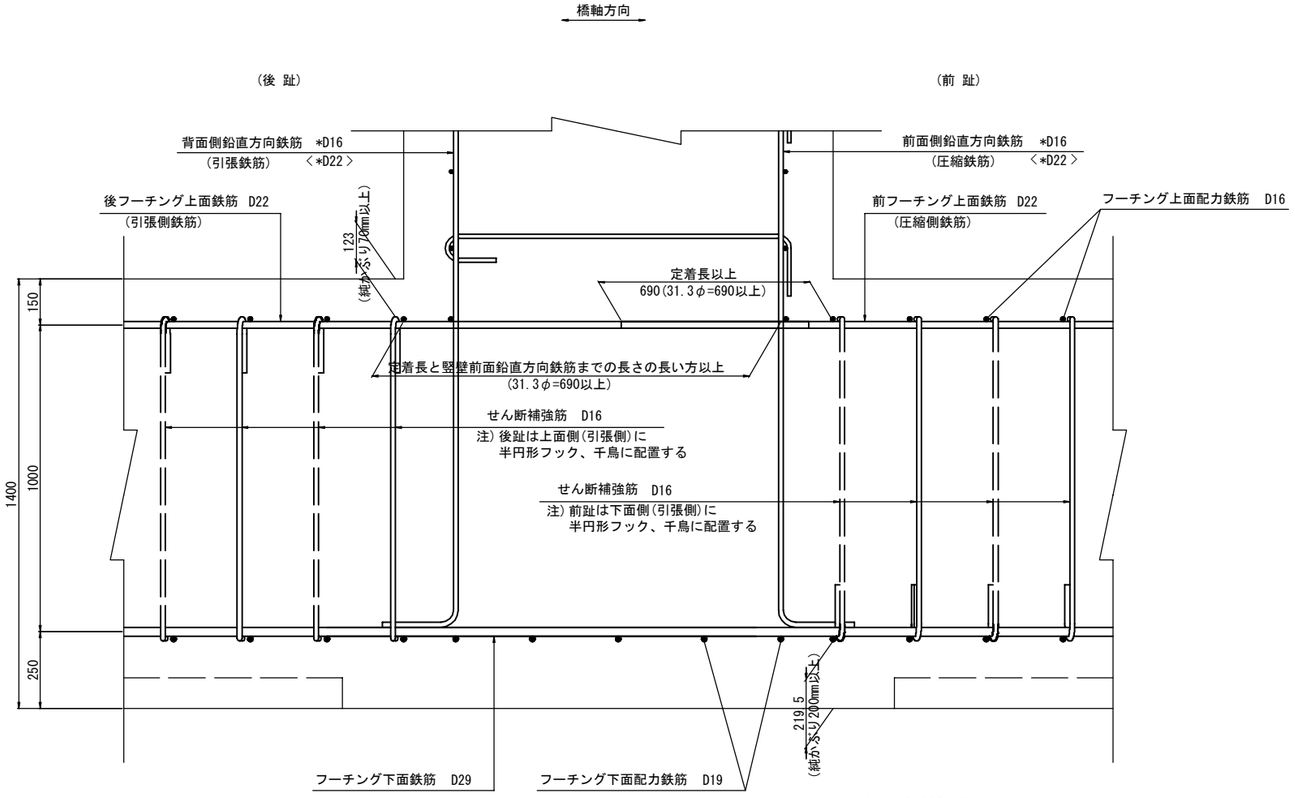


原図:A3、単位:mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	共通かぶり詳細図(その1)		
縮 尺	1/20	図面番号	35
下関市ボートレース企業局			

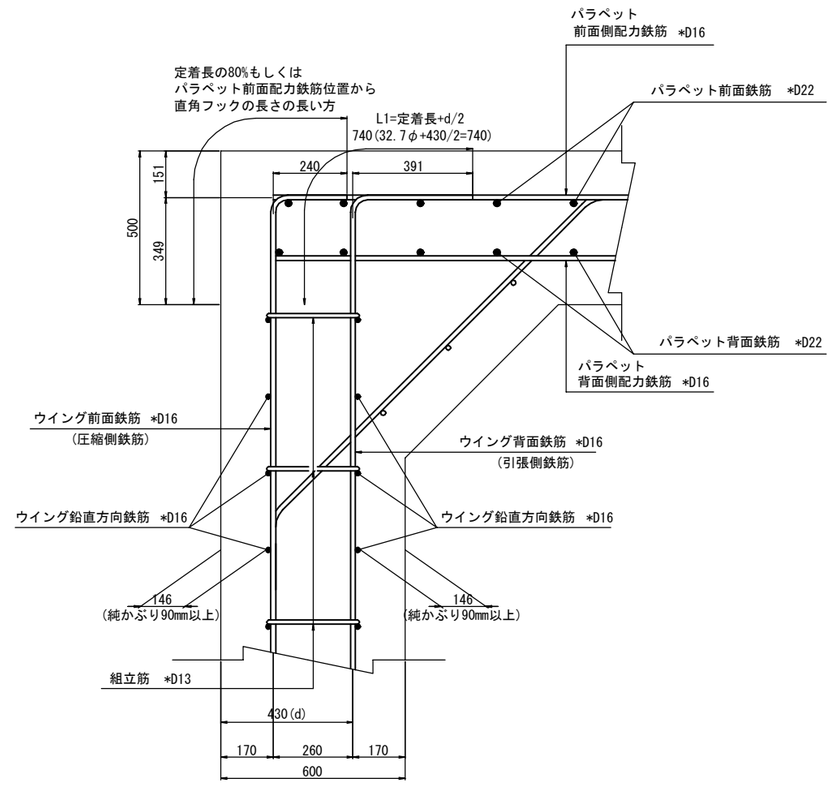
共通かぶり詳細図(その2)

フーチング

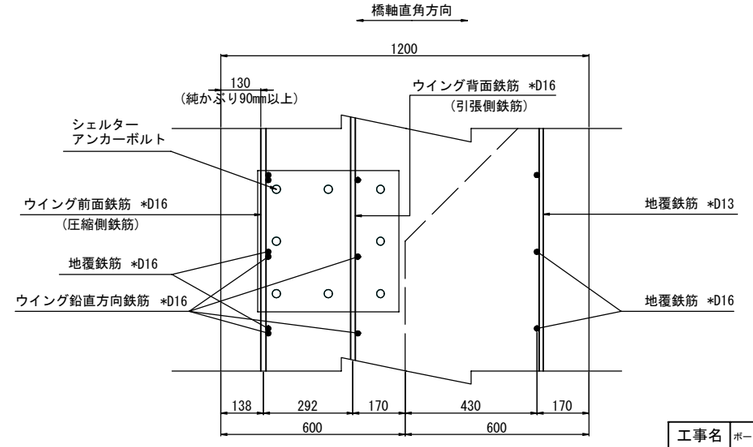


※< >内はA2を示す。

ウイング



L側シェルターアンカーボルト部

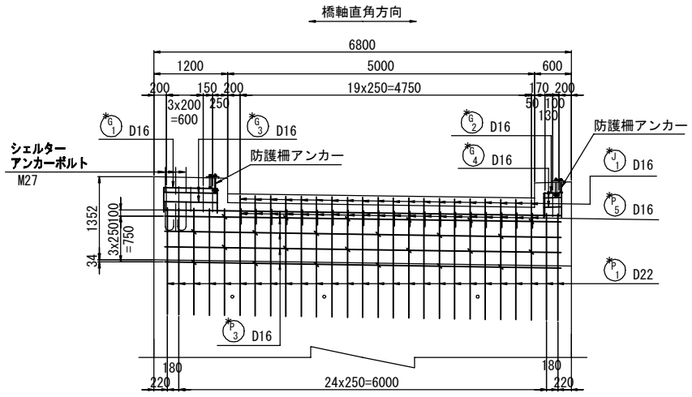


原図:A3、単位:mm

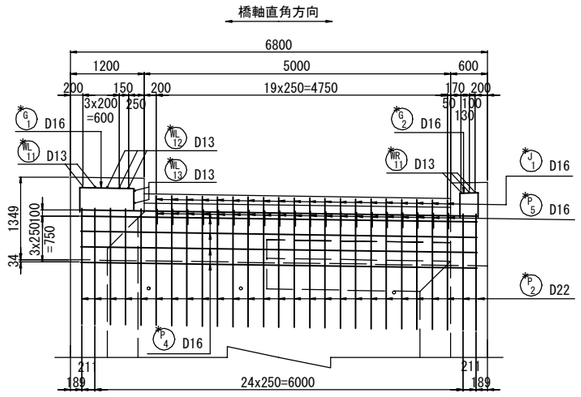
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	共通かぶり詳細図(その2)		
縮 尺	1/20	図面番号	36
下関市ボートレース企業局			

A1橋台配筋図(その1) S=1:100

1 － 1
(前面)

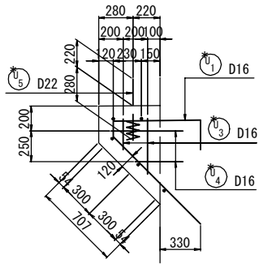


2 － 2
(背面)

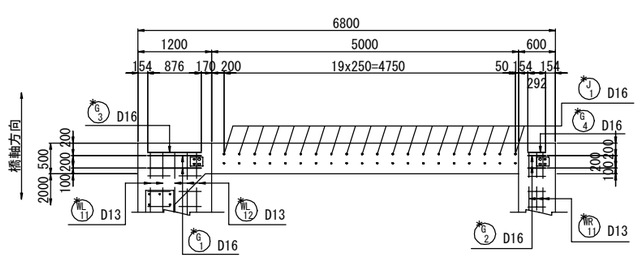


3 － 3 S=1:50

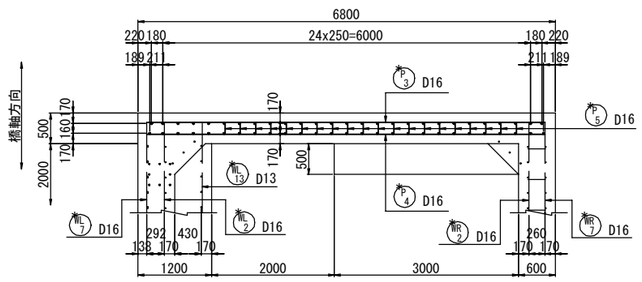
受台端側



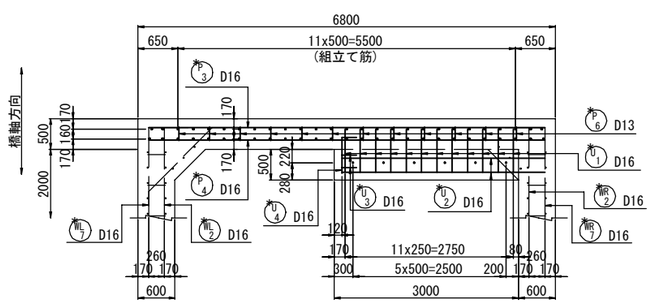
4 － 4
橋軸直角方向

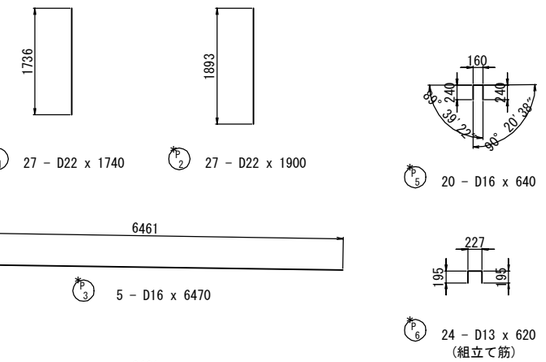


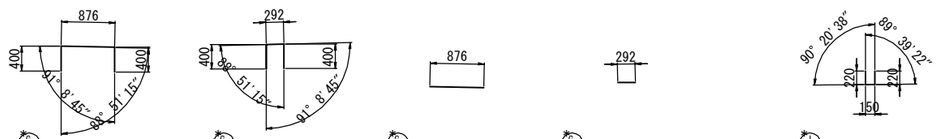
5 － 5
橋軸直角方向

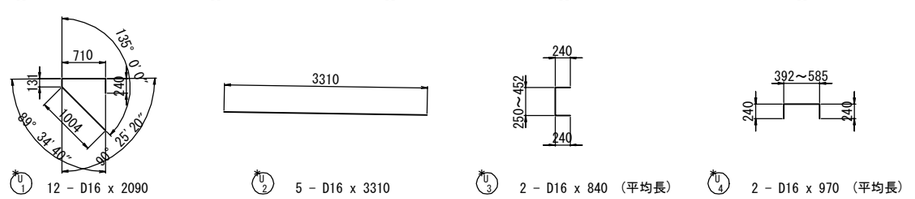


6 － 6
橋軸直角方向



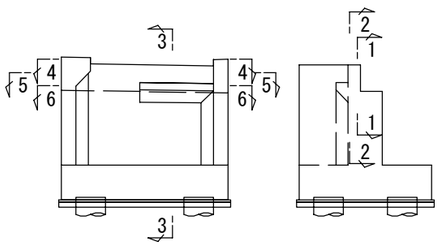








位置図



原図:A3、単位：mm

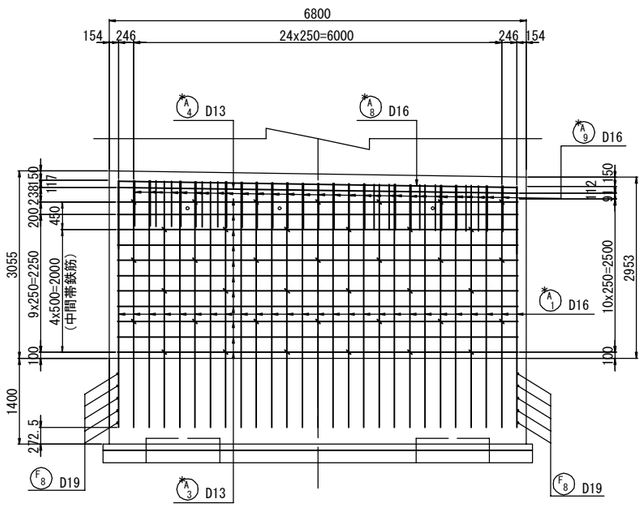
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	37
下関市ボートレース企業局			

注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

A1橋台配筋図(その2)

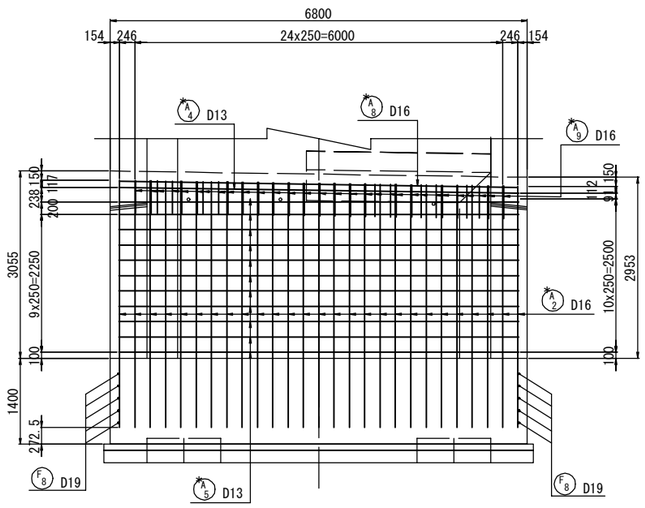
1 - 1

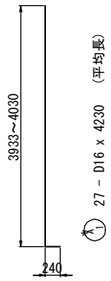
橋軸直角方向

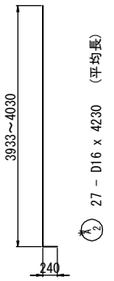


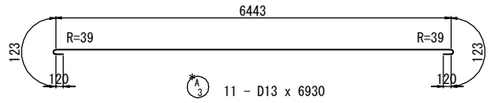
2 - 2

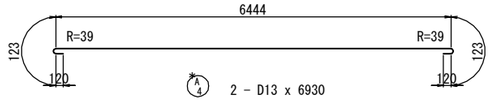
橋軸直角方向

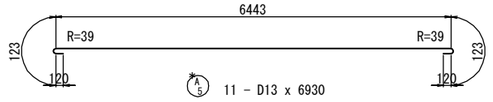


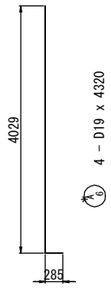


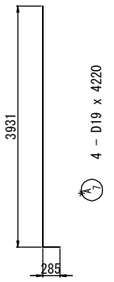


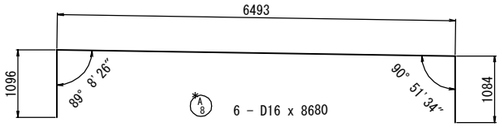


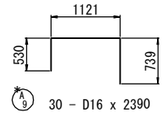


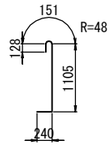


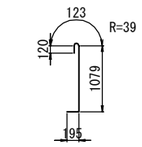


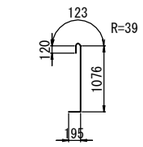






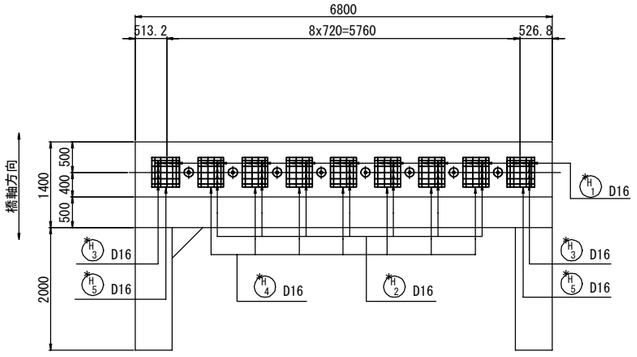






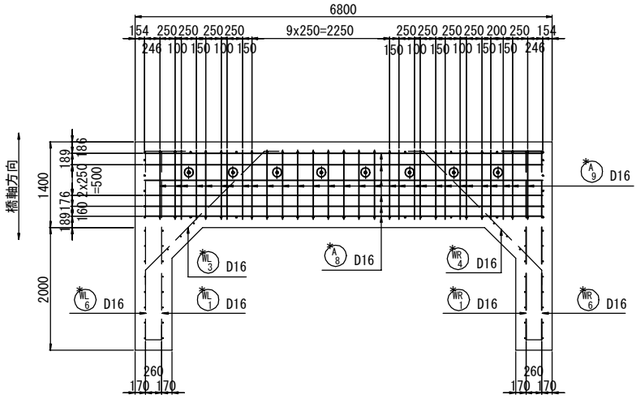
沓座部補強図

橋軸直角方向



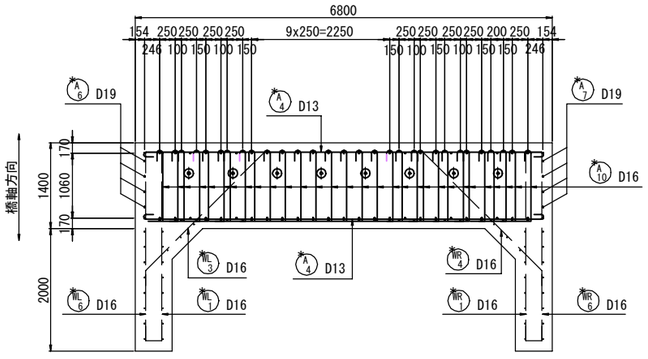
3 - 3

橋軸直角方向



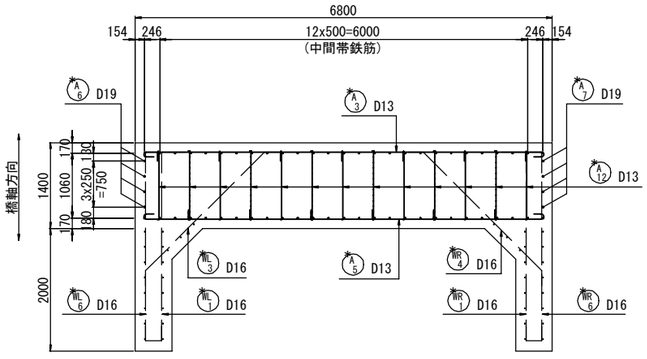
沓座部水平補強鉄筋配置図

橋軸直角方向

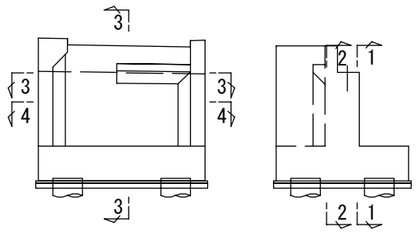


4 - 4

橋軸直角方向



位置図



原図:A3、単位：mm

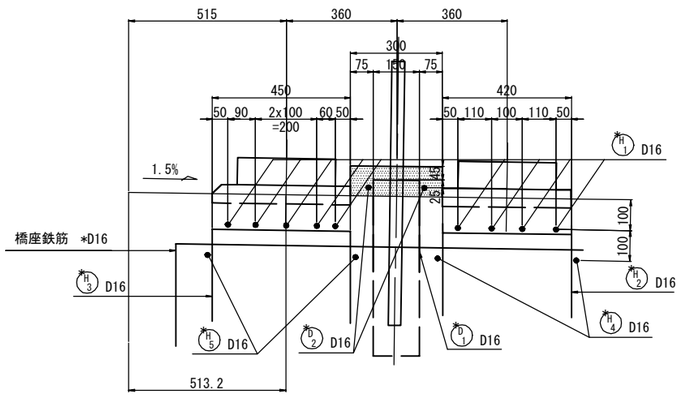
注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その2)		
縮　尺	1/100	図面番号	38
下関市ボートレース企業局			

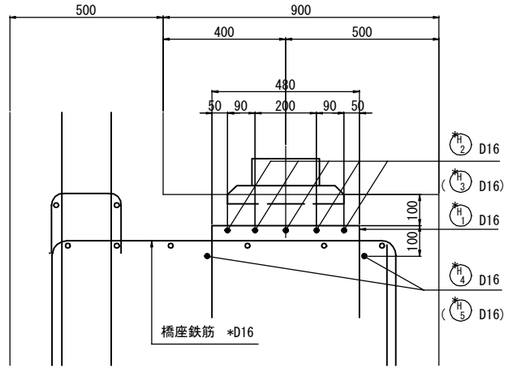
A1橋台配筋図(その3)

沓座部補強詳細図

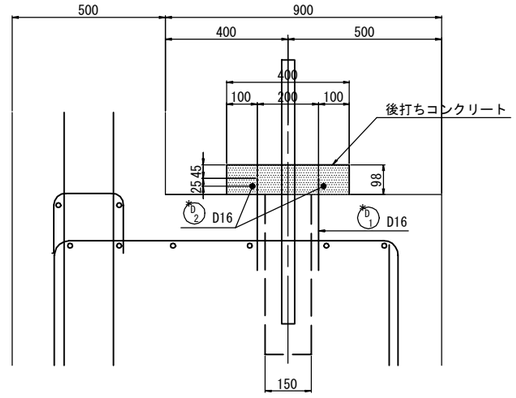
正 面 図
橋軸直角方向



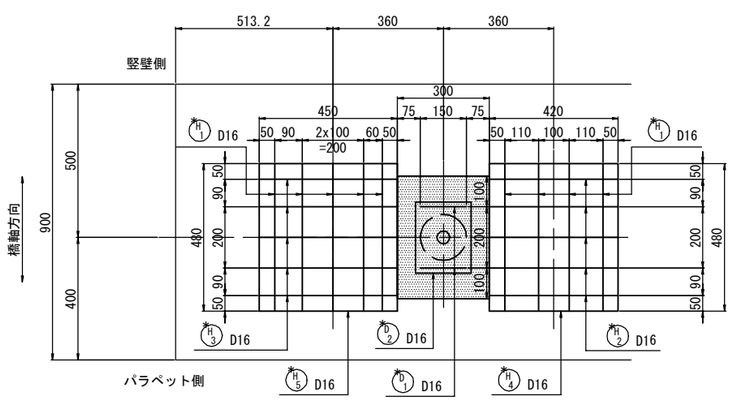
断 面 図
橋軸方向

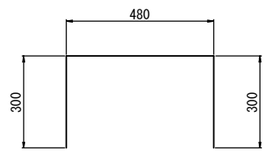


断 面 図
橋軸方向

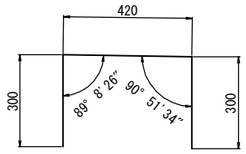


平 面 図
橋軸直角方向

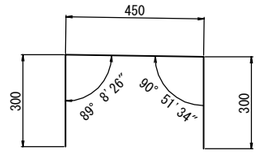




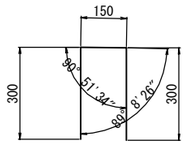
H1 38 - D16 x 1080



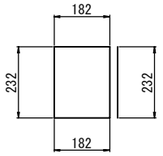
H2 35 - D16 x 1020



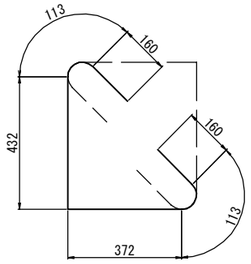
H3 10 - D16 x 1050



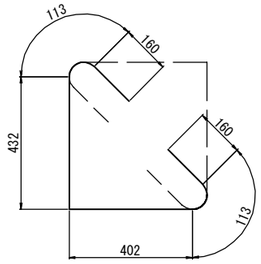
D1 16 - D16 x 750



D2 8 - D16 x 1060



H4 14 - D16 x 1350



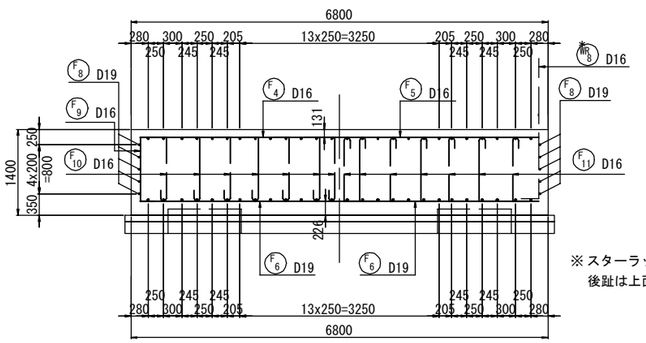
H5 4 - D16 x 1380

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その3)		
縮　尺	1/20	図面番号	39
下関市ボートレース企業局			

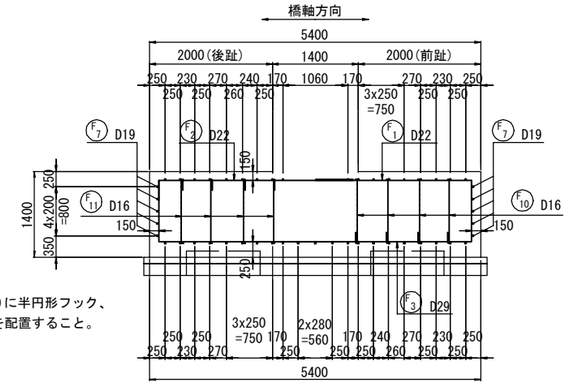
A1橋台配筋図(その4)

1 - 1 (前 趾)　2 - 2 (後 趾)

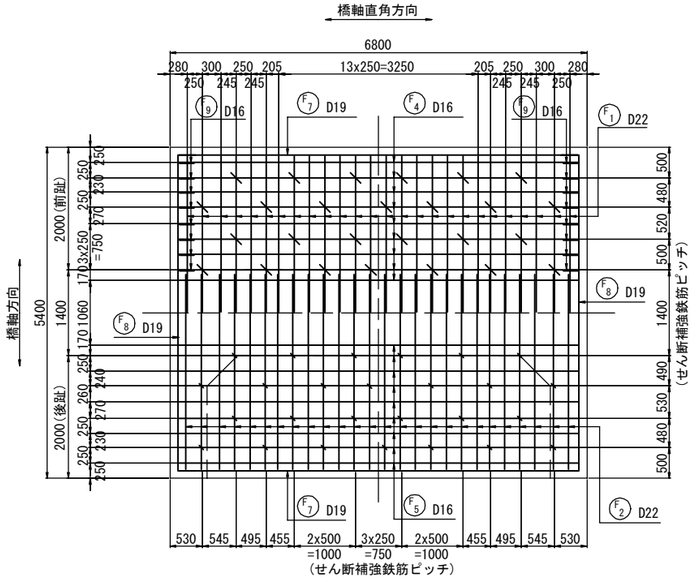


※スターラップは、前趾は下面側(引張側)に半円形フック、
後趾は上面側(引張側)に半円形フックを配置すること。

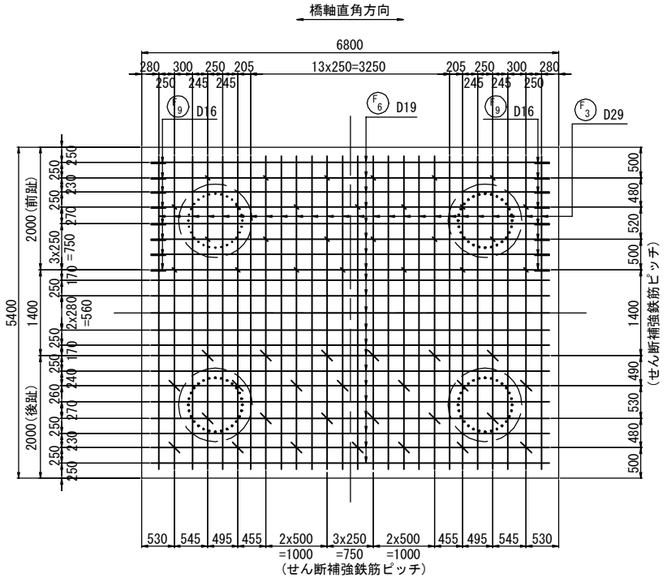
3 - 3



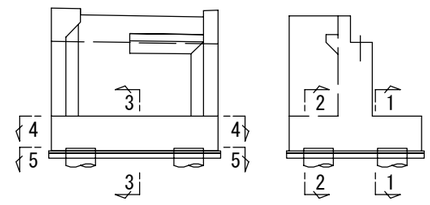
4 - 4 (上 面)

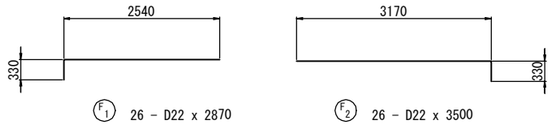


5 - 5 (下 面)

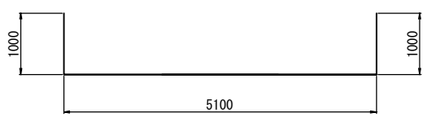


位 置 図

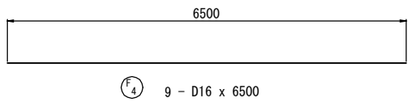




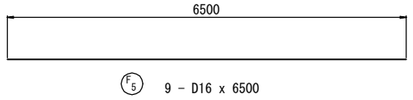
F1 26 - D22 x 2870　　F2 26 - D22 x 3500



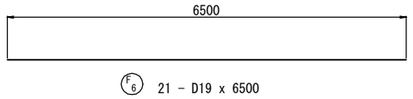
F3 26 - D29 x 7100



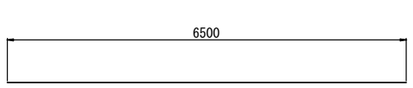
F4 9 - D16 x 6500



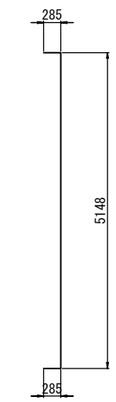
F5 9 - D16 x 6500



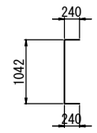
F6 21 - D19 x 6500



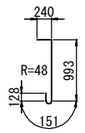
F7 10 - D19 x 6500



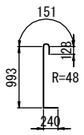
F8 10 - D19 x 5720



F9 16 - D16 x 1530



F10 26 - D16 x 1520



F11 26 - D16 x 1520

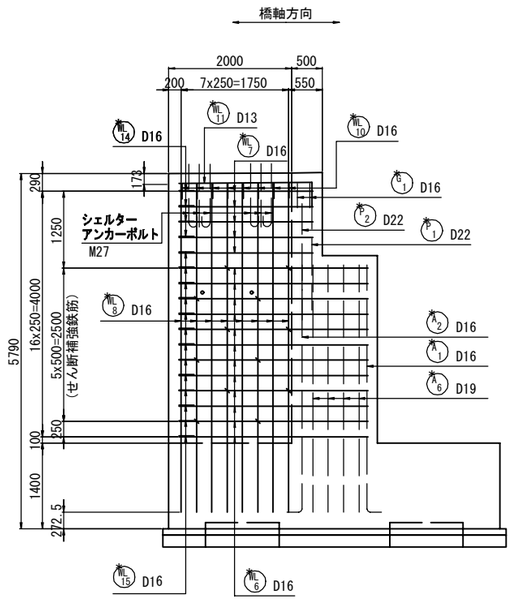
注記) 1. ＊は塗装鉄筋を表す。

原図:A3、単位:mm

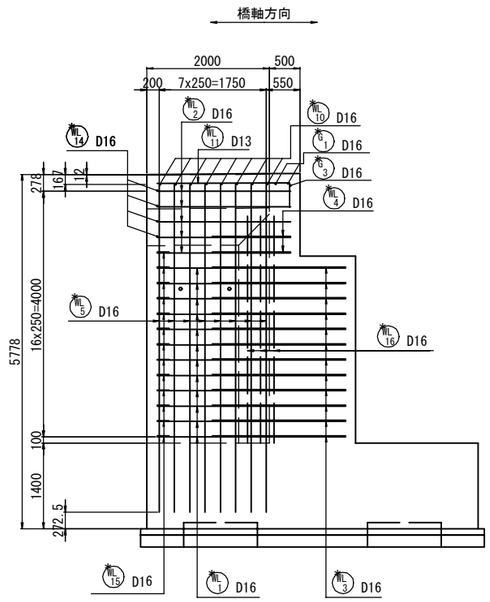
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その4)		
縮　尺	1/100	図面番号	40
下関市ボートレース企業局			

A1橋台配筋図(その5)

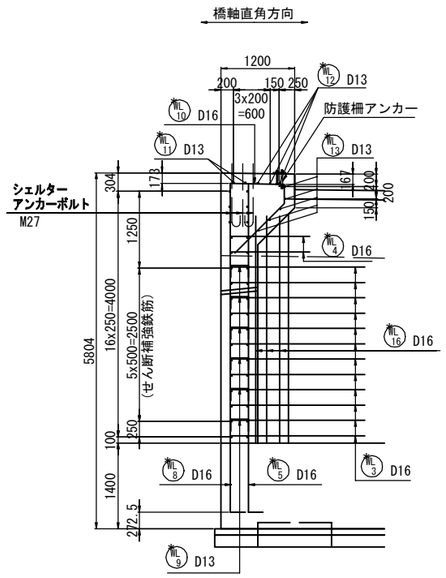
1 － 1
(L側外面)



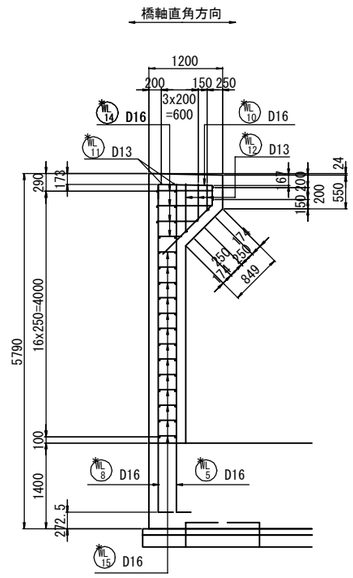
2 － 2
(L側内面)

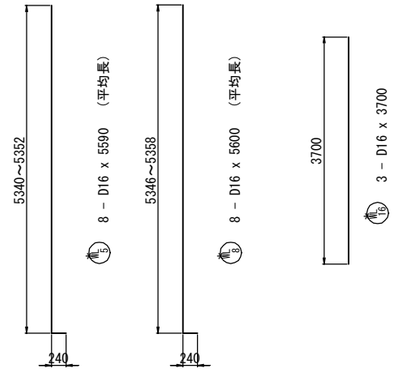


3 － 3
(パラペット背面)

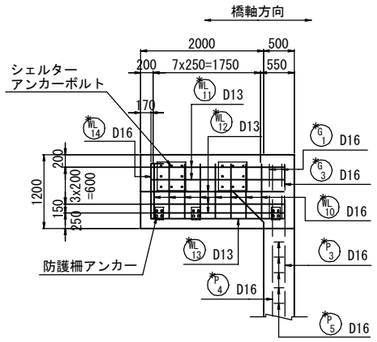


4 － 4
(ウイング後端)

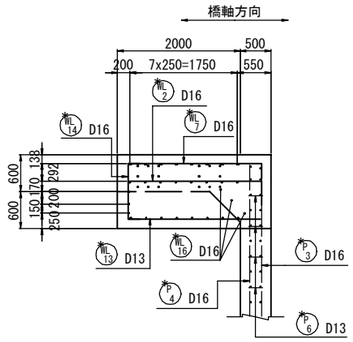




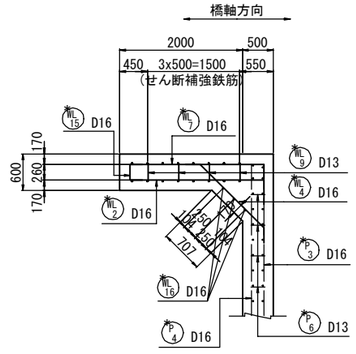
5 － 5
橋軸方向



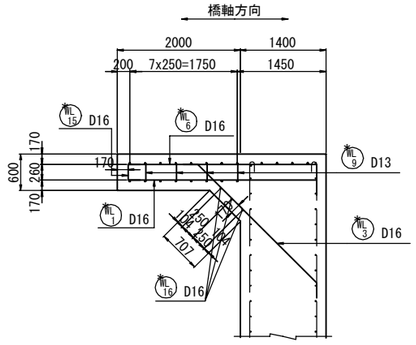
6 － 6
橋軸方向

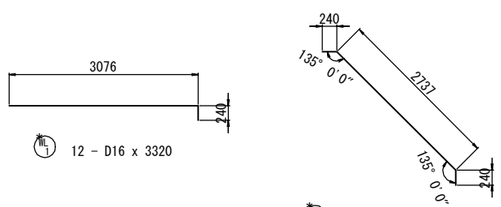


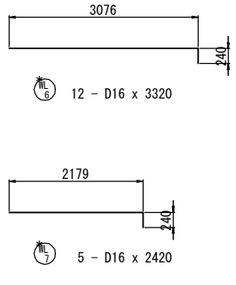
7 － 7
橋軸方向

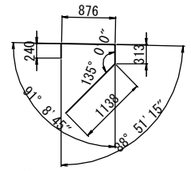


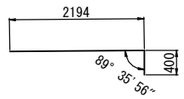
8 － 8
橋軸方向

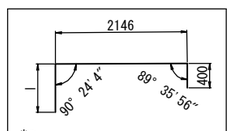






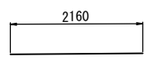




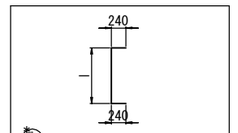


WL12 3 － D13 x 3150 (平均長)

記号	径	本数	l	L
WL12-1	D13	1	787	3340
WL12-2	D13	1	583	3130
WL12-3	D13	1	430	2980
平均長		3		3150



WL13 5 － D13 x 2160



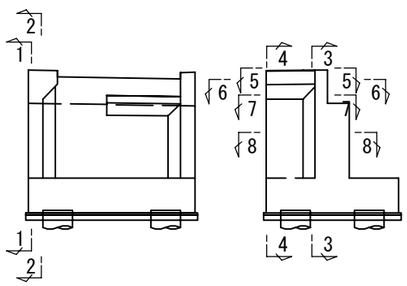
WL14 4 － D16 x 1190 (平均長)

記号	径	本数	l	L
WL14-1	D16	1	907	1390
WL14-2	D16	1	891	1380
WL14-3	D16	1	641	1130
WL14-4	D16	1	359	840
平均長		4		1190



WL15 13 － D16 x 740

位置図



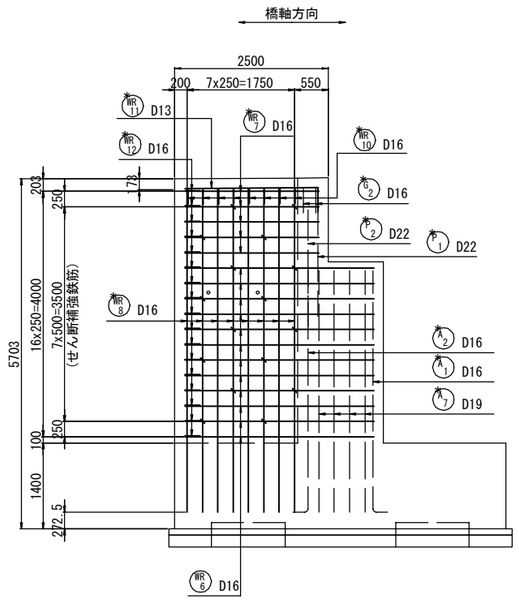
注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

原図:A3、単位：mm

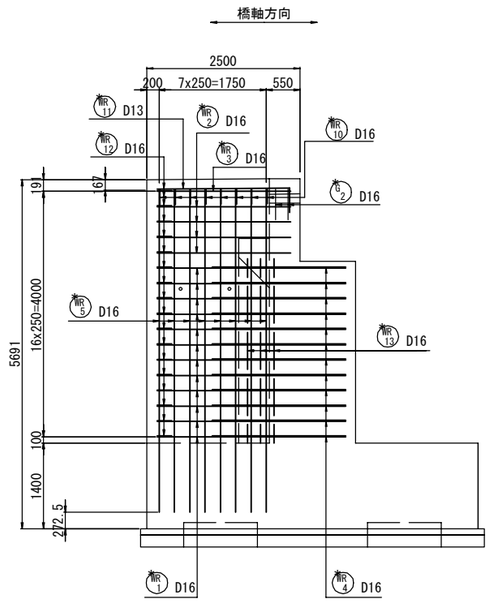
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その5)		
縮　尺	1/100	図面番号	41
下関市ボートレース企業局			

A1橋台配筋図(その6)

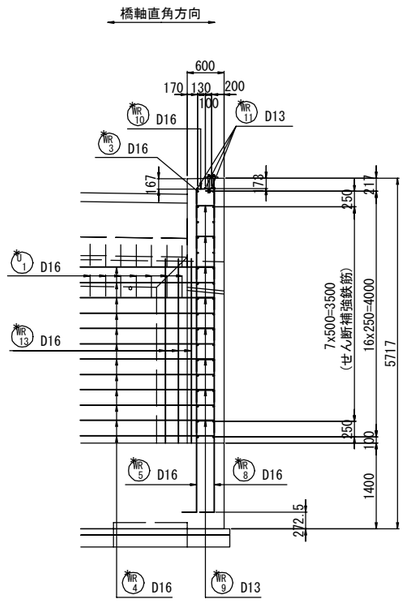
1 － 1
(R側外面)

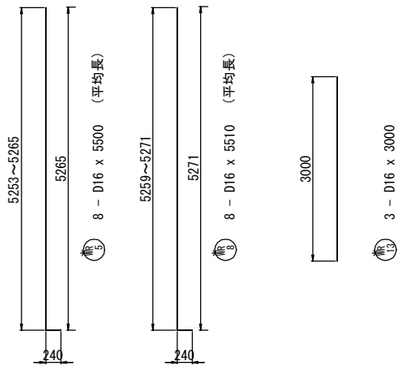


2 － 2
(R側内面)

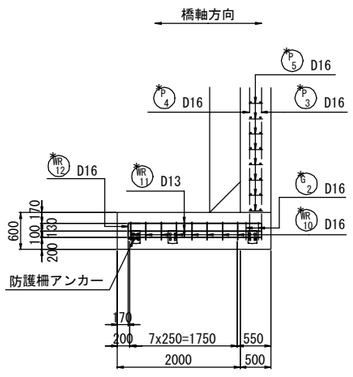


3 － 3
(パラペット背面)

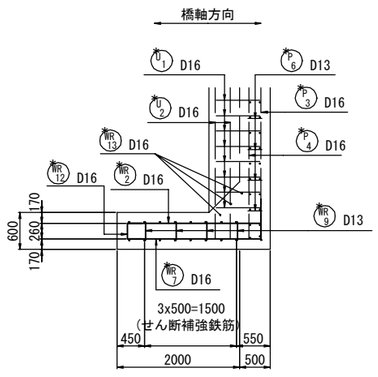




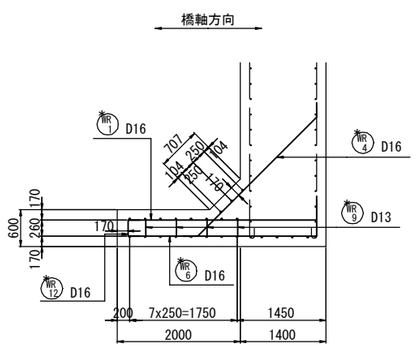
4 － 4

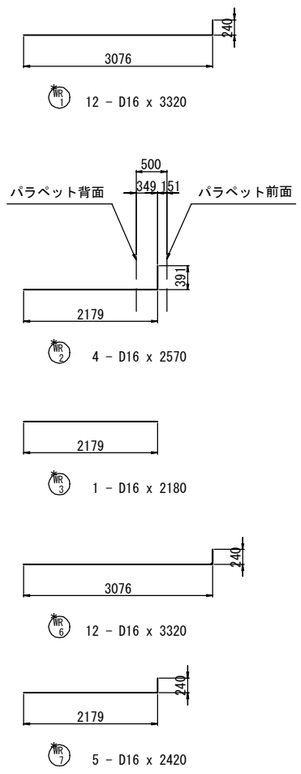


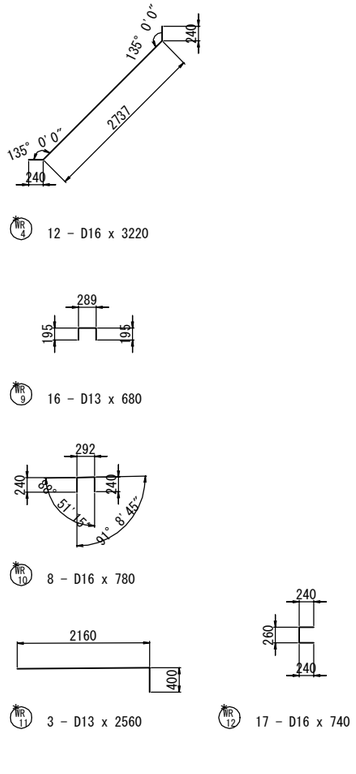
5 － 5



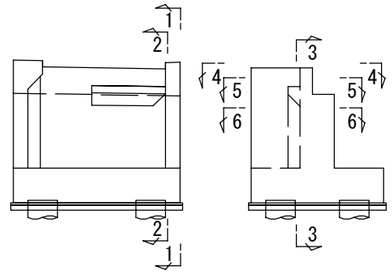
6 － 6







位 置 図



原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その6)		
縮　尺	1/100	図面番号	42
下関市ボートレース企業局			

注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

A1橋台配筋図(その7)

鉄 筋 表 (本 体)

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	P1	D22	1740	27	3.04	5.29	143	
*	P2	D22	1900	27	3.04	5.78	156	
*	P3	D16	6470	5	1.56	10.09	50	
*	P4	D16	6470	5	1.56	10.09	50	
*	P5	D16	640	20	1.56	1.00	20	
*	P6	D13	620	24	0.995	0.62	15	
							434 kg	
*	G1	D16	1680	2	1.56	2.62	5	
*	G2	D16	1100	2	1.56	1.72	3	
*	G3	D16	880	2	1.56	1.37	3	
*	G4	D16	300	2	1.56	0.47	1	
							12 kg	
*	U1	D16	2090	12	1.56	3.26	39	
*	U2	D16	3310	5	1.56	5.16	26	
*	U3	D16	840	2	1.56	1.31	3	(平均長)
*	U4	D16	970	2	1.56	1.51	3	(平均長)
*	U5	D22	500	6	3.04	1.52	9	
*	U6	D10	950	6	0.56	0.53	3	
							83 kg	
*	A1	D16	4230	27	1.56	6.60	178	(平均長)
*	A2	D16	4230	27	1.56	6.60	178	(平均長)
*	A3	D13	6930	11	0.995	6.90	76	
*	A4	D13	6930	2	0.995	6.90	14	
*	A5	D13	6930	11	0.995	6.90	76	
*	A6	D19	4320	4	2.25	9.72	39	
*	A7	D19	4220	4	2.25	9.50	38	
*	A8	D16	8680	6	1.56	13.54	81	
*	A9	D16	2390	30	1.56	3.73	112	
*	A10	D16	1630	30	1.56	2.54	76	
*	A11	D13	1520	13	0.995	1.51	20	
*	A12	D13	1520	26	0.995	1.51	39	
							927 kg	
	沓座部補強鉄筋							
*	H1	D16	1080	38	1.56	1.68	64	
*	H2	D16	1020	35	1.56	1.59	56	
*	H3	D16	1050	10	1.56	1.64	16	
*	H4	D16	1350	14	1.56	2.11	30	
*	H5	D16	1380	4	1.56	2.15	9	
							175 kg	
	後打部補強鉄筋(パラペット部)							
*	J1	D16	590	20	1.56	0.92	18	
							18 kg	
	後打部補強鉄筋(橋座部)							
*	D1	D16	750	16	1.56	1.17	19	
*	D2	D16	1060	8	1.56	1.65	13	
							32 kg	

記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
F1	D22	2870	26	3.04	8.72	227	
F2	D22	3500	26	3.04	10.64	277	
F3	D29	7100	26	5.04	35.78	930	
F4	D16	6500	9	1.56	10.14	91	
F5	D16	6500	9	1.56	10.14	91	
F6	D19	6500	21	2.25	14.63	307	
F7	D19	6500	10	2.25	14.63	146	
F8	D19	5720	10	2.25	12.87	129	
F9	D16	1530	16	1.56	2.39	38	
F10	D16	1520	26	1.56	2.37	62	
F11	D16	1520	26	1.56	2.37	62	
						2360 kg	
					D29	930 kg	
					D22	812 kg	
					D19	659 kg	
					D16	1397 kg	
					D13	240 kg	
					D10	3 kg	
					合 計	4041 kg	

鉄 筋 表 (ウイング)

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	WL1	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WL2	D16	2570	5	1.56	4.01	20	
*	WL3	D16	3220	12	1.56	5.02	60	
*	WL4	D16	1950	2	1.56	3.04	6	
*	WL5	D16	5590	8	1.56	8.72	70	(平均長)
*	WL6	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WL7	D16	2420	5	1.56	3.78	19	
*	WL8	D16	5600	8	1.56	8.74	70	(平均長)
*	WL9	D13	680	12	0.995	0.68	8	
*	WL10	D16	2570	8	1.56	4.01	32	
*	WL11	D13	2600	2	0.995	2.59	5	
*	WL12	D13	3150	3	0.995	3.13	9	(平均長)
*	WL13	D13	2160	5	0.995	2.15	11	
*	WL14	D16	1190	4	1.56	1.86	7	(平均長)
*	WL15	D16	740	13	1.56	1.15	15	
*	WL16	D16	3700	3	1.56	5.77	17	
							473 kg	
*	WR1	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WR2	D16	2570	4	1.56	4.01	16	
*	WR3	D16	2180	1	1.56	3.40	3	
*	WR4	D16	3220	12	1.56	5.02	60	
*	WR5	D16	5500	8	1.56	8.58	69	(平均長)
*	WR6	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WR7	D16	2420	5	1.56	3.78	19	
*	WR8	D16	5510	8	1.56	8.60	69	(平均長)
*	WR9	D13	680	16	0.995	0.68	11	
*	WR10	D16	780	8	1.56	1.22	10	
*	WR11	D13	2560	3	0.995	2.55	8	
*	WR12	D16	740	17	1.56	1.15	20	
*	WR13	D16	3000	3	1.56	4.68	14	
							423 kg	
					D16	844 kg		
					D13	52 kg		
					合 計	896 kg		

鉄筋集計表

(SD345)

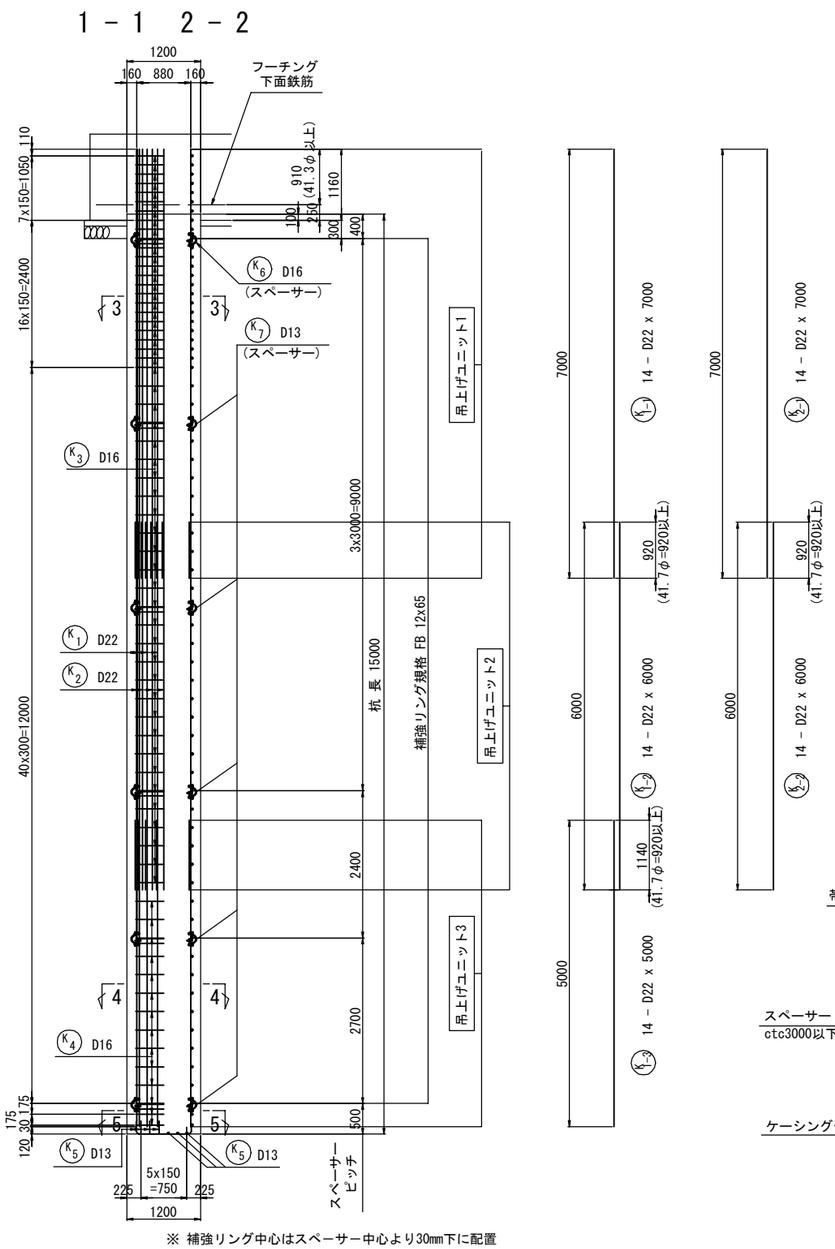
種 別	区 分	径	質量(kg)
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (パラペット 竪壁 ウイング)	D10	D10	3
	D13	D13	292
	D16～D25	D16	1897
		D19	77
		D22	308
		D25	-
		小 計	2282
	D29～D32	D29	-
		D32	-
		小 計	0
	合 計		2577
普通鉄筋 (フーチング)	D13	D13	-
	D16～D25	D16	344
		D19	582
		D22	504
		D25	-
		小 計	1430
	D29～D32	D29	930
		D32	-
		小 計	930
	合 計		2360
総 質 量			4937

注記) 1. ＊ は塗装鉄筋を表す。

原図:A3、単位：mm

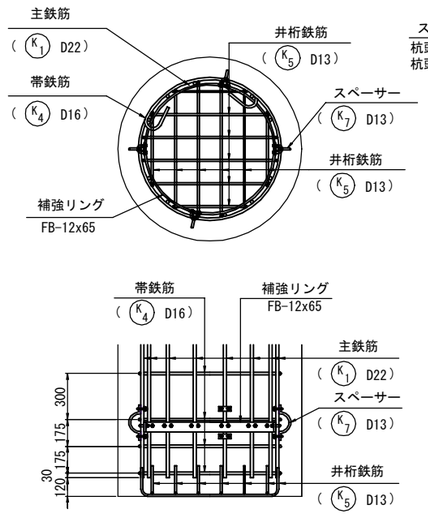
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台配筋図(その7)		
縮 尺	-	図面番号	43
下関市ボートレース企業局			

A1橋台場所打ち杭配筋図 S=1:100

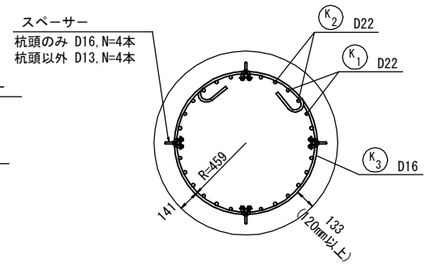


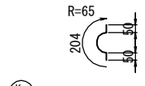
※ 補強リング中心はスペーサー中心より30mm下に配置

杭先端詳細図 S=1:40

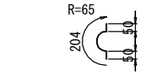


断面詳細図 S=1:40





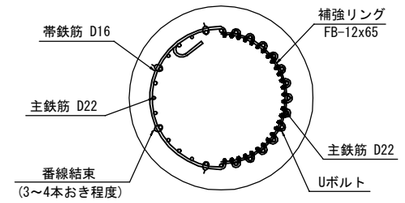
K6 4 - D16 x 310 (スペーサー)



K7 20 - D13 x 310 (スペーサー)

固定詳細図 S=1:40

帯鉄筋・主鉄筋　補強リング・主鉄筋



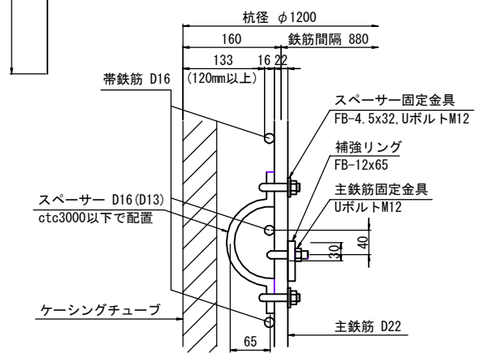
注）帯鉄筋の継手位置は、各々180°ずらして配筋するものとする。
スペーサーの配置方法は、1段に4箇所とし1段ごとに≒45°ずつ回転させた位置に取り付ける。

注）主鉄筋と帯鉄筋は番線結束とする。

注）Uボルト規格：SS400, 変形時荷重20KN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法
設計・施工に関するガイドラインに準拠

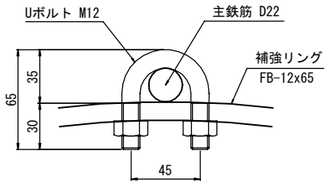
注）鉄筋かごの製作及び建て込み
鉄筋の加工及び組立ては、鉄筋かごが必要な精度を確保し、竪固となるように行わなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接を行ってはならない。

スペーサー部詳細図 S=1:10



Uボルト S=1:4

(D22用)



注）Uボルトまたは同等品
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定する。

スペーサー固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
スペーサーD16	310	4	1.56	0.48	2	
スペーサーD13	310	20	0.995	0.31	6	
UボルトD22用	-	48	-	-	-	主鉄筋D22とスペーサーの固定　4x2x6=48
FB - 4.5 x 32	80	48	1.13	0.09	4	

補強リング,固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
FB - 12 x 65	2658	6	6.12	16.27	98	主鉄筋D22,補強リング(SS400) φ846
UボルトD22用	-	140	-	-	-	主鉄筋D22と補強リングの固定　**28x4+14x2=140**

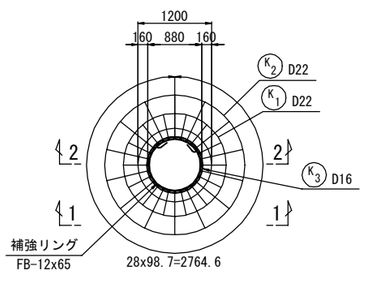
鉄筋質量表

(杭1本当り)

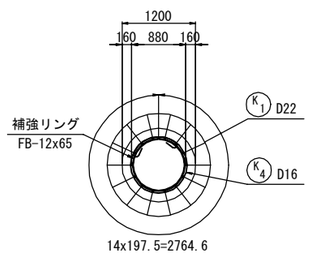
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘 要
K1-1	D22	7000	14	3.04	21.28	298	
K1-2	D22	6000	14	3.04	18.24	255	
K1-3	D22	5000	14	3.04	15.20	213	
K2-1	D22	7000	14	3.04	21.28	298	
K2-2	D22	6000	14	3.04	18.24	255	
K3	D16	4170	52	1.56	6.51	339	○
K4	D16	4270	14	1.56	6.66	93	○
K5	D13	1070	12	0.995	1.06	13	⌴ (平均長)
					合 計	1764 kg	
					D22	1319 kg	
					D16	432 kg	
					D13	13 kg	
					総合計	1764 kg	

注）コンクリート強度σck=24N/mm2（呼び強度 30N/mm2）である。
鉄筋の材質は全てSD345である。
粗骨材の最大寸法はφ25mmとすること。

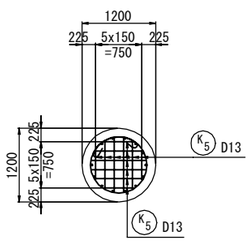
3 - 3

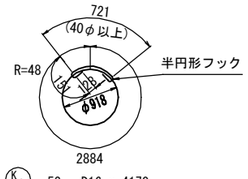


4 - 4

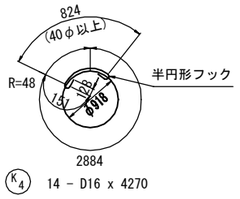


5 - 5

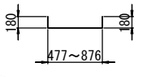




K3 52 - D16 x 4170

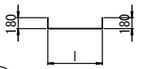


K4 14 - D16 x 4270



K5 12 - D13 x 1070 (平均長)

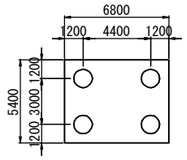
変化鉄筋表



K5 12 - D13 x 1070 (平均長)

種 別	径	本 数	l	L
K5-1	D13	4	876	1240
K5-2	D13	4	767	1130
K5-3	D13	4	477	840
平均長		12		1070

杭配置図 S=1:400

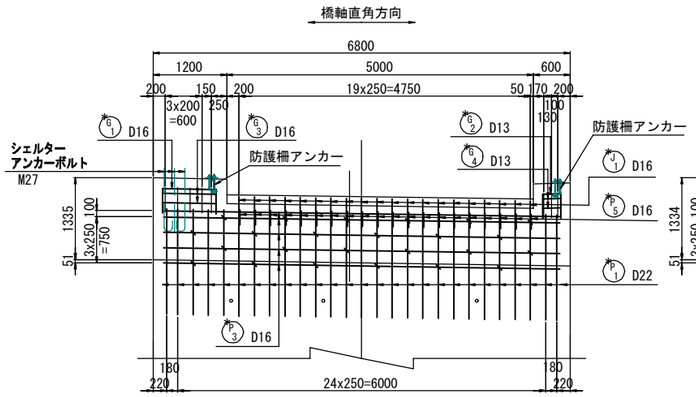


原図:A3、単位：mm

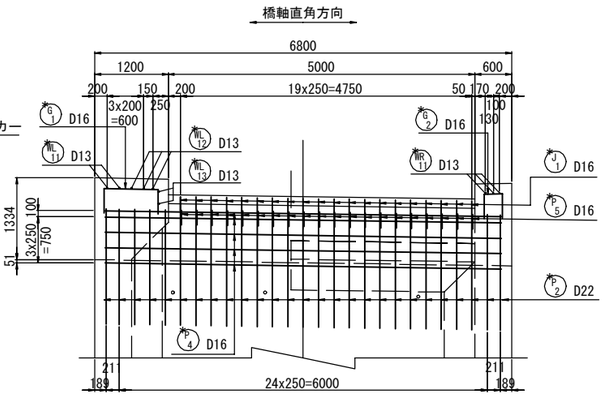
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事
図面名	A1橋台場所打ち杭配筋図
縮 尺	図示
図面番号	44
下関市ボートレース企業局	

A2橋台配筋図(その1) S=1:100

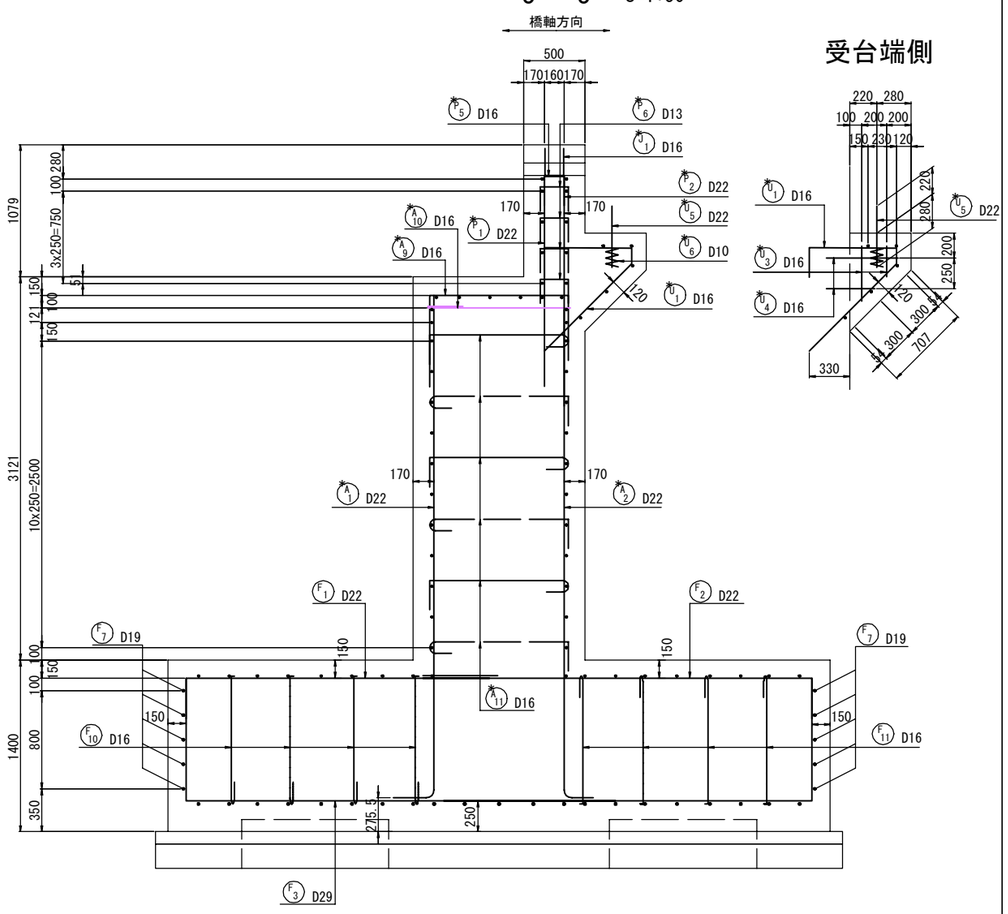
1 － 1
(前面)



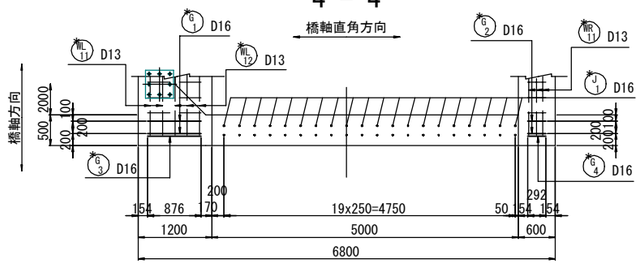
2 － 2
(背面)



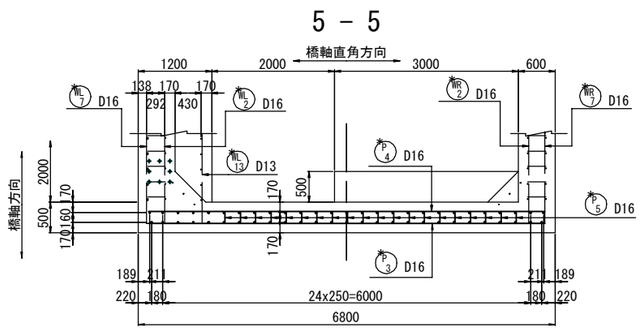
3 － 3 S=1:50



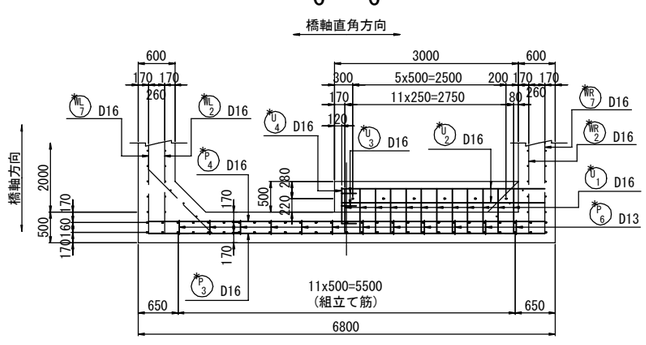
4 － 4

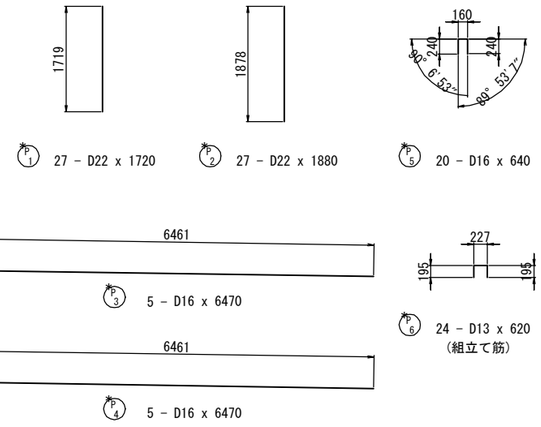


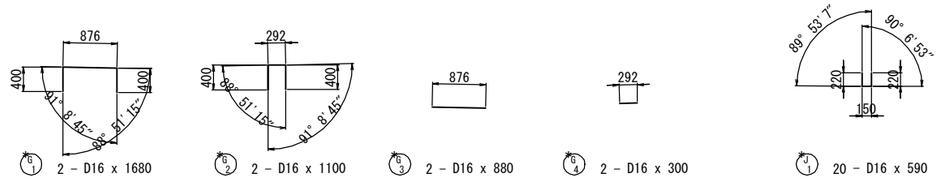
5 － 5

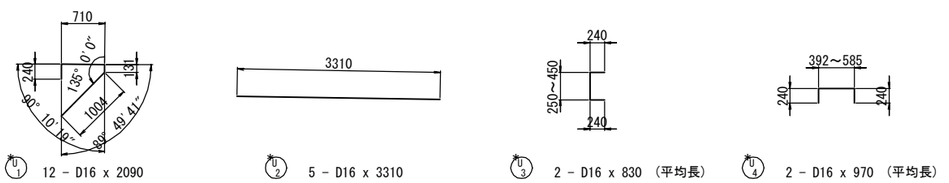


6 － 6

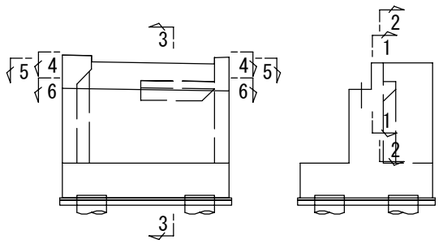








位置図



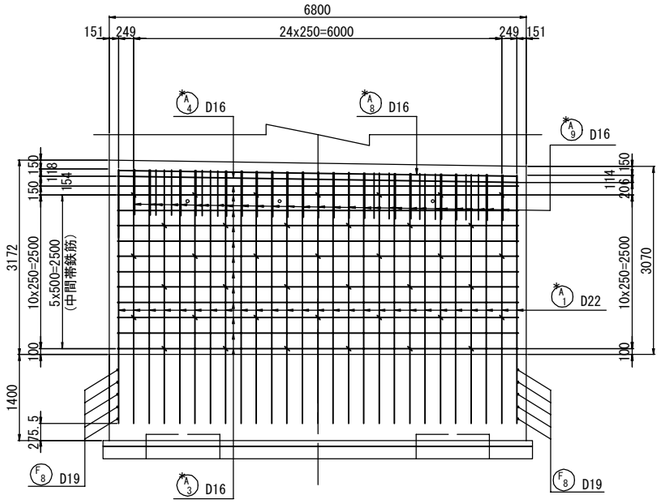
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	45
下関市ボートレース企業局			

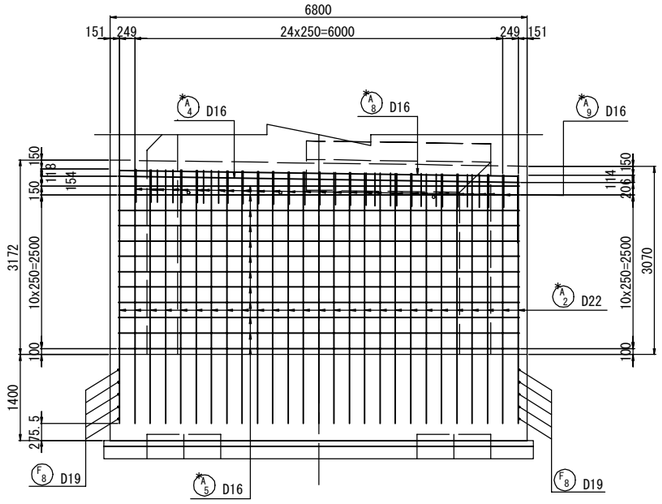
注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

A2橋台配筋図(その2)

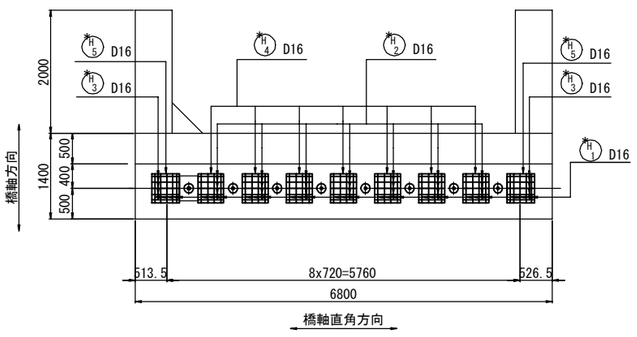
1 - 1



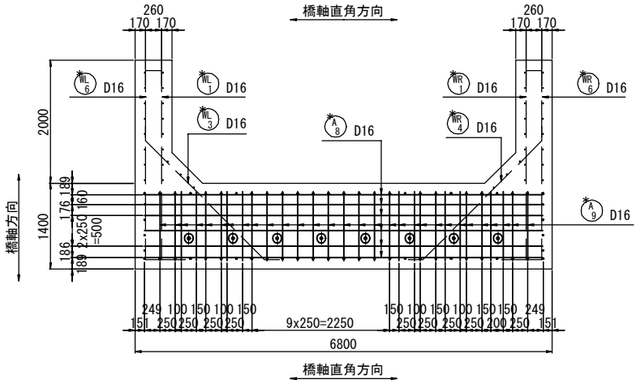
2 - 2



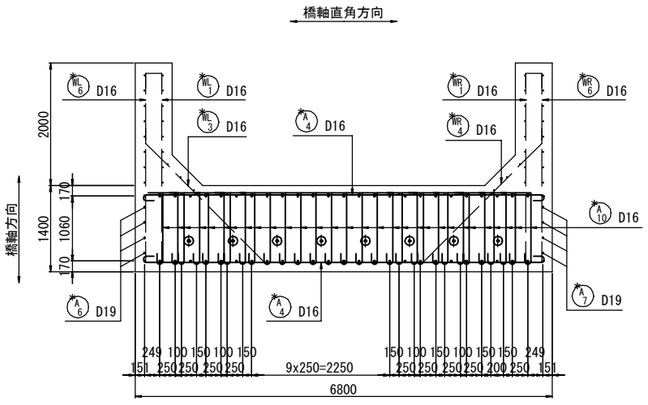
沓座部補強図



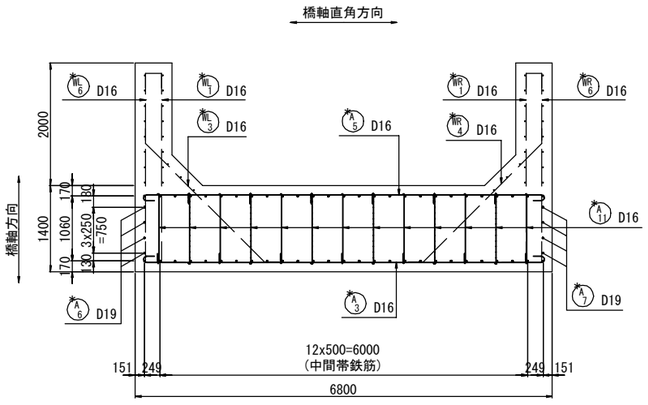
3 - 3

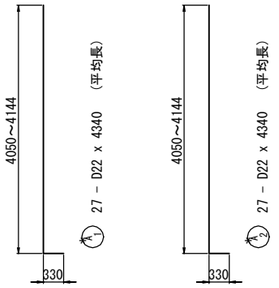


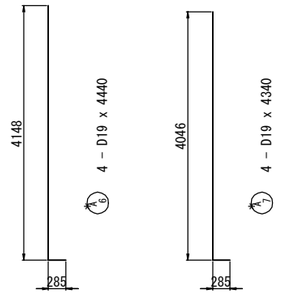
沓座部水平補強鉄筋配置図

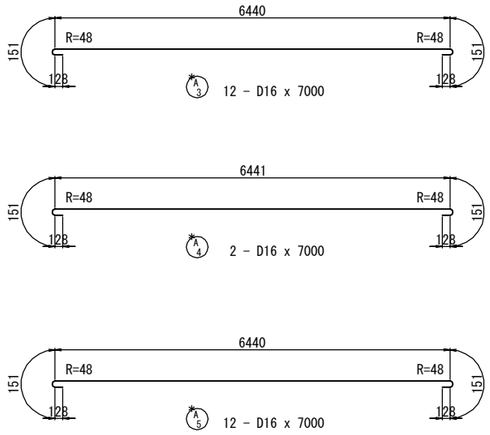


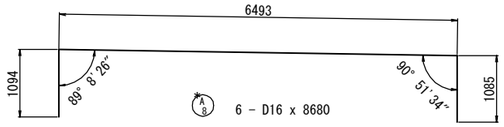
4 - 4

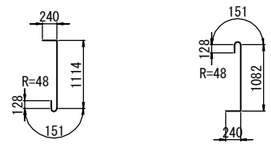




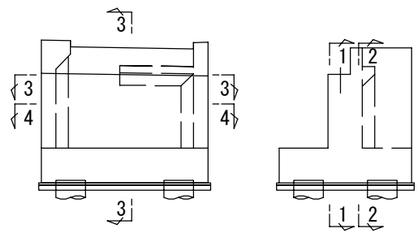








位 置 図



原図:A3、単位:mm

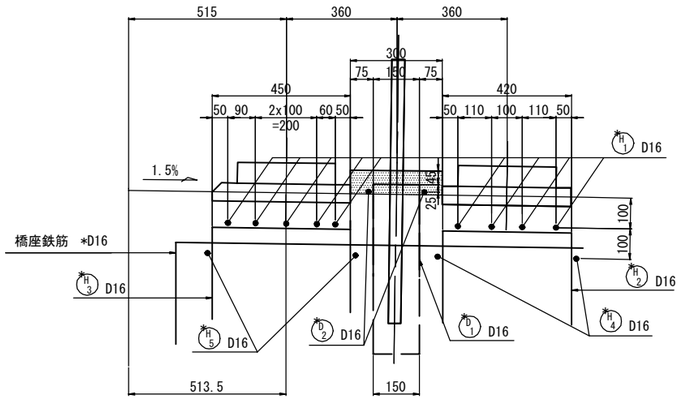
注記) 1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その2)		
縮　尺	1/100	図面番号	46
下関市ボートレース企業局			

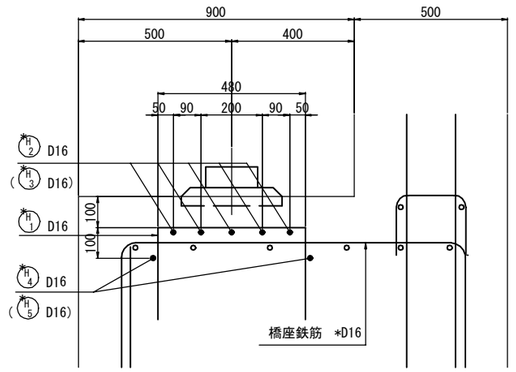
A2橋台配筋図(その3)

沓座部補強詳細図

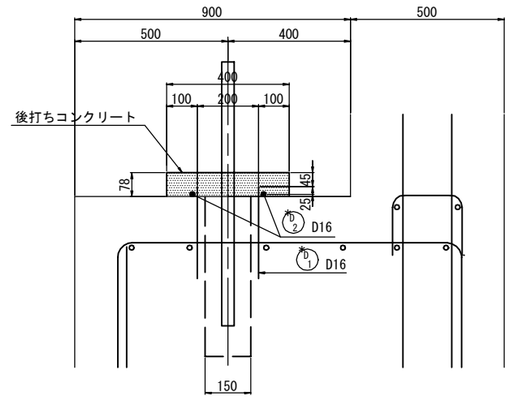
正 面 図
橋軸直角方向



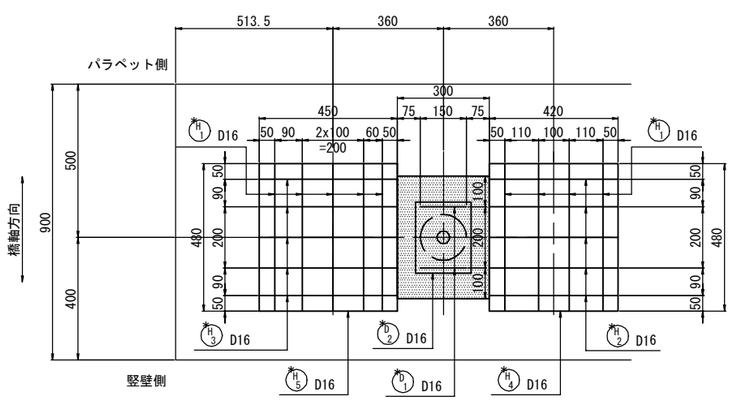
断 面 図
橋軸方向

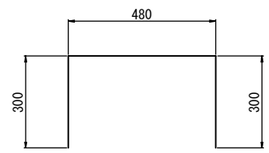


断 面 図
橋軸方向

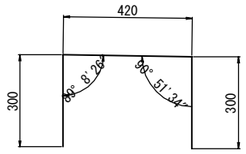


平 面 図
橋軸直角方向

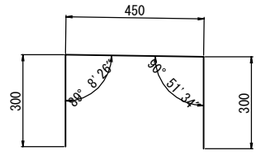




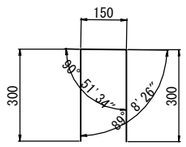
H1 38 - D16 x 1080



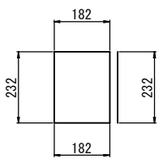
H2 35 - D16 x 1020



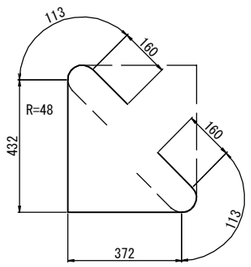
H3 10 - D16 x 1050



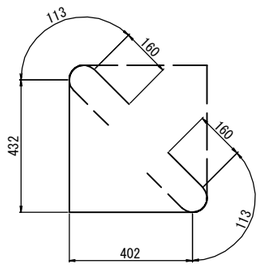
D1 16 - D16 x 750



D2 8 - D16 x 1060



H4 14 - D16 x 1350



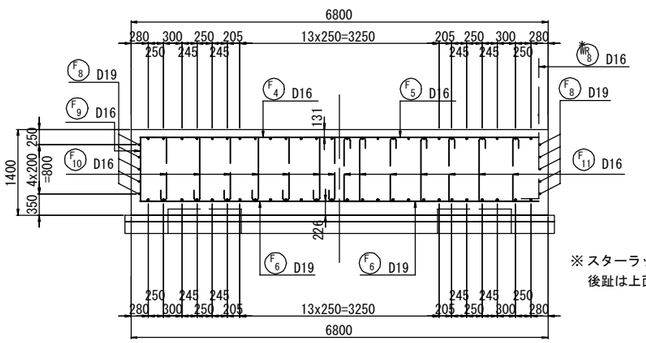
H5 4 - D16 x 1380

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その3)		
縮　尺	1/20	図面番号	47
下関市ボートレース企業局			

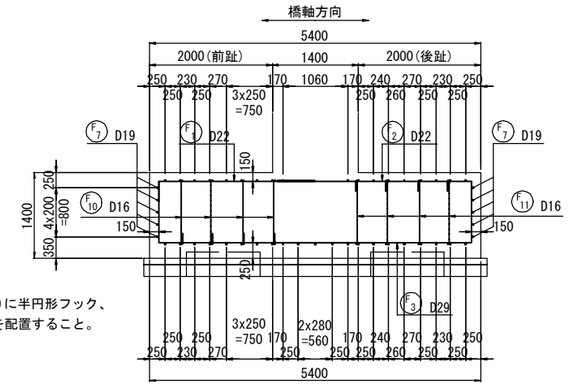
A2橋台配筋図(その4)

1 - 1 (前 趾)　2 - 2 (後 趾)

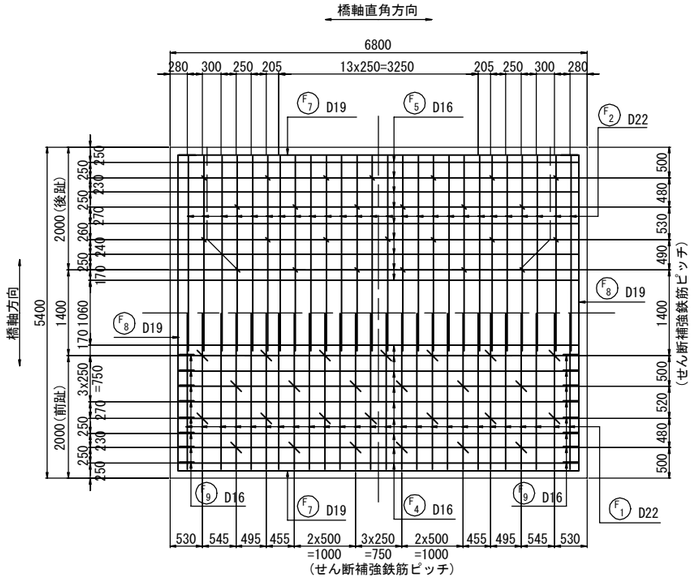


※スターラップは、前趾は下面側(引張側)に半円形フック、
後趾は上面側(引張側)に半円形フックを配置すること。

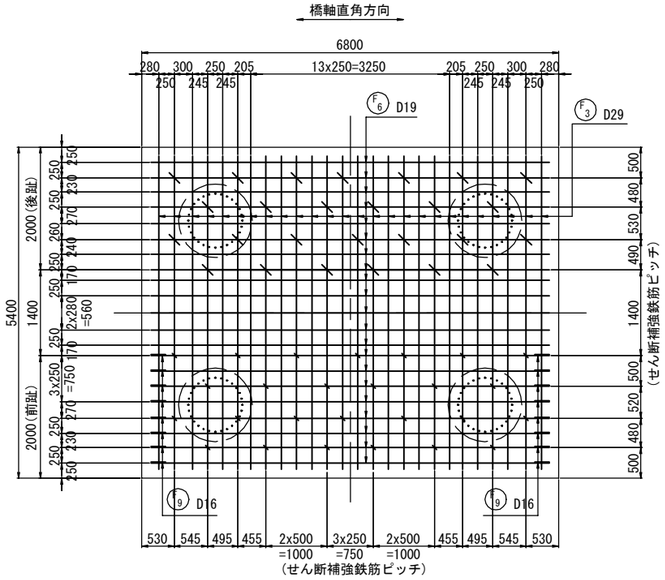
3 - 3



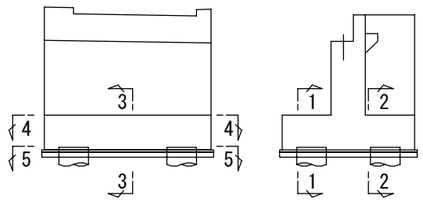
4 - 4 (上 面)

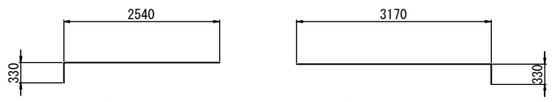


5 - 5 (下 面)

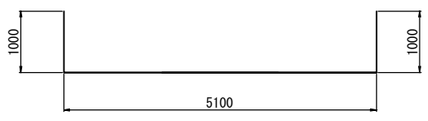


位 置 図

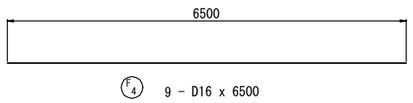




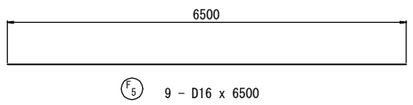
F1 26 - D22 x 2870　　F2 26 - D22 x 3500



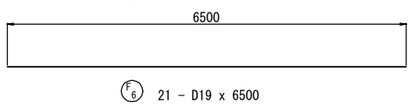
F3 26 - D29 x 7100



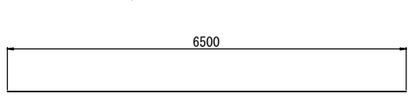
F4 9 - D16 x 6500



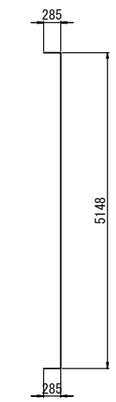
F5 9 - D16 x 6500



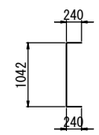
F6 21 - D19 x 6500



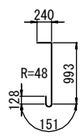
F7 10 - D19 x 6500



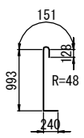
F8 10 - D19 x 5720



F9 16 - D16 x 1530



F10 26 - D16 x 1520



F11 26 - D16 x 1520

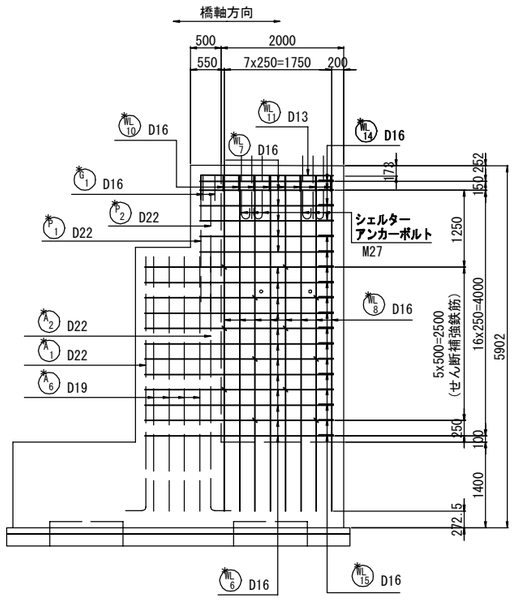
原図:A3、単位：mm

注記）1. ＊は塗装鉄筋を表す。

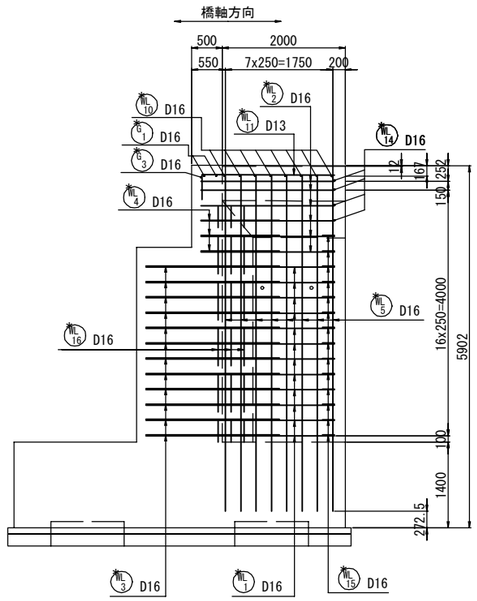
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その4)		
縮　尺	1/100	図面番号	48
下関市ボートレース企業局			

A2橋台配筋図(その5)

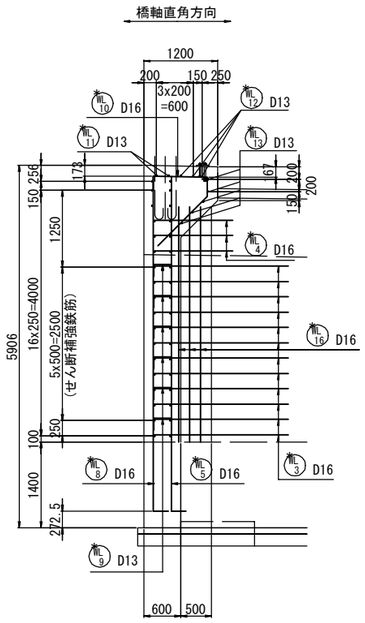
1 － 1
(L側外面)



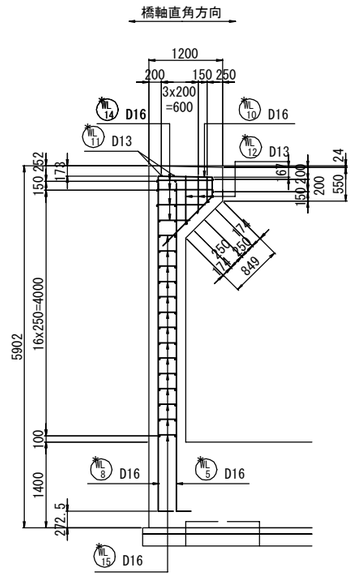
2 － 2
(L側内面)

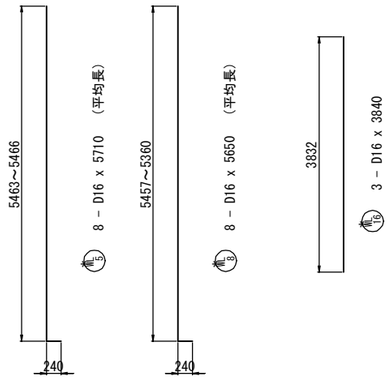


3 － 3
(パラペット背面)

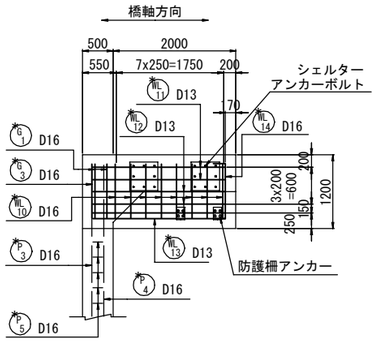


4 － 4
(ウイング後端)

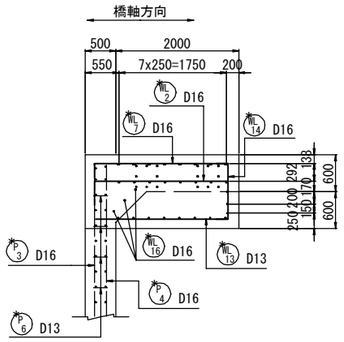




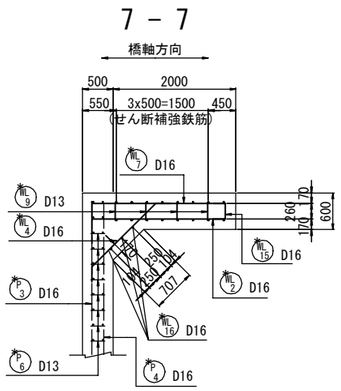
5 － 5



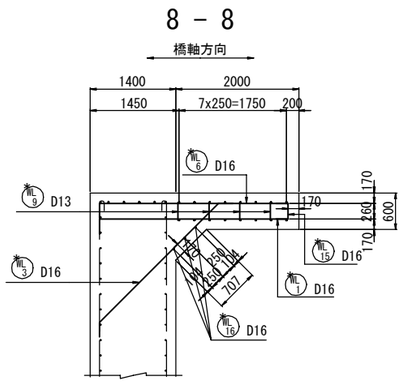
6 － 6

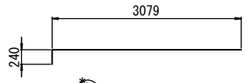


7 － 7

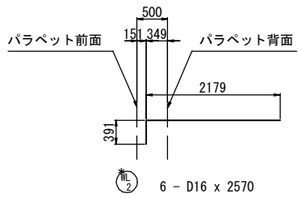


8 － 8

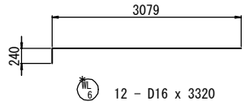




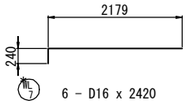
12 － D16 x 3320



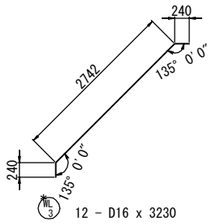
6 － D16 x 2570



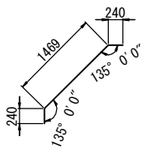
12 － D16 x 3320



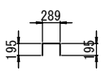
6 － D16 x 2420



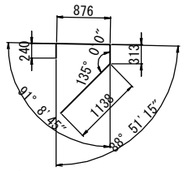
12 － D16 x 3230



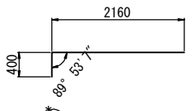
3 － D16 x 1950



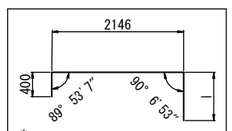
12 － D13 x 680



8 － D16 x 2570

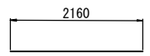


2 － D13 x 2560

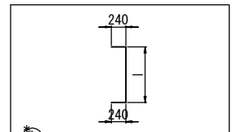


3 － D13 x 3150 (平均長)

記号	径	本数	l	L
WL12-1	D13	1	787	3340
WL12-2	D13	1	583	3130
WL12-3	D13	1	430	2980
平均長		3		3150

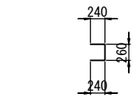


5 － D13 x 2160



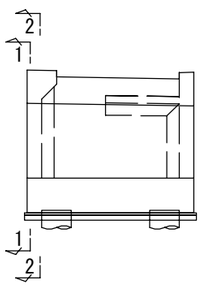
4 － D16 x 1260 (平均長)

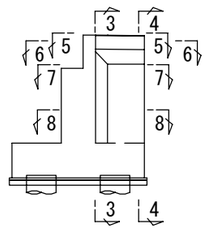
記号	径	本数	l	L
WL14-1	D16	1	907	1390
WL14-2	D16	1	907	1390
WL14-3	D16	1	779	1260
WL14-4	D16	1	497	980
平均長		4		1260



14 － D16 x 740

位 置 図





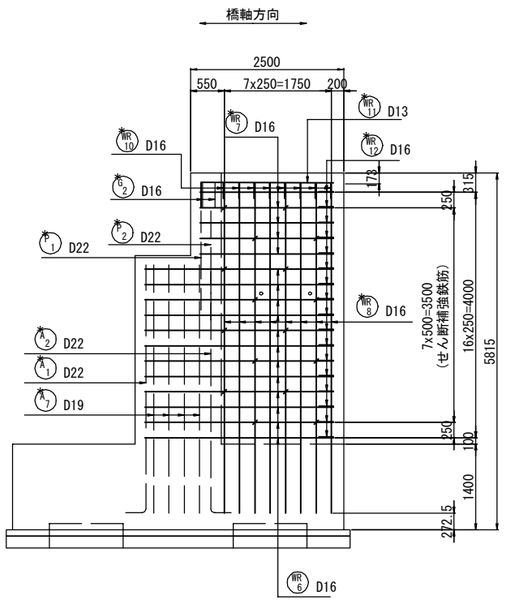
注記) 1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

原図:A3、単位：mm

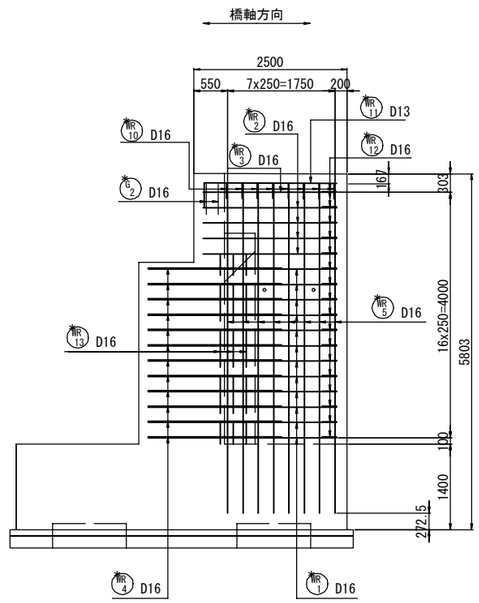
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その5)		
縮　尺	1/100	図面番号	49
下関市ボートレース企業局			

A2橋台配筋図(その6)

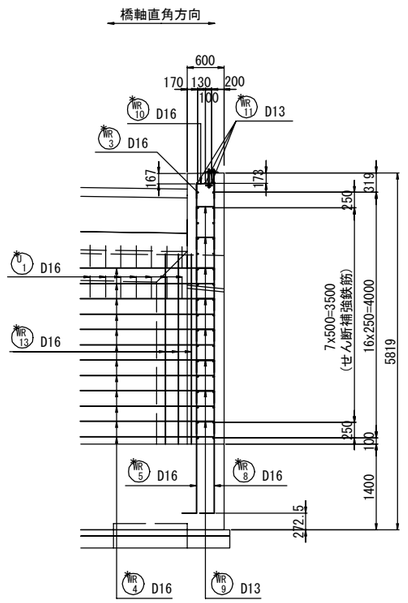
1 - 1
(R側外面)

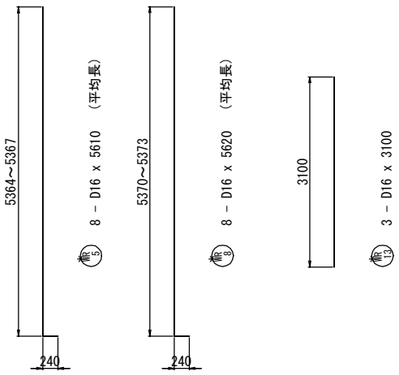


2 - 2
(R側内面)

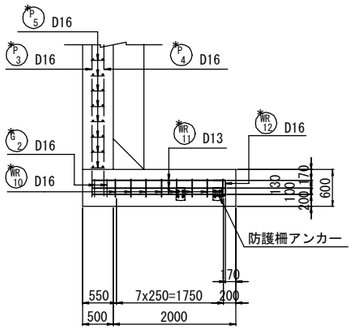


3 - 3
(パラペット背面)

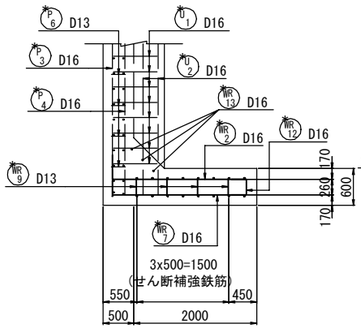


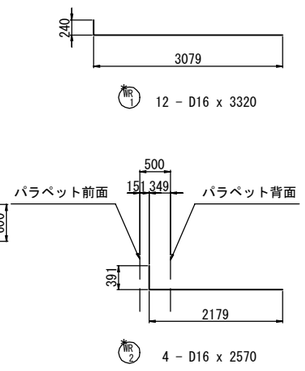


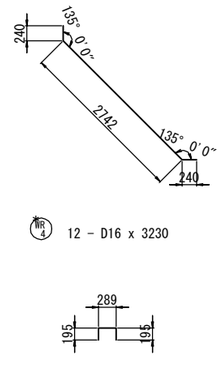
4 - 4
橋軸方向

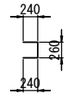


5 - 5
橋軸方向

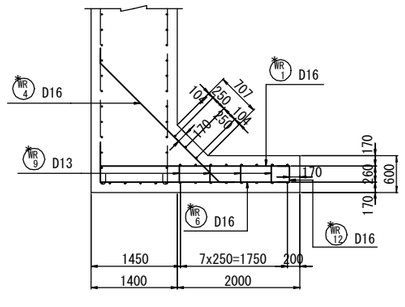




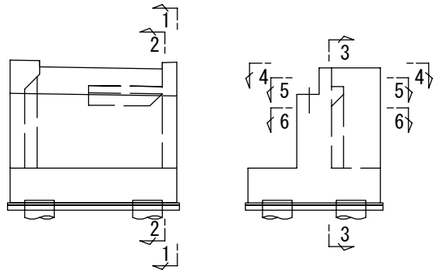




6 - 6
橋軸方向



位置図



注記) 1. ＊は塗装鉄筋を表す。
2. 水抜きパイプは配筋を避けて配置すること。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その6)		
縮　尺	1/100	図面番号	50
下関市ボートレース企業局			

A2橋台配筋図(その7)

鉄 筋 表 (本 体)

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	P1	D22	1720	27	3.04	5.23	141	
*	P2	D22	1880	27	3.04	5.72	154	
*	P3	D16	6470	5	1.56	10.09	50	
*	P4	D16	6470	5	1.56	10.09	50	
*	P5	D16	640	20	1.56	1.00	20	
*	P6	D13	620	24	0.995	0.62	15	
							430 kg	
*	G1	D16	1680	2	1.56	2.62	5	
*	G2	D16	1100	2	1.56	1.72	3	
*	G3	D16	880	2	1.56	1.37	3	
*	G4	D16	300	2	1.56	0.47	1	
							12 kg	
*	U1	D16	2090	12	1.56	3.26	39	
*	U2	D16	3310	5	1.56	5.16	26	
*	U3	D16	830	2	1.56	1.29	3	(平均長)
*	U4	D16	970	2	1.56	1.51	3	(平均長)
*	U5	D22	500	6	3.04	1.52	9	
*	U6	D10	950	6	0.56	0.53	3	
							83 kg	
*	A1	D22	4340	27	3.04	13.19	356	(平均長)
*	A2	D22	4340	27	3.04	13.19	356	(平均長)
*	A3	D16	7000	12	1.56	10.92	131	
*	A4	D16	7000	2	1.56	10.92	22	
*	A5	D16	7000	12	1.56	10.92	131	
*	A6	D19	4440	4	2.25	9.99	40	
*	A7	D19	4340	4	2.25	9.77	39	
*	A8	D16	8680	6	1.56	13.54	81	
*	A9	D16	2410	30	1.56	3.76	113	
*	A10	D16	1640	30	1.56	2.56	77	
*	A11	D16	1610	13	1.56	2.51	33	
							1379 kg	
	沓座部補強鉄筋							
*	H1	D16	1080	38	1.56	1.68	64	
*	H2	D16	1020	35	1.56	1.59	56	
*	H3	D16	1050	10	1.56	1.64	16	
*	H4	D16	1350	14	1.56	2.11	30	
*	H5	D16	1380	4	1.56	2.15	9	
							175 kg	
	後打部補強鉄筋(パラペット部)							
*	J1	D16	590	20	1.56	0.92	18	
							18 kg	
	後打部補強鉄筋(橋座部)							
*	D1	D16	750	16	1.56	1.17	19	
*	D2	D16	1060	8	1.56	1.65	13	
							32 kg	

記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
F1	D22	2870	26	3.04	8.72	227	
F2	D22	3500	26	3.04	10.64	277	
F3	D29	7100	26	5.04	35.78	930	
F4	D16	6500	9	1.56	10.14	91	
F5	D16	6500	9	1.56	10.14	91	
F6	D19	6500	21	2.25	14.63	307	
F7	D19	6500	10	2.25	14.63	146	
F8	D19	5720	10	2.25	12.87	129	
F9	D16	1530	16	1.56	2.39	38	
F10	D16	1520	26	1.56	2.37	62	
F11	D16	1520	26	1.56	2.37	62	
						2360 kg	
					D29	930 kg	
					D22	1520 kg	
					D19	661 kg	
					D16	1360 kg	
					D13	15 kg	
					D10	3 kg	
					合 計	4489 kg	

鉄 筋 表 (ウイング)

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	WL1	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WL2	D16	2570	6	1.56	4.01	24	
*	WL3	D16	3230	12	1.56	5.04	60	
*	WL4	D16	1950	3	1.56	3.04	9	
*	WL5	D16	5710	8	1.56	8.91	71	(平均長)
*	WL6	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WL7	D16	2420	6	1.56	3.78	23	
*	WL8	D16	5650	8	1.56	8.81	70	(平均長)
*	WL9	D13	680	12	0.995	0.68	8	
*	WL10	D16	2570	8	1.56	4.01	32	
*	WL11	D13	2560	2	0.995	2.55	5	
*	WL12	D13	3150	3	0.995	3.13	9	(平均長)
*	WL13	D13	2160	5	0.995	2.15	11	
*	WL14	D16	1260	4	1.56	1.97	8	(平均長)
*	WL15	D16	740	14	1.56	1.15	16	
*	WL16	D16	3840	3	1.56	5.99	18	
							488 kg	
*	WR1	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WR2	D16	2570	4	1.56	4.01	16	
*	WR3	D16	2180	1	1.56	3.40	3	
*	WR4	D16	3230	12	1.56	5.04	60	
*	WR5	D16	5610	8	1.56	8.75	70	(平均長)
*	WR6	D16	3320	12	1.56	5.18	62	
*	WR7	D16	2420	5	1.56	3.78	19	
*	WR8	D16	5620	8	1.56	8.77	70	(平均長)
*	WR9	D13	680	16	0.995	0.68	11	
*	WR10	D16	780	8	1.56	1.22	10	
*	WR11	D13	2560	3	0.995	2.55	8	
*	WR12	D16	740	17	1.56	1.15	20	
*	WR13	D16	3100	3	1.56	4.84	15	
							426 kg	
					D16	862 kg		
					D13	52 kg		
					合 計	914 kg		

鉄筋集計表

(SD345)

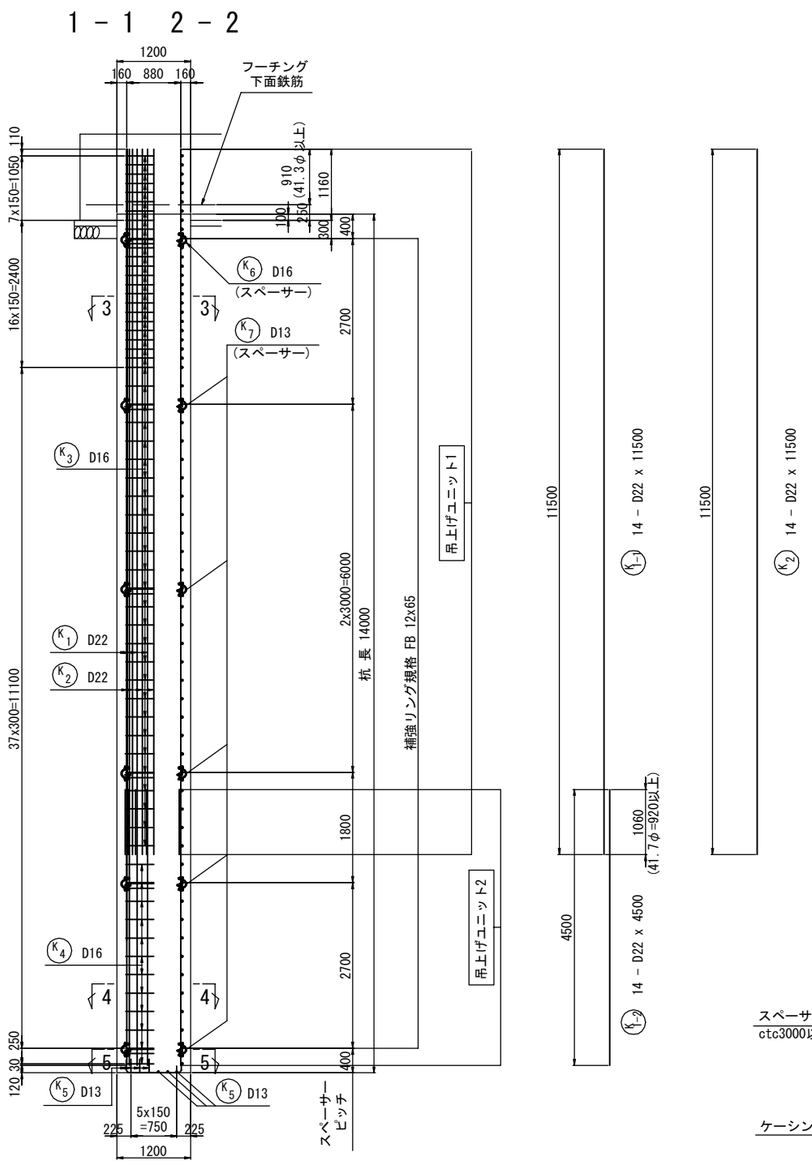
種 別	区 分	径	質量(kg)
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (パラペット 竪壁 ウイング)	D10	D10	3
	D13	D13	67
	D16～D25	D16	1878
		D19	79
		D22	1016
		D25	-
		小 計	2973
	D29～D32	D29	-
		D32	-
		小 計	0
	合 計		3043
普通鉄筋 (フーチング)	D13	D13	-
	D16～D25	D16	344
		D19	582
		D22	504
		D25	-
		小 計	1430
	D29～D32	D29	930
		D32	-
		小 計	930
	合 計		2360
総 質 量			5403

注記) 1. ＊ は塗装鉄筋を表す。

原図:A3、単位：mm

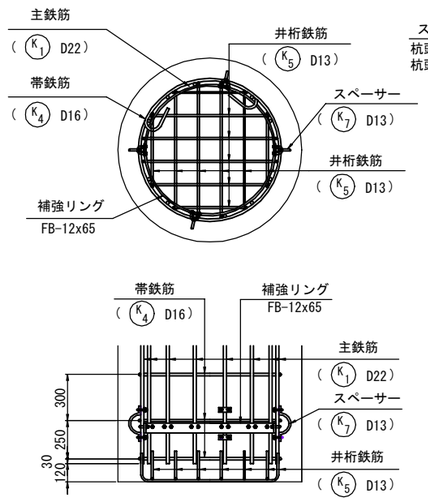
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台配筋図(その7)		
縮 尺	-	図面番号	51
下関市ボートレース企業局			

A2橋台場所打ち杭配筋図 S=1:100

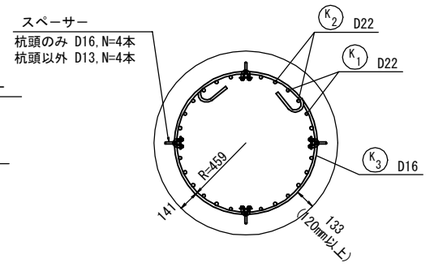


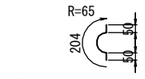
※ 補強リング中心はスペーサー中心より30mm下に配置

杭先端詳細図 S=1:40

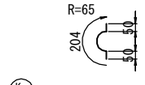


断面詳細図 S=1:40





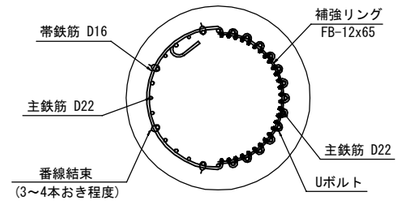
K6 4 - D16 x 310 (スペーサー)



K7 20 - D13 x 310 (スペーサー)

固定詳細図 S=1:40

帯鉄筋・主鉄筋　補強リング・主鉄筋



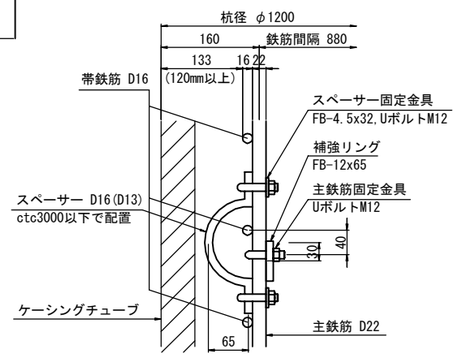
注）帯鉄筋の継手位置は、各々180° ずらして配筋するものとする。
スペーサーの配置方法は、1段に4箇所とし1段ごとに≒45° ずつ回転させた位置に取り付ける。

注）主鉄筋と帯鉄筋は番線結束とする。

注）Uボルト規格：SS400, 変形時荷重20KN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法
設計・施工に関するガイドラインに準拠

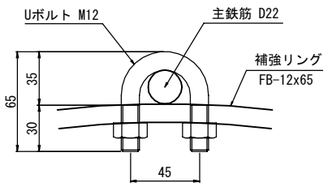
注）鉄筋かごの製作及び建て込み
鉄筋の加工及び組立ては、鉄筋かごが必要な精度を確保し、竪固となるように行わなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接を行ってはならない。

スペーサー部詳細図 S=1:10



Uボルト S=1:4

(D22用)



注）Uボルトまたは同等品
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定する。

スペーサー固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
スペーサーD16	310	4	1.56	0.48	2	
スペーサーD13	310	20	0.995	0.31	6	
UボルトD22用	-	48	-	-	-	主鉄筋D22とスペーサーの固定　4x2x6=48
FB - 4.5 x 32	80	48	1.13	0.09	4	

補強リング,固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
FB - 12 x 65	2658	6	6.12	16.27	98	主鉄筋D22,補強リング(SS400) φ846
UボルトD22用	-	140	-	-	-	主鉄筋D22と補強リングの固定　**28x4+14x2=140**

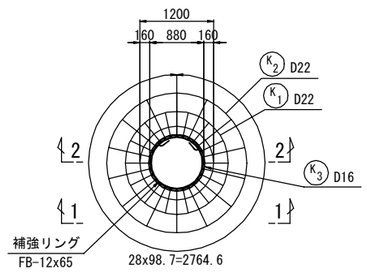
鉄筋質量表

(杭1本当り)

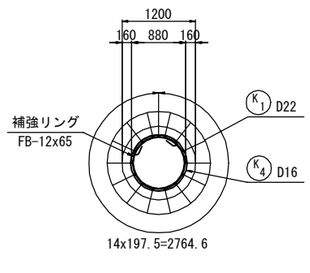
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘 要
K1-1	D22	11500	14	3.04	34.96	489	
K1-2	D22	4500	14	3.04	13.68	192	
K2	D22	11500	14	3.04	34.96	489	
K3	D16	4170	50	1.56	6.51	326	○
K4	D16	4270	12	1.56	6.66	80	○
K5	D13	1070	12	0.995	1.06	13	⌴ (平均長)
					合 計	1589 kg	
					D22	1170 kg	
					D16	406 kg	
					D13	13 kg	
					総合計	1589 kg	

注）コンクリート強度σck=24N/mm2（呼び強度 30N/mm2）である。
鉄筋の材質は全てSD345である。
粗骨材の最大寸法はφ25mmとすること。

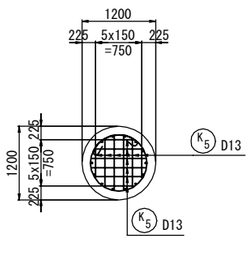
3 - 3

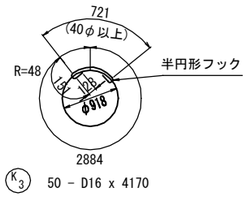


4 - 4

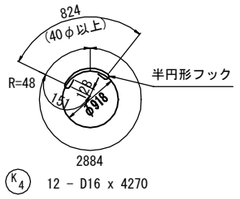


5 - 5

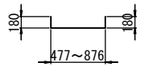




K3 50 - D16 x 4170



K4 12 - D16 x 4270



K5 12 - D13 x 1070 (平均長)

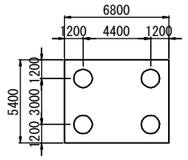
変化鉄筋表



K5 12 - D13 x 1070 (平均長)

種 別	径	本 数	l	L
K5-1	D13	4	876	1240
K5-2	D13	4	767	1130
K5-3	D13	4	477	840
平均長		12		1070

杭配置図 S=1:400

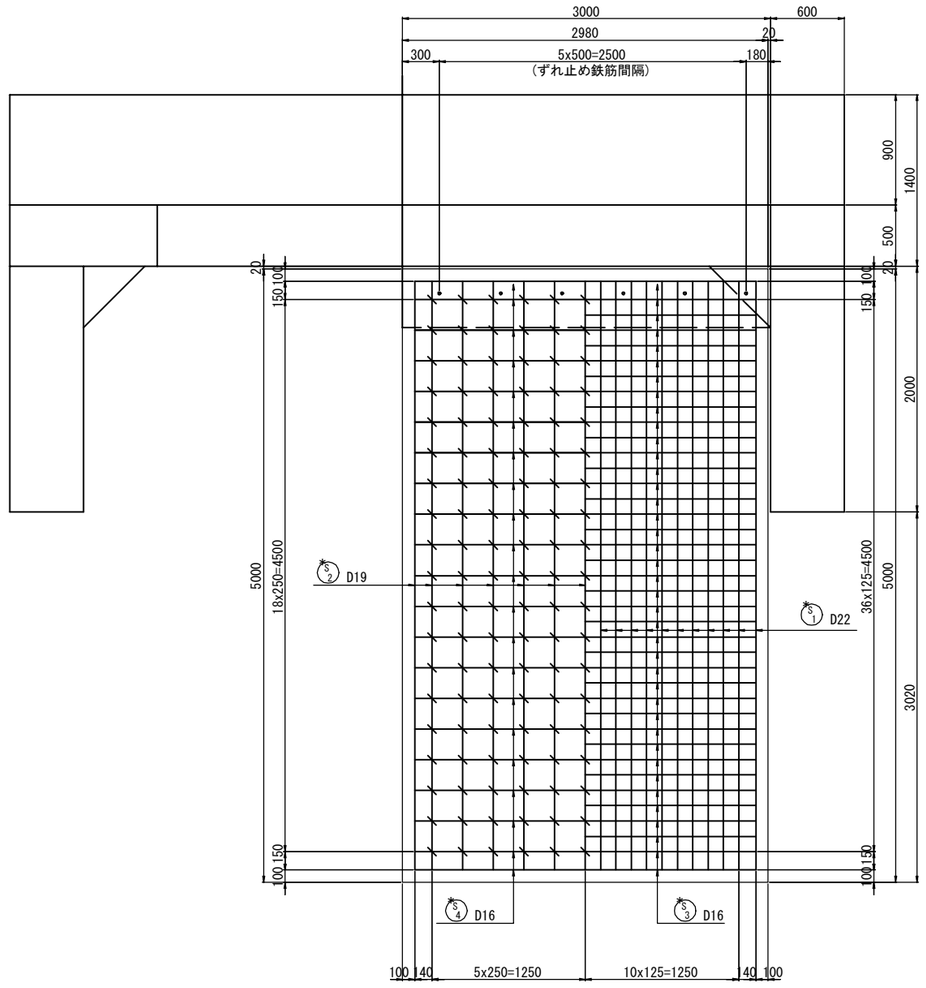


原図:A3、単位：mm

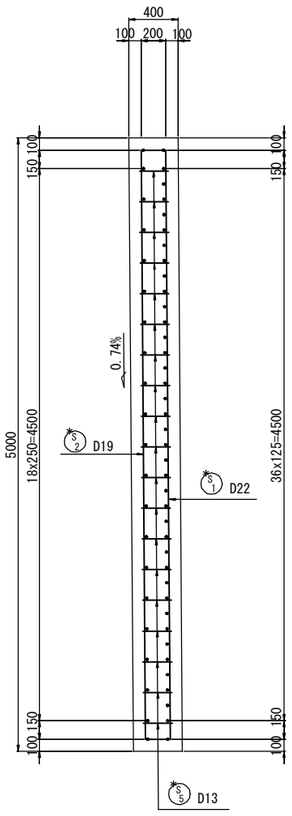
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台場所打ち杭配筋図		
縮　尺	図示	図面番号	52
下関市ボートレース企業局			

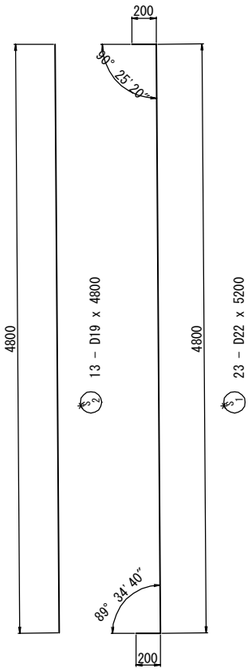
A1橋台踏掛版配筋図 S=1:50

1 - 1 （上 面）　2 - 2 （下 面）

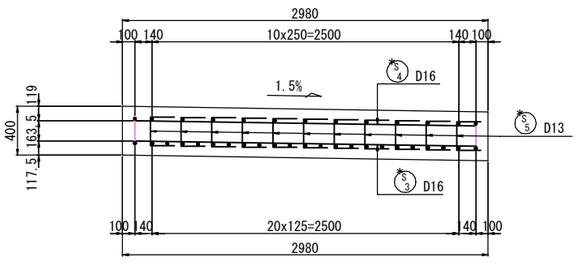


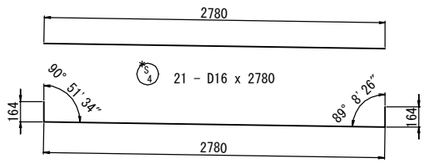
3 - 3





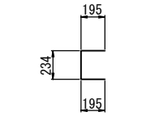
4 - 4



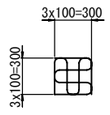


21 - D16 x 2780

39 - D16 x 3110



209 - D13 x 630

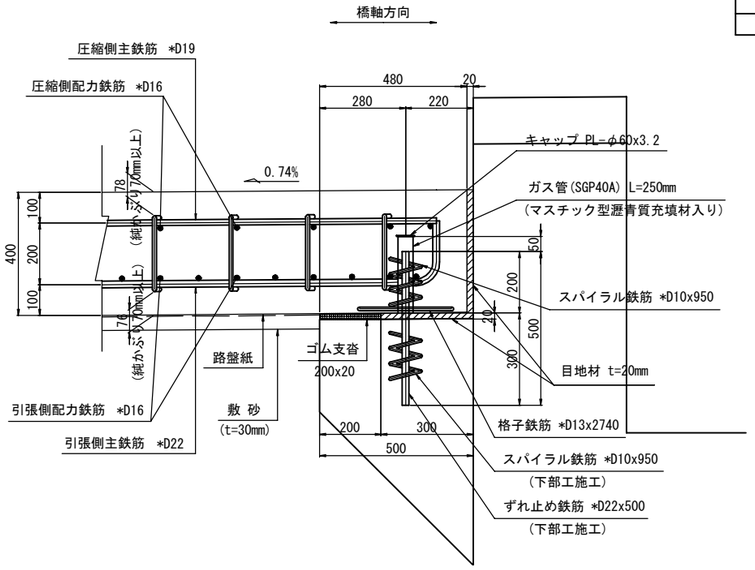


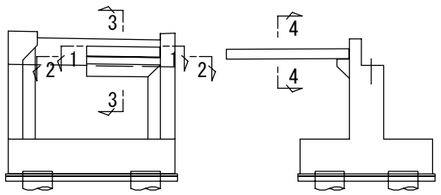
6 - D13 x 2740



6 - D10 x 950
（スパイラル筋）

支点部詳細図 S=1:20





鉄 筋 表

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	S1	D22	5200	23	3.04	15.81	364	
*	S2	D19	4800	13	2.25	10.80	140	
*	S3	D16	3110	39	1.56	4.85	189	
*	S4	D16	2780	21	1.56	4.34	91	
*	S5	D13	630	209	0.995	0.63	132	
*	S6	D13	2740	6	0.995	2.73	16	
*	S7	D10	950	6	0.560	0.53	3	
							935 kg	

SD345	D22	364 kg
	D19	140 kg
	D16	280 kg
	D13	148 kg
	D10	3 kg
	合 計	935 kg

支承部鋼材							
SGP	40A	250	6	3.890	0.97	6	ガスパイプ
PL	φ60 x 3.2		6		0.07	1	キャップ
						7 kg	

マスチック型避青質充填材

V = 1/4 x π x (0.060 ^{2} 0.25 - 0.022 x^{2}0.20) x 6 = 0.004 m^3

ゴム沓 (t=20mm)

A = 0.200 x 2.980 = 0.6 m^2

目地材 (t=20mm)

A = (0.400 + 0.300) x 2.980 + 0.420 x 0.500 + 0.400 × 1.500

= 2.9 m^2

踏掛版コンクリート (σck=24N/mm^2)

V = 2.980 x 5.000 x 0.400 = 6.0 m^3

踏掛版型枠

A = (5.000 + 2.980 + 3.020) x 0.400 = 4.4 m^2

踏掛版底面積

A = (5.000 - 0.480) x 2.980 = 13.5 m^2

敷 砂

V = (5.000 - 0.480) x 2.980 x 0.030 = 0.4 m^3

路盤紙

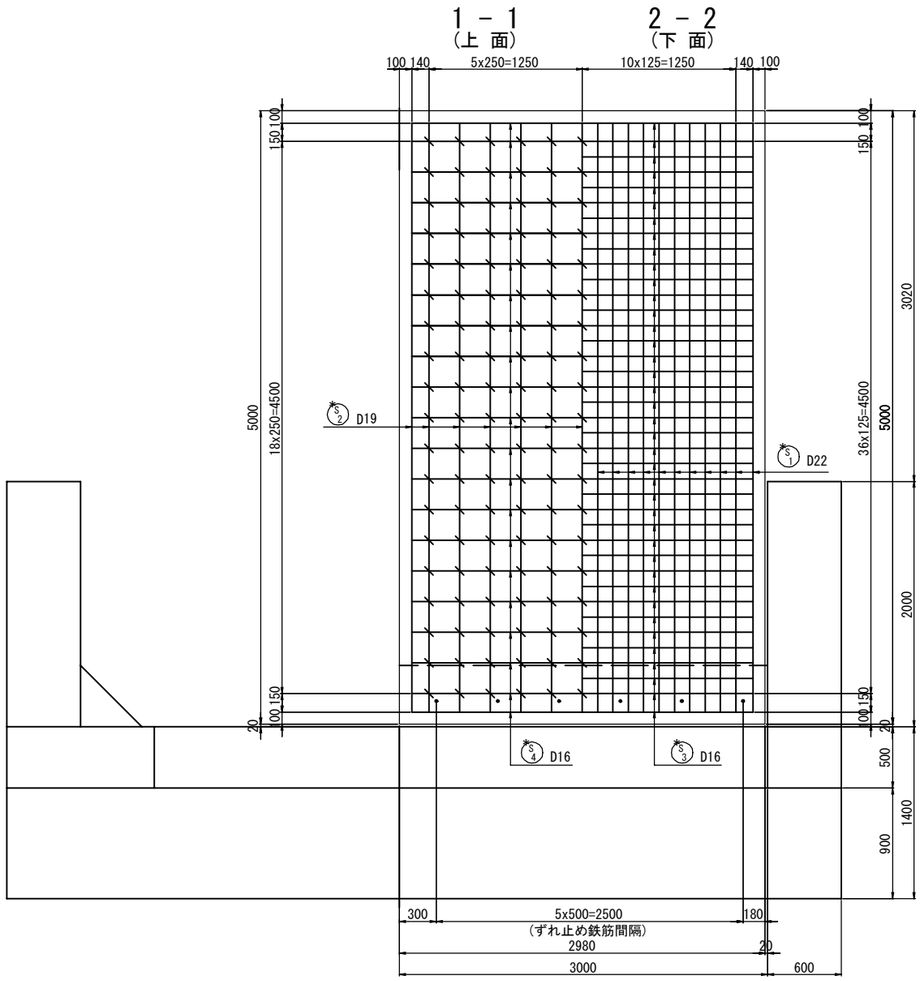
A = (5.000 - 0.480) x 2.980 = 13.5 m^2

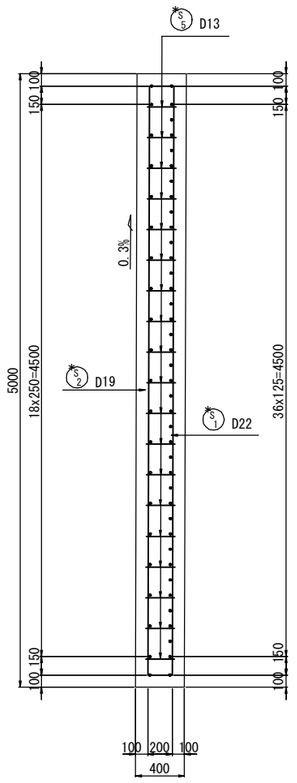
注記） 1. ＊ は塗装鉄筋を表す。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台踏掛版配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	53
下関市ボートレース企業局			

A2橋台踏掛版配筋図　1:50







鉄 筋 表

	記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
*	S1	D22	5200	23	3.04	15.81	364	
*	S2	D19	4800	13	2.25	10.80	140	
*	S3	D16	3110	39	1.56	4.85	189	
*	S4	D16	2780	21	1.56	4.34	91	
*	S5	D13	630	209	0.995	0.63	132	
*	S6	D13	2740	6	0.995	2.73	16	
*	S7	D10	950	6	0.560	0.53	3	
							935 kg	

SD345	D22	364 kg
	D19	140 kg
	D16	280 kg
	D13	148 kg
	D10	3 kg
	合 計	935 kg

支承部鋼材						
SGP	40A	250	6	3.890	0.97	6	ガスパイプ
PL	φ60 x 3.2		6		0.07	1	キャップ
						7 kg	

マスチック型避青質充填材

V = 1/4 x π x (0.060 ^{2} 0.25 - 0.022 x^{2}0.20) x 6 = 0.004 m^3

ゴム沓 (t=20mm)

A = 0.200 x 2.980 = 0.6 m^2

目地材 (t=20mm)

A = (0.400 + 0.300) x 2.980 + 0.420 x 0.500 + 0.400 × 1.500

= 2.3 m^2

踏掛版コンクリート (σck=24N/mm^2)

V = 2.980 x 5.000 x 0.400 = 6.0 m^3

踏掛版型枠

A = (5.000 + 2.980 + 3.020) x 0.400 = 4.4 m^2

踏掛版底面積

A = (5.000 - 0.480) x 2.980 = 13.5 m^2

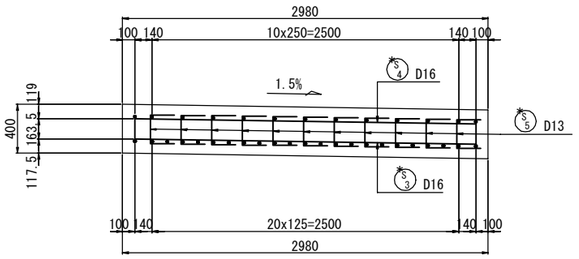
敷 砂

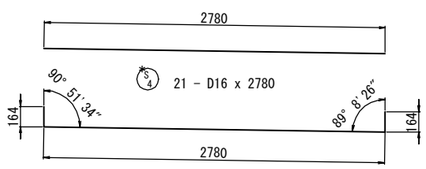
V = (5.000 - 0.480) x 2.980 x 0.030 = 0.4 m^3

路盤紙

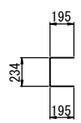
A = (5.000 - 0.480) x 2.980 = 13.5 m^2

4 － 4

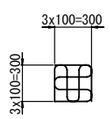




S3 39 － D16 x 3110



S5 209 － D13 x 630

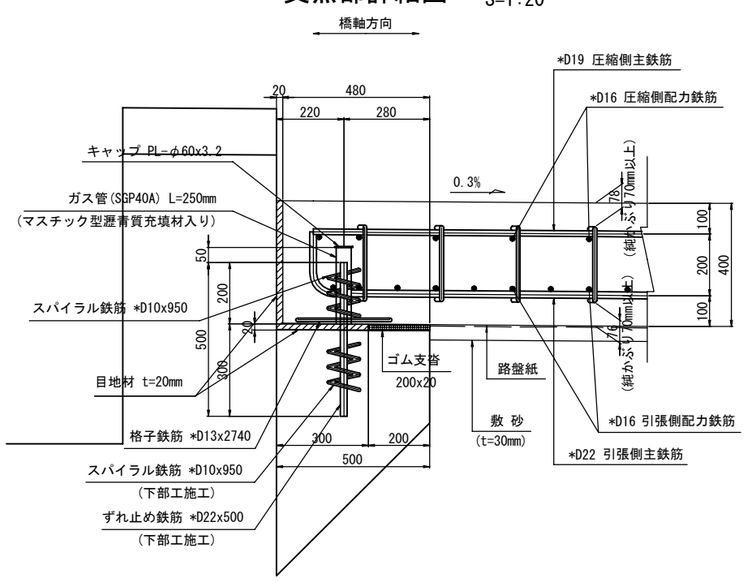


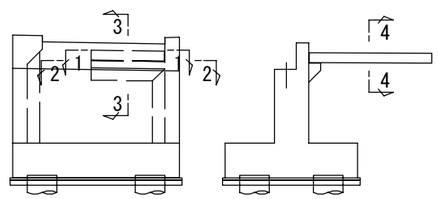
S6 6 － D13 x 2740



S7 6 － D10 x 950
（スパイラル筋）

支点部詳細図　S=1:20





注記） 1. ＊ は塗装鉄筋を表す。

原図:A3、単位：mm

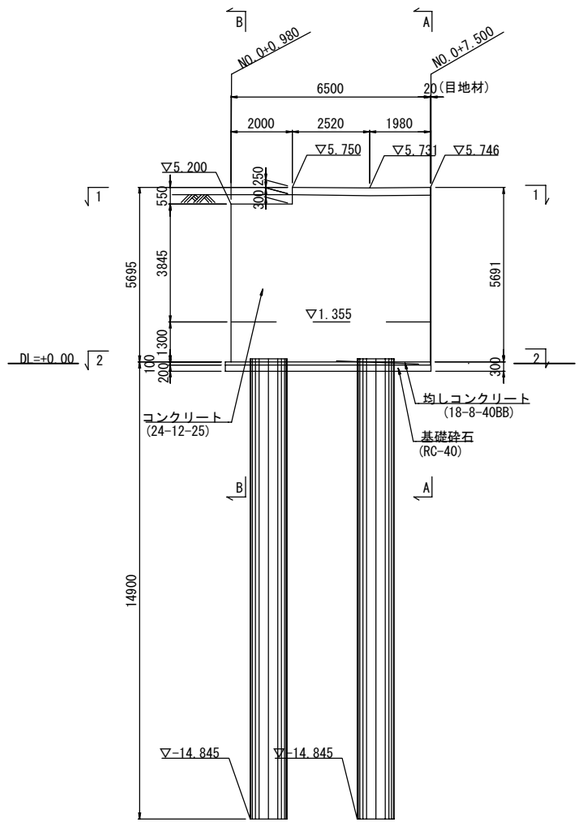
工事名	ポートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台踏掛版配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	54
下関市ボートレース企業局			

A1橋台背面U型擁壁工構造図

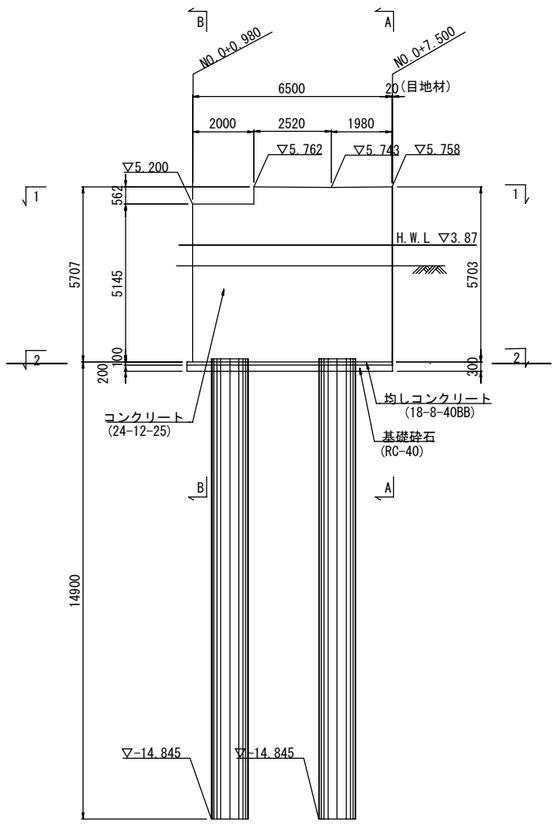
A1側

右側壁図

E-E 内面図

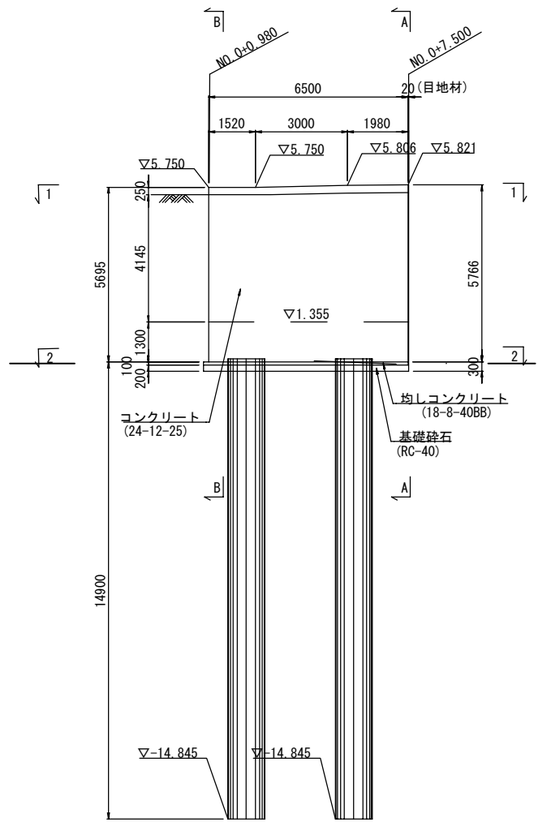


F－F 外面図

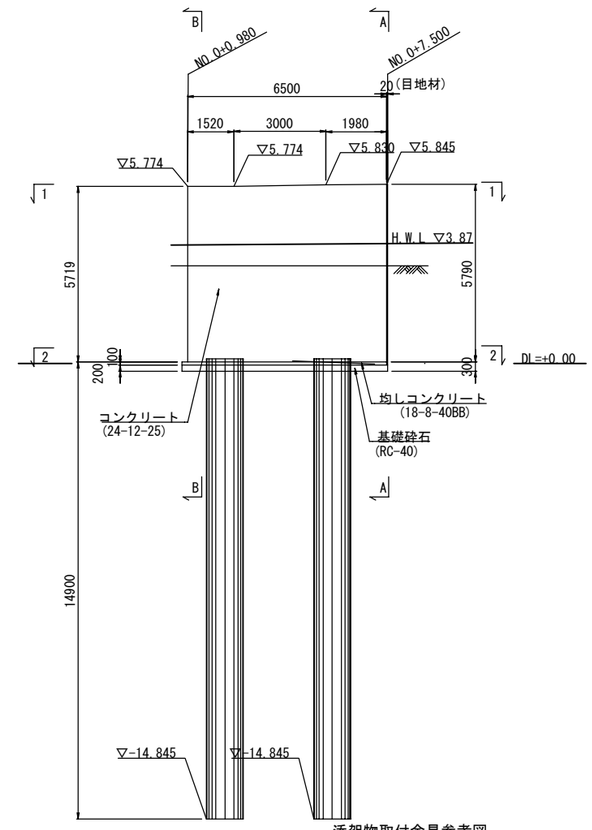


左側壁図

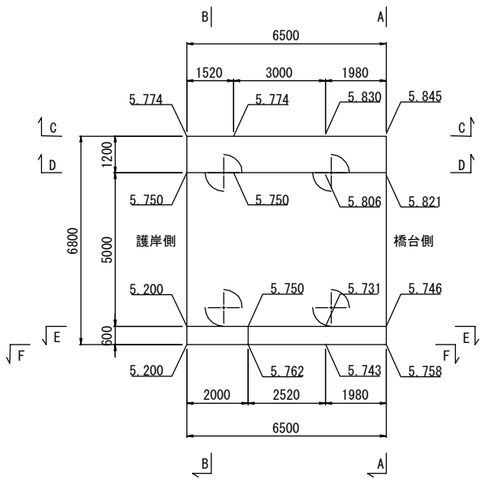
D－D 内面図



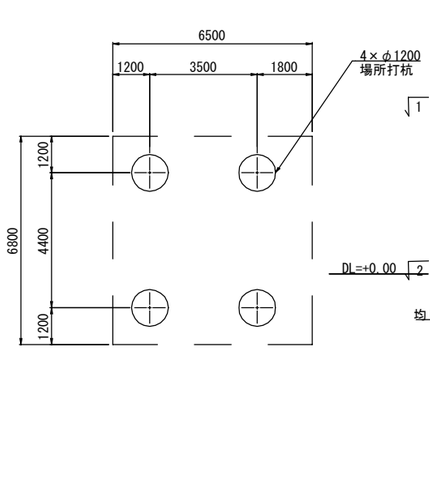
C－C 外面図



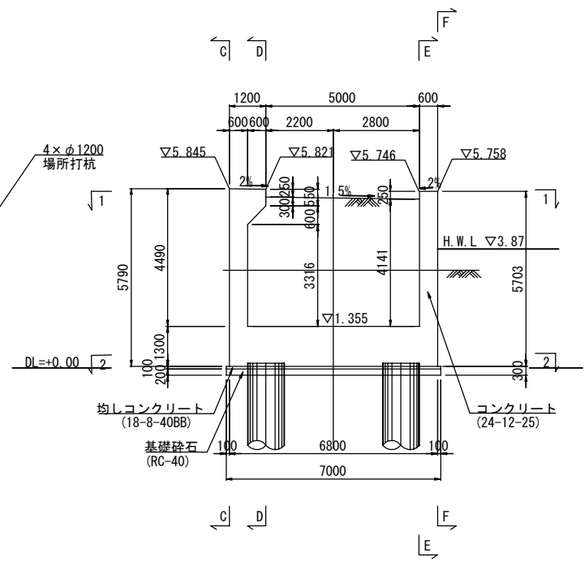
1-1 平面図



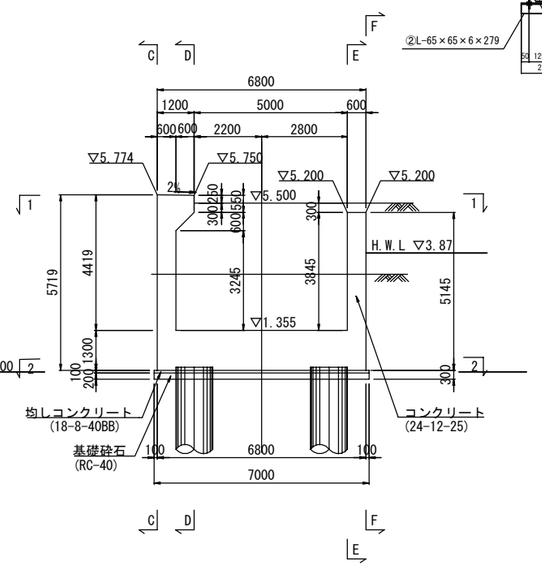
2-2 杭伏図



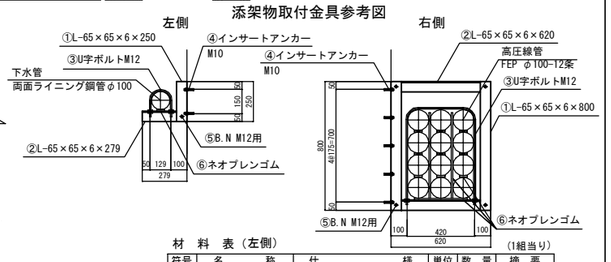
A-A 横断図



B-B 横断図



添架物取付金具参考図



材 料 表（左側）　（1組当り）

符号	名 称	仕 様	単位	数 量	摘 要
	下水管 φ100-1条				
1	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×250 N=1	kg	1.48	W=5.91kg/m
2	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×279 N=1	〃	1.65	〃
3	U 字 ボ ル ト	M12 × 410	個	1	ﾅｯﾄﾜｯｼｬｰ付
4	取 付 ボ ル ト	ホールインアンカー M10	組	2	
5	ボルト・ナット	M12	〃	1	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50, t=10	m	0.05	

注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

材 料 表（右側）　（1組当り）

符号	名 称	仕 様	単位	数 量	摘 要
	高圧線管 φ100-12条				
1	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×800 N=2	kg	9.46	W=5.91kg/m
2	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×620 N=2	〃	7.33	〃
3	U 字 ボ ル ト	M12 × 1570	〃	1	〃
4	取 付 ボ ル ト	ホールインアンカー M10	組	5	
5	ボルト・ナット	M12	〃	4	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50, t=10	m	1.84	

注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

※ 設置は、上部工と同様に2mピッチで設置するものとする。
※ アンカーは、U型擁壁の鉄筋を避けて設置すること。
※ 現地状況に合わせて変更する場合は、協議を実施し調整すること。

原図:A3、単位：mm

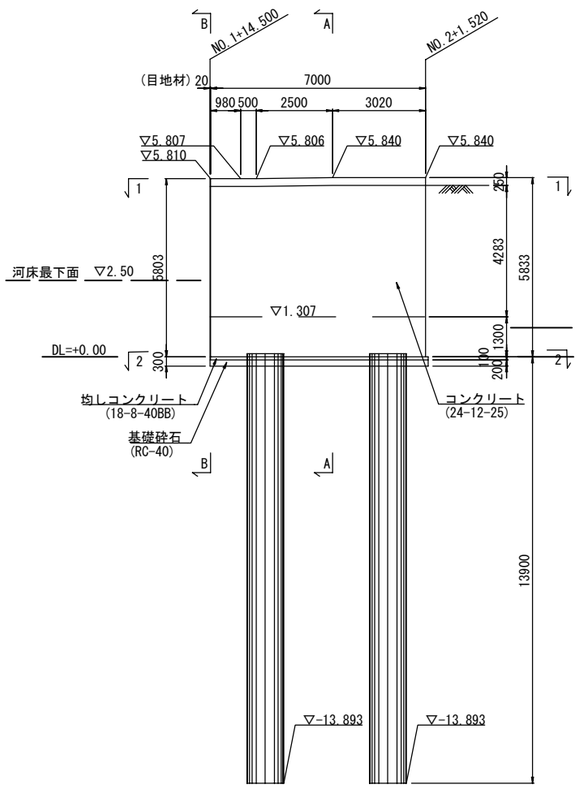
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台背面U型擁壁工構造図		
縮 尺	1/200	図面番号	55
下関市ボートレース企業局			

A2橋台背面U型擁壁工構造図

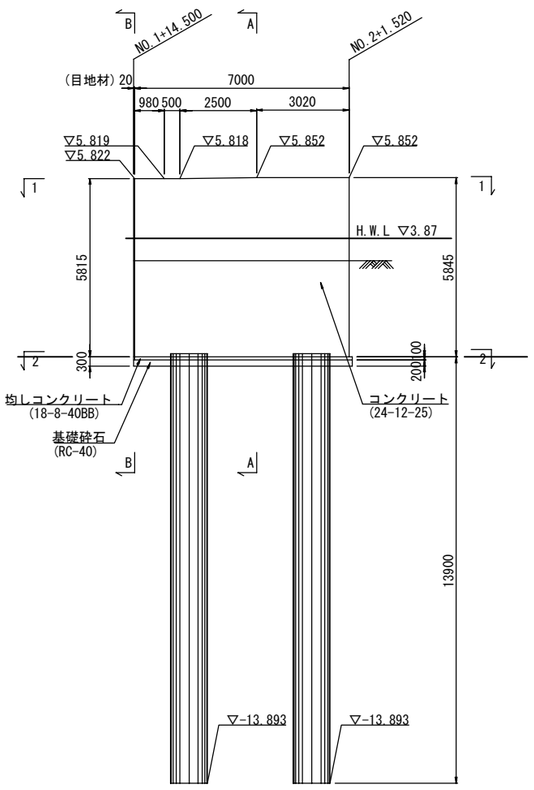
A2側

右側壁図

E-E 内面図

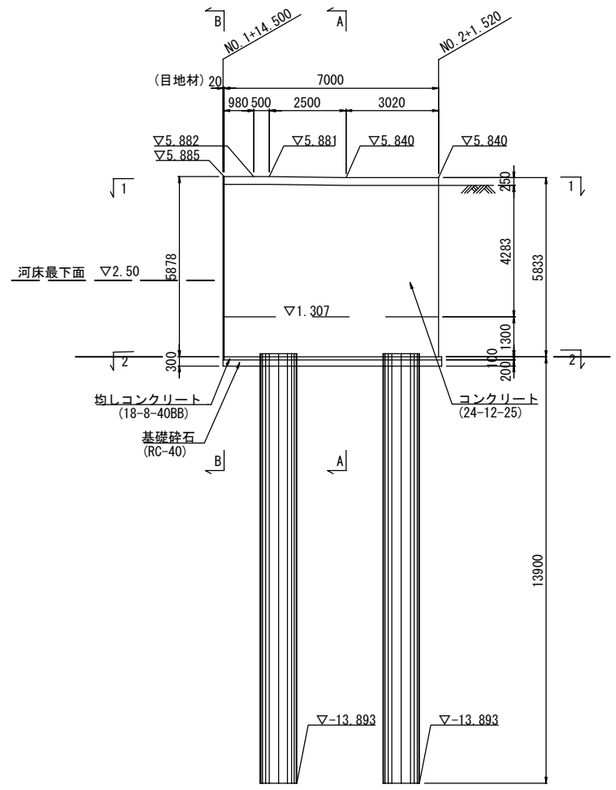


F-F 外面図

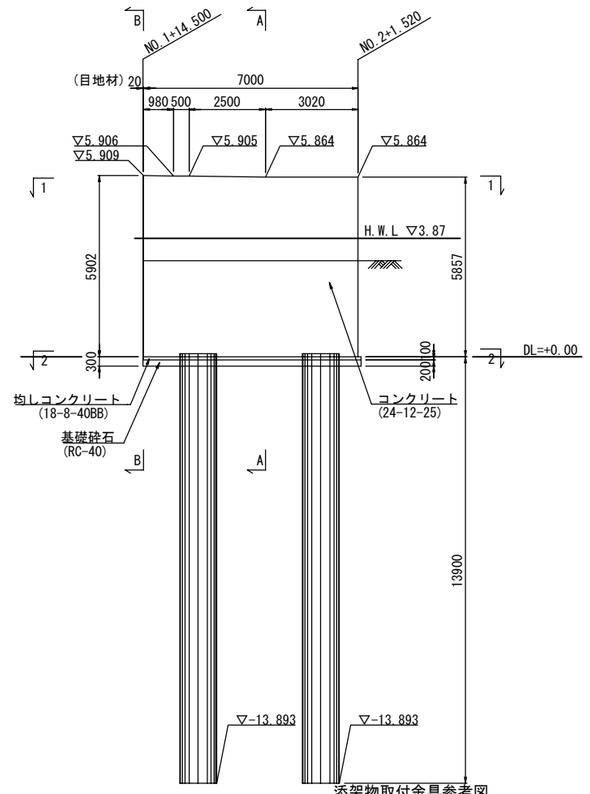


左側壁図

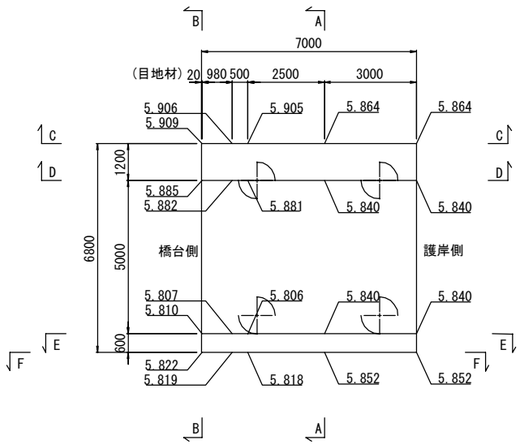
D-D 内面図



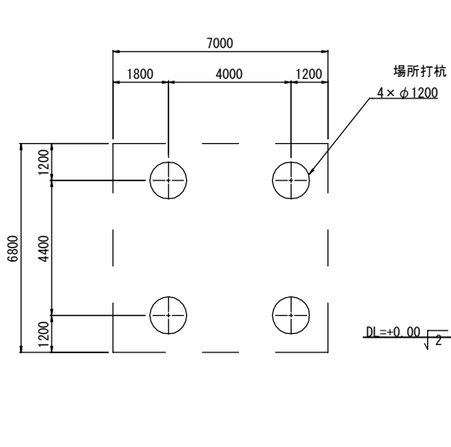
C-C 外面図



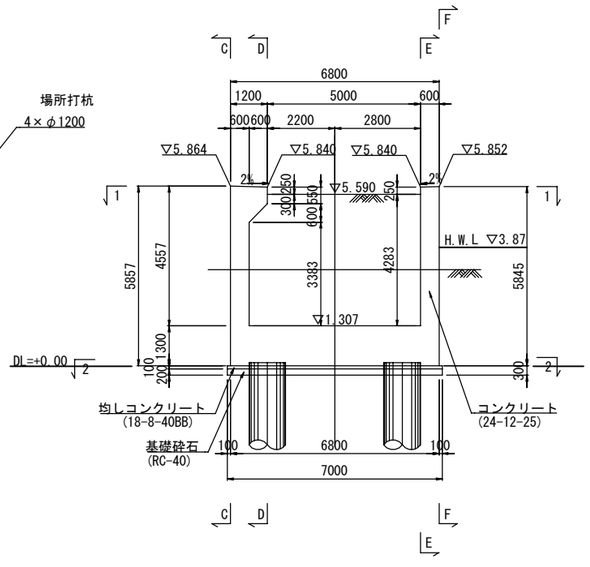
1-1 平面図



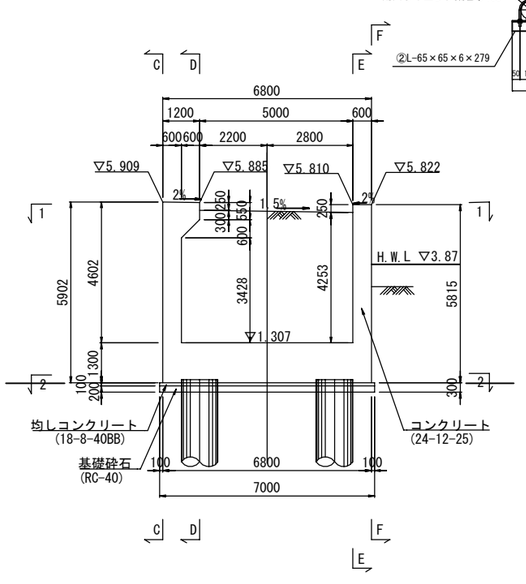
2-2 平面図



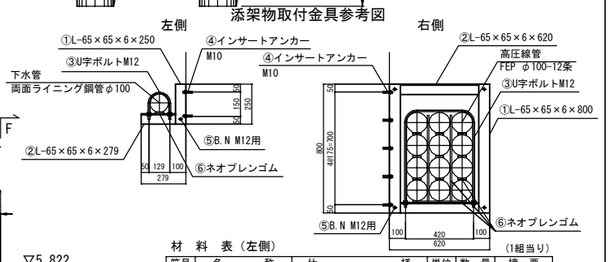
A-A 横断図



B-B 横断図



添架物取付金具参考図



材 料 表（左側） （1組当り）

符号	名 称	仕 様	単位	数 量	摘 要
	下水管 φ100-1条				
1	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×250 N=1	kg	1.48	W=5.91kg/m
2	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×279 N=1	〃	1.65	〃
3	U 字 ボ ル ト	M12 × 410	個	1	ﾅｯﾄﾜｯｼｬｰ付
4	取 付 ボ ル ト	ホールインアンカー M10	組	2	
5	ボルト・ナット	M12	〃	1	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50, t=10	m	0.05	

注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

材 料 表（右側） （1組当り）

符号	名 称	仕 様	単位	数 量	摘 要
	高圧線管 φ100-12条				
1	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×800 N=2	kg	9.46	W=5.91kg/m
2	等 辺 山 形 鋼	L-65×65×6×620 N=2	〃	7.33	〃
3	U 字 ボ ル ト	M12 × 1570	〃	1	
4	取 付 ボ ル ト	ホールインアンカー M10	組	5	
5	ボルト・ナット	M12	〃	4	ﾜｯｼｬｰ付
6	ネオプレンゴム	B=50, t=10	m	1.84	

注）鋼材は全てSS400（メッキ仕様品）とする。

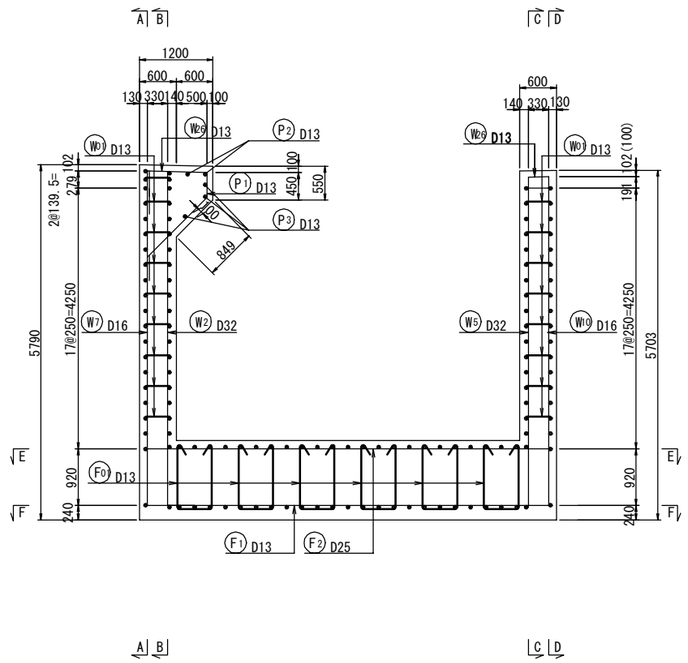
※ 設置は、上部工と同様に2mピッチで設置するものとする。
※ アンカーは、U型擁壁の鉄筋を避けて設置すること。
※ 現地状況に合わせて変更する場合は、協議を実施し調整すること。

原図:A3、単位：mm

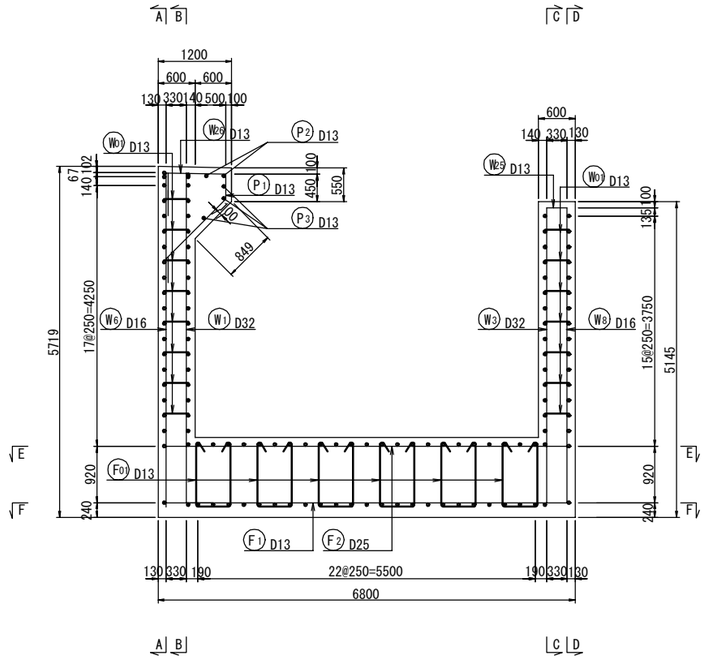
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台背面U型擁壁工構造図		
縮 尺	1/200	図面番号	56
下関市ボートレース企業局			

A1橋台背面U型擁壁配筋図(その1)　S=1:100

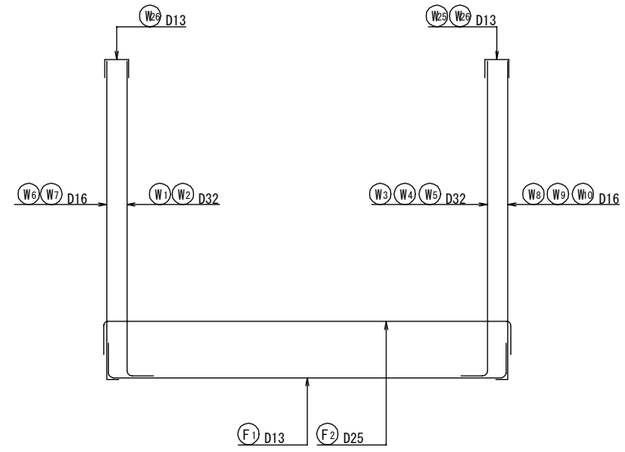
1-1断面図



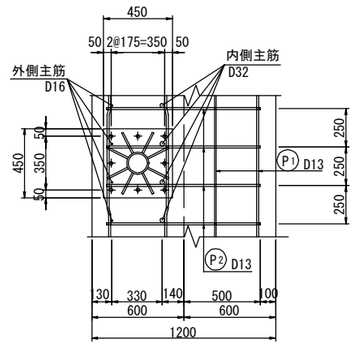
2-2断面図

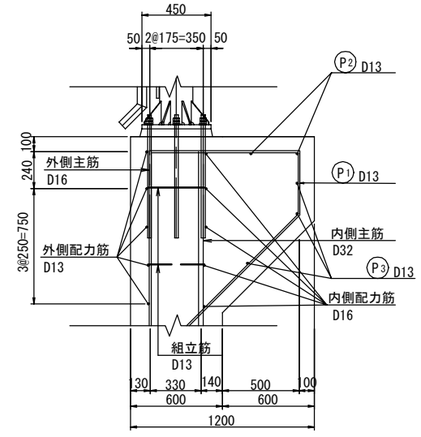


主鉄筋組立図



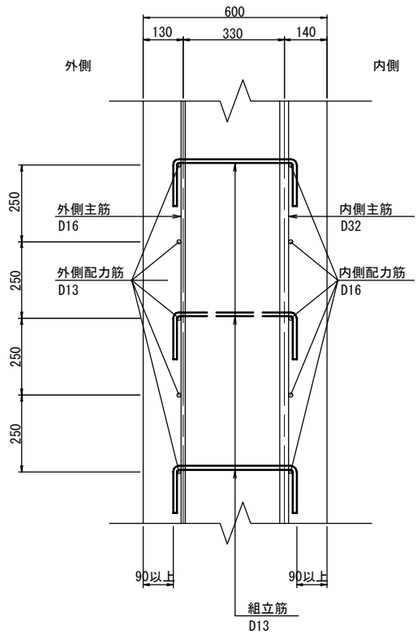
シェルター基礎のアンカーの詳細図　S=1:40

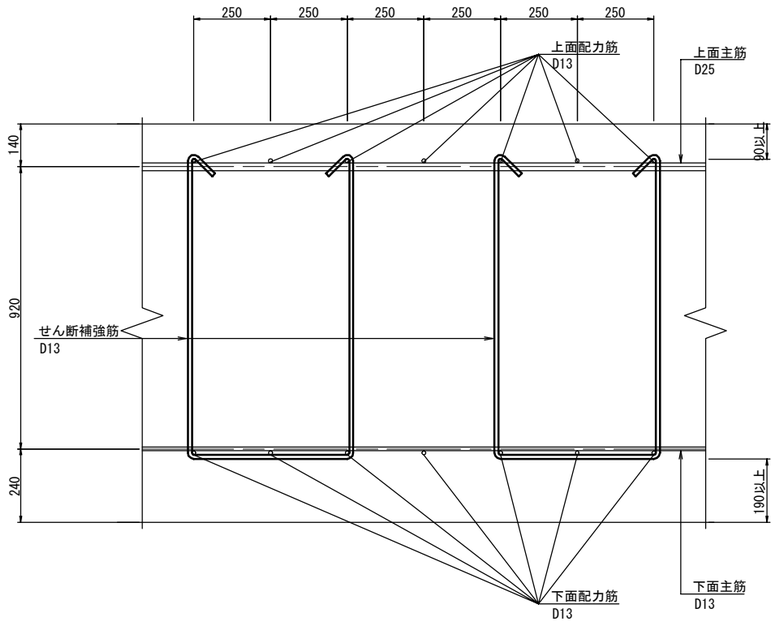




? U型擁壁の配力筋がアンカーボルトに干渉する場合は配力筋をアンカーボルトの外側を這わすように避けること。

かぶり詳細図　S=1:20



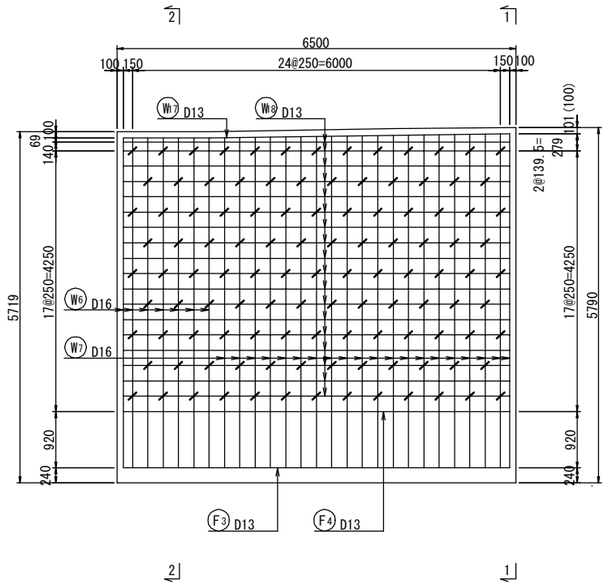


原図:A3、単位：mm

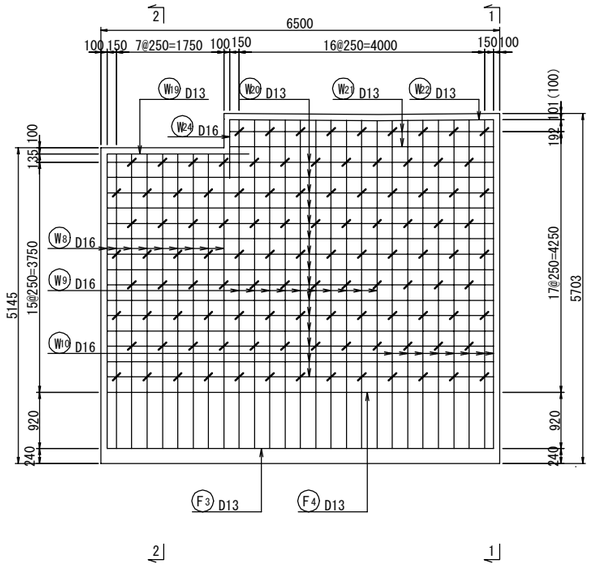
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	57
下関市ボートレース企業局			

A1橋台背面U型擁壁配筋図(その2)

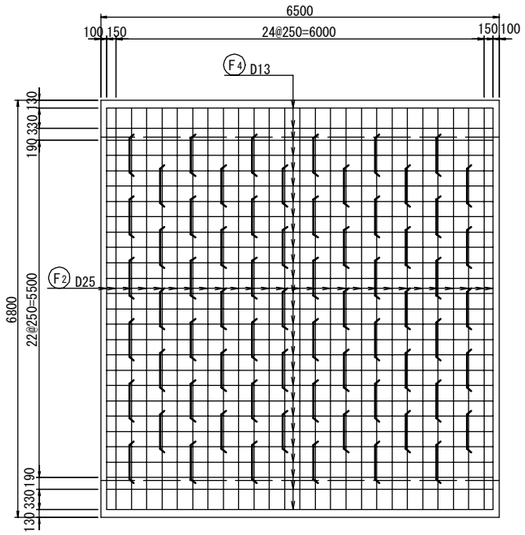
A-A側壁外面



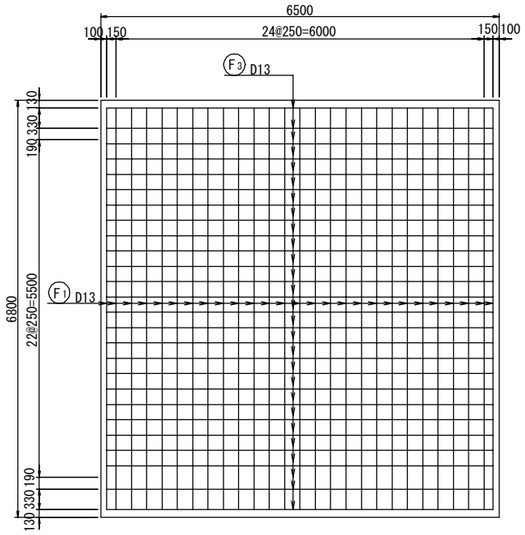
D-D側壁外面



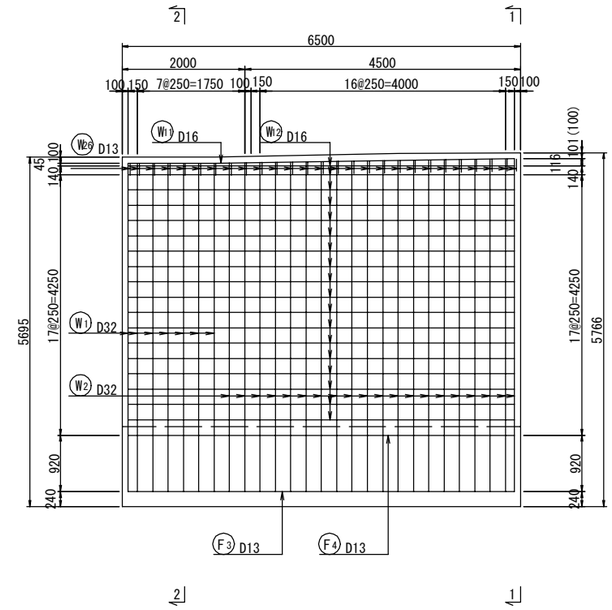
E-E底版上面



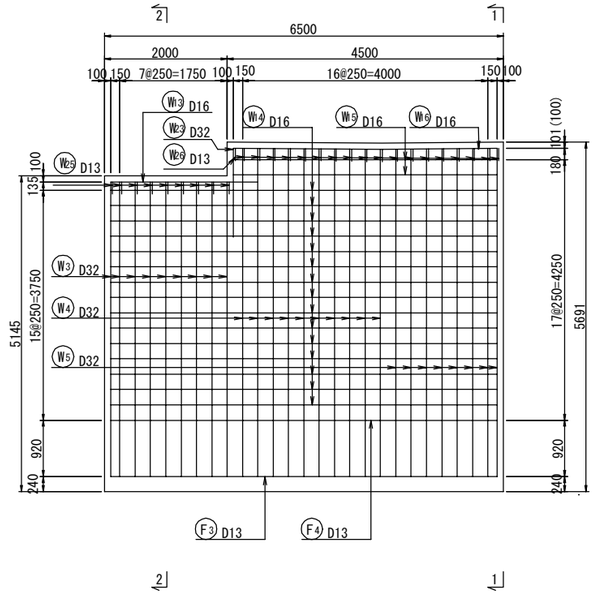
F-F底版下面



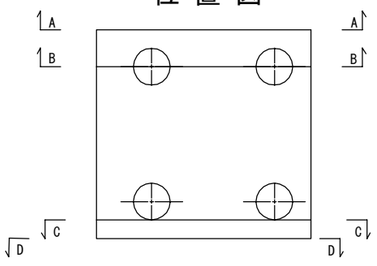
B-B側壁内面



C-C側壁内面



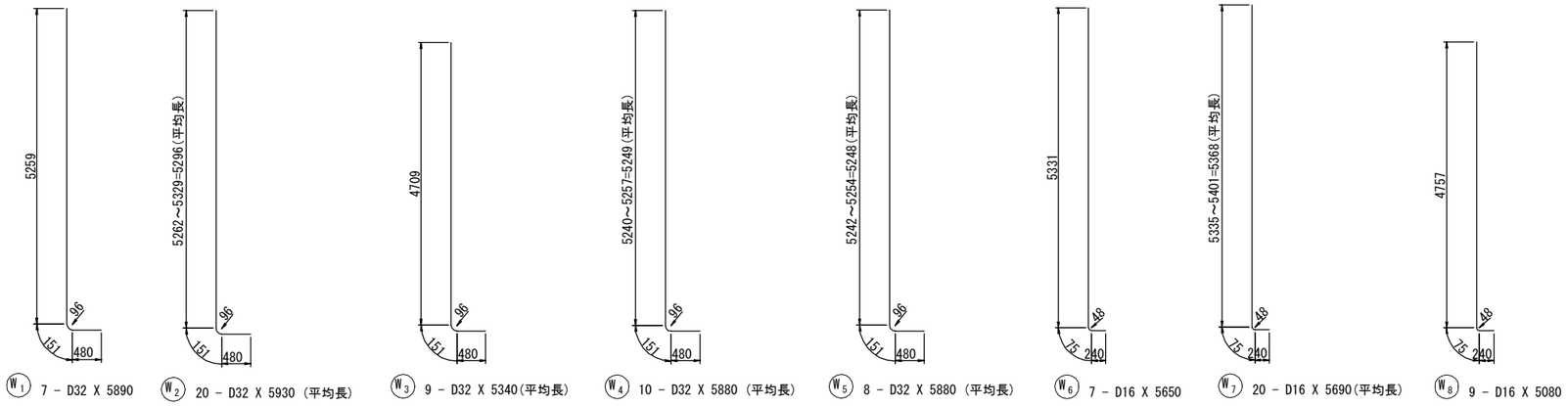
位置図

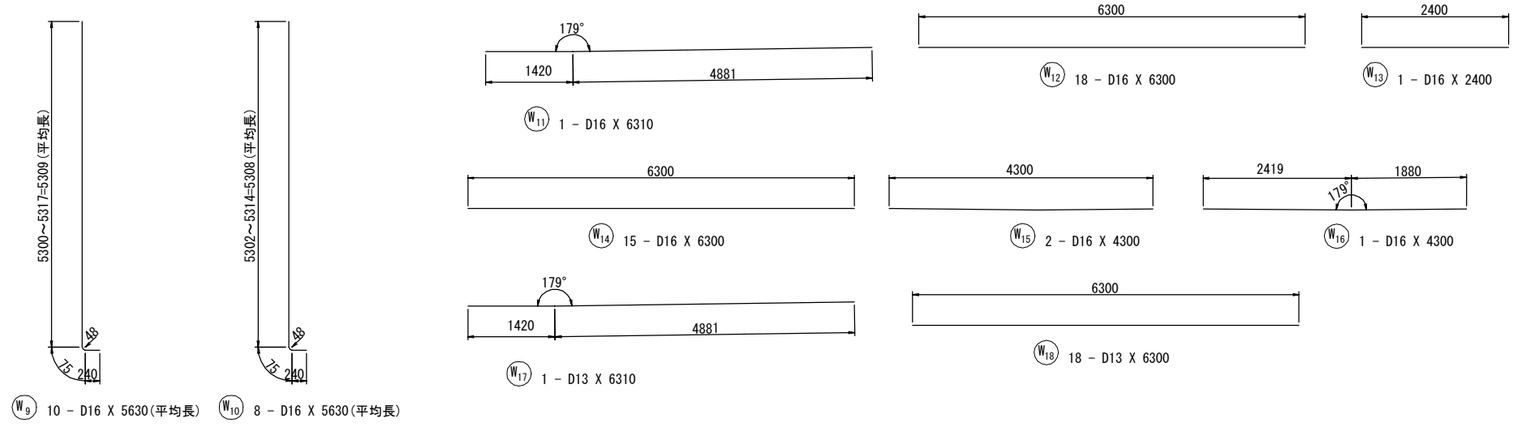


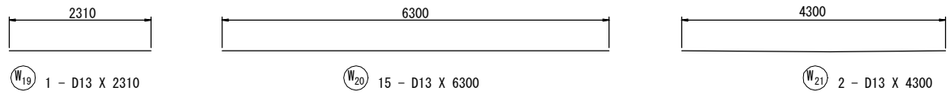
原図:A3、単位：mm

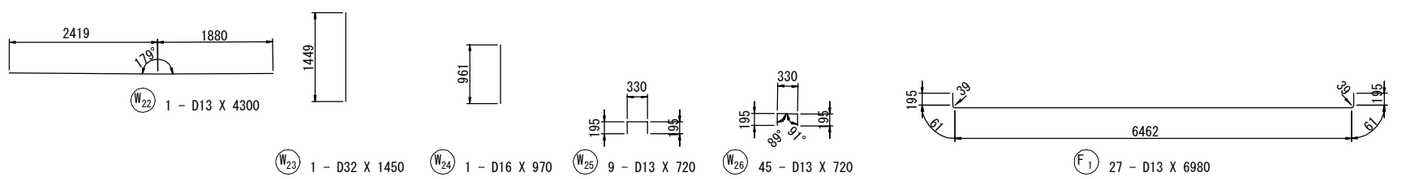
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その2)		
縮　尺	1/100	図面番号	58
下関市ボートレース企業局			

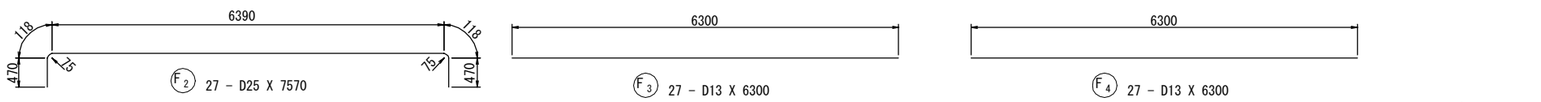
A1橋台背面U型擁壁配筋図(その3)

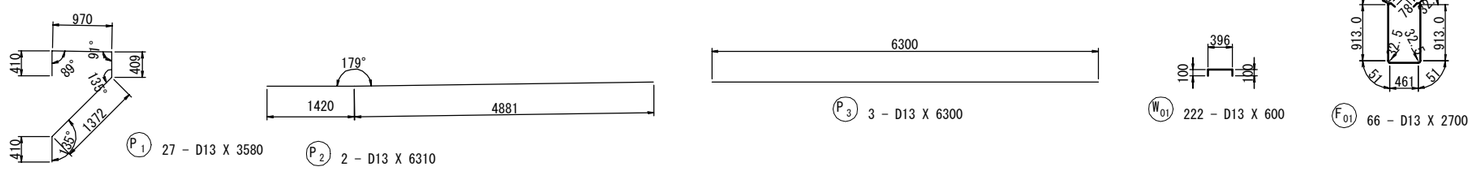








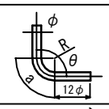




鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当たり重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
W 1	D32	5,890	7	6.23	36.7	257	
W 2	D32	5,930	20	6.23	36.9	738	平均
W 3	D32	5,340	9	6.23	33.3	300	平均
W 4	D32	5,880	10	6.23	36.6	366	平均
W 5	D32	5,880	8	6.23	36.6	293	平均
W 6	D16	5,650	7	1.56	8.81	62	
W 7	D16	5,690	20	1.56	8.88	178	平均
W 8	D16	5,080	9	1.56	7.92	71	
W 9	D16	5,630	10	1.56	8.78	88	平均
W 10	D16	5,630	8	1.56	8.78	70	平均
W 11	D16	6,310	1	1.56	9.84	10	
W 12	D16	6,300	18	1.56	9.83	177	
W 13	D16	2,400	1	1.56	3.74	4	
W 14	D16	6,300	15	1.56	9.83	147	
W 15	D16	4,300	2	1.56	6.71	13	
W 16	D16	4,300	1	1.56	6.71	7	
W 17	D13	6,310	1	0.995	6.28	6	
W 18	D13	6,300	18	0.995	6.27	113	
W 19	D13	2,310	1	0.995	2.3	2	
W 20	D13	6,300	15	0.995	6.27	94	
W 21	D13	4,300	2	0.995	4.28	9	
W 22	D13	4,300	1	0.995	4.28	4	
W 23	D32	1,450	1	6.23	9.03	9	
W 24	D16	970	1	1.56	1.51	2	
W 25	D13	720	9	0.995	0.716	6	
W 26	D13	720	45	0.995	0.716	32	
F 1	D13	6,980	27	0.995	6.94	187	
F 2	D25	7,570	27	3.98	30.1	813	
F 3	D13	6,300	27	0.995	6.27	169	
F 4	D13	6,300	27	0.995	6.27	169	
P 1	D13	3,580	27	0.995	3.56	96	
P 2	D13	6,310	2	0.995	6.28	13	
P 3	D13	6,300	3	0.995	6.27	19	
W 01	D13	600	222	0.995	0.597	133	
F 01	D13	2,700	66	0.995	2.69	178	
				D13		1,230	Kg
				D16		829	Kg
				D25		813	Kg
				D32		1,963	Kg
					合計	4,835	Kg

鉄筋曲げ加工表



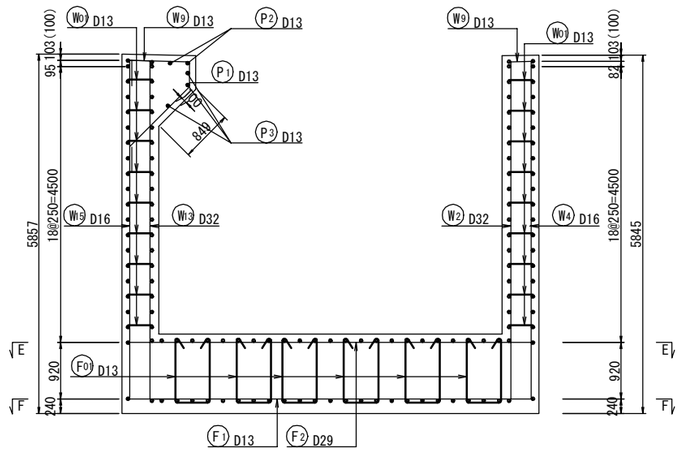
径	主筋 θ≦90° R=2.5φ R	a		主筋 θ=135° R=2.5φ a		スターラップ 径	θ=90° R=2.5φ R	a	d l
D13	32.5	51		26		D13	32.5	51	14
D16	40	63		31		D16	40	63	17
D19	47.5	75		37			θ=45° R=2.5φ		
D22	55	86		43		径	R	a	d l
D25	62.5	98		49					
D29	72.5	114		57		D13	32.5	77	80
D32	80	126		63		D16	40	94	99
D35	87.5	137		69		D19	47.5	112	120

原図:A3、単位:mm

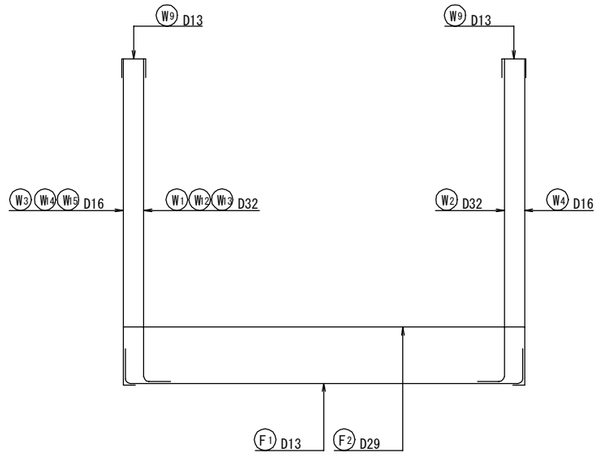
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台背面U型擁壁配筋図(その3)		
縮尺	1/100	図面番号	59
下関市ボートレース企業局			

A2橋台背面U型擁壁配筋図(その1)　S=1:100

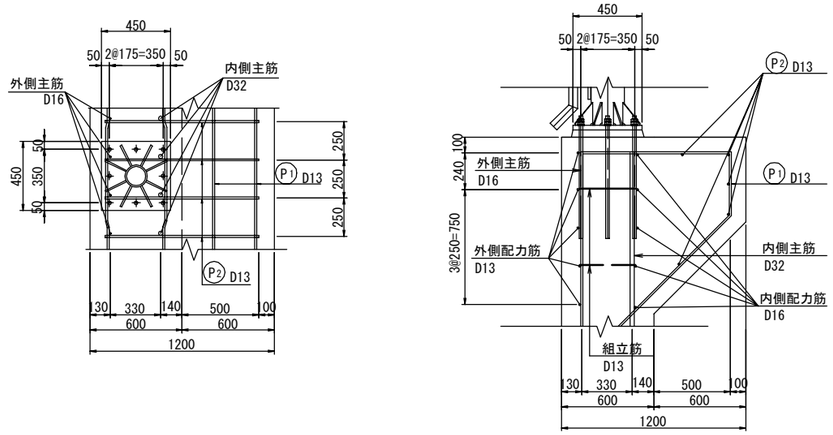
1-1断面図



主鉄筋組立図

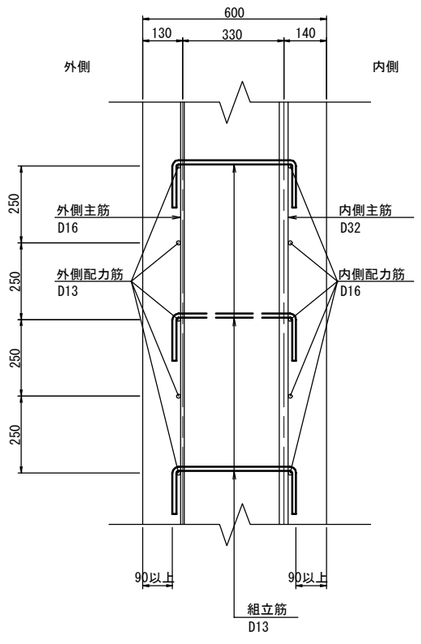


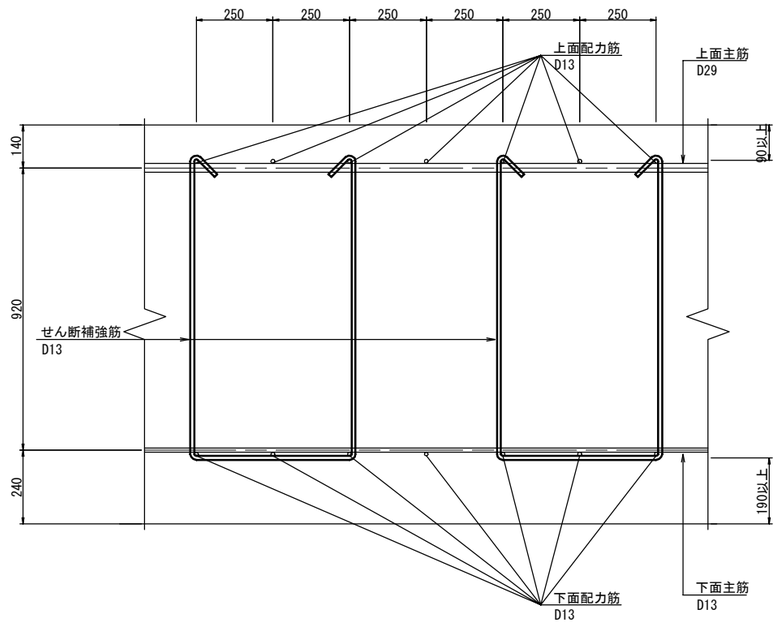
シェルター基礎のアンカーの詳細図　S=1:40



? U型擁壁の配力筋がアンカーボルトに干渉する場合は配力筋をアンカーボルトの外側を這わすように避けること。

かぶり詳細図　S=1:20



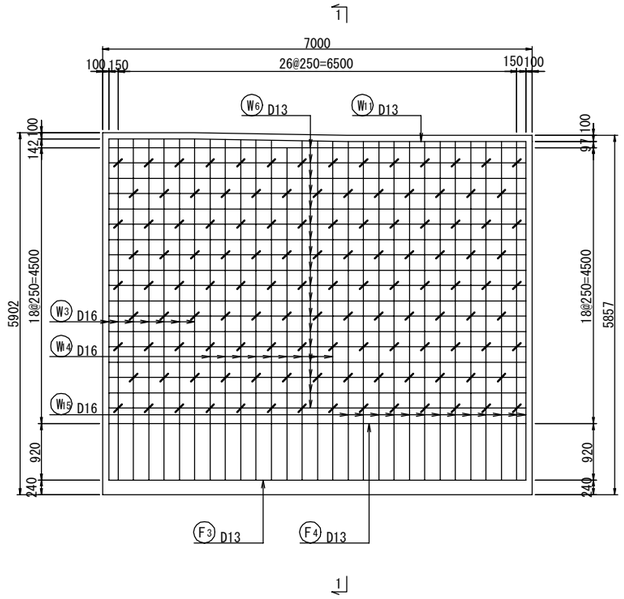


原図:A3、単位：mm

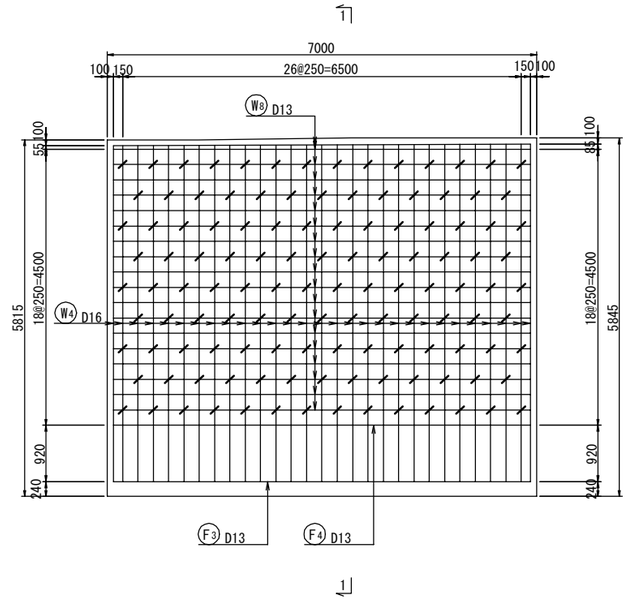
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	60
下関市ボートレース企業局			

A2橋台背面U型擁壁配筋図(その2)

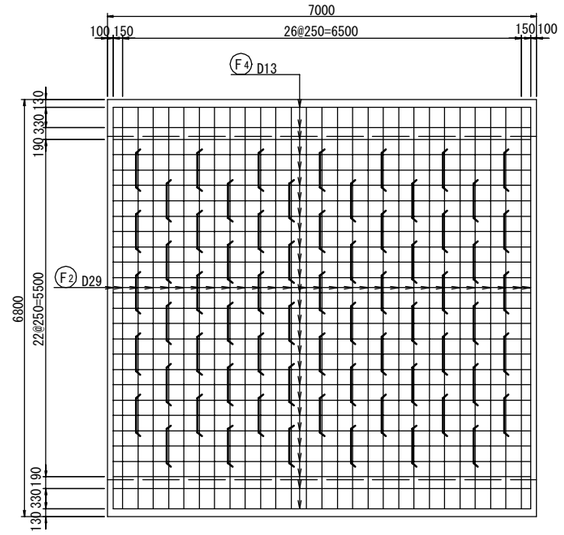
A-A側壁外面



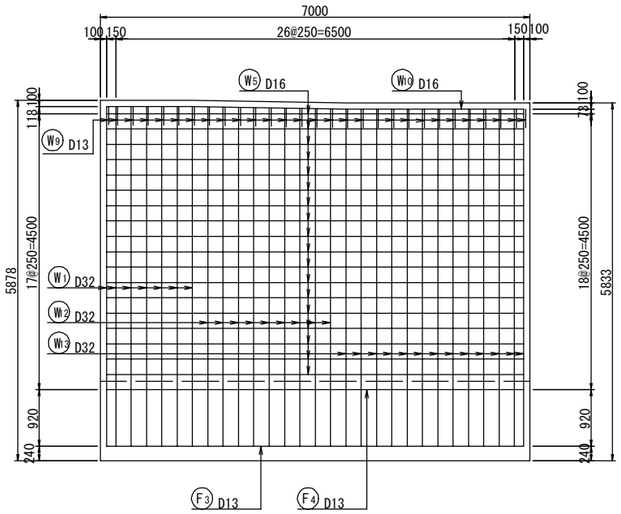
D-D側壁外面



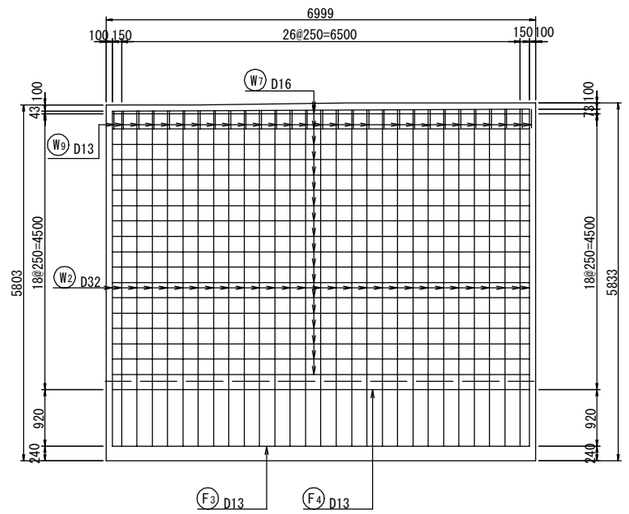
E-E底版上面



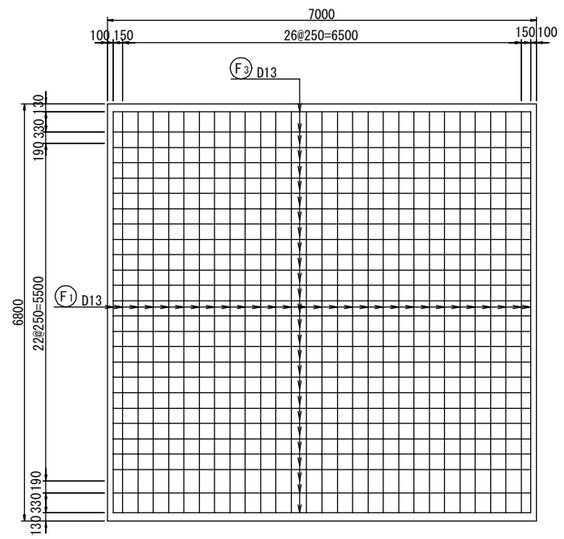
B-B側壁外面



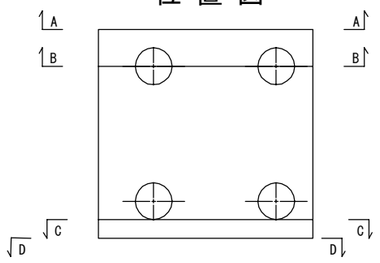
C-C側壁外面



F-F底版下面



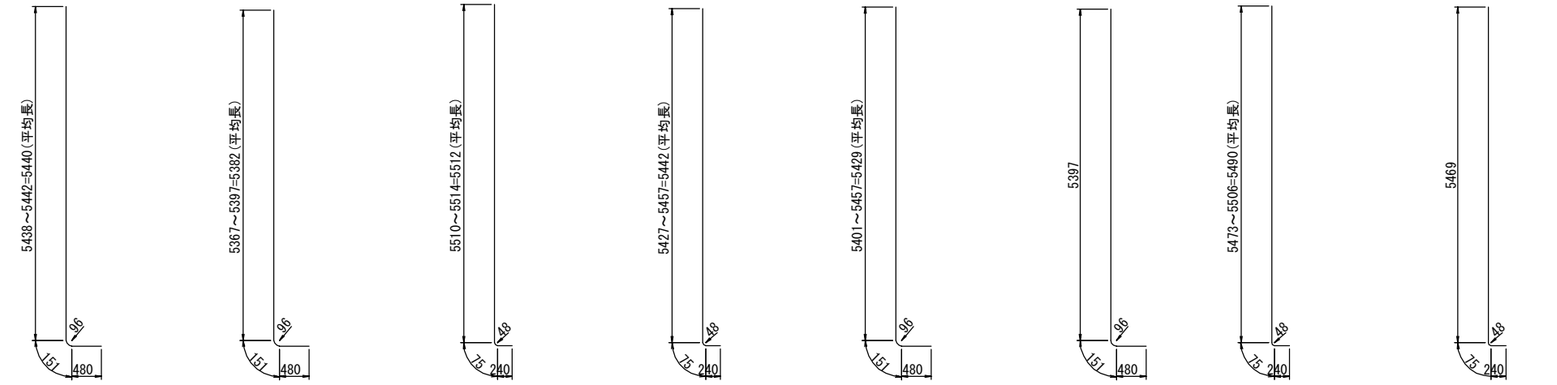
位置図



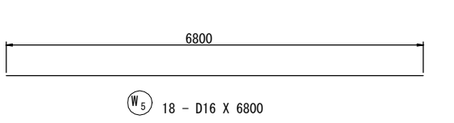
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その2)		
縮　尺	1/100	図面番号	61
下関市ボートレース企業局			

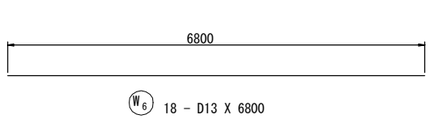
A2橋台背面U型擁壁配筋図(その3)



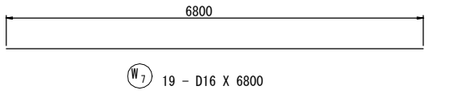
(W1) 7 - D32 X 6080 (平均長)　(W2) 29 - D32 X 6020 (平均長)　(W3) 7 - D16 X 5830(平均長)　(W4) 29 - D16 X 5760(平均長)　(W12) 9 - D32 X 6060 (平均長)　(W13) 13 - D32 X 6030　(W14) 9 - D16 X 5810(平均長)　(W15) 13 - D16 X 5790



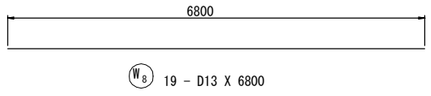
(W5) 18 - D16 X 6800



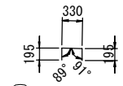
(W6) 18 - D13 X 6800



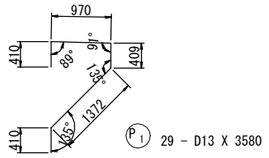
(W7) 19 - D16 X 6800



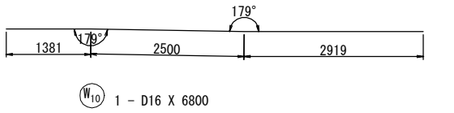
(W8) 19 - D13 X 6800



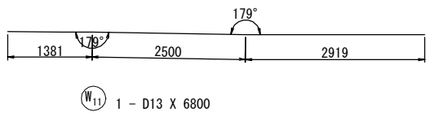
(W9) 58 - D13 X 720



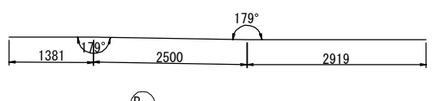
(P1) 29 - D13 X 3580



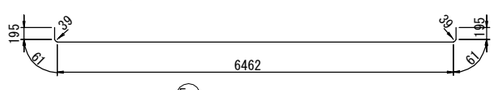
(W10) 1 - D16 X 6800



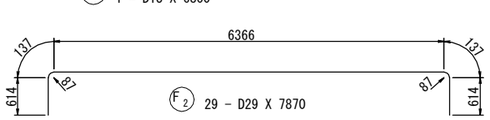
(W11) 1 - D13 X 6800



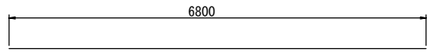
(P2) 2 - D16 X 6800



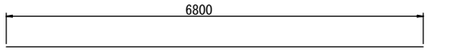
(F1) 29 - D13 X 6980



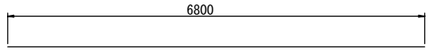
(F2) 29 - D29 X 7870



(P3) 3 - D13 X 6800



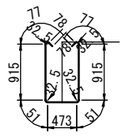
(F3) 27 - D13 X 6800



(F4) 27 - D13 X 6800



(W01) 244 - D13 X 600



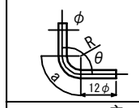
(F01) 65 - D13 X 2720

鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当たり重量 (kg)	重量 (kg)	摘要	
W 1	D32	6,080	7	6.23	37.9	265	L	平均
W 2	D32	6,020	29	6.23	37.5	1,088	L	平均
W 3	D16	5,830	7	1.56	9.09	64	L	平均
W 4	D16	5,760	29	1.56	8.99	261	L	平均
W 5	D16	6,800	18	1.56	10.6	191	—	
W 6	D13	6,800	18	0.995	6.77	122	—	
W 7	D16	6,800	19	1.56	10.6	201	—	
W 8	D13	6,800	19	0.995	6.77	129	—	
W 9	D13	720	58	0.995	0.716	42	—	
W 10	D16	6,800	1	1.56	10.6	11	—	
W 11	D13	6,800	1	0.995	6.77	7	—	
W 12	D32	6,060	9	6.23	37.8	340	L	平均
W 13	D32	6,030	13	6.23	37.6	489	L	
W 14	D16	5,810	9	1.56	9.06	82	L	平均
W 15	D16	5,790	13	1.56	9.03	117	L	
F 1	D13	6,980	29	0.995	6.95	202	⌴	
F 2	D29	7,870	29	5.04	39.7	1,151	⌴	
F 3	D13	6,300	27	0.995	6.27	169	—	
F 4	D13	6,300	27	0.995	6.27	169	—	
P 1	D13	3,580	29	0.995	3.56	103	⌐	
P 2	D13	6,800	2	0.995	6.77	14	—	
P 3	D13	6,800	3	0.995	6.77	20	—	
W 01	D13	600	244	0.995	0.597	146	⌐⌐	
F 01	D13	2,720	65	0.995	2.71	176	⌐⌐	

D13	1,299	Kg
D16	927	Kg
D29	1,151	Kg
D32	2,182	Kg
合計	5,559	Kg

鉄筋曲げ加工表

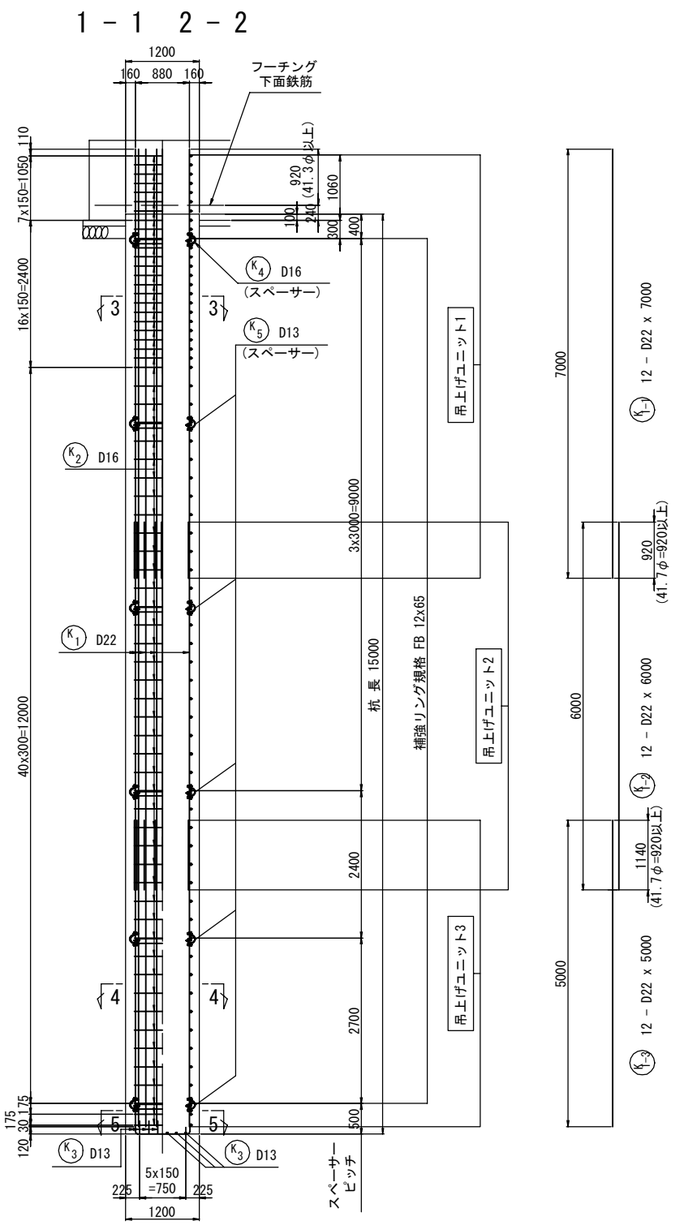


径	主筋 θ≦90° R=2.5φ R	a	主筋 θ=135° R=2.5φ a	スターラップ 径	θ=90° R=2.5φ R	a	d l
D13	32.5	51	26	D13	32.5	51	14
D16	40	63	31	D16	40	63	17
D19	47.5	75	37	径	θ=45° R=2.5φ		
D22	55	86	43		R	a	d l
D25	62.5	98	49				
D29	72.5	114	57	D13	32.5	77	80
D32	80	126	63	D16	40	94	99
D35	87.5	137	69	D19	47.5	112	120

原図:A3、単位：mm

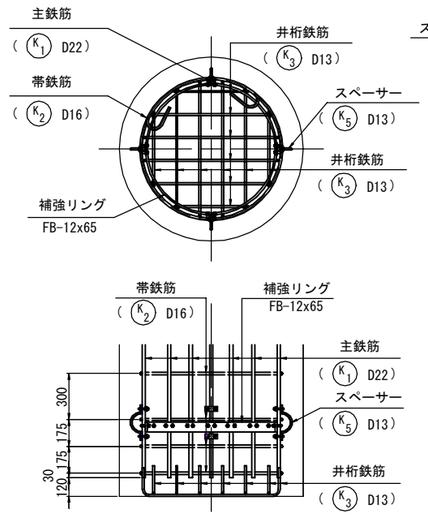
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台背面U型擁壁配筋図(その3)		
縮　尺	1/100	図面番号	62
下関市ボートレース企業局			

A1橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図 S=1:100

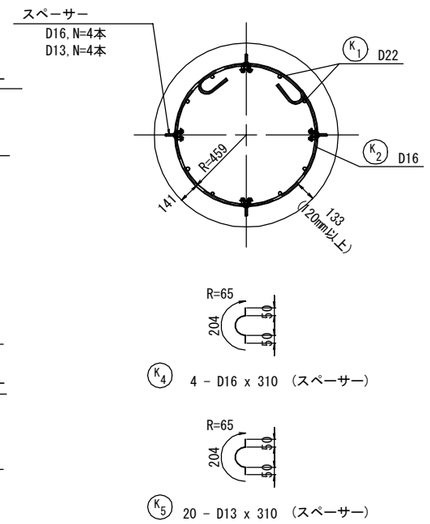


※ 補強リング中心はスペーサー中心より30mm下に配置

杭先端詳細図 S=1:40

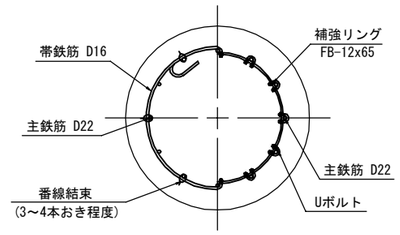


断面詳細図 S=1:40



固定詳細図 S=1:40

帯鉄筋・主鉄筋　　補強リング・主鉄筋



注）帯鉄筋の継手位置は、各々180°ずらして配筋するものとする。
スペーサーの配置方法は、1段に4箇所とし1段ごとに≒45°ずつ回転させた位置に取り付ける。

注）主鉄筋と帯鉄筋は番線結束とする。

注）Uボルト規格：SS400, 変形時荷重20KN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法
設計・施工に関するガイドラインに準拠

注）鉄筋かごの製作及び建て込み
鉄筋の加工及び組立ては、鉄筋かごが必要な精度を確保し、堅固となるように行わなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接を行ってはならない。

スペーサー固定金具

(杭1本当り)

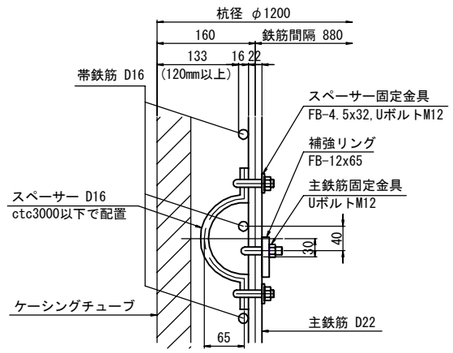
種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
スペーサーD16	310	4	1.56	0.48	2	
スペーサーD13	310	20	0.995	0.31	6	
UボルトD22用	-	48	-	-	-	主鉄筋D22とスペーサーの固定　4x2x6=48
FB - 4.5 x 32	80	48	1.13	0.09	4	

補強リング,固定金具

(杭1本当り)

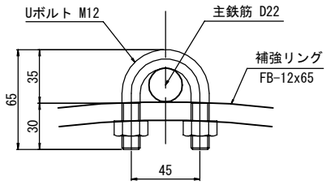
種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
FB - 12 x 65	2658	6	6.12	16.27	98	主鉄筋D22,補強リング(SS400) φ846
UボルトD22用	-	72	-	-	-	主鉄筋D22と補強リングの固定　**12×6=72**

スペーサー部詳細図 S=1:10



Uボルト S=1:4

(D22用)



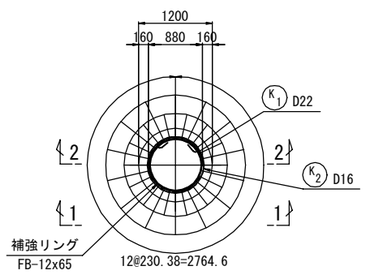
注）Uボルトまたは同等品
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定する。

鉄筋質量表

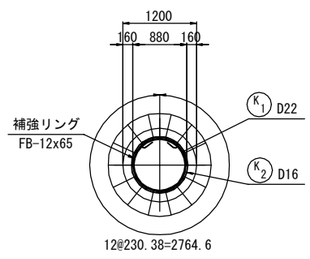
(杭1本当り)

記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘 要
K1-1	D22	7000	12	3.04	21.28	255	|
K1-2	D22	6000	12	3.04	18.24	219	|
K1-3	D22	5000	12	3.04	15.20	182	|
K2	D16	4100	68	1.56	6.40	435	○
K3	D13	1070	12	0.995	1.06	13	⌴ (平均長)
					合 計	1104 kg	
					D22	656 kg	
					D16	435 kg	
					D13	13 kg	
					総合計	1104 kg	

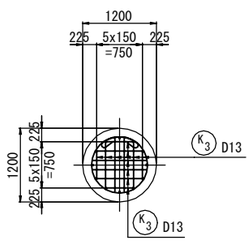
3 - 3

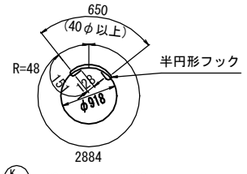


4 - 4

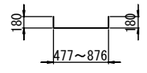


5 - 5



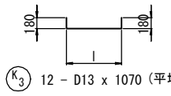


K2 68 - D16 x 4100



K3 12 - D13 x 1070 (平均長)

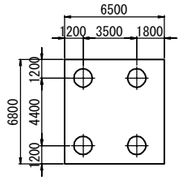
変化鉄筋表



K3 12 - D13 x 1070 (平均長)

種 別	径	本 数	l	L
K3-1	D13	4	876	1240
K3-2	D13	4	767	1130
K3-3	D13	4	477	840
平均長	12			1070

杭配置図 S=1:400

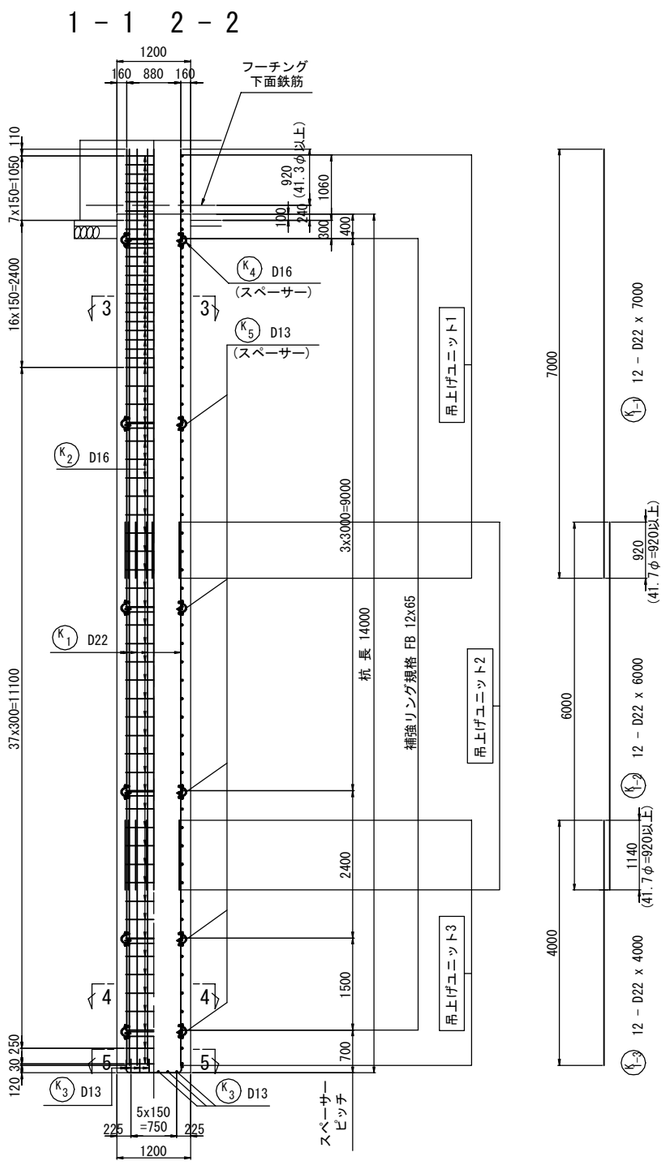


注）コンクリート強度σck=24N/mm2（呼び強度 30N/mm2）である。
鉄筋の材質は全てSD345である。
粗骨材の最大寸法はφ25mmとすること。

原図:A3、単位：mm

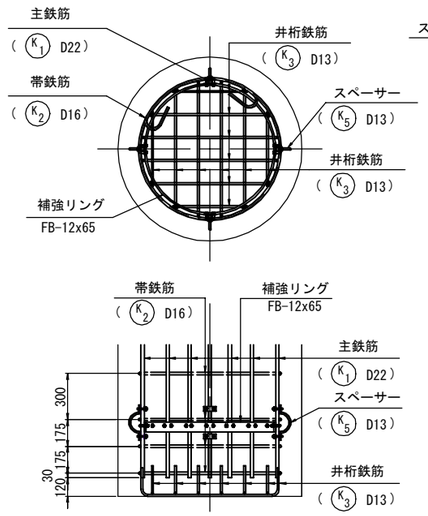
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A1橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	63
下関市ボートレース企業局			

A2橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図 S=1:100

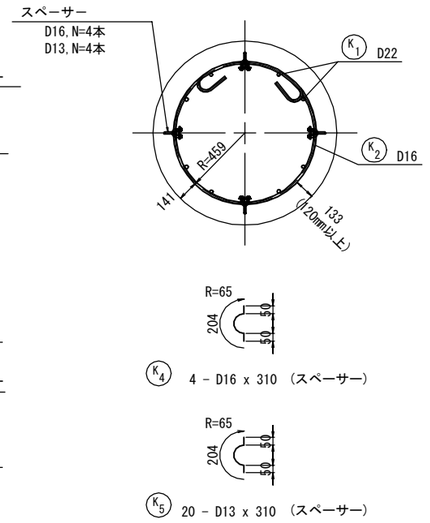


※ 補強リング中心はスペーサー中心より30mm下に配置

杭 先 端 詳 細 図 S=1:40

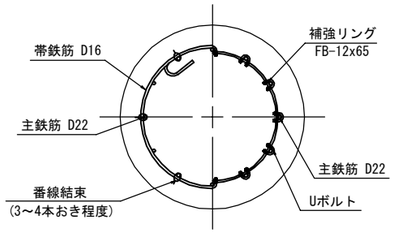


断 面 詳 細 図 S=1:40



固 定 詳 細 図 S=1:40

帯鉄筋・主鉄筋　　補強リング・主鉄筋



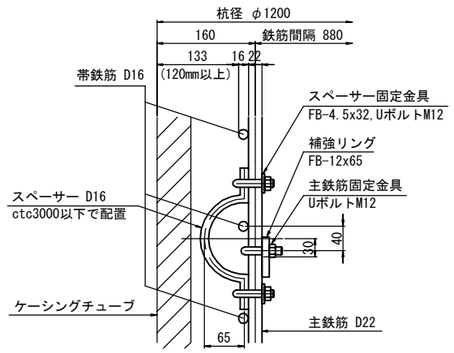
注）帯鉄筋の継手位置は、各々180°ずらして配筋するものとする。
スペーサーの配置方法は、1段に4箇所とし1段ごとに≒45°ずつ回転させた位置に取り付ける。

注）主鉄筋と帯鉄筋は番線結束とする。

注）Uボルト規格：SS400, 変形時荷重20KN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法
設計・施工に関するガイドラインに準拠

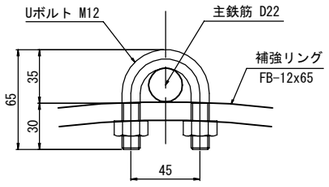
注）鉄筋かごの製作及び建て込み
鉄筋の加工及び組立ては、鉄筋かごが必要な精度を確保し、堅固となるように行わなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接を行ってはならない。

スペーサー部詳細図 S=1:10

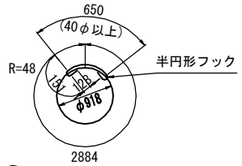


Uボルト S=1:4

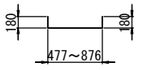
(D22用)



注）Uボルトまたは同等品
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定する。

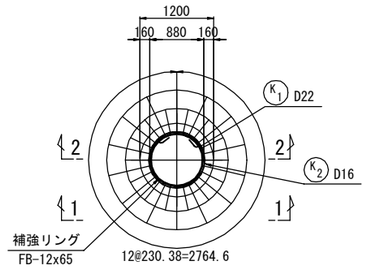


(K2) 63 - D16 x 4100

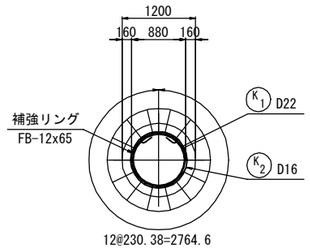


(K3) 12 - D13 x 1070 (平均長)

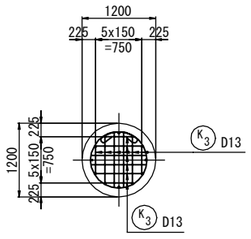
3 - 3



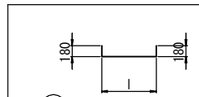
4 - 4



5 - 5



変化鉄筋表



(K3) 12 - D13 x 1070 (平均長)

種 別	径	本 数	l	L
K3-1	D13	4	876	1240
K3-2	D13	4	767	1130
K3-3	D13	4	477	840
平均長		12		1070

スペーサー固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
スペーサーD16	310	4	1.56	0.48	2	
スペーサーD13	310	20	0.995	0.31	6	
UボルトD22用	-	48	-	-	-	主鉄筋D22とスペーサーの固定　4x2x6=48
FB - 4.5 x 32	80	48	1.13	0.09	4	

補強リング, 固定金具

(杭1本当り)

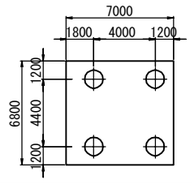
種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当りの質量 (kg/本)	質 量 (kg)	
FB - 12 x 65	2658	6	6.12	16.27	98	主鉄筋D22, 補強リング(SS400) φ846
UボルトD22用	-	140	-	-	-	主鉄筋D22と補強リングの固定　**12×6=72**

鉄筋質量表

(杭1本当り)

記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘 要
K1-1	D22	7000	12	3.04	21.28	255	｜
K1-2	D22	6000	12	3.04	18.24	219	｜
K1-3	D22	4000	12	3.04	12.16	146	｜
K2	D16	4100	63	1.56	6.40	403	○
K3	D13	1070	12	0.995	1.06	13	⌴ (平均長)
				合　計		1036 kg	
				D22		620 kg	
				D16		403 kg	
				D13		13 kg	
				総合計		1036 kg	

杭 配 置 図 S=1:400



注）コンクリート強度σck=24N/mm2（呼び強度 30N/mm2）である。
鉄筋の材質は全てSD345である。
粗骨材の最大寸法はφ25mmとすること。

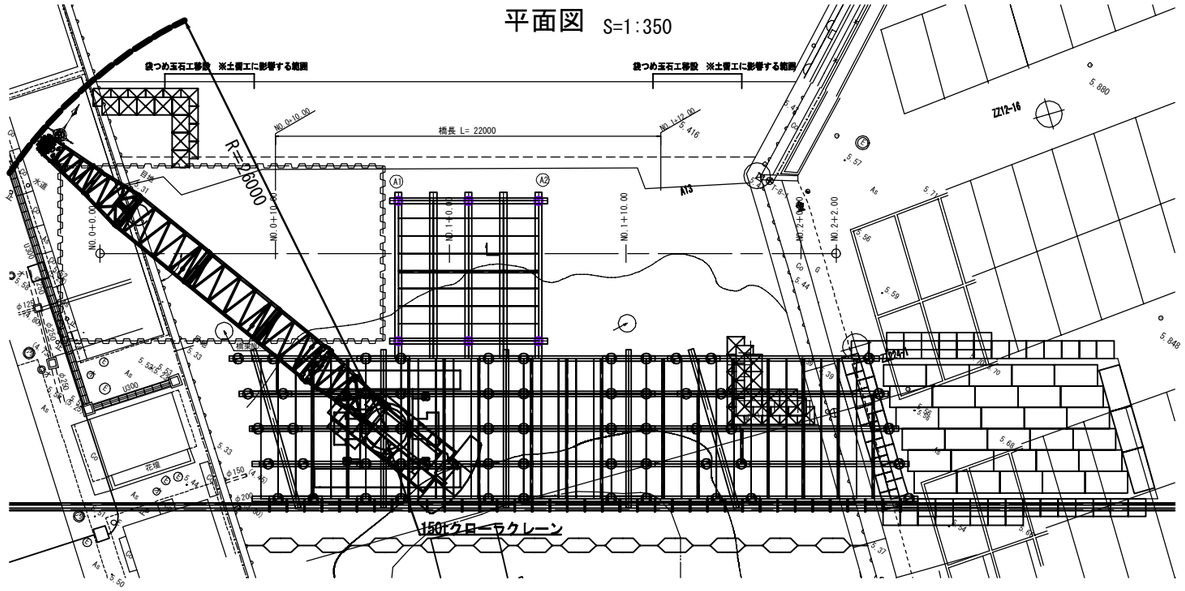
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	A2橋台背面U型擁壁場所打ち杭配筋図		
縮　尺	図示	図面番号	64
下関市ボートレース企業局			

下部工施工要領図(その1)

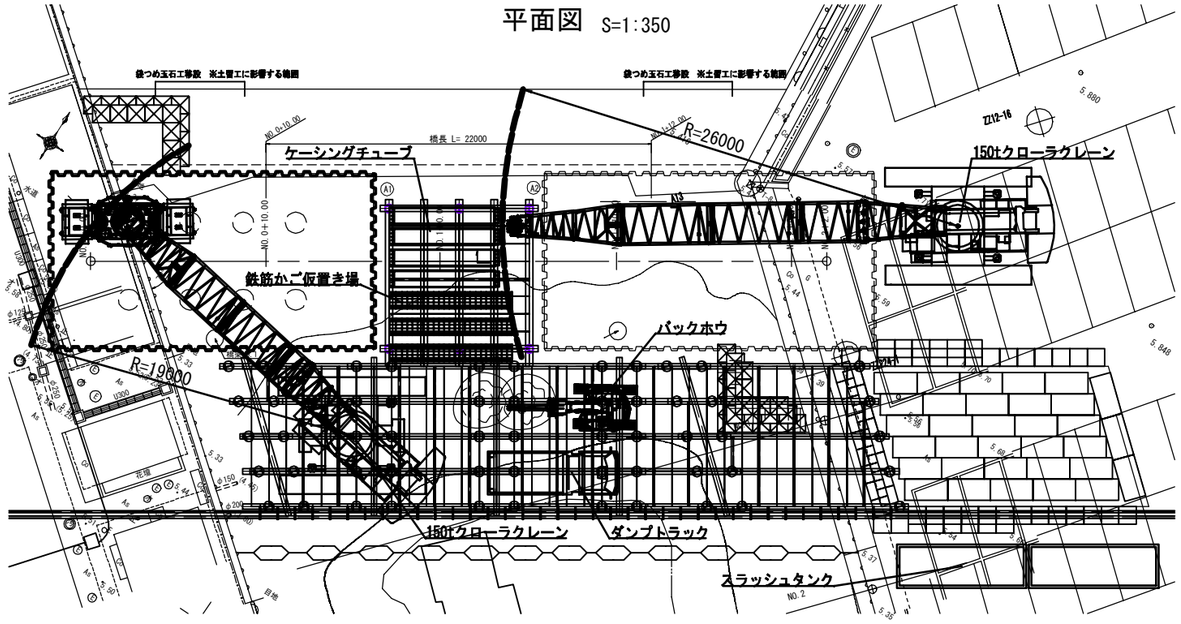
ステップ1:A1仮設土留工設置

平面図 S=1:350



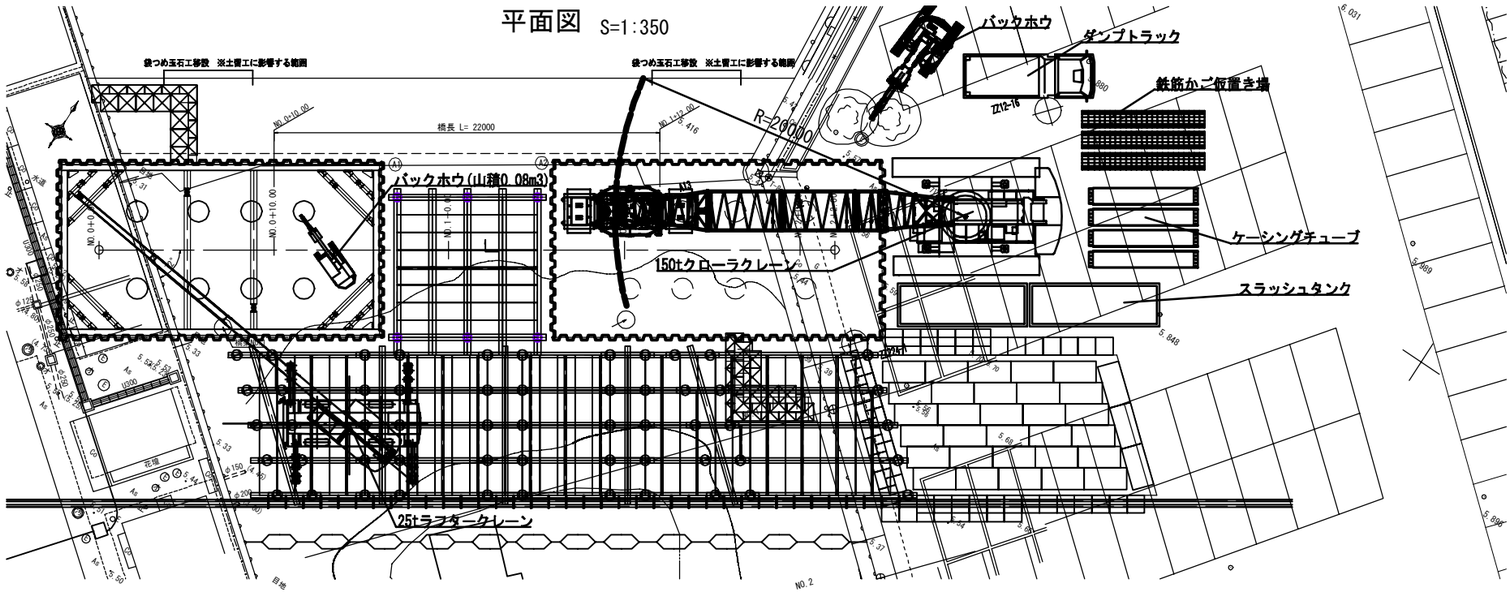
ステップ2:A1場所打ち杭施工,A2仮設土留工設置

平面図 S=1:350



ステップ3:A1掘削、仮設支保工設置,A2場所打ち杭施工

平面図 S=1:350



下部工施工フロー

①汚濁防止フェンス設置
↓※水域の水底部に20～30cmの割石が点在しているため撤去すること
②仮桟橋設置
↓※袋つめ玉石工の移設
③A1橋台仮設土留工設置
↓
④A1橋台場所打ち杭施工
U型擁壁場所打ち杭施工
↓
⑤掘削、仮設支保工設置
↓
⑥躯体構築
↓
⑦U型擁壁構築
↓
⑧A1橋台仮設土留工撤去
↓
⑨上部工架設
↓
⑩仮桟橋撤去

③´A2橋台仮設土留工設置
↓
④´A2橋台場所打ち杭施工
U型擁壁場所打ち杭施工
↓
⑤´掘削、仮設支保工設置
↓
⑥´躯体構築
↓
⑦´U型擁壁構築
↓
⑧´A2橋台仮設土留工撤去
↓

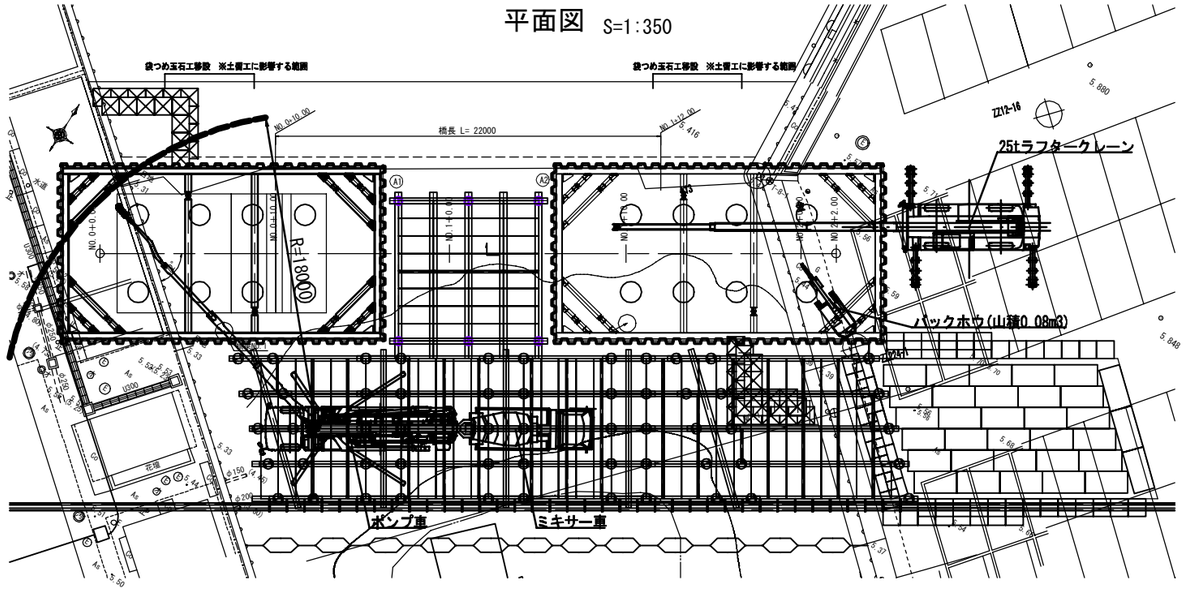
※現場状況や全体事業工程によっては、
2パーティーとすることで工期短縮が可能である

原図:A3、単位：mm

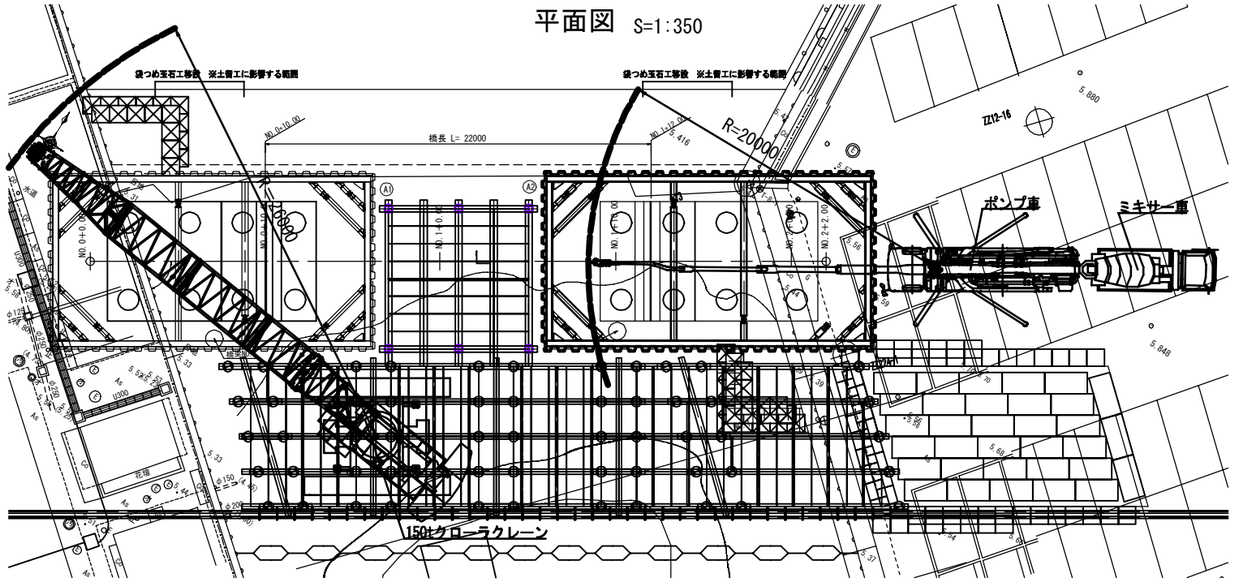
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	下部工施工要領図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	65
下関市ボートレース企業局			

下部工施工要領図(その2)

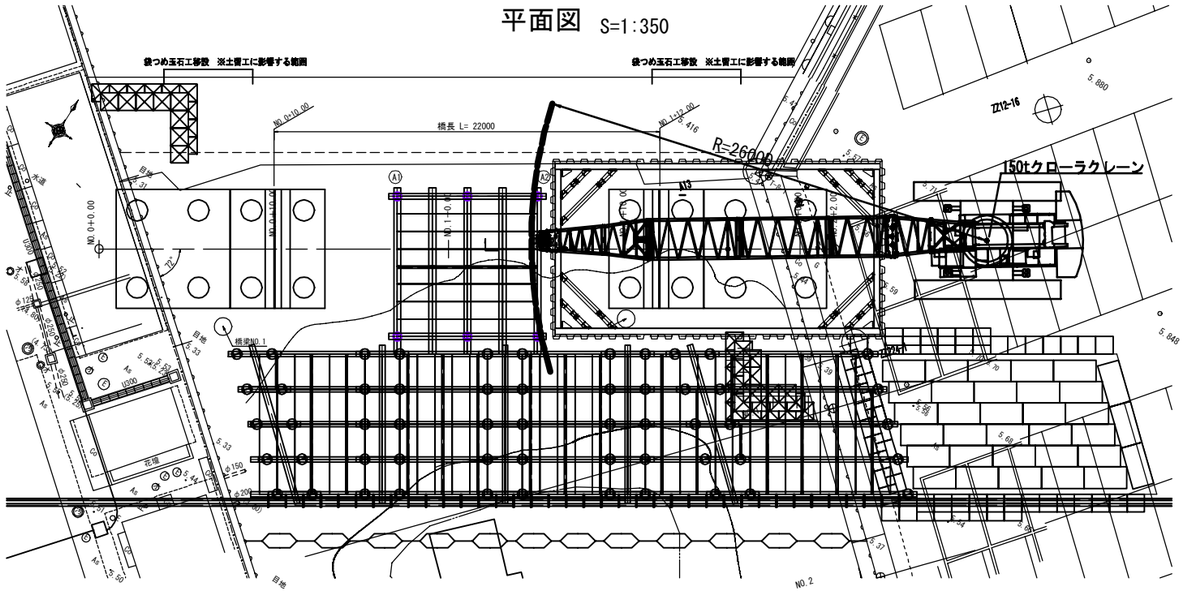
ステップ4:A1躯体、擁壁構築,A2掘削、仮設支保工設置



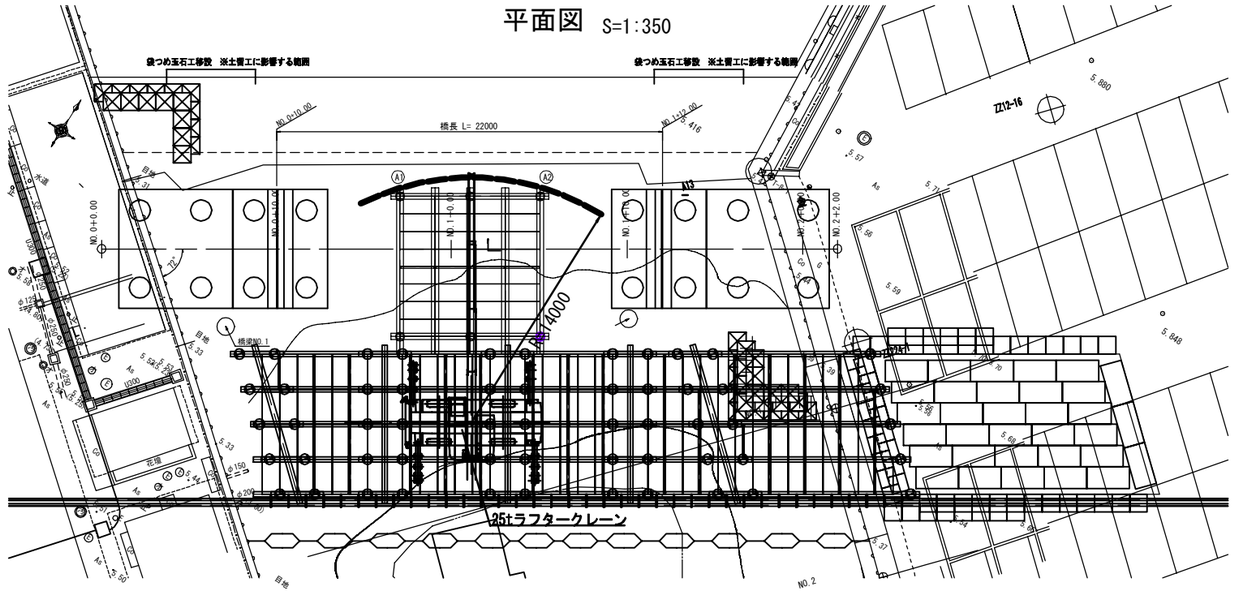
ステップ5:A1仮設土留工撤去,A2躯体、擁壁構築



ステップ6:A2仮設土留工撤去



ステップ7:仮桟橋一部撤去

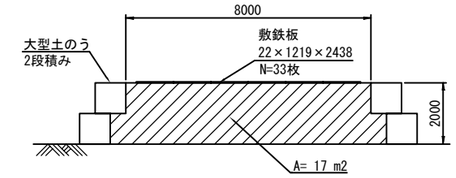


原図:A3、単位 : mm

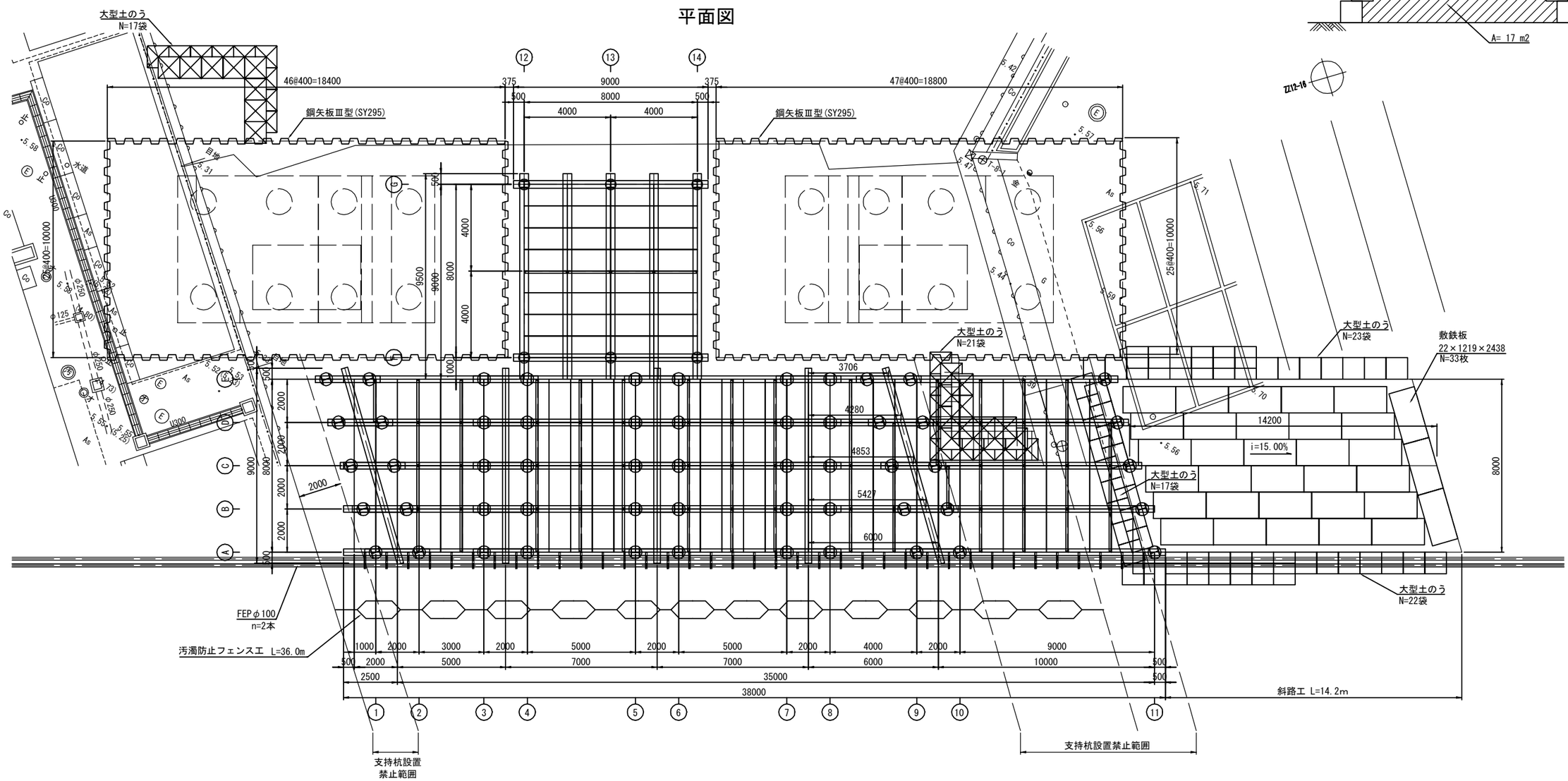
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	下部工施工要領図(その2)		
縮　尺	1/350	図面番号	66
下関市ボートレース企業局			

仮設工全体計画図

斜路断面図



平面図



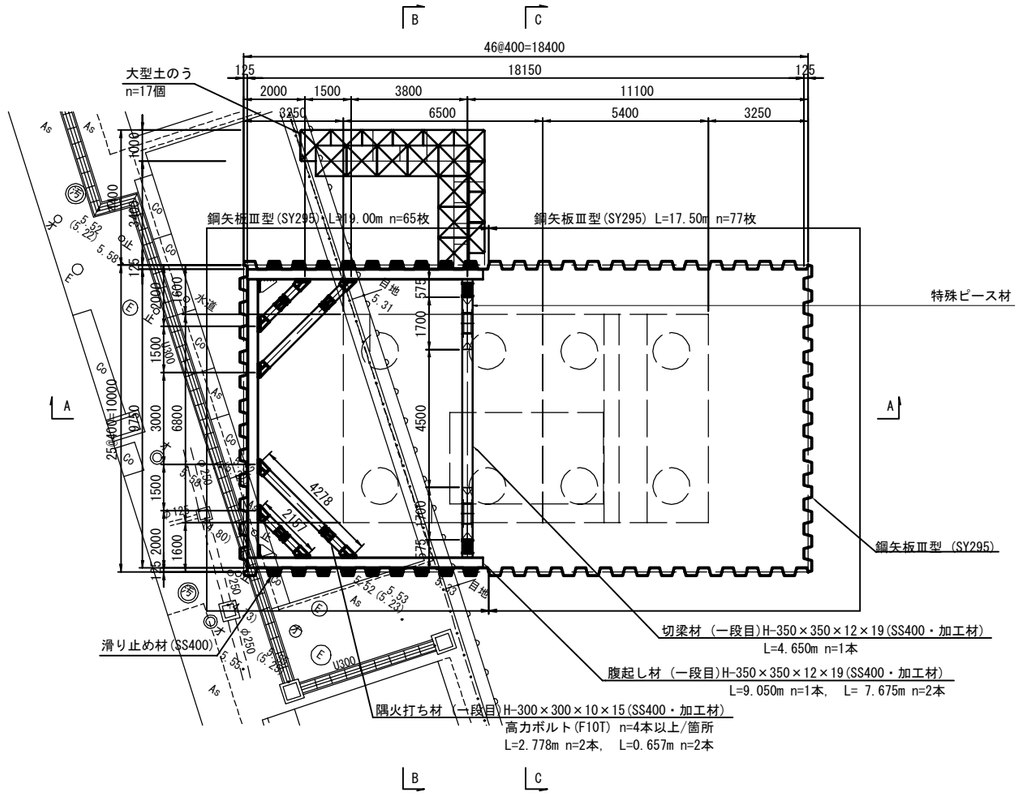
原図:A3、単位：mm

※ 本図面は仮設工を示したものである。
施工の際は、現地状況を確認して行うこと。
計画と異なる際は、現地にて調整を行うこと。

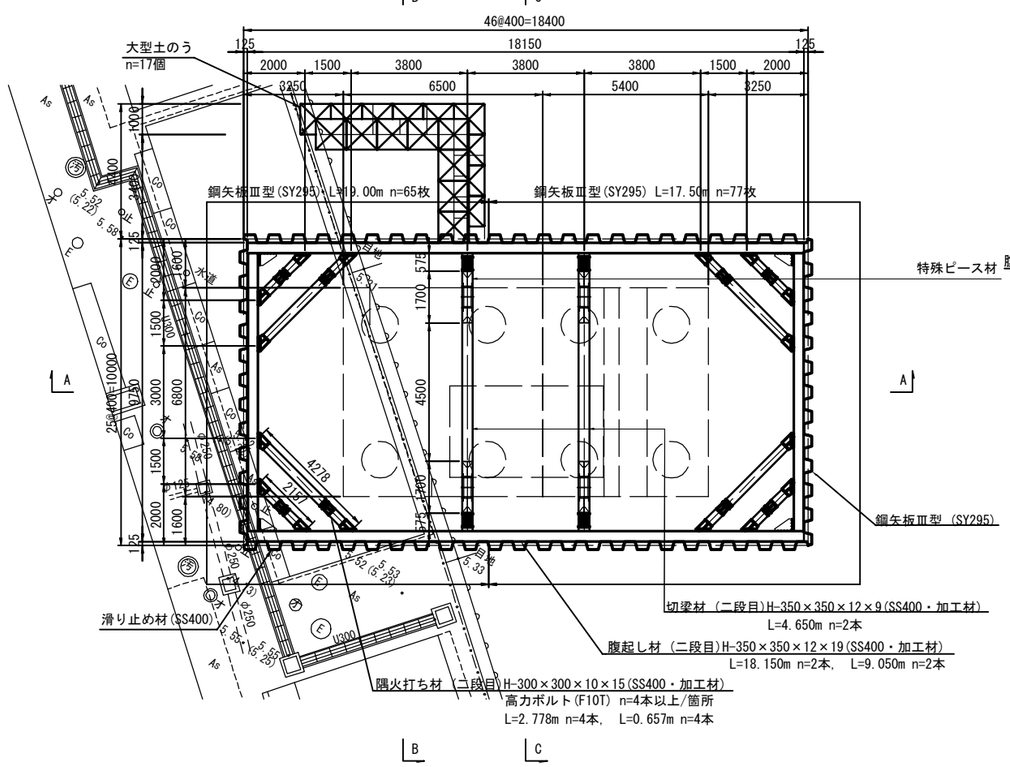
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設工全体計画図		
縮　尺	1/200	図面番号	67
下関市ボートレース企業局			

仮設土留工計画図(その1)

平面図 〈一段目〉

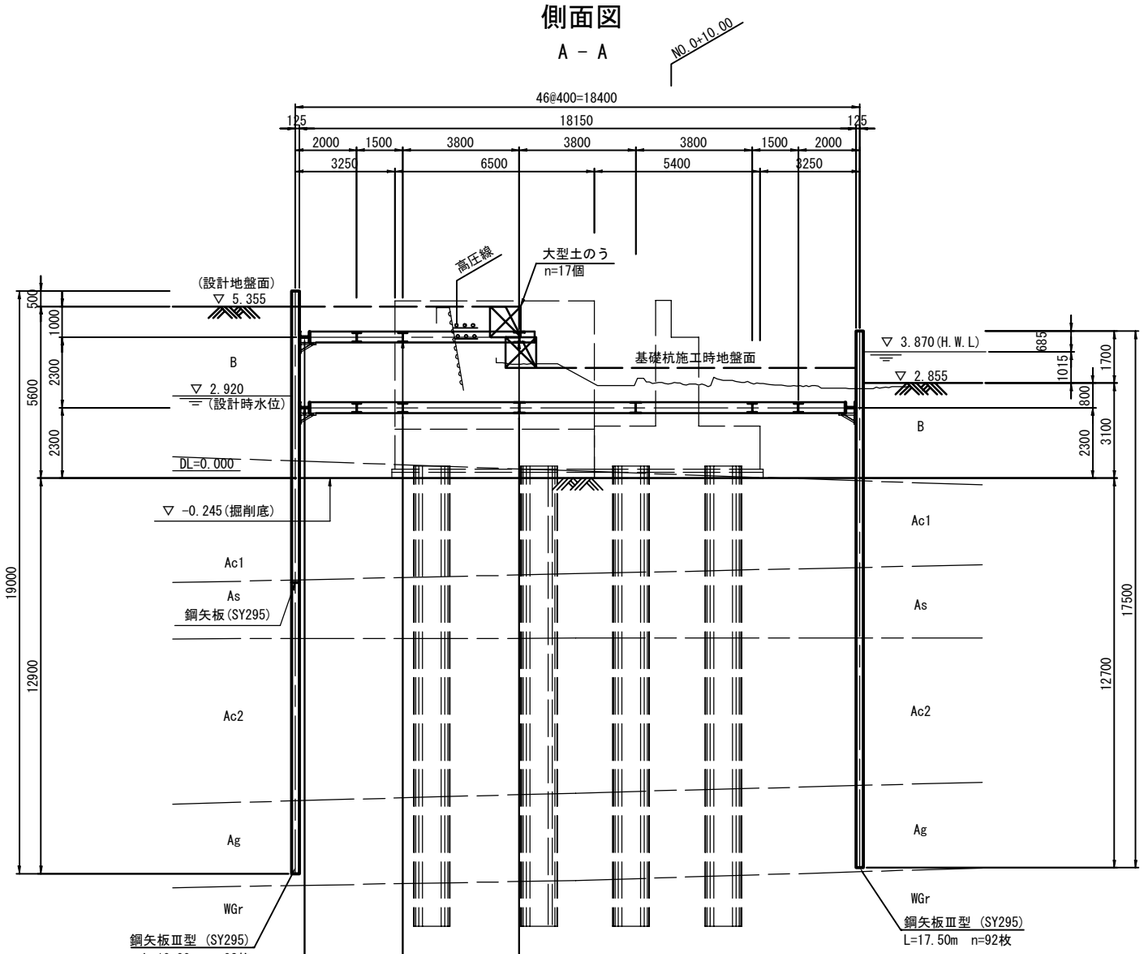


平面図 〈二段目〉



側面図

A - A

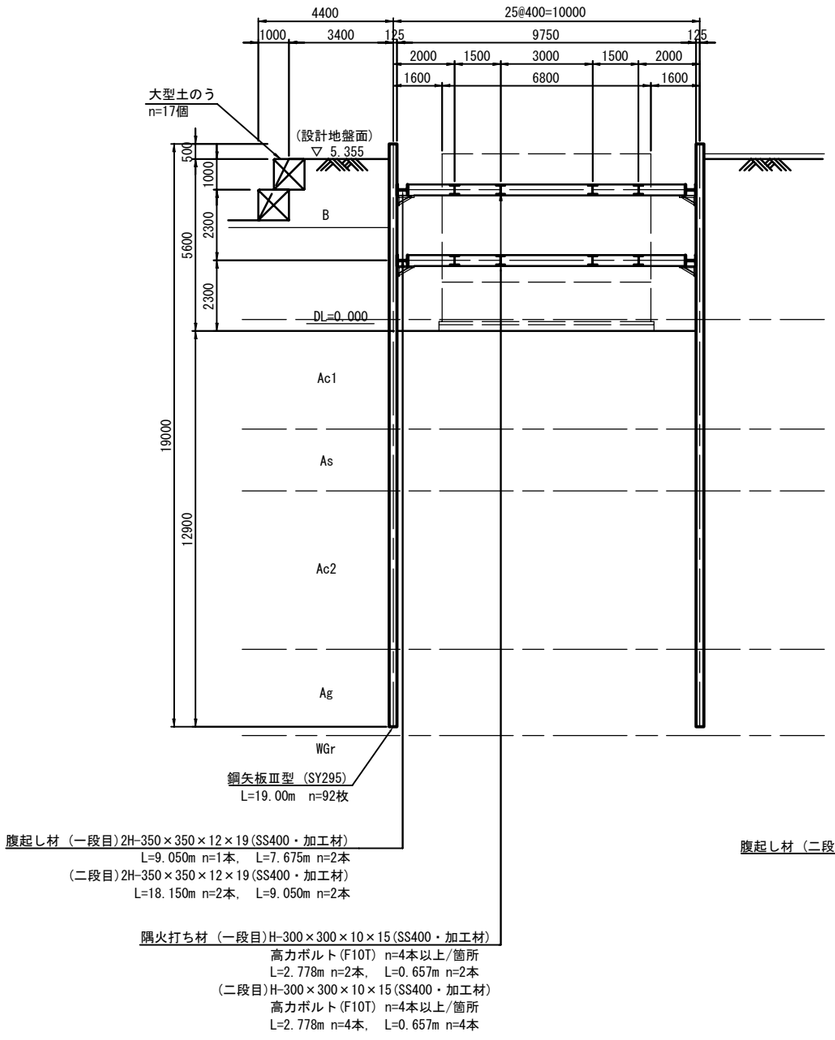


原図:A3、単位 : mm

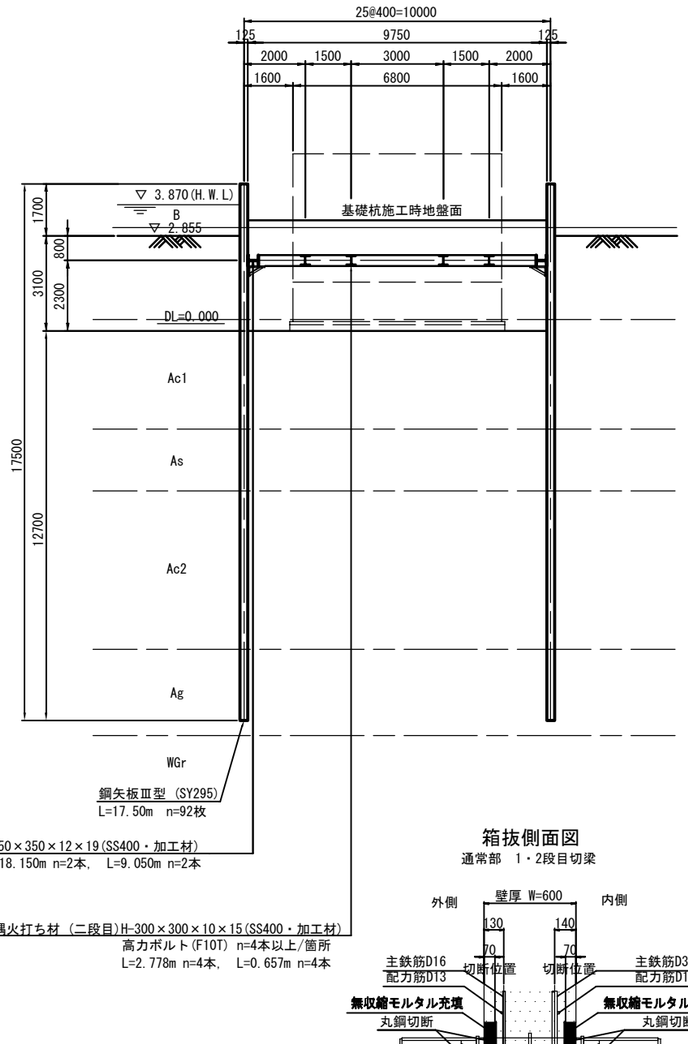
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設土留工計画図(その1)		
縮　尺	1/200	図面番号	68
下関市ボートレース企業局			

仮設土留工計画図(その2)　S=1:200

断 面 図
B － B



断 面 図
C － C

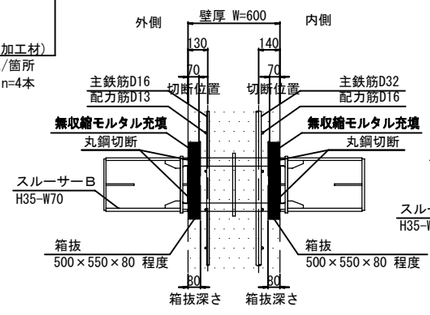


A1橋台部 仮設土留工数量表

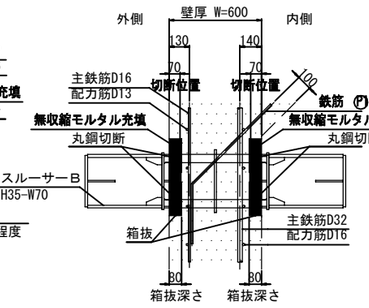
種 別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
鋼矢板	Ⅲ型	19000	65	60.0	1140.0	74100	SY295	
〃	〃	17500	77	60.0	1050.0	80850	〃	
小計						154950 kg		
腹起し材	H-350×350×12×19	9050	1	150.0	1357.5	1358	SS400 加工材	一段目
〃	〃	7675	2	150.0	1151.3	2303	〃	〃
〃	〃	18150	2	150.0	2722.5	5445	〃	二段目
〃	〃	9050	2	150.0	1357.5	2715	〃	〃
小計						11821 kg		
隅火打ち材	H-300×300×10×15	2778	2	100.0	277.8	556	SS400 加工材	一段目
〃	〃	657	2	100.0	65.7	131	〃	〃
〃	〃	2778	4	100.0	277.8	1111	〃	二段目
〃	〃	657	4	100.0	65.7	263	〃	〃
小計						2061 kg		
切梁材	H-350×350×12×19	4650	1	150.0	697.5	698	SS400 加工材	一段目
〃	〃	4650	2	150.0	697.5	1395	〃	二段目
小計						2093 kg		
副部材 A						3548 kg		
副部材 B						645 kg		
合計						175079 kg		
特殊ピース材						6 個		
滑り止め材						18 個		
大型土のう						17 個		

箱抜き部詳細図　S=1:40

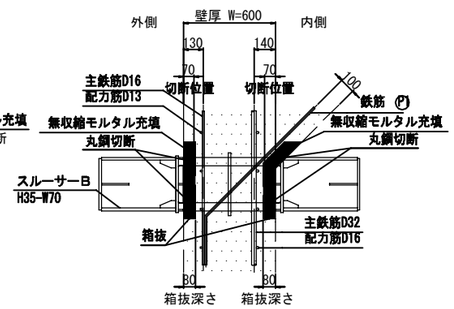
箱抜側面図
通常部 1・2段目切梁



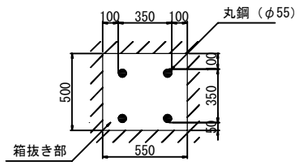
箱抜側面図
A1橋台側 鉄筋P1干渉部
(1段目切梁左側側壁部)



箱抜側面図
A2橋台側 鉄筋P1干渉部
(1段目切梁左側側壁部)



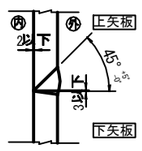
箱抜正面図
(丸鋼切断後)



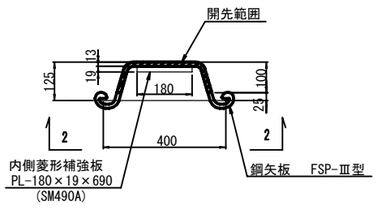
※1段目左側側壁のスルーサーBと鉄筋P1が干渉する場合は鉄筋の移動または継手が必要となります。

鋼矢板取付け詳細図

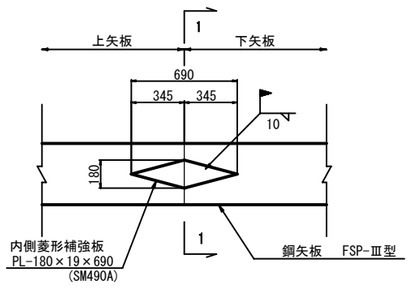
開先形状図　S=1:20



1-1断面図　S=1:20



2-2断面図　S=1:40



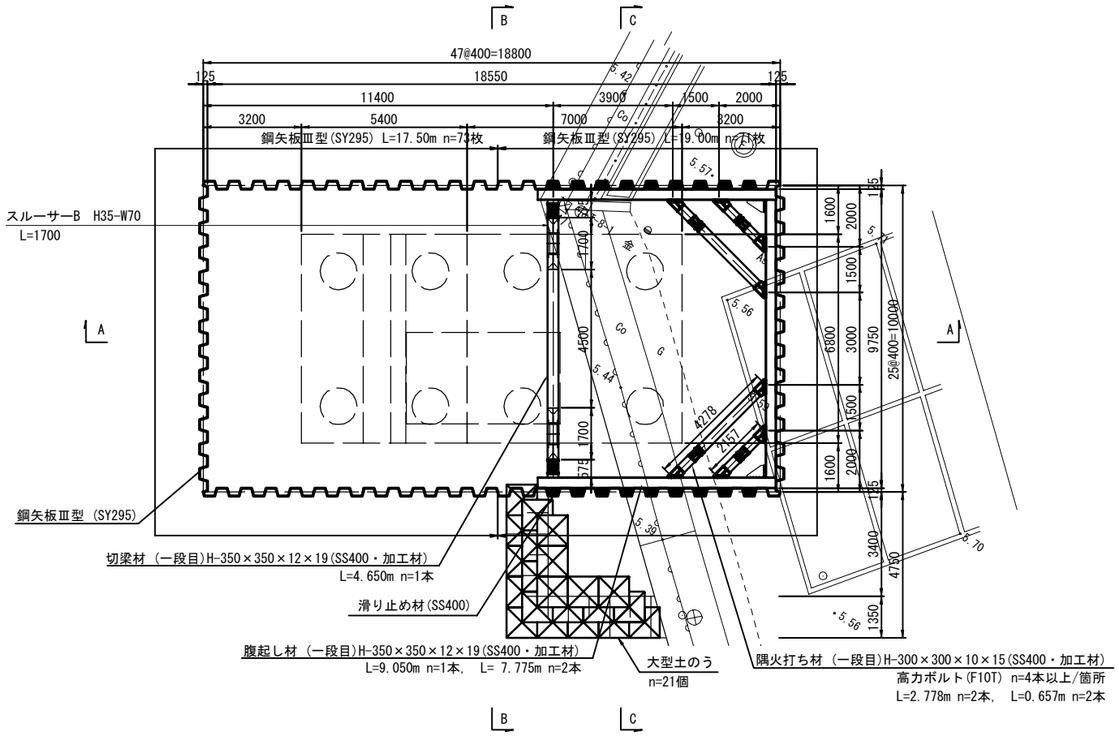
※1段目左側側壁のスルーサーBと鉄筋P1が干渉する場合は鉄筋の移動または継手が必要となります。

原図:A3、単位：mm

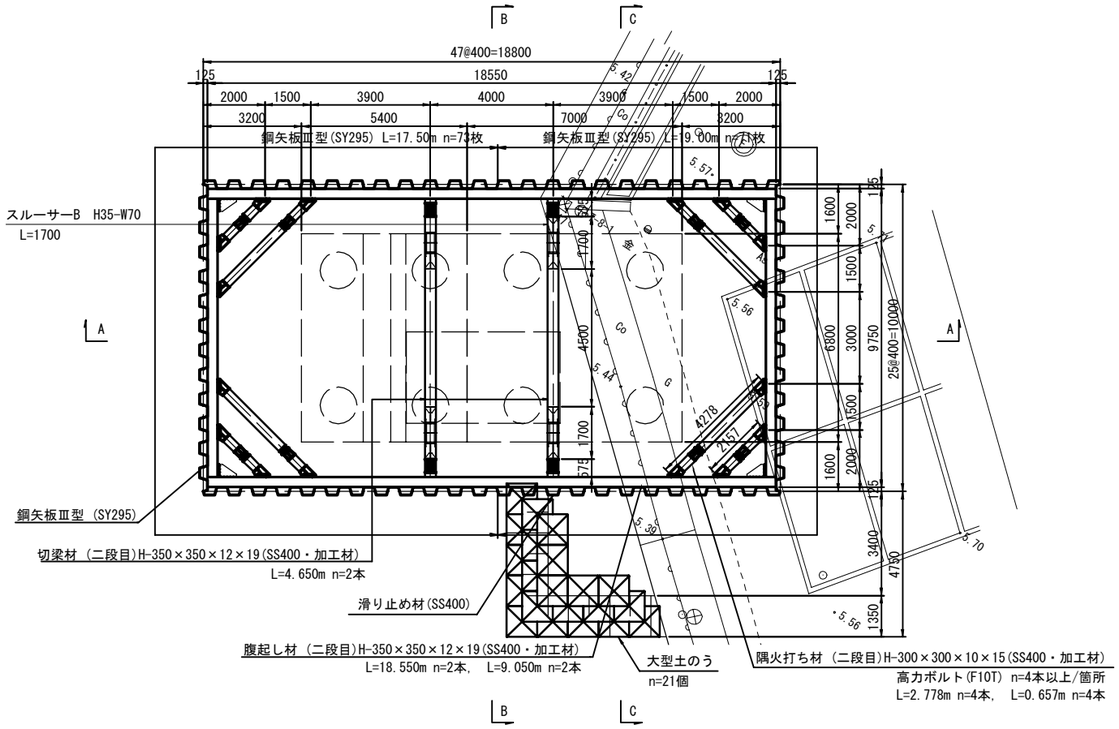
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設土留工計画図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	69
下関市ボートレース企業局			

仮設土留工計画図(その3)

平 面 図 〈一段目〉

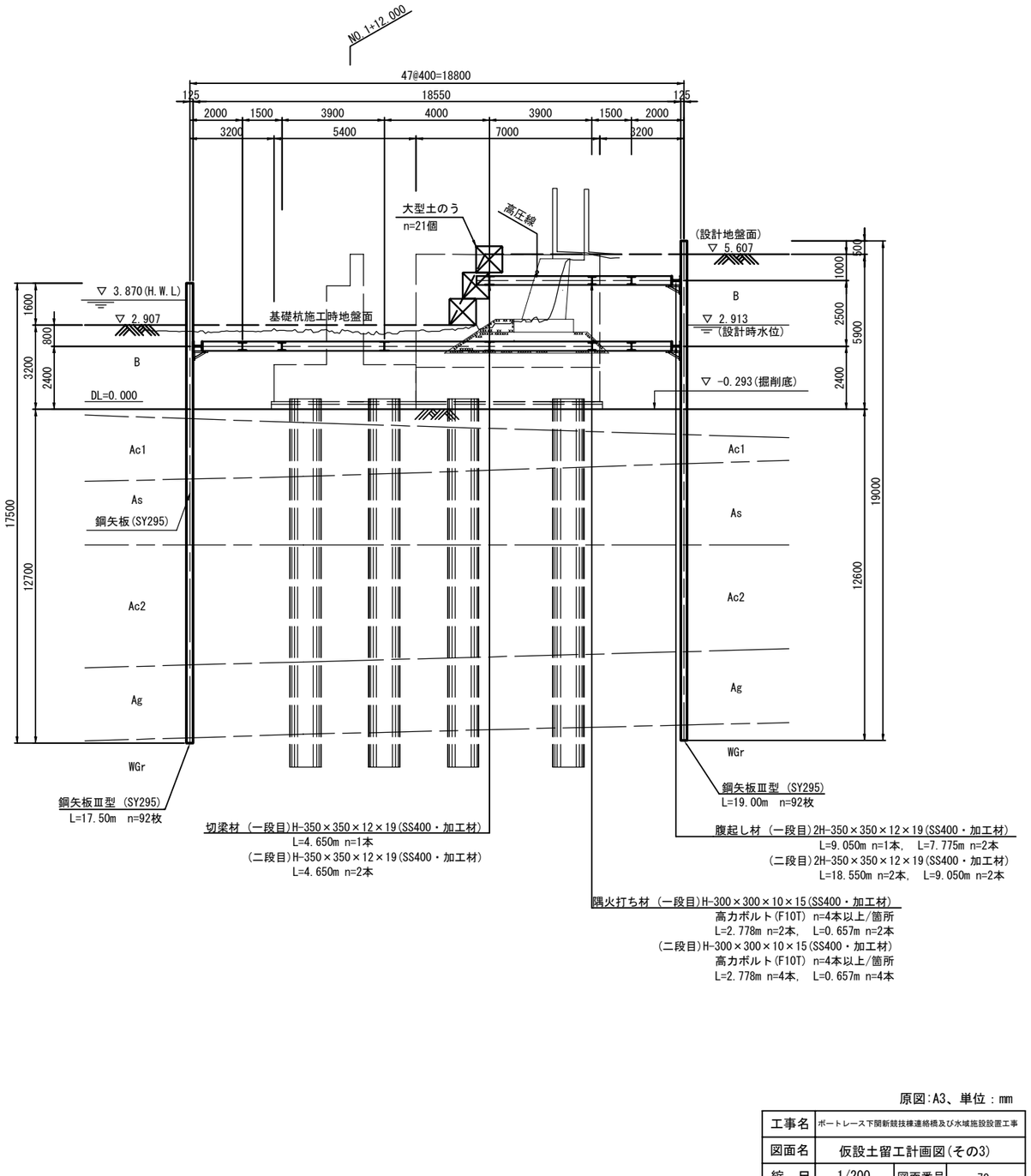


平 面 図 〈二段目〉



側 面 図

A － A

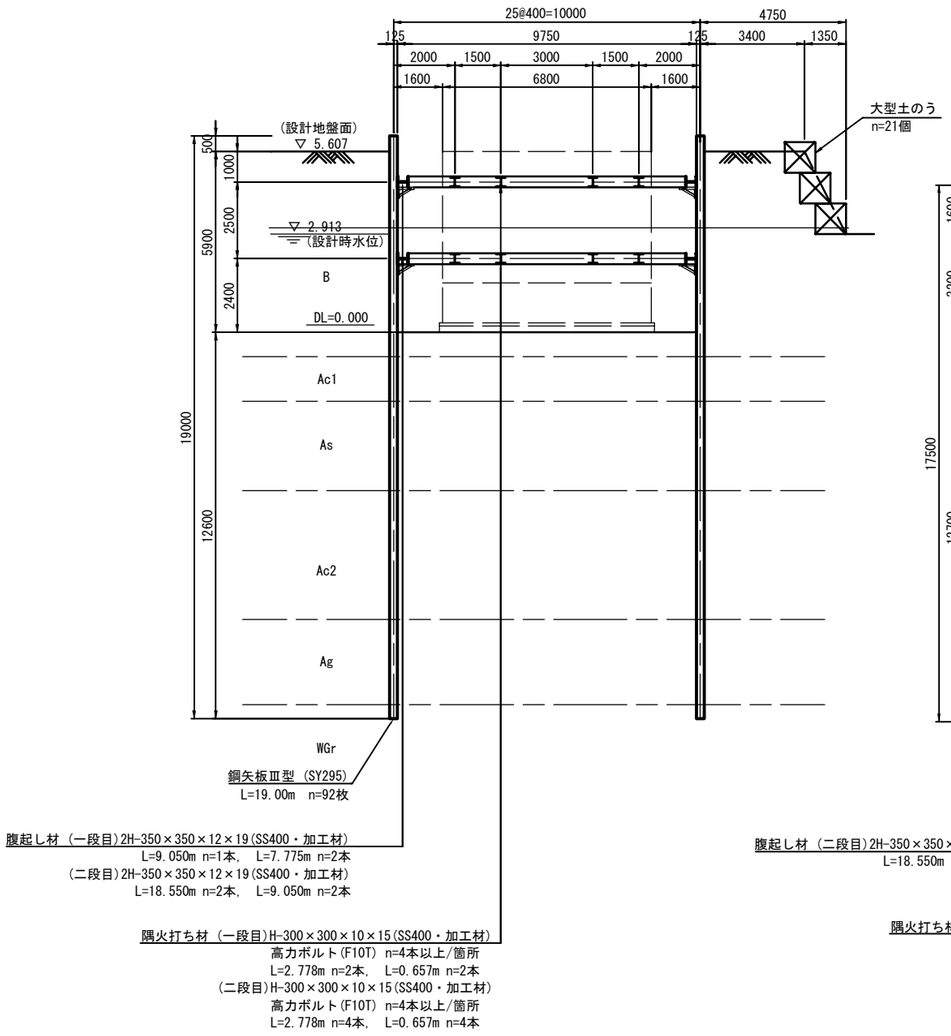


原図:A3、単位 : mm

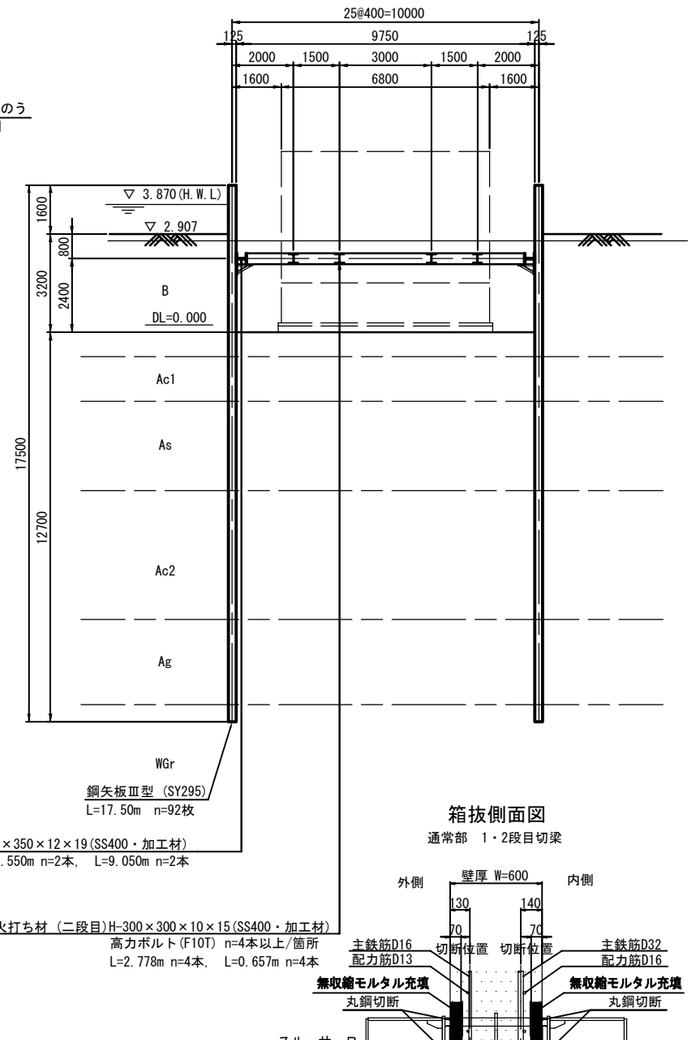
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設土留工計画図(その3)		
縮 尺	1/200	図面番号	70
下関市ボートレース企業局			

仮設土留工計画図(その4)　S=1:200

断 面 図
B － B



断 面 図
C － C



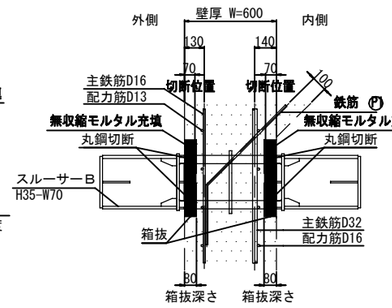
A2橋台部 仮設土留工数量表

種 別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
鋼矢板	Ⅲ型	19000	71	60.0	1140.0	80940	SY295	
〃	〃	17500	73	60.0	1050.0	76650	〃	
小計						157590 kg		
腹起し材	H-350×350×12×19	9050	1	150.0	1357.5	1358	SS400 加工材	一段目
〃	〃	7775	2	150.0	1166.3	2333	〃	〃
〃	〃	18550	2	150.0	2782.5	5565	〃	二段目
〃	〃	9050	2	150.0	1357.5	2715	〃	〃
小計						11971 kg		
隅火打ち材	H-300×300×10×15	2778	2	100.0	277.8	556	SS400 加工材	一段目
〃	〃	657	2	100.0	65.7	131	〃	〃
〃	〃	2778	4	100.0	277.8	1111	〃	〃
〃	〃	657	4	100.0	65.7	263	〃	二段目
小計						2061 kg		
切梁材	H-350×350×12×19	4650	1	150.0	697.5	698	SS400 加工材	一段目
〃	〃	4650	2	150.0	697.5	1395	〃	二段目
小計						2093 kg		
副部材 A						3548 kg		
副部材 B						645 kg		
合計						177908 kg		
特殊ピース材						6 個		
滑り止め材						18 個		
大型土のう						21 個		

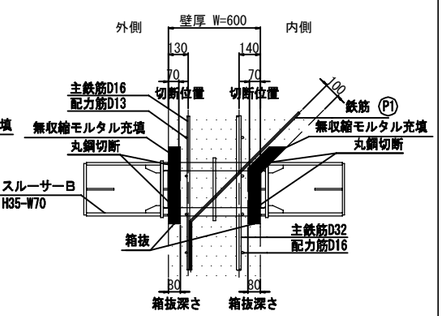
箱抜き部詳細図　S=1:40

箱抜側面図
通常部 1・2段目切梁

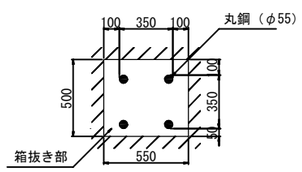
箱抜側面図
A1橋台側 鉄筋P1干渉部
(1段目切梁左側側壁部)



箱抜側面図
A2橋台側 鉄筋P1干渉部
(1段目切梁左側側壁部)



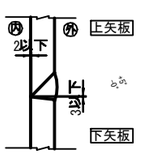
箱抜正面図
(丸鋼切断後)



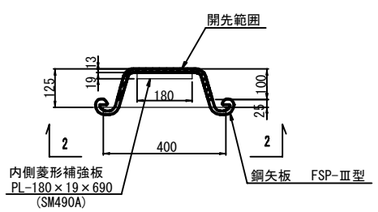
1段目左側側壁のスルーサーBと鉄筋P1が干渉する場合は鉄筋の移動または継手が必要となります。

鋼矢板取付け詳細図

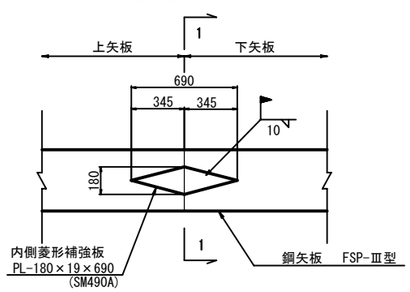
開先形状図　S=1:20



1-1断面図　S=1:20



2-2断面図　S=1:40

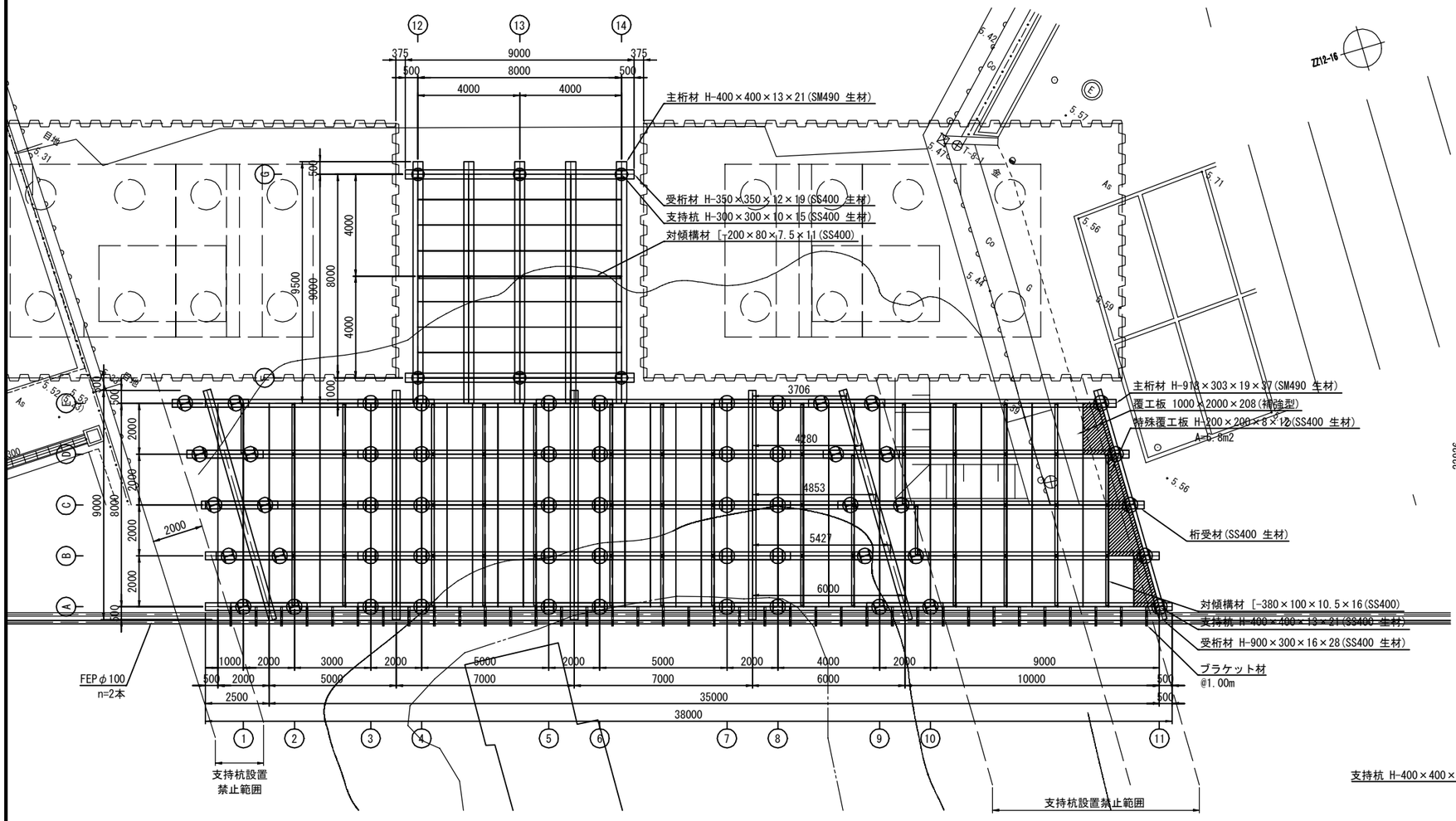


原図:A3、単位 : mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設土留工計画図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	71
下関市ボートレース企業局			

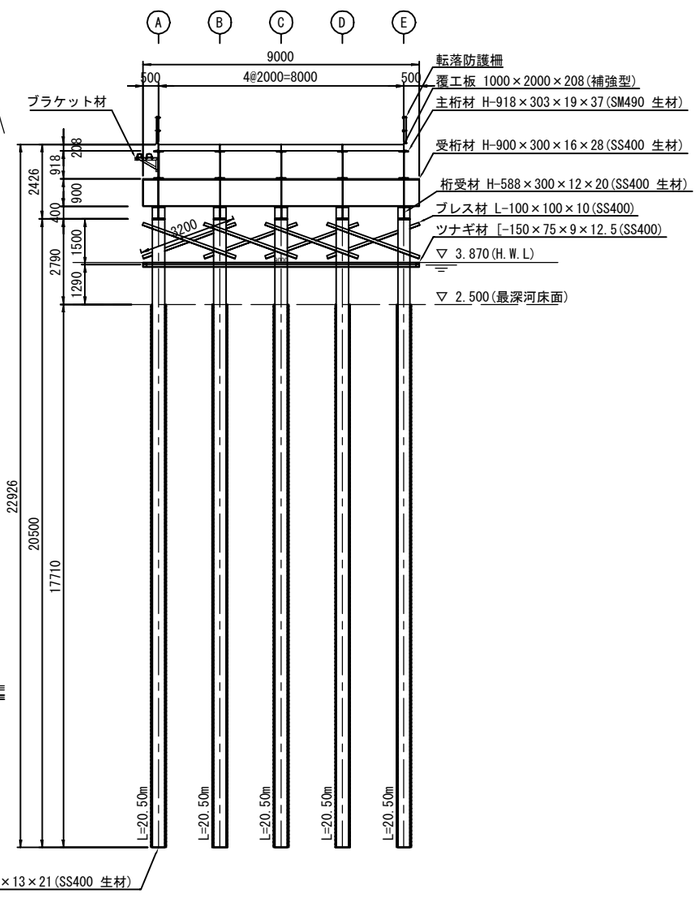
仮設桟橋工計画図(その1)

平面図



断面図

〈③～⑧断面〉



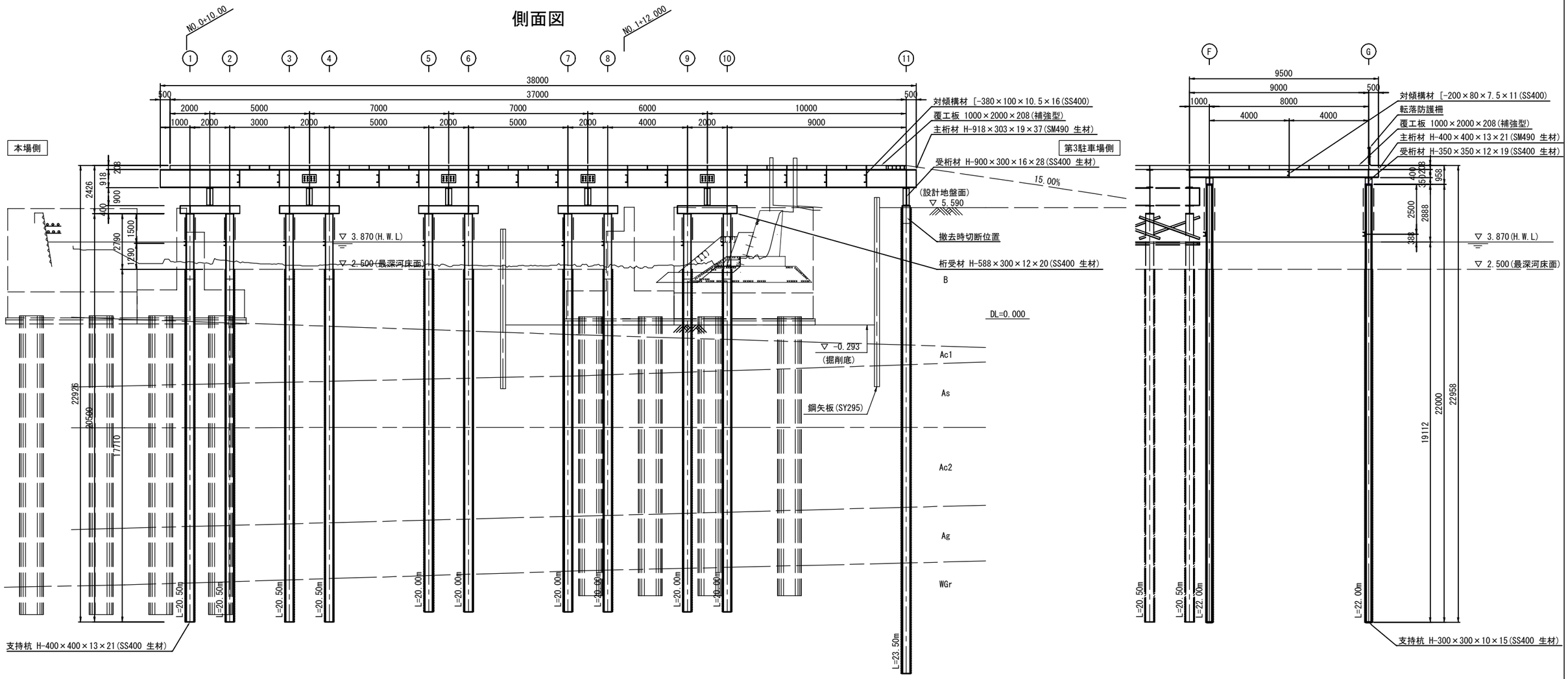
※ 支持杭施工においては、現況地盤を十分確認し施工を行うものとする。
※ 張出部で作業するトラックは、主桁材に対して平行にのみ載荷するものとする。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設桟橋工計画図(その1)		
縮　尺	1/200	図面番号	72
下関市ボートレース企業局			

仮設桟橋工計画図(その2)　S=1:200

側面図

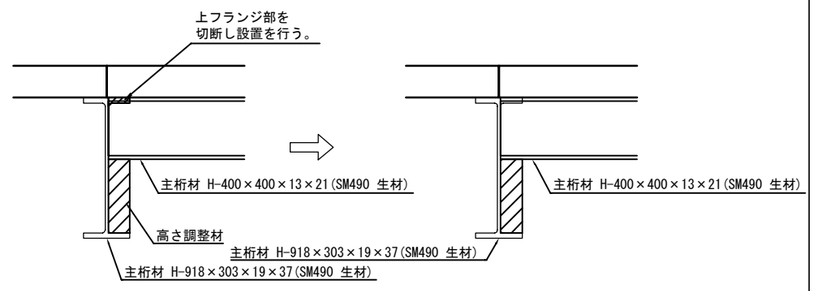


仮桟橋工数量表

種　別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
覆工板	1000×2000×208		32	200.0	400.0	12800	補強型	A=64.0m2
特殊覆工桁	H-200×200×8×12	34000	1	49.9	1697.0	1697	SS400	A=6.8m2
小計						(14497 kg)		A=70.8m2
主桁材	H-918×303×19×37	10500	5	307.0	3223.5	16118	SM490 生材	
〃	〃	7500	5	307.0	2302.5	11513	〃	
〃	〃	7000	10	307.0	2149.0	21490	〃	
〃	〃	6000	1	307.0	1842.0	1842	〃	
〃	〃	5427	1	307.0	1666.1	1666	〃	
〃	〃	4853	1	307.0	1489.9	1490	〃	
〃	〃	4280	1	307.0	1314.0	1314	〃	
〃	〃	3706	1	307.0	1137.7	1138	〃	
〃	H-400×400×13×21	9500	5	172.0	1634.0	8170	SM490 生材	
地覆材	[-250×90×11×14.5	37000	1	40.2	1487.4	1487	SS400	
〃	〃	18759	1	40.2	754.1	754	〃	
〃	〃	9090	2	40.2	365.4	731	〃	
〃	〃	8180	2	40.2	328.8	658	〃	
〃	〃	7767	1	40.2	312.2	312	〃	
対傾構材	[-380×100×10.5×16	1900	58	54.5	103.6	6006	SS400	
〃	[-200×80×7.5×11	1900	4	24.6	46.7	187	SS400	

種　別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
受桁材	H-900×300×16×28	9400	2	240.0	2256.0	4512	SS400 生材	
〃	〃	9000	4	240.0	2160.0	8640	〃	
〃	H-350×350×12×19	9000	2	135.0	1215.0	2430	SS400 生材	
ブレス材	L-100×100×10	5300	8	14.9	79.0	632	SS400	
〃	〃	3300	32	14.9	49.2	1573	〃	
〃	〃	3200	48	14.9	47.7	2289	〃	
ツナギ材	[-150×75×9×12.5	9400	4	24.0	225.6	902	SS400	
〃	〃	9000	6	24.0	216.0	1296	〃	
〃	[-150×75×6.5×10	9400	3	18.6	167.4	502	SS400	
小計						83152 kg		
支持杭	H-400×400×13×21	23500	5	172.0	4042.0	20210	SS400 生材	
〃	〃	20500	20	172.0	3526.0	70520	〃	
〃	〃	20000	30	172.0	3440.0	103200	〃	
支持杭	H-300×300×10×15	22000	6	93.0	2046.0	12276	SS400 生材	
小計						206206 kg		
合計						292358 kg		

主桁取り合い詳細図



※ 支持杭施工においては、現況地盤を十分確認し施工を行うものとする。
※ 張出部で作業するトラックは、主桁材に対して平行にのみ載荷するものとする。

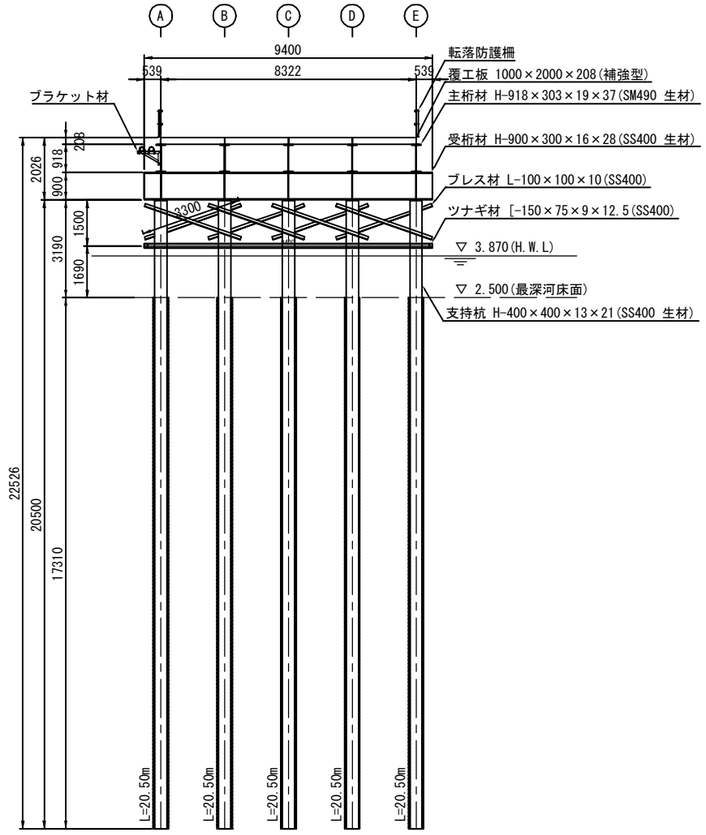
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設桟橋工計画図(その2)		
縮　尺	図示	図面番号	73
下関市ボートレース企業局			

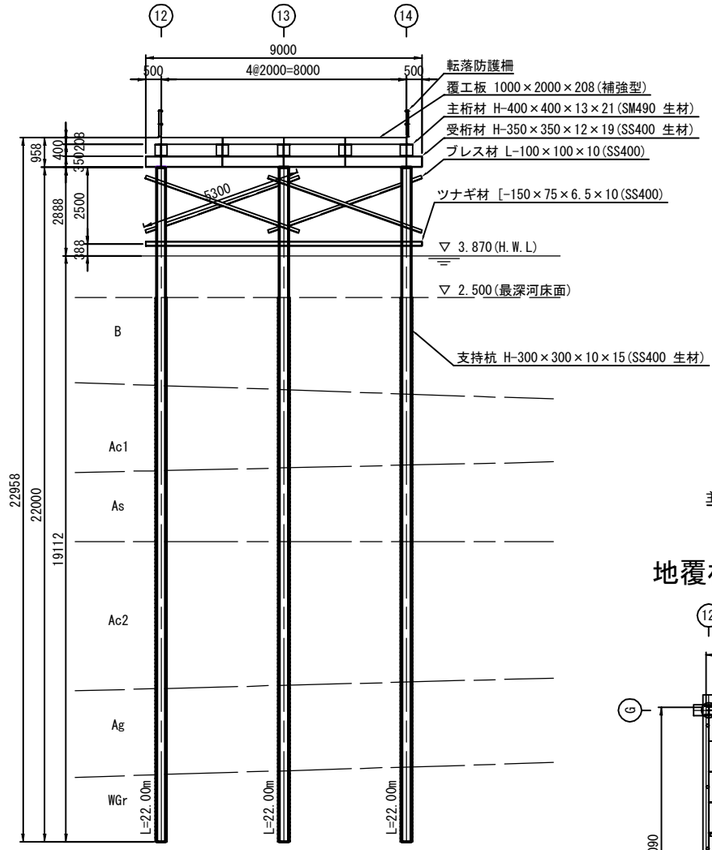
仮設桟橋工計画図(その3)　S=1:200

断面図

〈①②⑨⑩断面〉

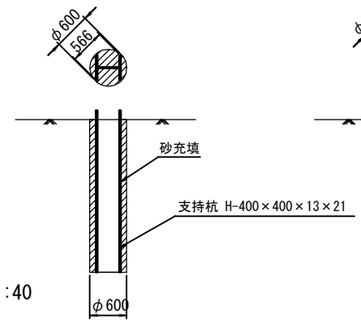


〈Ⓕ Ⓖ断面〉

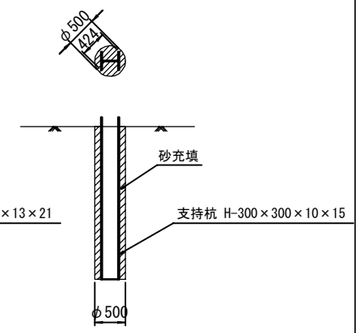


プレボーリング図　S=1:100

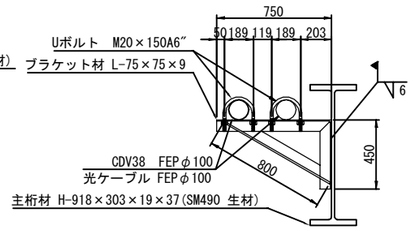
〈H-400×400×13×21〉



〈H-300×300×10×15〉

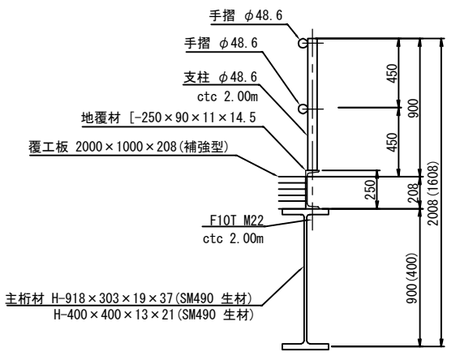


添加物詳細図　S=1:40



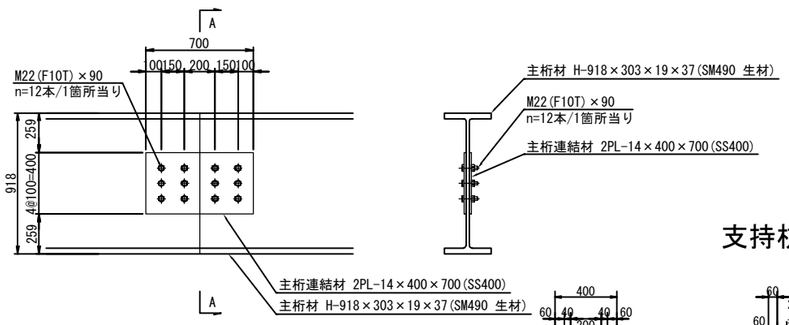
転落防護柵及び落下物防止ネット(案)　S=1:40

単管パイプ式ガードレール詳細図

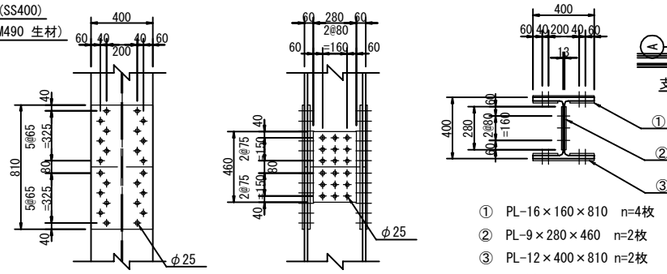


地覆材及び転落防護柵配置図

主桁連結材詳細図　S=1:40



支持杭接合部詳細図　S=1:40



① PL-16×160×810　n=4枚
② PL-9×280×460　n=2枚
③ PL-12×400×810 n=2枚
フランジ部　F10T(M22)
L=85mm　n=48本(一箇所当り)
ウェブ部　F10T(M22)
L=70mm n=18本(一箇所当り)

※ 支持杭施工においては、現況地盤を十分確認し施工を行うものとする。
※ 張出部で作業するトラックは、主桁材に対して平行にのみ載荷するものとする。

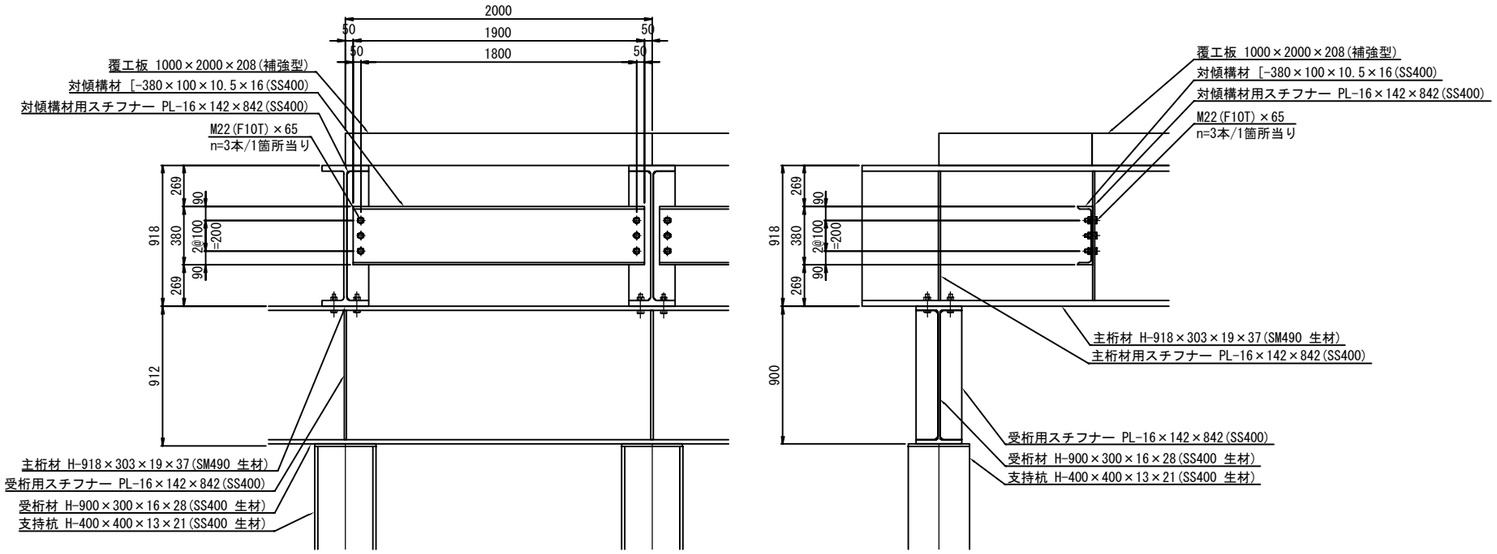
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設桟橋工計画図(その3)		
縮　尺	図示	図面番号	74
下関市ボートレース企業局			

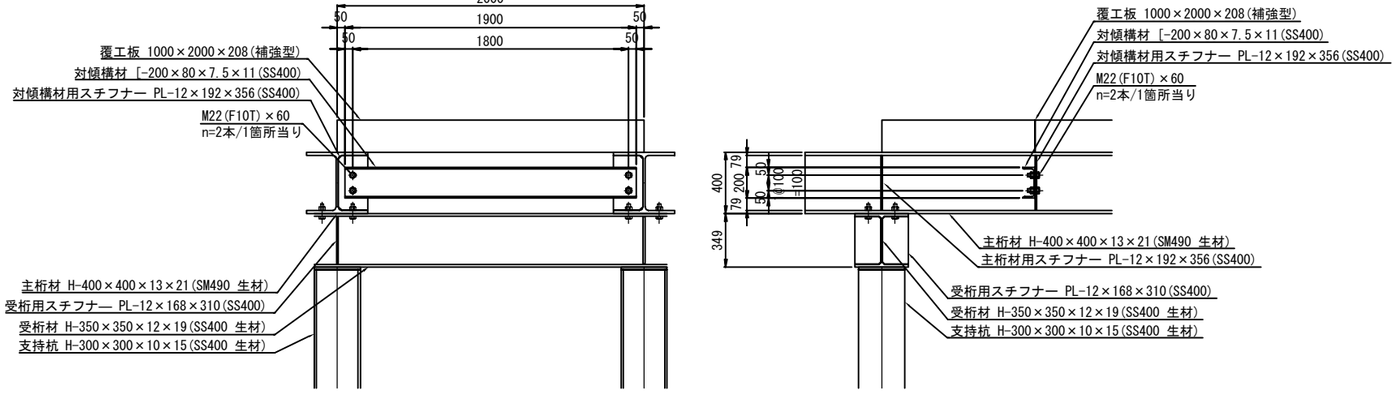
仮設桟橋工計画図(その4)

対傾構材及びスチフナー詳細図

〈①～⑪断面〉

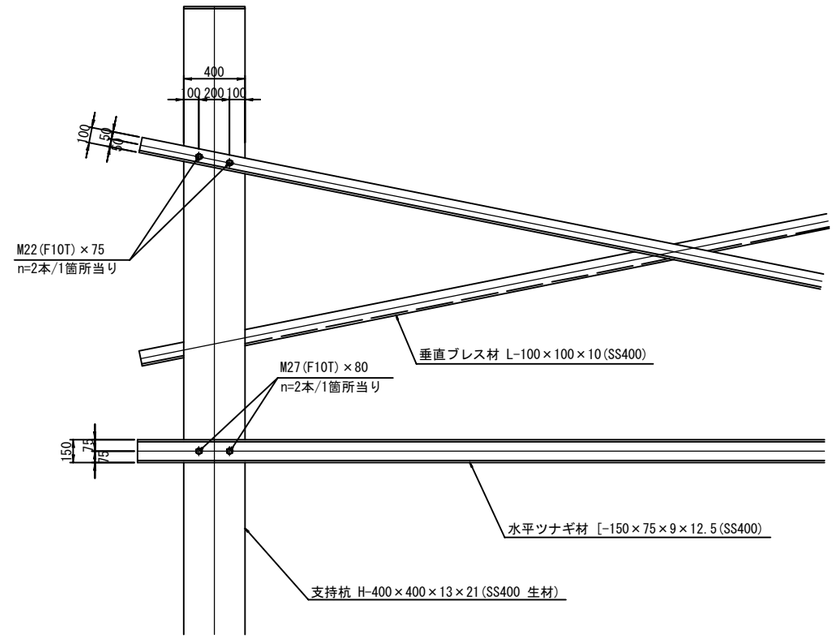


〈⑫～⑭断面〉

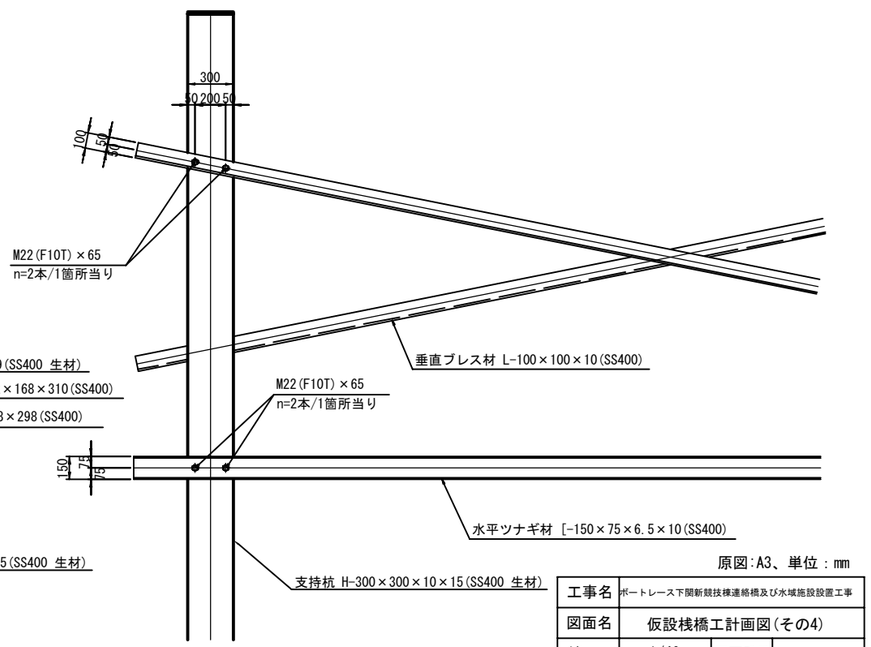


ブレス材・ツナギ材取付図

〈①～⑪断面 横断方向〉



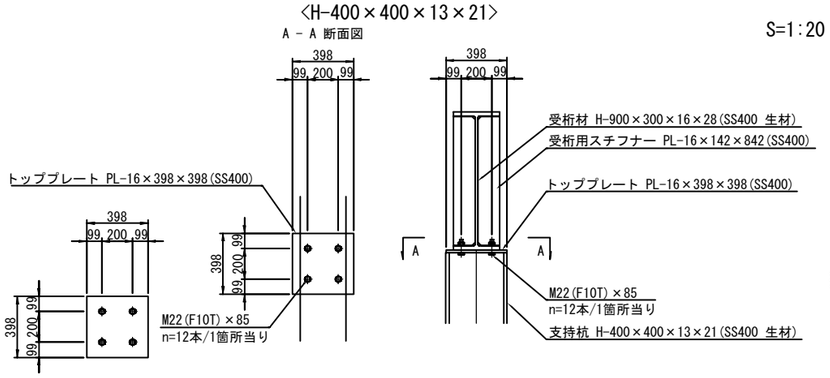
〈⑫～⑭断面 横断方向〉



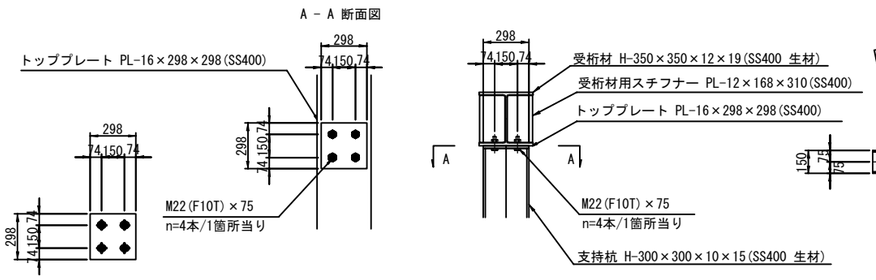
トッププレート詳細図

S=1:20

〈H-400×400×13×21〉



〈H-300×300×10×15〉



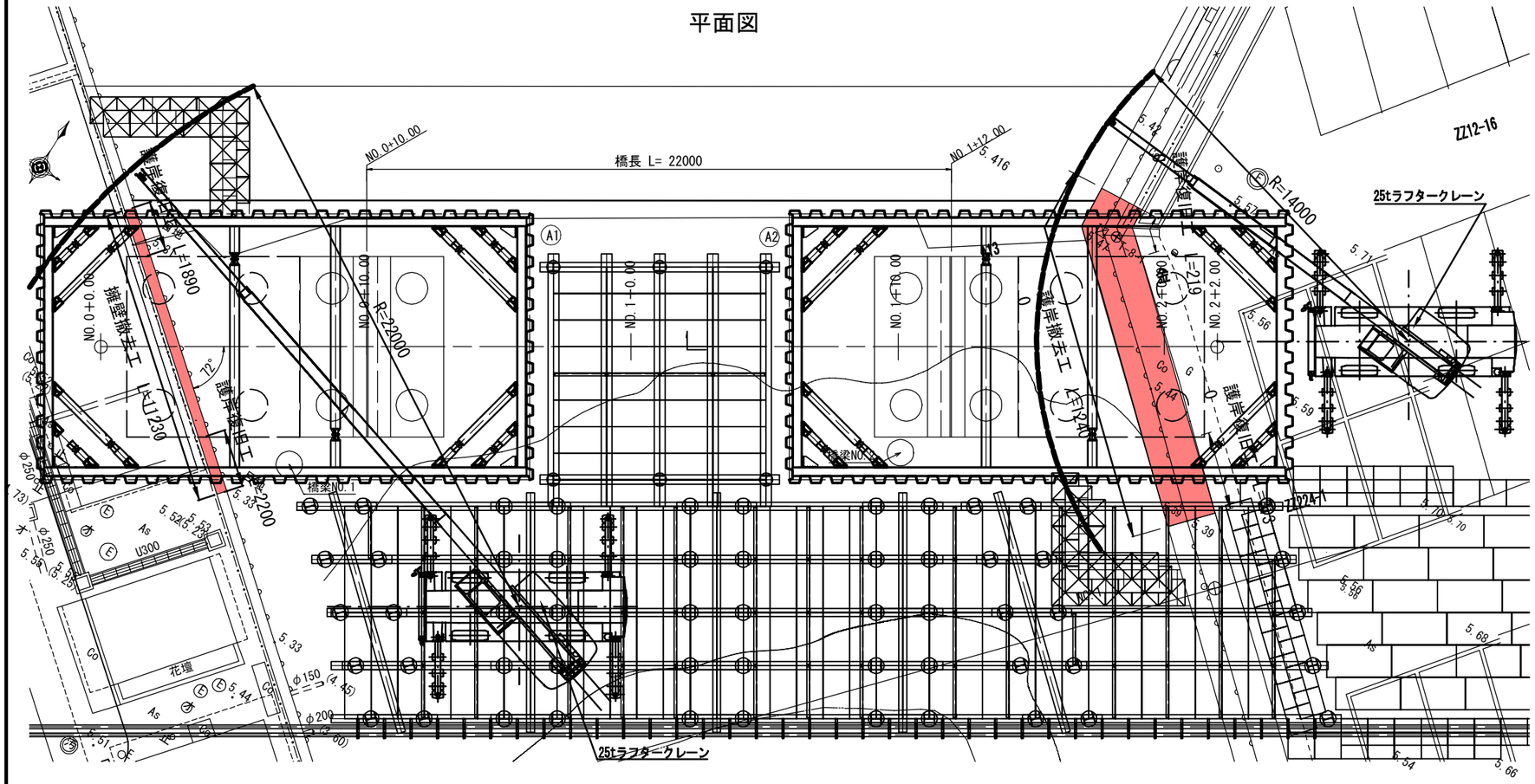
※ 支持杭施工においては、現況地盤を十分確認し施工を行うものとする。
※ 張出部で作業するトラックは、主桁材に対して平行にのみ載荷するものとする。

原図:A3、単位 : mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	仮設桟橋工計画図(その4)		
縮　尺	1/40	図面番号	75
下関市ボートレース企業局			

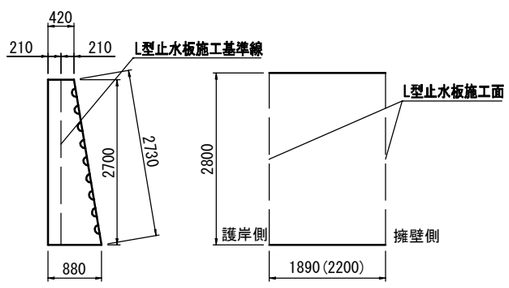
既設護岸工撤去復旧図　S=1:200

平面図

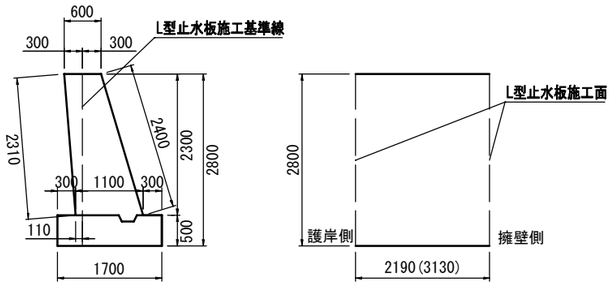


護岸復旧図（参考図）S=1:100

A1橋台



A2橋台



() 内は右側を示す

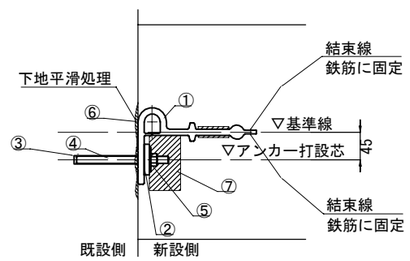
() 内は右側を示す

注記)護岸形状は既存資料より想定しているため、施工時に確認したうえで
形状が違った場合は調整すること

L型止水板　取付詳細図　S=1:10

材 料 表(1m当たり)

番号	名　称	寸　法	材　質	単位	数量	備　考
①	伸縮ゴム	t=10	ＮＲゴム	m	1.00	
②	押え板	t=9, W=50	SUS304	m	1.00	長穴加工
③	ケミカルアンカー	M12用		本	5	
④	アンカーボルト	M12用, L=150	SUS304	本	5	200ピッチ以下
⑤	ナット, ワッシャ	M12用	SUS304	ｾｯﾄ	5	ワッシャ外径φ40, t=3
⑥	スパンシール	t=4, W=50	ブチルゴム系	m	1.00	
⑦	クッション材	t=50, W=90	ポリエチレン	m	1.00	ボルト部切込み加工品



原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	既設護岸工撤去復旧図		
縮　尺	図示	図面番号	76
下関市ボートレース企業局			

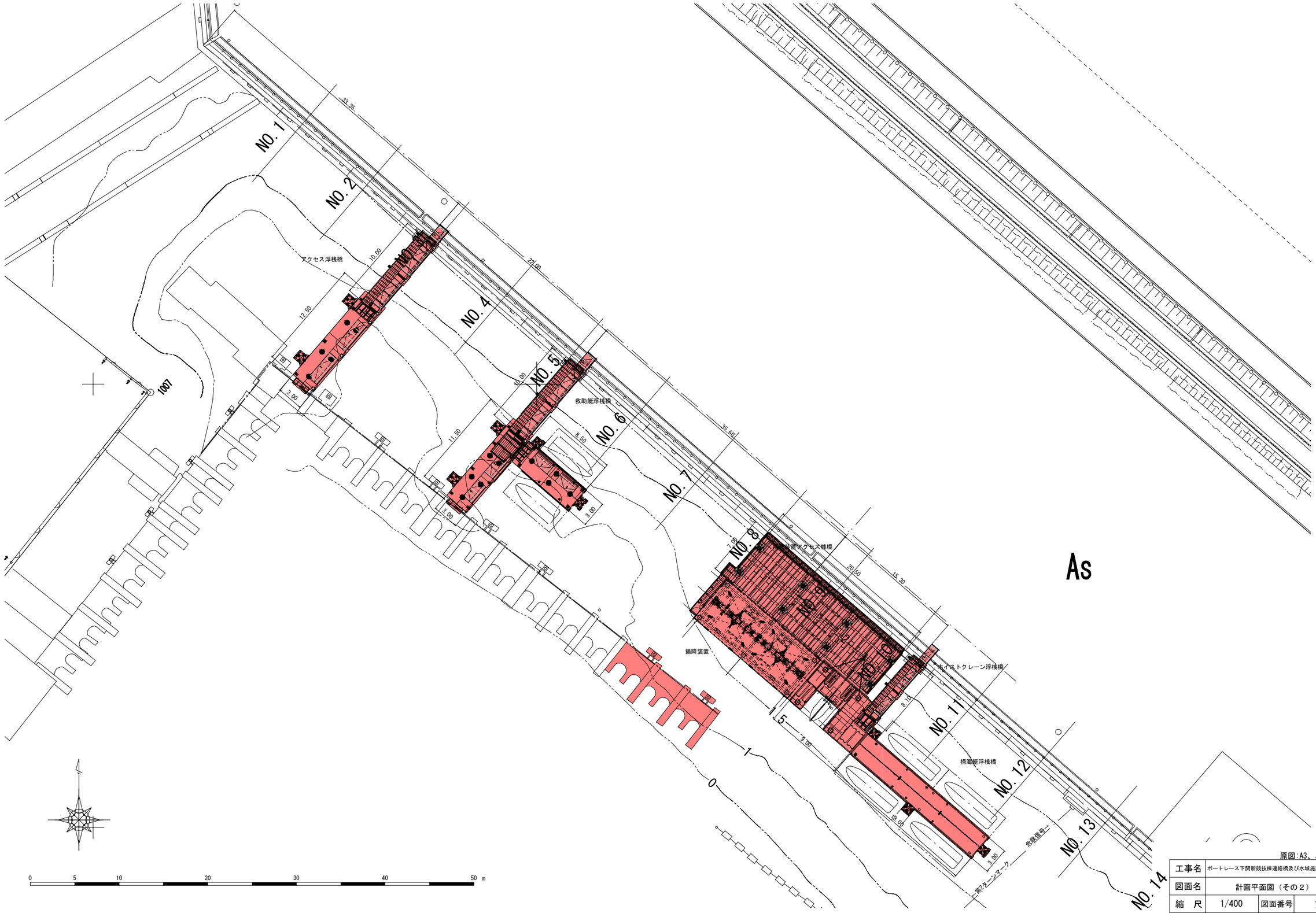
計画平面図（その１）　Ｓ＝１：１０００



原図:A3、単位：m

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事
図面名	計画平面図（その１）
縮　尺	1/1000　図面番号　77
下関市ボートレース企業局	

計画平面図（その２）　　Ｓ＝１：４００

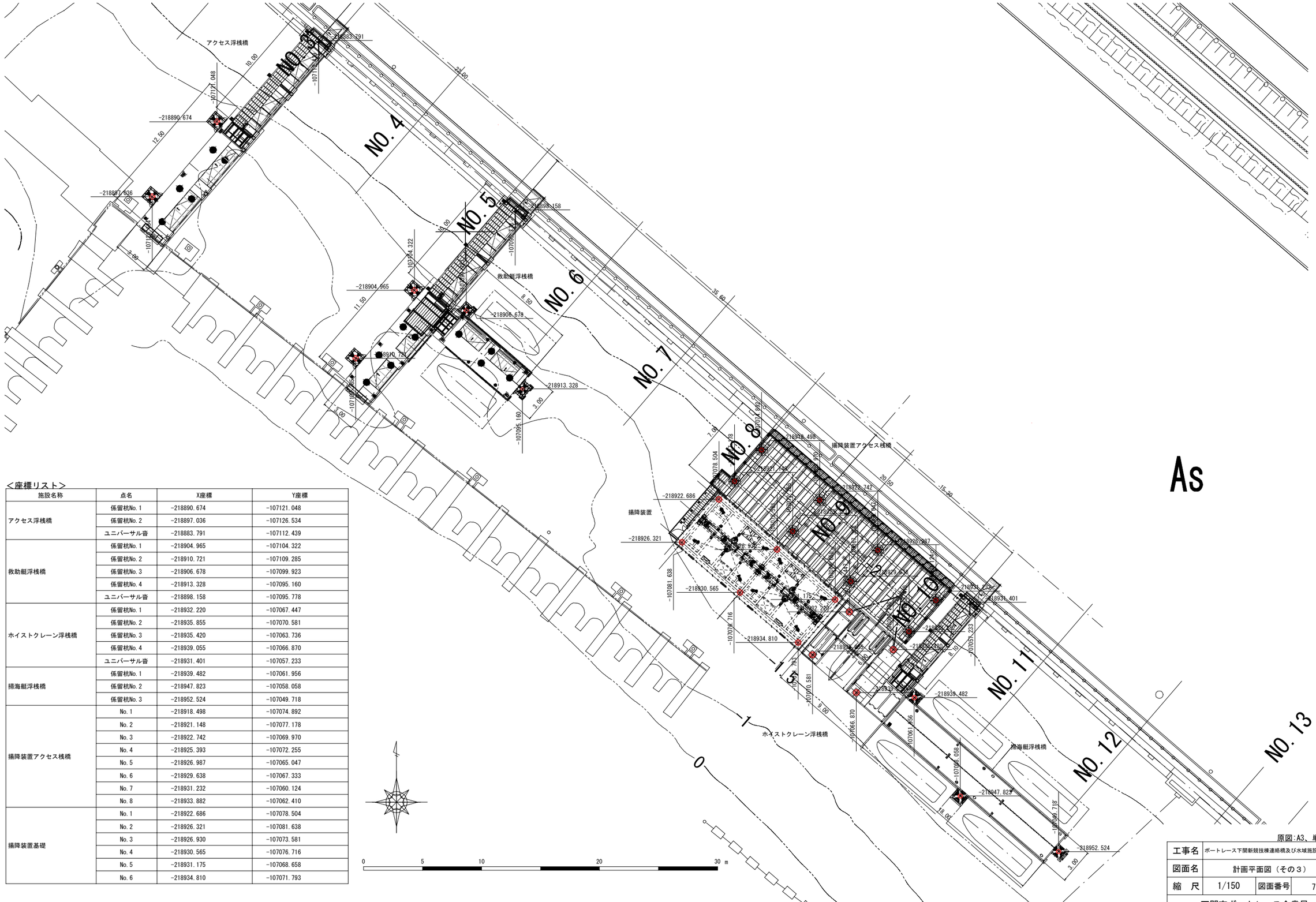


原図:A3、単位：m

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	計画平面図（その２）		
縮　尺	1/400	図面番号	78
下関市ボートレース企業局			

計画平面図（その３）　　Ｓ＝１：１５０

鋼管杭打設位置



＜座標リスト＞

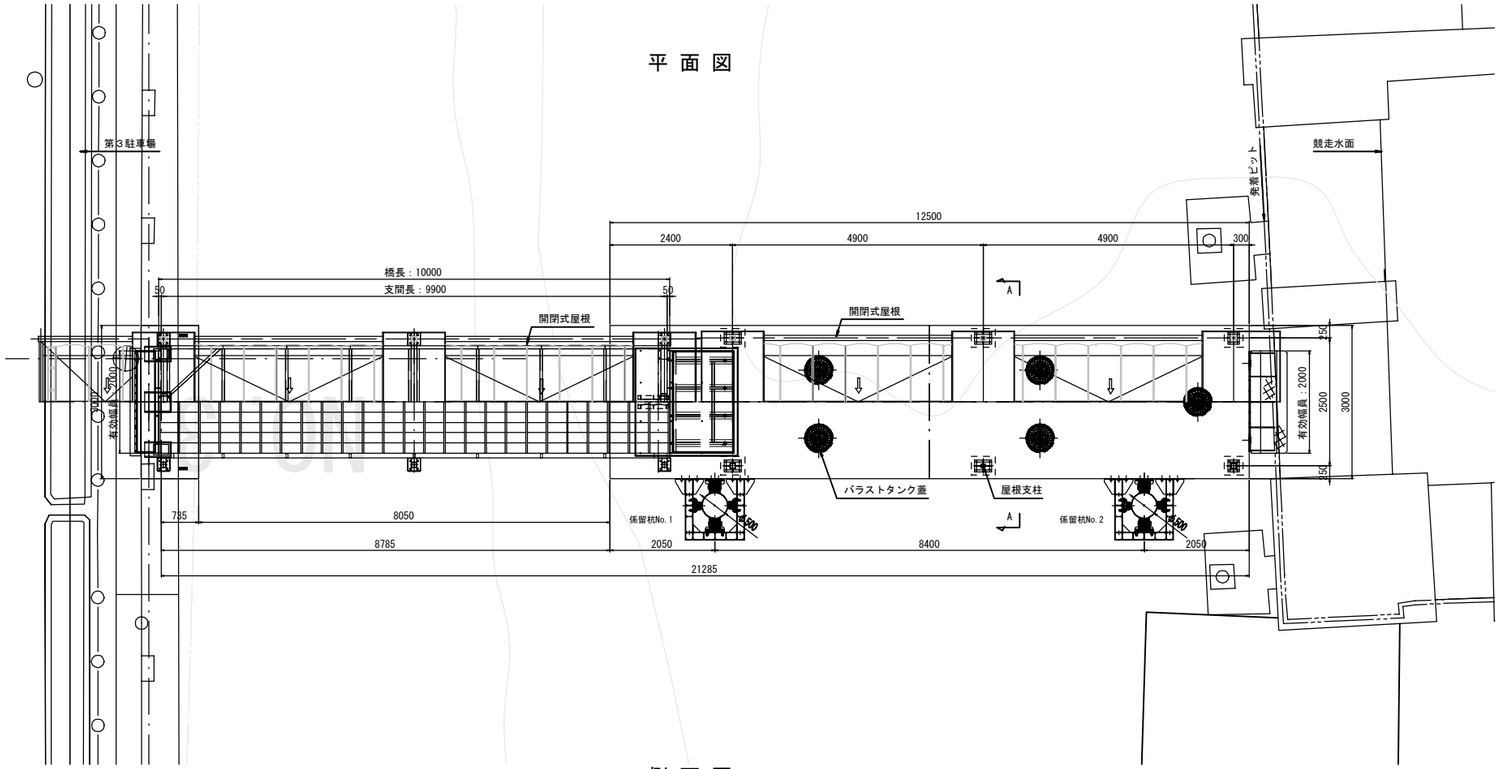
施設名称	点名	X座標	Y座標
アクセス浮桟橋	係留杭No. 1	-218890.674	-107121.048
	係留杭No. 2	-218897.036	-107126.534
	ユニバーサル沓	-218883.791	-107112.439
救助艇浮桟橋	係留杭No. 1	-218904.965	-107104.322
	係留杭No. 2	-218910.721	-107109.285
	係留杭No. 3	-218906.678	-107099.923
	係留杭No. 4	-218913.328	-107095.160
	ユニバーサル沓	-218898.158	-107095.778
ホイストクレーン浮桟橋	係留杭No. 1	-218932.220	-107067.447
	係留杭No. 2	-218935.855	-107070.581
	係留杭No. 3	-218935.420	-107063.736
	係留杭No. 4	-218939.055	-107066.870
	ユニバーサル沓	-218931.401	-107057.233
掃海艇浮桟橋	係留杭No. 1	-218939.482	-107061.956
	係留杭No. 2	-218947.823	-107058.058
	係留杭No. 3	-218952.524	-107049.718
揚降装置アクセス桟橋	No. 1	-218918.498	-107074.892
	No. 2	-218921.148	-107077.178
	No. 3	-218922.742	-107069.970
	No. 4	-218925.393	-107072.255
	No. 5	-218926.987	-107065.047
	No. 6	-218929.638	-107067.333
	No. 7	-218931.232	-107060.124
	No. 8	-218933.882	-107062.410
揚降装置基礎	No. 1	-218922.686	-107078.504
	No. 2	-218926.321	-107081.638
	No. 3	-218926.930	-107073.581
	No. 4	-218930.565	-107076.716
	No. 5	-218931.175	-107068.658
	No. 6	-218934.810	-107071.793

原図:A3、単位：m

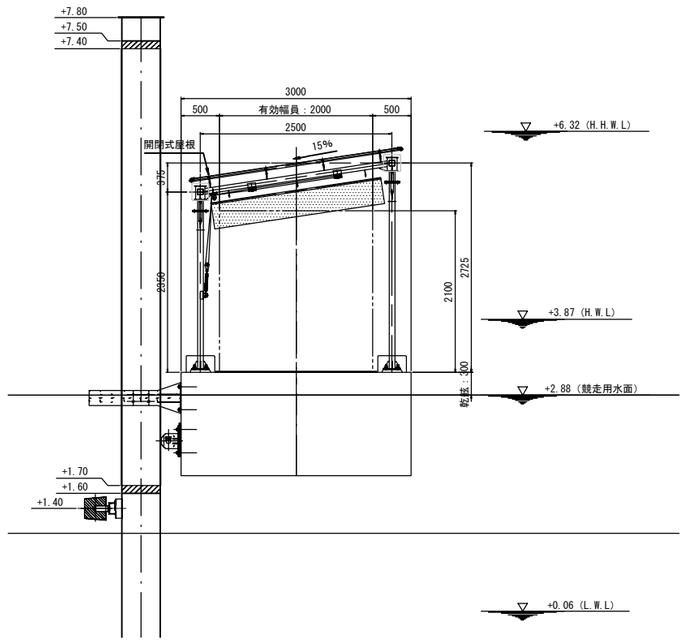
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	計画平面図（その３）		
縮　尺	1/150	図面番号	79
下関市ボートレース企業局			

浮桟橋一般図　　S＝1：30

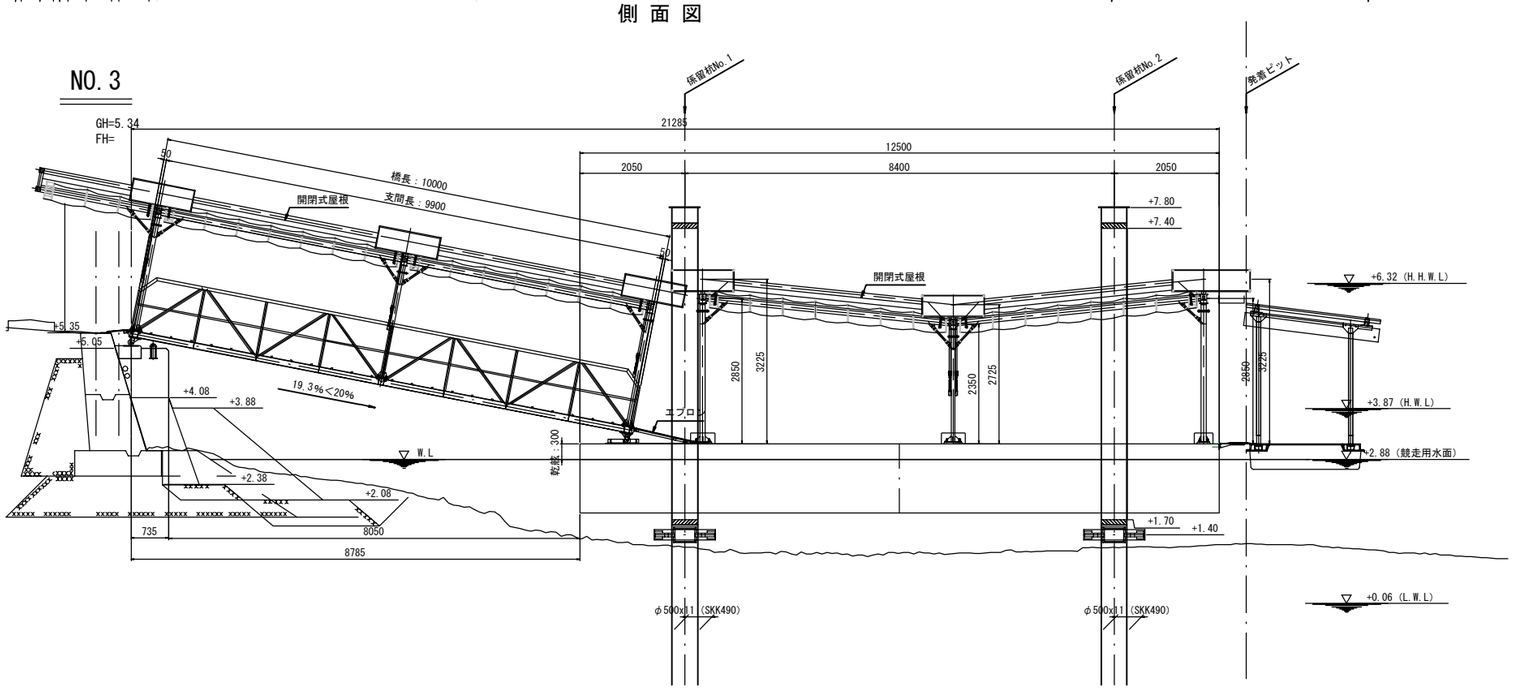
平面図



A－A　　S＝1：20



側面図



＜アクセス浮桟橋設計要目＞

形　式	RC+発砲スチロール（モノコック）
寸　法	12.5mx3.0mx1.35m
乾 舷 高	0.30m（無載荷時）
上載荷重	1.5kN／m^2
対象船舶	---
床　版	ほうき目仕上げ
防　食	係留杭　：重防食被覆+塗装（CM-A） 電気防食（流電陽極方式） 開閉式屋根：塗装（CM-A）
付属物	開閉式屋根 敷鉄板

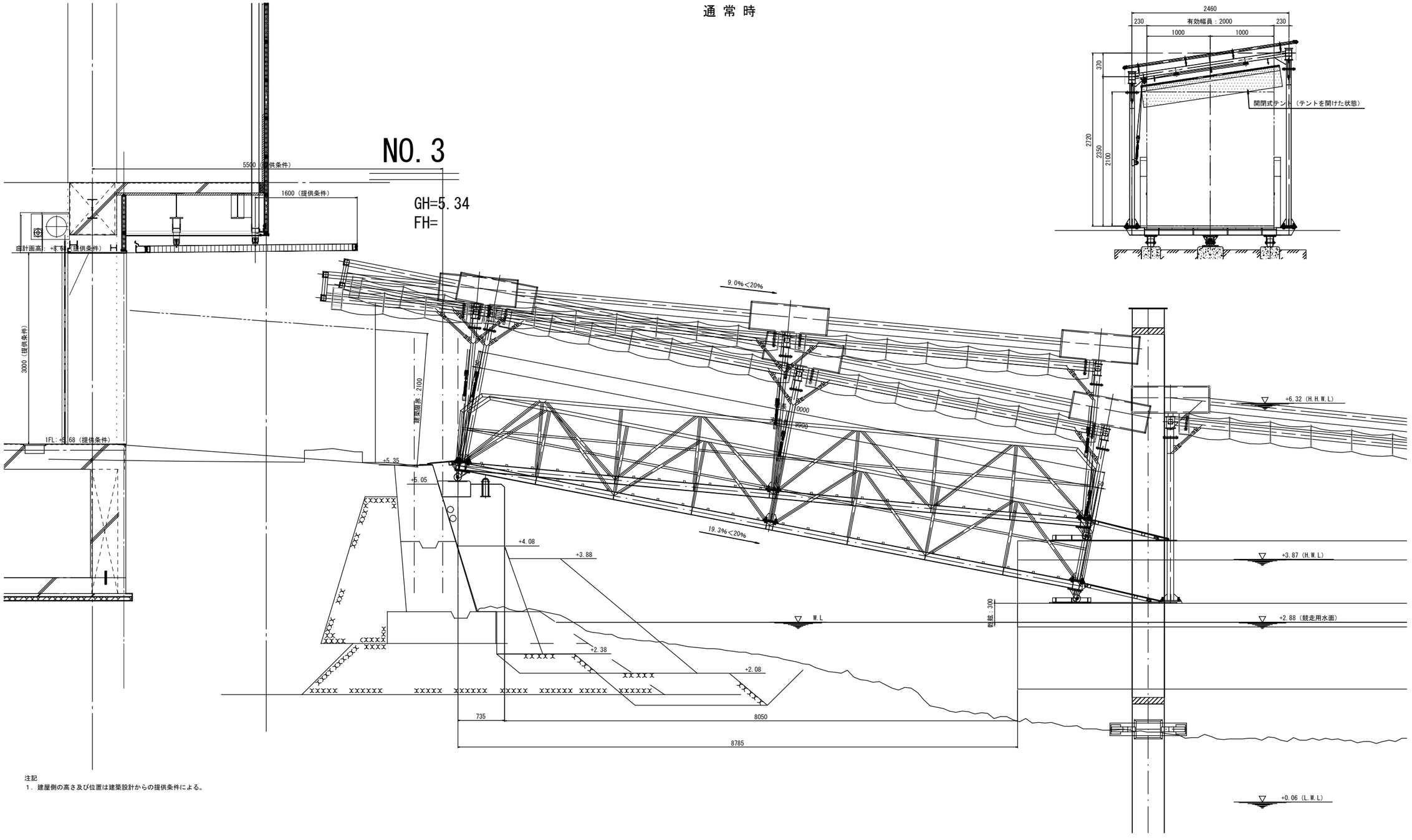
注記
1．橋台部の電線管移設工事は別途工事とする。（水域施設設計所掌外）

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮桟橋一般図		
縮　尺	1/30	図面番号	80
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その１）　　Ｓ＝１：６０

通 常 時



標準断面図　Ｓ＝１：６０

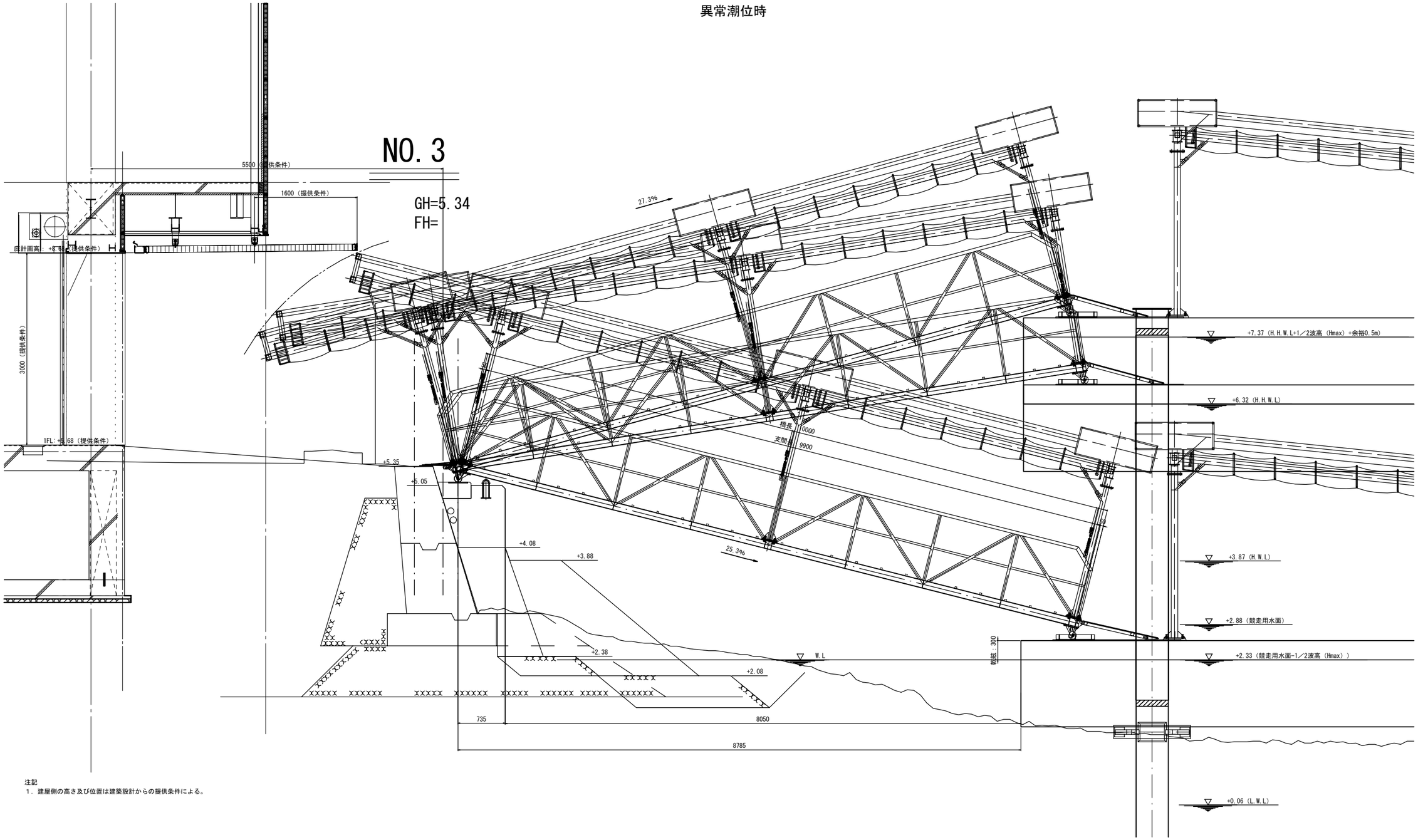
注記
１．建屋側の高さ及び位置は建築設計からの提供条件による。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その１）		
縮　尺	1/60	図面番号	81
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その２）　　Ｓ＝１：６０

異常潮位時



注記
１．建屋側の高さ及び位置は建築設計からの提供条件による。

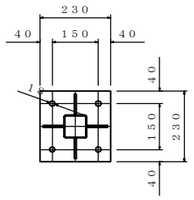
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その２）		
縮　尺	1/60	図面番号	82
下関市ボートレース企業局			

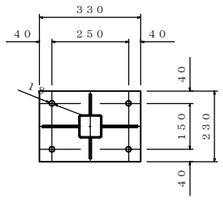
構造一般図　　S＝１：８０

屋根脚部アンカー位置詳細図　　S＝１：２０

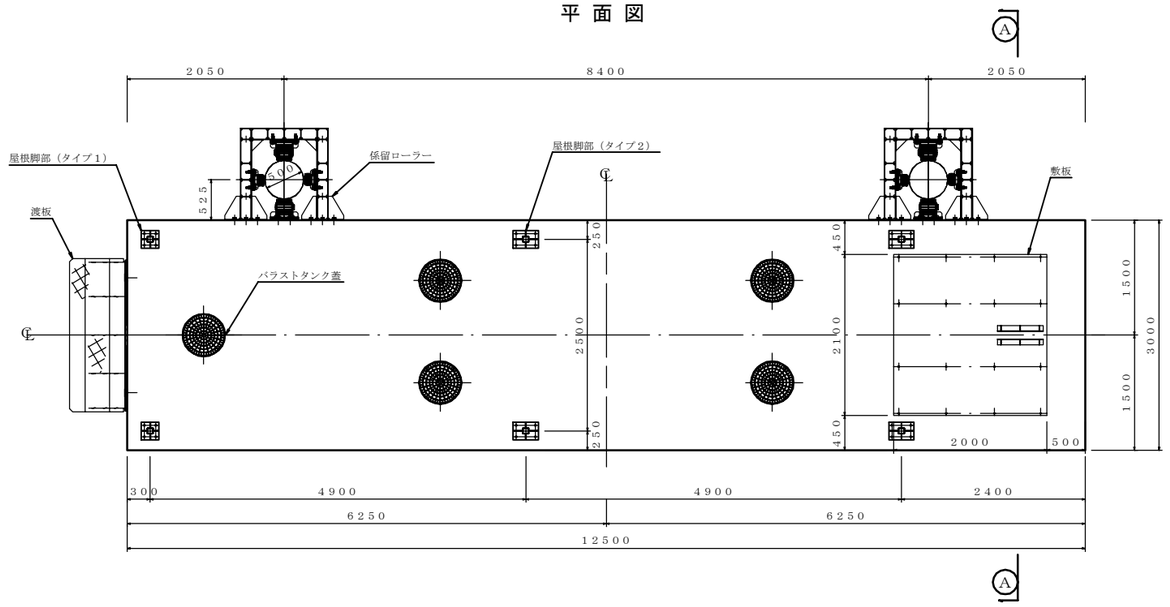
タイプ１



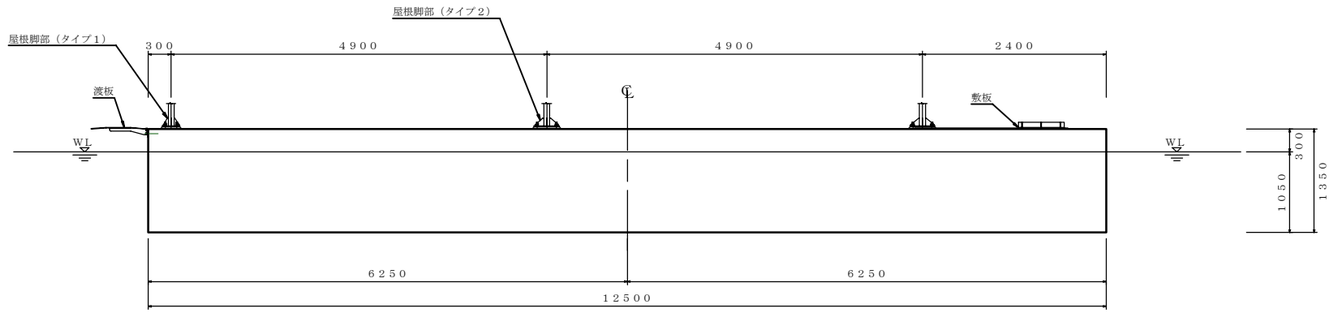
タイプ２



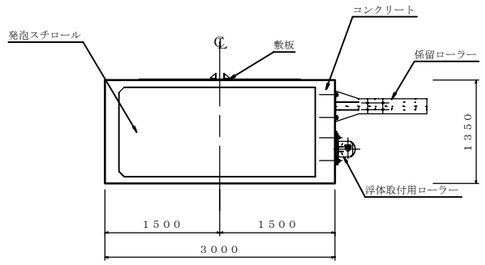
平 面 図



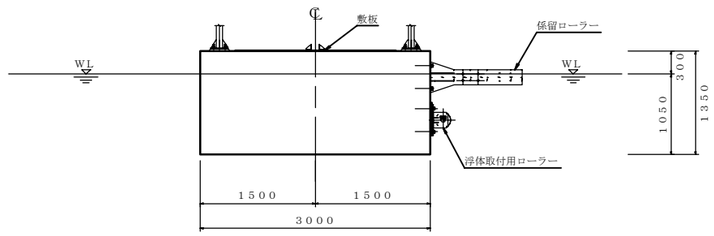
正 面 図



A-A



側 面 図



浮桟橋仕様　１２．５０＊３．００＊１．３５ｍ

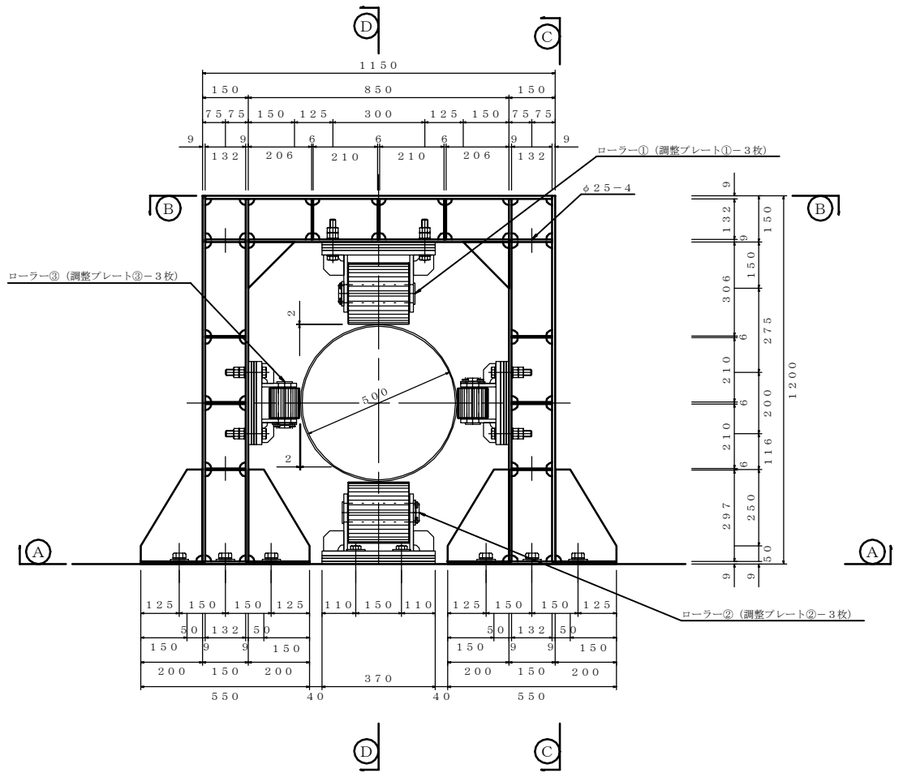
構造形式	モノコックタイプ、ＲＣ＋発泡スチロール
長さ	１２．５０ｍ
幅	３．００ｍ
高さ	１．３５ｍ
乾舷	０．３０ｍ（無載荷時）
重量	３６ｔ
コンクリート	σｃｋ＝３６Ｎ／ｍ㎡、膨張材含む
鉄筋	ＳＤ３４５
発泡スチロール	Ｄ－１２、難燃性
上載荷重	１．５ｋＮ／㎡
対象船舶	－
床版上	ほうき目仕上げ（ハケ引き）

原図:A3、単位：mm

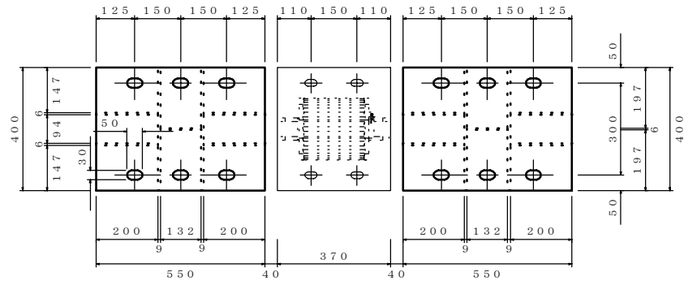
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	83
下関市ボートレース企業局			

係留ガイド詳細図　　S＝1：20

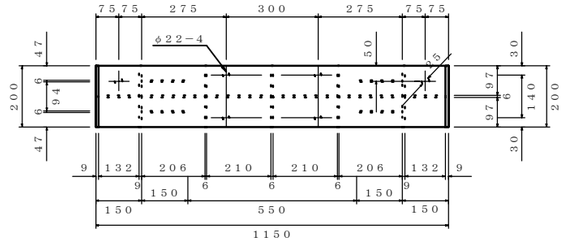
平面図



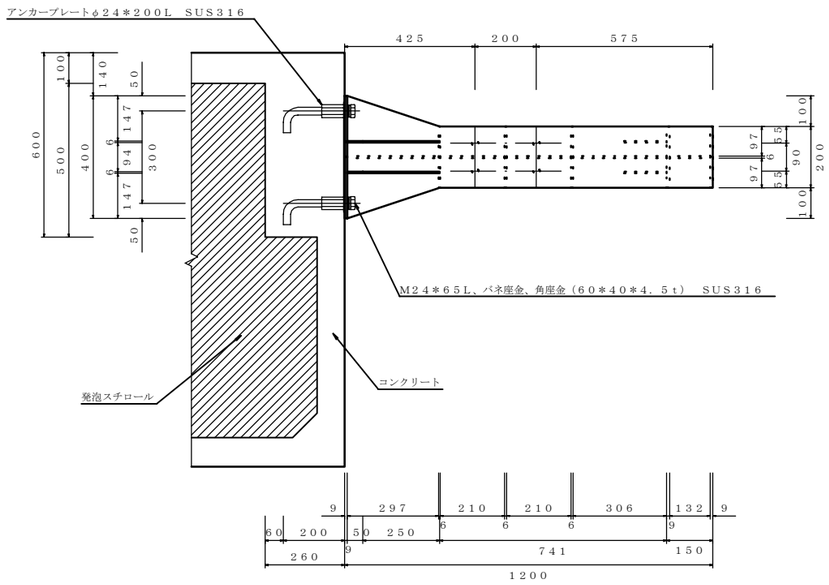
A-A



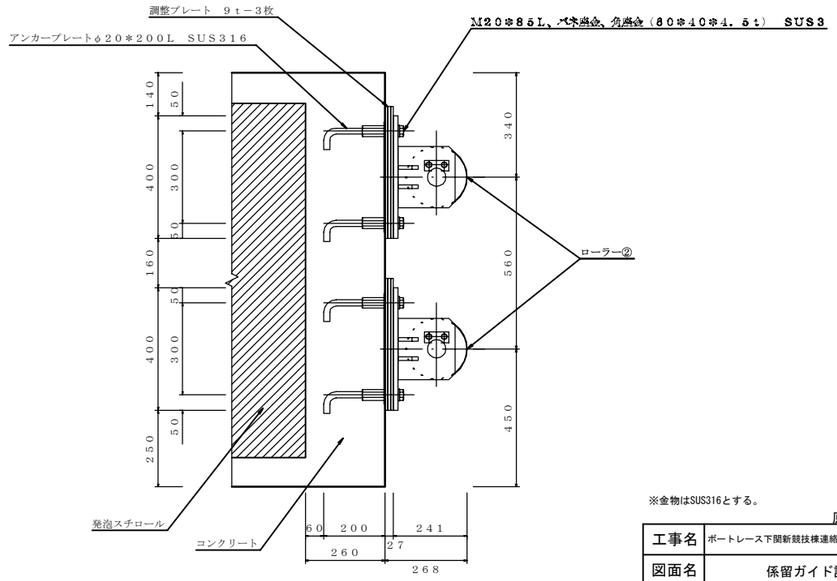
B-B



C-C



D-D



※金物はSUS316とする。

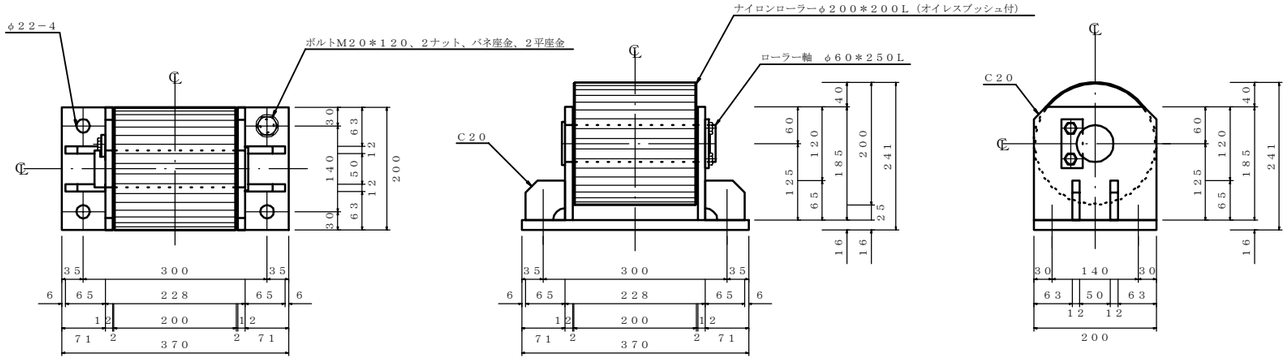
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留ガイド詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	84
下関市ボートレース企業局			

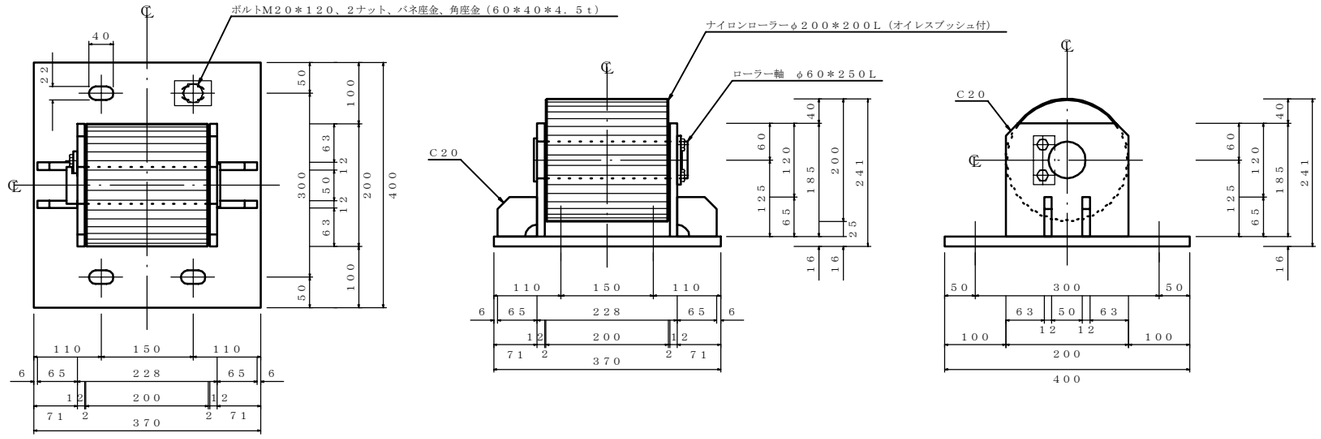
係留ローラー詳細図　　S＝1：10

ローラー詳細図

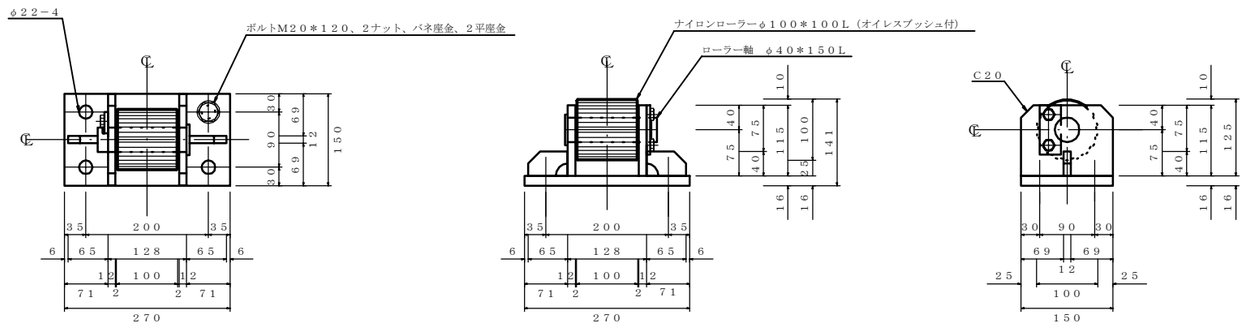
ローラー ①



ローラー ②

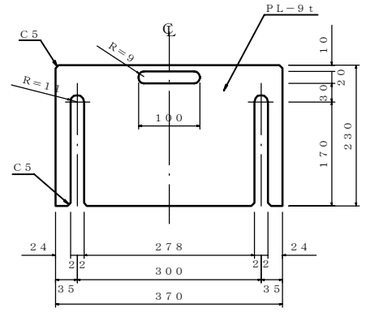


ローラー ③

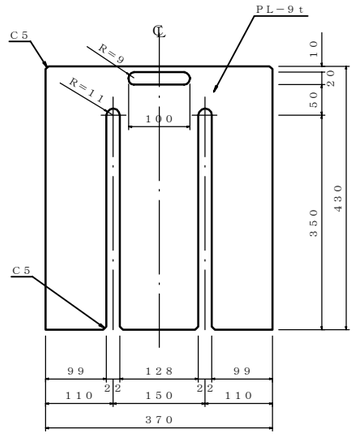


調整プレート詳細図

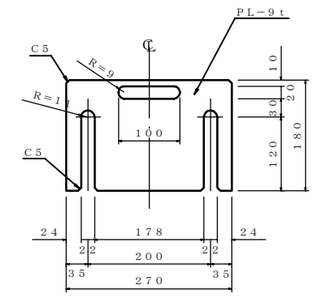
調整プレート①



調整プレート ②

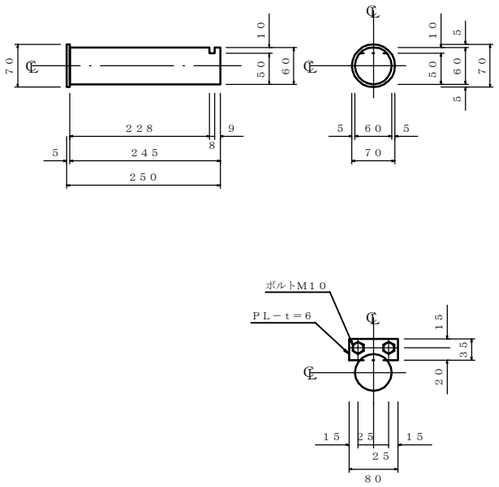


調整プレート ③

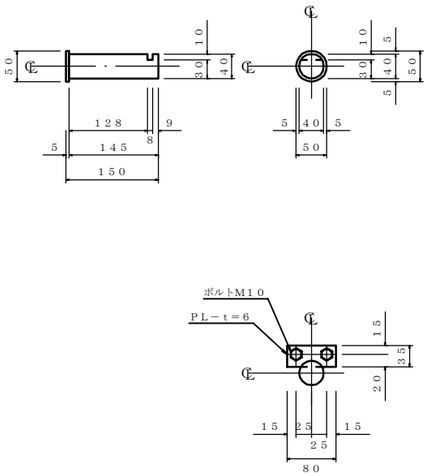


ローラー軸詳細図

φ60*250L



φ40*150L



※金物はSUS316、ローラーはMCナイロンとする。

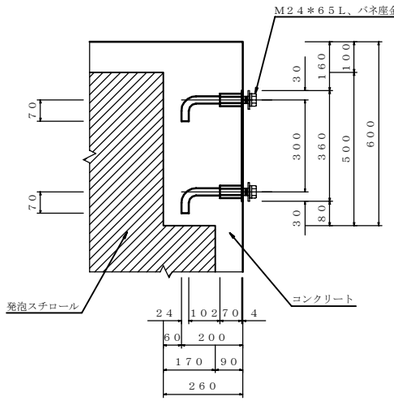
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留ローラー詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	85
下関市ボートレース企業局			

アンカー金物詳細図　　Ｓ＝１：２０

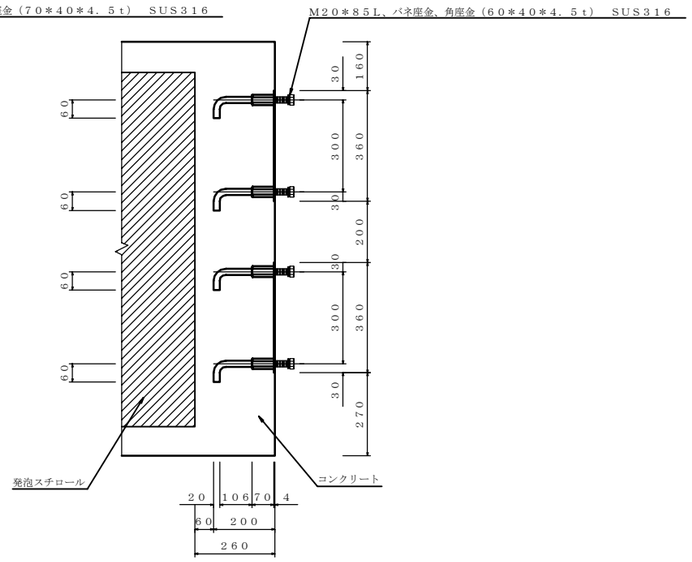
アンカープレートφ24取付詳細図

係留ローラー用

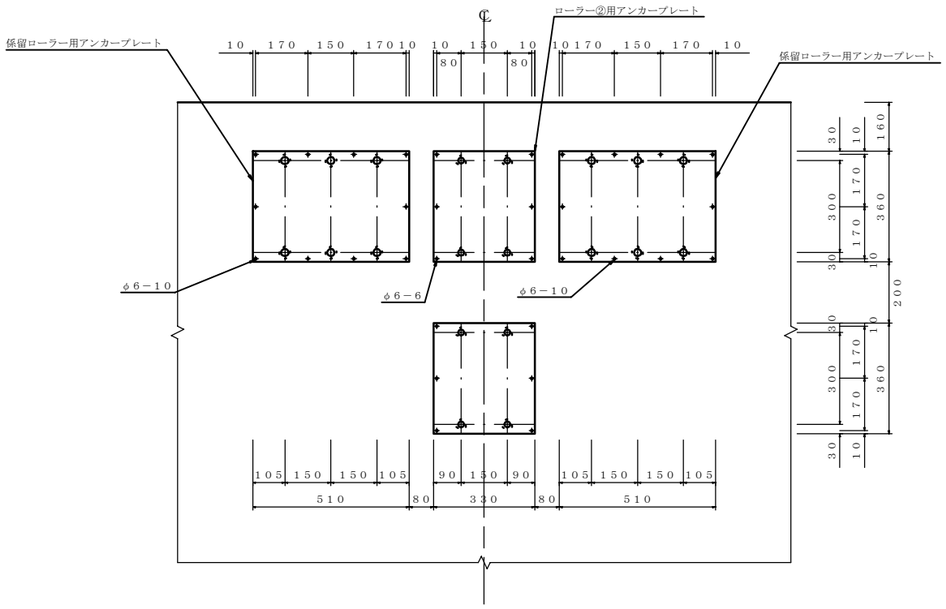


アンカープレートφ20取付詳細図

ローラー ② 用



正 面 図



※金物はSUS316とする。

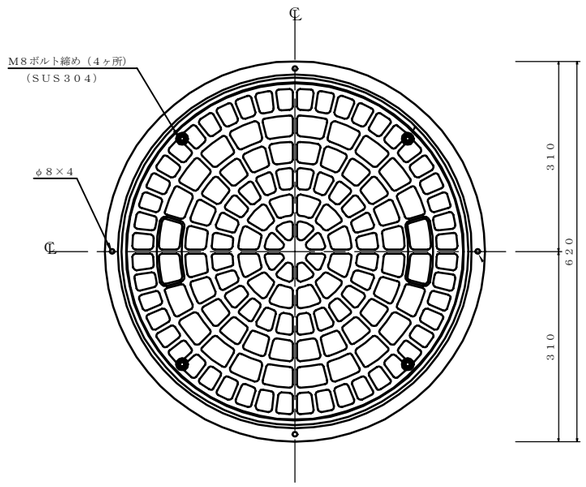
原図:A3、単位：㎜

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	アンカー金物詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	86
下関市ボートレース企業局			

バラストタンク蓋及び敷鉄板詳細図　　Ｓ＝１：１０

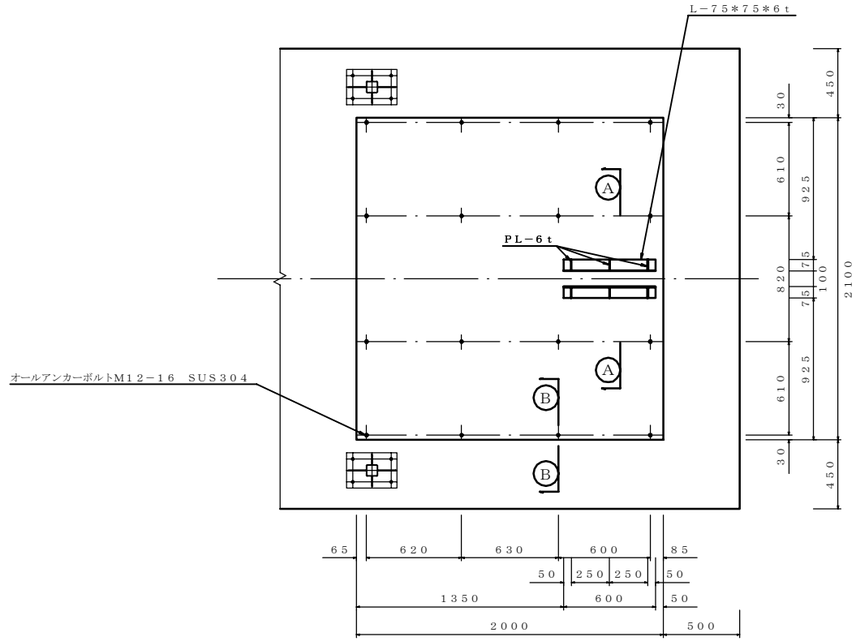
バラストタンク蓋詳細図

（FRP製）

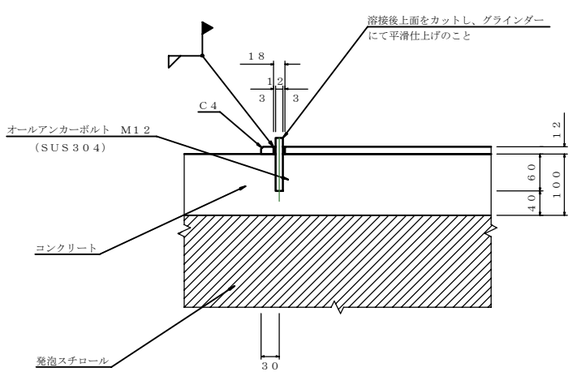


敷板取付詳細図　　Ｓ＝１：２０

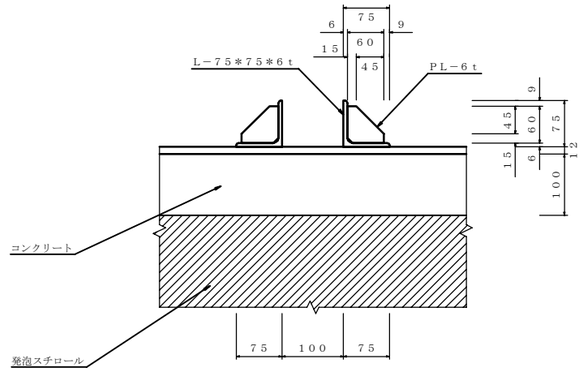
（SUS304）



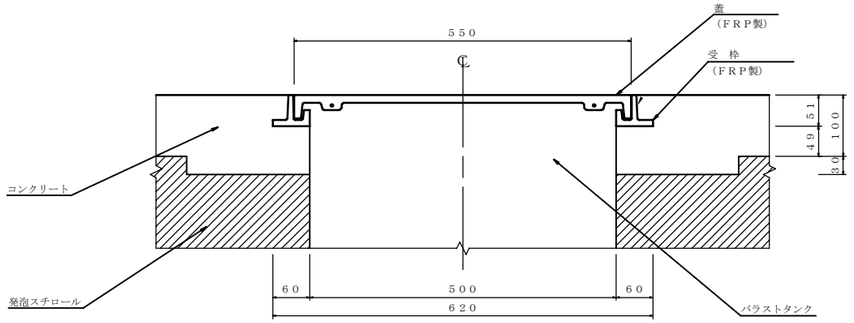
B-B



A-A



蓋（FRP製）　受　枠（FRP製）



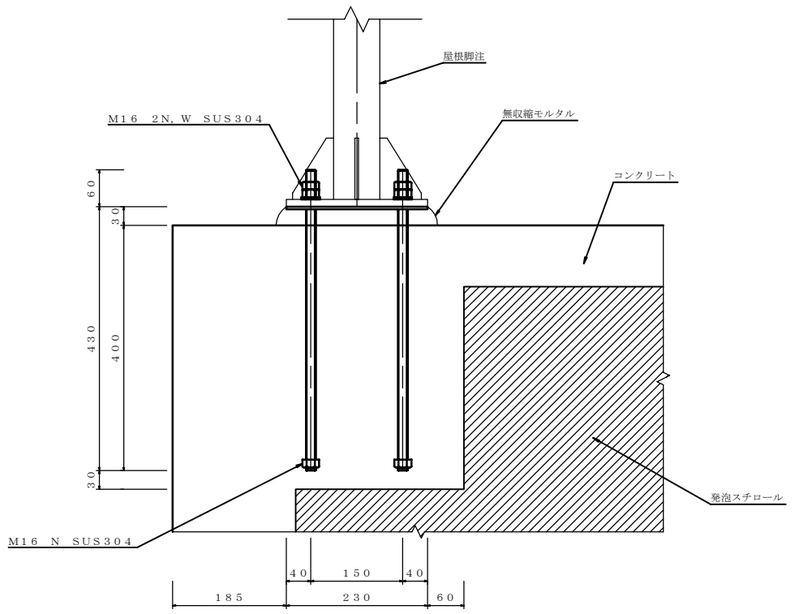
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	バラストタンク蓋及び敷鉄板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	87
下関市ボートレース企業局			

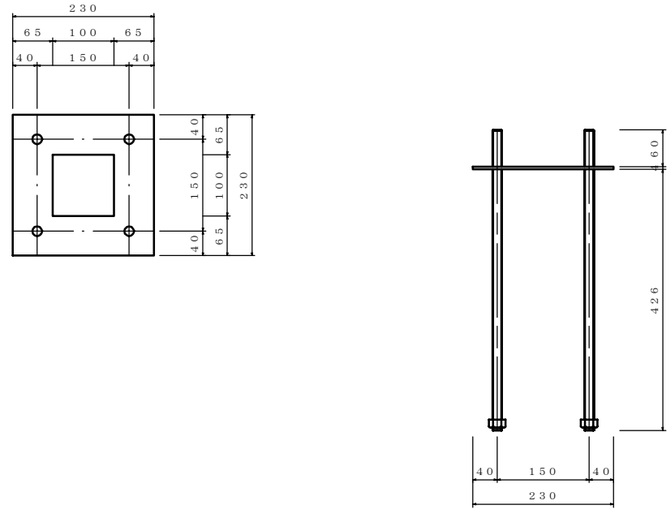
屋根支柱基部詳細図　　S＝1：10

屋根柱用アンカープレート取付図

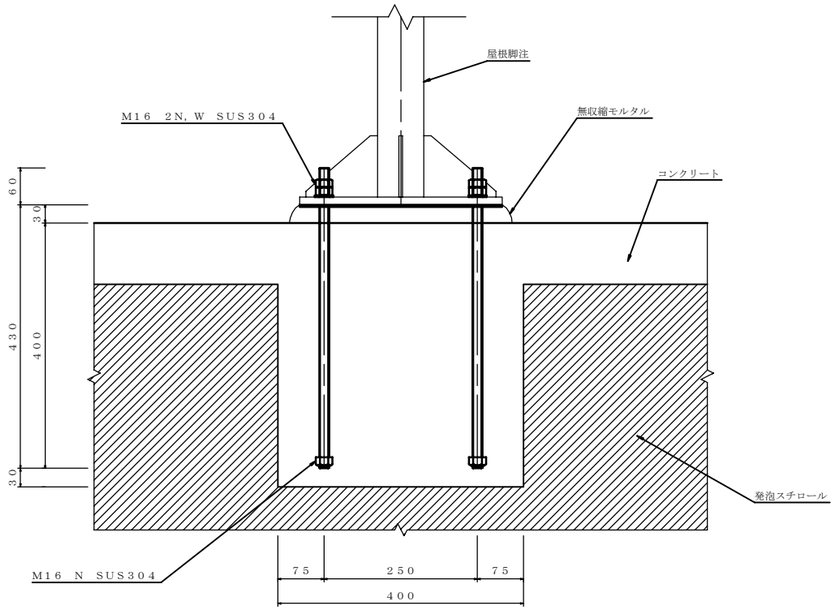
タイプ1



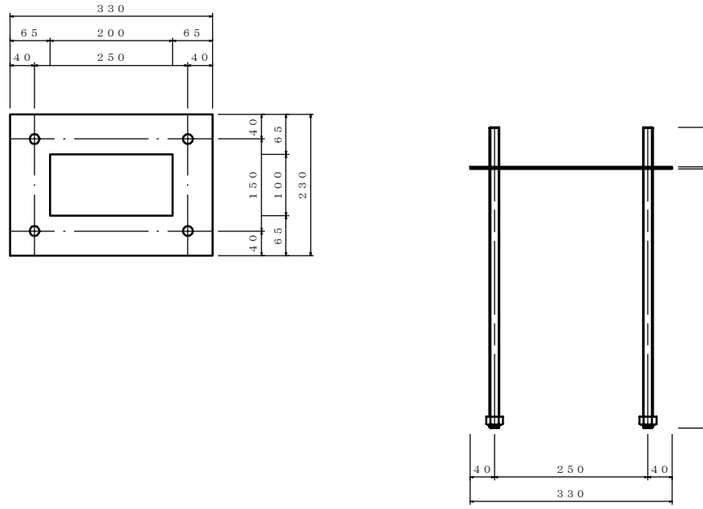
タイプ1
（SUS304）



タイプ2



タイプ2
（SUS304）

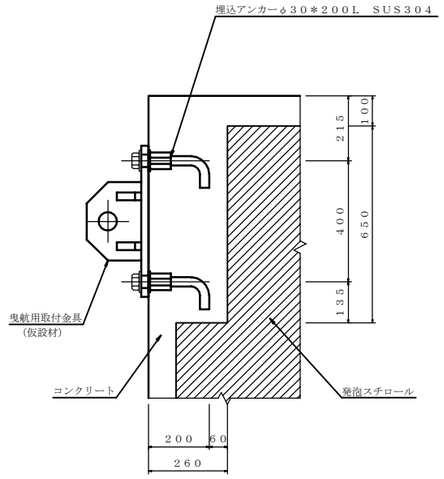


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	屋根支柱基部詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	88
下関市ボートレース企業局			

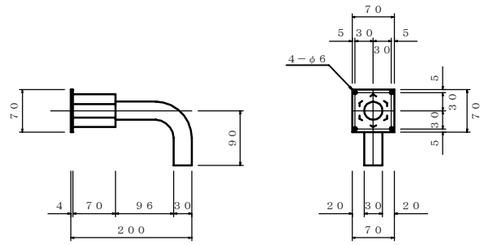
進水用金物詳細図　　S＝1：10

進水用取付金具取付図　　S＝1：20

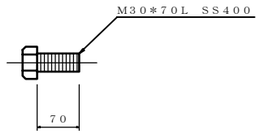


埋込アンカーφ30詳細図（進水用）

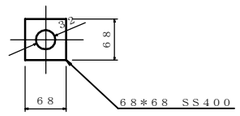
（SUS304）

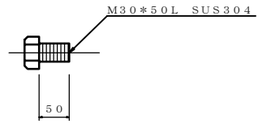


ボルト、角座金（M30）



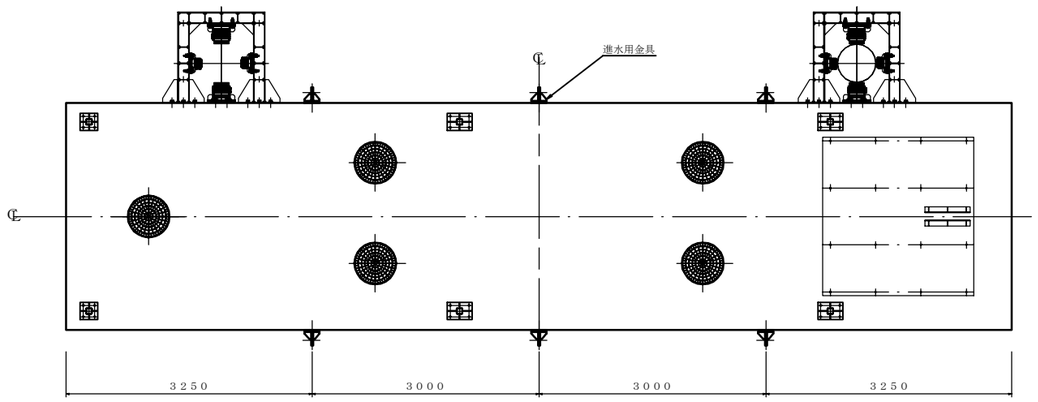
キャップ用ボルト（M30）





付属品配置図　　S＝1：80

進水用金具

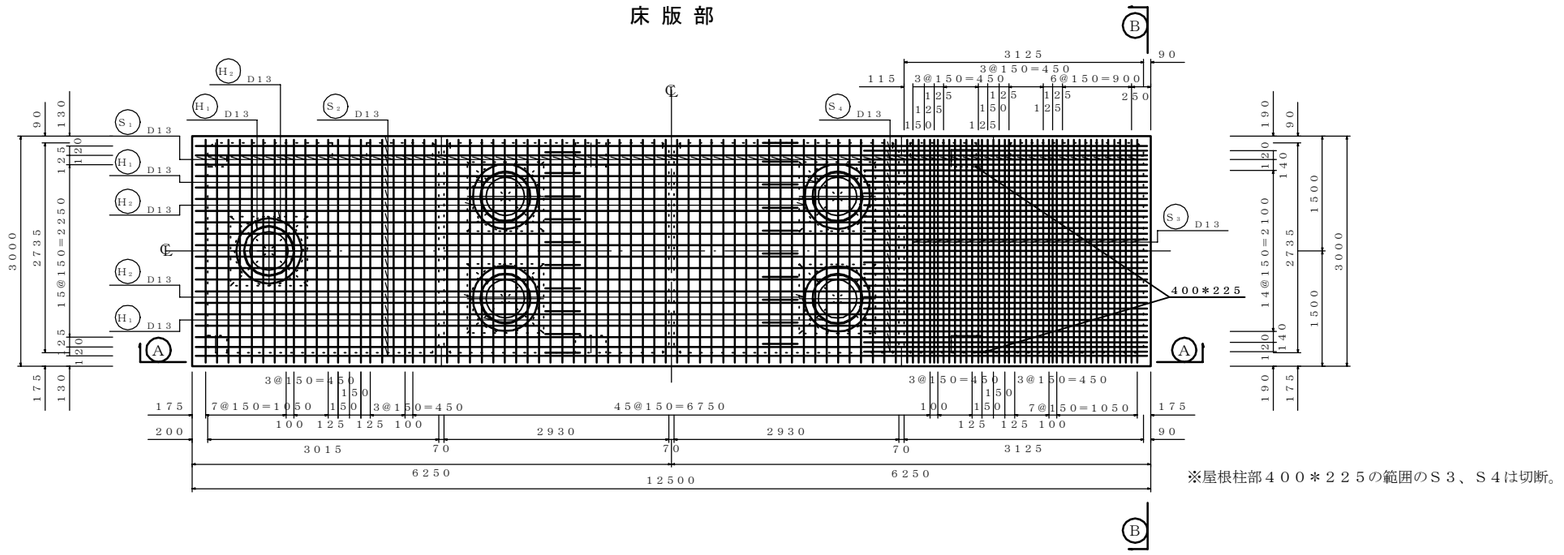


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	進水用金物詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	89
下関市ボートレース企業局			

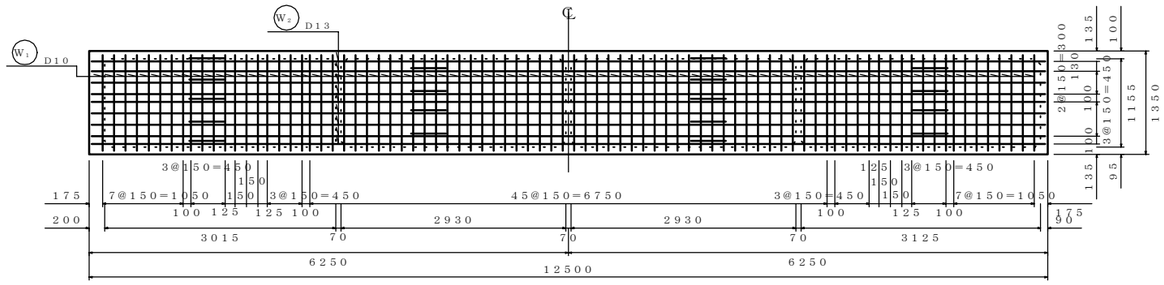
配筋図（その１）　Ｓ＝１：８０

床 版 部

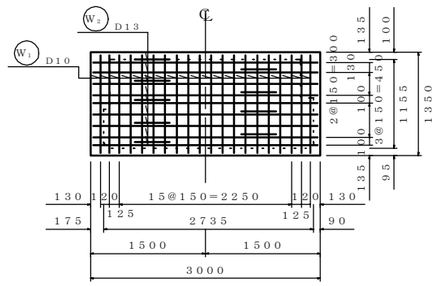


※屋根柱部４００＊２２５の範囲のＳ３、Ｓ４は切断。

A-A



B-B

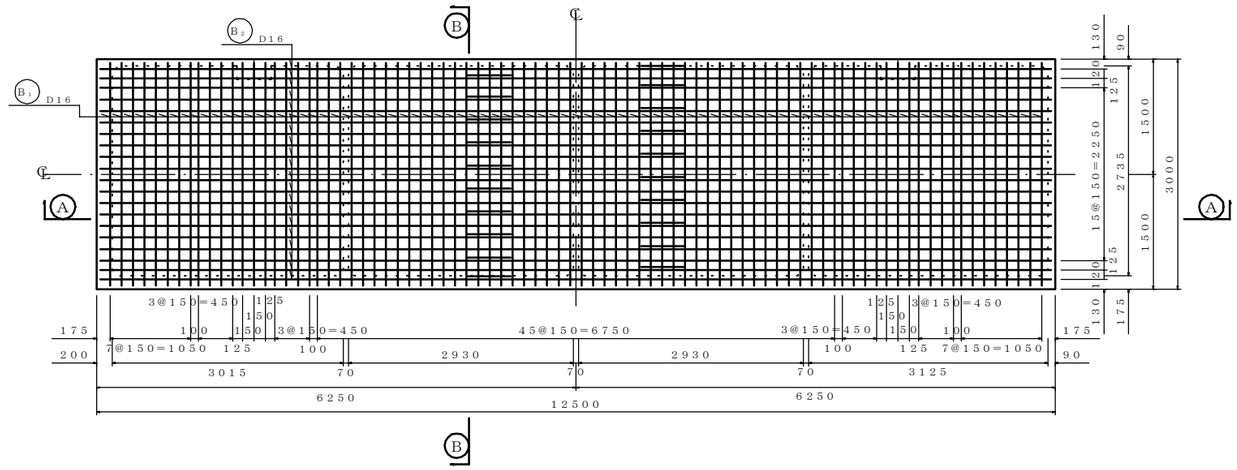


原図:A3、単位：㎜

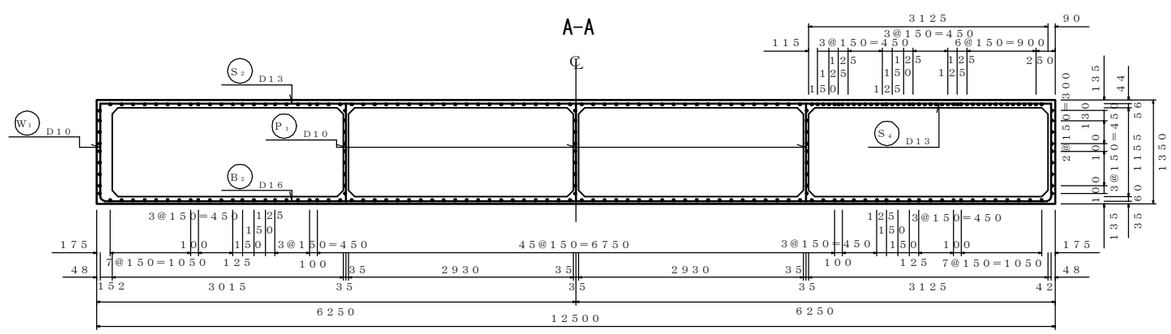
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋図（その１）		
縮　尺	1/80	図面番号	90
下関市ボートレース企業局			

配筋図（その２）　S＝１：８０

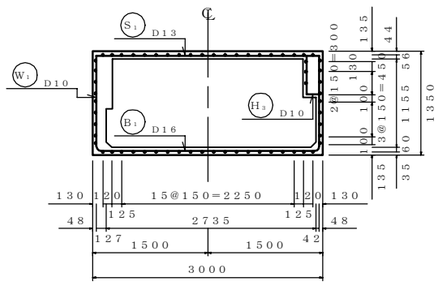
底版部



A-A



B-B

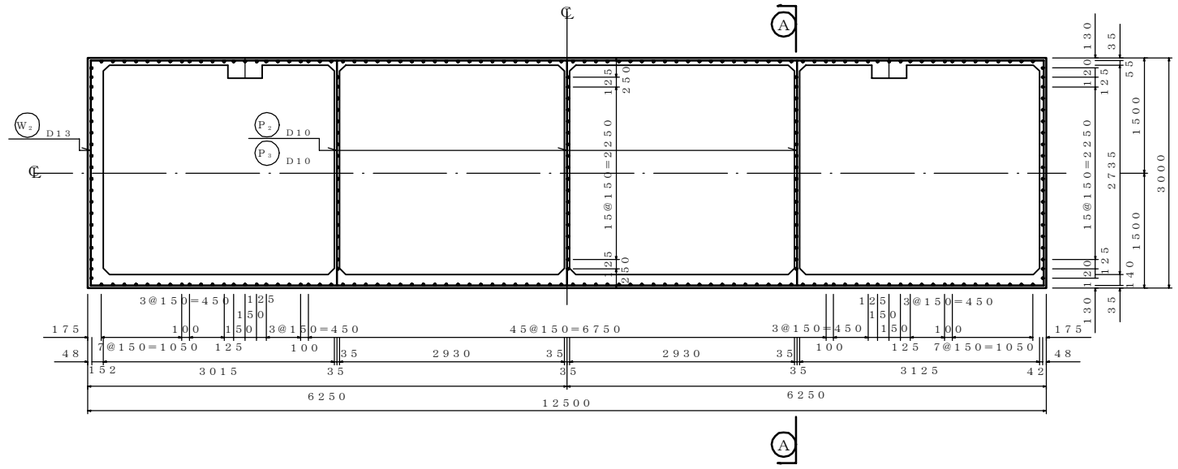


原図:A3、単位：mm

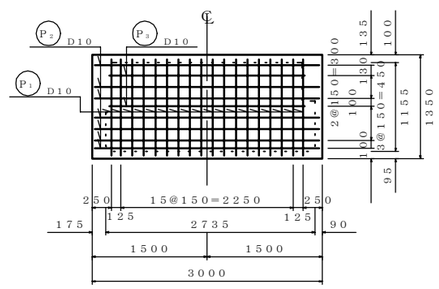
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋図（その２）		
縮　尺	1/80	図面番号	91
下関市ボートレース企業局			

配筋図（その３）　　S＝１：８０

隔壁部



A-A

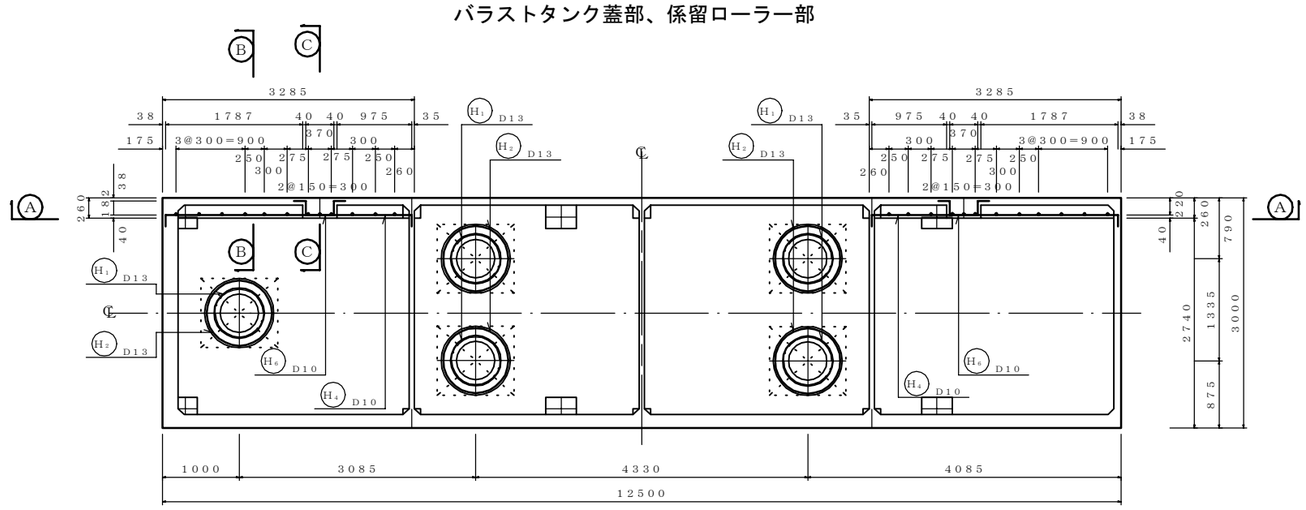


原図:A3、単位：mm

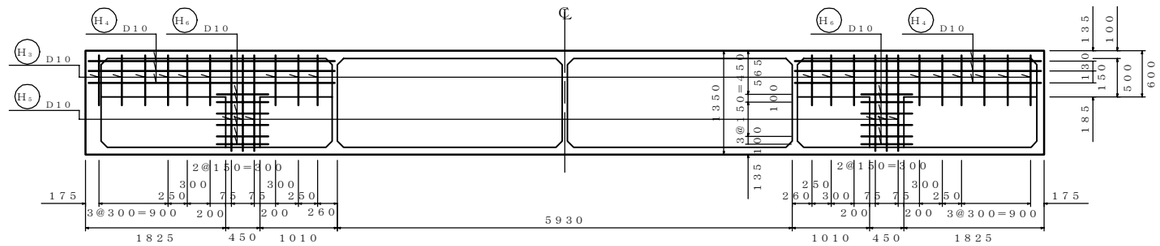
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋図（その３）		
縮　尺	1/80	図面番号	92
下関市ボートレース企業局			

配筋図（その４）　　S＝１：８０

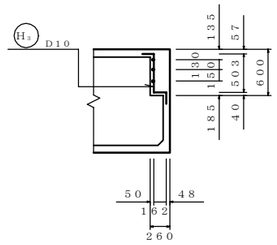
バラストタンク蓋部、係留ローラー部



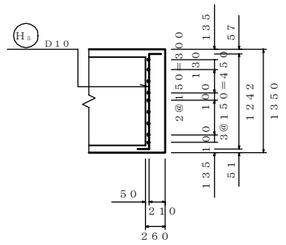
A-A



B-B



C-C

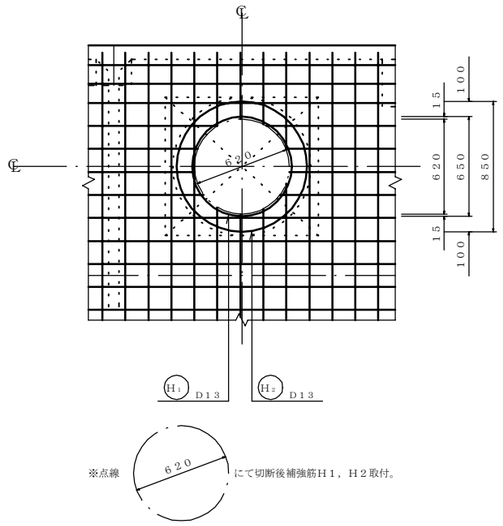


原図:A3、単位：㎜

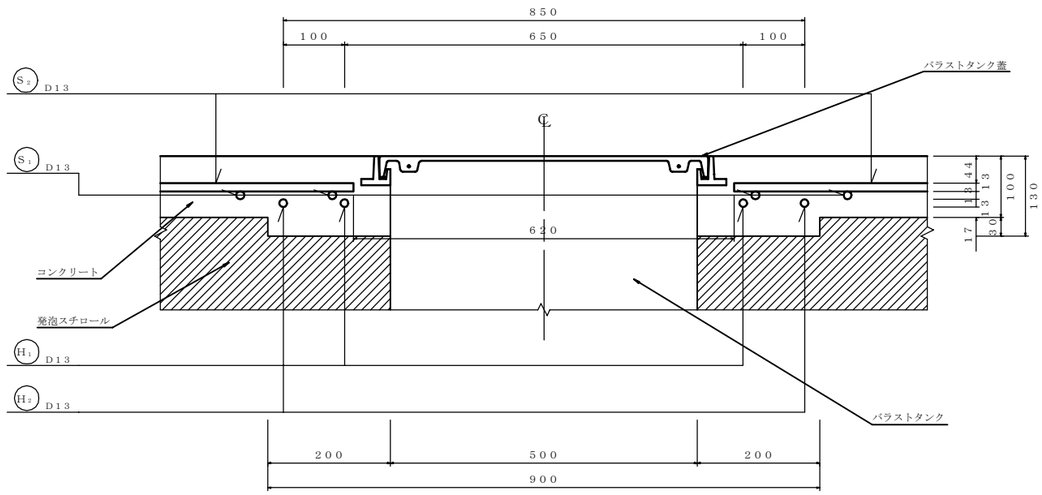
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋図（その４）		
縮　尺	1/80	図面番号	93
下関市ボートレース企業局			

配筋図（その５）

バラストタンク蓋部　　S＝１：４０



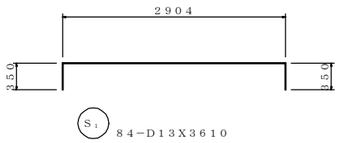
断 面 図　S＝１：１０



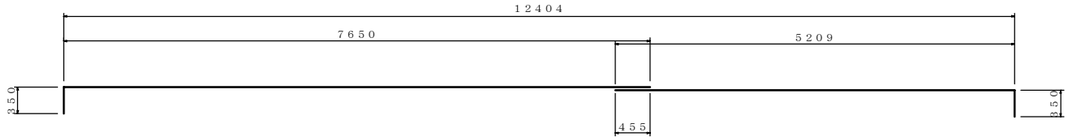
原図:A3、単位：㎜

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	配筋図（その５）		
縮　尺	図示	図面番号	94
下関市ボートレース企業局			

鉄筋加工図（その１）　　Ｓ＝１：８０



S1　84−D13X3610



S2-1　20−D13X8000　　S2-2　20−D13X5560

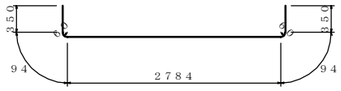
※交互配筋とする。



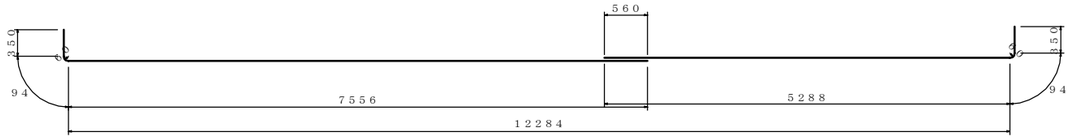
S3　21−D13X2910



S4　19−D13X3740

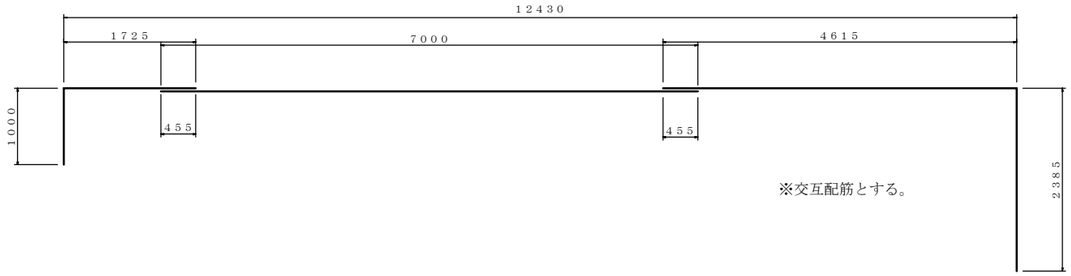


B1　84−D16X3680



B2-1　20−D16X8000　　B2-2　20−D16X5740

※交互配筋とする。

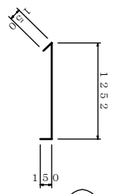


※交互配筋とする。

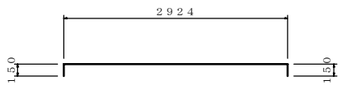


W1　208−D10X1200

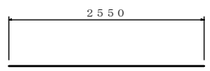
W2-1　18−D13X2730　　W2-2　18−D13X7000　　W2-3　18−D13X7000



P1　54−D10X1560



P2　21−D10X3230



P3　6−D10X2550

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	鉄筋加工図（その１）		
縮　尺	1/80	図面番号	95
下関市ボートレース企業局			

鉄筋加工図（その２）　Ｓ＝１：８０



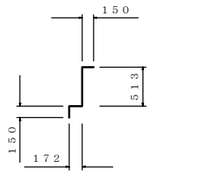
２０４２

Ｈ１　５−Ｄ１３Ｘ２０５０

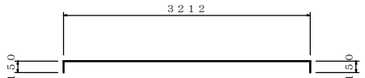


２６７０

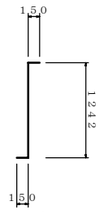
Ｈ２　５−Ｄ１３Ｘ２６７０



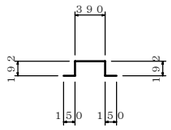
Ｈ３　１８−Ｄ１０Ｘ９９０



Ｈ４　６−Ｄ１０Ｘ３５２０



Ｈ５　６−Ｄ１０Ｘ１５５０



Ｈ６　１２−Ｄ１０Ｘ１０８０

鉄筋重量表

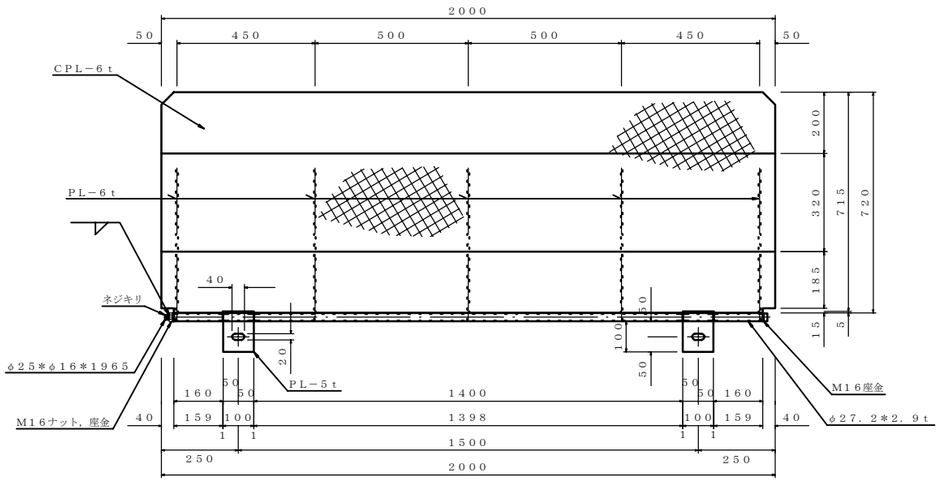
種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (ｋｇ／m)	１本当り重量 (ｋｇ)	重量 (ｋｇ)	摘要
Ｗ１	Ｄ１０	１２００	２０８	０．５６０	０．６７２	１３９．７７６	
Ｗ２−１	Ｄ１３	２７３０	１８	０．９９５	２．７１６	４８．８８８	
Ｗ２−２	〃	７０００	１８	〃	６．９６５	１２５．３７０	
Ｗ２−３	〃	７０００	１８	〃	６．９６５	１２５．３７０	
Ｓ１	Ｄ１３	３６１０	８４	０．９９５	３．５９２	３０１．７２８	
Ｓ２−１	〃	８０００	２０	〃	７．９６０	１５９．２００	
Ｓ２−２	〃	５５６０	２０	〃	５．５３２	１１０．６４０	
Ｓ３	〃	２９１０	２１	〃	２．８９５	６０．７９５	
Ｓ４	〃	３７４０	１９	〃	３．７２１	７０．６９９	
Ｐ１	Ｄ１０	１５６０	５４	０．５６０	０．８７４	４７．１９６	
Ｐ２	〃	３２３０	２１	〃	１．８０９	３７．９８９	
Ｐ３	〃	２５５０	６	〃	１．４２８	８．５６８	
Ｂ１	Ｄ１６	３６８０	８４	１．５６	５．７４１	４８２．２４４	
Ｂ２−１	〃	８０００	２０	〃	１２．４８０	２４９．６００	
Ｂ２−２	〃	５７４０	２０	〃	８．９５４	１７９．０８０	
Ｈ１	Ｄ１３	２０５０	５	０．９９５	２．０４０	１０．２００	
Ｈ２	〃	２６７０	５	〃	２．６５７	１３．２８５	
Ｈ３	Ｄ１０	９９０	１８	０．５６０	０．５５４	９．９７２	
Ｈ４	〃	３５２０	６	〃	１．９７１	１１．８２６	
Ｈ５	〃	１５５０	６	〃	０．８６８	５．２０８	
Ｈ６	〃	１０８０	１２	〃	０．６０５	７．２６０	
				エポキシ樹脂塗装　ＳＤ３４５	Ｄ１０	２６７．７９５ｋｇ	
				エポキシ樹脂塗装　ＳＤ３４５	Ｄ１３	１０２６．１７５ｋｇ	
				エポキシ樹脂塗装　ＳＤ３４５	Ｄ１６	９１０．９２４ｋｇ	
					合計	２２０４．８９４ｋｇ	

原図:A3、単位：mm

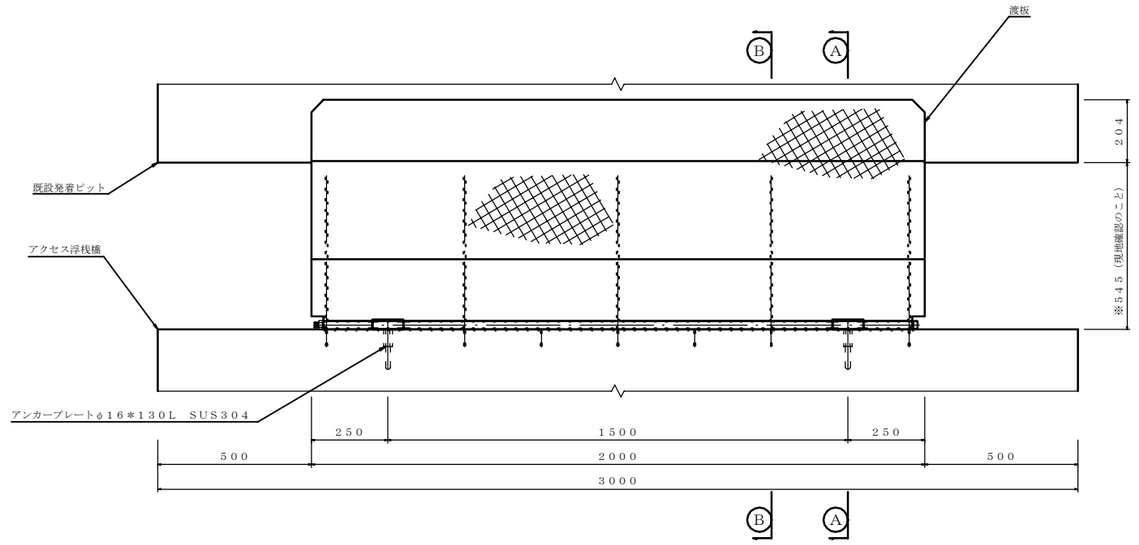
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	鉄筋加工図（その２）		
縮　尺	1/80	図面番号	96
下関市ボートレース企業局			

渡板詳細図

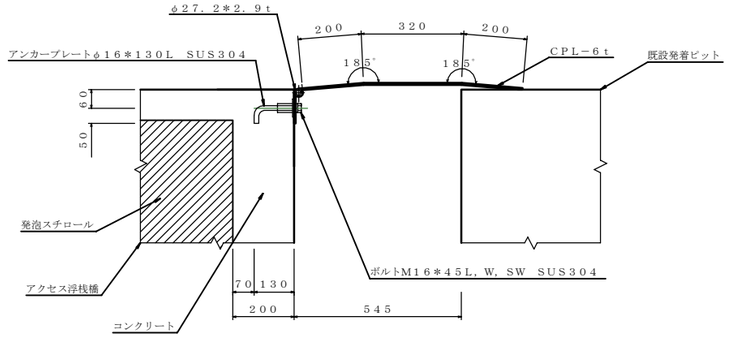
渡板詳細　S＝1：20



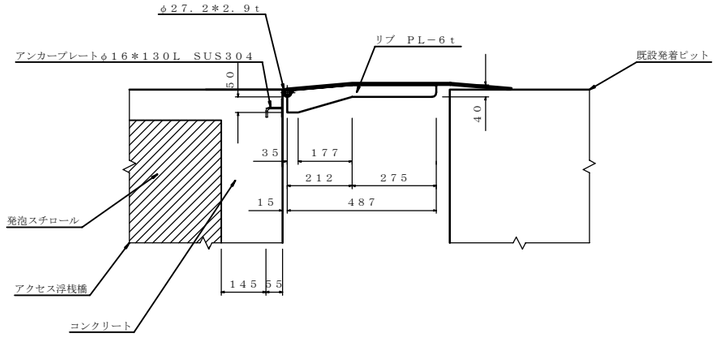
渡板取付図　S＝1：20



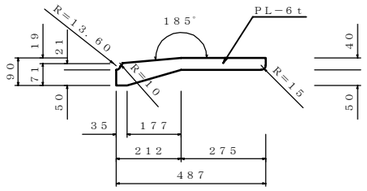
A-A



B-B

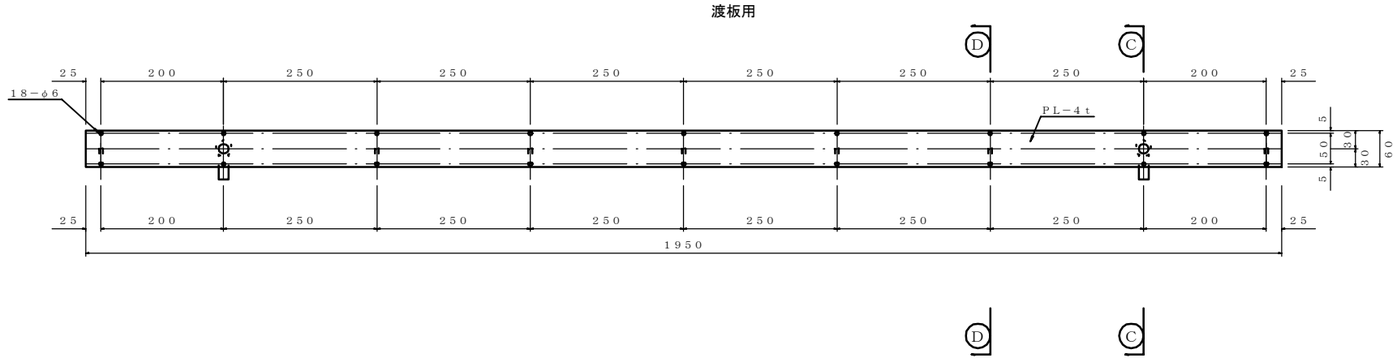


リブ詳細図

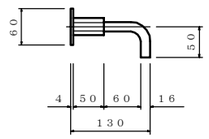


アンカープレートφ16詳細図　S＝1：10

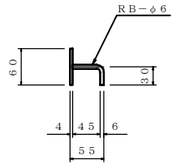
渡板用



C-C



D-D

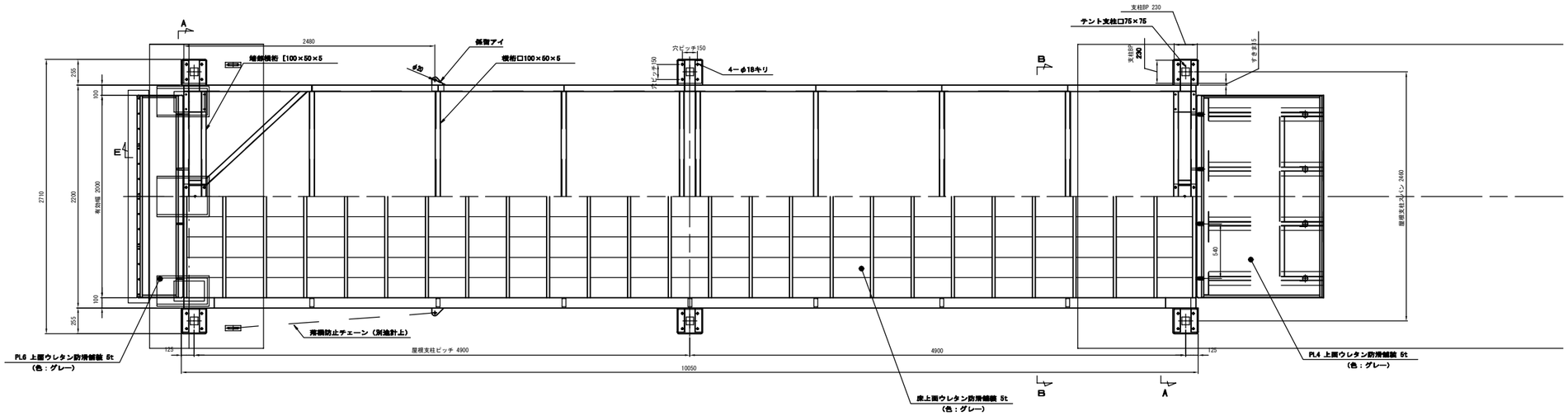


原図:A3、単位：mm

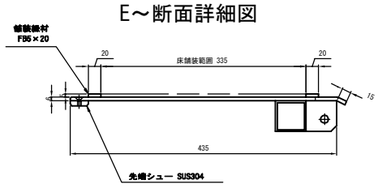
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	渡板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	97
下関市ボートレース企業局			

連絡橋一般図　　S＝1：50

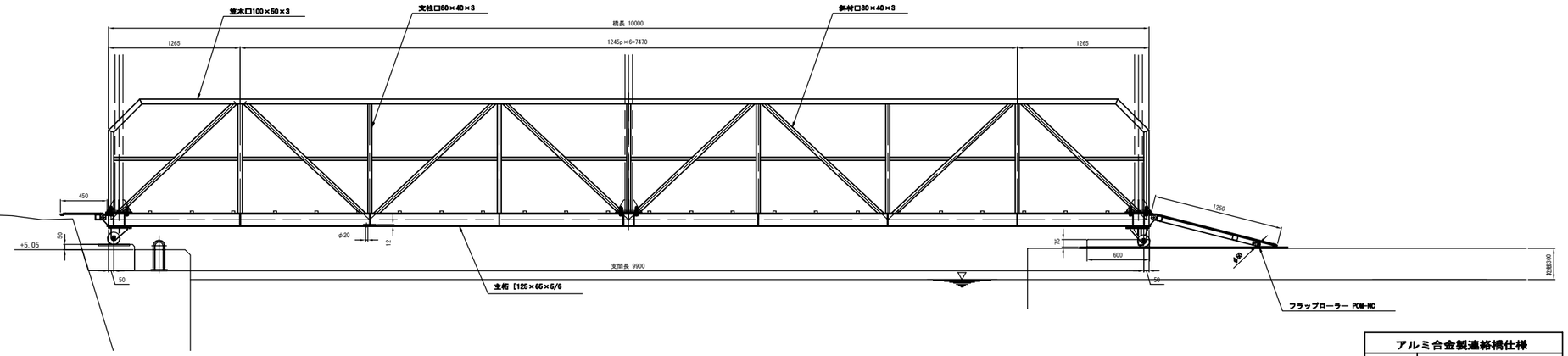
平 面 図



E～断面詳細図

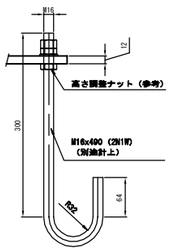


正 面 図

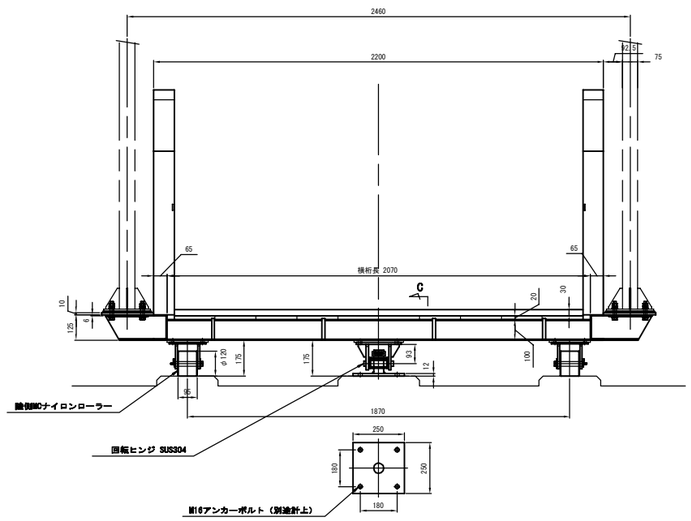


アンカー詳細図

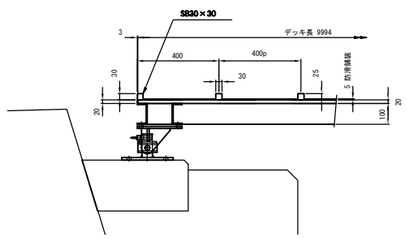
S＝1：10



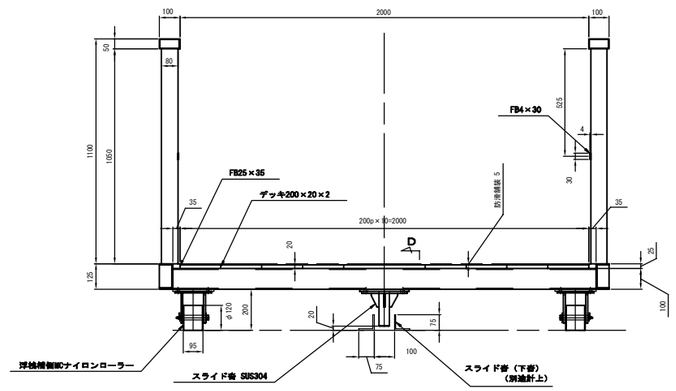
A-A断面詳細図　　S＝1：30



C～断面詳細図　　S＝1：30

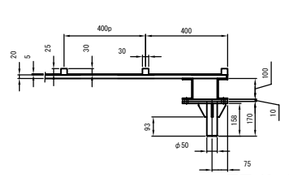


B-B断面詳細図　　S＝1：30



アルミ合金製連絡橋仕様	
形　式	下路式桟橋
上載荷重	1.5kN/m²
橋　長	10.0m
支　間	9.9m
有効幅員	2.0m
自　重	1160kg
材　質	A6005CS、A5063S、A5052P

D～断面詳細図　　S＝1：30

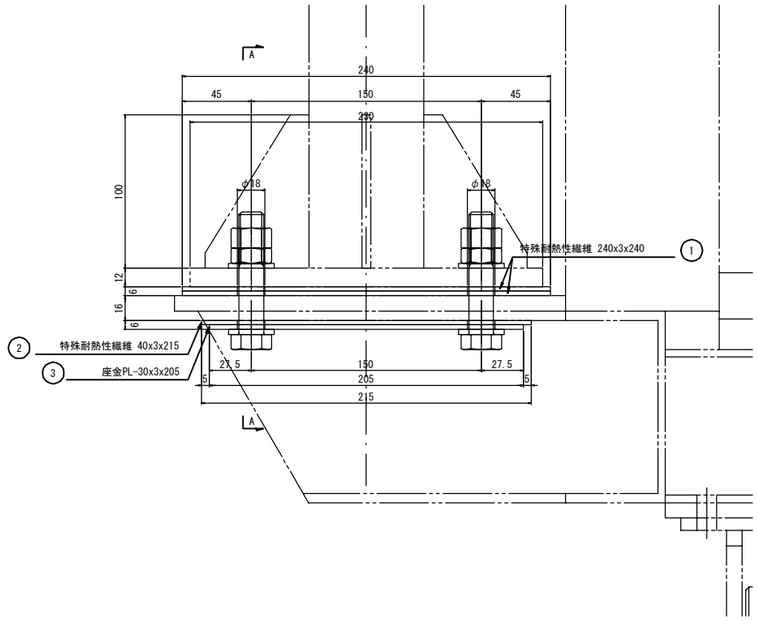


原図:A3、単位：mm

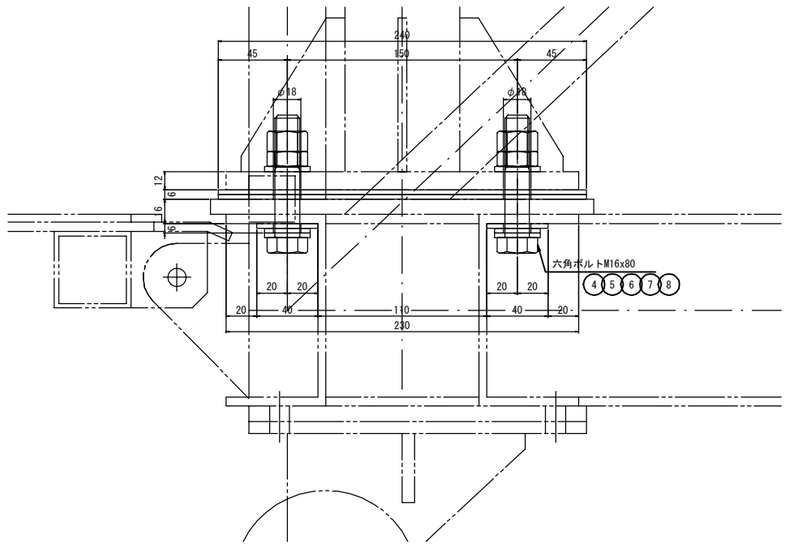
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋一般図		
縮　尺	図示	図面番号	98
下関市ボートレース企業局			

支柱基部詳細図　　S＝１：４

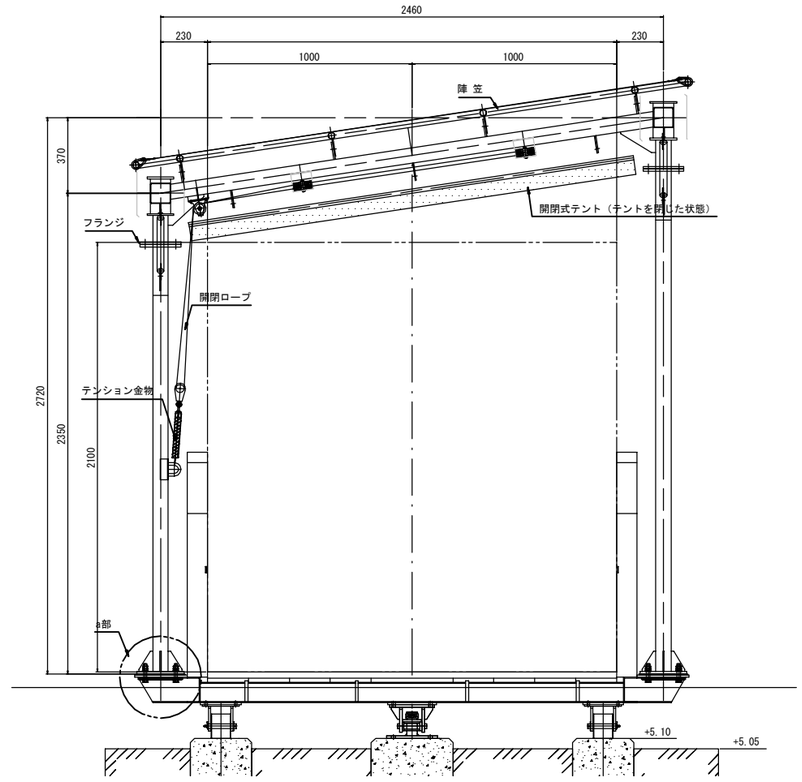
a 部 詳 細



A-A



標準断面図　　S＝１：３０



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	特殊耐熱性繊維 240x3x240	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
2	特殊耐熱性繊維 40x3x215	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
3	座金PL-30x3x205	2	SUS304
4	六角ボルトM16x80	4	SUS304
5	六角ナットM16（1種）	4	SUS304
6	六角ナットM16（3種）	4	SUS304
7	平座金M16	8	SUS304
8	防錆キャップM16（ダブルナット用）	4	ポリカーボネート

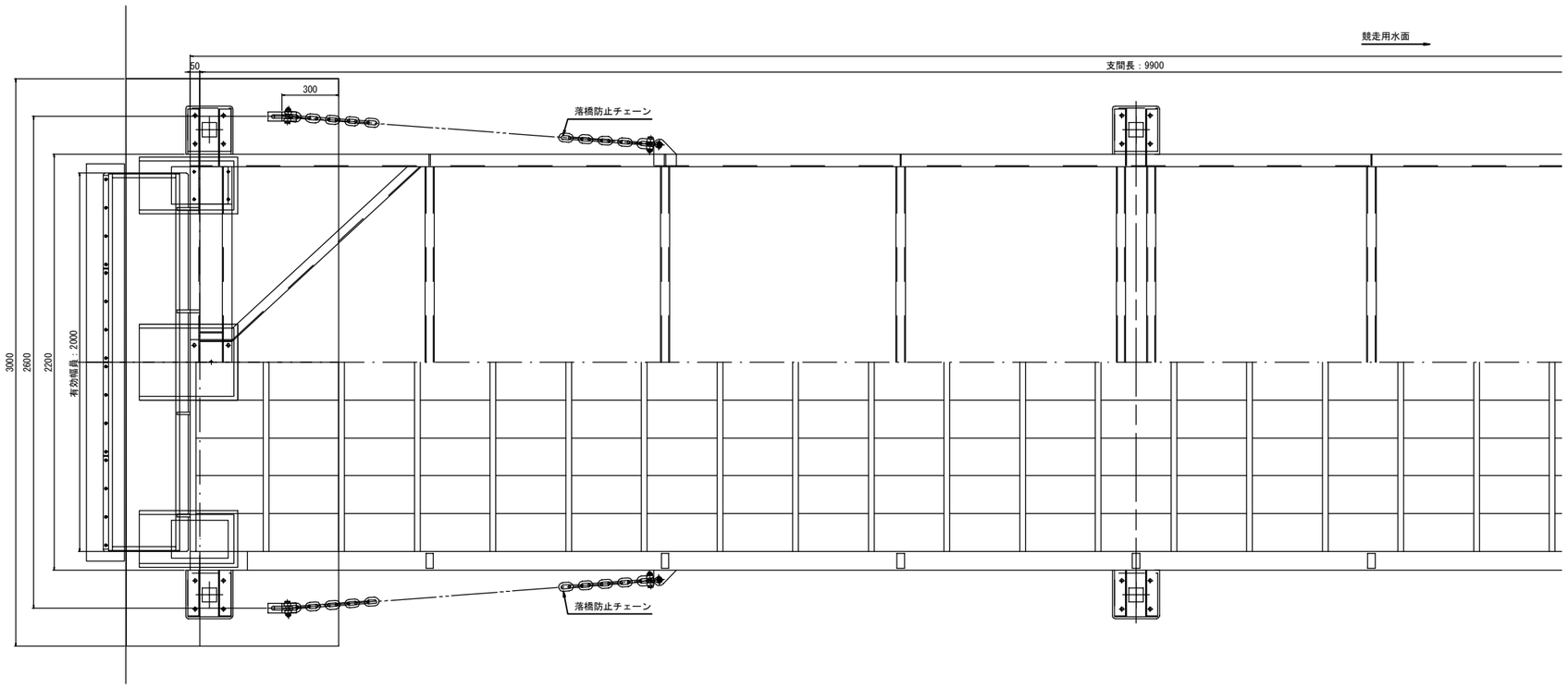
備考
１．数量は柱1基分を 示す。6基分製作・購入のこと。
２．防錆キャップは、NETIS：KK-190041-VE相当品とする。

注記
１． 固定ボルト長は、購入した連絡橋側のブラケット厚を確認の上、調整のこと。

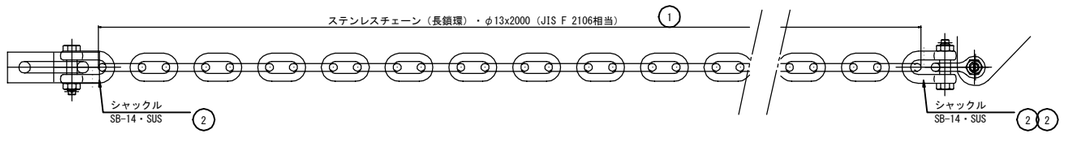
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	支柱基部詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	99
下関市ボートレース企業局			

落橋防止チェーン詳細図　　S＝1：30



落橋防止チェーン　　S＝1：10



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	ステンレスチェーン（長鎖環）φ13x2000	2	SUS304
2	シャックルSB14	6	SUS

備考
1．数量は全数を示す。
2．チェーンは、JIS F 2106相当品を購入のこと。
3．橋台側及び橋体側吊環は別途計上している。

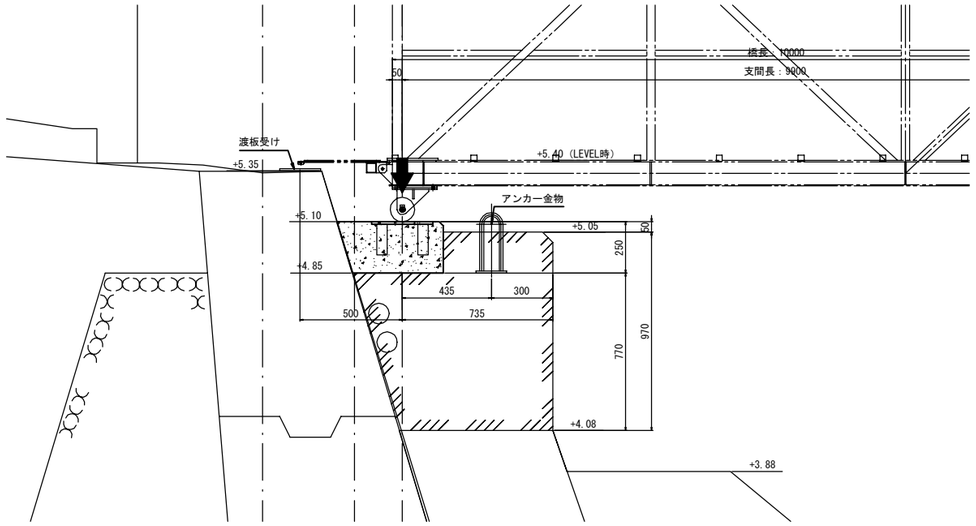
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	落橋防止チェーン詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	100
下関市ボートレース企業局			

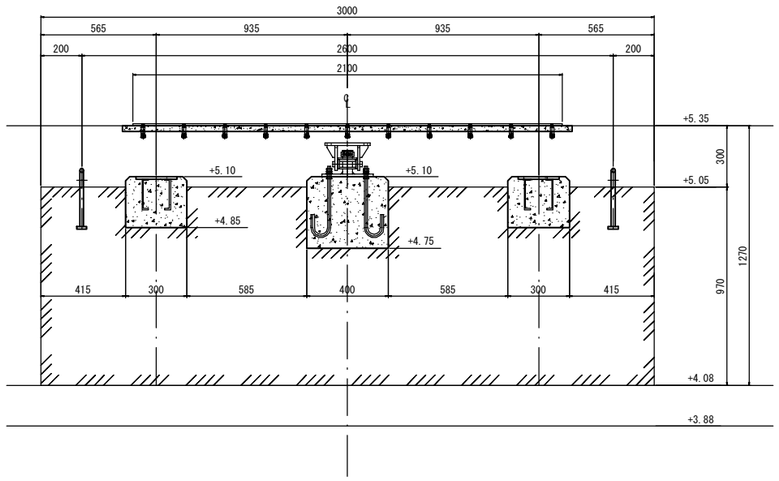
土木関連図　　S＝１：３０

参考図

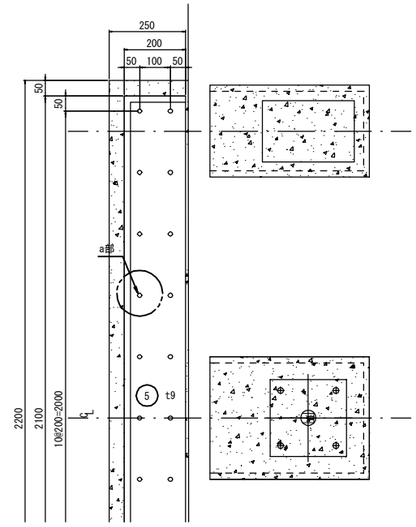
A-A



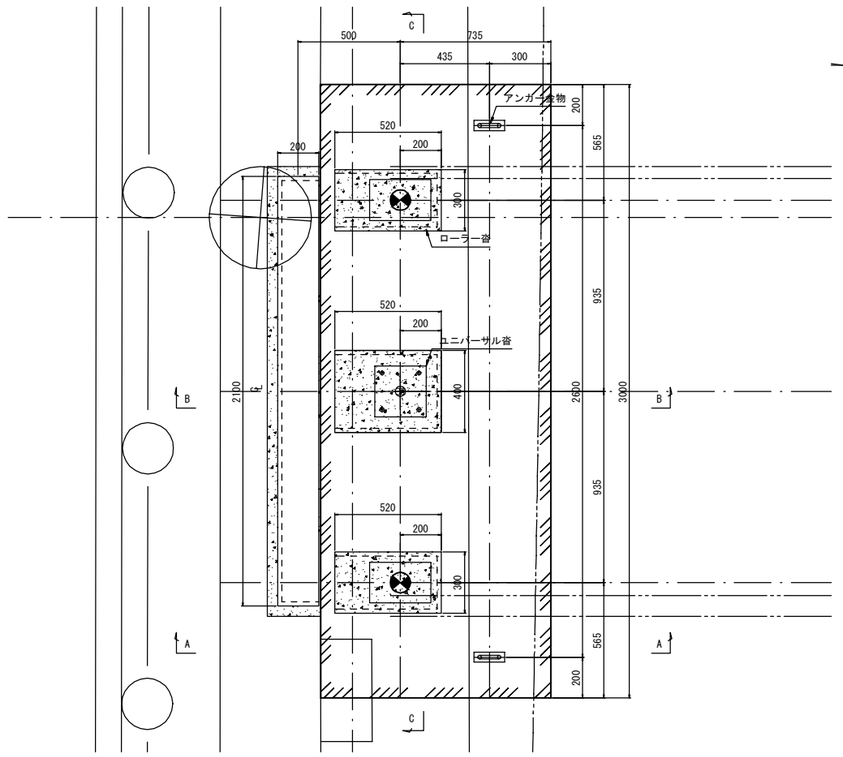
C-C



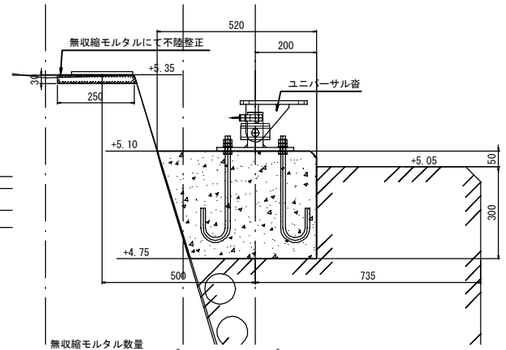
渡板受け　S＝１：２０



平 面 図

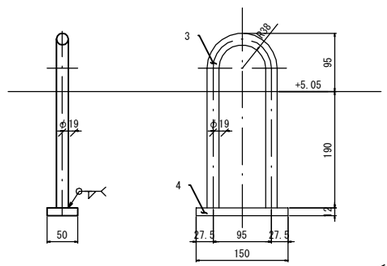


B-B　S＝１：２０

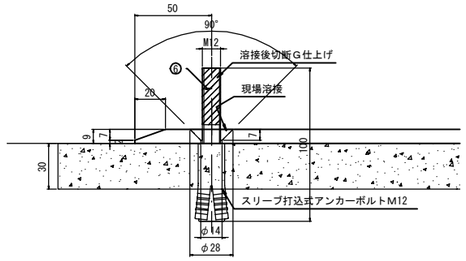


無収縮モルタル数量
ユニバーサル沓部V=0.164m³×0.4m×1箇所　=0.07m³
ローラー沓部　≒0.121m²×0.3m×2箇所　=0.07m³
渡板受け部　≒0.25m×2.2m×0.03m=0.02m³　ΣV=0.16m³

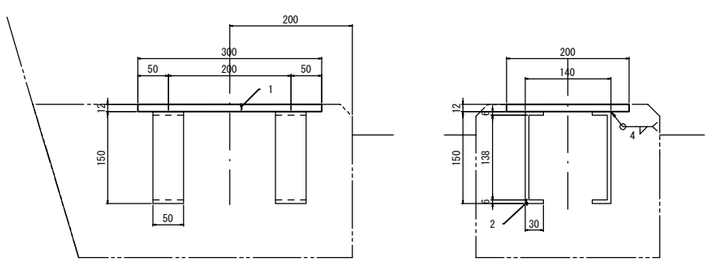
アンカー金物　S＝１：１０



a 部 詳 細　S＝１：４



ローラー沓敷板　S＝１：１０



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	PL-200x12x300	2	SUS304
2	FB-50x6x210	4	SS400
3	RB-φ19x605	2	SUS304
4	FB-50x12x150	2	SS400
5	PL-200x9x2100	1	SUS304
6	スリーブ打込式アンカーボルトM12x100	22	SUS304

備考
1．数量は全数を示す。
2．ユニバーサル沓及びアンカーボルト・ナットは別途計上とする。

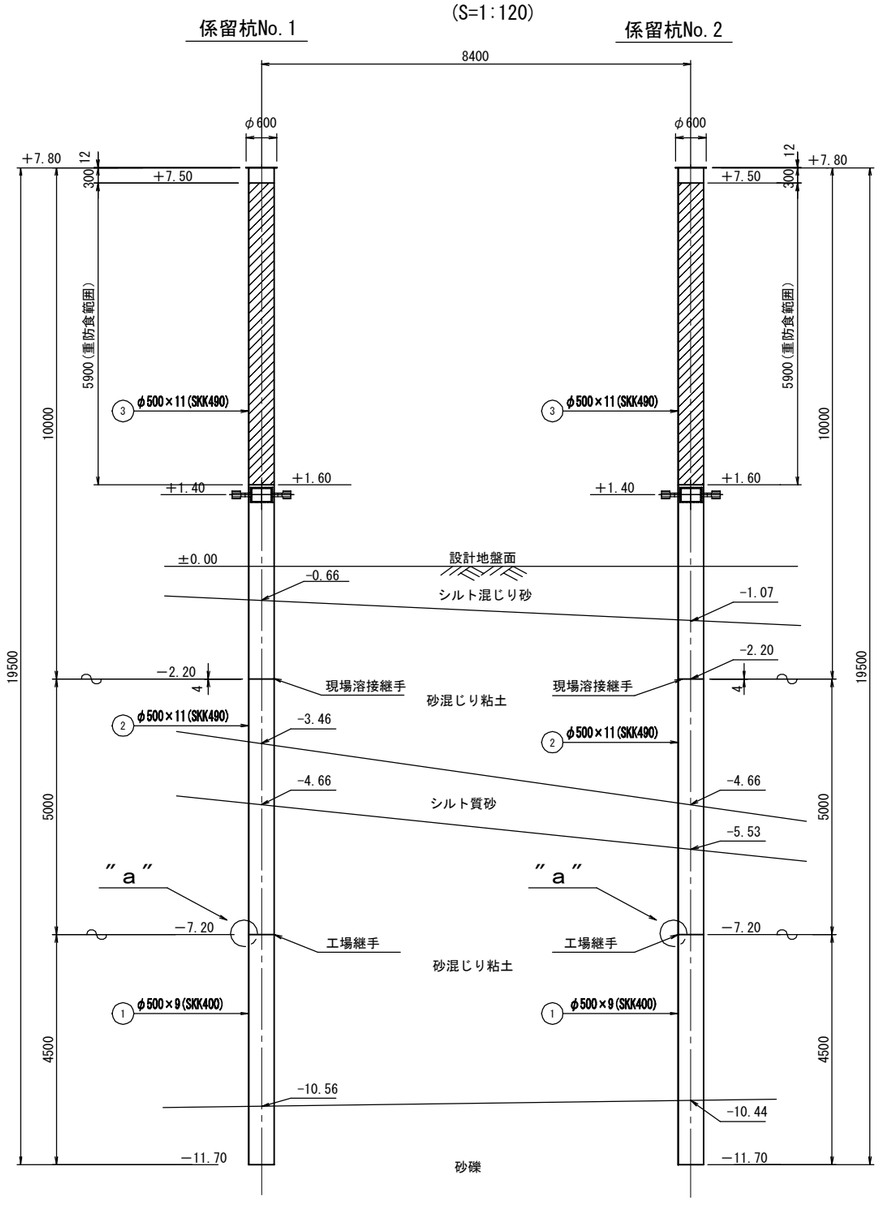
注記
1．本図はCLに対して対象とする。
2．▨は、一次コンクリートを示す。
3．▨は、二次コンクリート（無収縮モルタル）を示す。
4．▨は、荷重の作用点を示す。
5．橋台部数量は別途図面を参照のこと。
6．アンカー金物は橋台施工時に設置のこと。

原図:A3、単位：mm

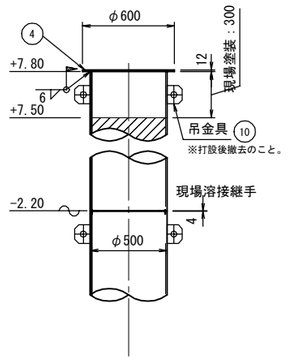
工事名	ポートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	土木関連図		
縮　尺	図示	図面番号	101
下関市ポートレース企業局			

係留杭詳細図　　S＝１：１２０

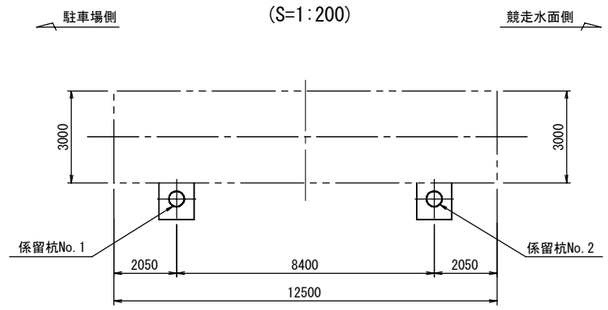
係留杭
(S=1:120)



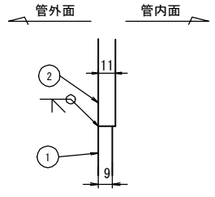
杭頭部詳細図
(S=1:40)



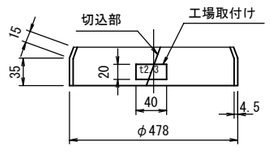
配置図
(S=1:200)



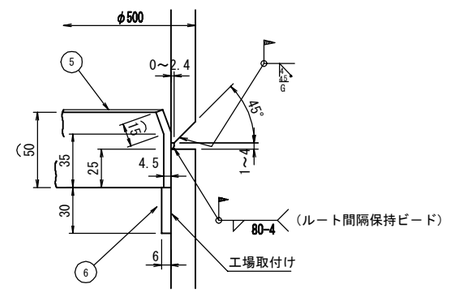
〃a〃部詳細
(S=1:4)



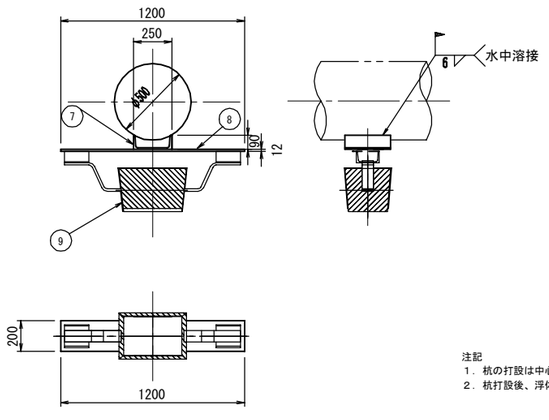
裏当てリングの形状



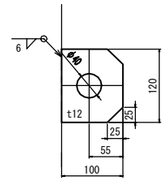
現場溶接継手部詳細
(S=1:4)



電気防食用陽極



吊金具
(S=1:10)



番号	規格	個数	材質
	係留杭No.1,係留杭No.2		
①	鋼管杭 φ500 x 9 x 4500	1	SKK400
②	鋼管杭 φ500 x 11 x 5000	1	SKK490
③	鋼管杭 φ500 x 11 x 10000	1	SKK490
④	PL- φ600 x 12	1	SS400
⑤	FB- 50 x 4.5 x 1488	1	SS400
⑥	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑦	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑧	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑨	電気防食用陽極 (耐用年数 50年－1.0A)	1	アルミ合金
⑩	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A

注；数量は係留杭1本を示す。
　　係留杭No.1,係留杭No.2各1本、計2本製作のこと。

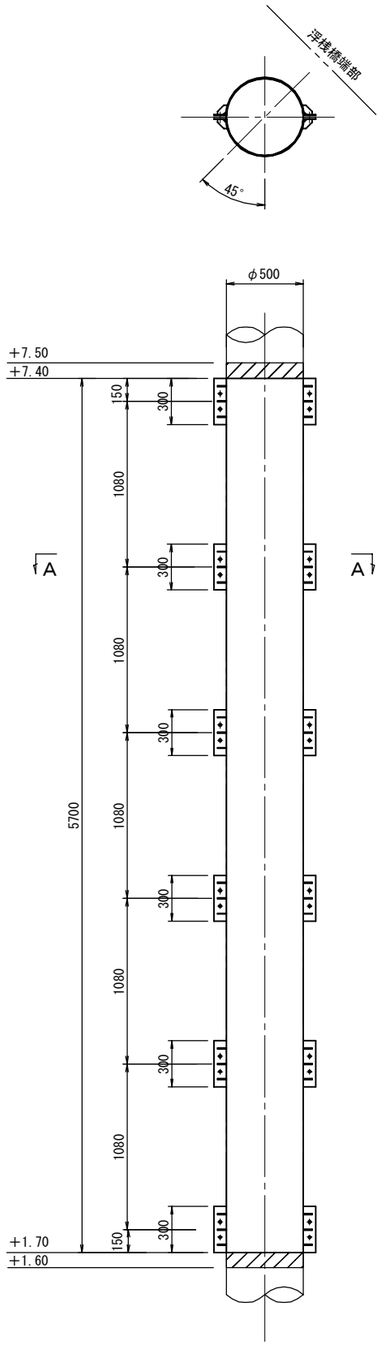
注記
1．杭の打設は中心間隔及び倒れに注意して施工のこと。
2．杭打設後、浮体メーカーと杭芯、傾き計測結果を協議のこと。

原図:A3、単位：mm

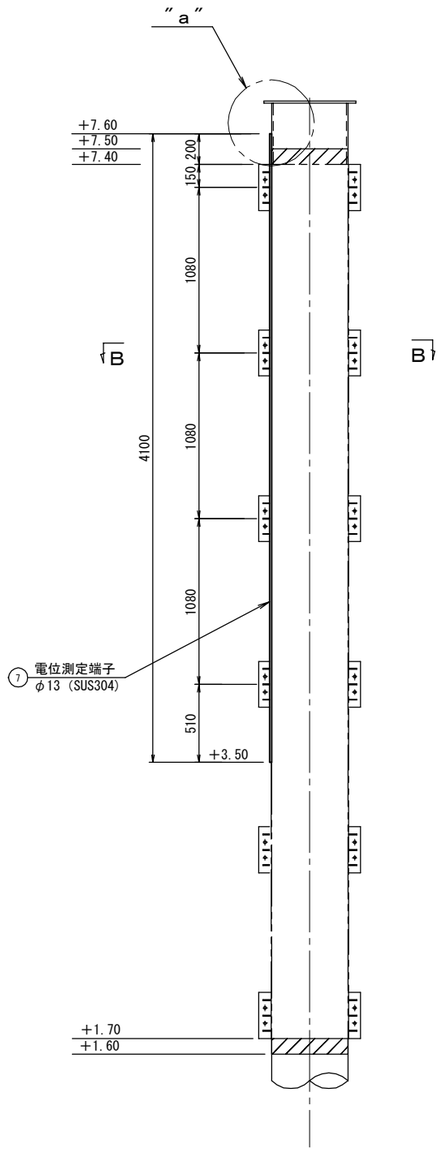
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事
図面名	係留杭詳細図
縮尺	図示　　図面番号 102
下関市ボートレース企業局	

戸当り詳細図　　S＝1：40

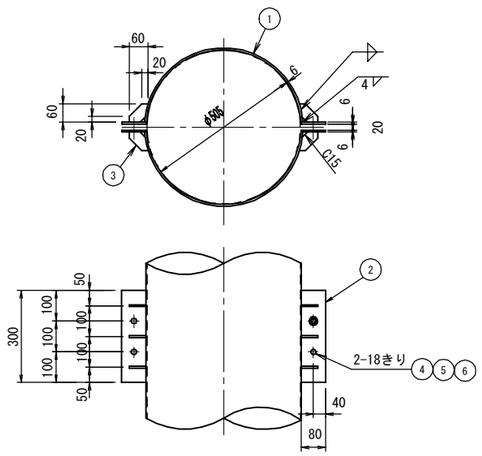
戸当り



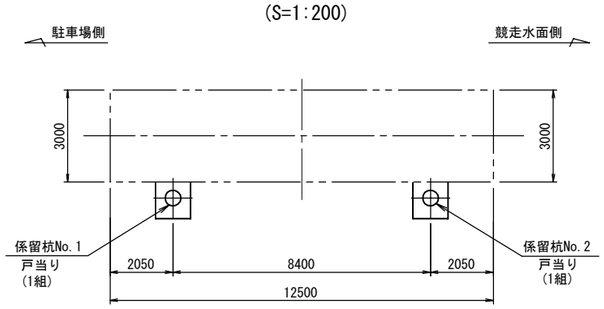
電位測定端子詳細図



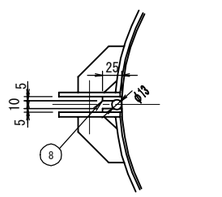
A－A
(S=1:40)



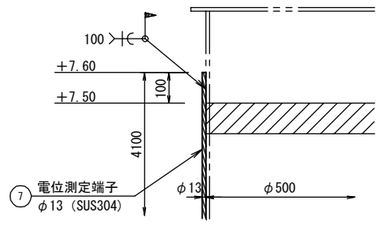
配置図
(S=1:200)

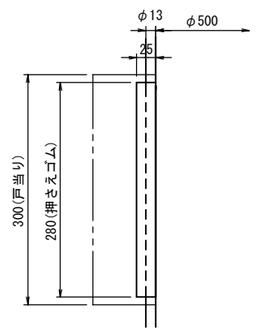


B－B
(S=1:8)



" a " 部詳細
(S=1:20)





番号	規　格	個数	材　質	摘　要
	係留杭No.1,No.2			
①	PL- 771 x 6 x 5700	2	SUS304	
②	PL- 80 x 6 x 300	24	SUS304	
③	PL- 60 x 6 x 60	72	SUS304	NET 67%
④	六角ボルト M16 x 60	24	SUS304	
⑤	六角ナット M16(1種)	24	SUS304	
⑥	ばね座金　M16	24	SUS304	
⑦	電位測定端子 φ13 x 4100	1	SUS304	
⑧	押さえゴム PL-25 x 5 x 280	8	合成ゴム	

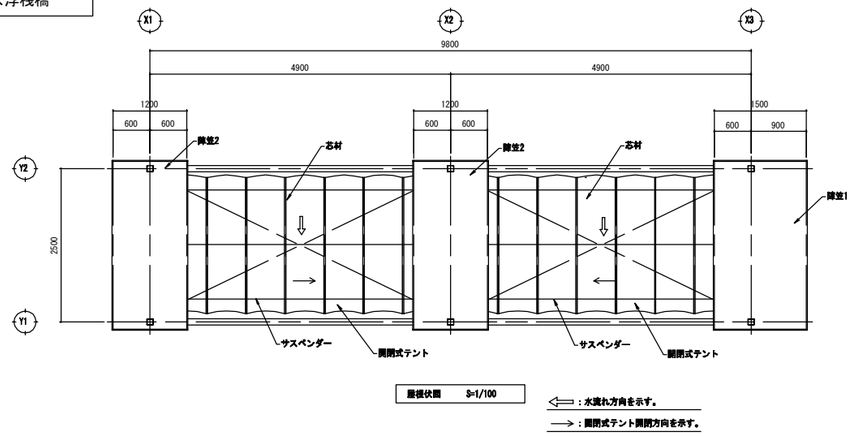
注：1. 数量は係留杭1本を示す。2本製作のこと。
2. 電位測定端子は現場溶接とし、その後現場塗装を施すこと。
3. 電位測定端子取付方向は、係留ローラー取付方向と重複しないこと。
4. 押さえゴムと戸当りは接着すること。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	戸当り詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	103
下関市ボートレース企業局			

浮体意匠図　　S＝1：100

アクセス浮桟橋



屋根伏図　S=1/100

⟸：水流れ方向を示す。

⟹：開閉式テント開閉方向を示す。

膜材		
GR-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする

＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする

＊　開閉式金物はSUSとする

サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）

屋根開時：V0=10m/s

屋根閉時：V0=34m/s

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

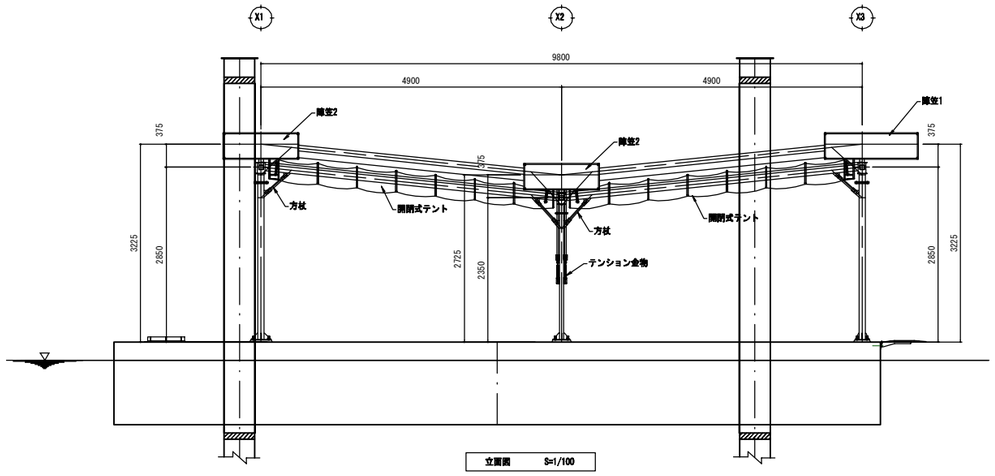
工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

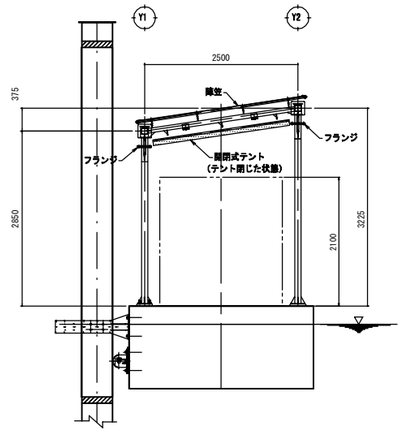
＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

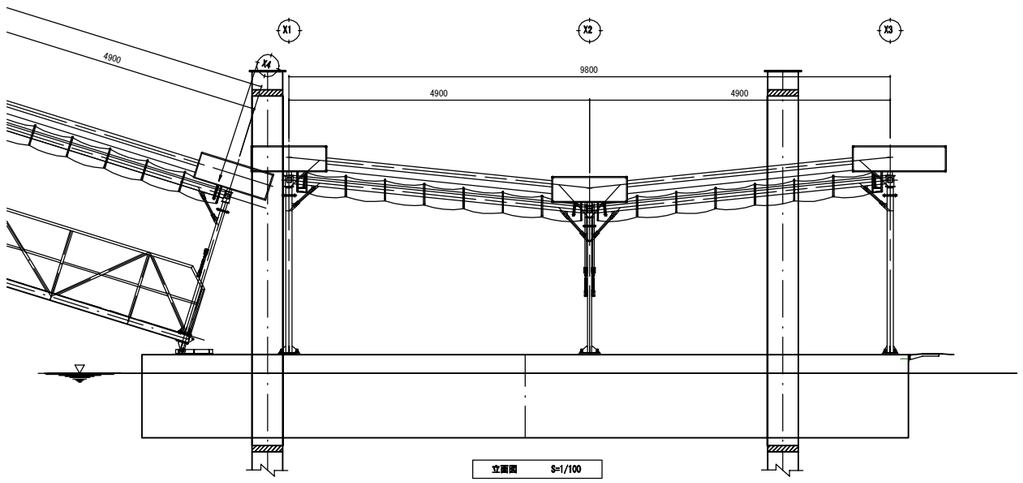
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル



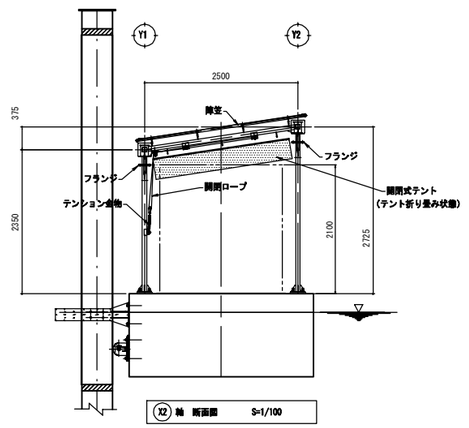
立面図　S=1/100



X1　X3　軸　断面図　S=1/100



立面図　S=1/100



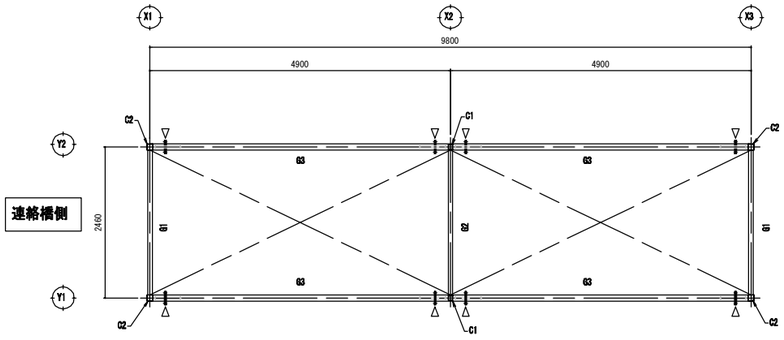
X2　軸　断面図　S=1/100

原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体意匠図		
縮　尺	1/100	図面番号	104
下関市ボートレース企業局			

浮体小屋伏図　S＝1：50

アクセス浮桟橋



小屋伏図　S=1/100

▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）

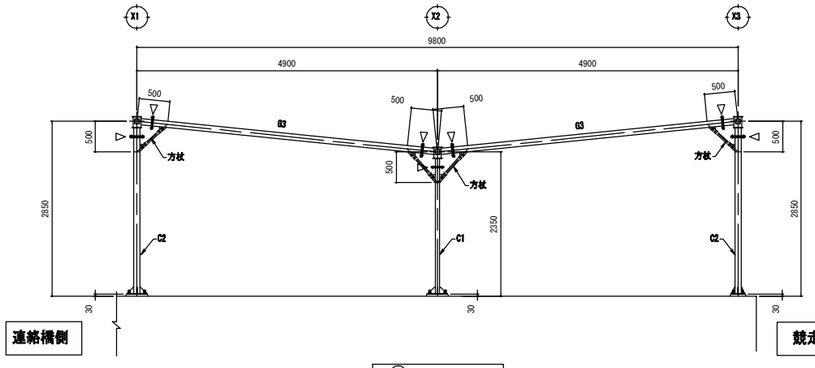
メンバーリスト

記号	部材	材質
C1	□-75x75x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
C2	□-100x100x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
G1	□-75x76x4.6t	STKR400
G2	□-75x75x3.2t	STKR400
G3	□-100x100x3.2t	STKR400
	方杖：P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
降笠1	P-42.7φx2.3t	STK400
降笠2	P-34.0φx2.3t	STK400
先導芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　@約643	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　6φ	

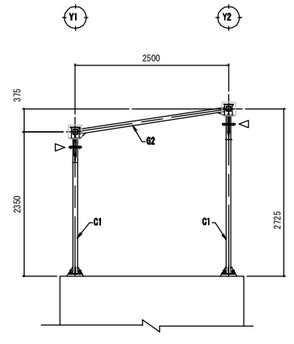
膜材		
5R-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする
＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする
＊　閉断式金物はSUS とする
　　サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
　　シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

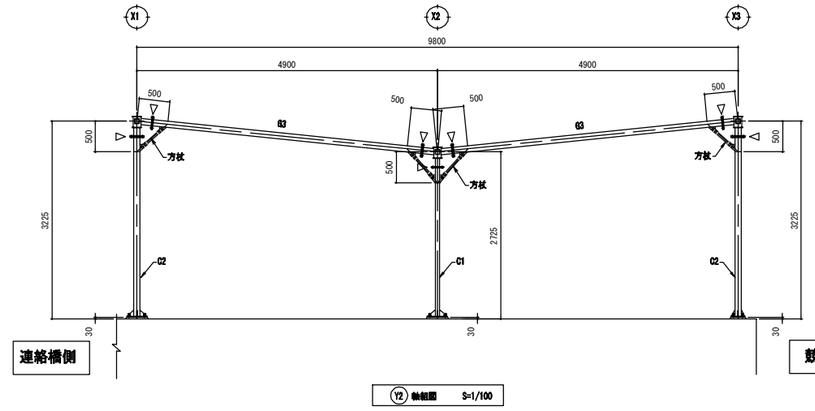
設計条件（風荷重）
屋根閉時：V0=10m/s
屋根開時：V0=34m/s



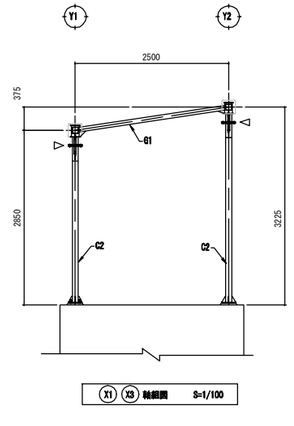
Y1 軸組図　S=1/100



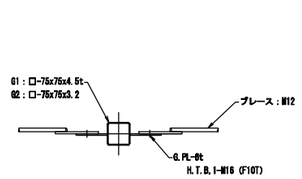
X2 軸組図　S=1/100

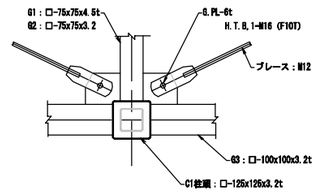


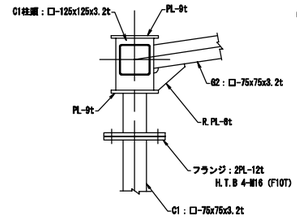
Y2 軸組図　S=1/100



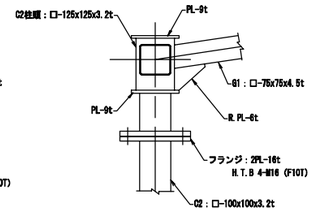
X1 X3 軸組図　S=1/100



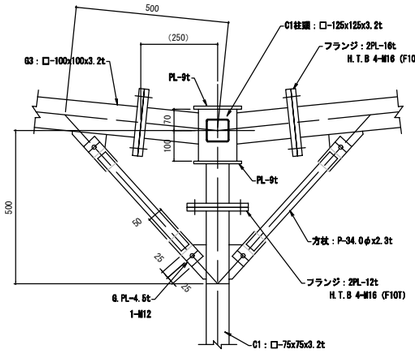




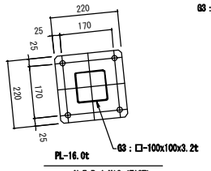
C1材　柱頭部　詳細図　S=1/20



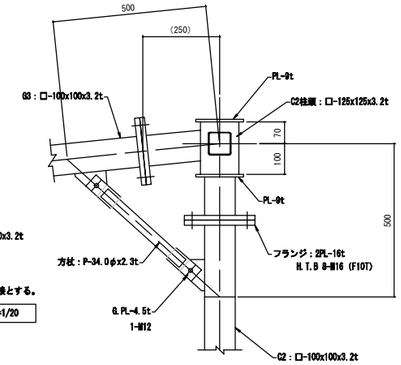
C2材　柱頭部　詳細図　S=1/20



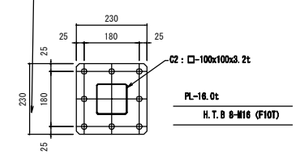
C1材　柱頭部　詳細図　S=1/20



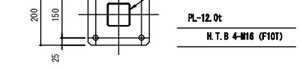
フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。
G3 フランジ　詳細図　S=1/20



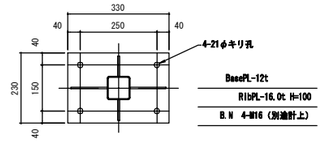
C2材　柱頭部　詳細図　S=1/20

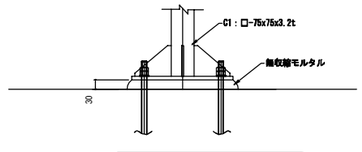


フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。
C2 フランジ　詳細図　S=1/20



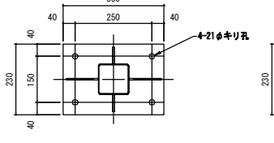
フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。
C1フランジ　詳細図　S=1/20

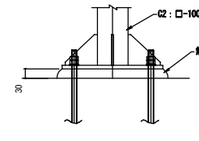




C1材柱脚　詳細図　S=1/20

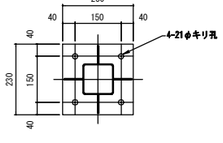
BasePL-12t
RibPL-6.0t H=100
B.N 4-M16（別途計上）

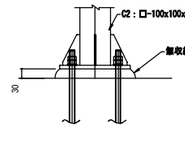




C2材　柱脚（連絡橋側）　詳細図　S=1/20

BasePL-12t
RibPL-6.0t H=100
B.N 4-M16（別途計上）





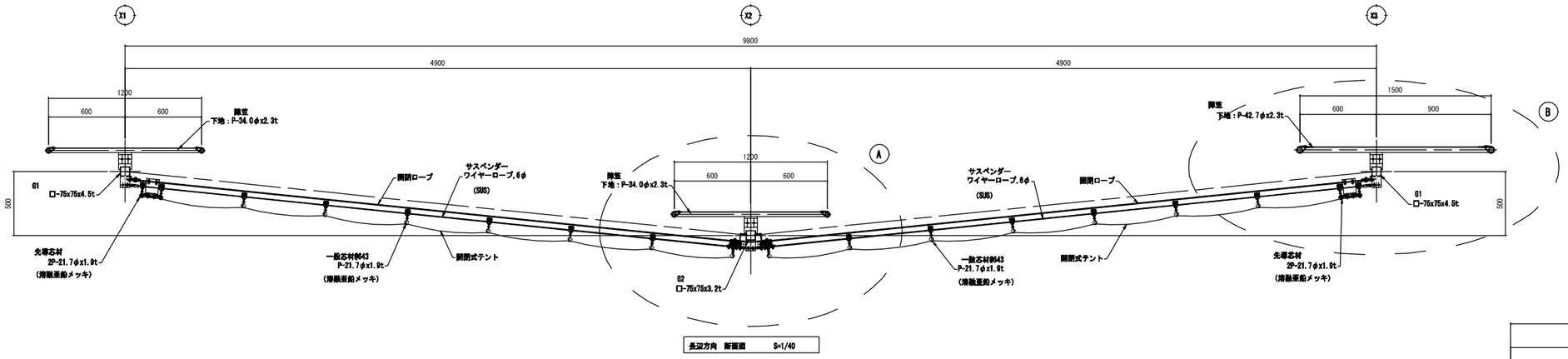
C2材　柱脚（競走側）　詳細図　S=1/20

原図：A3、単位：mm

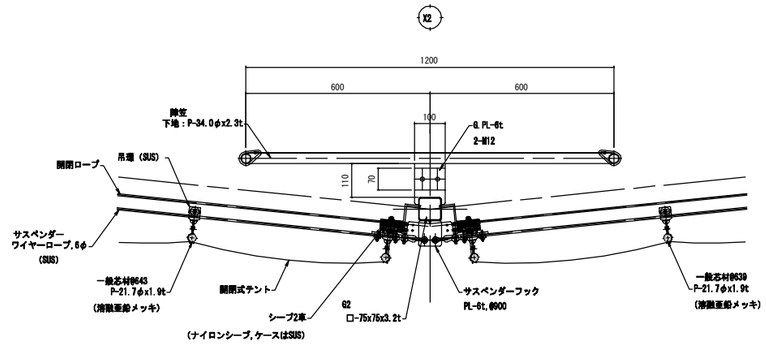
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	105
下関市ボートレース企業局			

浮体矩形図　　S＝1：20

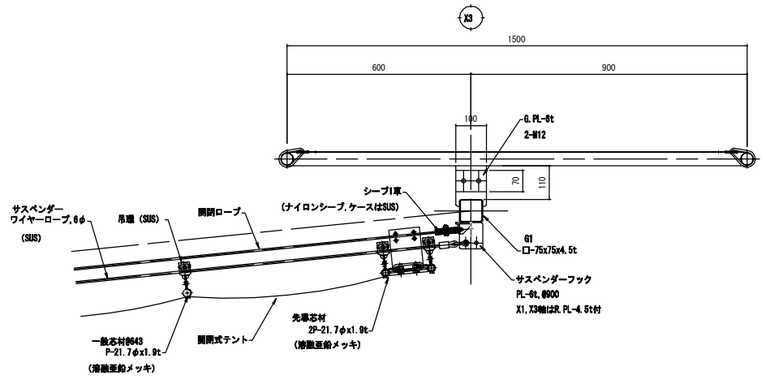
アクセス浮桟橋



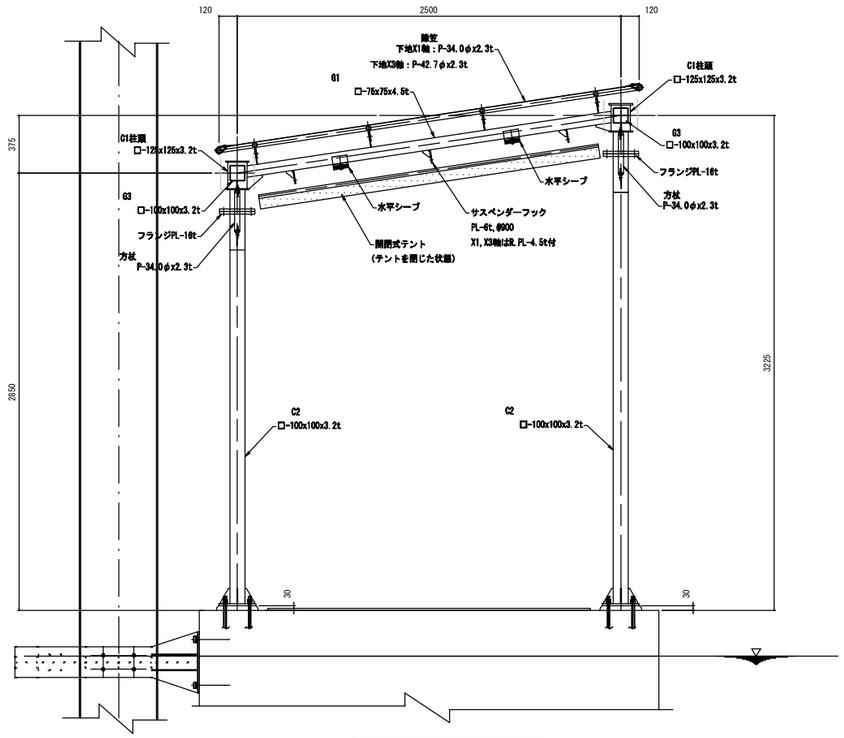
長辺方向　断面図　　S=1/40



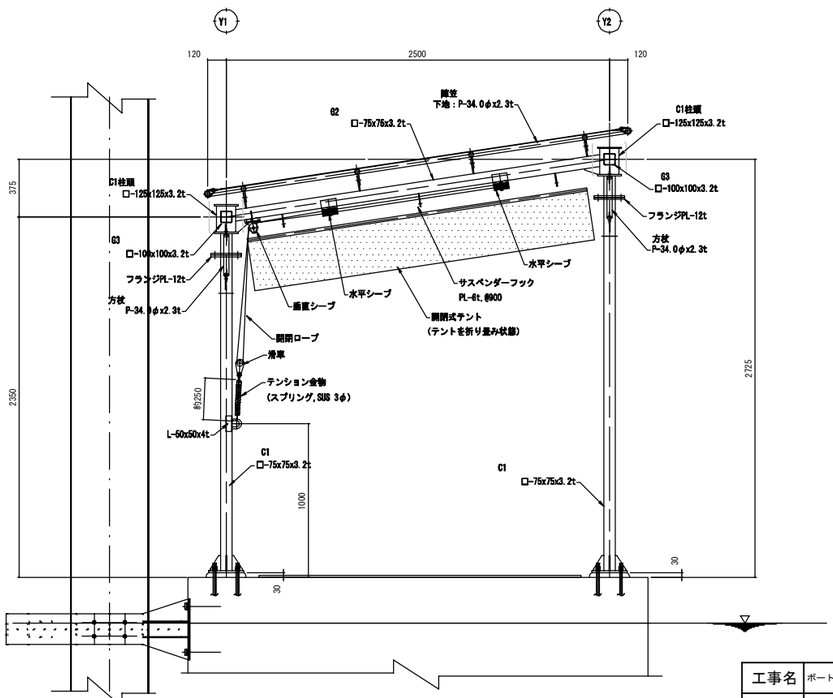
A　詳細図　　S=1/20



B　詳細図　　S=1/20



X1　X3　軸　　断面図　　S=1/40



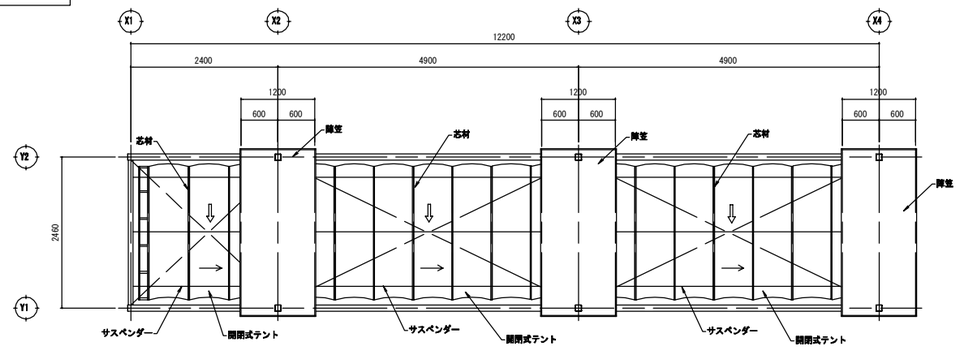
X2　軸　　断面図　　S=1/40

原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体矩形図		
縮　尺	図示	図面番号	106
下関市ボートレース企業局			

連絡橋意匠図　S＝1：100

アクセス連絡橋



屋根伏図　S=1/100

⇦：水流れ方向を示す。

⟶：開閉式テント開閉方向を示す。

鋼材		
SR-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	LW-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする

＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする

＊　開閉式金物はSUSとする

サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）

屋根開時：V0=10m/s

屋根閉時：V0=34m/s

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

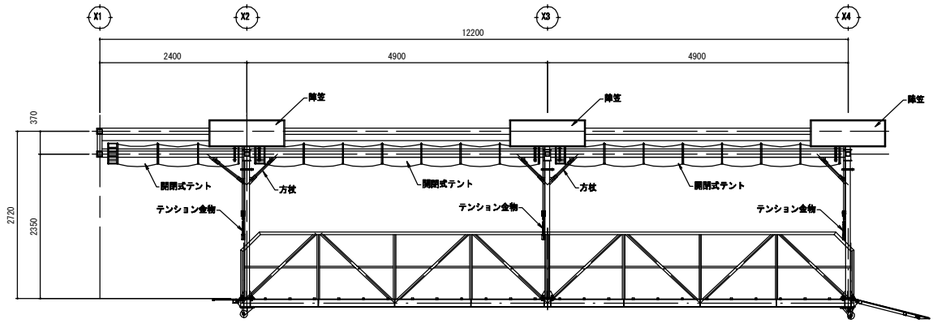
工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

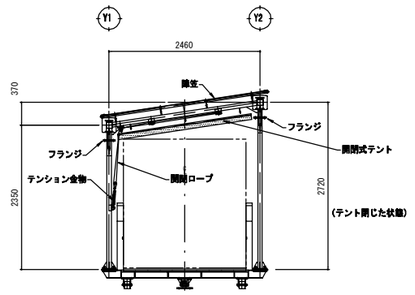
＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

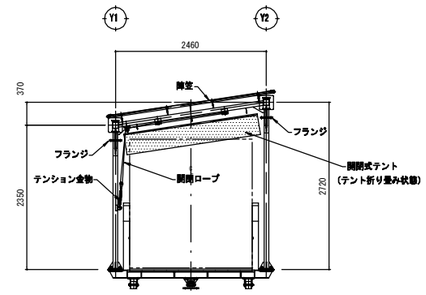
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル



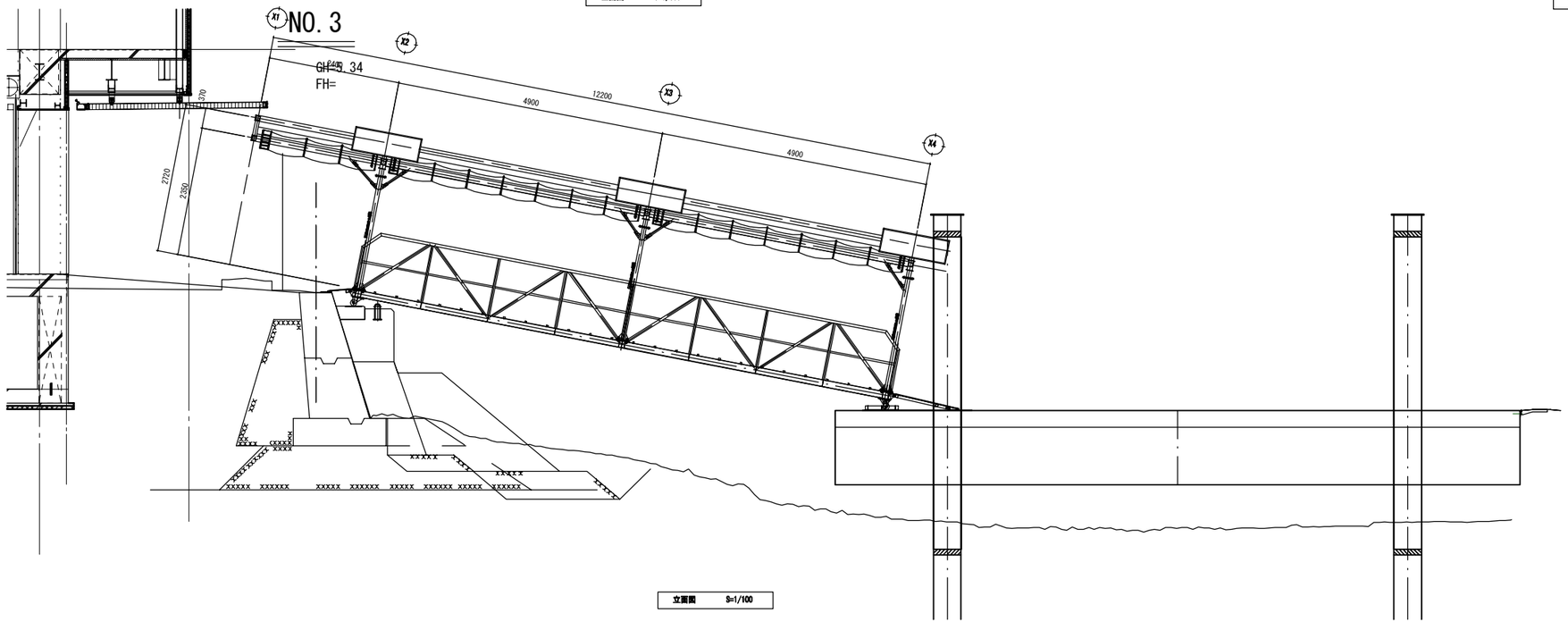
立面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



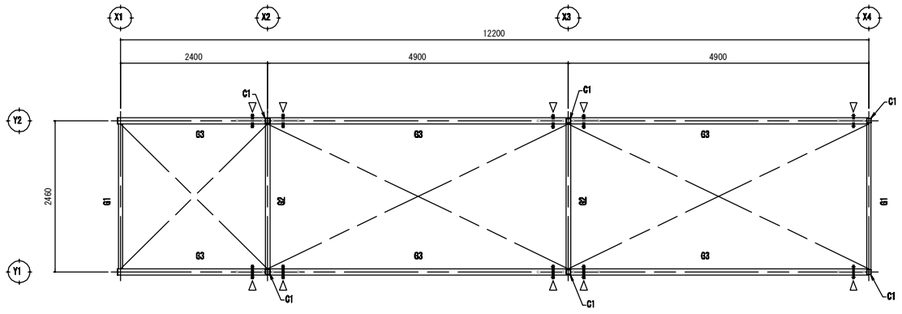
立面図　S=1/100

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋意匠図		
縮　尺	1/100	図面番号	107
下関市ボートレース企業局			

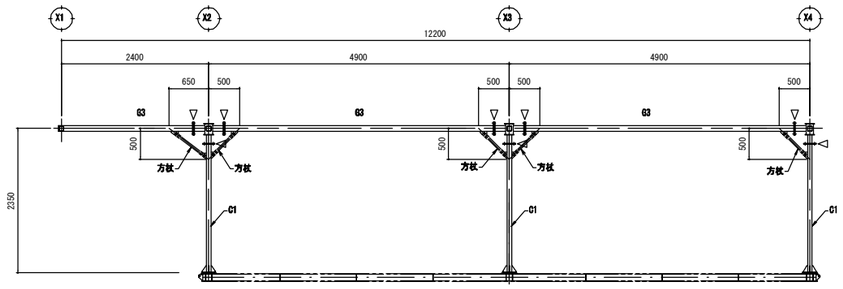
連絡橋小屋伏図　S＝1：100

アクセス連絡橋、救助艇連絡橋　　共通

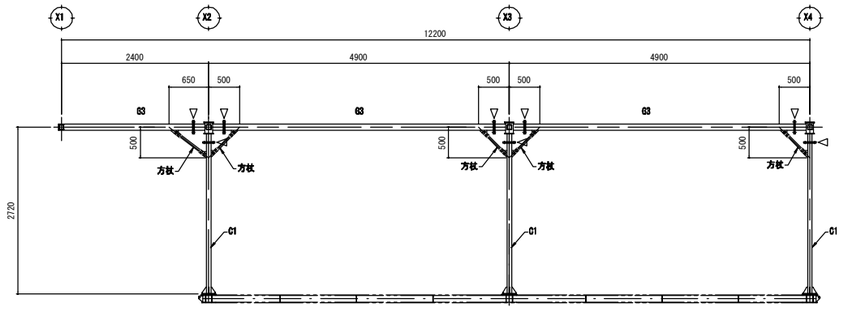


小屋伏図　S=1/100

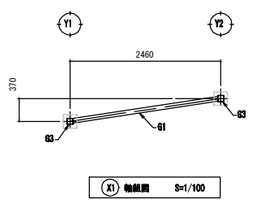
▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）



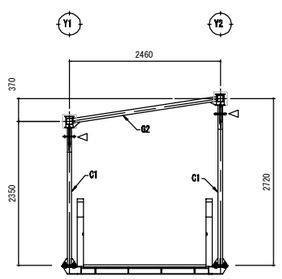
Y1 軸組図　S=1/100



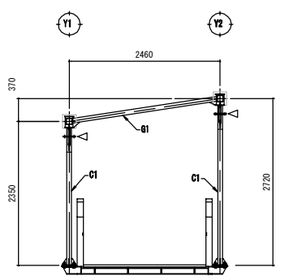
Y2 軸組図　S=1/100



X1 軸組図　S=1/100



X2 X3 軸組図　S=1/100



X4 軸組図　S=1/100

メンバーリスト

記号	部材	材質
C1	□-75x75x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
G1	□-75x75x4.5t	STKR400
G2	□-76x76x3.2t	STKR400
G3	□-100x100x3.2t	STKR400
	方杖： P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
笠木	P-34.0φx2.3t	STK400
先端芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　@約639，@658	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　6φ	

膜材

	GR-F	
設定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEH-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

- 鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする
- 芯材は溶融亜鉛メッキとする
- 開閉式金物はSUSとする

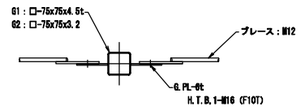
サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

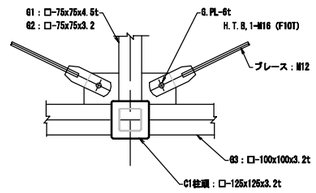
シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

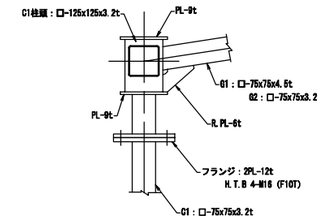
設計条件（風荷重）

屋根開時：V0=10m/s

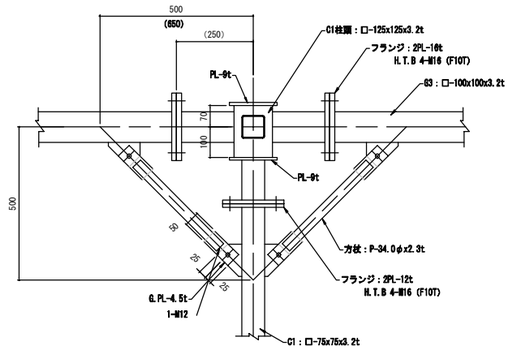
屋根閉時：V0=34m/s



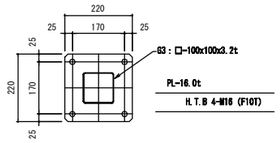




柱頭部　詳細図　　S=1/20

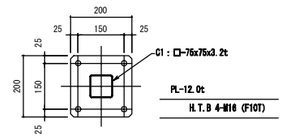


柱頭部　詳細図　　S=1/20



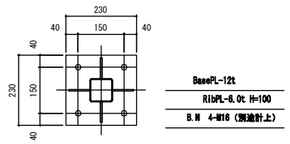
フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

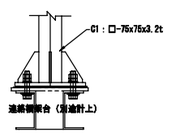
G3 フランジ　詳細図　　S=1/20



フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

C1フランジ　詳細図　　S=1/20





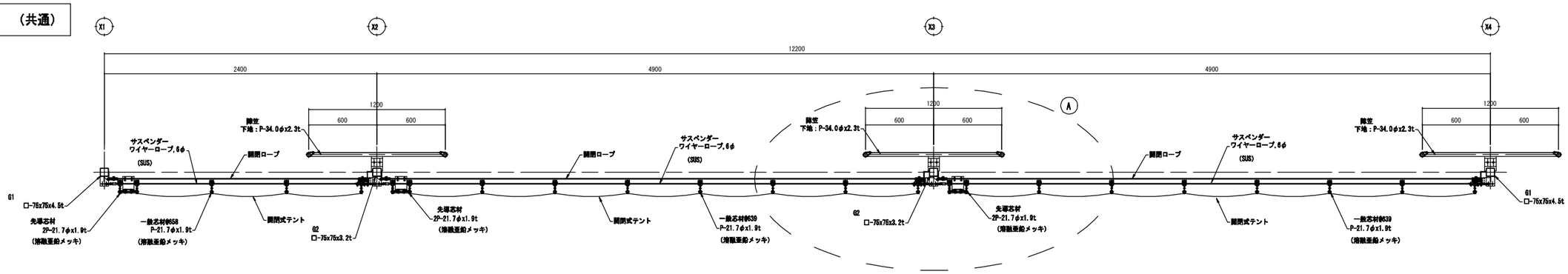
柱脚　詳細図　　S=1/20

原図:A3、単位：mm

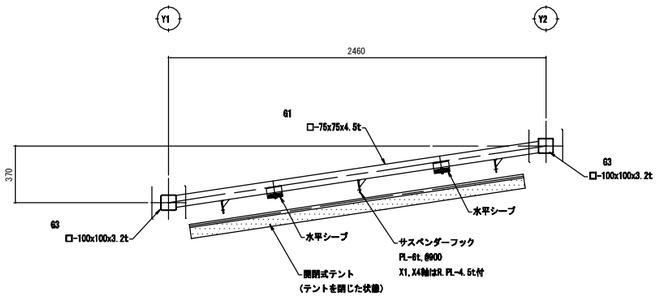
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	108
下関市ボートレース企業局			

連絡橋矩形図　　S＝1：40

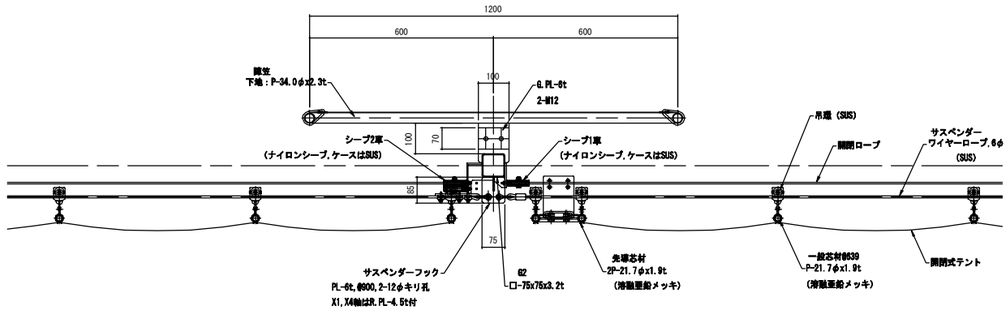
アクセス、救助艇連絡橋　（共通）



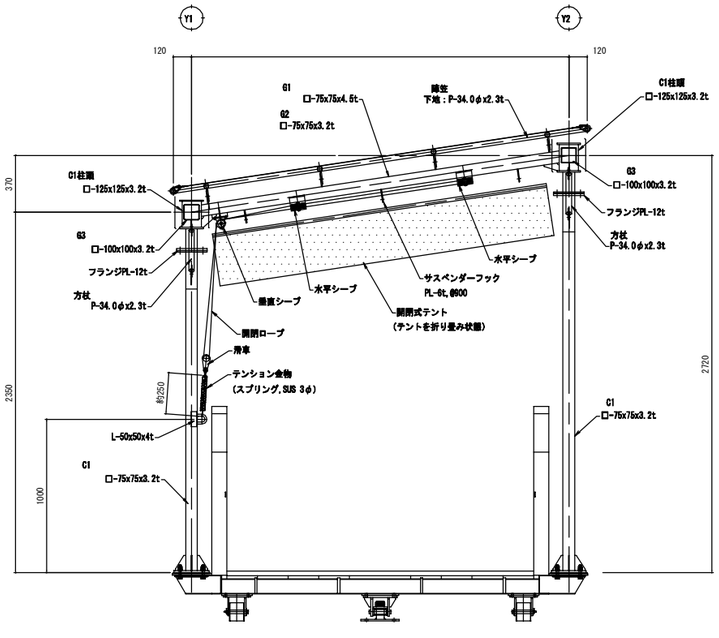
長辺方向　断面図　　S=1/40



X1 軸　断面図　　S=1/40



A 詳細図　　S=1/20



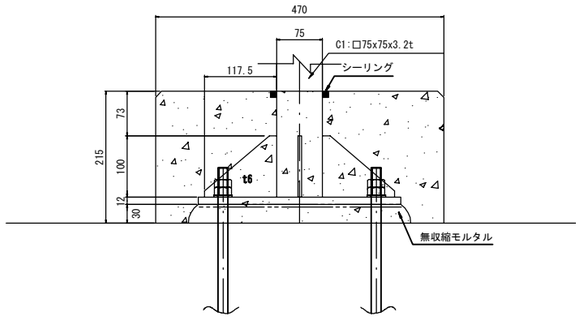
矩計図　　S=1/40

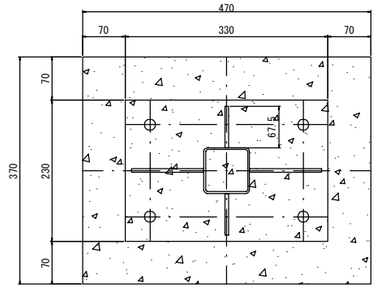
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋矩形図		
縮　尺	図示	図面番号	109
下関市ボートレース企業局			

根巻コンクリート詳細図　　S＝1：10

C１柱脚





1箇所あたり数量
・型枠面積

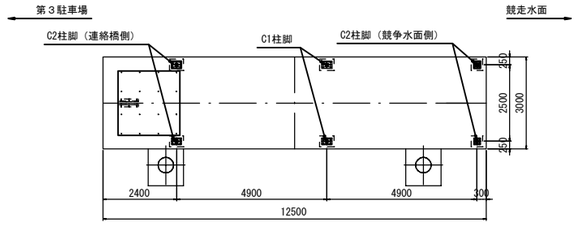
A=（2×0.215×0.47）㎡

（2×0.215×0.37）㎡=0.361（m^2）

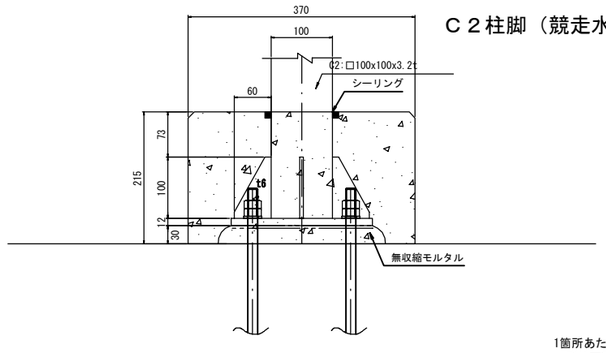
・モルタル体積
V=0.23×0.33×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.47×0.215
－（0.23×0.33×0.012）・・・Base.PL
－（0.1175×0.100×0.006×1/2）×2・・・Rib.PL1
－（0.0675x0.100x0.006x1/2）x2・・・Rib.PL2　　-0.075x0.
075x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.033（m^3）

配 置 図　S＝1：200



C２柱脚（競走水面側）

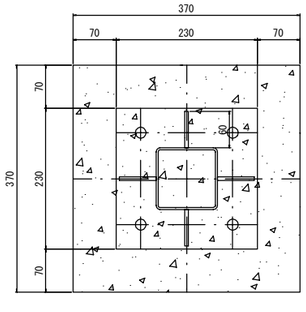


1箇所あたり数量
・型枠面積

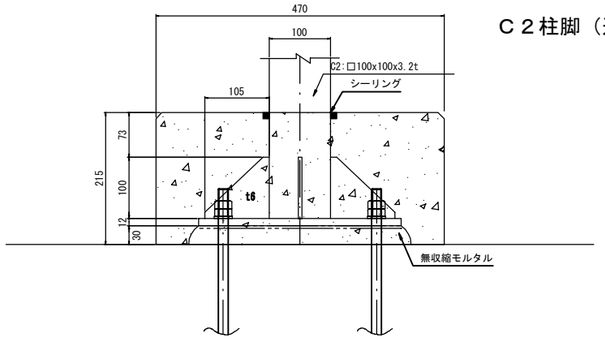
A=4×0.215×0.37=0.318（m^2）

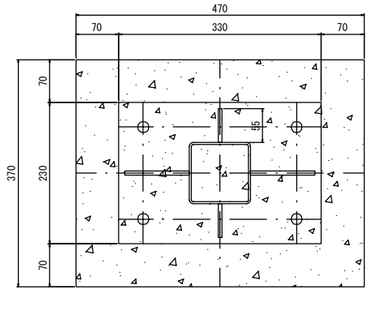
・モルタル体積
V=0.23×0.23×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.37×0.215
－（0.23×0.23×0.012）・・・Base.PL
－（0.060×0.100×0.006×1/2）×4・・・Rib.PL
-0.100x0.100x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.025（m^3）



C２柱脚（連絡橋側）





1箇所あたり数量
・型枠面積

A=（2×0.215×0.47）㎡

（2×0.215×0.37）㎡=0.361（m^2）

・モルタル体積
V=0.23×0.33×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.47×0.215
－（0.23×0.33×0.012）・・・Base.PL
－（0.105×0.100×0.006×1/2）×2・・・Rib.PL1
－（0.055×0.100×0.006×1/2）×2・・・Rib.PL2
-0.100x0.100x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.040（m^3）

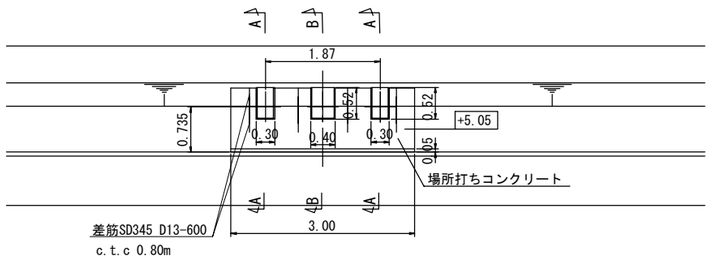
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	根巻コンクリート詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	110
下関市ボートレース企業局			

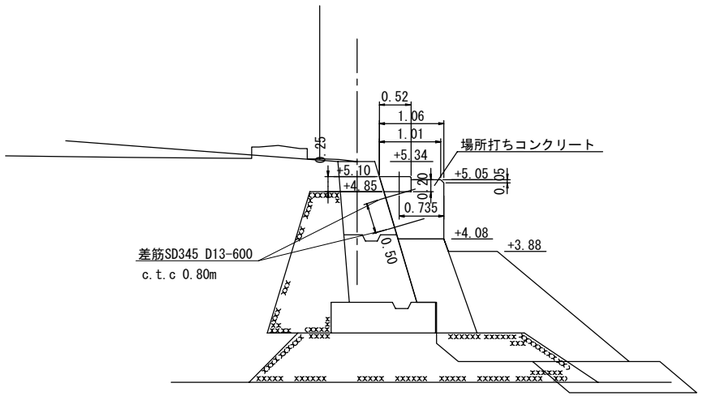
橋 台 詳 細 図　　S＝1：100

(No.3付近)

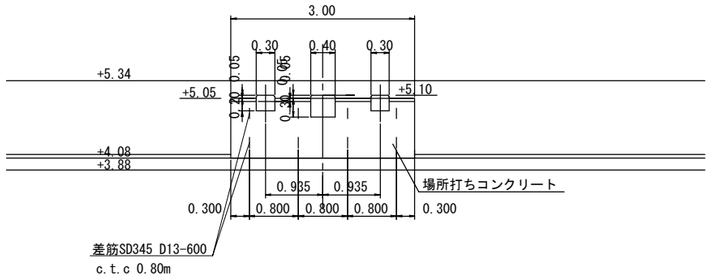
平 面 図



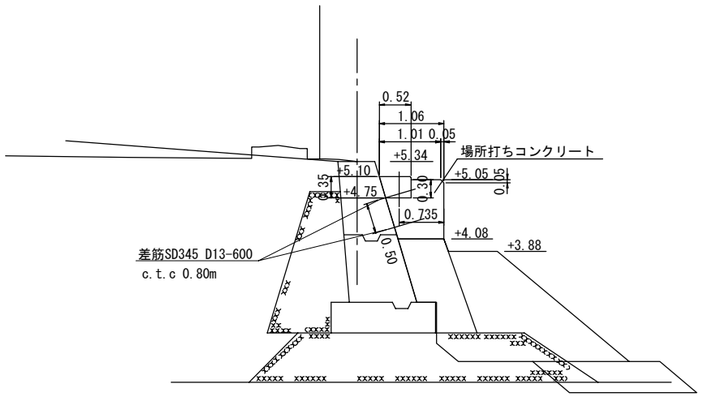
A-A 断面



正 面 図



B-B 断面

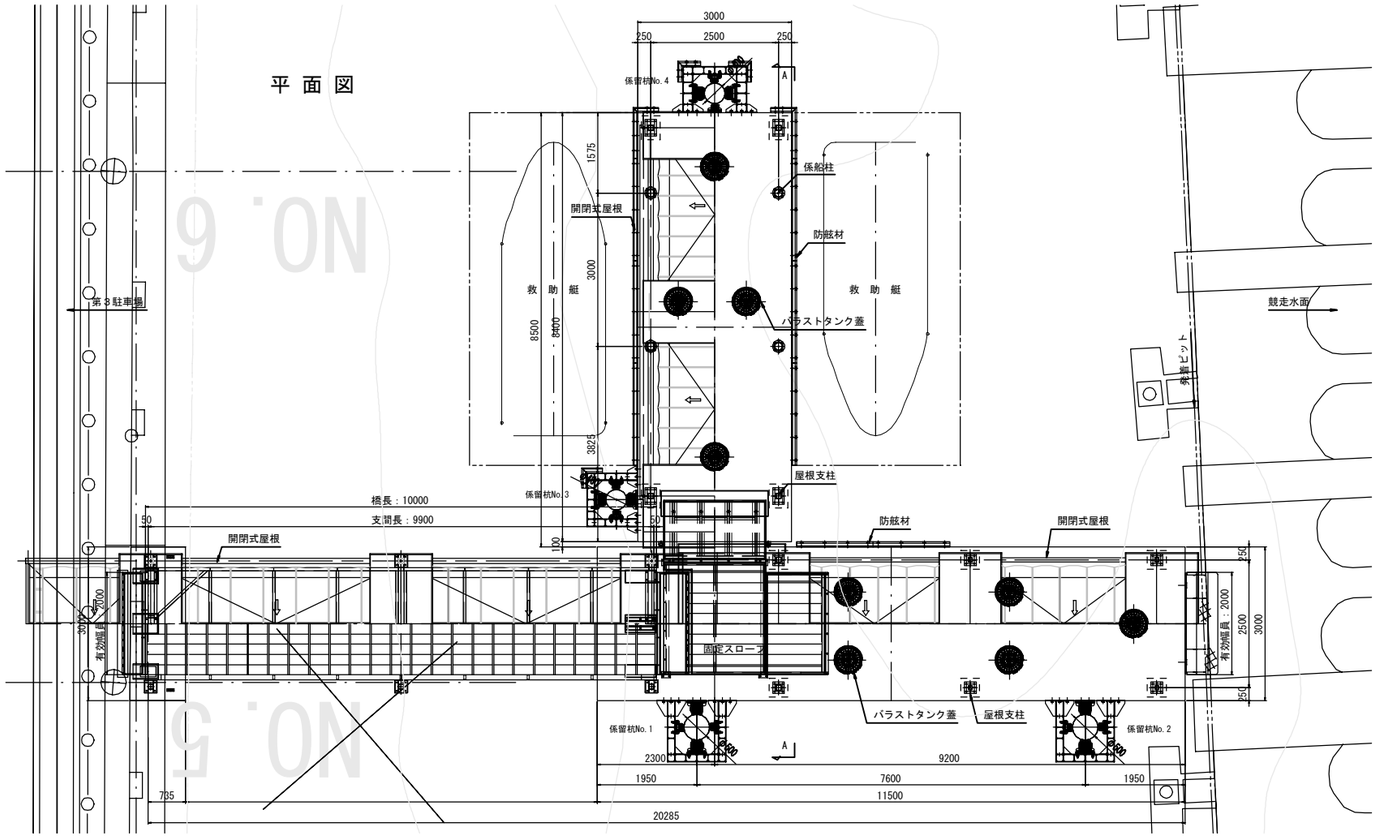


原図:A3、単位：m

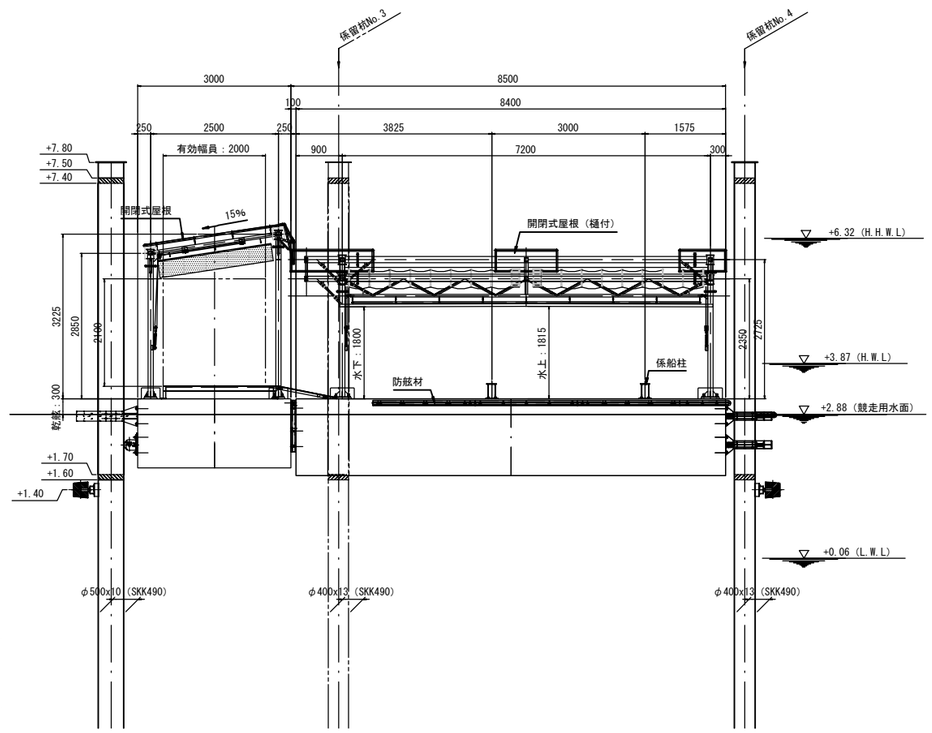
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	橋台詳細図		
縮　尺	1/100	図面番号	111
下関市ボートレース企業局			

浮桟橋一般図　　S＝1：120

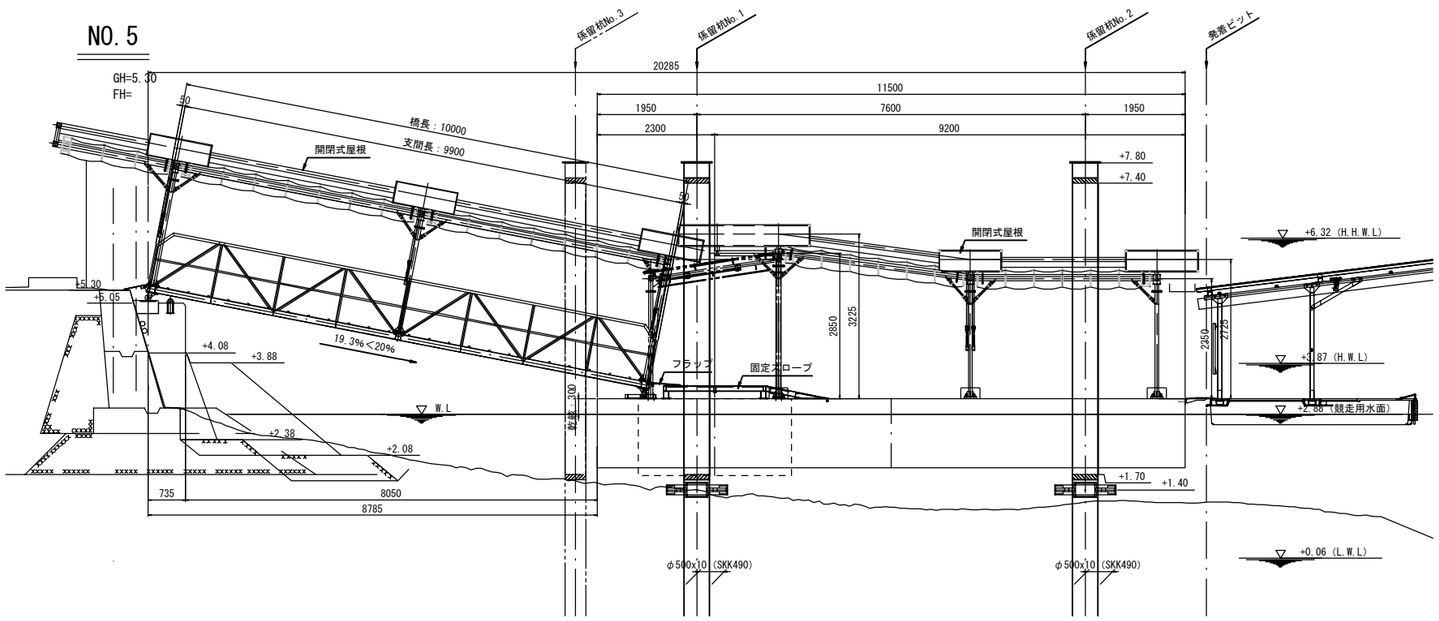
平面図



A－A



側面図



＜救助艇浮桟橋設計要目＞

形　式	RC+発砲スチロール（モノコック）
寸　法	浮体（１）：12.5mx3.0mx1.35m 浮体（２）：8.4mx3.0mx1.5m
乾舷高	0.30m（無載荷時）
上載荷重	1.5kN／m^2
対象船舶	救助艇（L5.74mxB2.03mxD1.10m）
床　版	ほうき目仕上げ
防　食	係留杭　：重防食被覆+塗装（CM-A） 電気防食（流電陽極方式） 開閉式屋根：塗装（CM-A）
付属物	開閉式屋根 防舷材D型100H、係船柱4基 固定スロープ、敷鉄板

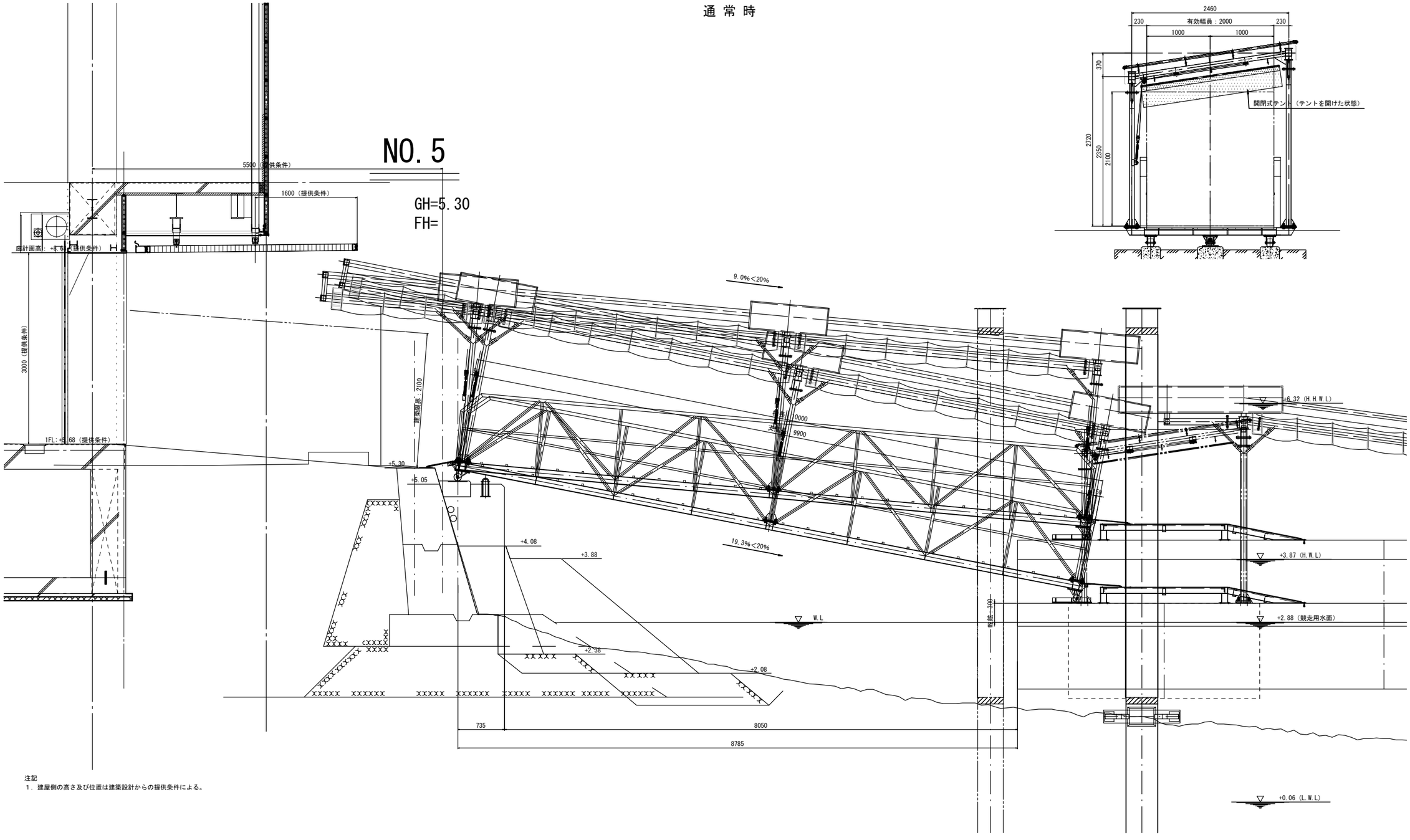
注記
1．橋台部の電線管移設工事は別途工事とする。（水域施設設計所掌外）

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮桟橋一般図		
縮　尺	1/120	図面番号	112
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その１）　　Ｓ＝１：６０

通 常 時



標準断面図　Ｓ＝１：６０

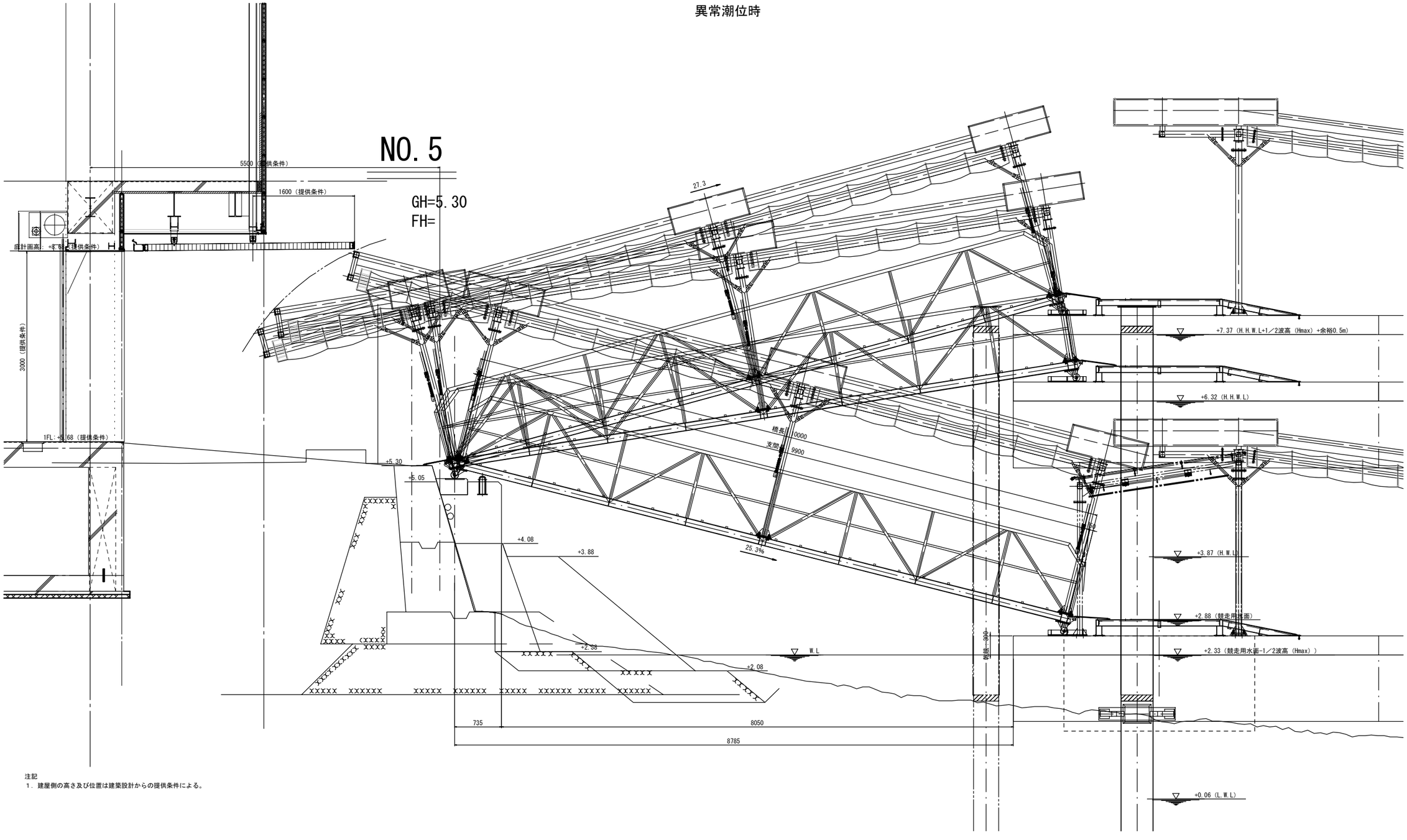
注記
１．建屋側の高さ及び位置は建築設計からの提供条件による。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その１）		
縮　尺	1/60	図面番号	113
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その２）　　Ｓ＝１：６０

異常潮位時



注記
1．建屋側の高さ及び位置は建築設計からの提供条件による。

原図:A3、単位：mm

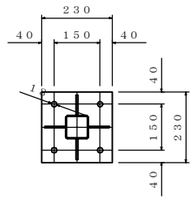
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その２）		
縮　尺	1/60	図面番号	114
下関市ボートレース企業局			

構造一般図　S＝１：８０

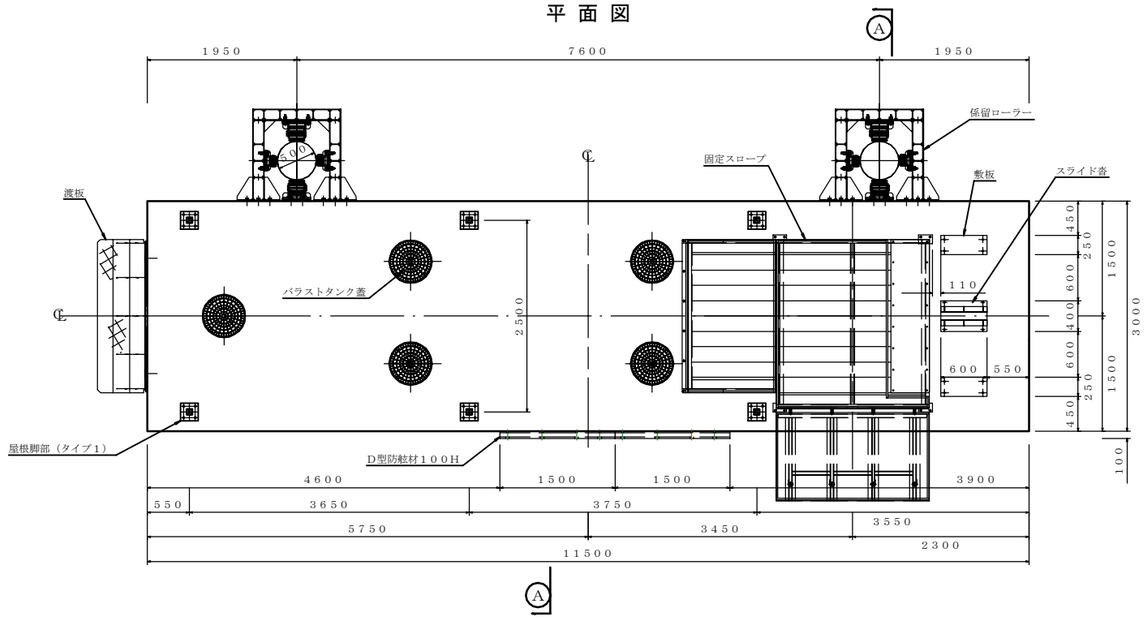
浮体（１）

屋根脚部アンカー位置詳細図　S＝１：２０

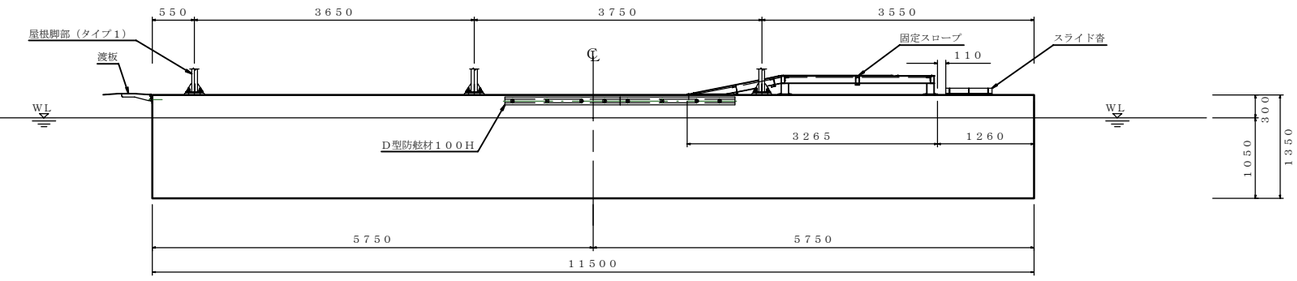
タイプ１



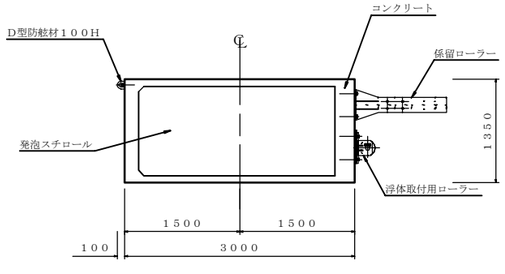
平 面 図



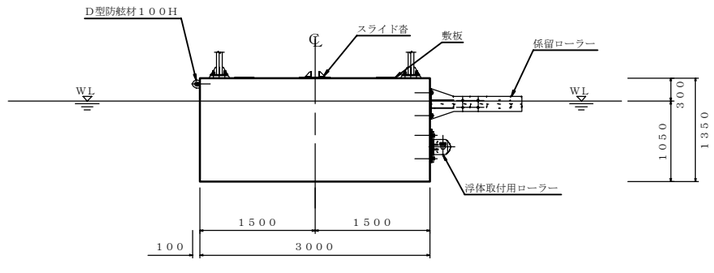
正 面 図



A-A



側 面 図



浮桟橋仕様　１１．５０＊３．００＊１．３５m

構造形式	モノコックタイプ、ＲＣ＋発泡スチロール
長さ	１１．５０m
幅	３．００m
高さ	１．３５m
乾舷	０．３０m（無載荷時）
重量	３３ｔ
コンクリート	σｃｋ＝３６Ｎ／mm²、膨張材含む
鉄筋	ＳＤ３４５
発泡スチロール	Ｄ－１２、難燃性
上載荷重	１．５ｋＮ／m²
対象船舶	–
床版上	ほうき目仕上げ（ハケ引き）

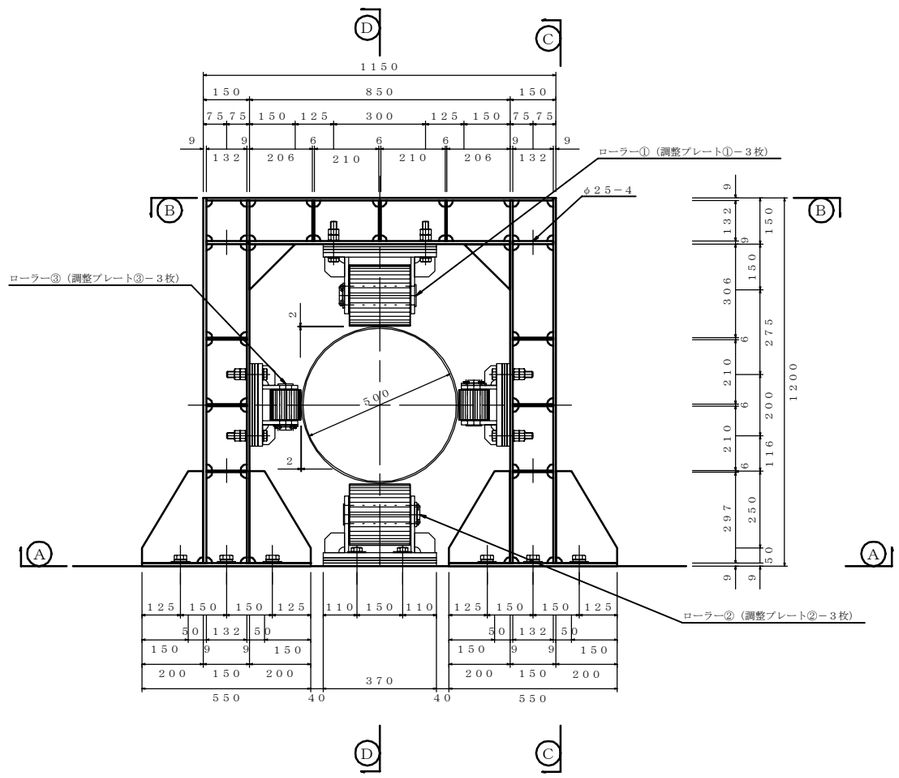
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	115
下関市ボートレース企業局			

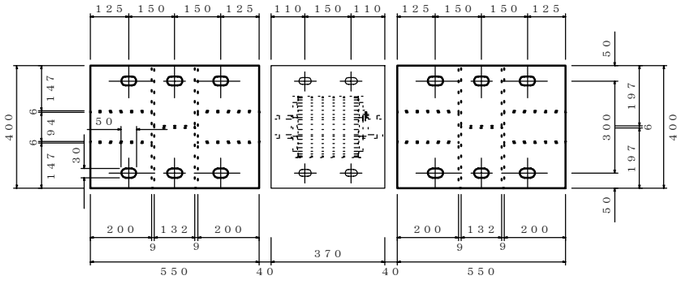
係留ガイド詳細図　　S＝1：20

浮体（1）

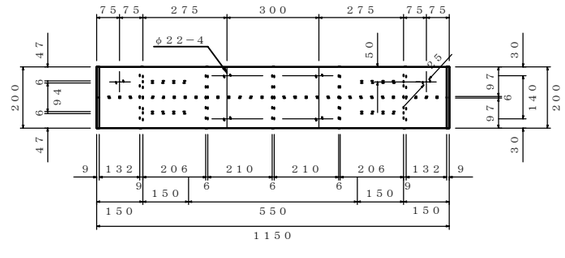
平 面 図



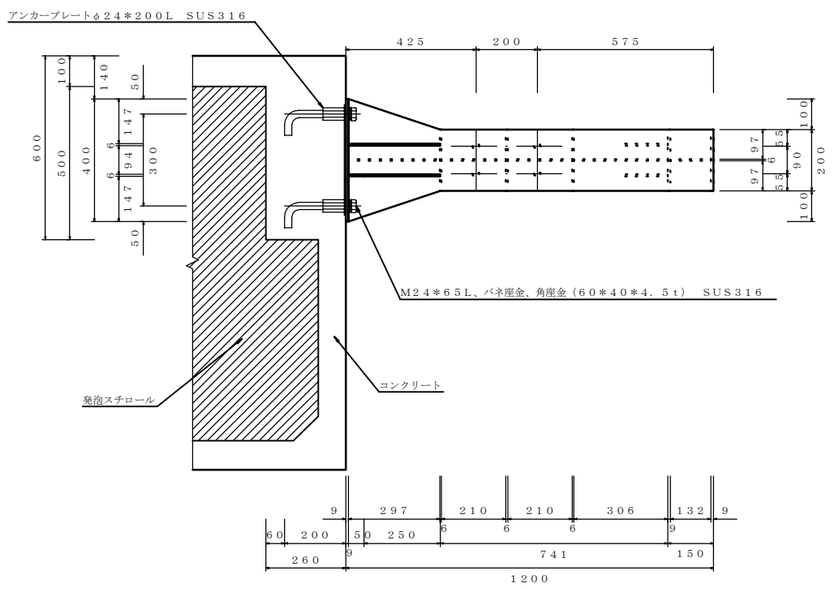
A-A



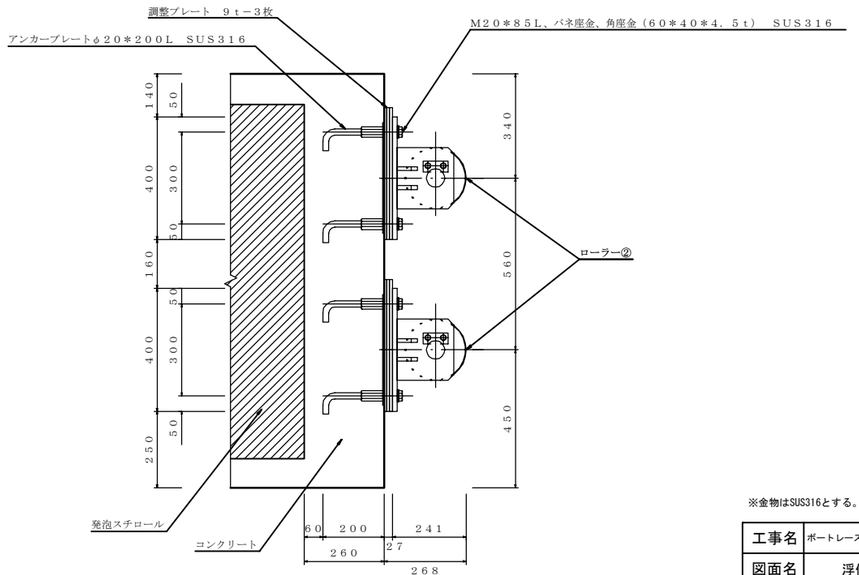
B-B



C-C



D-D



※金物はSUS316とする。

原図:A3、単位：mm

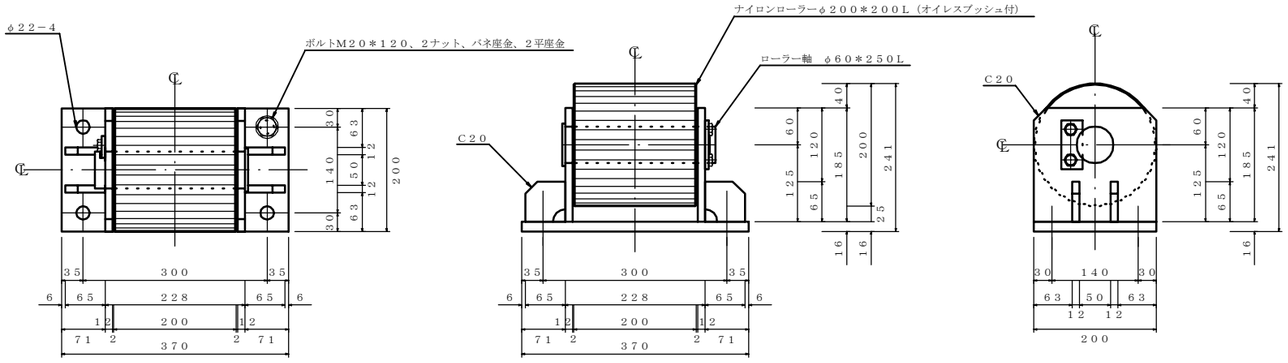
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)係留ガイド詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	116
下関市ボートレース企業局			

係留ローラー詳細図　　S＝1：10

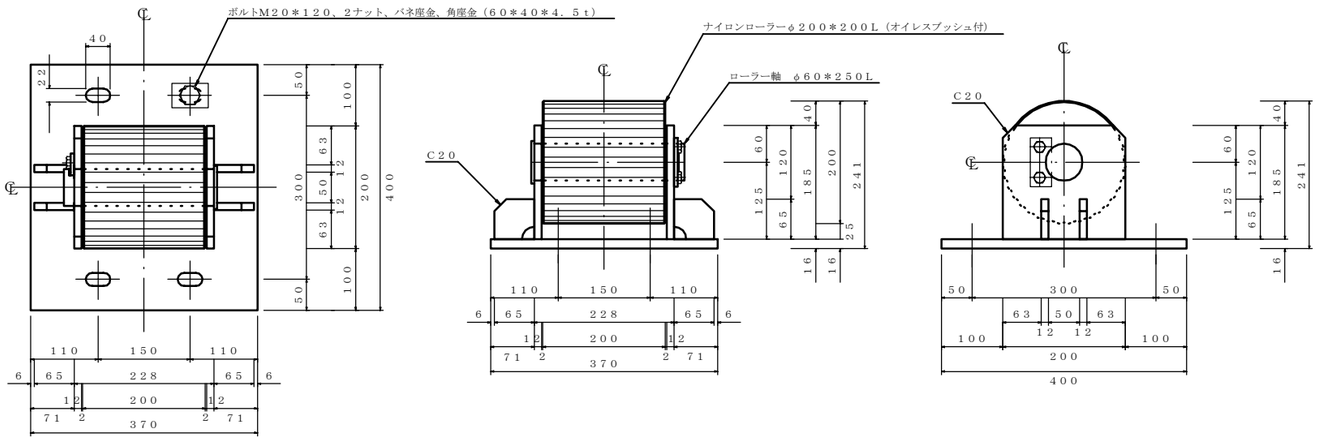
浮体（1）

ローラー詳細図

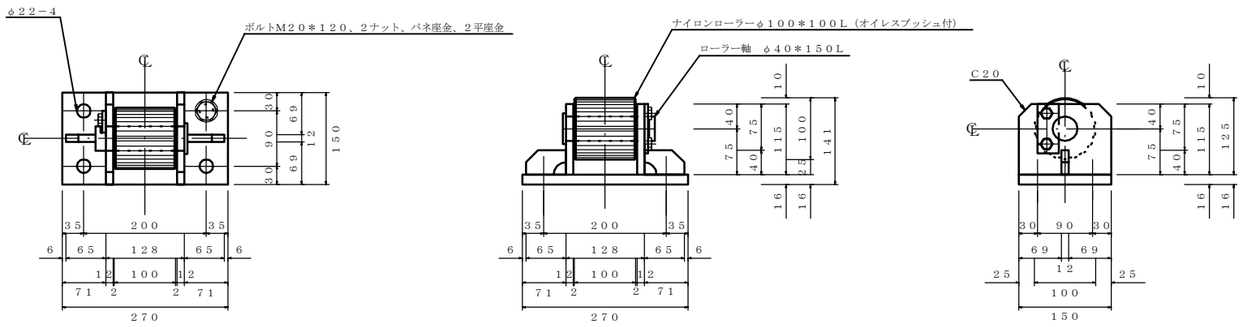
ローラー ①



ローラー ②

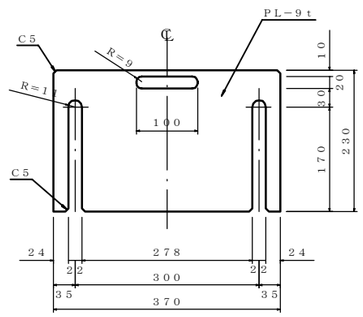


ローラー ③

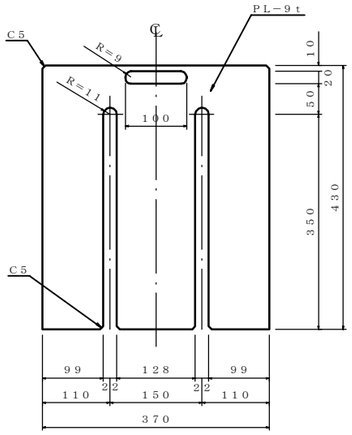


調整プレート詳細図

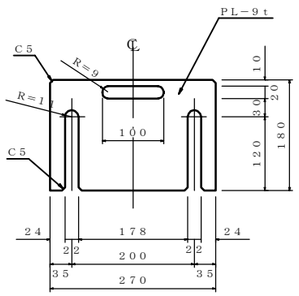
調整プレート ①



調整プレート ②

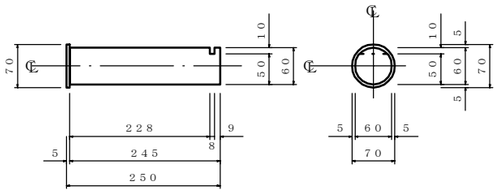


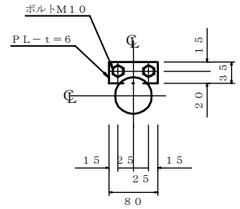
調整プレート ③



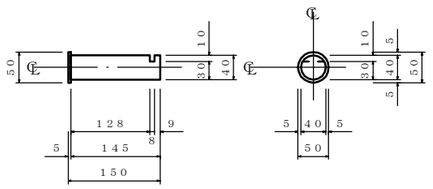
ローラー軸詳細図

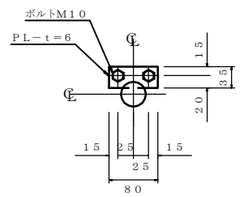
φ60＊250L





φ40＊150L





※金物はSUS316、ローラーはMCナイロンとする。

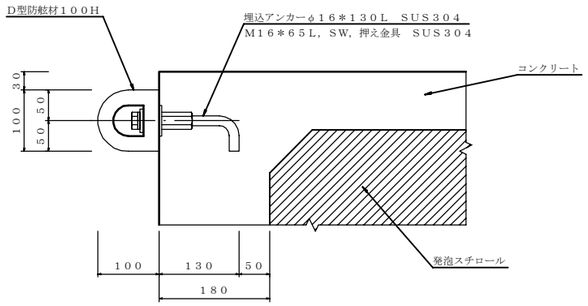
原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)係留ローラー詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	117
下関市ボートレース企業局			

防舷材詳細図　　S＝1：10

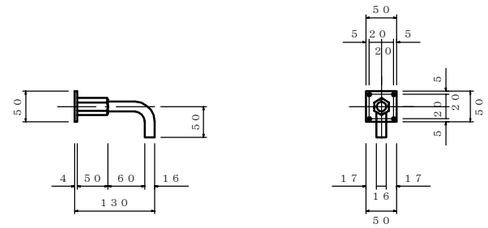
浮体（1）

D型防舷材取付図



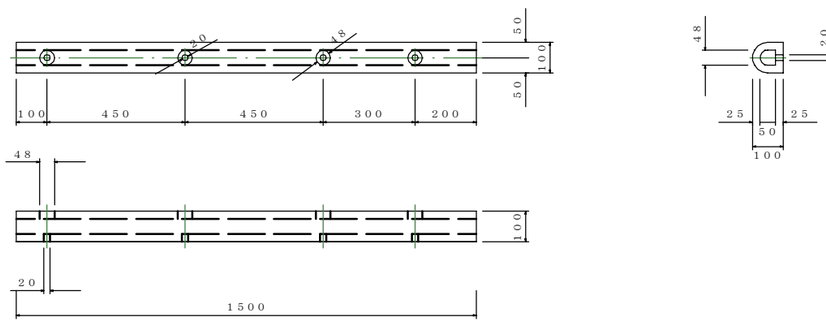
埋込アンカーφ１６詳細図（D型防舷材用）

(SUS304)



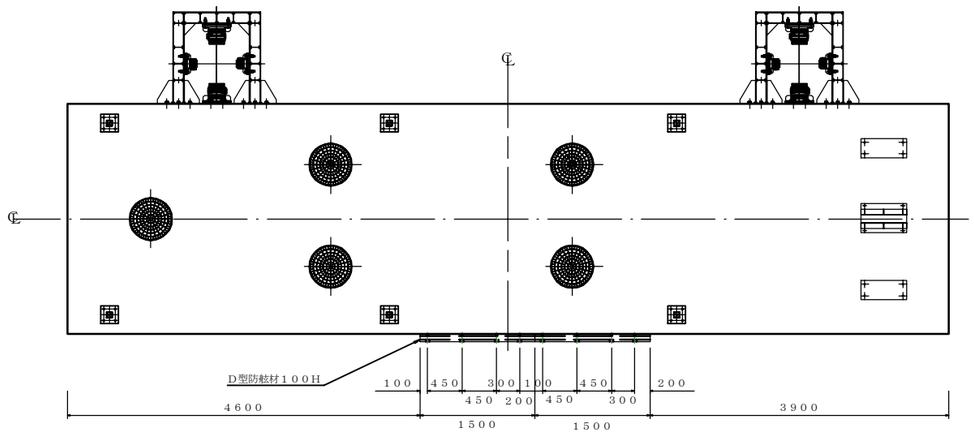
D型防舷材詳細図　　S＝1：20

（ゴム）



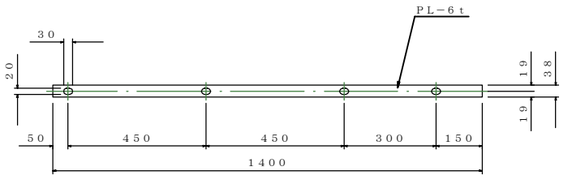
付属品配置図　　S＝1：80

D型防舷材



押え金具詳細図　　S＝1：20

(SUS304)



原図:A3、単位：mm

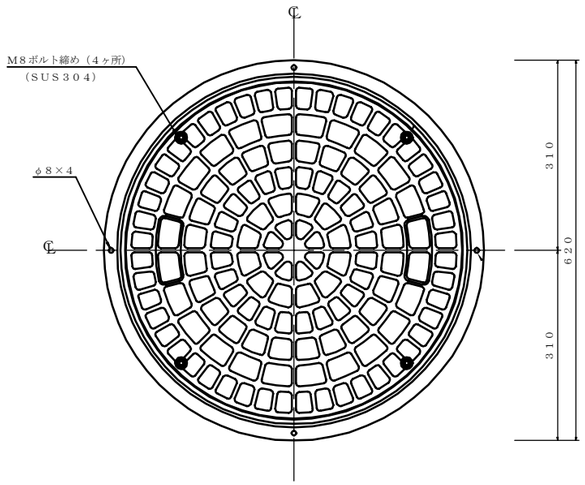
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)防舷材詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	118
下関市ボートレース企業局			

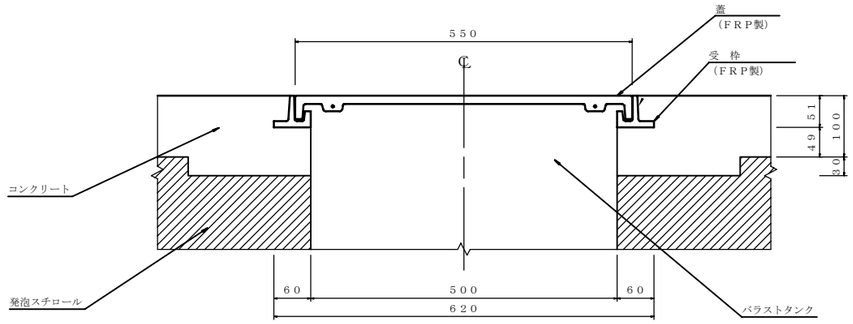
バラストタンク蓋及び敷板・スライド沓詳細図　　Ｓ＝１：１０

浮体（１）

バラストタンク蓋詳細図

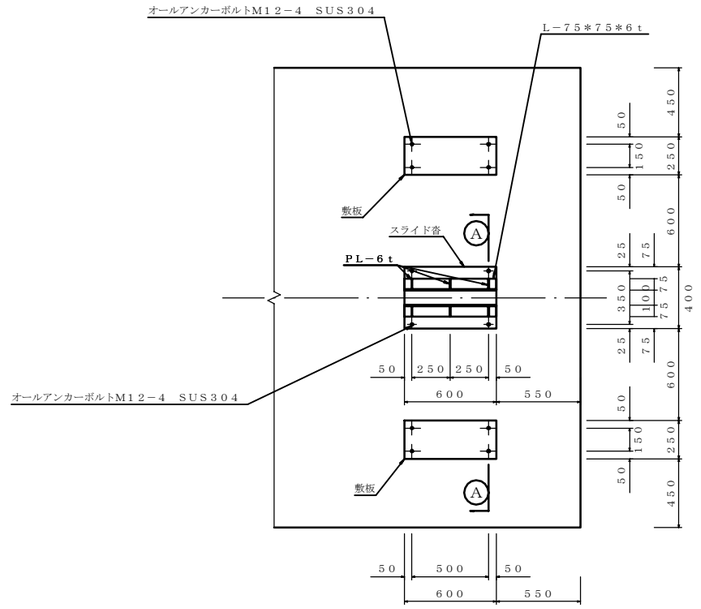
（FRP製）



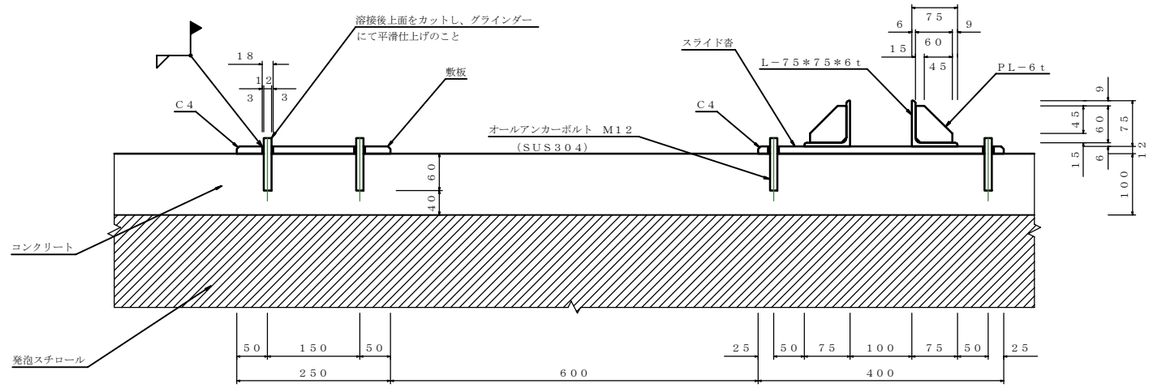


敷板・スライド沓取付詳細図　Ｓ＝１：４０

（SUS304）



A-A



原図:A3、単位：mm

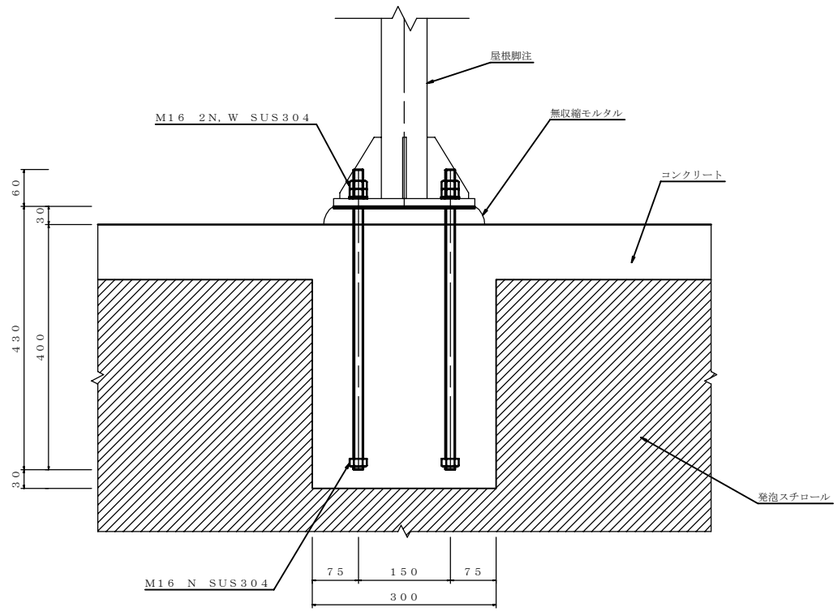
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)ﾊﾞﾗｽﾄﾀﾝｸ蓋及び敷板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	119
下関市ボートレース企業局			

屋根支柱基部詳細図　　S＝1：10

浮体（1）

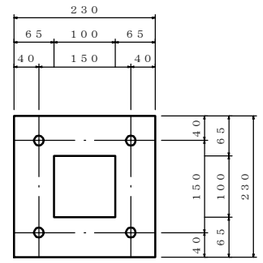
屋根柱用アンカープレート取付図

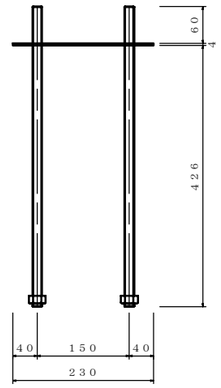
タイプ1



タイプ1

(SUS304)





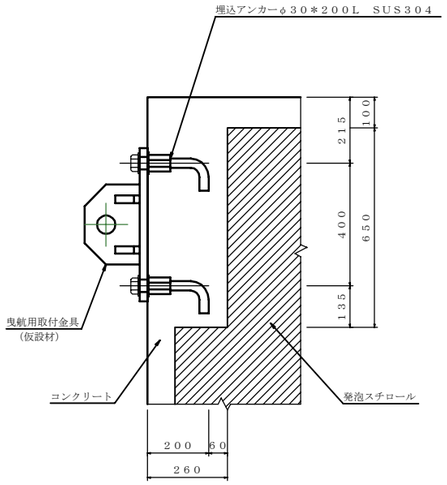
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)屋根支柱基部詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	120
下関市ボートレース企業局			

進水用金物詳細図　　S＝1：10

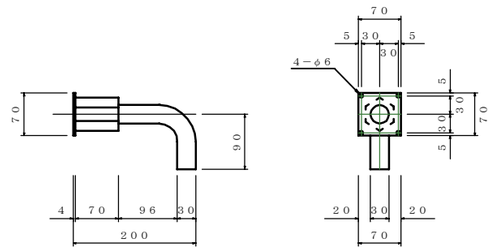
浮体（1）

進水用取付金具取付図　　S＝1：20

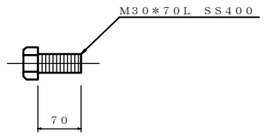


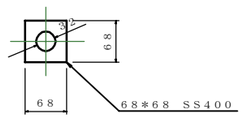
埋込アンカーφ30詳細図（進水用）

（SUS304）

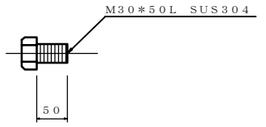


ボルト、角座金（M30）



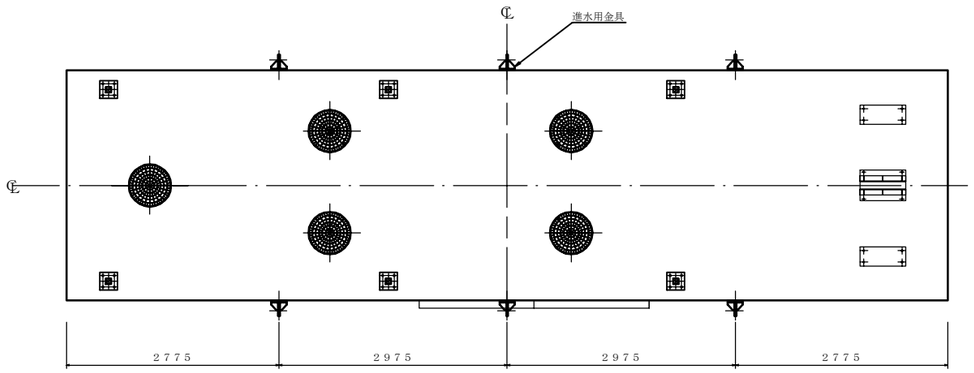


キャップ用ボルト（M30）



付属品配置図　S＝1：80

進水用金具



原図:A3、単位：mm

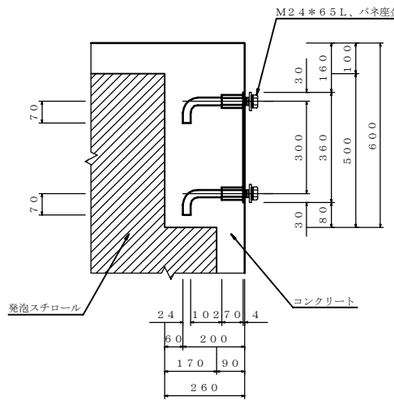
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)進水用金物詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	121
下関市ボートレース企業局			

アンカー金物詳細図　　Ｓ＝１：２０

浮体（１）

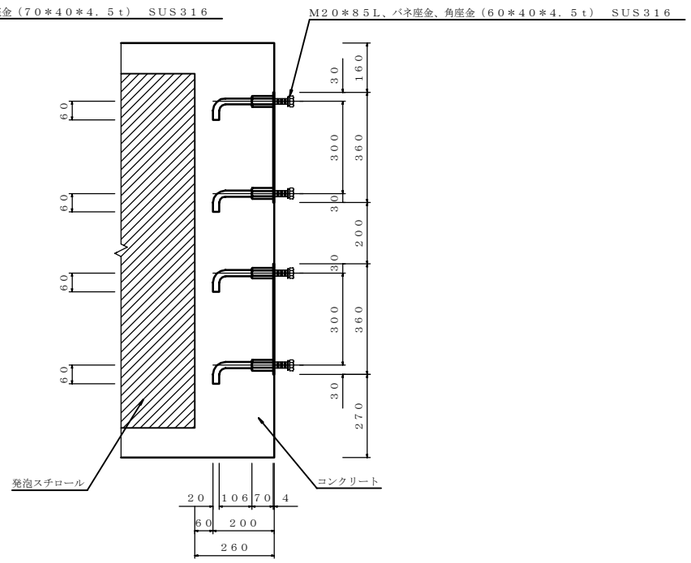
アンカープレートφ24取付詳細図

係留ローラー用

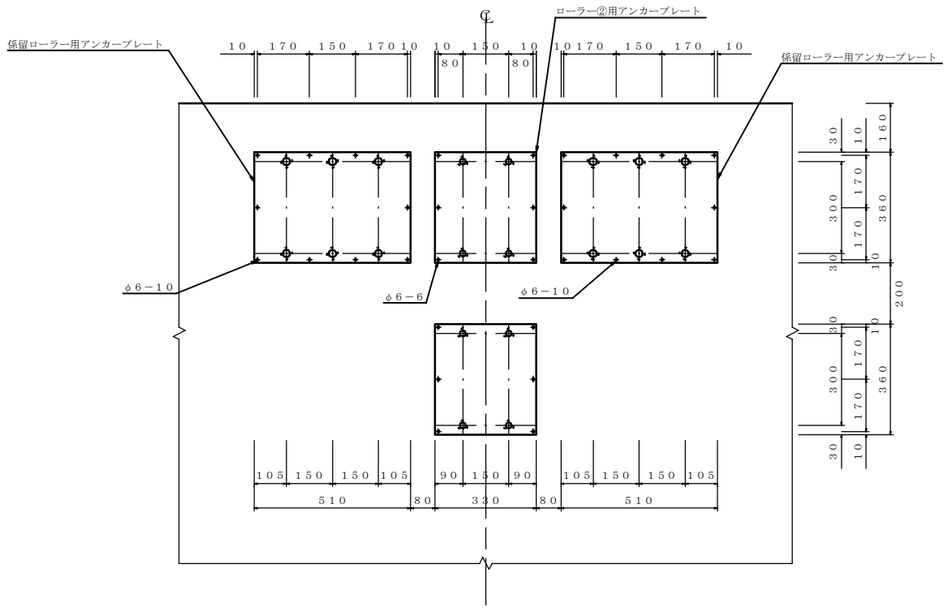


アンカープレートφ20取付詳細図

ローラー②用



正 面 図



※金物はSUS316とする。

原図:A3、単位：mm

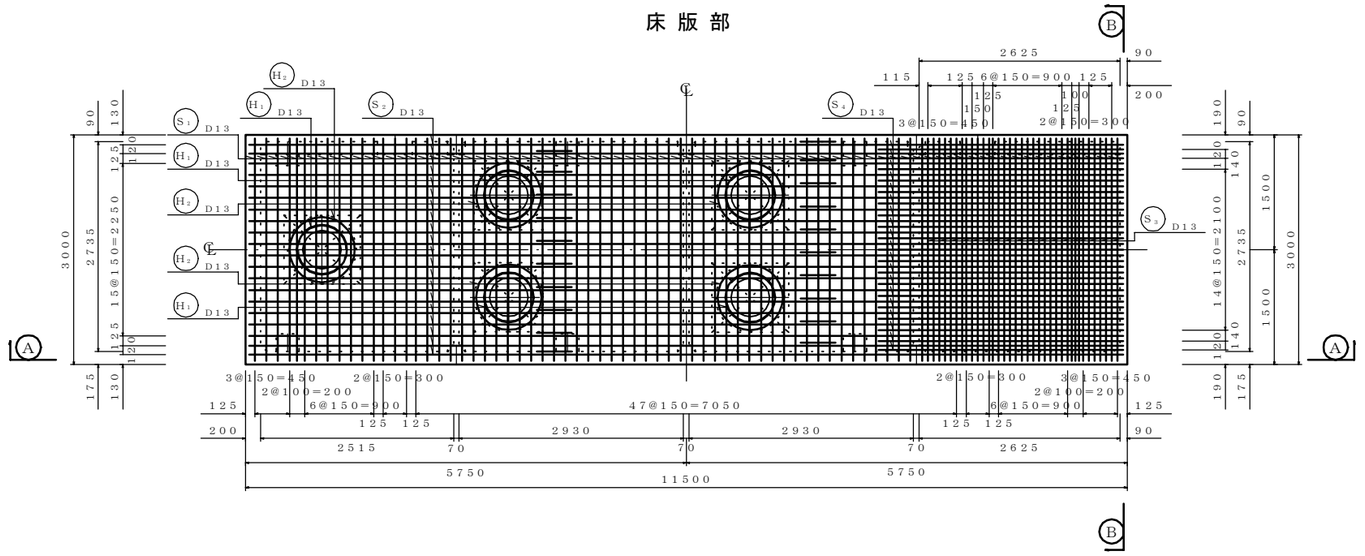
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)アンカー金物詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	122
下関市ボートレース企業局			

配筋図（その１）

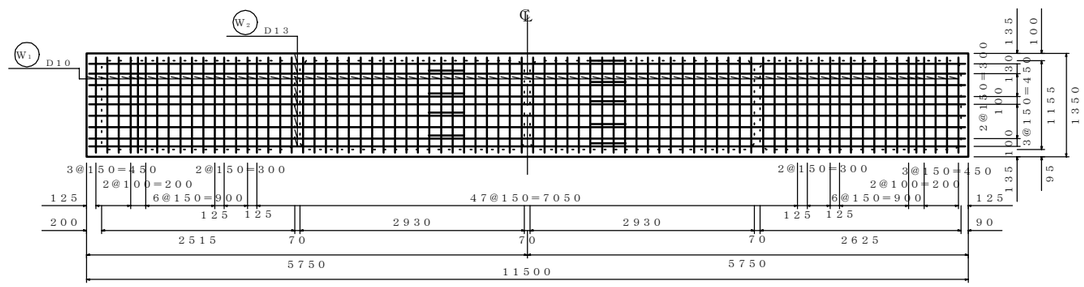
S＝１：８０

浮体（１）

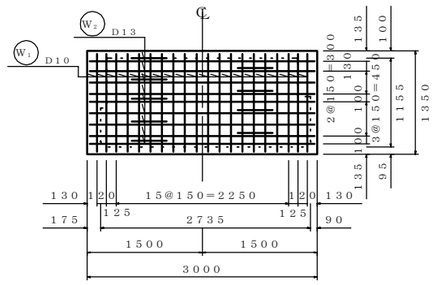
床 版 部



A-A



B-B



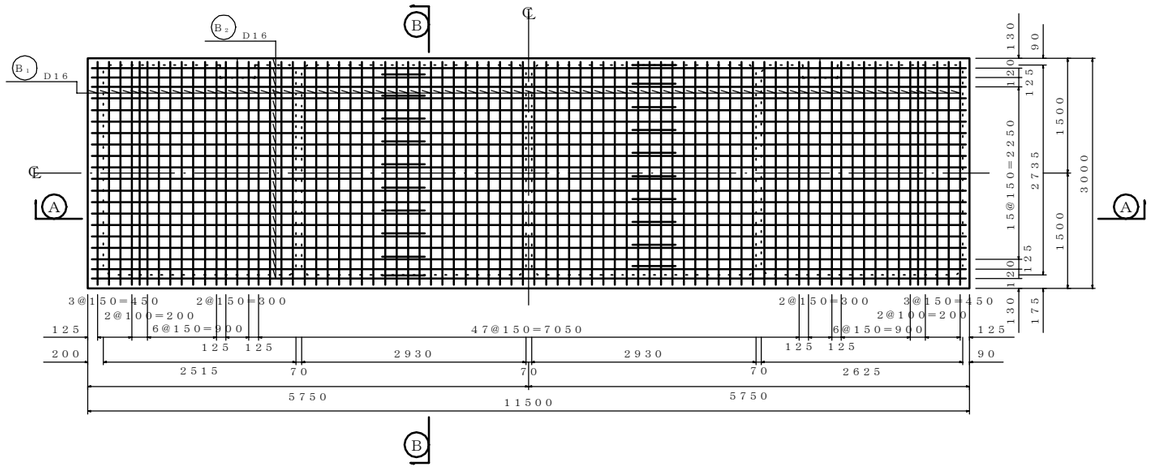
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)配筋図（その1）		
縮　尺	1/80	図面番号	123
下関市ボートレース企業局			

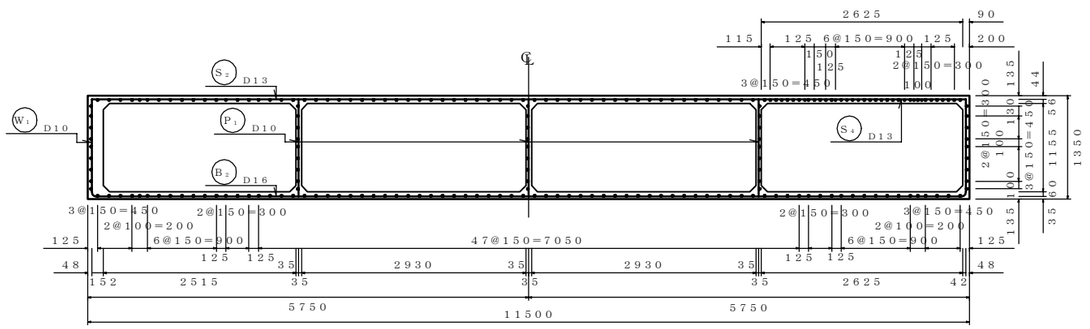
配筋図（その２）　S＝１：８０

浮体（１）

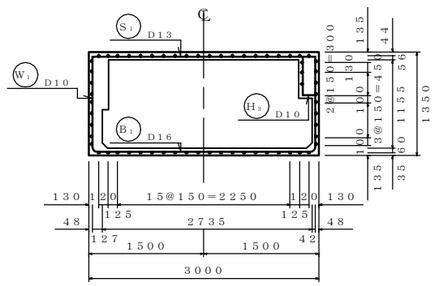
底 版 部



A-A



B-B



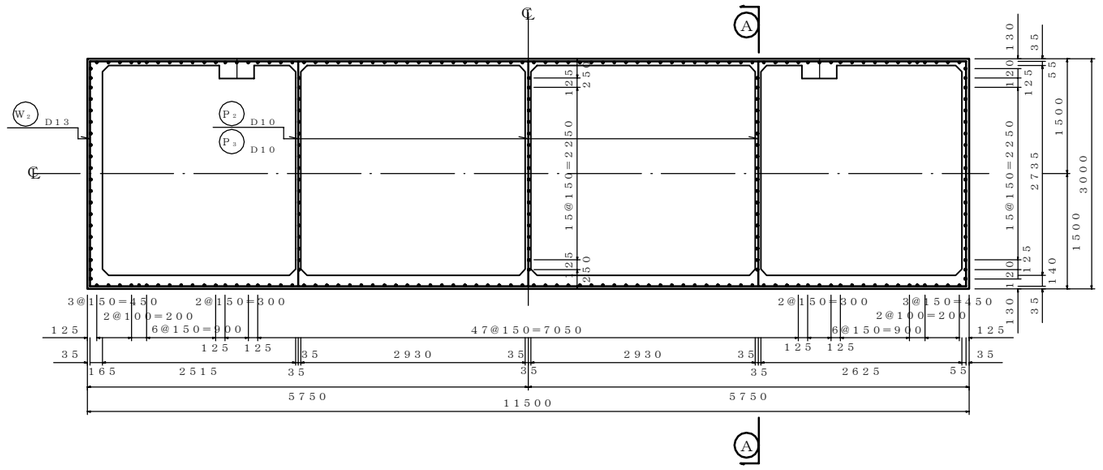
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)配筋図（その2）		
縮　尺	1/80	図面番号	124
下関市ボートレース企業局			

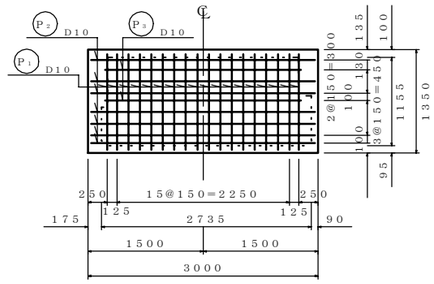
配筋図（その３）　S＝１：８０

浮体（１）

隔 壁 部



A-A



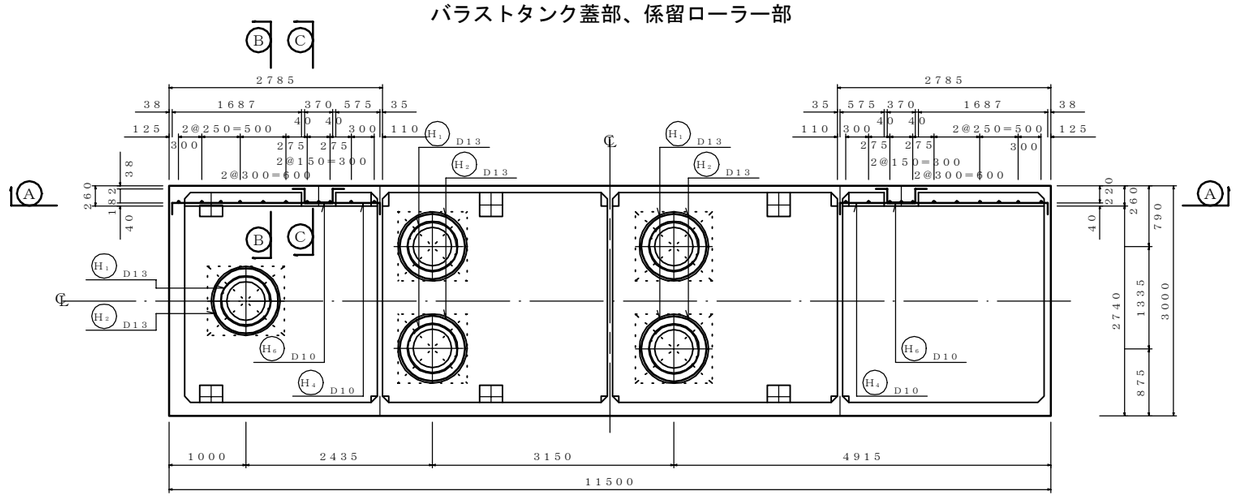
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)配筋図（その3）		
縮　尺	1/80	図面番号	125
下関市ボートレース企業局			

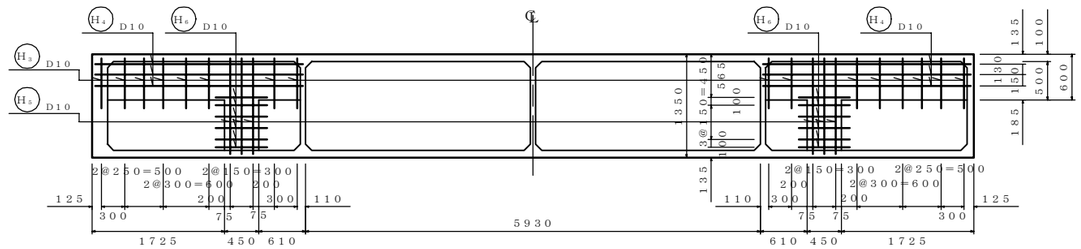
配筋図（その４）　S＝１：８０

浮体（１）

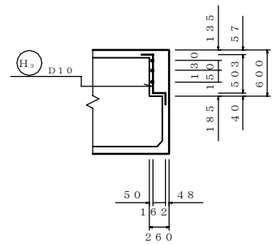
バラストタンク蓋部、係留ローラー部



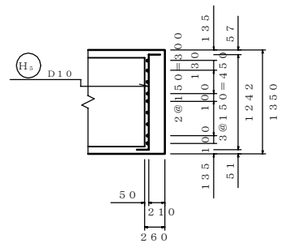
A-A



B-B



C-C



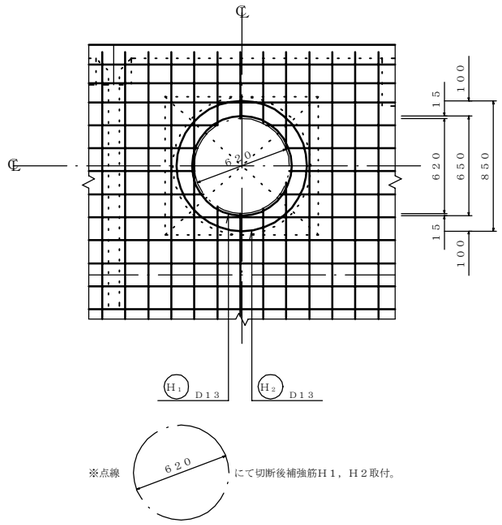
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)配筋図（その4）		
縮　尺	1/80	図面番号	126
下関市ボートレース企業局			

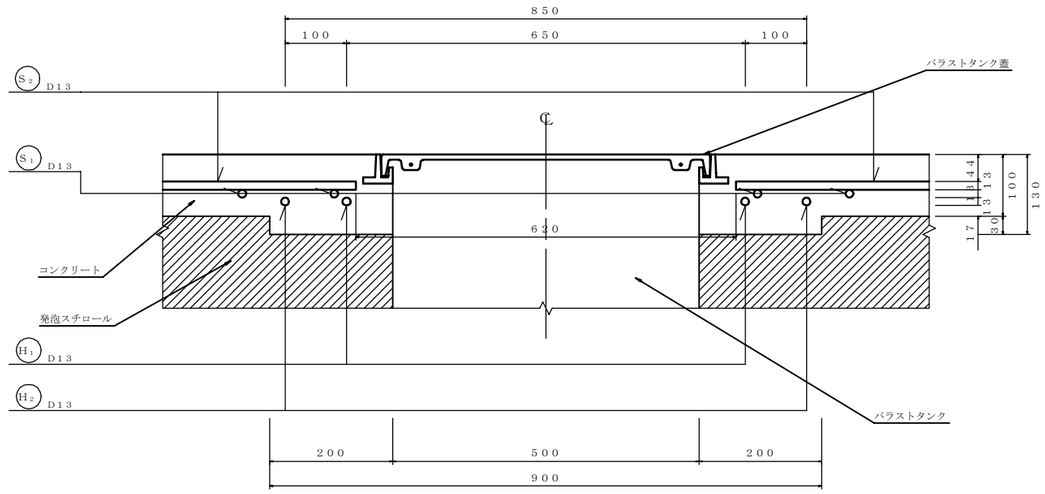
配筋図（その５）

浮体（１）

バラストタンク蓋部　　Ｓ＝１：４０



断面図　　Ｓ＝１：１０

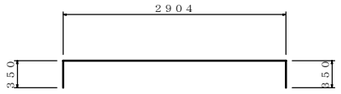


原図:A3、単位：㎜

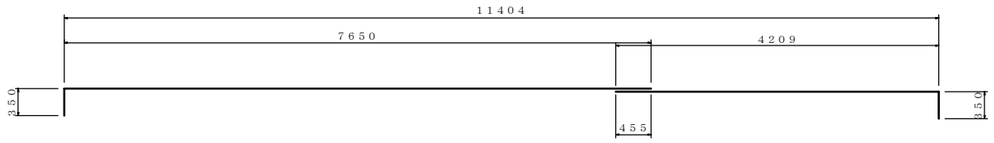
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)配筋図（その5）		
縮　尺	図示	図面番号	127
下関市ボートレース企業局			

鉄筋加工図（その１）　Ｓ＝１：８０

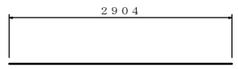
浮体（１）



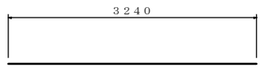
S_1　78−D13X3610



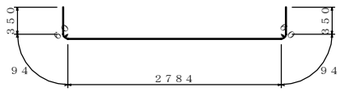
S_{2-1}　20−D13X8000　　S_{2-2}　20−D13X4560　　※交互配筋とする。



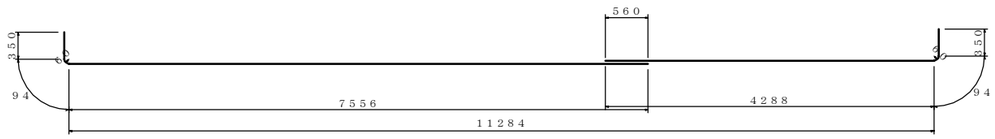
S_3　18−D13X2910



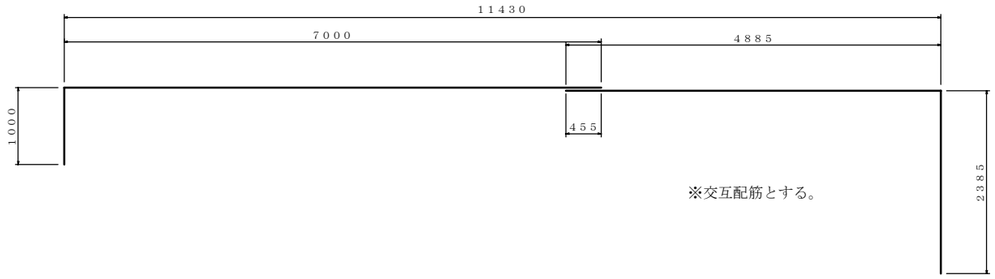
S_4　19−D13X3240



B_1　78−D16X3680



B_{2-1}　20−D16X8000　　B_{2-2}　20−D16X4740　　※交互配筋とする。

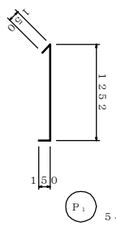


※交互配筋とする。

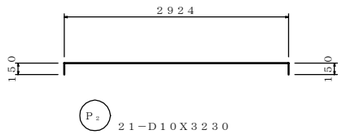


W_1　196−D10X1200

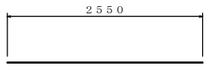
W_{2-1}　18−D13X8000　　W_{2-2}　18−D13X7270



P_1　54−D10X1560



P_2　21−D10X3230



P_3　6−D10X2550

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)鉄筋加工図（その1）		
縮　尺	1/80	図面番号	128
下関市ボートレース企業局			

鉄筋加工図（その２）　Ｓ＝１：８０

浮体（１）



２０４２



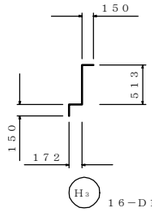
５−Ｄ１３Ｘ２０５０



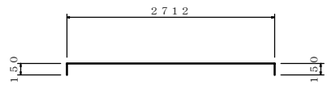
２６７０



５−Ｄ１３Ｘ２６７０

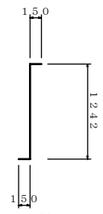


１６−Ｄ１０Ｘ９９０



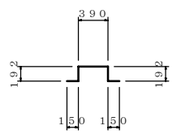


６−Ｄ１０Ｘ３０２０





６−Ｄ１０Ｘ１５５０





１２−Ｄ１０Ｘ１０８０

鉄筋重量表

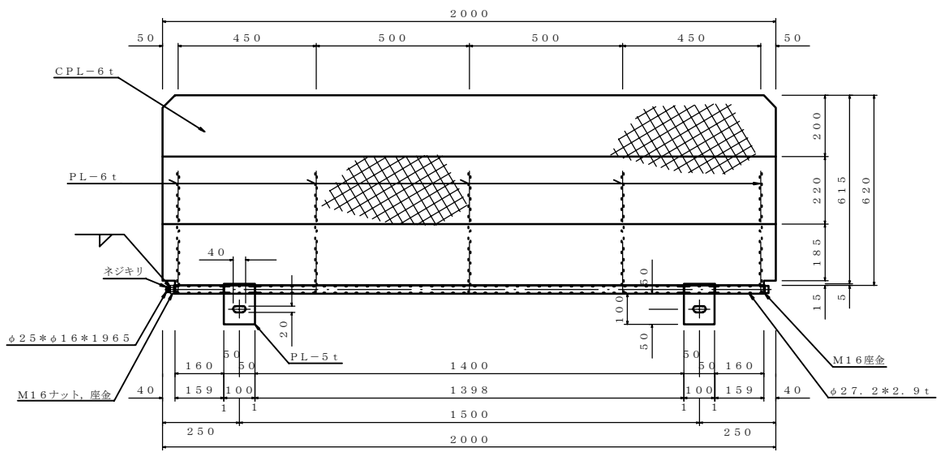
種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (ｋｇ／m)	１本当り重量 (ｋｇ)	重量 (ｋｇ)	摘要
W1	Ｄ１０	１２００	１９６	０．５６０	０．６７２	１３１．７１２	
W2−1	Ｄ１３	８０００	１８	０．９９５	７．９６０	１４３．２８０	
W2−2	〃	７２７０	１８	〃	７．２３４	１３０．２１２	
S1	Ｄ１３	３６１０	７８	０．９９５	３．５９２	２８０．１７６	
S2−1	〃	８０００	２０	〃	７．９６０	１５９．２００	
S2−2	〃	４５６０	２０	〃	４．５３７	９０．７４０	
S3	〃	２９１０	１８	〃	２．８９５	５２．１１０	
S4	〃	３２４０	１９	〃	３．２２４	６１．２５６	
P1	Ｄ１０	１５６０	５４	０．５６０	０．８７４	４７．１９６	
P2	〃	３２３０	２１	〃	１．８０９	３７．９８９	
P3	〃	２５５０	６	〃	１．４２８	８．５６８	
B1	Ｄ１６	３６８０	７８	１．５６	５．７４１	４４７．７９８	
B2−1	〃	８０００	２０	〃	１２．４８０	２４９．６００	
B2−2	〃	４７４０	２０	〃	７．３９４	１４７．８８０	
H1	Ｄ１３	２０５０	５	０．９９５	２．０４０	１０．２００	
H2	〃	２６７０	５	〃	２．６５７	１３．２８５	
H3	Ｄ１０	９９０	１６	０．５６０	０．５５４	８．８６４	
H4	〃	３０２０	６	〃	１．６９１	１０．１４６	
H5	〃	１５５０	６	〃	０．８６８	５．２０８	
H6	〃	１０８０	１２	〃	０．６０５	７．２６０	
				エポキシ樹脂塗装　SD３４５	Ｄ１０	２５６．９４３ｋｇ	
				エポキシ樹脂塗装　SD３４５	Ｄ１３	９４０．４５９ｋｇ	
				エポキシ樹脂塗装　SD３４５	Ｄ１６	８４５．２７８ｋｇ	
					合計	２０４２．６８０ｋｇ	

原図:A3、単位：mm

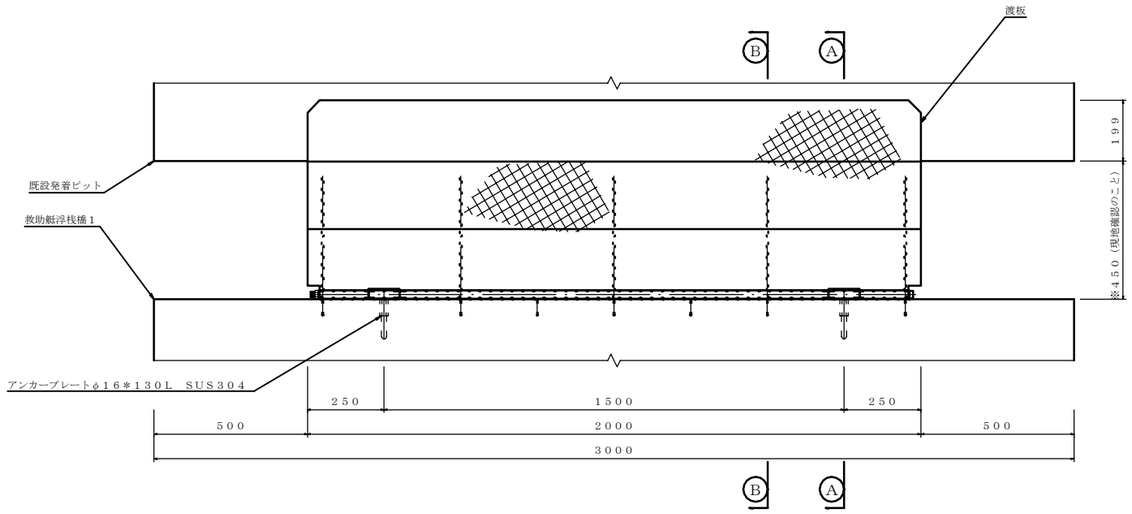
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)鉄筋加工図（その2）		
縮　尺	1/80	図面番号	129
下関市ボートレース企業局			

渡板詳細図

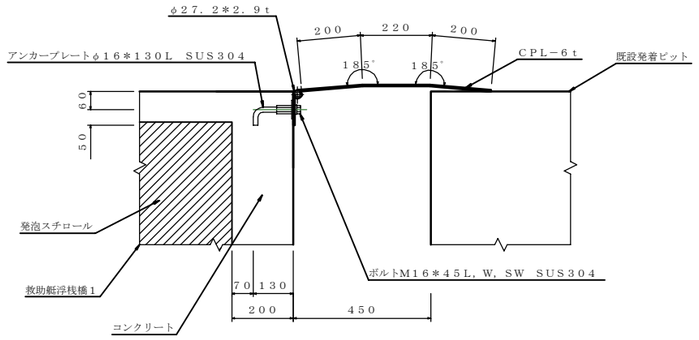
渡板詳細　S＝1：20



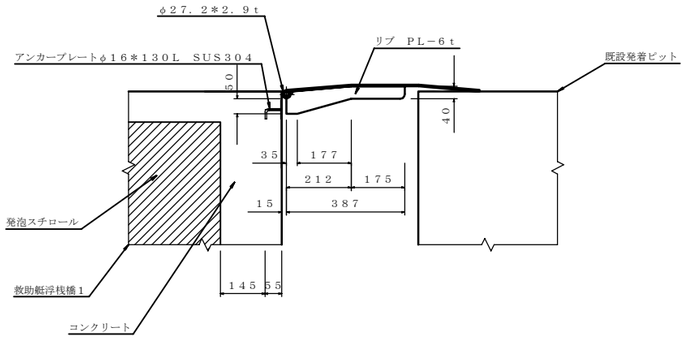
渡板取付図　S＝1：20



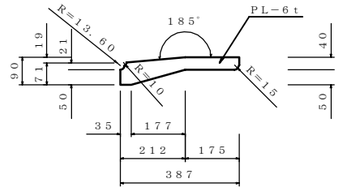
A-A



B-B

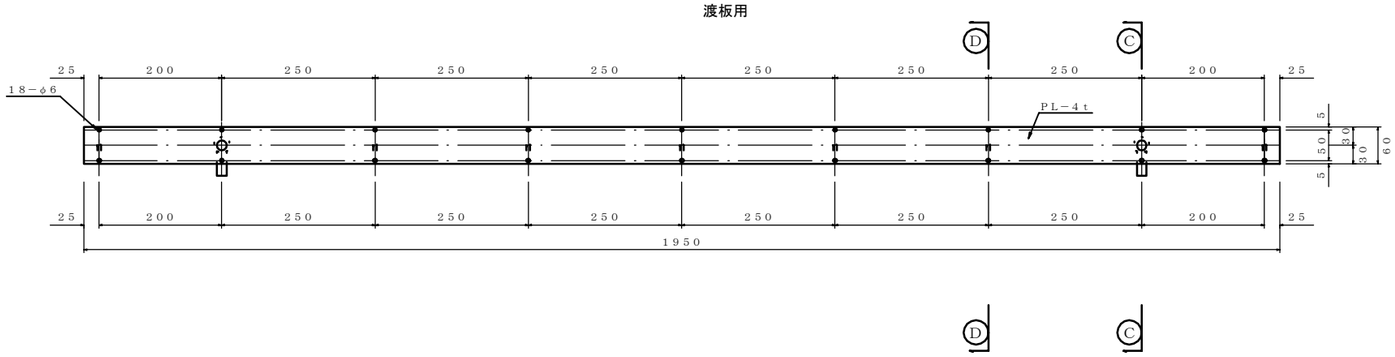


リブ詳細図

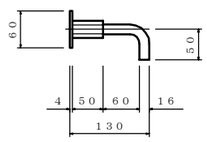


アンカープレートφ16詳細図　S＝1：10

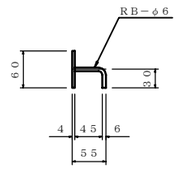
渡板用



C-C



D-D



原図:A3、単位：mm

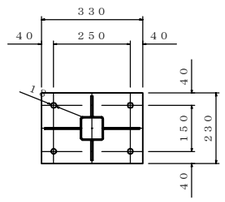
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)渡板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	130
下関市ボートレース企業局			

構造一般図　Ｓ＝１：８０

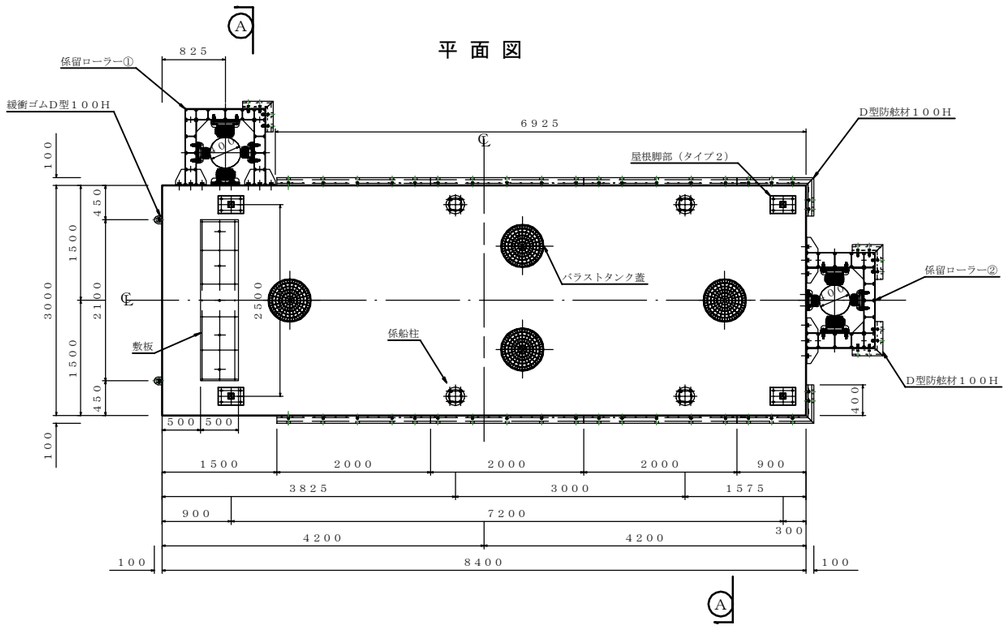
浮体（２）

屋根脚部アンカー位置詳細図　Ｓ＝１：２０

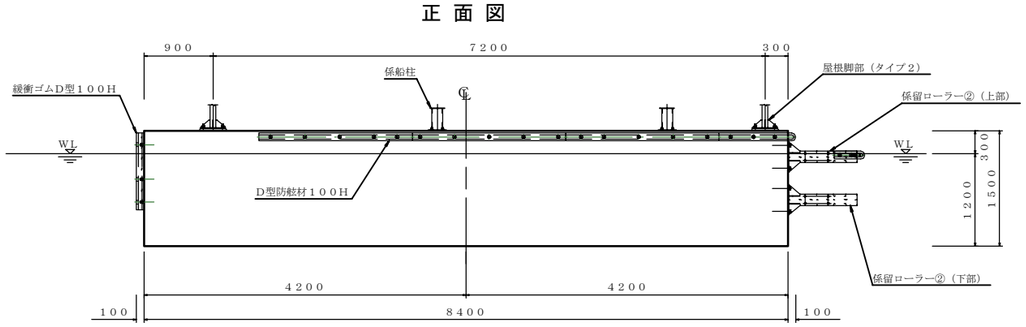
タイプ２



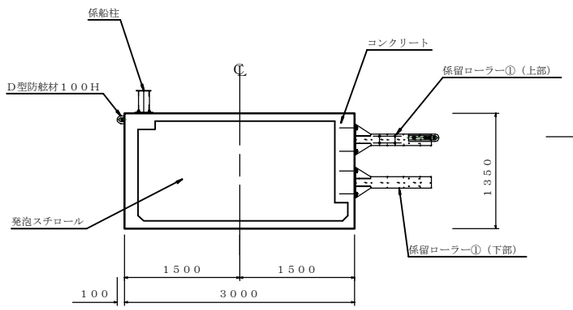
平 面 図



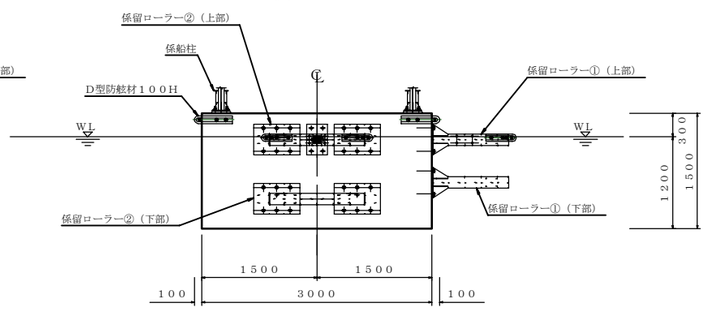
正 面 図



A-A



側 面 図



浮桟橋仕様　８．４０＊３．００＊１．５０ｍ

構造形式	モノコックタイプ、ＲＣ＋発泡スチロール
長さ	８．４０ｍ
幅	３．００ｍ
高さ	１．５０ｍ
乾舷	０．３０ｍ（無載荷時）
重量	２８ｔ
コンクリート	σｃｋ＝３６Ｎ／ｍｍ²、膨張材含む
鉄筋	ＳＤ３４５
発泡スチロール	Ｄ－１２、難燃性
上載荷重	１．５ｋＮ／㎡
対象船舶	－
床版上	ほうき目仕上げ（ハケ引き）

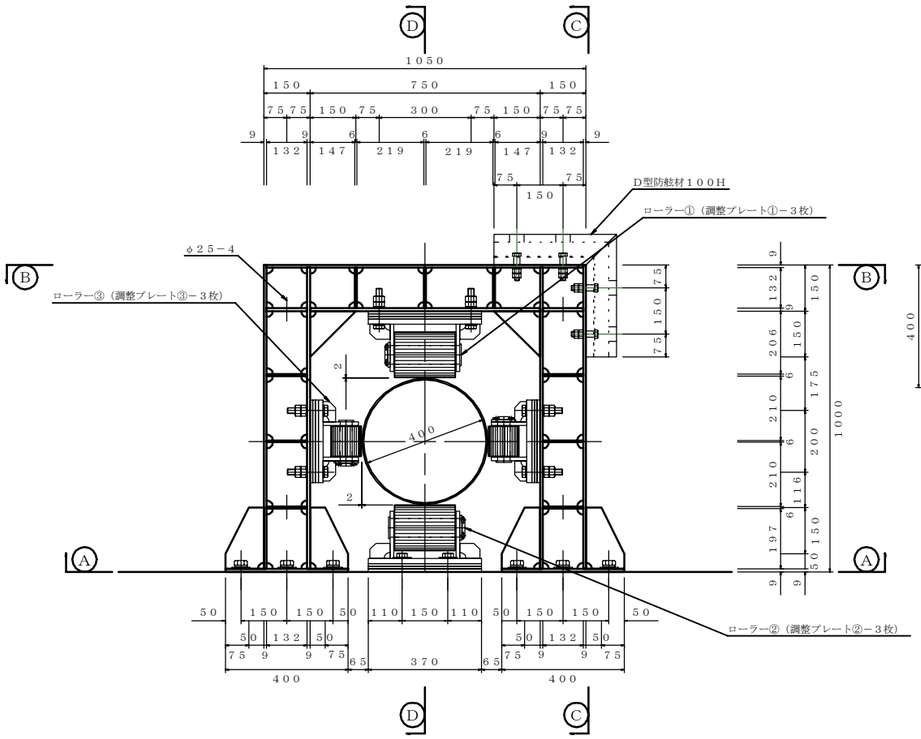
原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	131
下関市ボートレース企業局			

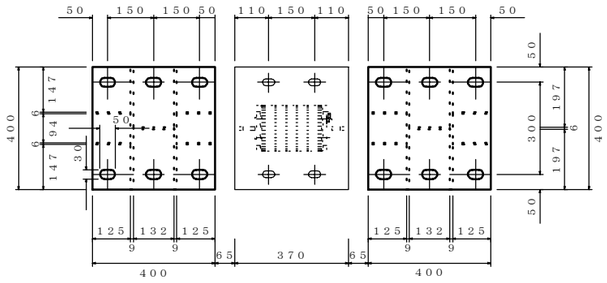
係留ガイド詳細図（その１）　S＝１：２０

浮体（２）

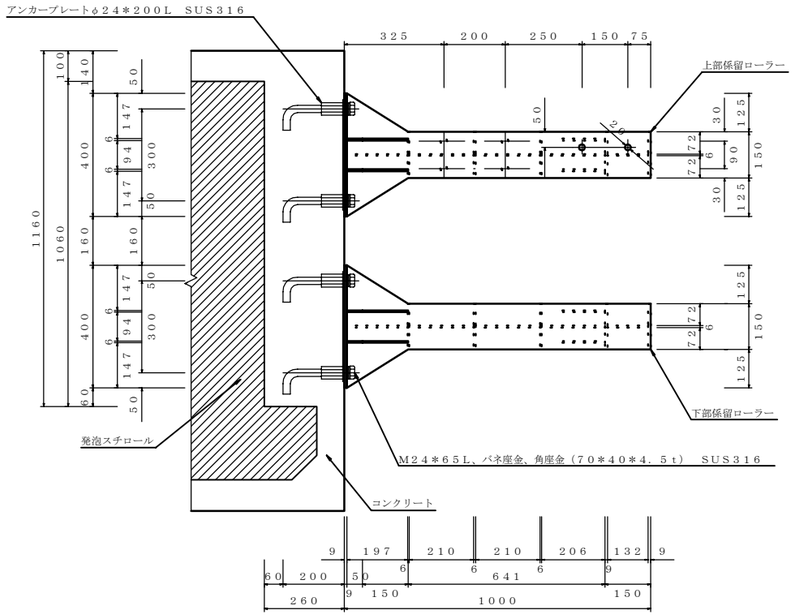
平 面 図



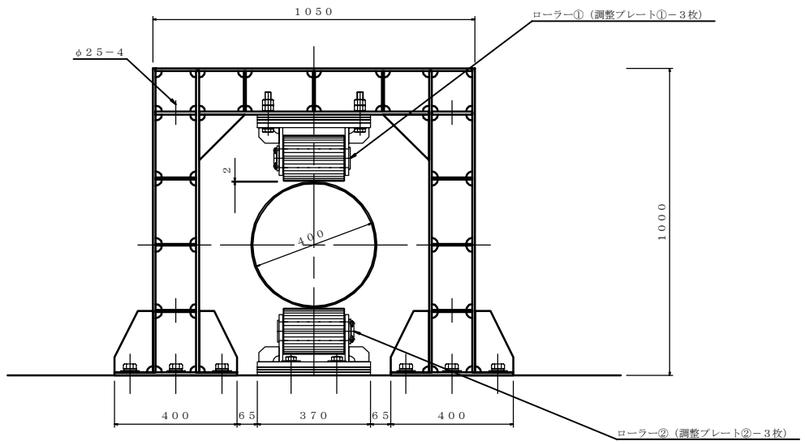
A-A



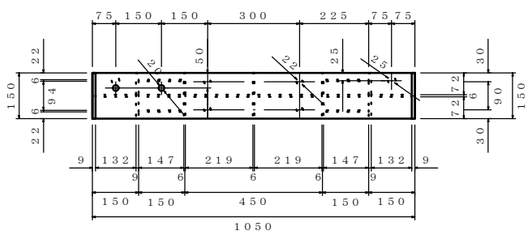
C-C



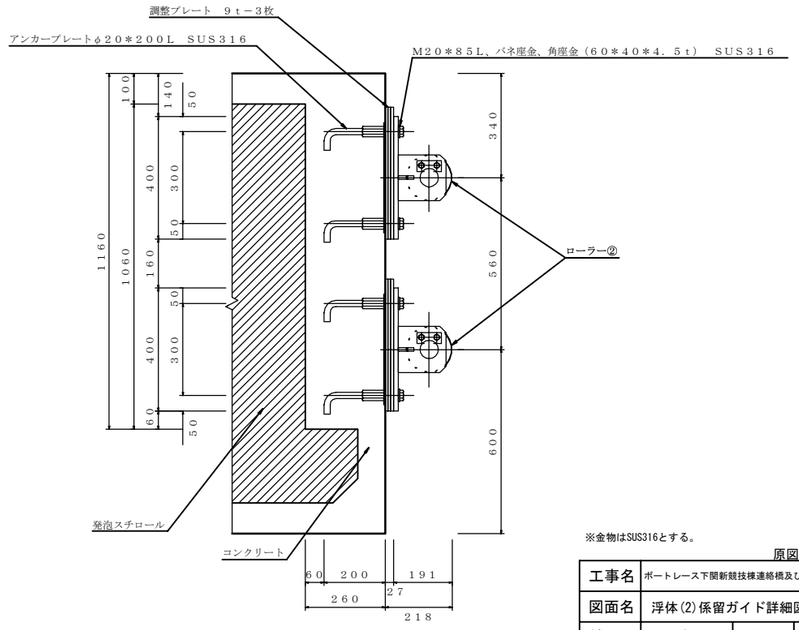
下 部



B-B



D-D



※係留ローラー①は長辺方向側壁に取付ける。

※下部係留ローラーには防舷材取付用孔、ローラー③取付用孔は設けない。

※金物はSUS316とする。

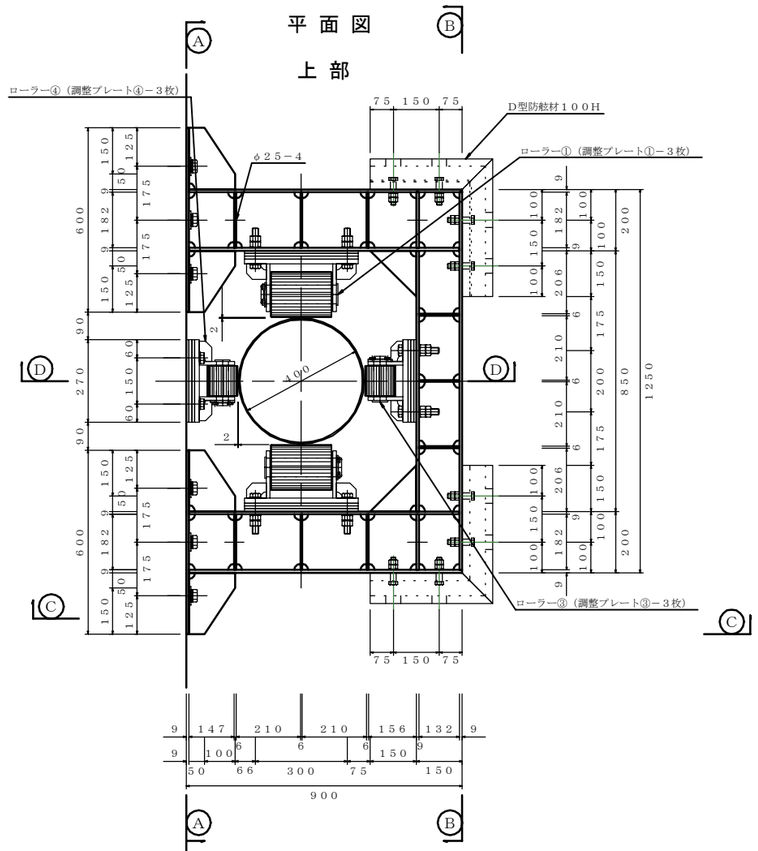
原図:A3、単位：mm

工事名	ポートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)係留ガイド詳細図（その1）		
縮　尺	1/20	図面番号	132
下関市ボートレース企業局			

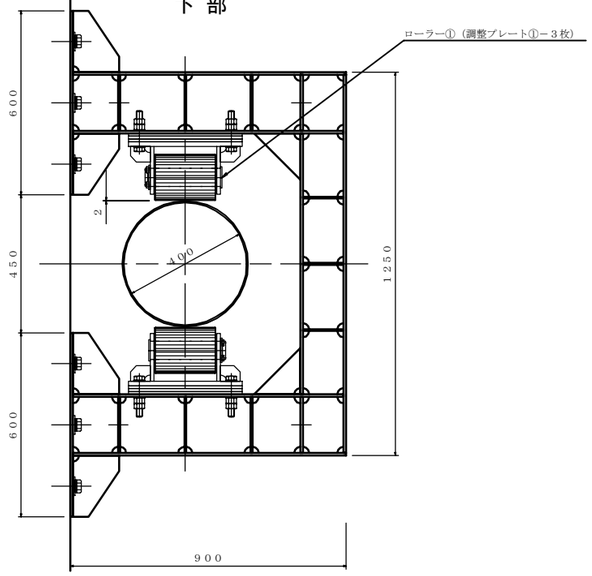
係留ガイド詳細図（その２） Ｓ＝１：２０

浮体（２）

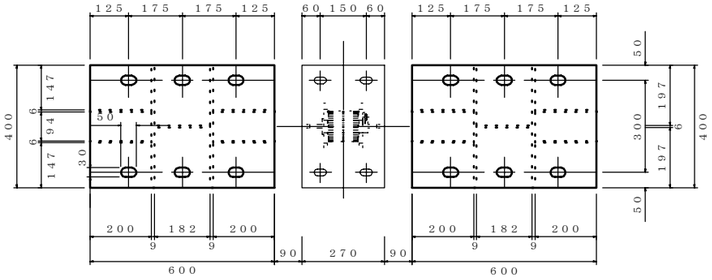
平 面 図



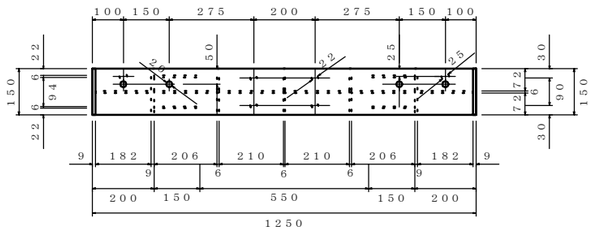
下 部



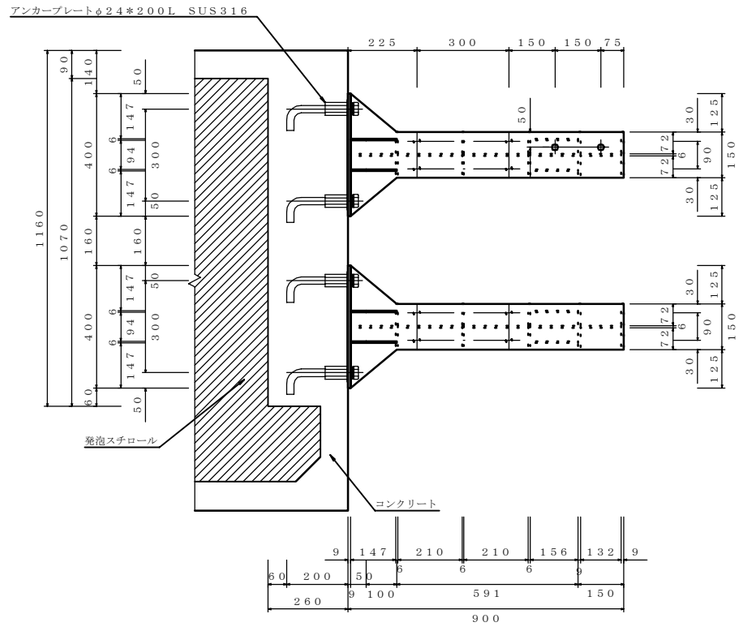
A-A



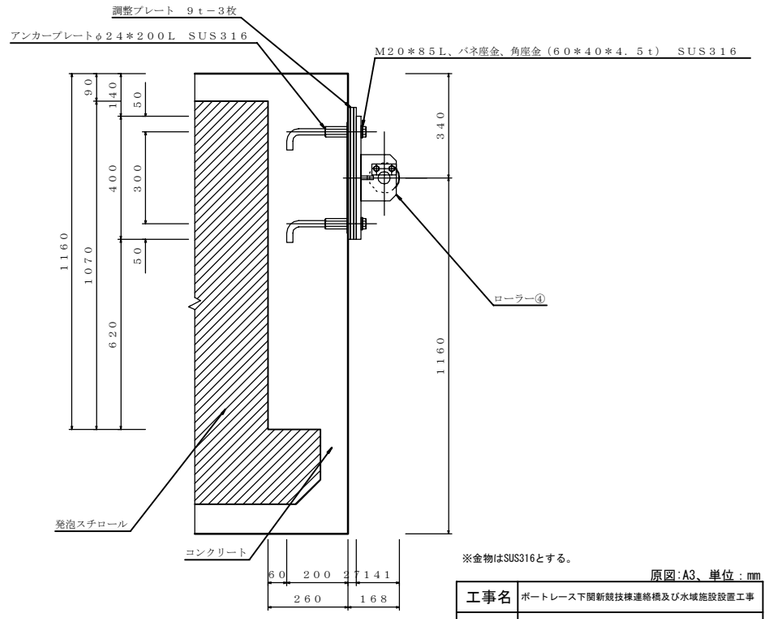
B-B



C-C



D-D



※係留ローラー②は短辺方向側壁に取付ける。

※下部係留ローラーには防舷材取付用孔、ローラー③取付用孔は設けない。

※金物はSUS316とする。

原図:A3、単位：mm

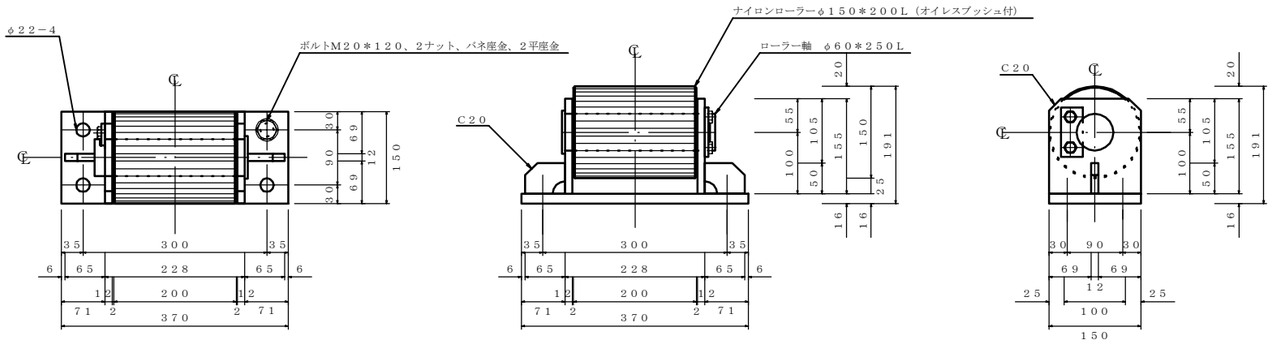
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)係留ガイド詳細図（その2）		
縮 尺	1/20	図面番号	133
下関市ボートレース企業局			

係留ローラー詳細図（その１）　　Ｓ＝１：１０

浮体（２）

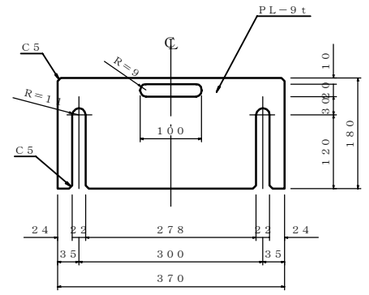
ローラー詳細図

ローラー ①



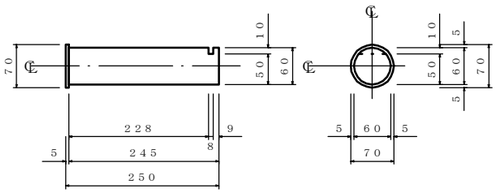
調整プレート詳細図

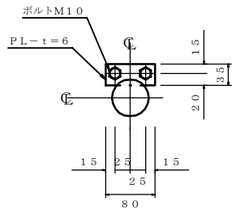
調整プレート ①



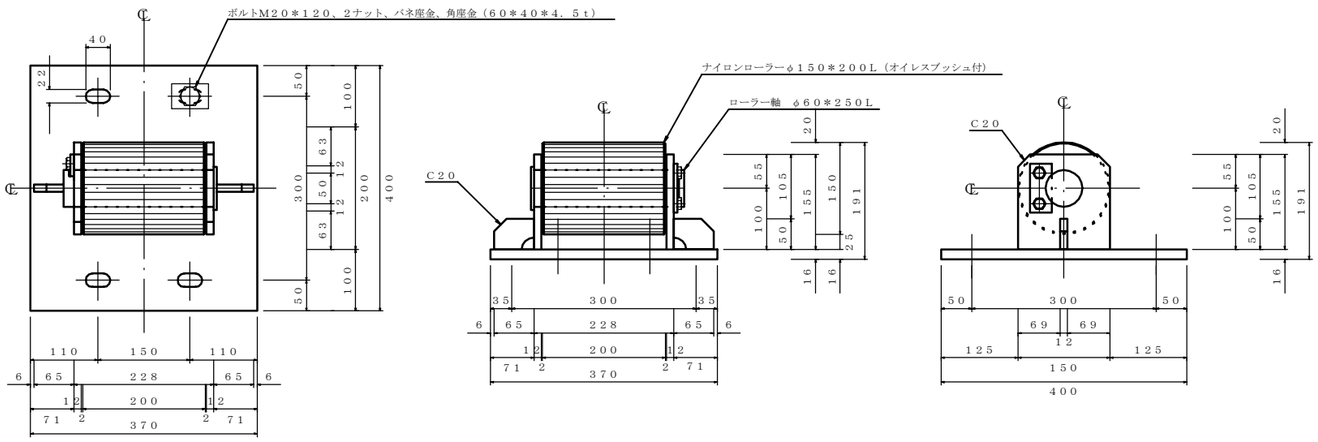
ローラー軸詳細図

φ６０＊２５０Ｌ

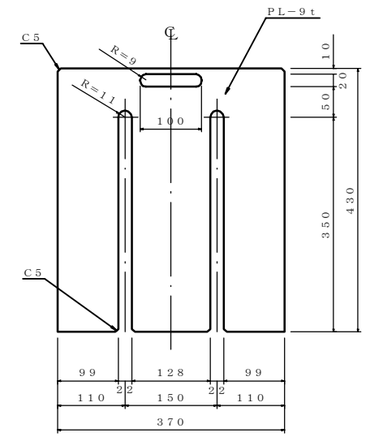




ローラー ②



調整プレート ②



※金物はSUS316、ローラーはMCナイロンとする。

原図:A3、単位：mm

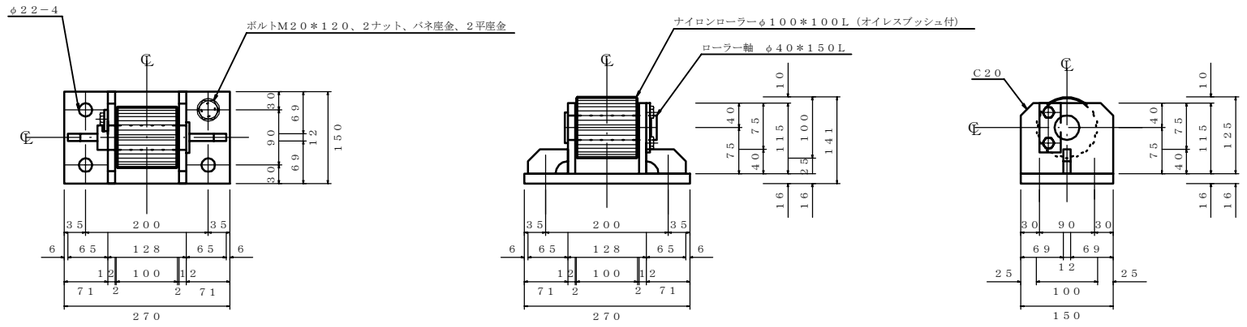
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)係留ローラー詳細図（その1）		
縮　尺	1/10	図面番号	134
下関市ボートレース企業局			

係留ローラー詳細図（その２）　　Ｓ＝１：１０

浮体（２）

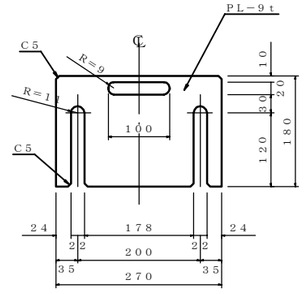
ローラー詳細図

ローラー ③



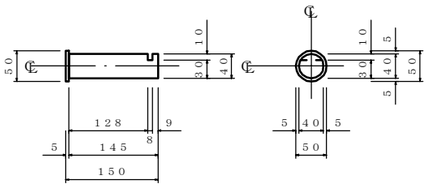
調整プレート詳細図

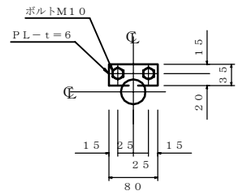
調整プレート ③



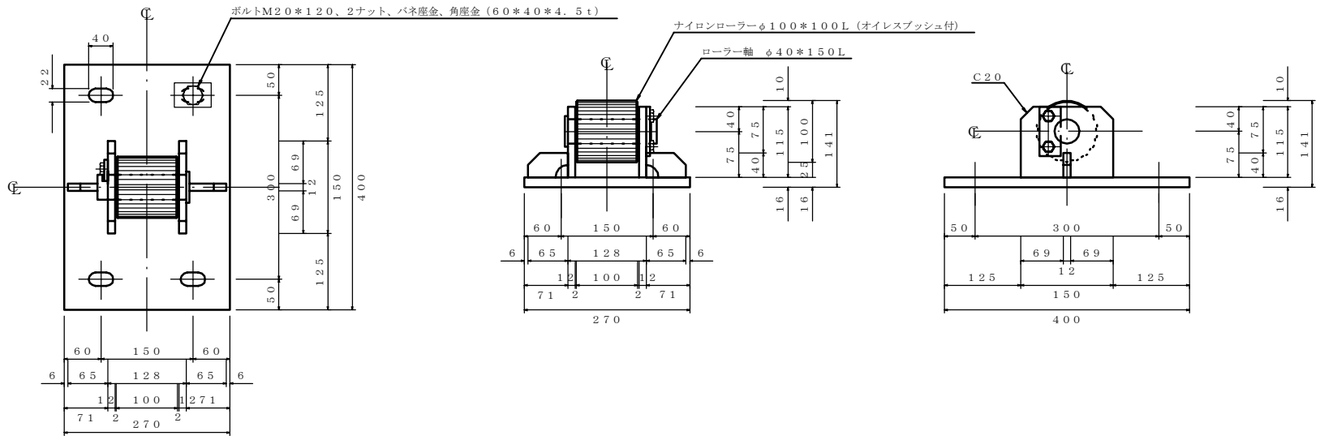
ローラー軸詳細図

φ４０＊１５０Ｌ

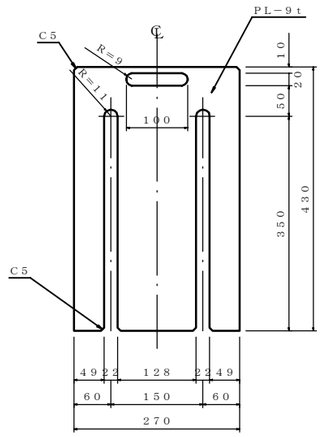




ローラー ④



調整プレート ④



※金物はSUS316、ローラーはMCナイロンとする。

原図:A3、単位：mm

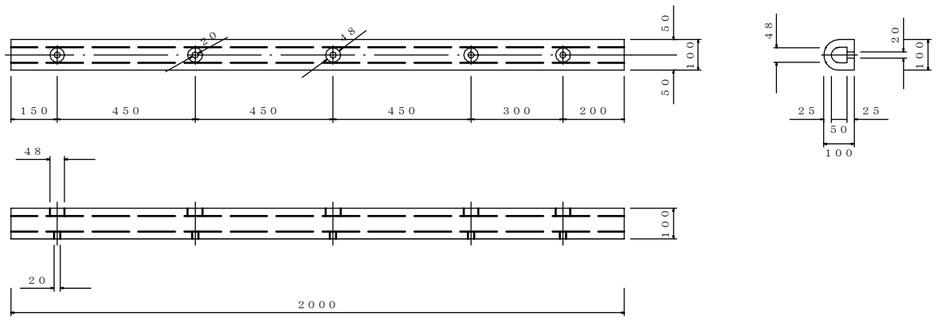
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)係留ローラー詳細図（その2）		
縮　尺	1/10	図面番号	135
下関市ボートレース企業局			

防舷材詳細図（その１） Ｓ＝１：２０

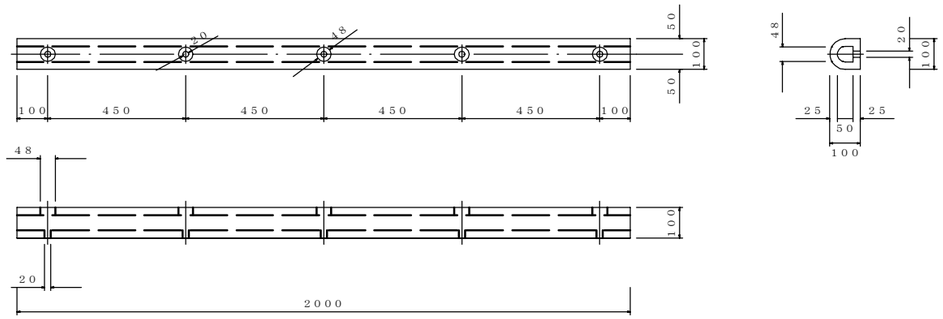
浮体（２）

D型防舷材取付図（ゴム）

Ｌ＝２０００ ①



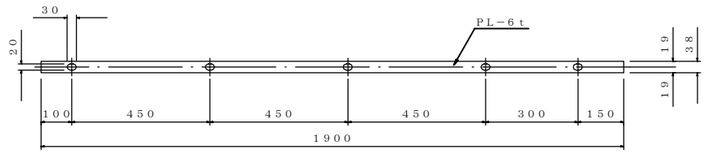
Ｌ＝２０００ ②



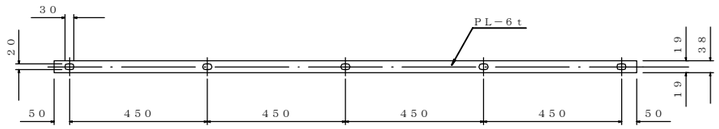
埋込アンカーφ１６詳細図（D型防舷材用）

(SUS304)

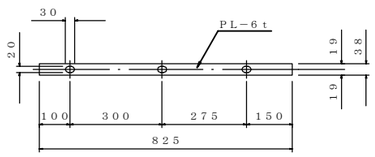
Ｌ＝２０００ ①用



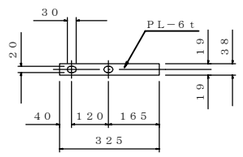
Ｌ＝２０００ ②用



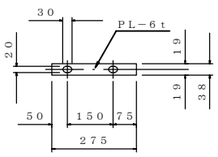
Ｌ＝９００用



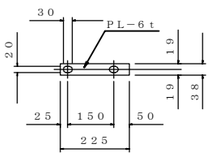
Ｌ＝４００用



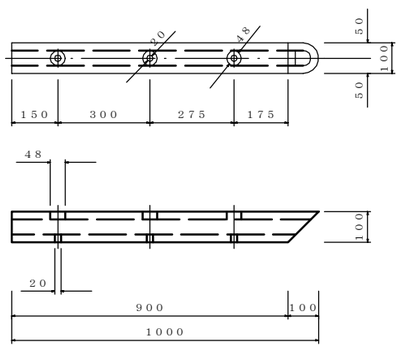
Ｌ＝３５０用



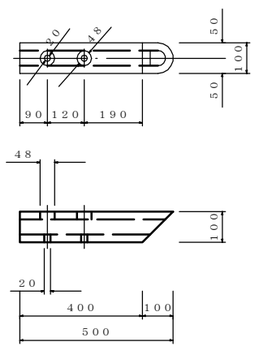
Ｌ＝３００用



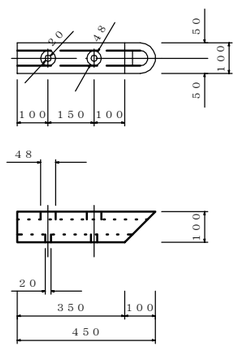
Ｌ＝９００



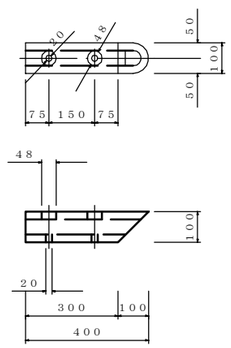
Ｌ＝４００



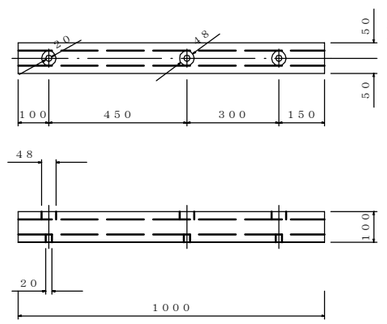
Ｌ＝３５０



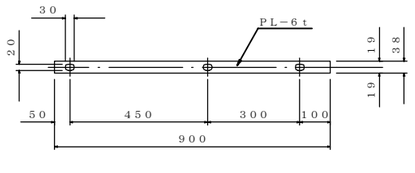
Ｌ＝３００



Ｌ＝１０００



Ｌ＝１０００用



原図:A3、単位：mm

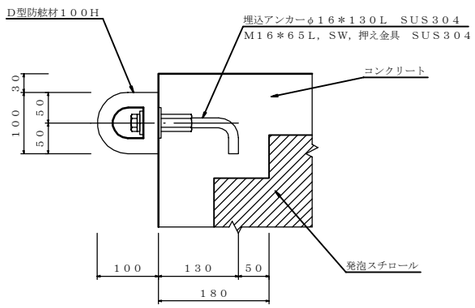
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)防舷材詳細図（その1）		
縮　尺	1/20	図面番号	136
下関市ボートレース企業局			

防舷材詳細図（その２）　　Ｓ＝１：１０

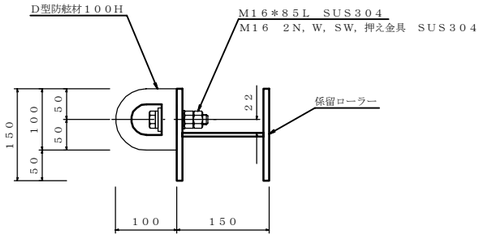
浮体（２）

D型防舷材取付図

浮体取付部

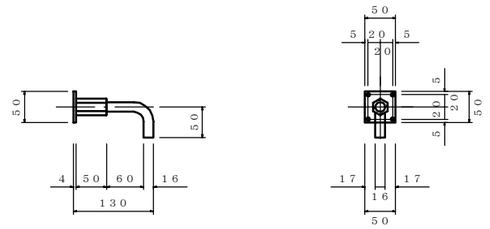


係留ローラー取付部

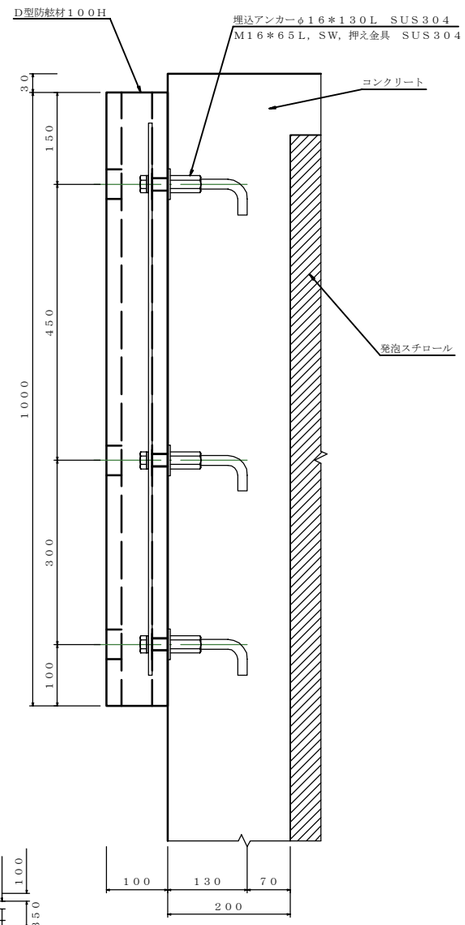


埋込アンカーφ１６詳細図（防舷材・干渉ゴム用）

(SUS304)

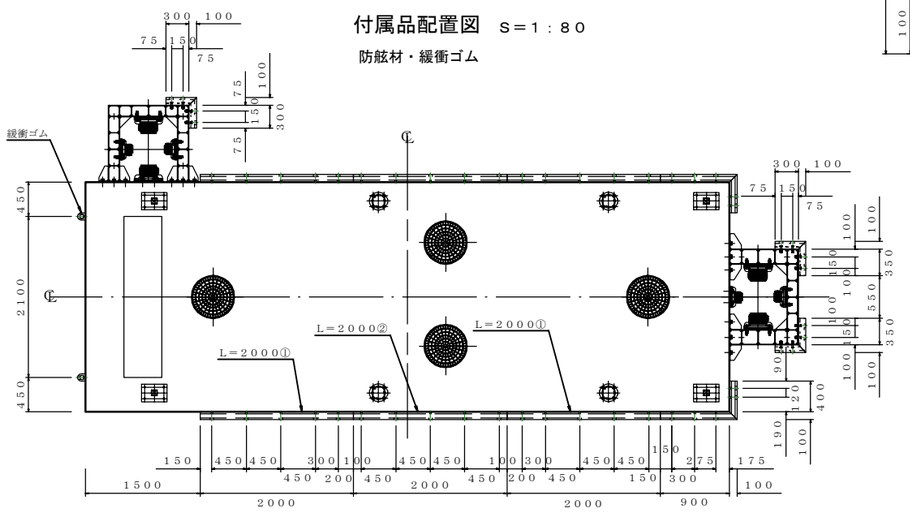


緩衝ゴム取付図



付属品配置図　Ｓ＝１：８０

防舷材・緩衝ゴム



原図:A3、単位：mm

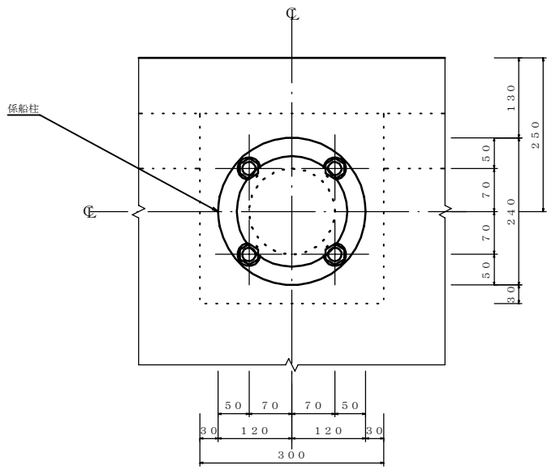
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)防舷材詳細図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	137
下関市ボートレース企業局			

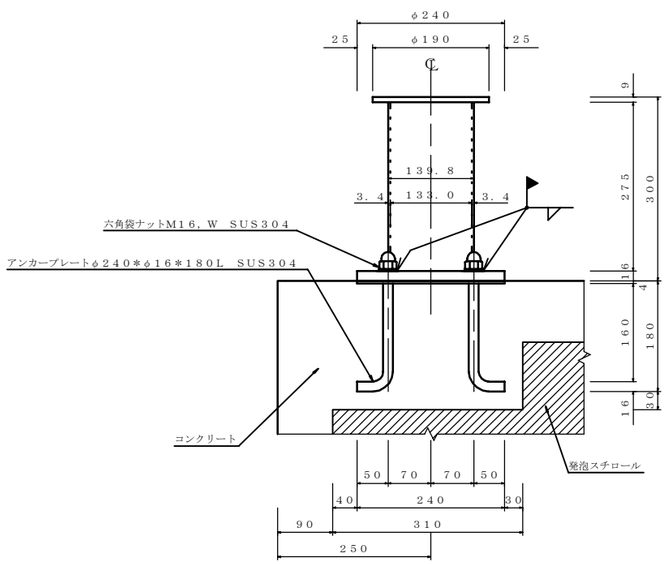
係船柱及びバラストタンク蓋詳細図　　S＝1：10

浮体（2）

係船柱取付詳細図

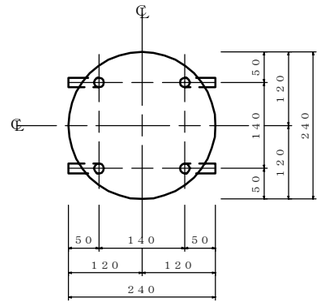
（SUS304）

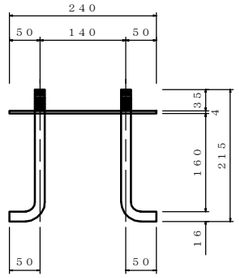




アンカープレートφ１６詳細図（係船柱用）

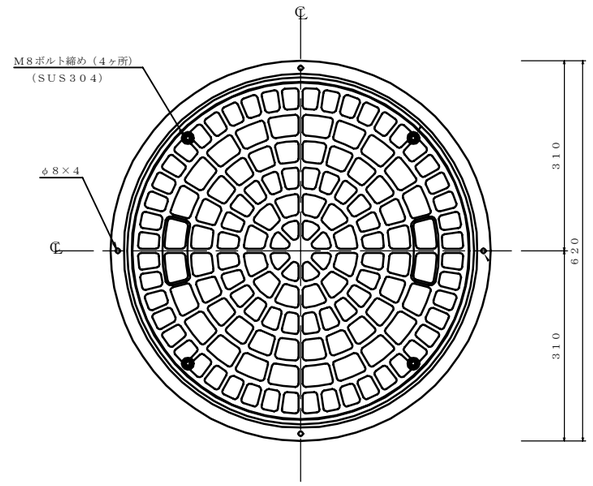
（SUS304）

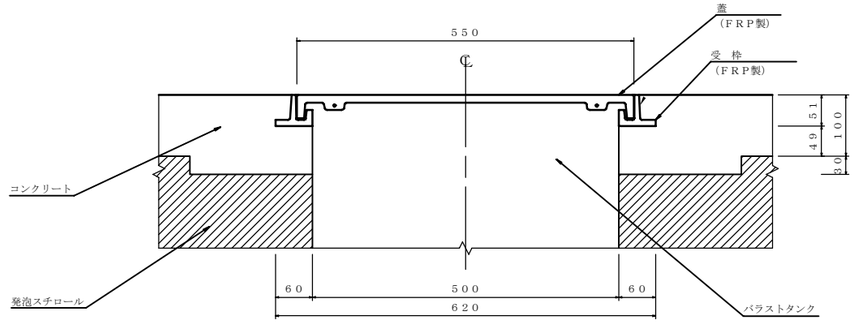




バラストタンク蓋詳細図

（FRP製）





原図：A3、単位：mm

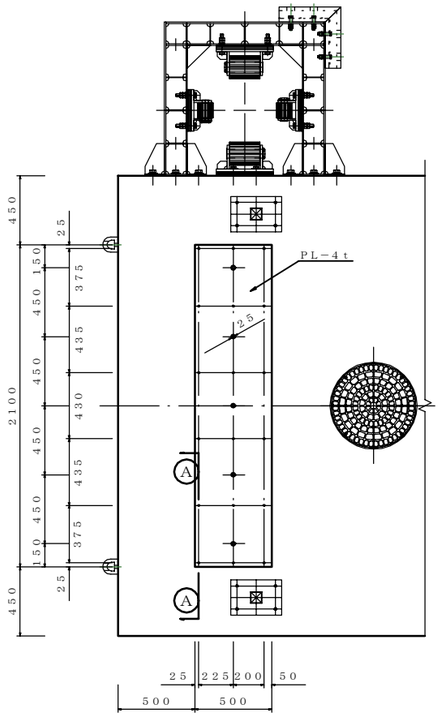
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)係船柱及びﾊﾞﾗｽﾄﾀﾝｸ蓋詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	138
下関市ボートレース企業局			

屋根支柱基部及び敷板詳細図　　S＝1：10

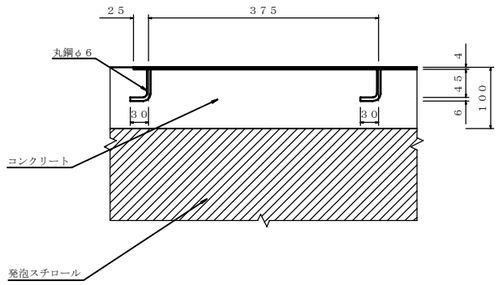
浮体（2）

敷板取付詳細図　S＝1：40

（SUS304）

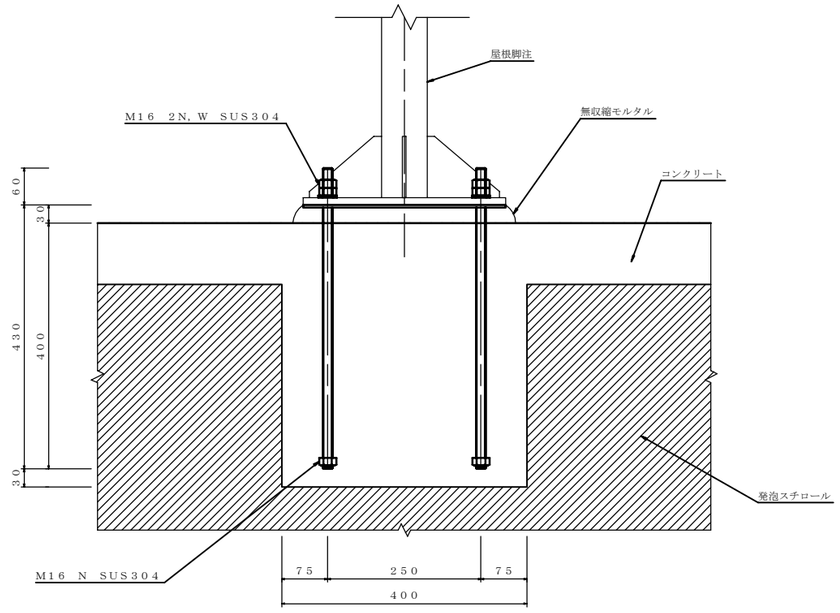


A-A



屋根柱用アンカープレート取付図

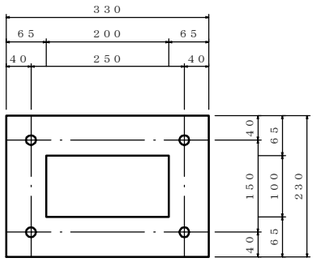
タイプ2

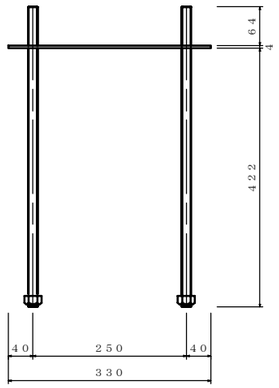


アンカープレートφ16詳細図

（屋根柱用, SUS304）

タイプ2





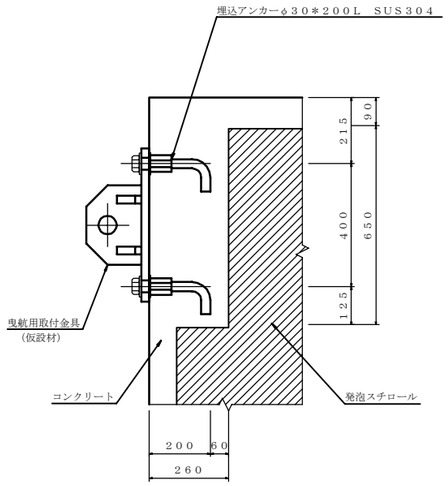
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)屋根支柱基部及び敷板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	139
下関市ボートレース企業局			

進水用金物詳細図　　S＝1：10

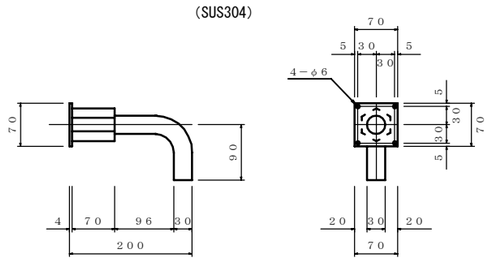
浮体（2）

進水用取付金具取付図　S＝1：20

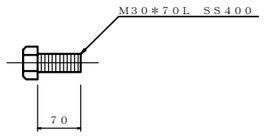


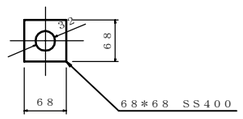
埋込アンカーφ30詳細図（進水用）

（SUS304）

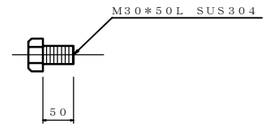


ボルト、角座金（M30）



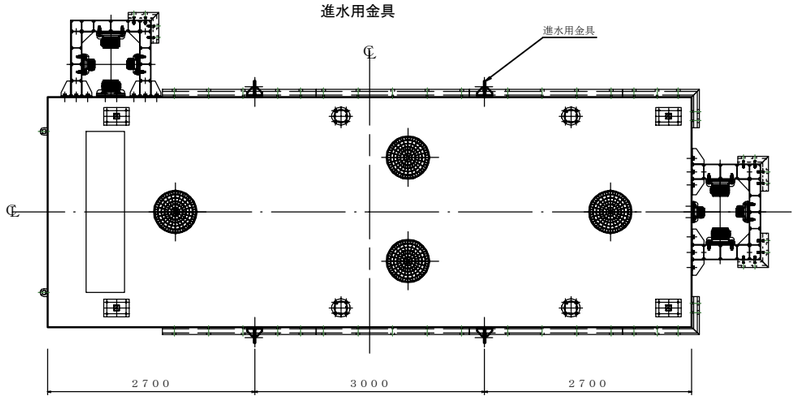


キャップ用ボルト（M30）



付属品配置図　S＝1：80

進水用金具



原図:A3、単位：mm

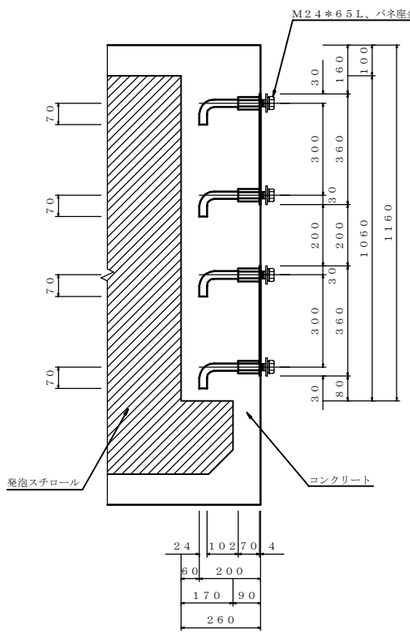
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)進水用金物詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	140
下関市ボートレース企業局			

アンカー金物詳細図　　S＝1：20

浮体（2）

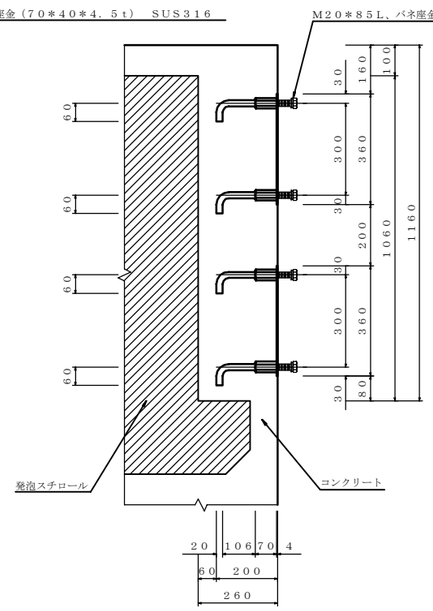
アンカープレートφ24取付詳細図

係留ローラー ① 用



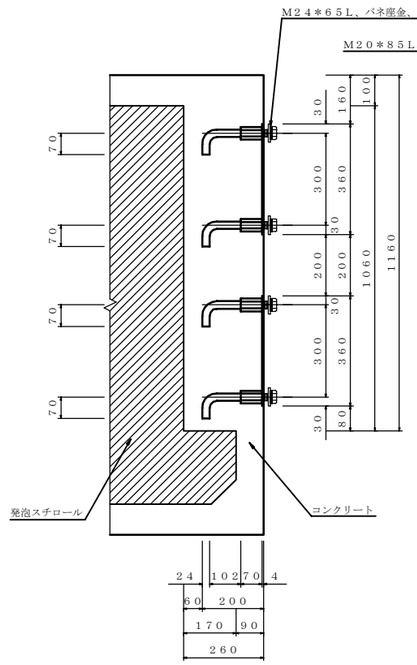
アンカープレートφ２０取付詳細図

係留ローラー ② 用



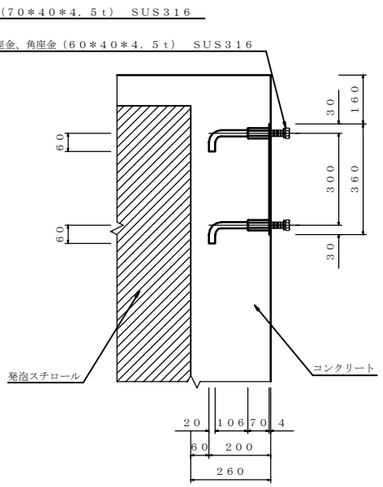
アンカープレートφ24取付詳細図

ローラー ③ 用

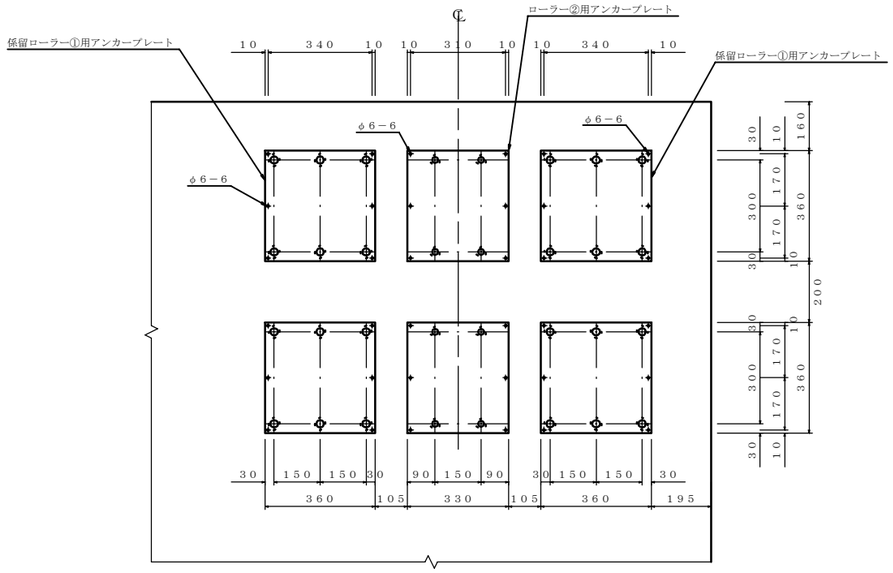


アンカープレートφ２０取付詳細図

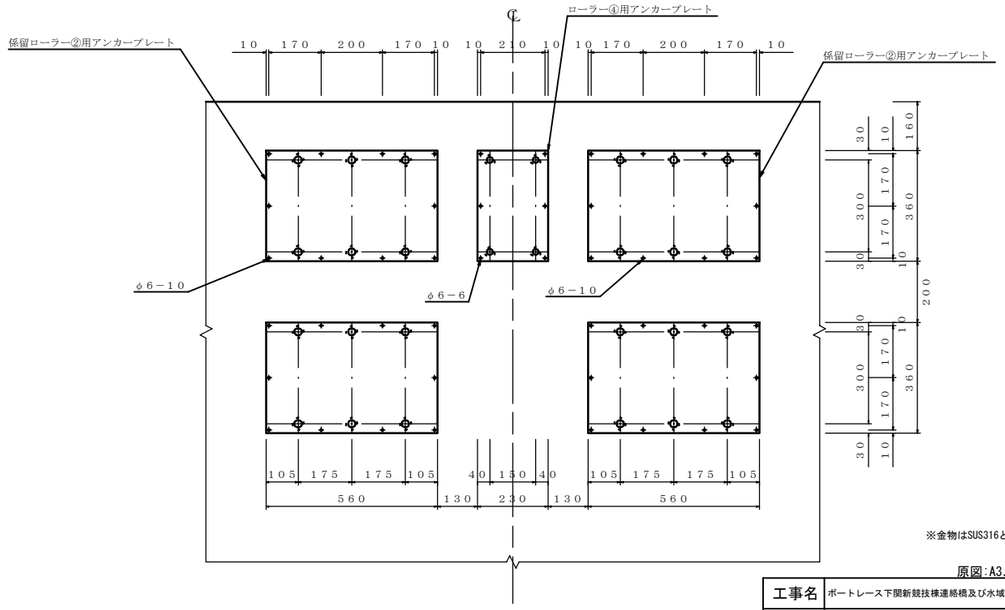
ローラー ④ 用



正 面 図



正 面 図



※金物はSUS316とする。

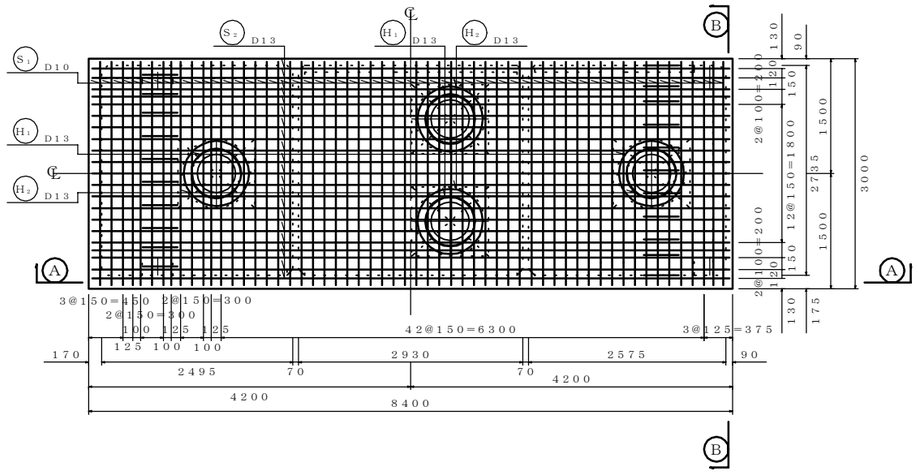
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)アンカー金物詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	141
下関市ボートレース企業局			

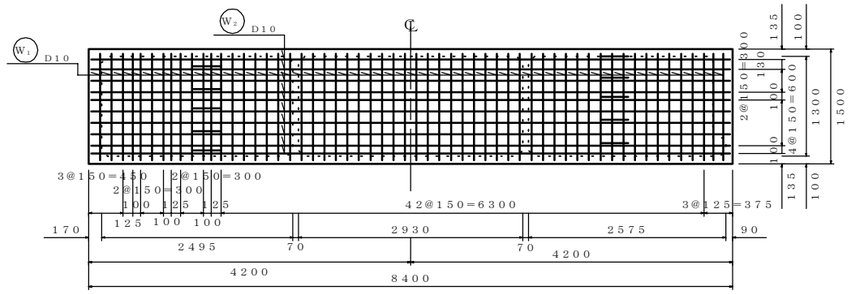
配筋図（その１）　S＝１：８０

浮体（２）

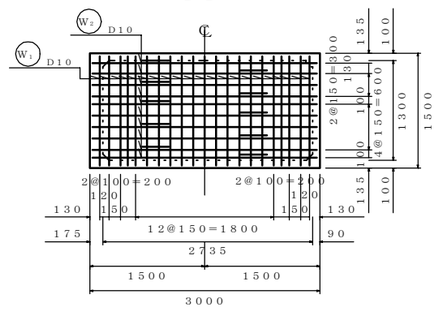
床版部



A-A



B-B



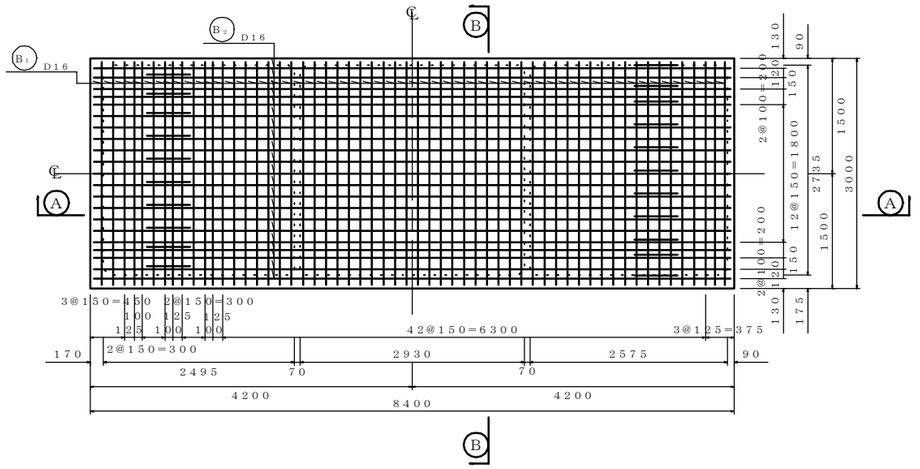
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)配筋図（その1）		
縮　尺	1/80	図面番号	142
下関市ボートレース企業局			

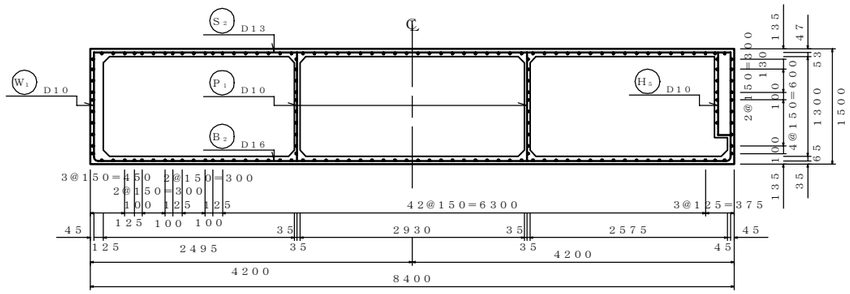
配筋図（その２）　S＝１：８０

浮体（２）

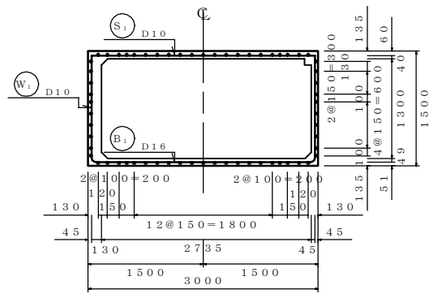
底 版 部



A-A



B-B



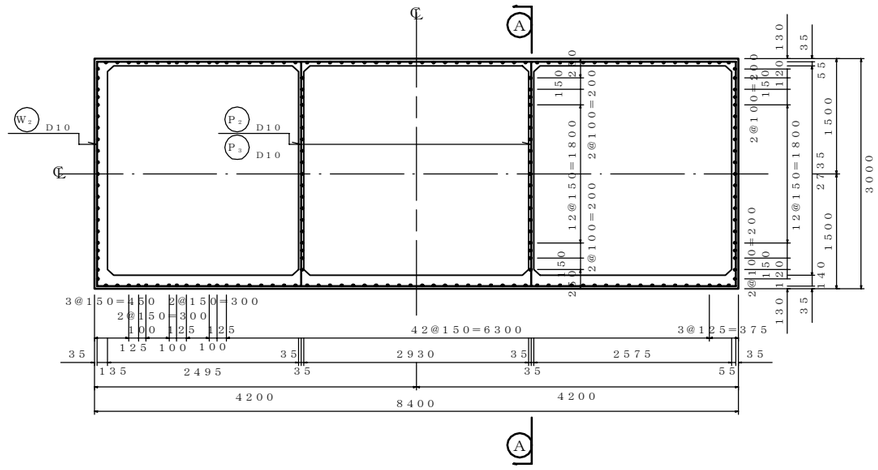
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)配筋図（その2）		
縮　尺	1/80	図面番号	143
下関市ボートレース企業局			

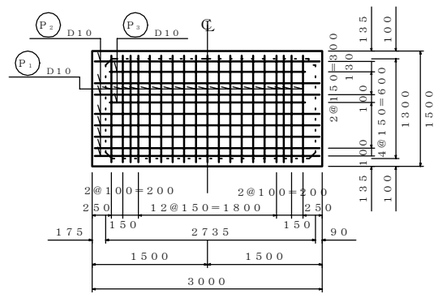
配筋図（その３）　　S＝１：８０

浮体（２）

隔 壁 部



A-A



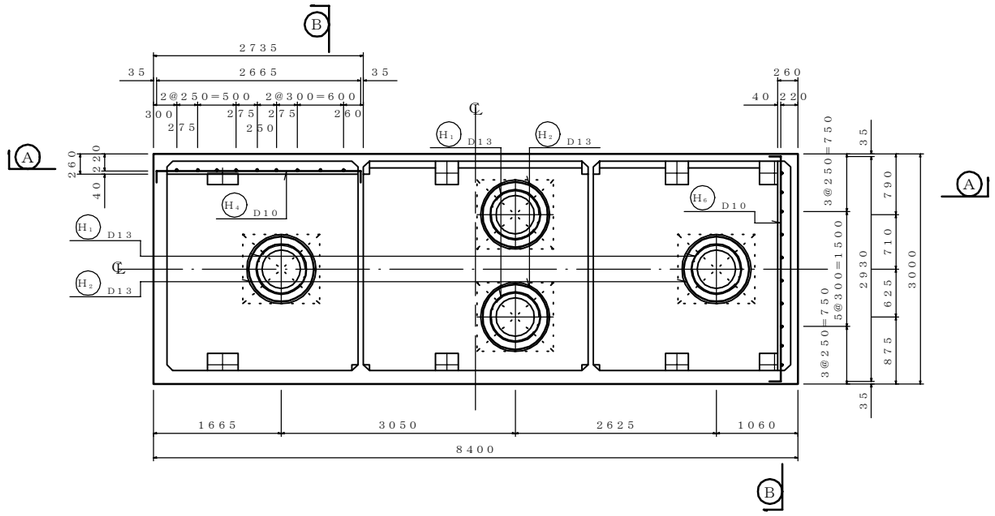
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)配筋図（その3）		
縮　尺	1/80	図面番号	144
下関市ボートレース企業局			

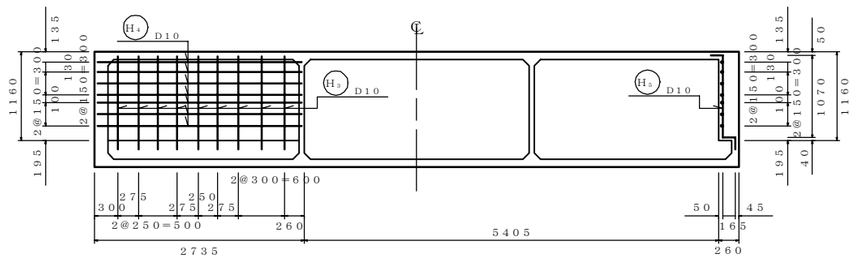
配筋図（その４） S＝１：８０

浮体（２）

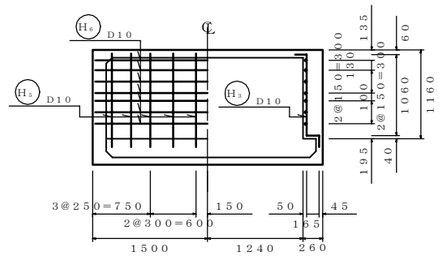
バラストタンク蓋部、係留ローラー部



A-A



B-B



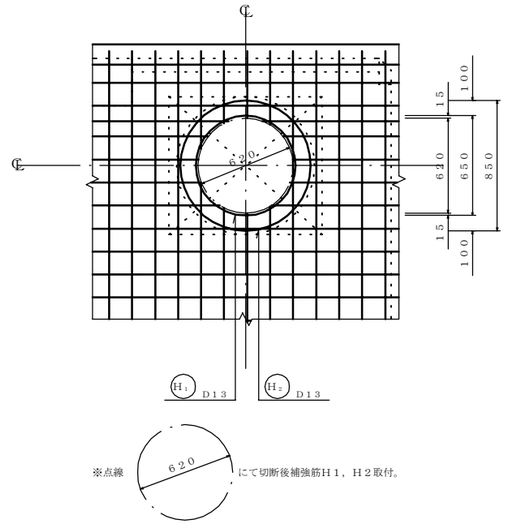
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)配筋図（その4）		
縮　尺	1/80	図面番号	145
下関市ボートレース企業局			

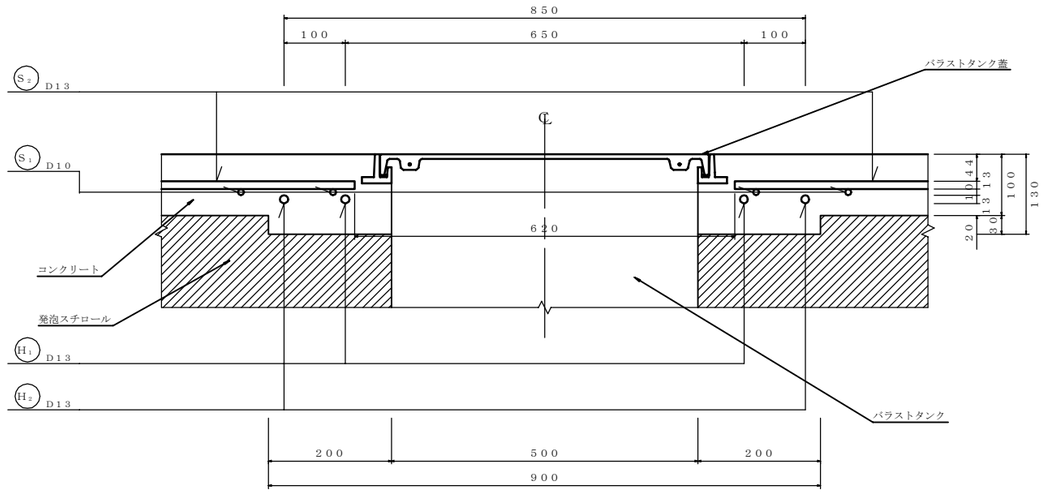
配筋図（その５）

浮体（２）

バラストタンク蓋部　　S＝1：40



断 面 図　S＝1：10

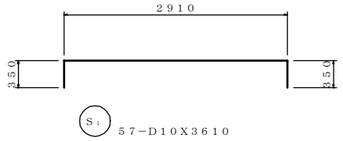


原図:A3、単位：mm

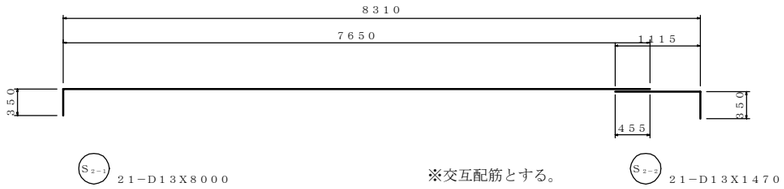
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)配筋図（その5）		
縮　尺	図示	図面番号	146
下関市ボートレース企業局			

鉄筋加工図　　S＝1：80

浮体（2）



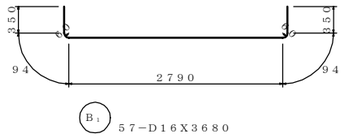
S1　57−D10X3610



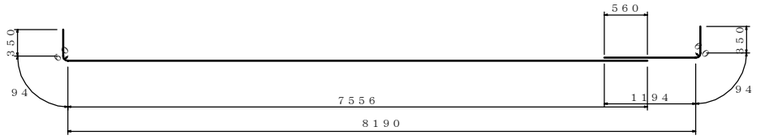
S2−1　21−D13X8000

※交互配筋とする。

S2−2　21−D13X1470



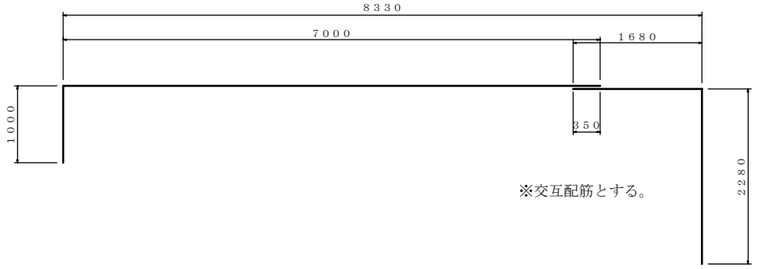
B1　57−D16X3680



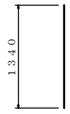
B2−1　21−D16X8000

※交互配筋とする。

B2−2　21−D16X1640



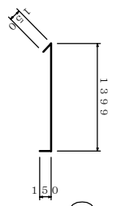
※交互配筋とする。



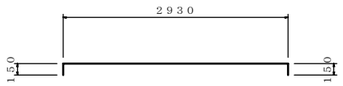
W1　156−D10X1340

W2−1　20−D10X8000

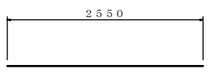
W2−2　20−D10X3960



P1　38−D10X1700



P2　16−D10X3230



P3　4−D10X2550



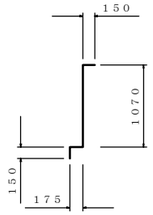
2042

H1　4−D13X2050

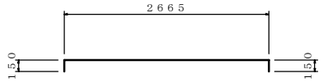


2670

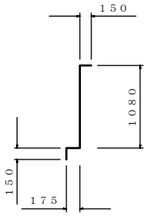
H2　4−D13X2670



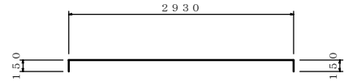
H3　9−D10X1550



H4　7−D10X2970



H5　10−D10X1560



H6　7−D10X3230

鉄筋重量表

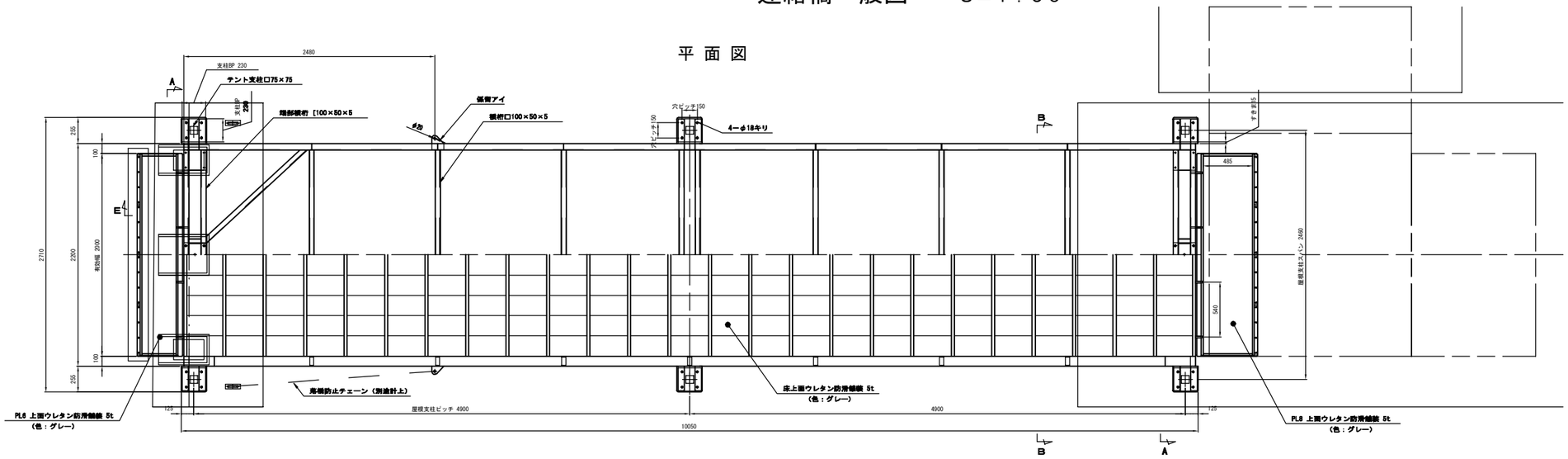
種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg／m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
W1	D10	1340	156	0.560	0.750	117.000	
W2−1	〃	8000	20	〃	4.480	89.600	
W2−2	〃	3960	20	〃	2.218	44.360	
S1	D10	3610	57	0.560	2.022	115.254	
S2−1	D13	8000	21	0.995	7.960	167.160	
S2−2	〃	1470	21	〃	1.463	30.723	
P1	D10	1700	38	0.560	0.952	36.176	
P2	〃	3230	16	〃	1.809	28.944	
P3	〃	2550	4	〃	1.428	5.712	
B1	D16	3680	57	1.56	5.741	327.237	
B2−1	〃	8000	21	〃	12.480	262.080	
B2−2	〃	1640	21	〃	2.558	53.718	
H1	D13	2050	4	0.995	2.040	8.160	
H2	〃	2670	4	〃	2.657	10.628	
H3	D10	1550	9	0.560	0.868	7.812	
H4	〃	2970	7	〃	1.663	11.641	
H5	〃	1560	10	〃	0.874	8.740	
H6	〃	3230	7	〃	1.809	12.663	
				エポキシ樹脂塗装 SD345	D10	477.902kg	
				エポキシ樹脂塗装 SD345	D13	216.671kg	
				エポキシ樹脂塗装 SD345	D16	643.035kg	
					合計	1337.608kg	

原図:A3、単位：mm

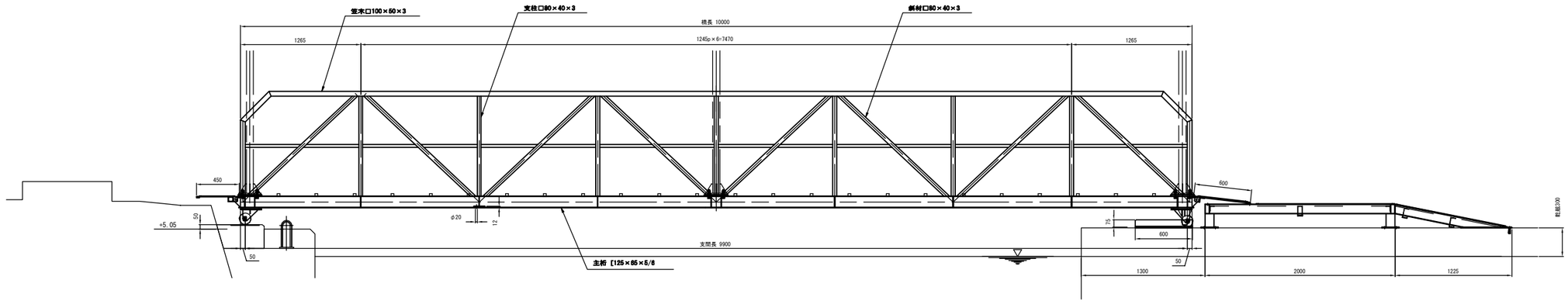
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)鉄筋加工図		
縮　尺	1/80	図面番号	147
下関市ボートレース企業局			

連絡橋一般図　　S＝1：50

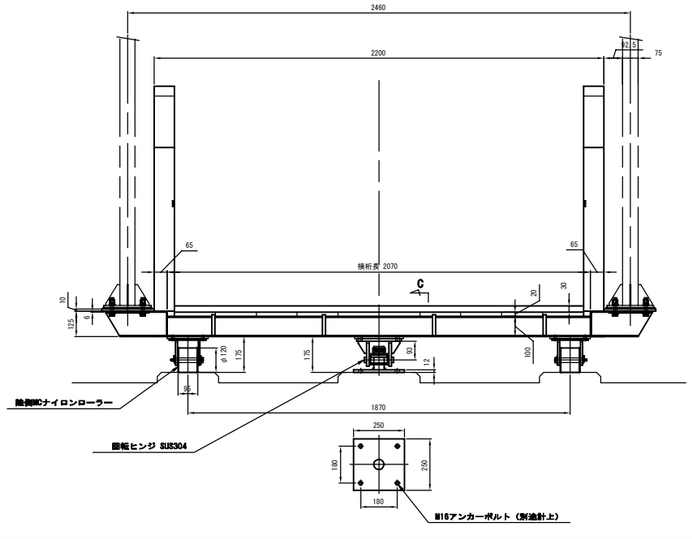
平面図



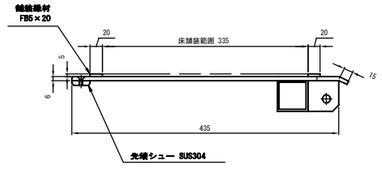
正面図



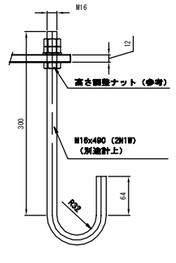
A-A断面詳細図　S＝1：30



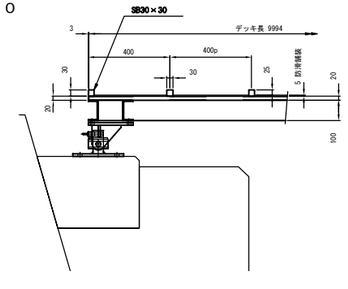
E～断面詳細図　S＝1：10



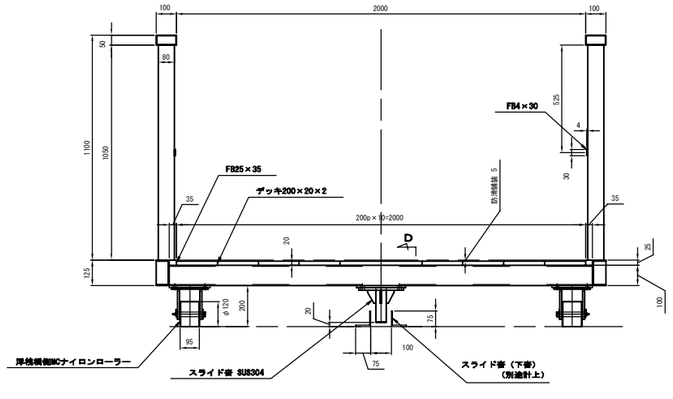
アンカー詳細図　S＝1：10



C～断面詳細図　S＝1：30

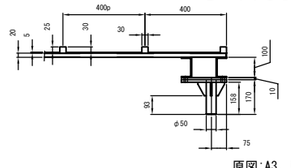


B-B断面詳細図　S＝1：30



アルミ合金製連絡橋仕様	
形　式	下路式桁橋
上載荷重	1.5kN/m²
橋　長	10.0m
支　間	9.9m
有効幅員	2.0m
自　重	1130kg
材　質	A6005CS, A6063S, A5052P

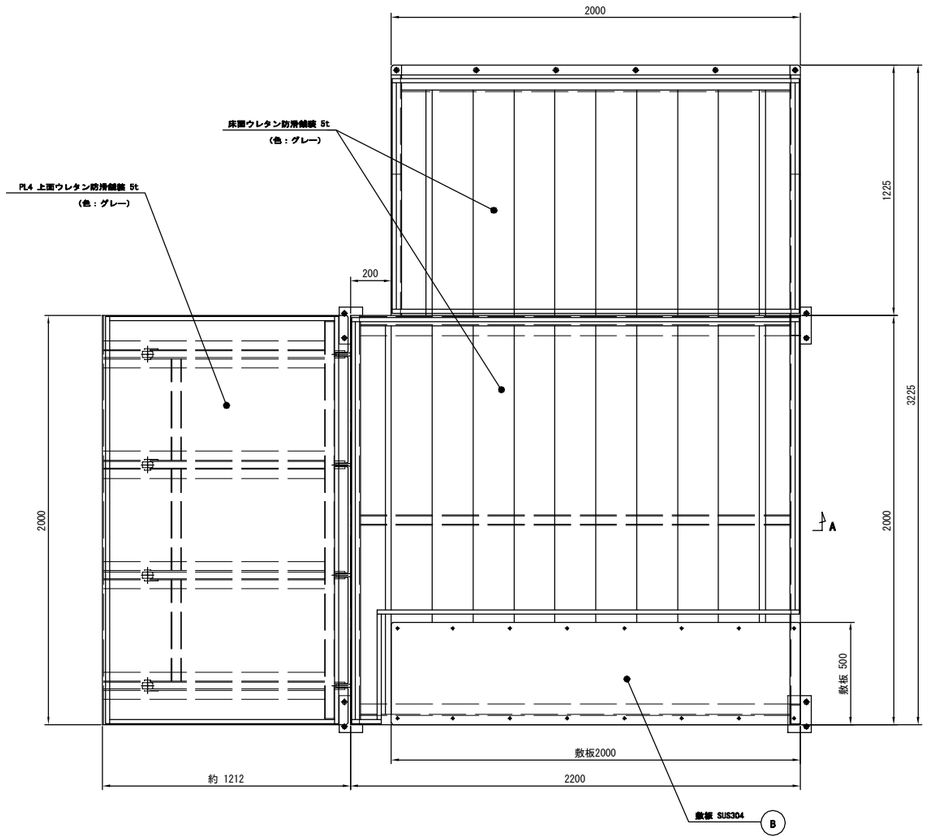
D～断面詳細図　S＝1：30



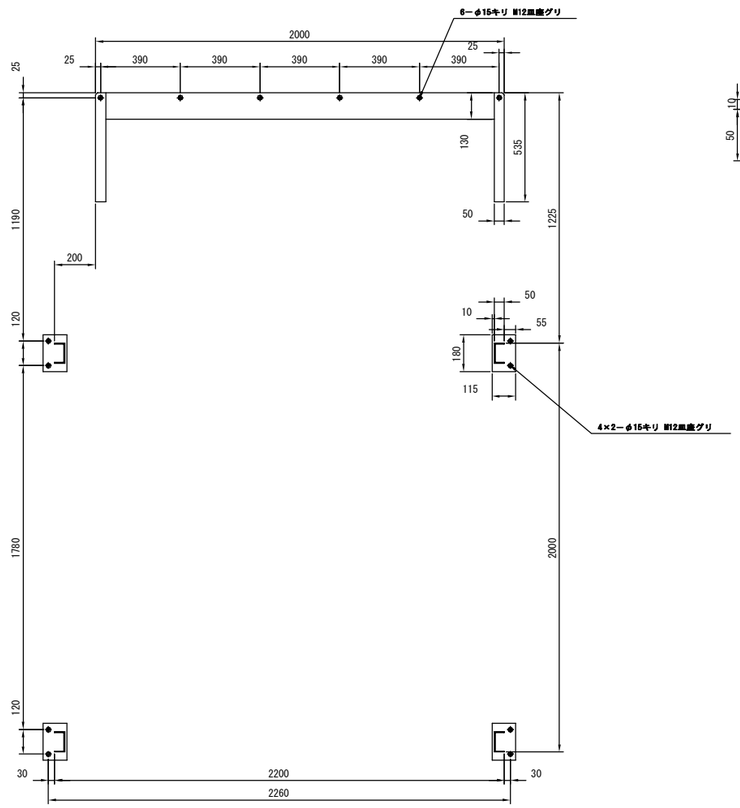
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋一般図		
縮　尺	図示	図面番号	148
下関市ボートレース企業局			

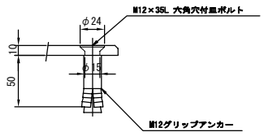
固定スロープ詳細図　　S＝1：30

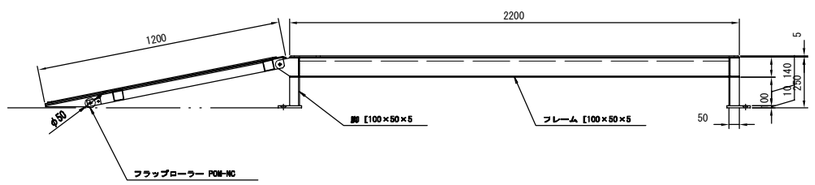


アンカー位置図

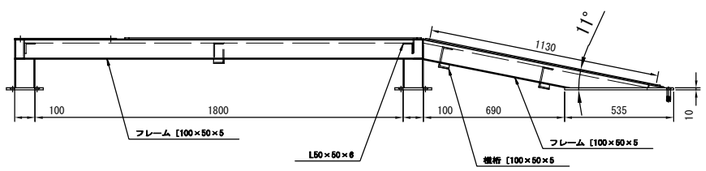


アンカー詳細図　S＝1：6

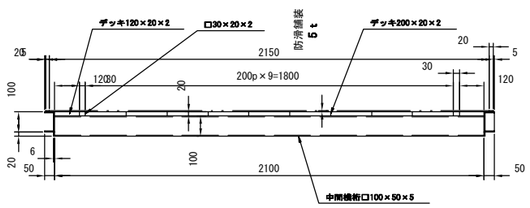


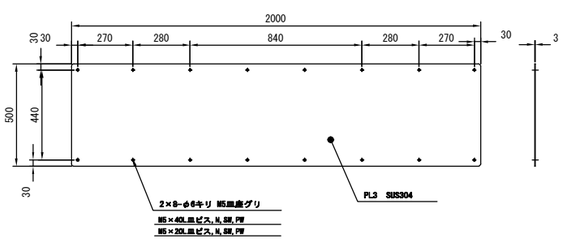


A～断面



B　敷板図



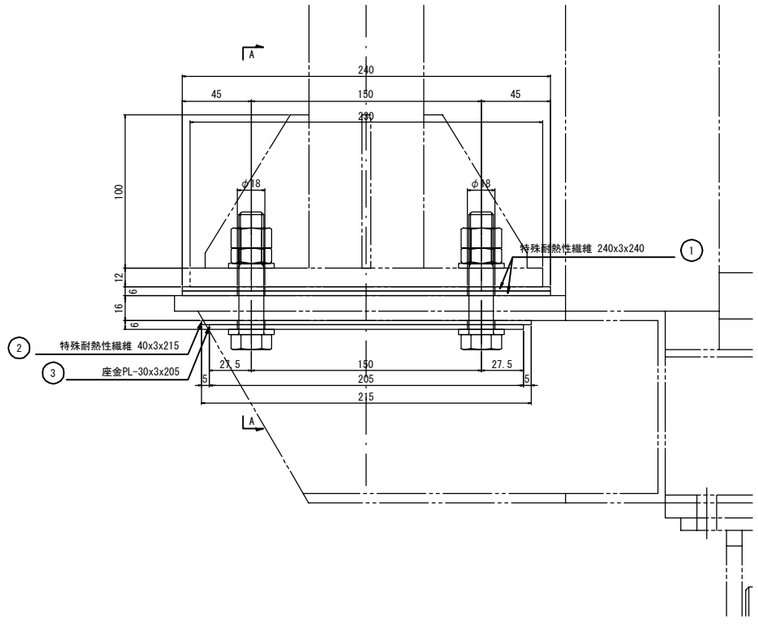


原図:A3、単位：mm

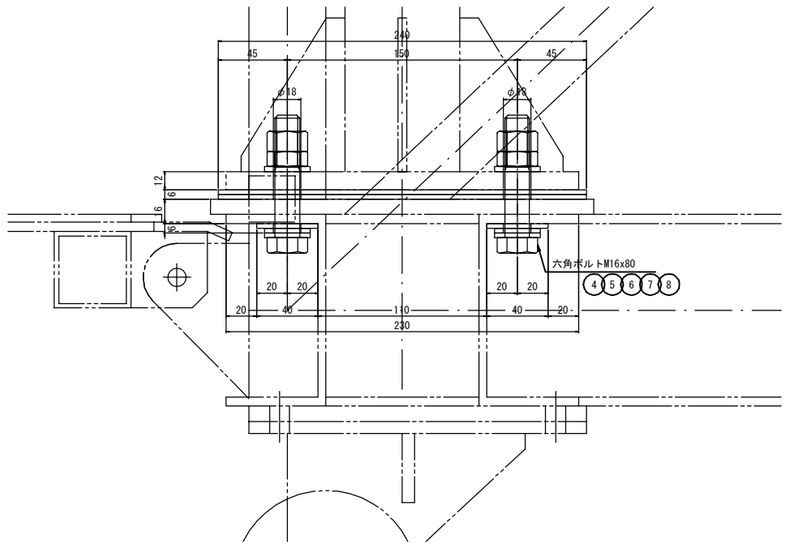
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋固定スロープ詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	149
下関市ボートレース企業局			

支柱基部詳細図　　S＝１：４

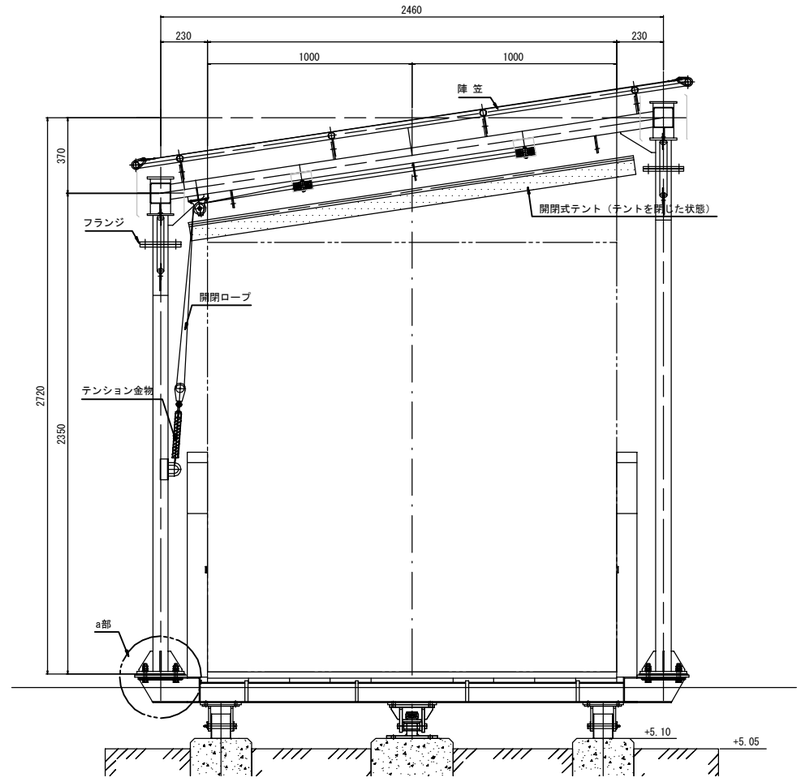
a 部 詳 細



A-A



標準断面図　　S＝１：３０



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	特殊耐熱性繊維 240x3x240	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
2	特殊耐熱性繊維 40x3x215	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
3	座金PL-30x3x205	2	SUS304
4	六角ボルトM16x80	4	SUS304
5	六角ナットM16（1種）	4	SUS304
6	六角ナットM16（3種）	4	SUS304
7	平座金M16	8	SUS304
8	防錆キャップM16（ダブルナット用）	4	ポリカーボネート

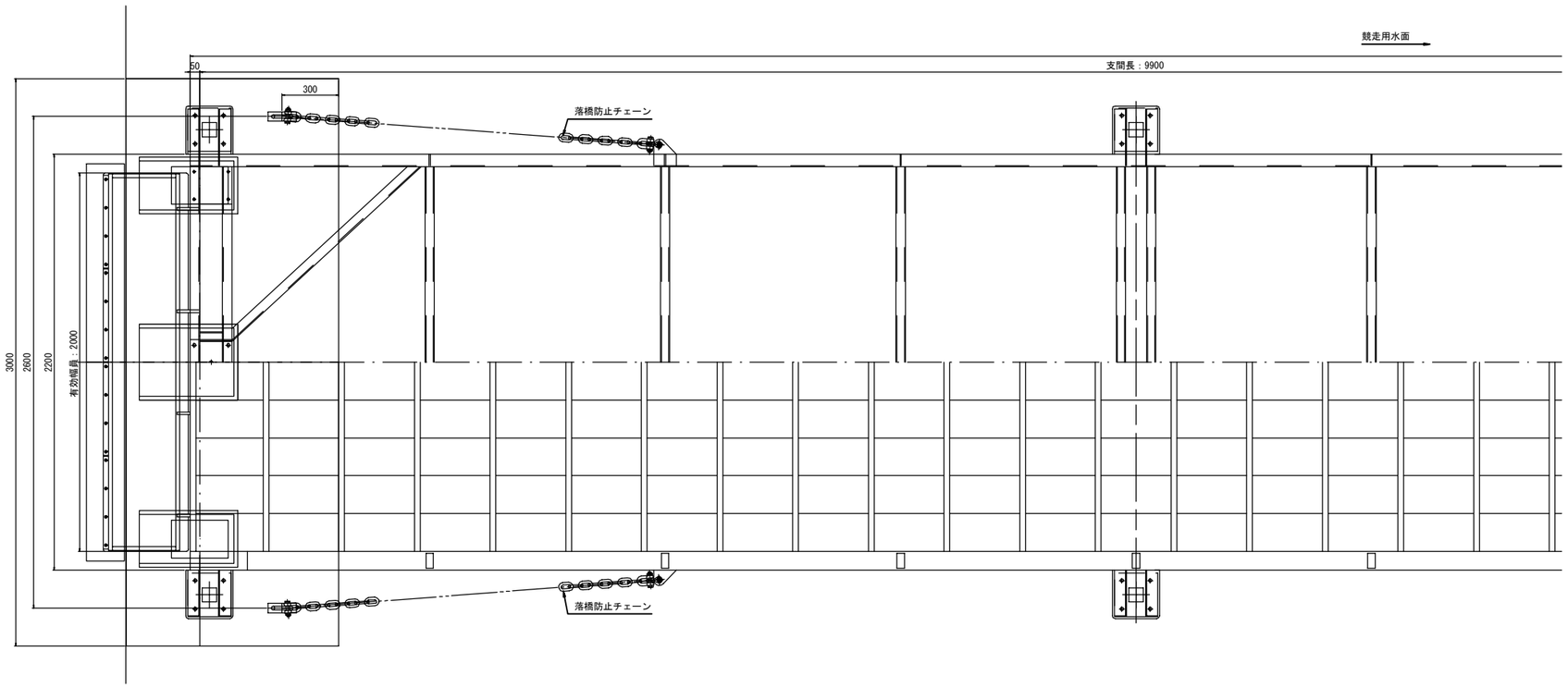
備考
１．数量は柱1基分を 示す。6基分製作・購入のこと。
２．防錆キャップは、NETIS：KK-190041-VE相当品とする。

注記
１． 固定ボルト長は、購入した連絡橋側のブラケット厚を確認の上、調整のこと。

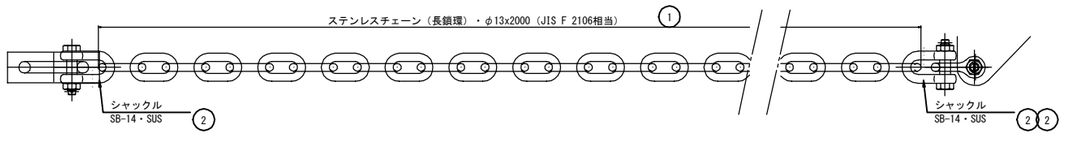
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	支柱基部詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	150
下関市ボートレース企業局			

落橋防止チェーン詳細図　　S＝1：30



落橋防止チェーン　　S＝1：10



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	ステンレスチェーン（長鎖環）φ13x2000	2	SUS304
2	シャックルSB14	6	SUS

備考
1．数量は全数を示す。
2．チェーンは、JIS F 2106相当品を購入のこと。
3．橋台側及び橋体側吊環は別途計上している。

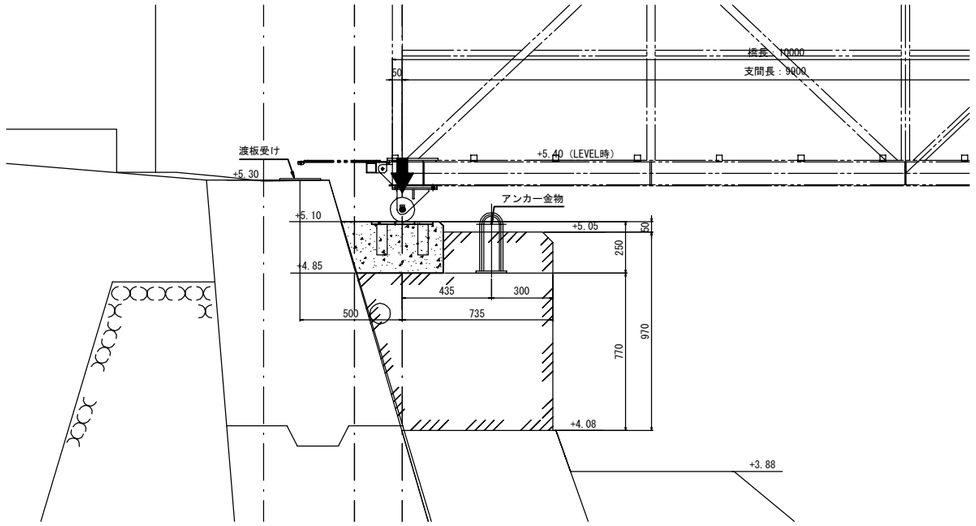
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	落橋防止チェーン詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	151
下関市ボートレース企業局			

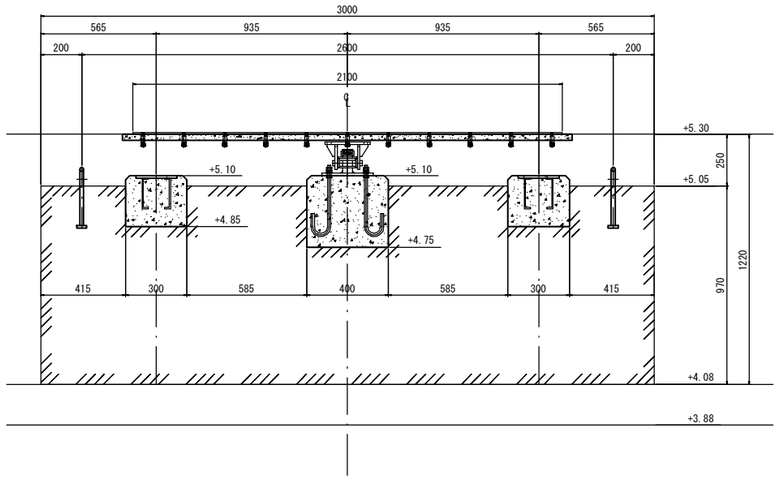
土木関連図　　S＝１：３０

参考図

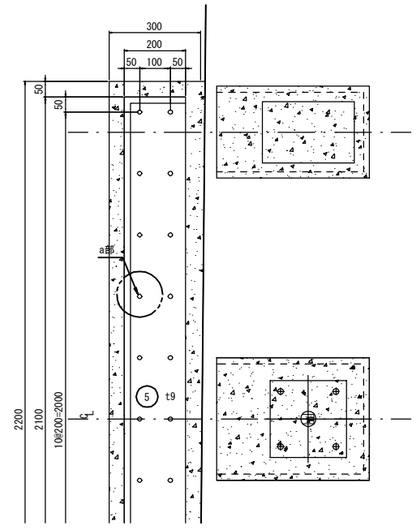
A-A



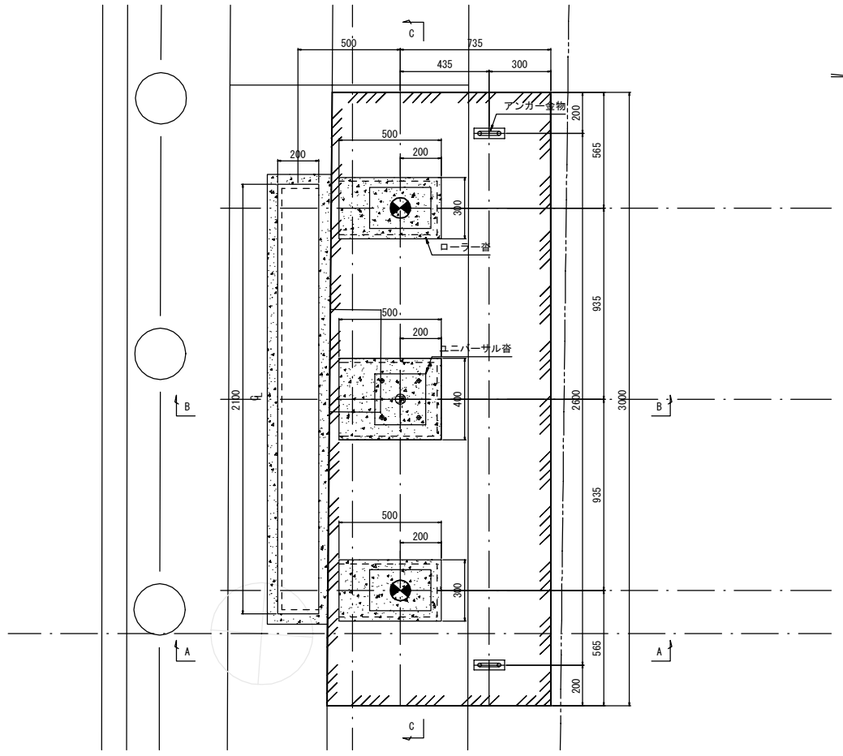
C-C



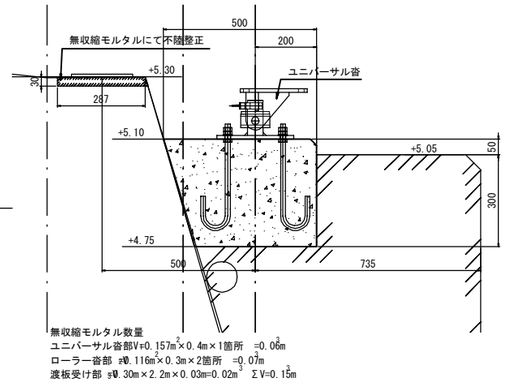
渡板受け　S＝１：２０



平 面 図

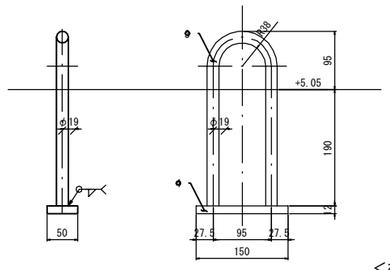


B-B　S＝１：２０

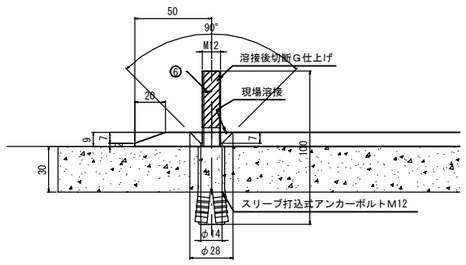


無収縮モルタル数量
ユニバーサル沓部V=0.157m³×0.4m×1箇所　=0.06m³
ローラー沓部　≠0.116m²×0.3m×2箇所　=0.07m³
渡板受け部　≒0.30m×2.2m×0.03m=0.02m³　ΣV=0.15m³

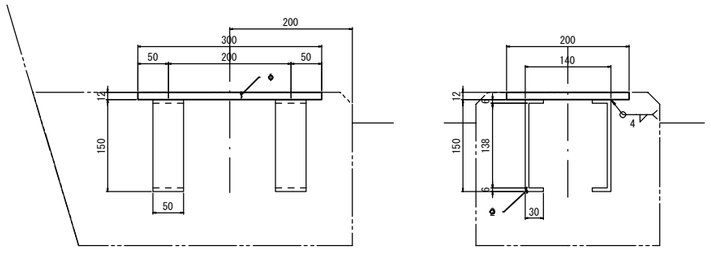
アンカー金物　S＝１：１０



a 部 詳 細　S＝１：４



ローラー沓敷板　S＝１：１０



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	PL-200x12x300	2	SUS304
2	FB-50x6x210	4	SS400
3	RB-φ19x605	2	SUS304
4	FB-50x12x150	2	SS400
5	PL-200x9x2100	1	SUS304
6	スリーブ打込式アンカーボルトM12x100	22	SUS304

備考
1．数量は全数を示す。
2．ユニバーサル沓及びアンカーボルト・ナットは別途計上とする。

注記
1．本図はCLに対して対象とする。
2．▨は、一次コンクリートを示す。
3．▨は、二次コンクリート（無収縮モルタル）を示す。
4．↓は、荷重の作用点を示す。
5．橋台部数量は別途図面を参照のこと。
6．アンカー金物は橋台施工時に設置のこと。

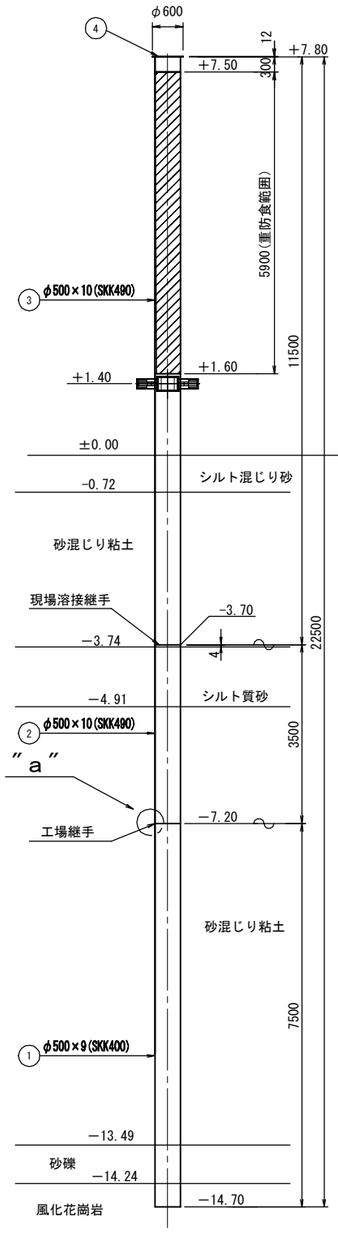
原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	土木関連図		
縮　尺	図示	図面番号	152
下関市ボートレース企業局			

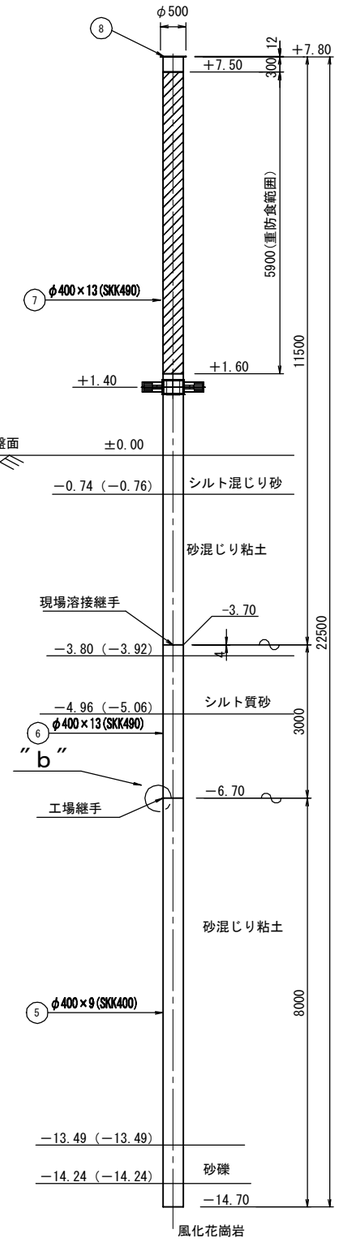
係留杭詳細図　　S＝1：120

係留杭
(S=1:120)

係留杭No. 1, No. 2



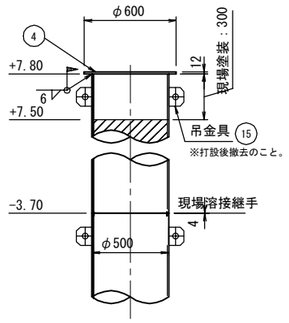
係留杭No. 3, No. 4



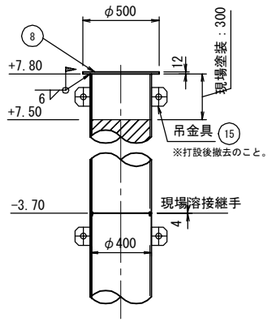
※（ ）内はNo.4を示す。

杭頭部詳細図
(S=1:40)

係留杭No. 1, No. 2

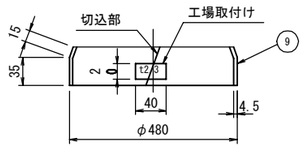


係留杭No. 3, No. 4

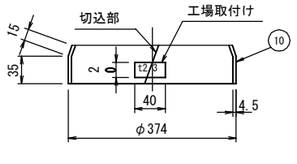


裏当てリングの形状

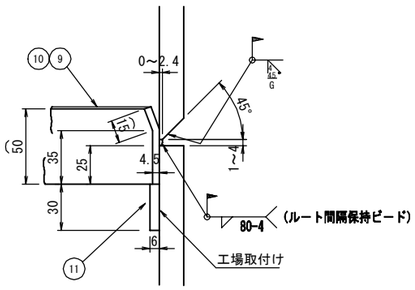
係留杭No. 1, No. 2



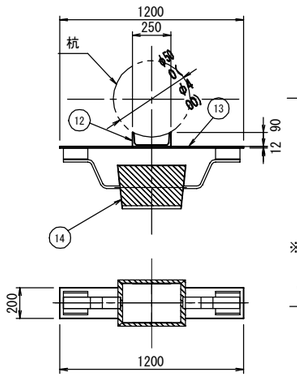
係留杭No. 3, No. 4

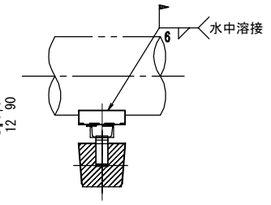


現場溶接継手部詳細
(S=1:4)



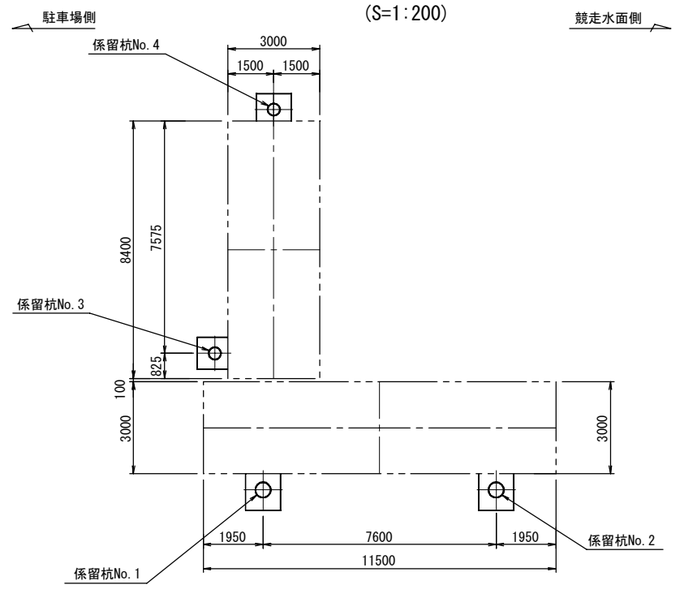
電気防食用陽極



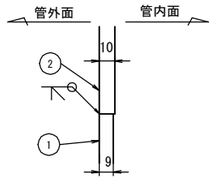


※（ ）内はNo.3,4を示す。

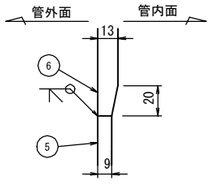
配置図
(S=1:200)



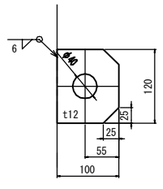
”a”部詳細
(S=1:4)



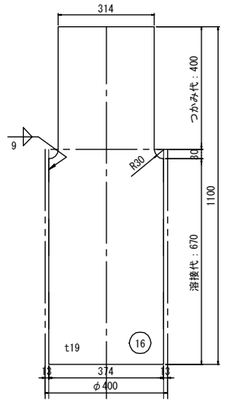
”b”部詳細
(S=1:4)



吊金具
(S=1:10)



チャッキングプレート



注記
1．杭の打設は中心間隔及び倒れに注意して施工のこと。
2．杭打設後、浮体メーカーと杭芯、傾き計測結果を協議のこと。

番号	規格	個数	材質
	係留杭No. 1, No. 2		
①	鋼管杭 φ500 x 9 x 7500	1	SKK400
②	鋼管杭 φ500 x 10 x 3500	1	SKK490
③	鋼管杭 φ500 x 10 x 11500	1	SKK490
④	PL- φ600 x 12	1	SS400
⑨	FB- 50 x 4.5 x 1494	1	SS400
⑪	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑫	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑬	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑭	電気防食用陽極 （耐用年数 50年－1.0A）	1	アルミ合金
⑮	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A
	係留杭No. 3, No. 4		
⑤	鋼管杭 φ400 x 9 x 8000	1	SKK400
⑥	鋼管杭 φ400 x 13 x 3000	1	SKK490
⑦	鋼管杭 φ400 x 13 x 11500	1	SKK490
⑧	PL- φ500 x 12	1	SS400
⑩	FB- 50 x 4.5 x 1161	1	SS400
⑪	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑫	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑬	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑭	電気防食用陽極 （耐用年数 50年－1.0A）	1	アルミ合金
⑮	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A
⑯	PL- 374 x 19 x 1100	2	SS400

注；数量は係留杭1本を示す。
係留杭No. 1～係留杭No. 4を各1本、計4本製作のこと。

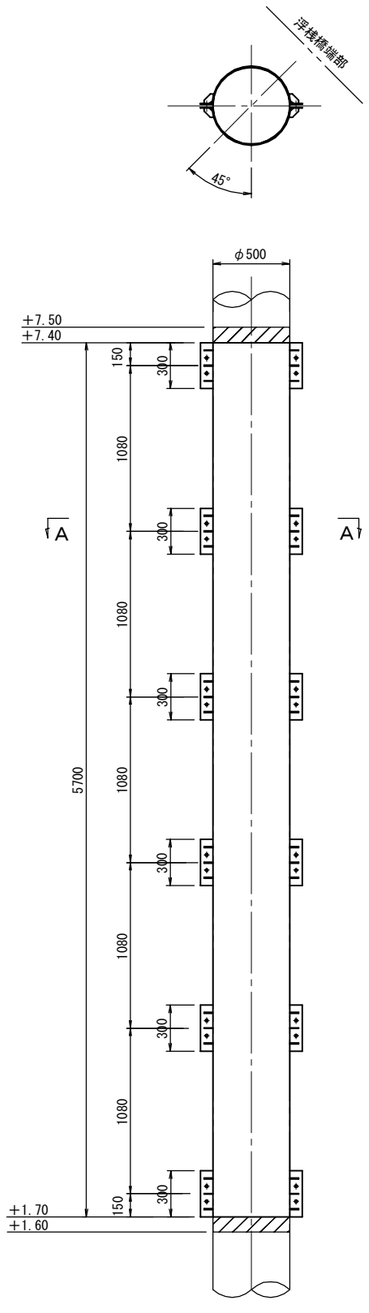
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事
図面名	係留杭詳細図
縮尺	図示
図面番号	153
下関市ボートレース企業局	

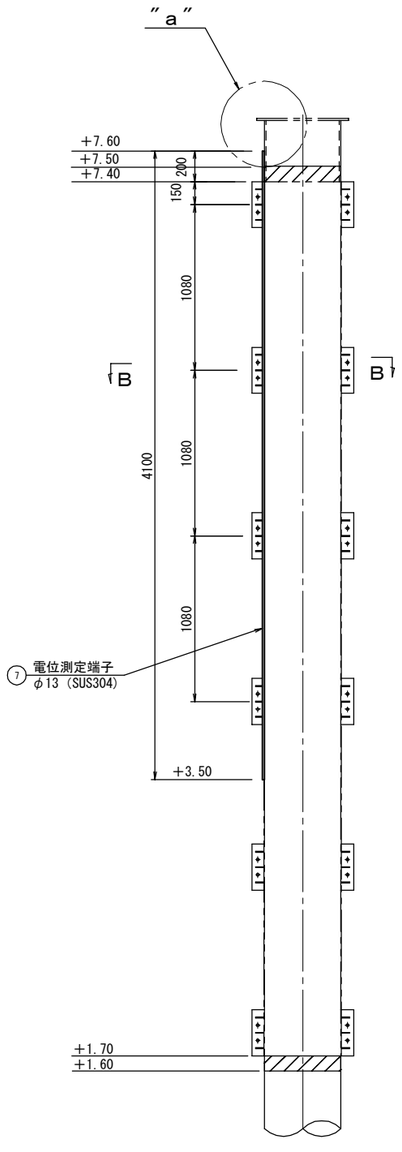
戸当り詳細図（その1）　　S＝１：４０

係留杭No. 1, No. 2

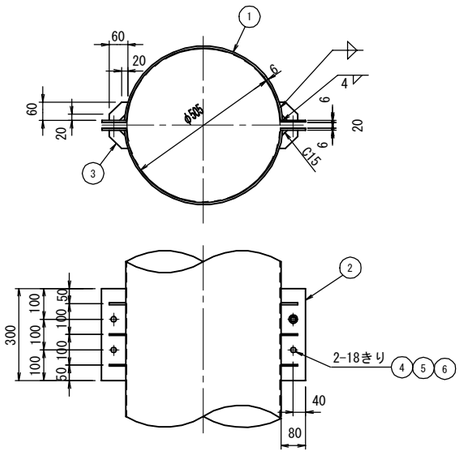
戸当り



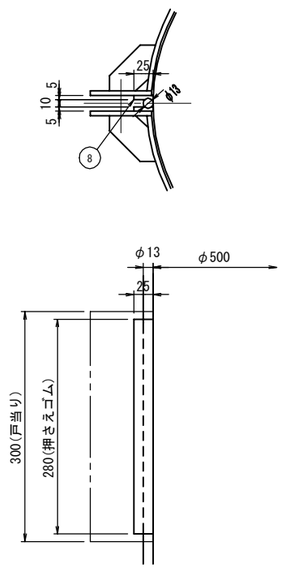
電位測定端子詳細図



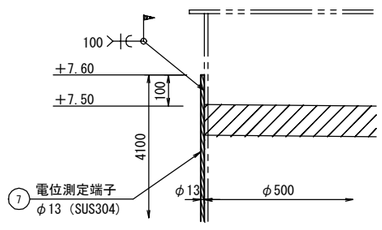
Ａ－Ａ
(S=1:20)



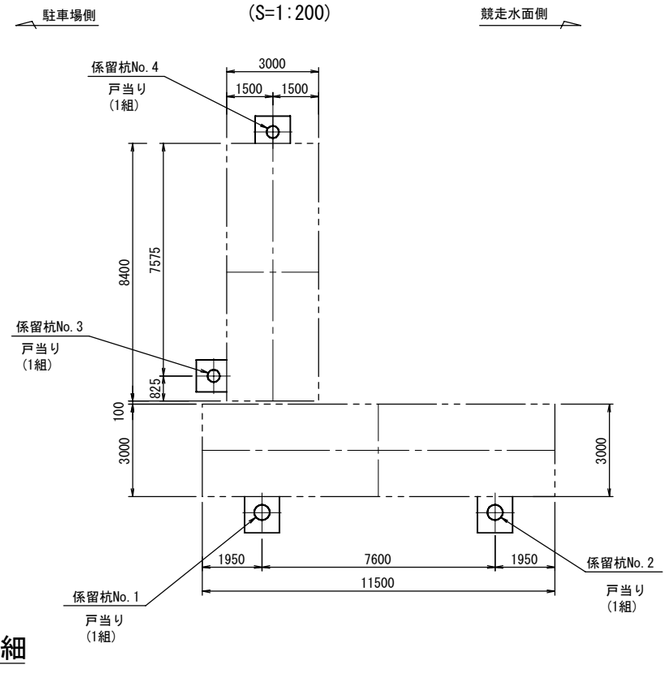
Ｂ－Ｂ
(S=1:8)



″ａ″部詳細
(S=1:20)



配置図
(S=1:200)



番 号	規　　格	個数	材　　質	摘　　要
	係留杭No. 1, No. 2			
①	PL- 771 x 6 x 5700	2	SUS304	
②	PL- 80 x 6 x 300	24	SUS304	
③	PL- 60 x 6 x 60	72	SUS304	NET 67%
④	六角ボルト M16 x 60	24	SUS304	
⑤	六角ナット M16(1種)	24	SUS304	
⑥	ばね座金　M16	24	SUS304	
⑦	電位測定端子 φ13 x 4100	1	SUS304	
⑧	押さえゴム PL-25 x 5 x 280	8	合成ゴム	

注；1. 数量は係留杭1本を示す。2本製作のこと。
2. 電位測定端子は現場溶接とし、その後現場塗装を施すこと。
3. 電位測定端子取付方向は、係留ローラー取付方向と重複しないこと。
4. 押さえゴムと戸当りは接着すること。

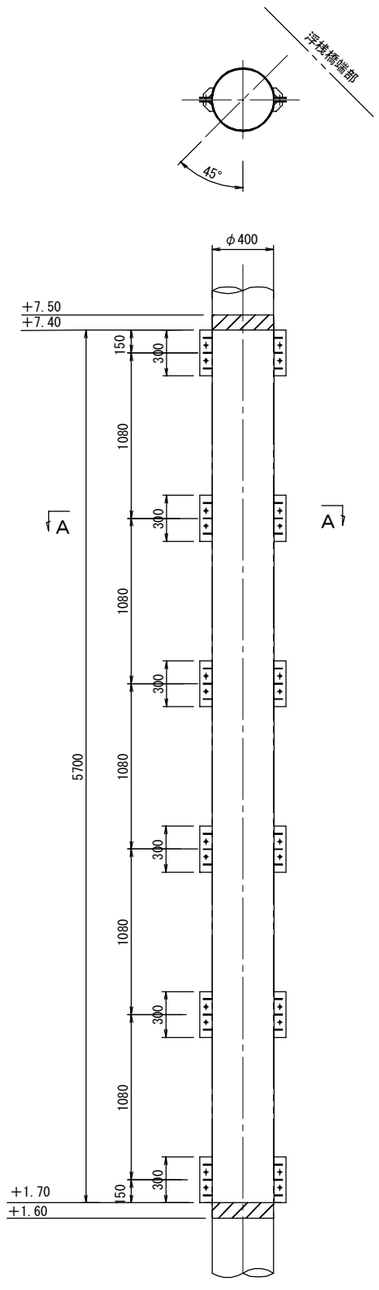
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	戸当り詳細図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	154
下関市ボートレース企業局			

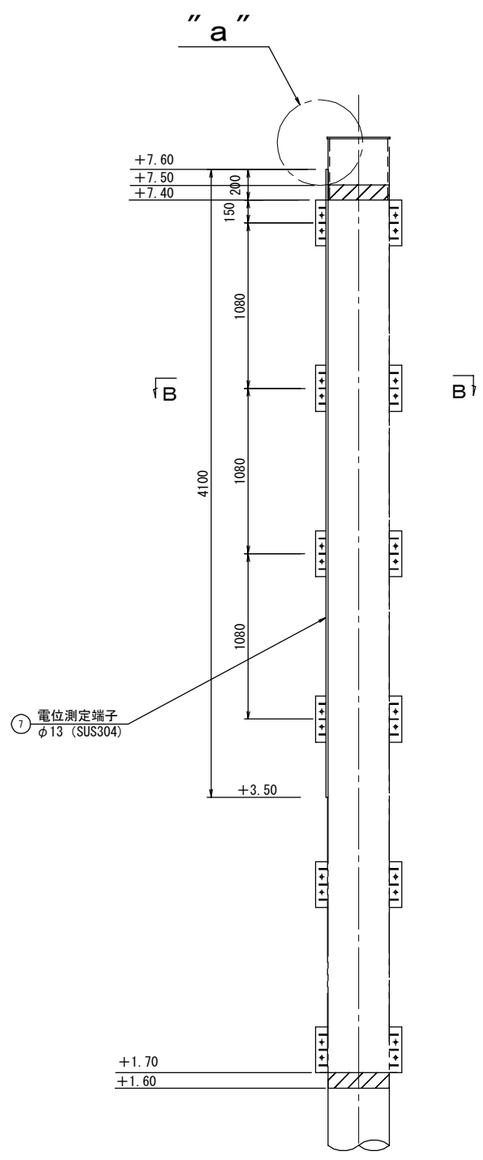
戸当り詳細図（その２）　S＝１：４０

係留杭No. 3, No. 4

戸当り

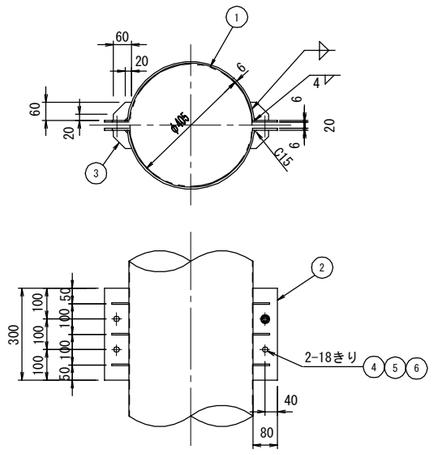


電位測定端子詳細図



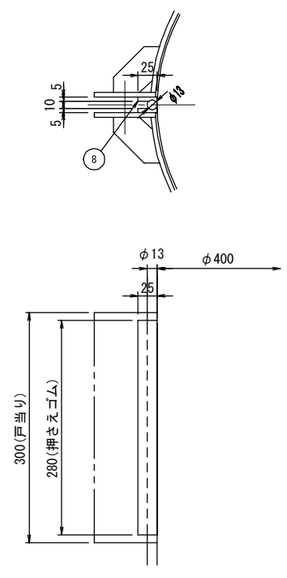
A－A

(S=1:20)



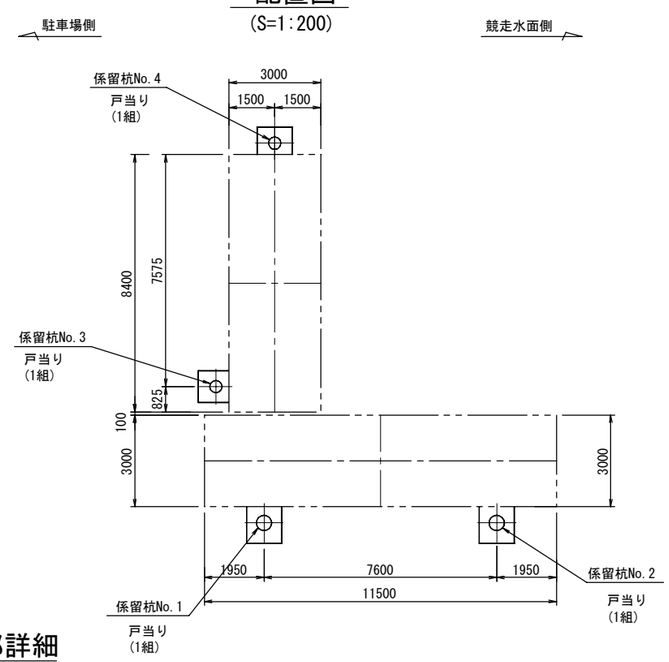
B－B

(S=1:8)



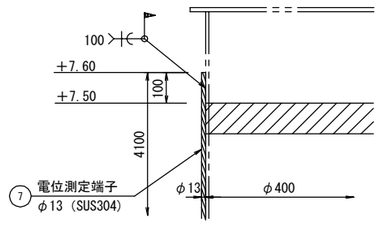
配置図

(S=1:200)



"a"部詳細

(S=1:20)



番号	規格	個数	材質	摘要
	係留杭No. 3, No. 4			
①	PL- 614 x 6 x 5700	2	SUS304	
②	PL- 80 x 6 x 300	24	SUS304	
③	PL- 60 x 6 x 60	72	SUS304	NET 64%
④	六角ボルト M16 x 60	24	SUS304	
⑤	六角ナット M16(1種)	24	SUS304	
⑥	ばね座金　M16	24	SUS304	
⑦	電位測定端子 φ13 x 4100	1	SUS304	
⑧	押さえゴム PL-25 x 5 x 280	8	合成ゴム	

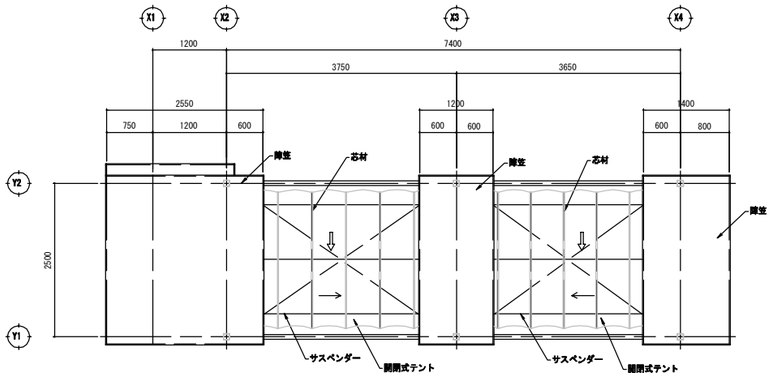
注；1. 数量は係留杭1本を示す。2本製作のこと。
2. 電位測定端子は現場溶接とし、その後現場塗装を施すこと。
3. 電位測定端子取付方向は、係留ローラー取付方向と重複しないこと。
4. 押さえゴムと戸当りは接着すること。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	戸当り詳細図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	155
下関市ボートレース企業局			

浮体（１）意匠図　　Ｓ＝１：１００

救助艇浮桟橋・・・上屋-1



展開伏図　S=1/100

⟸：水流れ方向を示す。

⟶：開閉式テント開閉方向を示す。

膜材		
	SR-F	
認定等号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEH-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UH-9010

- ＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする
- ＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする
- ＊　開閉式金物はSUSとする
- サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
- シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）

最強開時：V0=10m/s

最弱開時：V0=34m/s

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

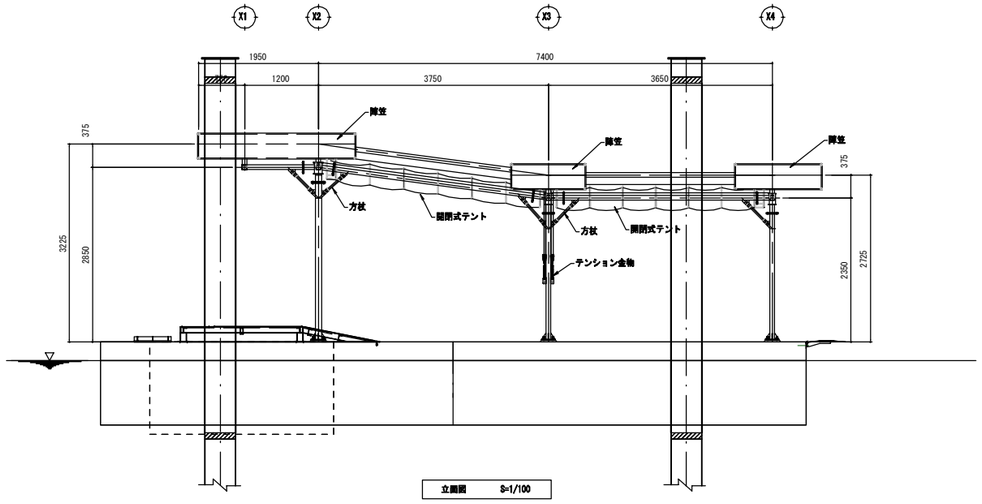
工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

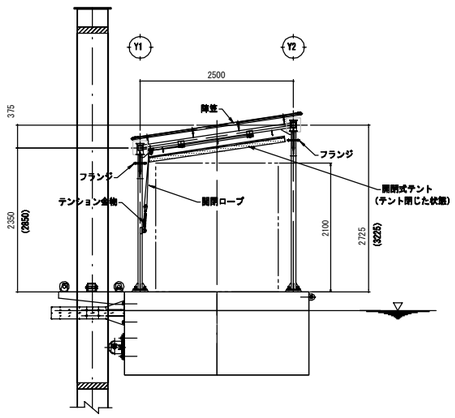
＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

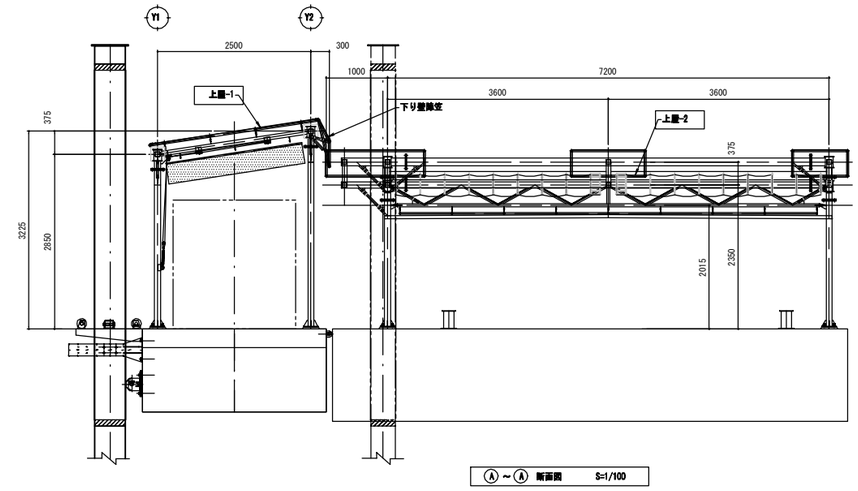
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル



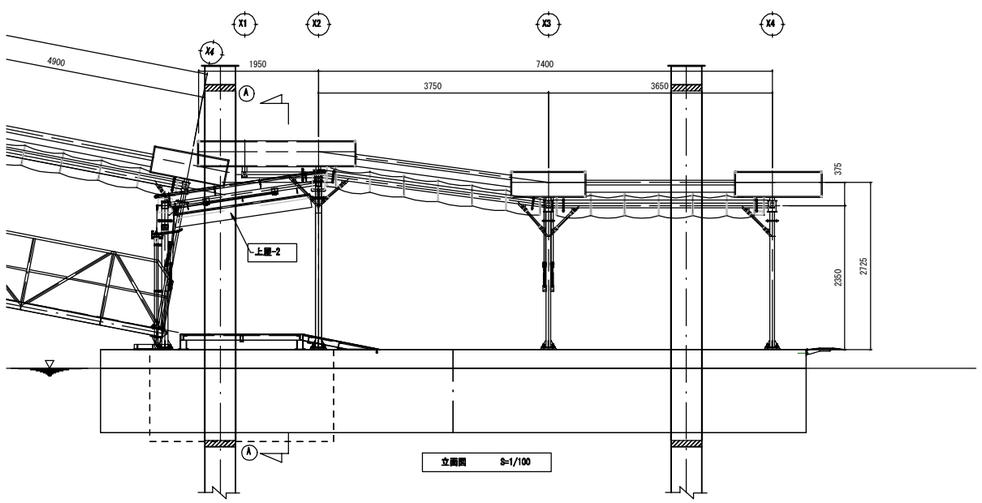
立面図　S=1/100



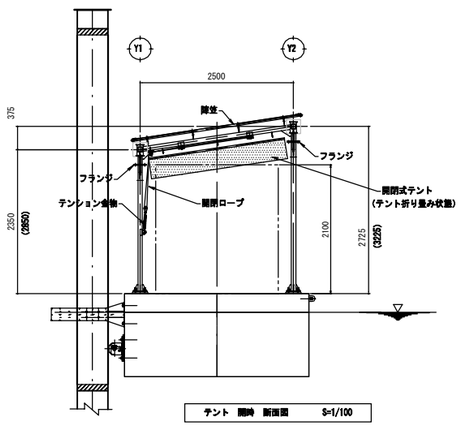
テント　閉時　断面図　S=1/100



Ⓐ～Ⓐ　断面図　S=1/100



立面図　S=1/100



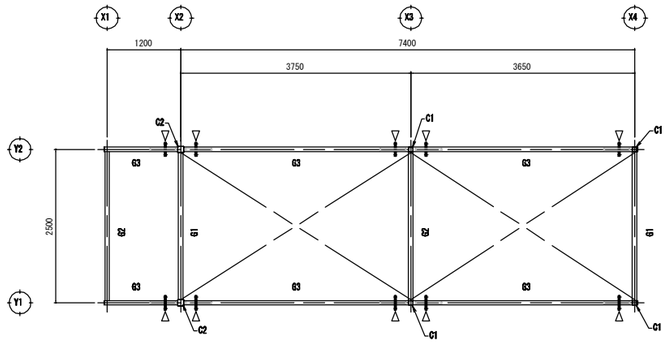
テント　開時　断面図　S=1/100

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)意匠図		
縮　尺	1/100	図面番号	156
下関市ボートレース企業局			

浮体（１）小屋伏図　S＝１：１００

救助艇浮桟橋・・・上屋-1



小屋伏図　S=1/100

▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）

設計条件（風荷重）
屋根閉時：V0=10m/s
屋根開時：V0=34m/s

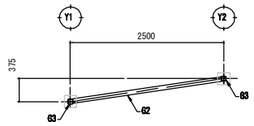
メンバーリスト

記号	部材	材質
C1	□-75x75x3.2t	STKR400
	柱頭：□-100x100x3.2t	STKR400
C2	□-100x100x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
G1	□-75x76x4.5t	STKR400
G2	□-75x76x3.2t	STKR400
G3	□-75x75x3.2t	STKR400
	方杖：P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
障笠	P-34.0φx2.3t	STK400
先端芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　斜約560、約538	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　5φ	

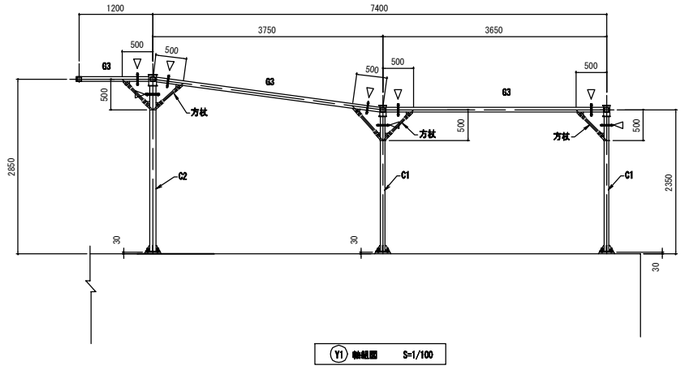
鋼材		
SR-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEW-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

- 板者は錆止め・塗装仕上げとする
- 芯材は溶融亜鉛メッキとする
- 開閉式金物はSUSとする

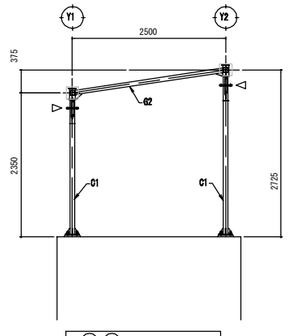
サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS



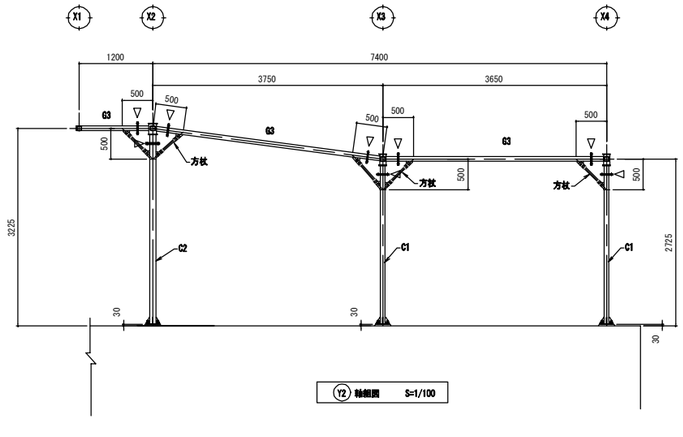
X1 軸組図　S=1/100



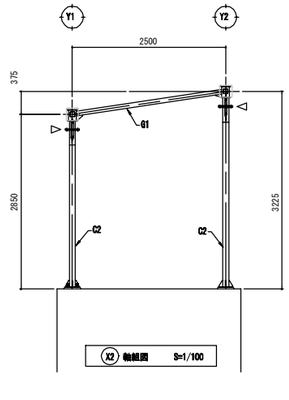
Y1 軸組図　S=1/100



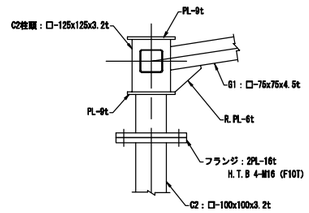
X3 X4 軸組図　S=1/100



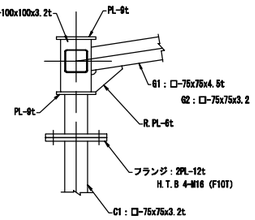
Y2 軸組図　S=1/100



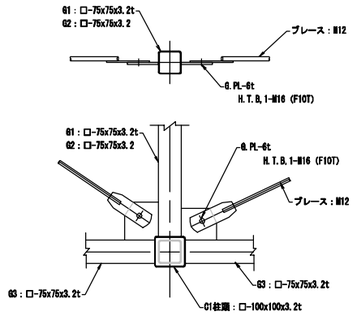
X2 軸組図　S=1/100

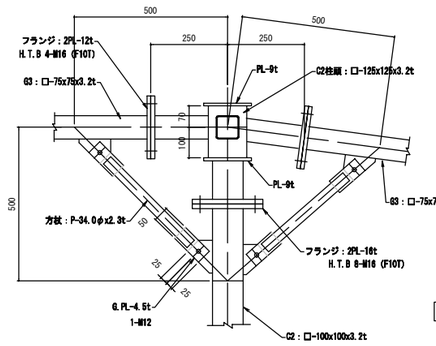


C2材　柱頭部　詳細図　S=1/20

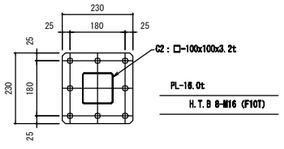


C1材　柱頭部　詳細図　S=1/20



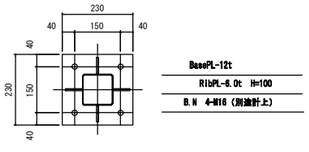


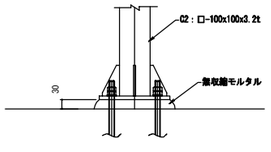
C2材　柱頭部　詳細図　S=1/20



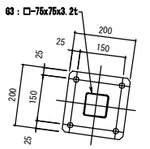
フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。

C2 フランジ　詳細図　S=1/20



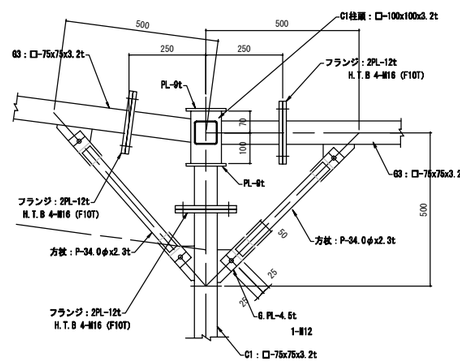


C2材　柱脚　詳細図　S=1/20

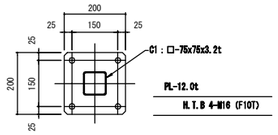


フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。

G3フランジ　詳細図　S=1/20

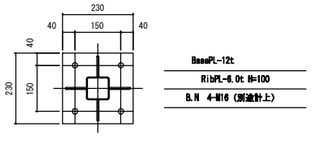


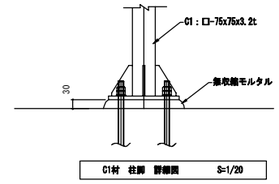
C1材　柱頭部　詳細図　S=1/20



フランジPL－パイプ間は突きあわせ溶接とする。

C1フランジ　詳細図　S=1/20





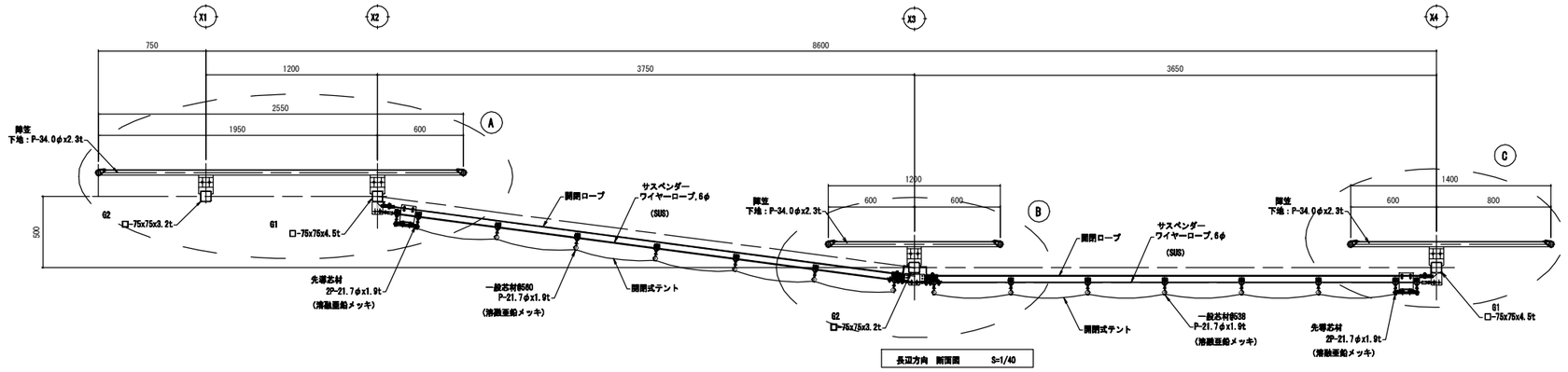
C1材　柱脚　詳細図　S=1/20

原図:A3、単位：mm

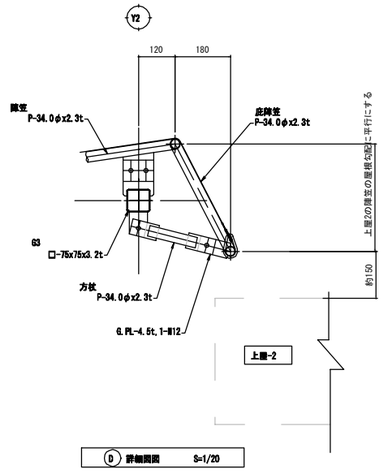
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	157
下関市ボートレース企業局			

救助艇浮桟橋・・・上屋-1

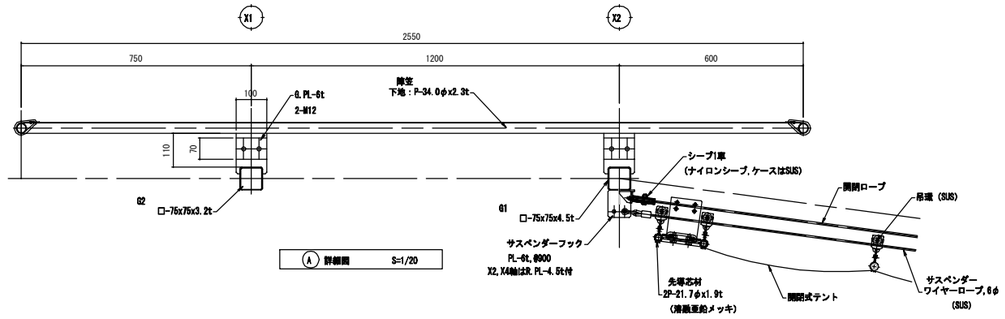
浮体（１）矩形図　　Ｓ＝１：４０



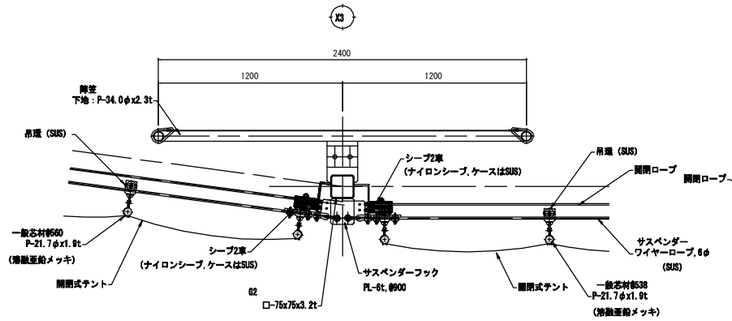
長辺方向　断面図　　S=1/40



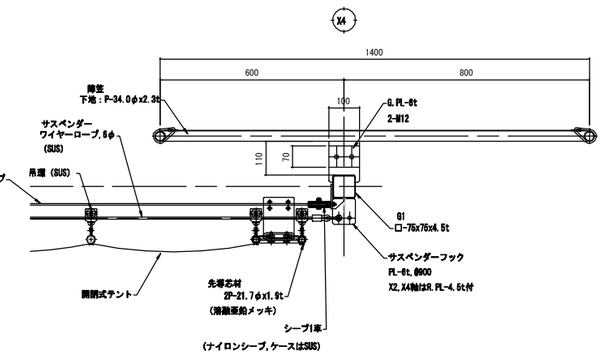
D　詳細図　　S=1/20



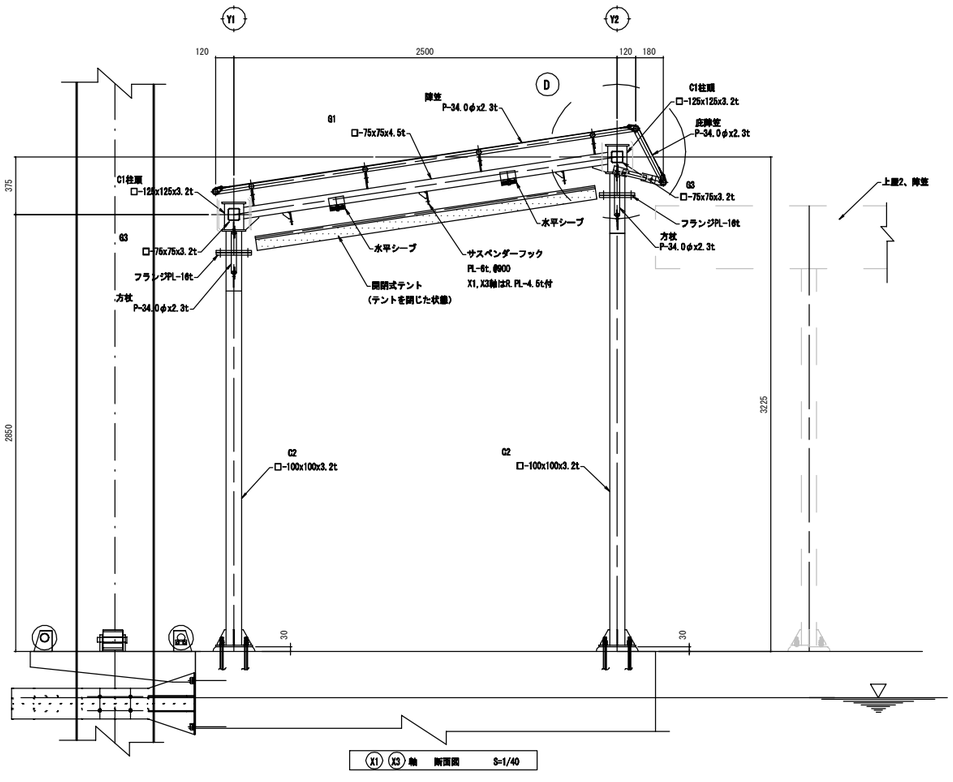
A　詳細図　　S=1/20



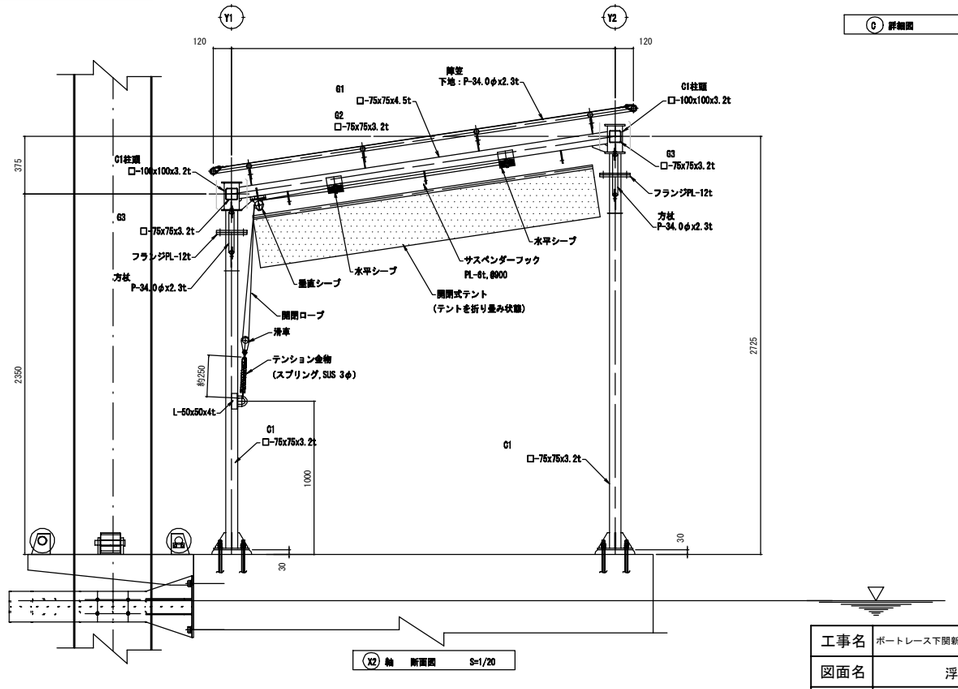
B　詳細図　　S=1/20



C　詳細図　　S=1/20



X1　X3　軸　　断面図　　S=1/40



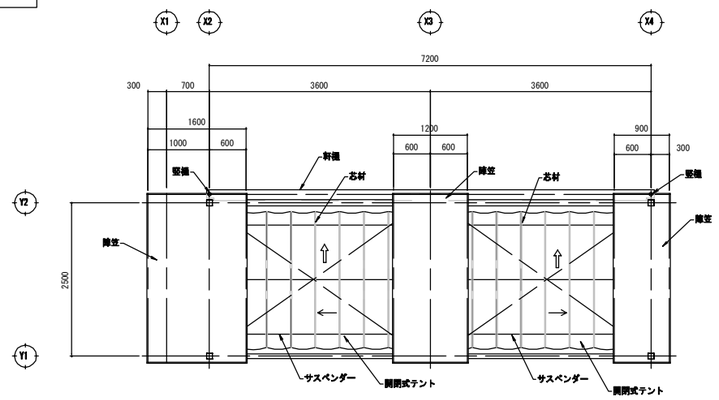
X2　軸　　断面図　　S=1/20

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(1)矩形図		
縮　尺	図示	図面番号	158
下関市ボートレース企業局			

浮体（２）意匠図　　Ｓ＝１：１００

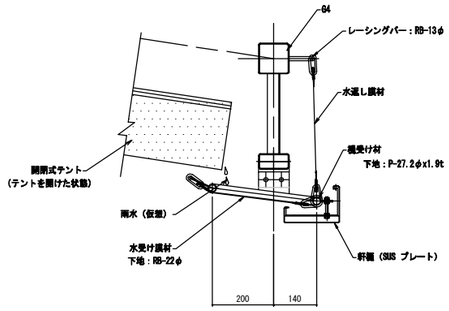
救助艇浮桟橋・・・上屋-2



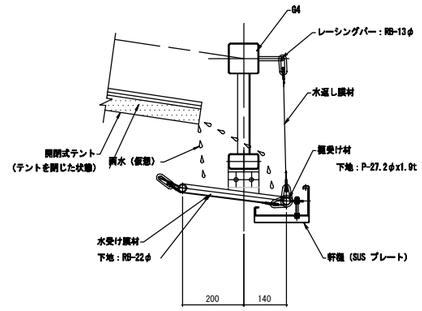
屋根伏図　S=1/100

⇦：水流れ方向を示す。

→：開閉式テント開閉方向を示す。



テントを開けた状態（空が見える状態）の桁部分　詳細図　S=1/20



テントを閉じた状態（空が見えない状態）の桁部分　詳細図　S=1/20

膜材		
5H-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料限定）	MMEW-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする

＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする

＊　開閉式金物はSUSとする

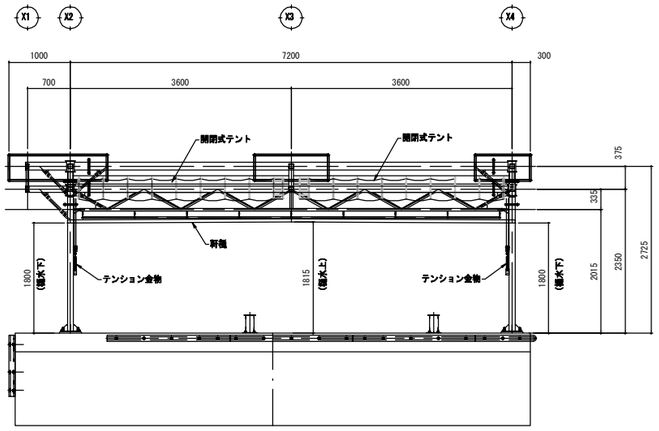
サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

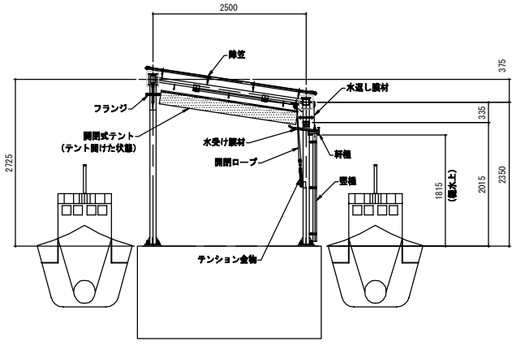
設計条件（風荷重）

屋根閉時：V0=10m/s

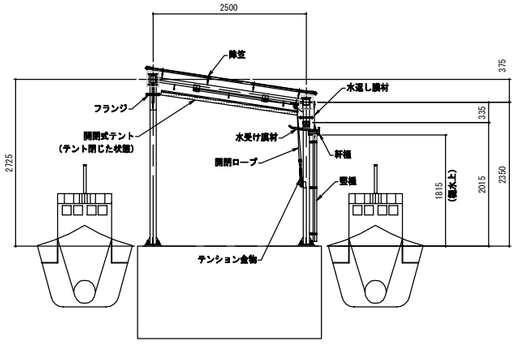
屋根開時：V0=34m/s



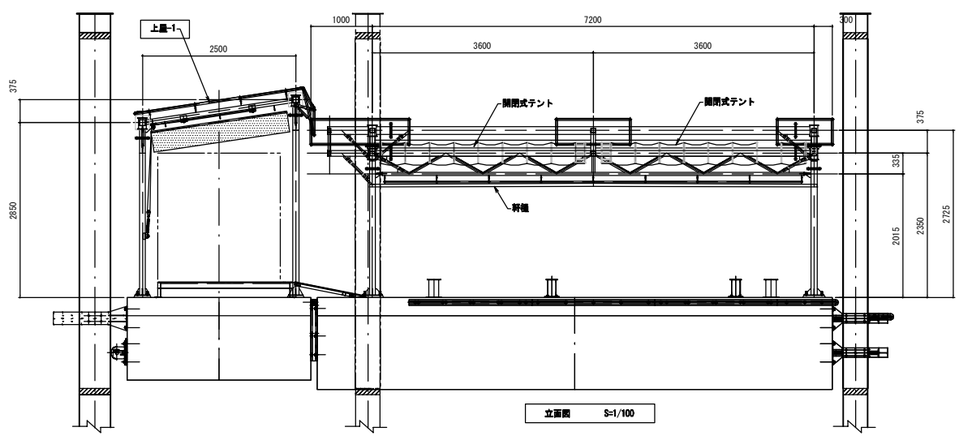
立面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



テント　閉時　断面図　S=1/100



立面図　S=1/100

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

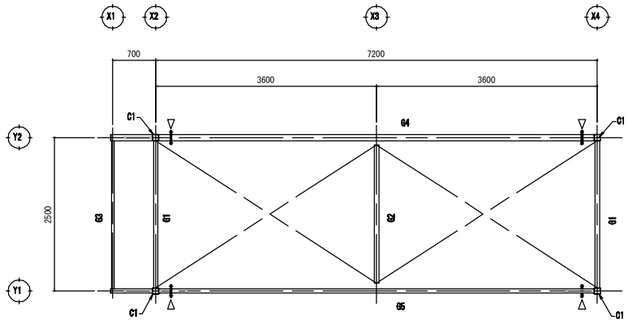
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)意匠図		
縮　尺	図示	図面番号	159
下関市ボートレース企業局			

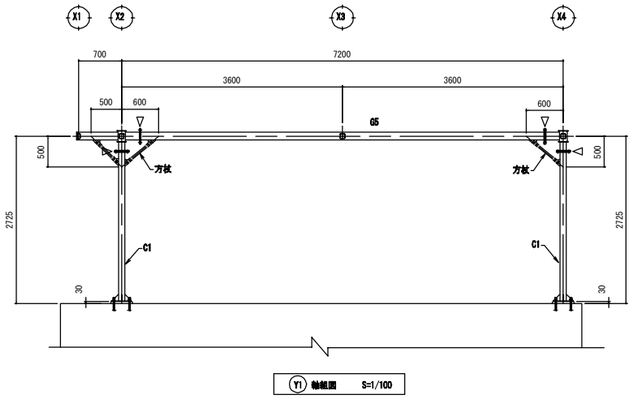
浮体（２）小屋伏図　　Ｓ＝１：１００

救助艇浮桟橋・・・上屋-2

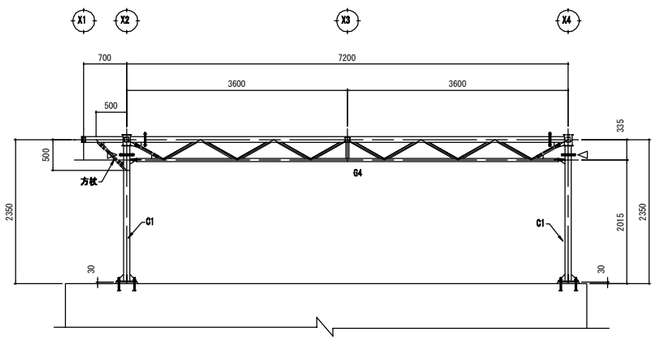


小屋伏図　　S=1/100

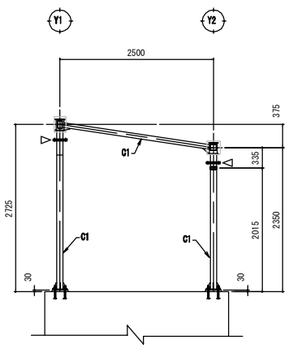
▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）



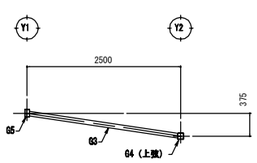
Y1 軸組図　S=1/100



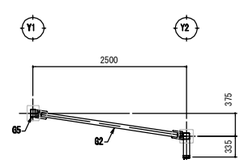
Y2 軸組図　S=1/100



X2 X4 軸組図　S=1/100



X1 軸組図　S=1/100



X3 軸組図　S=1/100

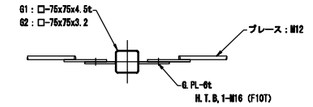
メンバーリスト

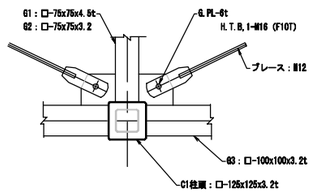
記号	部材	材質
C1	□-100x100x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
G1	□-75x75x4.5t	STKR400
G2	□-75x75x3.2t	STKR400
G3	□-75x45x3.2t	STKR400
G4	（上）□-100x100x3.2t	STKR400
	（下）□-100x50x3.2t（ヨコ）	STKR400
	斜材：L-40x40x3t	SS400
G5	□-125x75x3.2t	STKR400
	方杖：P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
障笠	P-34.0φx2.3t	STK400
先導芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　@@297	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　6φ	SUS
吊環	PL-1.5t	SUS
竪環	P-60.5φx1.5t	SUS

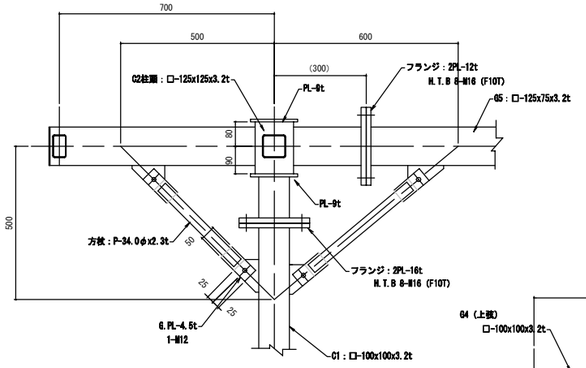
鋼材		
5R-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする
＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする
＊　開閉式金物はSUSとする
　　サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
　　シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

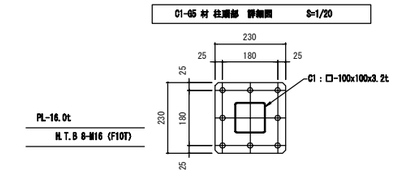
設計条件（風荷重）
屋根開時：V0=10m/s
屋根閉時：V0=34m/s





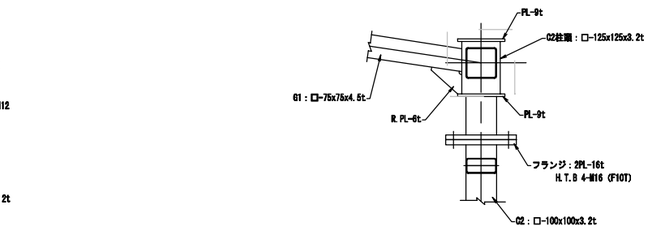


C1-G5 材 柱頭部　詳細図　　S=1/20

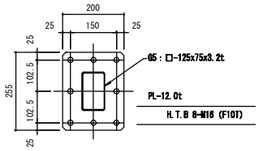


フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

C2 フランジ　詳細図　　S=1/20

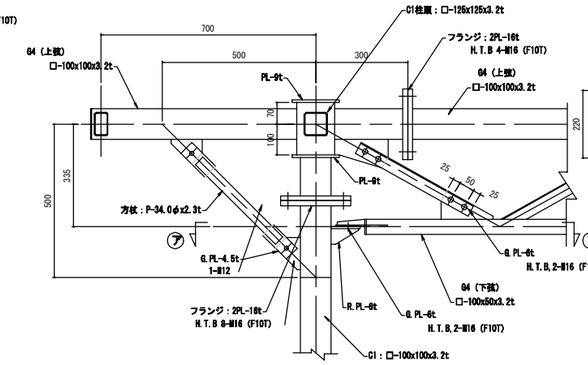


C1材　柱頭部　詳細図　　S=1/20

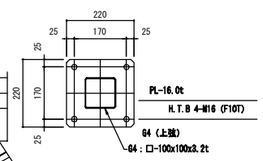


フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

G5フランジ　詳細図　　S=1/20

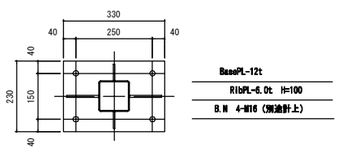


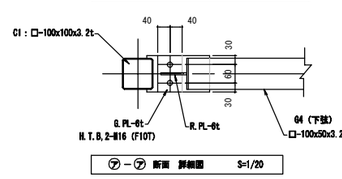
C1-G4 材 柱頭部　詳細図　　S=1/20



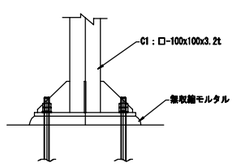
フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

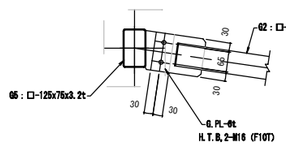
G4 フランジ　詳細図　　S=1/20



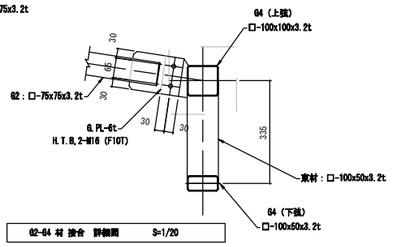


⑦－⑦　断面　詳細図　　S=1/20





G2-G5 材 接合　詳細図　　S=1/20



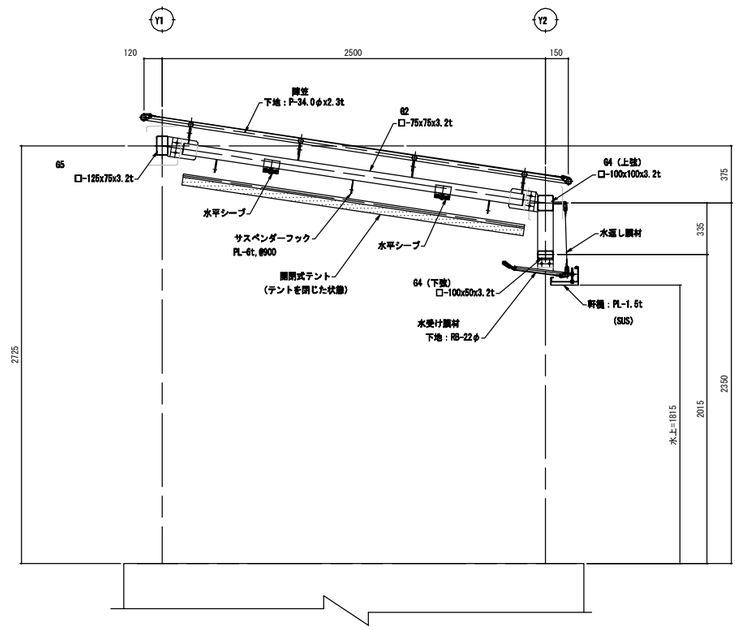
G2-G4 材 接合　詳細図　　S=1/20

原図:A3、単位：mm

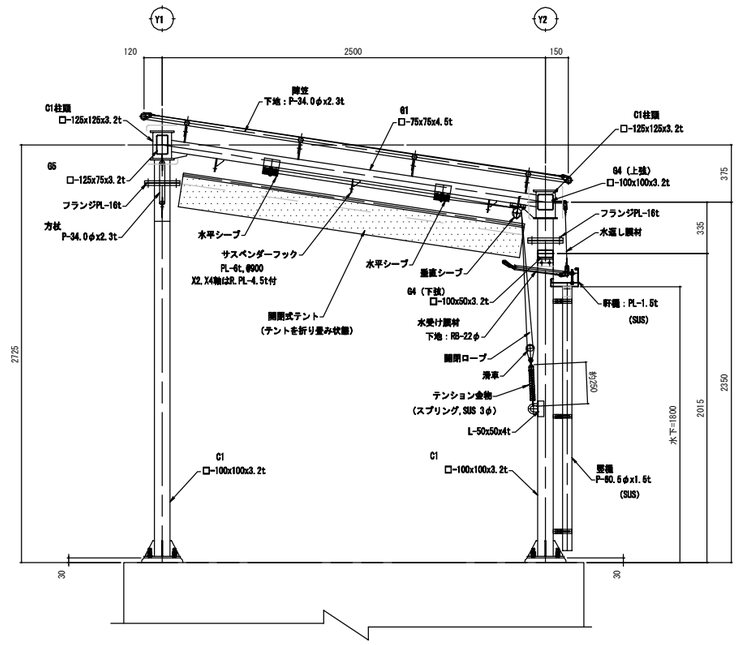
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	160
下関市ボートレース企業局			

浮体（２）矩形図（その１）　　Ｓ＝１：４０

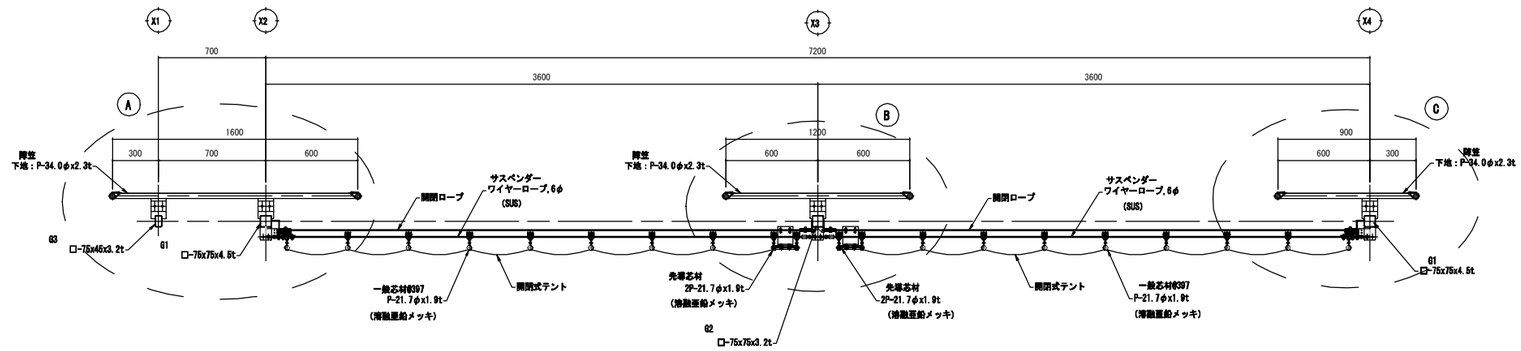
救助艇浮桟橋・・・上屋-2



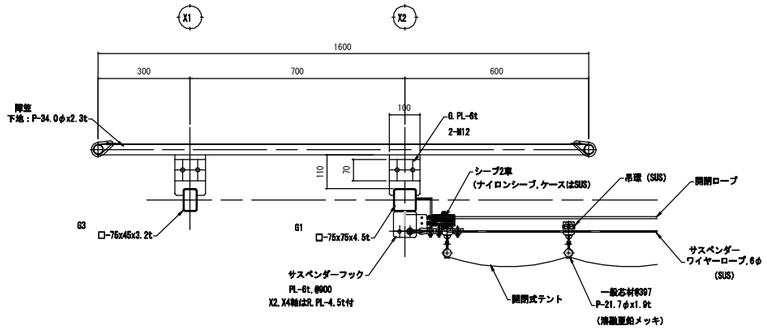
X3軸　断面図　S=1/40



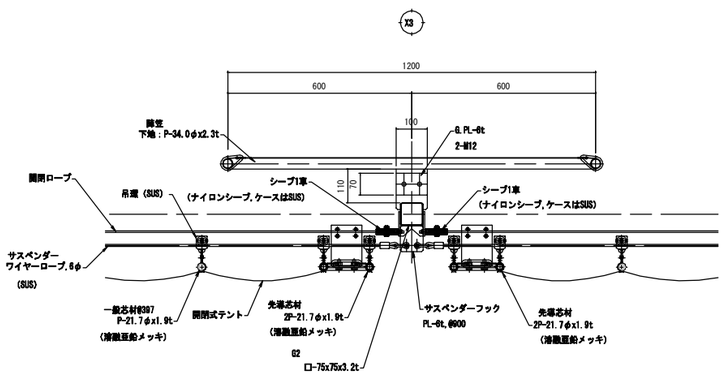
X2 X4軸　断面図　S=1/40



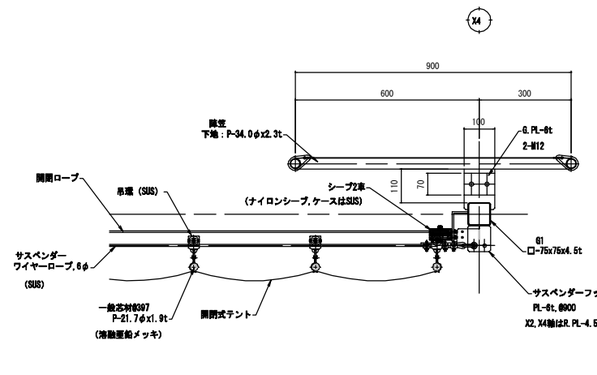
長辺方向　断面図　S=1/40



A　詳細図　S=1/20



B　詳細図　S=1/20



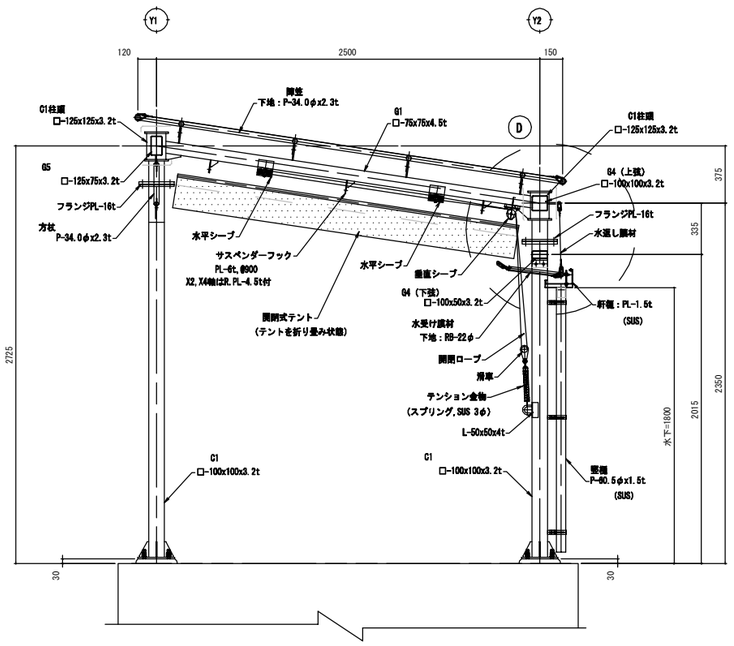
C　詳細図　S=1/20

原図:A3, 単位：mm

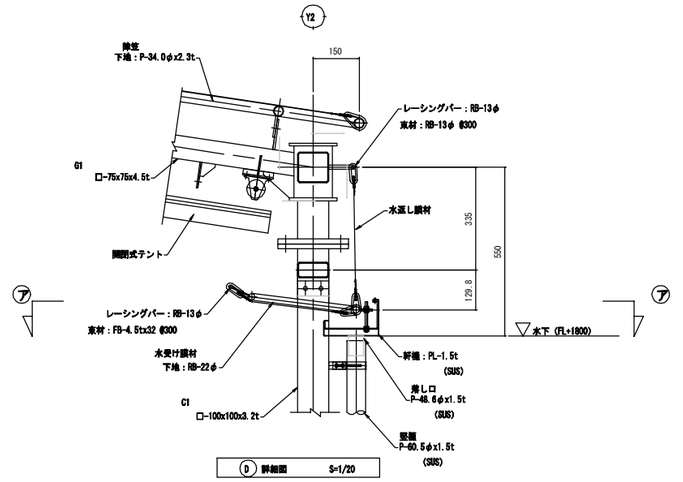
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)矩形図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	161
下関市ボートレース企業局			

救助艇浮桟橋・・・上屋-2

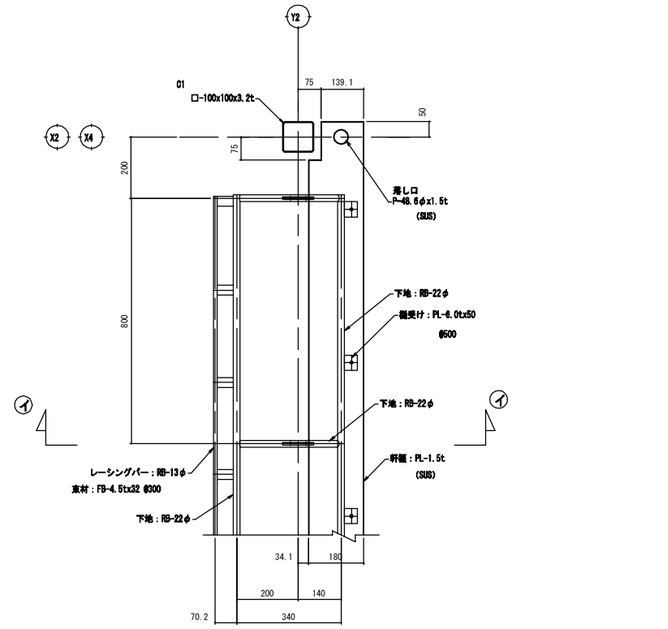
浮体（２）矩形図（その２）　Ｓ＝１：４０



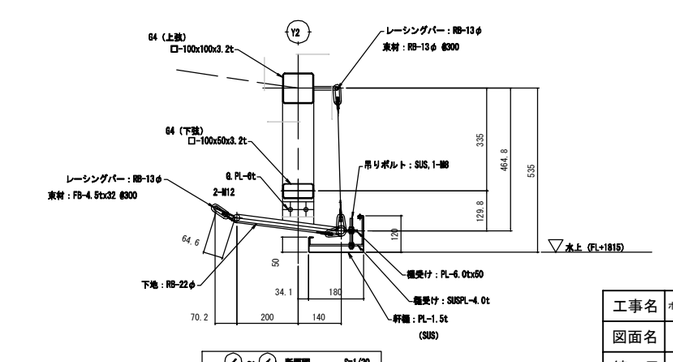
X2 X4 軸　断面図　S=1/40



D 詳細図　S=1/20



ア ～ ア 断面図　S=1/20



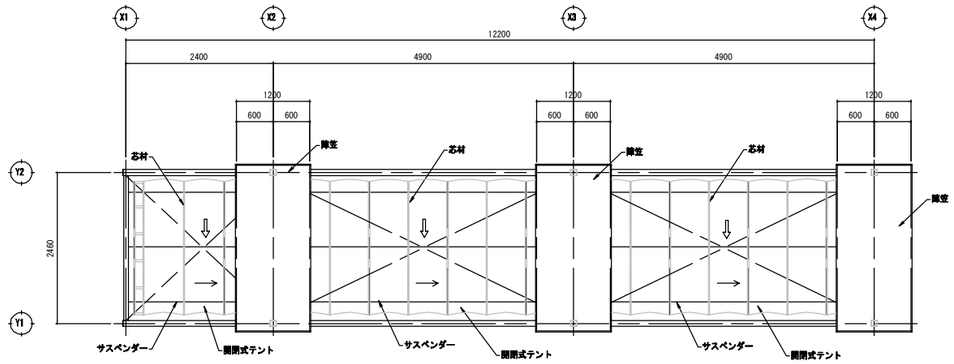
イ ～ イ 断面図　S=1/20

原図:A3、単位：mm

工事名	ポートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮体(2)矩形図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	162
下関市ポートレース企業局			

連絡橋意匠図　　S＝1：100

救助艇連絡橋



屋根伏図　S=1/100

⇦：水流れ方向を示す。

⟶：開閉式テント開閉方向を示す。

認定番号	膜材	
	SR-F	
	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

＊　鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする

＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする

＊　開閉式金物はSUSとする

サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）

屋根開時：V0=10m/s

屋根開時：V0=34m/s

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

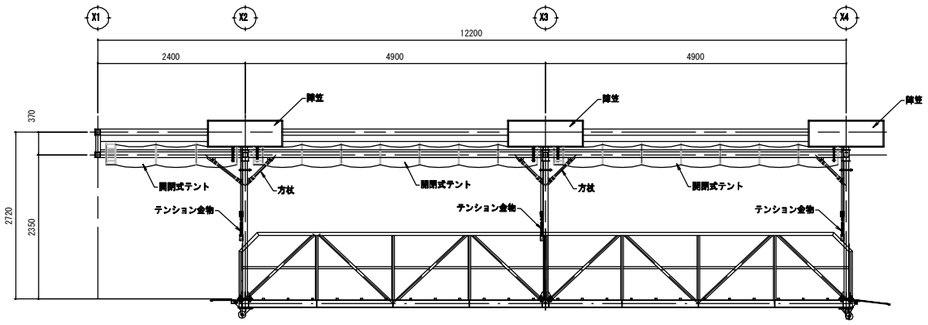
工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

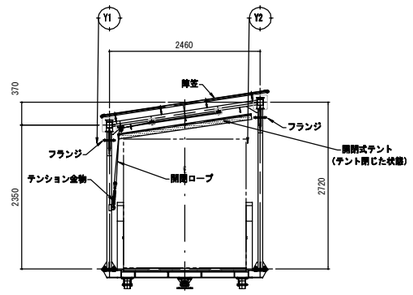
＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

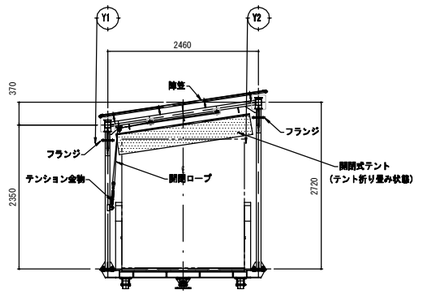
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル



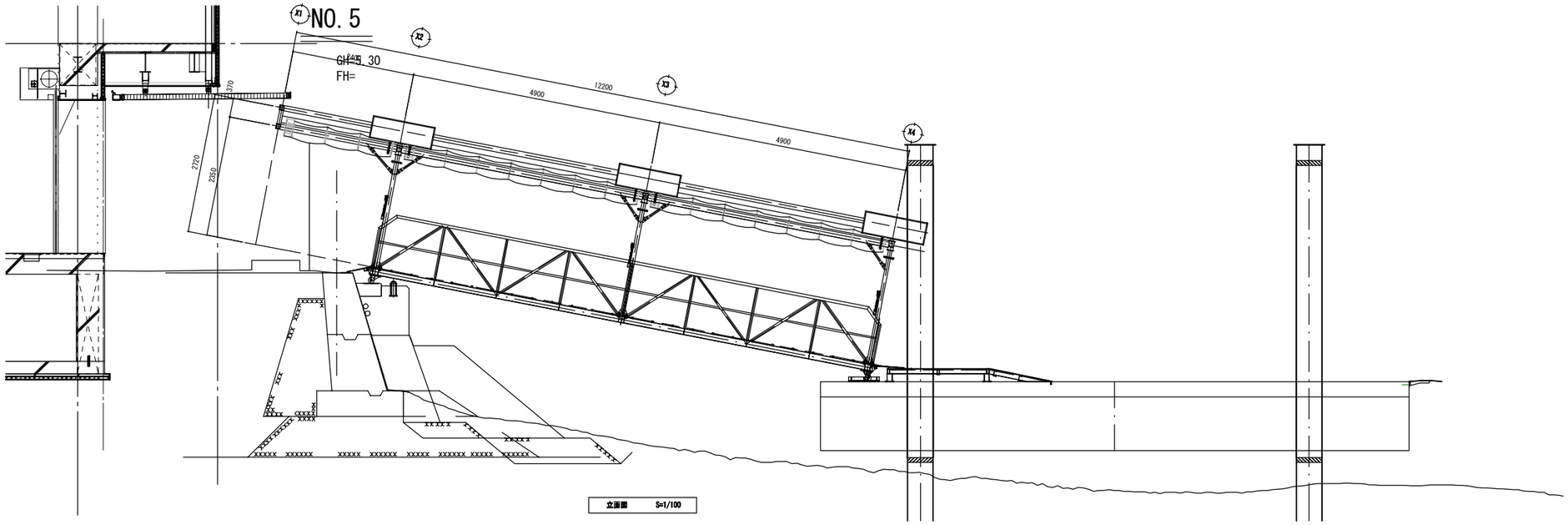
立面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



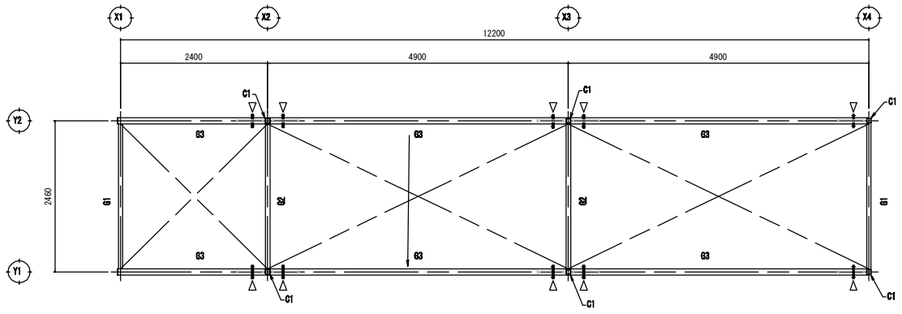
立面図　S=1/100

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋意匠図		
縮　尺	1/100	図面番号	163
下関市ボートレース企業局			

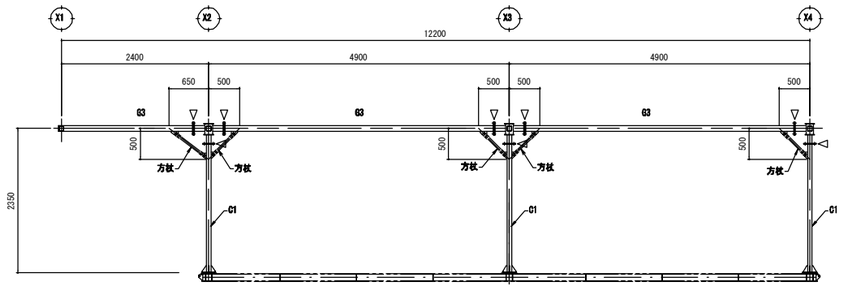
連絡橋小屋伏図　S＝1：100

アクセス連絡橋、救助艇連絡橋　　共通

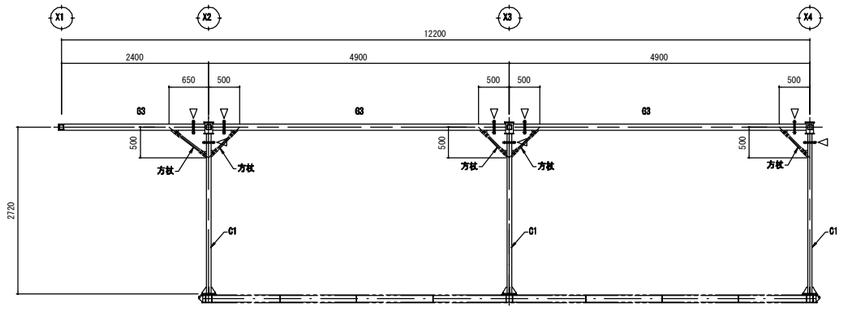


小屋伏図　S=1/100

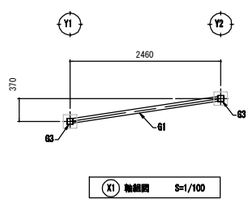
▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）



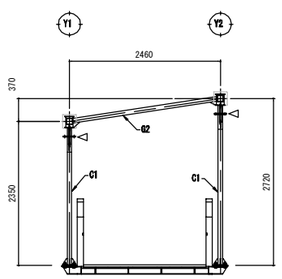
Y1 軸組図　S=1/100



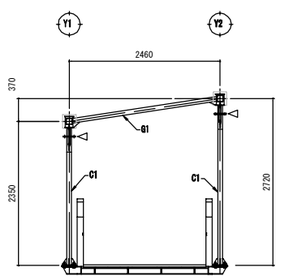
Y2 軸組図　S=1/100



X1 軸組図　S=1/100



X2 X3 軸組図　S=1/100



X4 軸組図　S=1/100

メンバーリスト

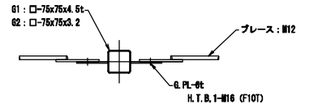
記号	部材	材質
C1	□-75x75x3.2t	STKR400
	柱頭：□-125x125x3.2t	STKR400
G1	□-75x75x4.5t	STKR400
G2	□-75x75x3.2t	STKR400
G3	□-100x100x3.2t	STKR400
	方杖： P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
踊笠	P-34.0φx2.3t	STK400
先端芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　@約639，@658	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　6φ	

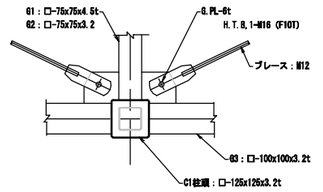
膜材		
SR-F		
設定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEN-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

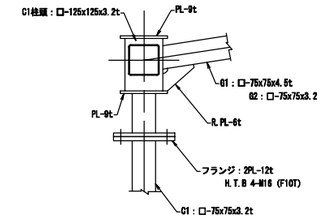
- 鉄骨は錆止め+塗装仕上げとする
- 芯材は溶融亜鉛メッキとする
- 開閉式金物はSUSとする

サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

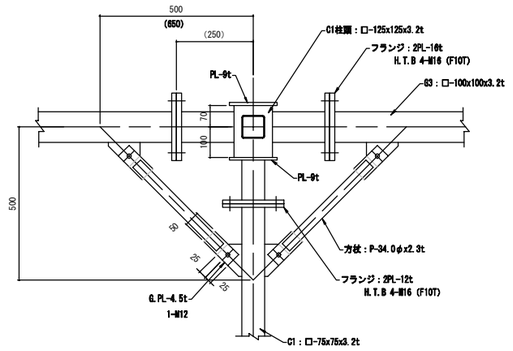
設計条件（風荷重）
暴風時：V0=10m/s
暴風時：V0=34m/s



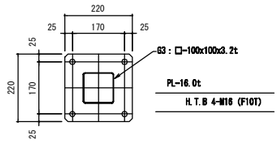




柱頭部　詳細図　　S=1/20

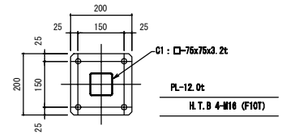


柱頭部　詳細図　　S=1/20



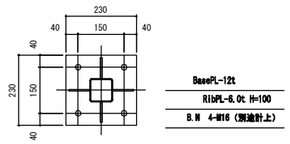
フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

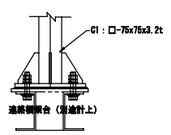
G3 フランジ　詳細図　　S=1/20



フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

C1フランジ　詳細図　　S=1/20





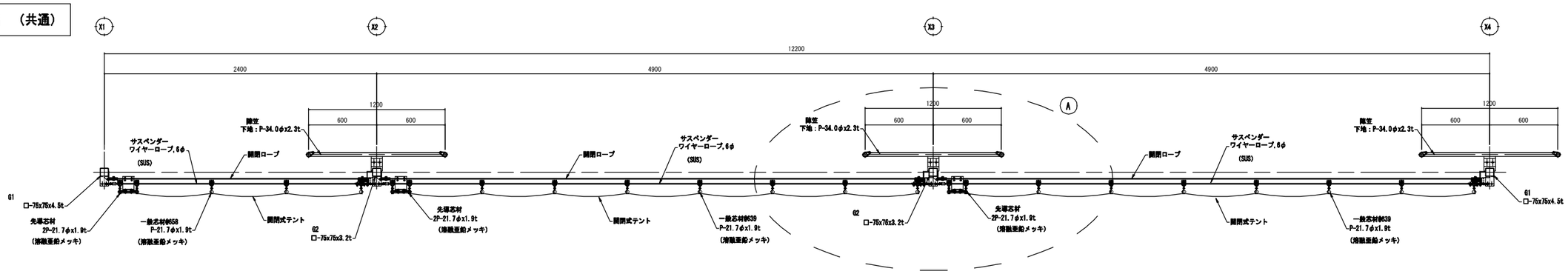
柱脚　詳細図　　S=1/20

原図:A3、単位：mm

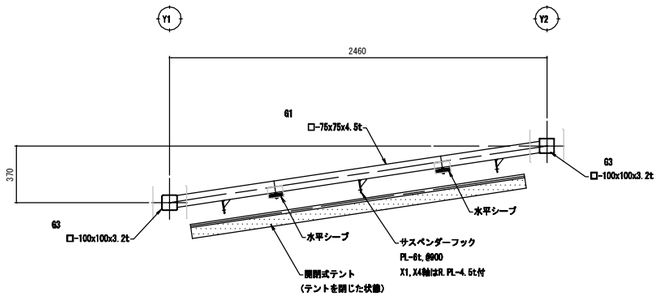
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	164
下関市ボートレース企業局			

連絡橋矩形図　　S＝1：40

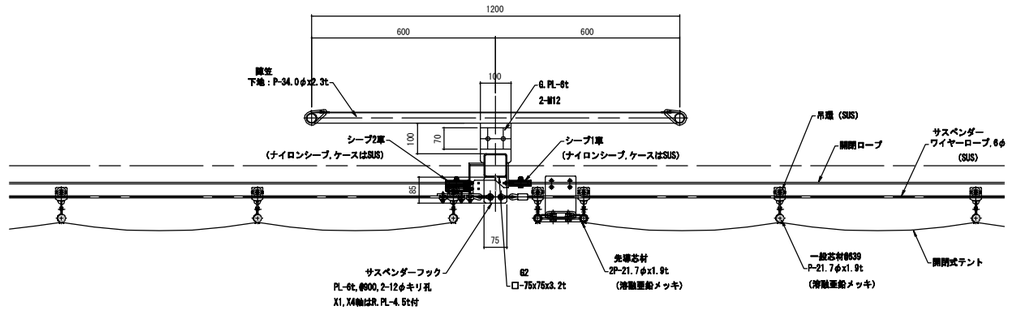
アクセス、救助艇連絡橋　（共通）



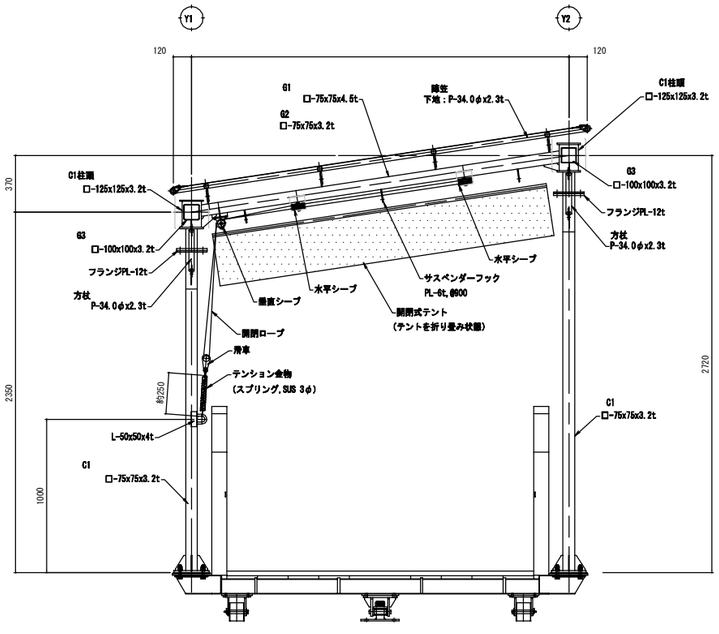
長辺方向　断面図　　S=1/40



X1軸　断面図　　S=1/40



A 詳細図　　S=1/20



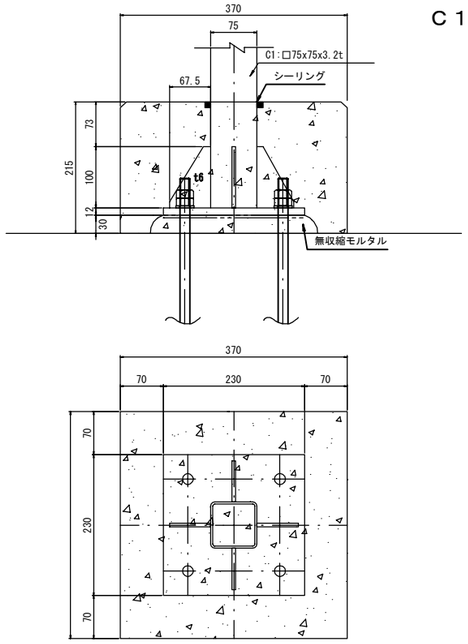
矩計図　　S=1/40

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋矩形図		
縮　尺	図示	図面番号	165
下関市ボートレース企業局			

根巻コンクリート詳細図　　S＝1：10

C１柱脚（救助艇１）



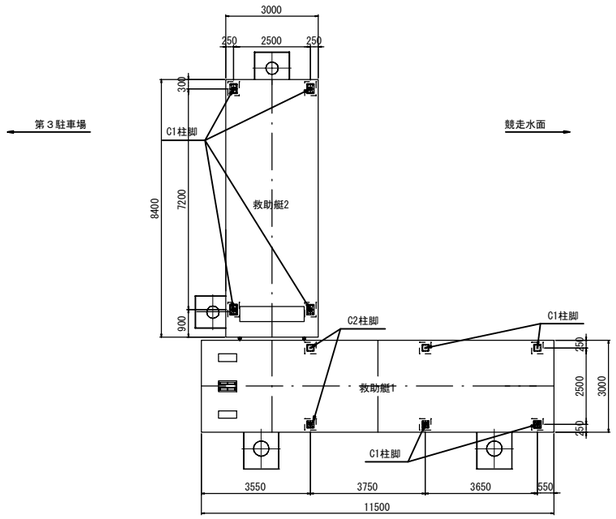
1箇所あたり数量
・型枠面積

A=（4×0.215×0.37）㎡=0.318（m^2）

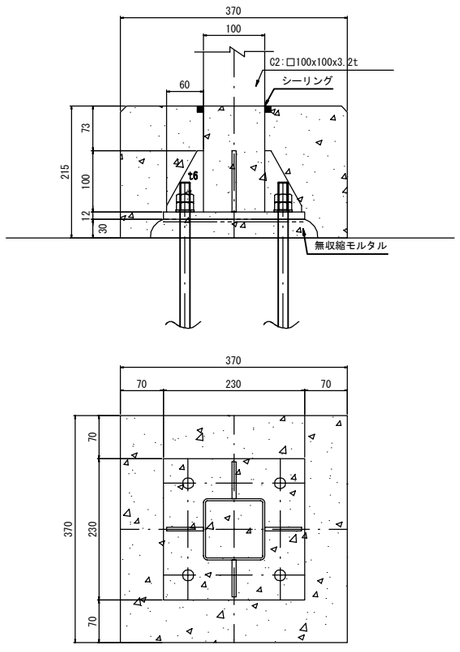
・モルタル体積
V=0.23×0.23×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.37×0.215
－（0.23×0.23×0.012）・・・Base.PL
－（0.0675x0.100x0.006x1/2）x4・・・Rib.PL　　-0.075x0
.075x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.026（m^3）

配 置 図　S＝1：200



C２柱脚



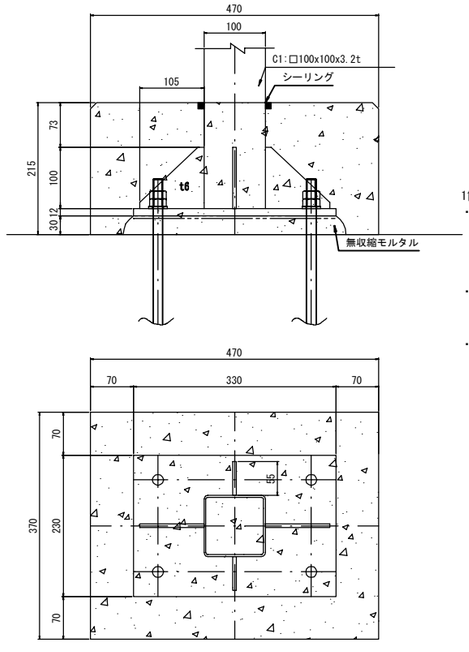
1箇所あたり数量
・型枠面積

A=4×0.215×0.37=0.318（m^2）

・モルタル体積
V=0.23×0.23×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.37×0.215
－（0.23×0.23×0.012）・・・Base.PL
－（0.060×0.100×0.006×1/2）×4・・・Rib.PL
-0.100x0.100x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.025（m^3）

C１柱脚（救助艇２）



1箇所あたり数量
・型枠面積

A=（2×0.215×0.47）㎡+
（2×0.215×0.37）㎡=0.361（m^2）

・モルタル体積
V=0.23×0.33×0.03
=0.002（m^3）

・コンクリート体積
V=0.37×0.47×0.215
－（0.23×0.33×0.012）・・・Base.PL
－（0.105×0.100×0.006×1/2）×2・・・Rib.PL1
－（0.055×0.100×0.006×1/2）×2・・・Rib.PL2
-0.100x0.100x0.173・・・支柱
-0.002・・・モルタル
=0.040（m^3）

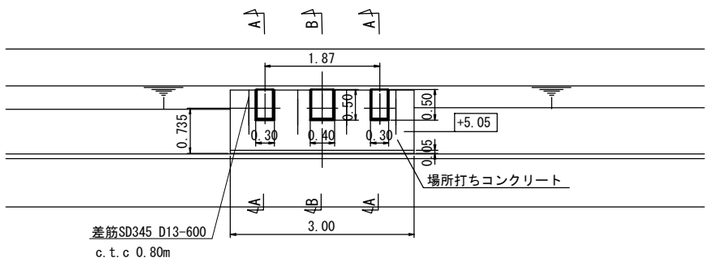
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	根巻コンクリート詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	166
下関市ボートレース企業局			

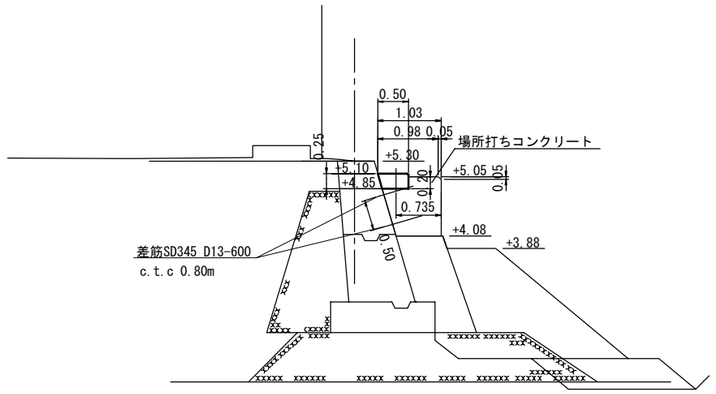
橋 台 詳 細 図　S＝1：100

(No.5付近)

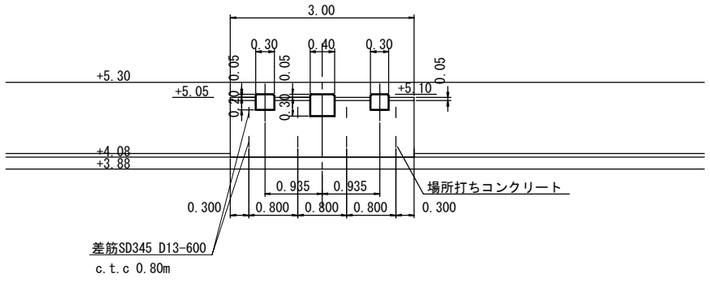
平 面 図



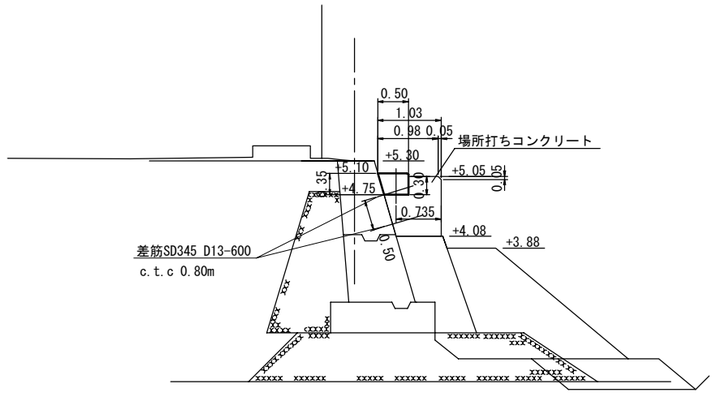
A － A 断面



正 面 図



B － B 断面

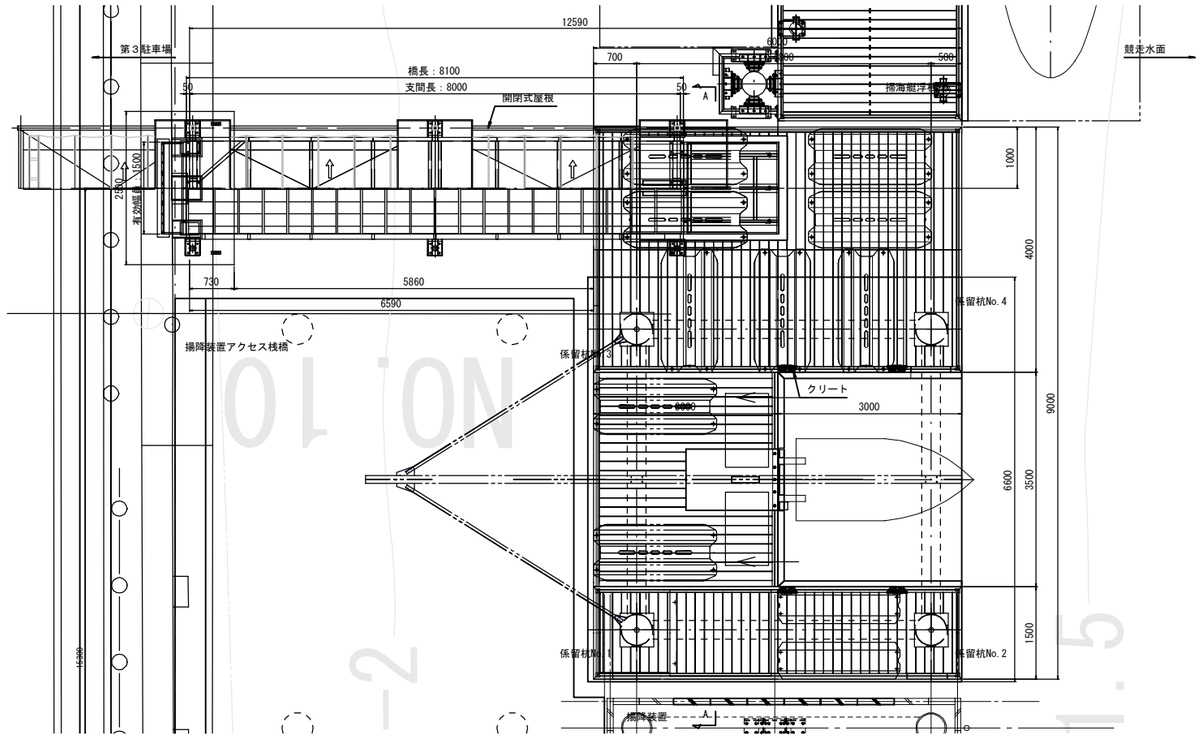


原図:A3、単位：m

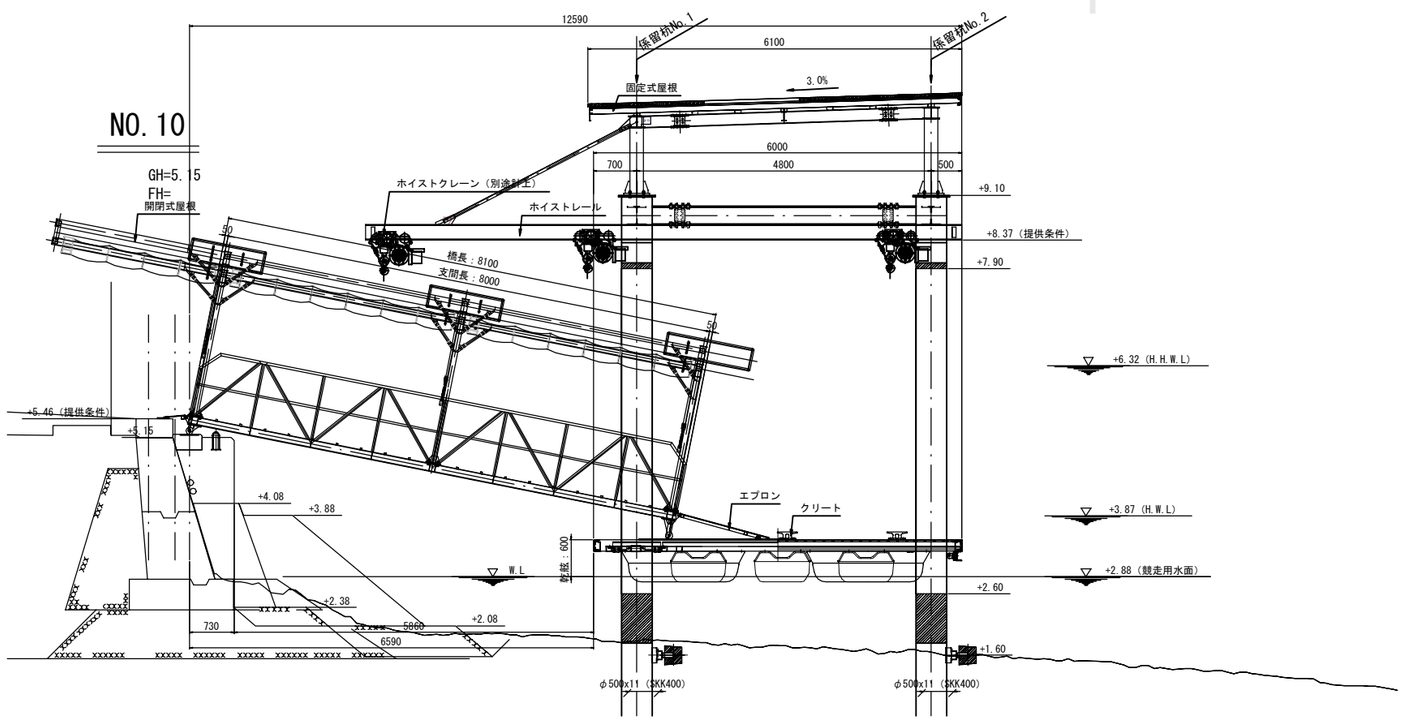
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	橋台詳細図		
縮　尺	1/100	図面番号	167
下関市ボートレース企業局			

浮桟橋一般図　　S＝1：100

平面図



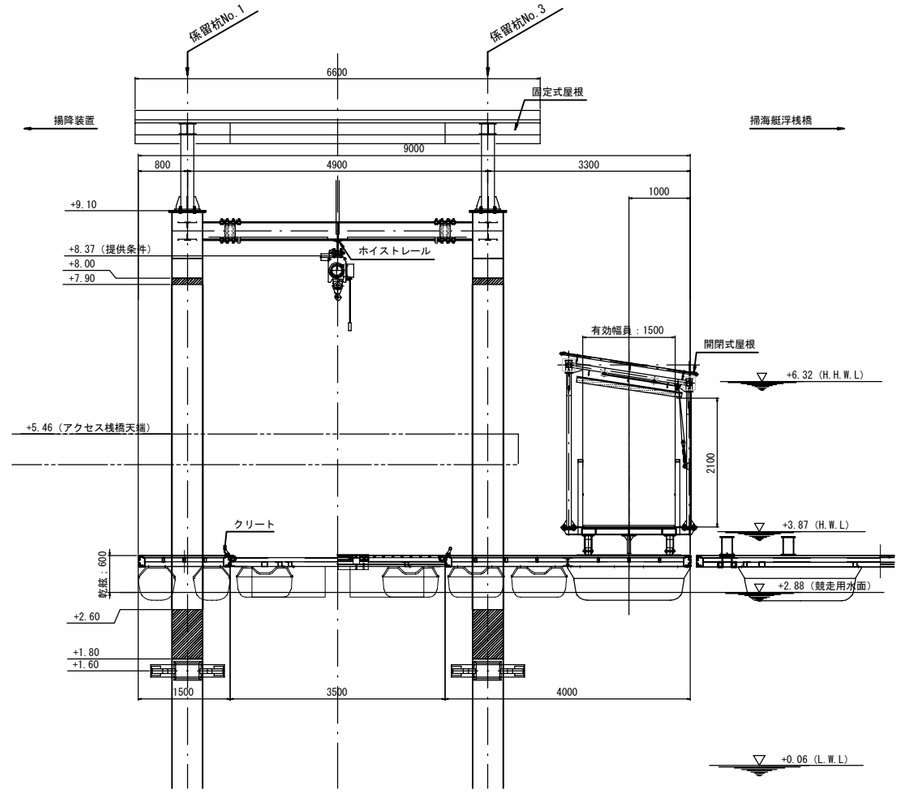
側面図



NO.10

GH=5.15
FH=

A－A



＜ホイストクレーン浮桟橋設計要目＞

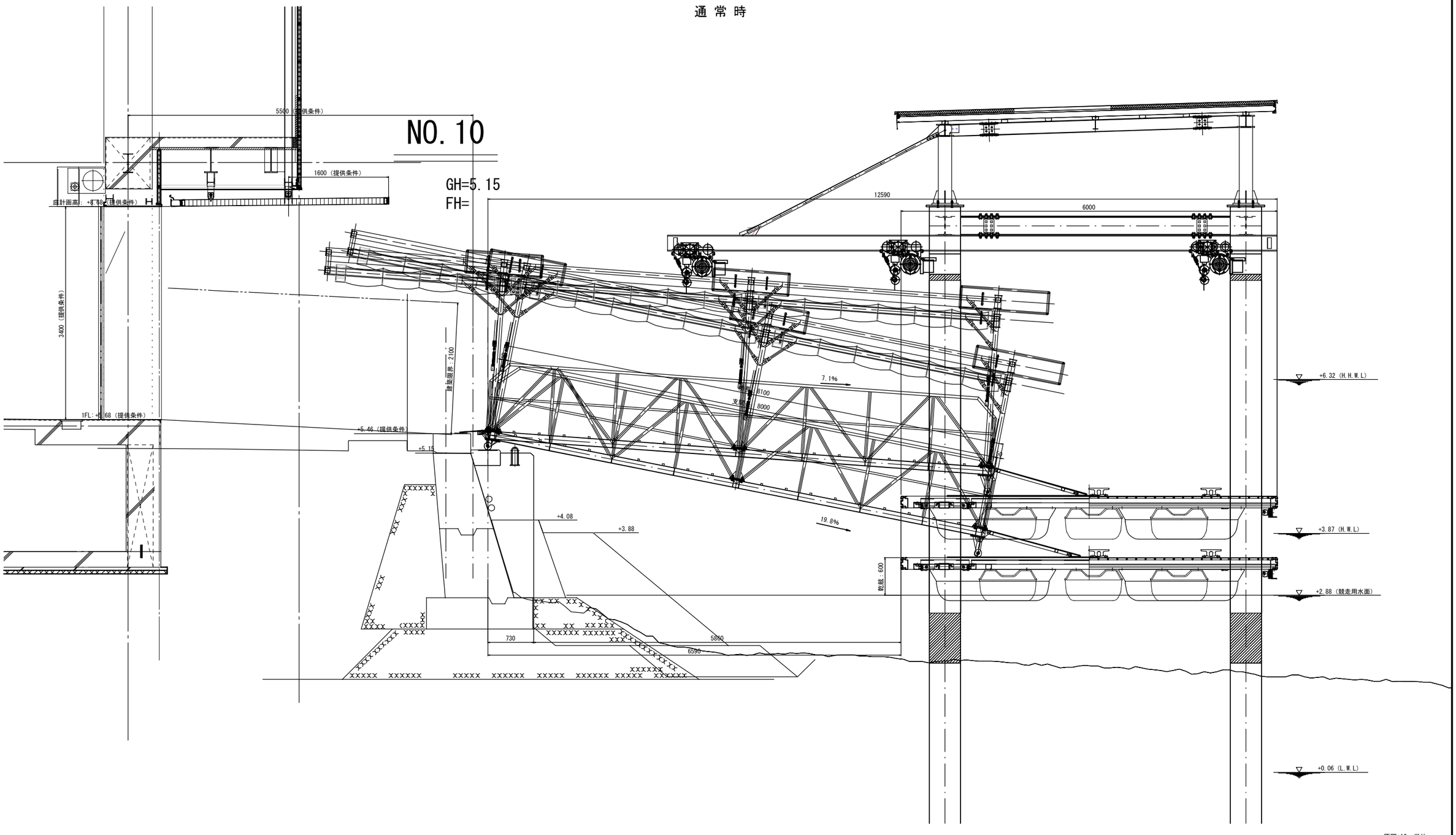
形　　式	アルミフレーム+樹脂フロート（セパレート）
寸　　法	9.0m×6.0m
乾 舷 高	0.60m（無載荷時）
上載荷重	1.5kN／m^2
対象船舶	競走艇（L2.90mxB1.32m） 救助艇、掃海艇（接岸力のみ考慮）
床　　版	合成木材
防　　食	係留杭　　：重防食被覆+塗装（CM-A） 電気防食（流電陽極方式） 固定式屋根：塗装（CM-A）
付属物	クリート4基、防舷材D型100H 敷鉄板、固定式屋根

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮桟橋一般図		
縮　尺	1/100	図面番号	168
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その１）　　Ｓ＝１：６０

通 常 時

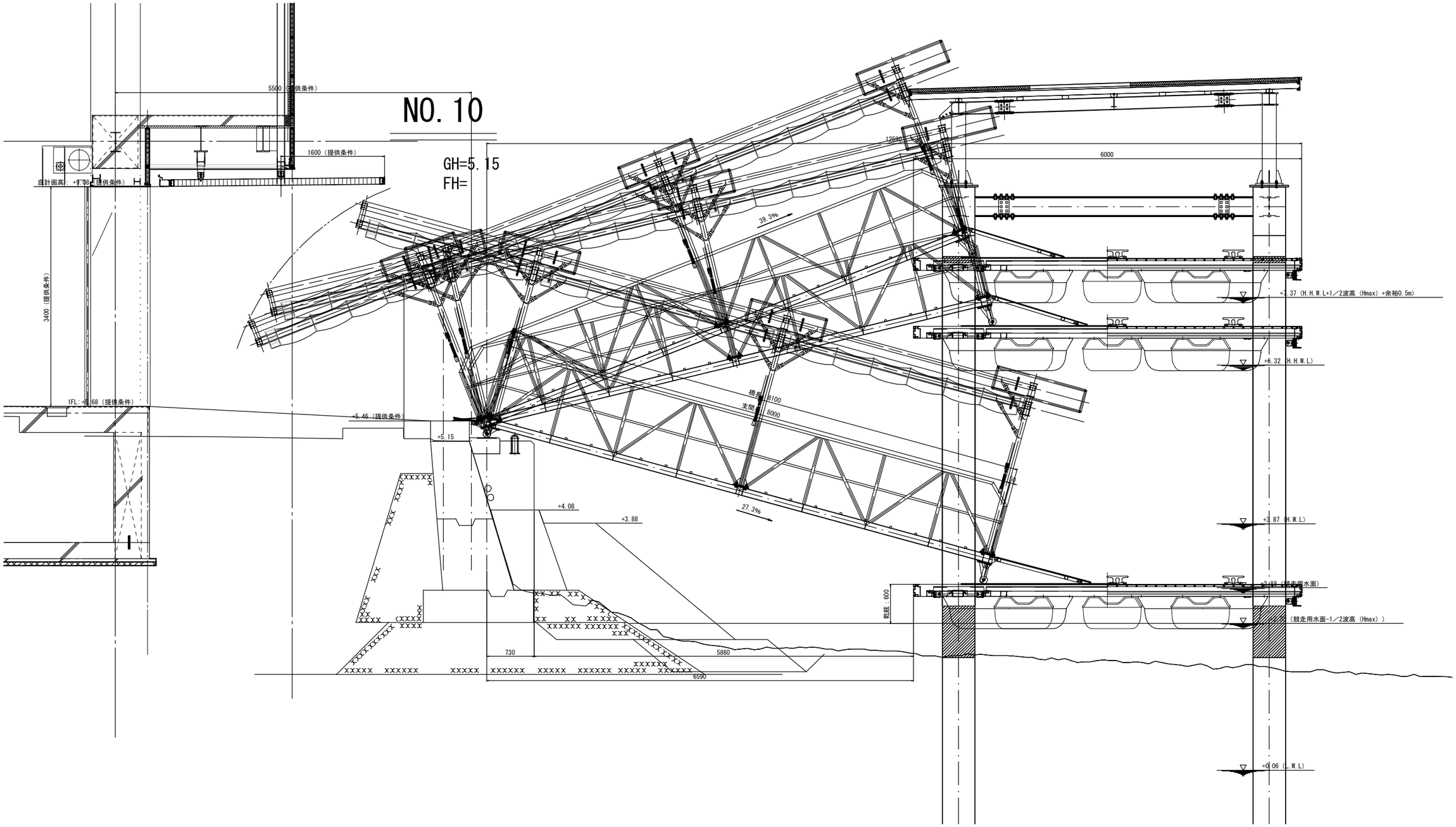


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その1）		
縮　尺	1/60	図面番号	169
下関市ボートレース企業局			

上下限勾配計画図（その２）　　Ｓ＝１：６０

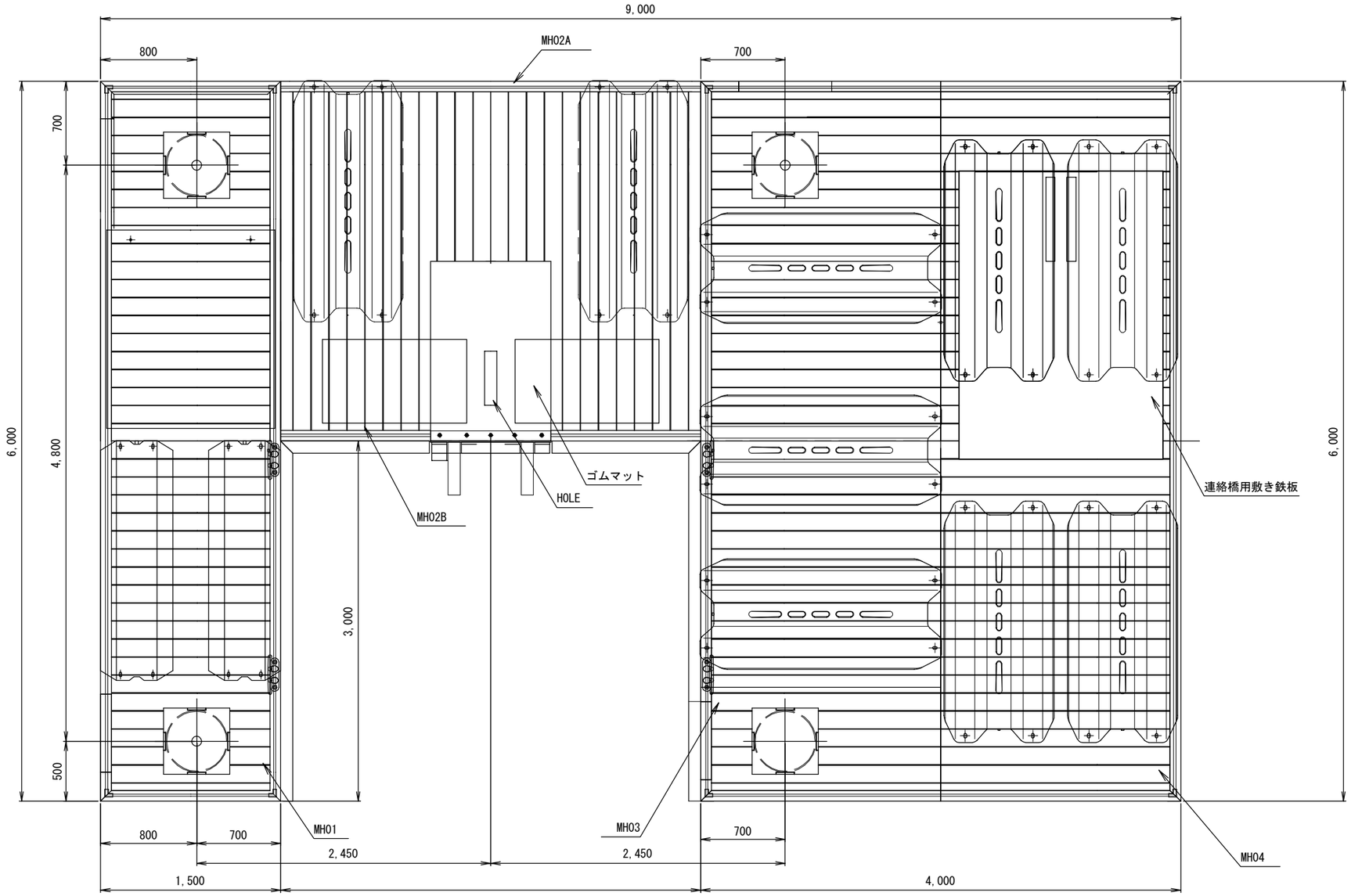
異常潮位時



原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	上下限勾配計画図（その2）		
縮　尺	1/60	図面番号	170
下関市ボートレース企業局			

構造一般図　　S＝1：40

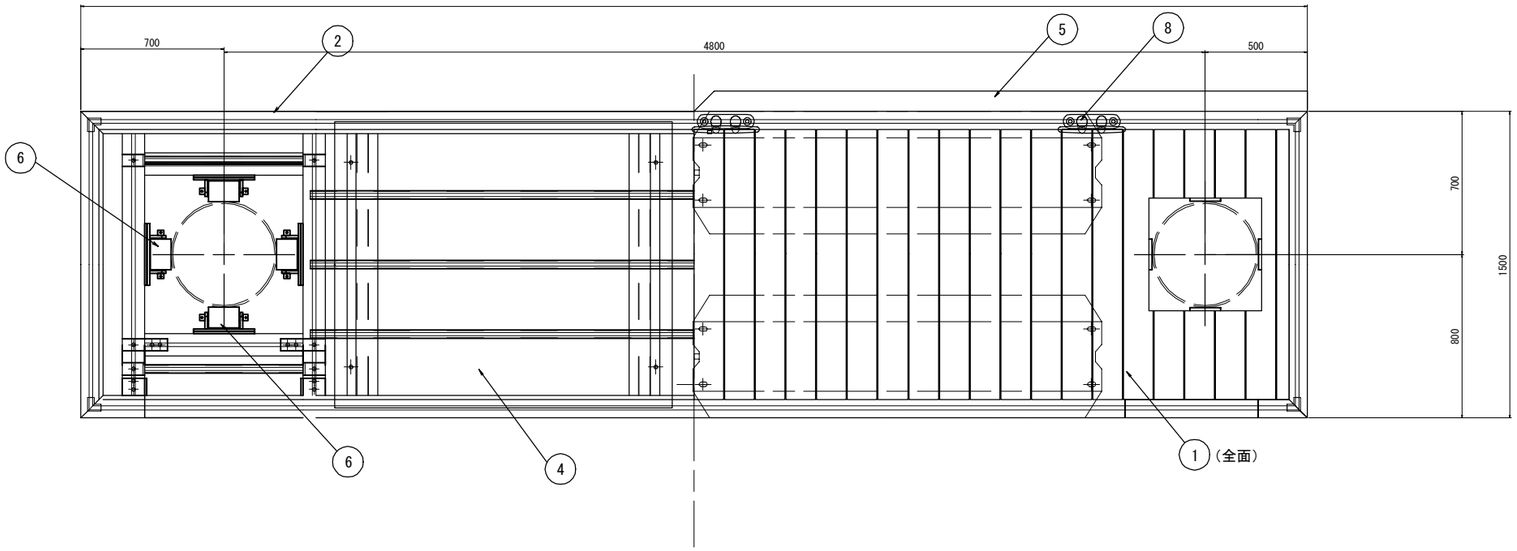


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	構造一般図		
縮　尺	1/40	図面番号	171
下関市ボートレース企業局			

ＭＨ－０１詳細図　　Ｓ＝１：３０

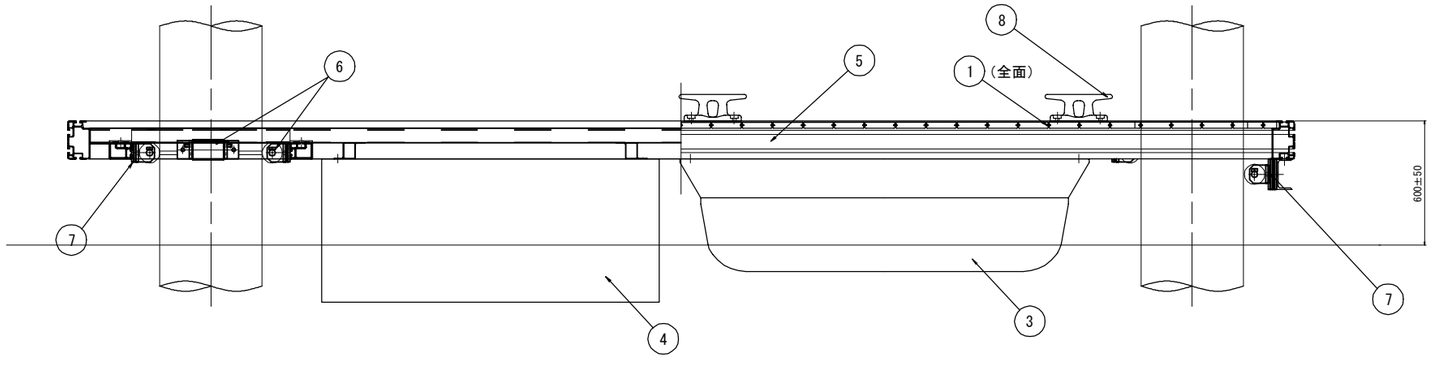
平 面 図



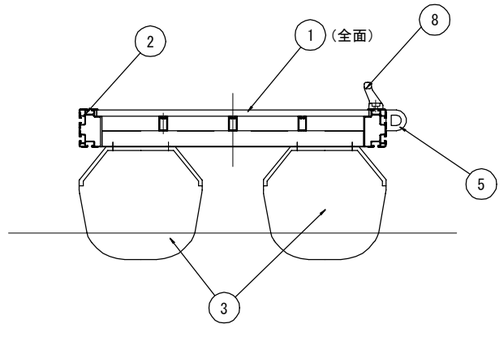
浮桟橋ユニット（固I-01）　材料構成表

No.	部 位	仕　様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約40枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	
③	フロート	高密度ポリエチレン	2個	
④	フロート	外皮：ウレタン樹脂塗装 内部：発泡スチロール	1個	
⑤	防舷材	合成ゴム　D型100mm	3m	
⑥	ローラー	合成ゴム	8個	
⑦	スペイサー	ポリエチレン樹枝	適量	
⑧	クリート	L=330mm　アルミ鋳造品	2個	

正 面 図



断 面 図

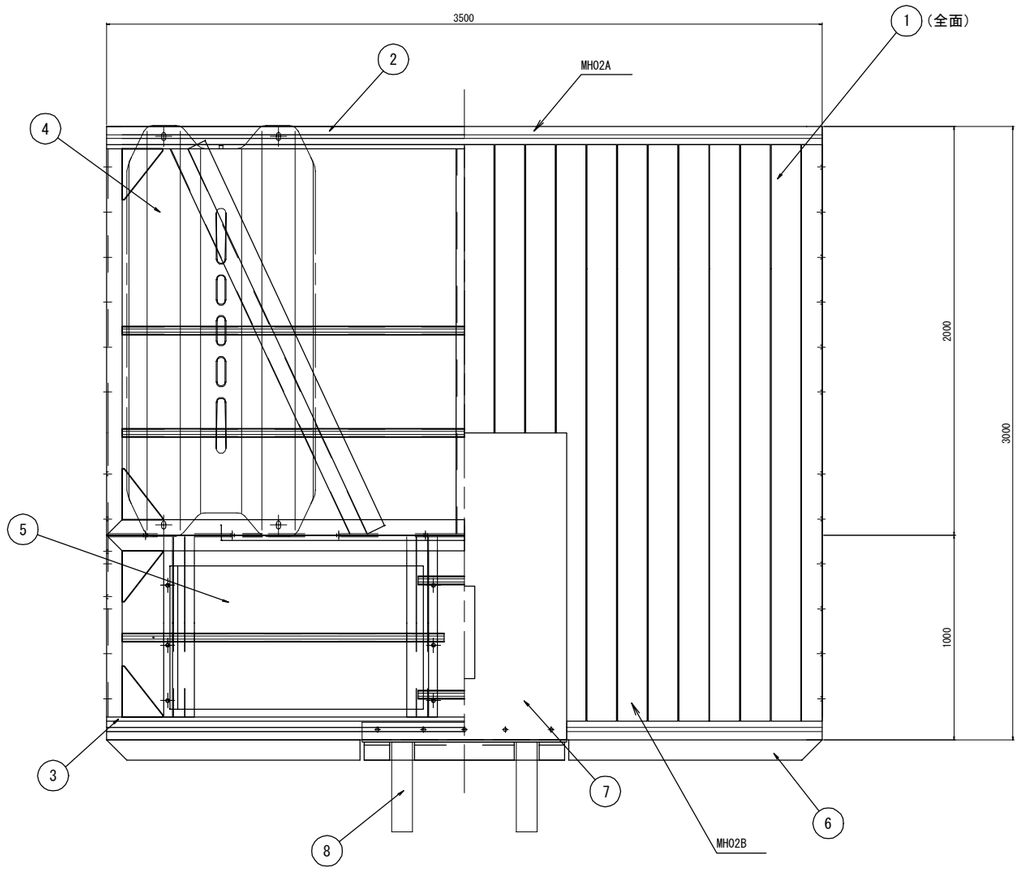


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＨ01詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	172
下関市ボートレース企業局			

ＭＨ－０２詳細図　　Ｓ＝１：３０

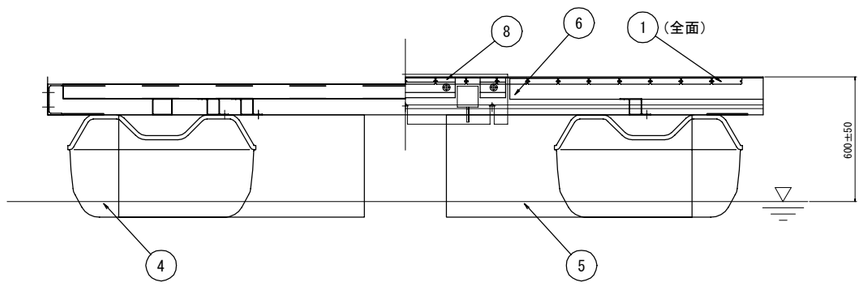
平 面 図



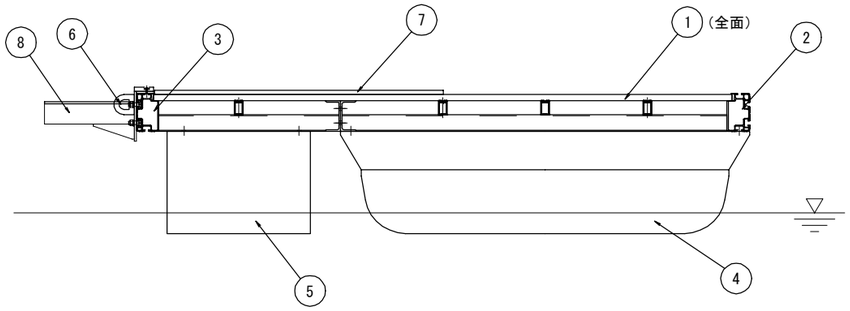
浮桟橋ユニット（MH-02）　材料構成表

No.	部 位	仕 様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約24枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	MH-02A
③	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	MH-02B
④	フロート	高密度ポリエチレン	2個	
⑤	フロート	外皮：ウレタン樹脂塗装 内部：発泡スチロール	2個	
⑥	防舷材	合成ゴム　D型100mm	3.5m	
⑦	ゴムマット	合成ゴム	1枚	
⑧	張出デッキ	アルミ合金（A6005）　　合成ゴム	1基	

正 面 図



断 面 図

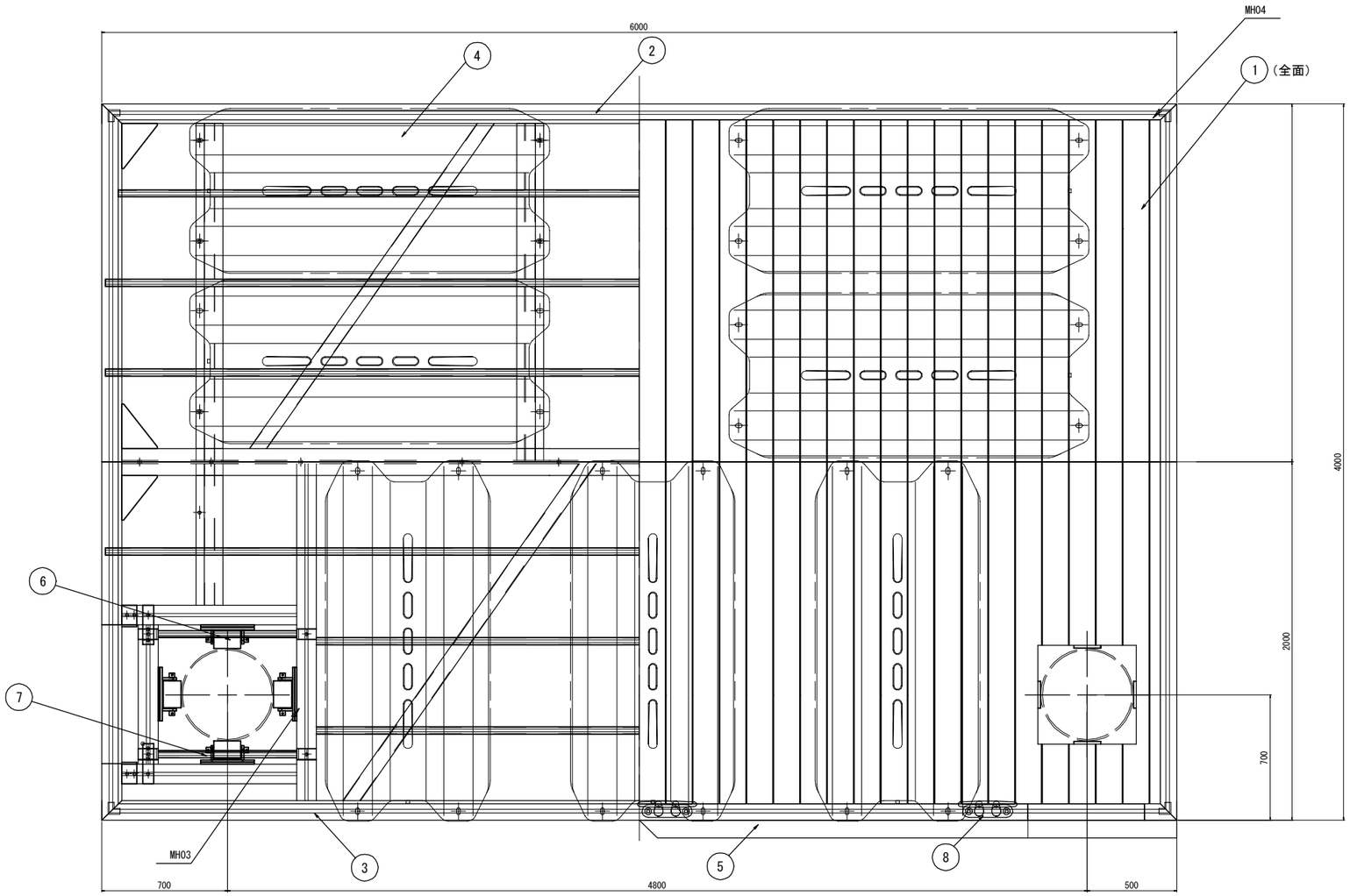


原図:A3、単位：mm

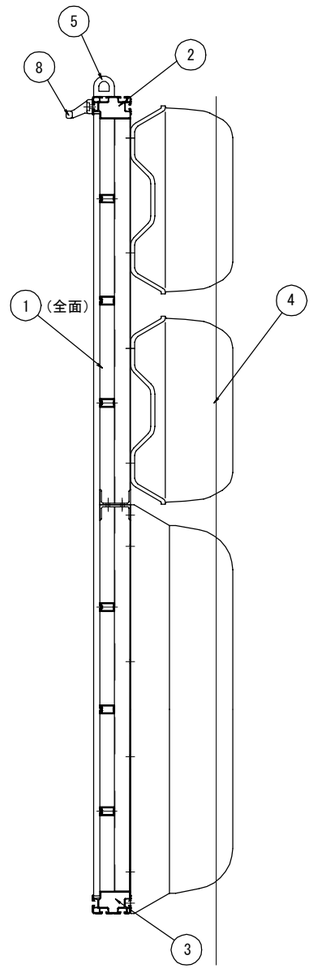
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＨ02詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	173
下関市ボートレース企業局			

ＭＨ－０３／０４詳細図　　Ｓ＝１：３０

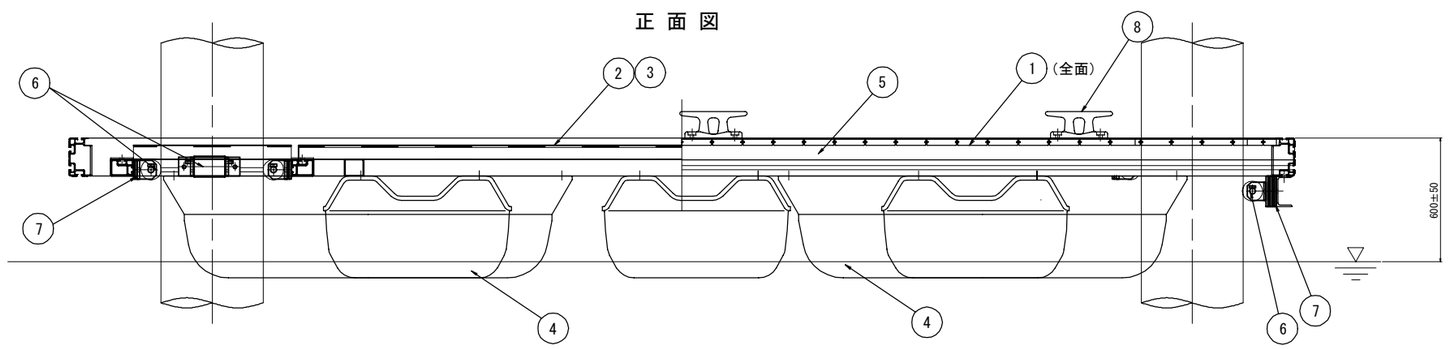
平 面 図



断 面 図



正 面 図



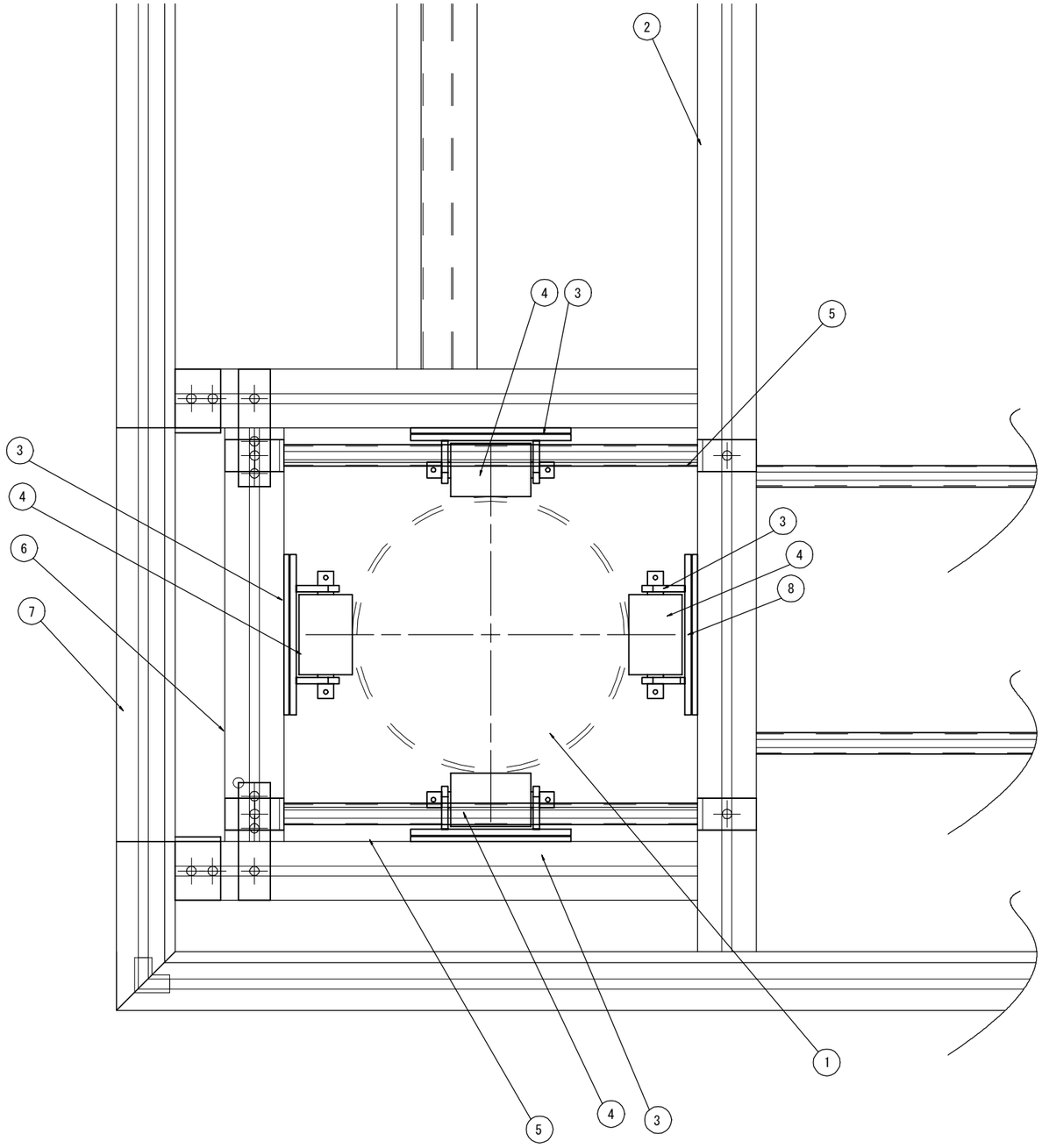
浮桟橋ユニット（MH-03／04）　材料構成表

No.	部 位	仕　様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約40枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	MH-04
③	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	MH-03
④	フロート	高密度ポリエチレン	7個	
⑤	防舷材	合成ゴム　D型100mm	3m	
⑥	ローラー	合成ゴム	8個	
⑦	スペイサー	ポリエチレン樹枝	適量	
⑧	クリート	L=330mm　アルミ鋳造品	2個	

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＨ03，04詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	174
下関市ボートレース企業局			

パイルガイド詳細図　　S＝1：10



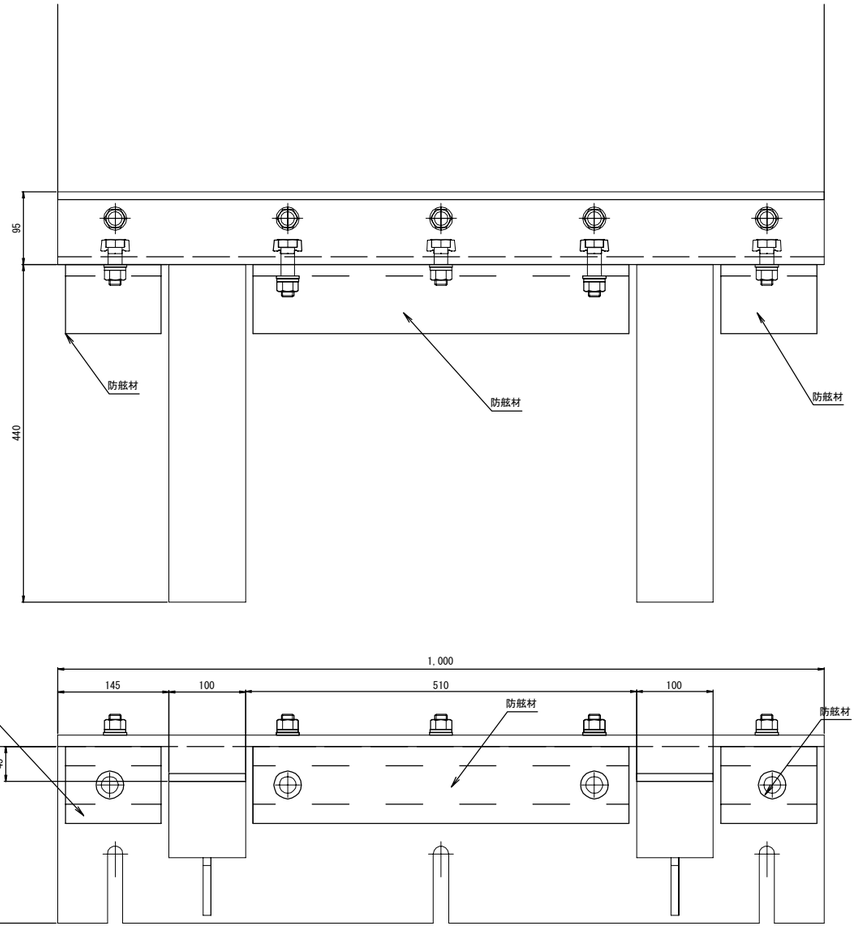
パイルガイド材料構成表

No.	部　位	仕　様
①	杭	
②	桟橋フレーム	アルミ合金（A6005）
③	ローラーBK	構成　A6052　t＝12
④	ローラー	EPDM+MCナイロン：φ100x150
⑤	縦太	アルミ合金（A6005）
⑥	ローラーBK取付けビーム	アルミ合金（A6005）レールビーム
⑦	外枠	アルミ合金（A6005）メインビーム
⑧	スペーサー	ポリエチレン板

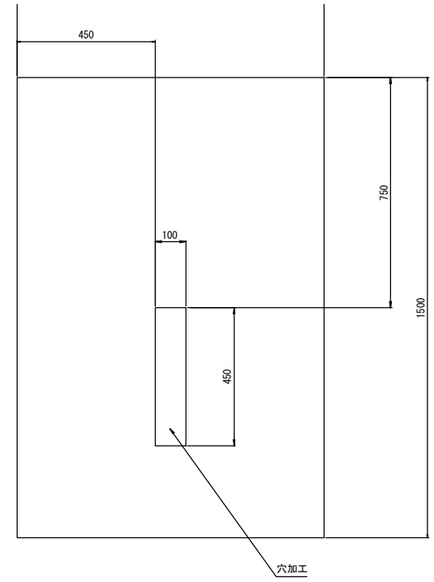
原図:A3、単位：mm

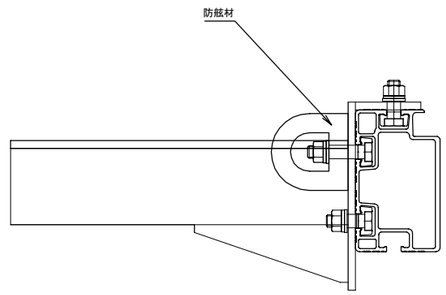
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	パイルガイド詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	175
下関市ボートレース企業局			

張出デッキ詳細図　　S＝１：８



ゴ ム 板　　S＝１：２０



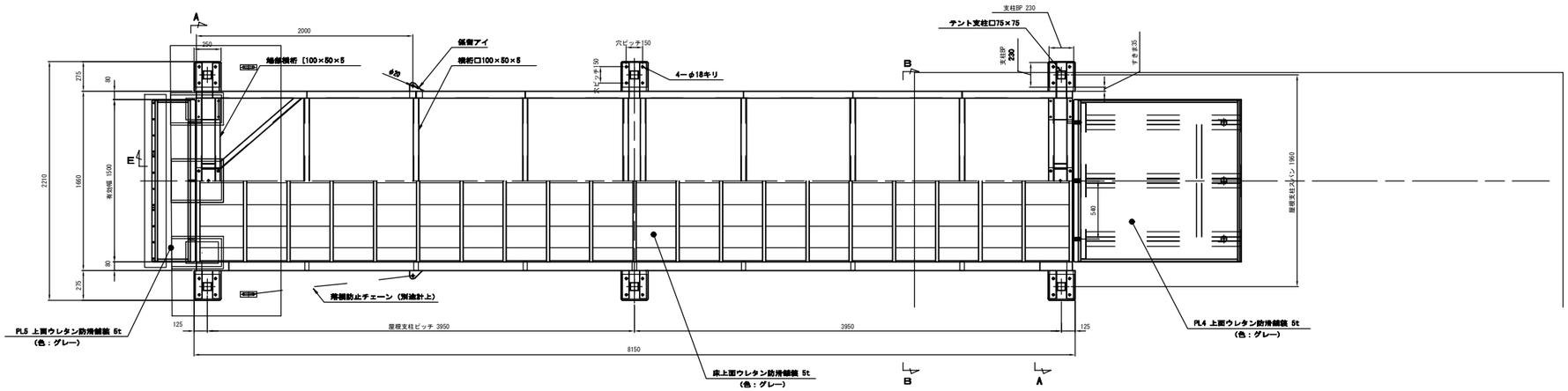


原図:A3、単位：mm

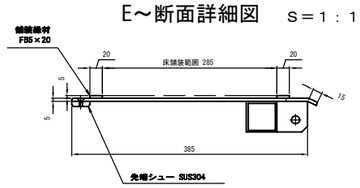
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	張出デッキ詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	176
下関市ボートレース企業局			

連絡橋一般図　　S＝１：５０

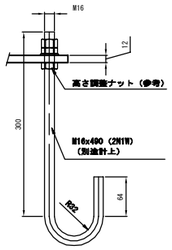
平 面 図



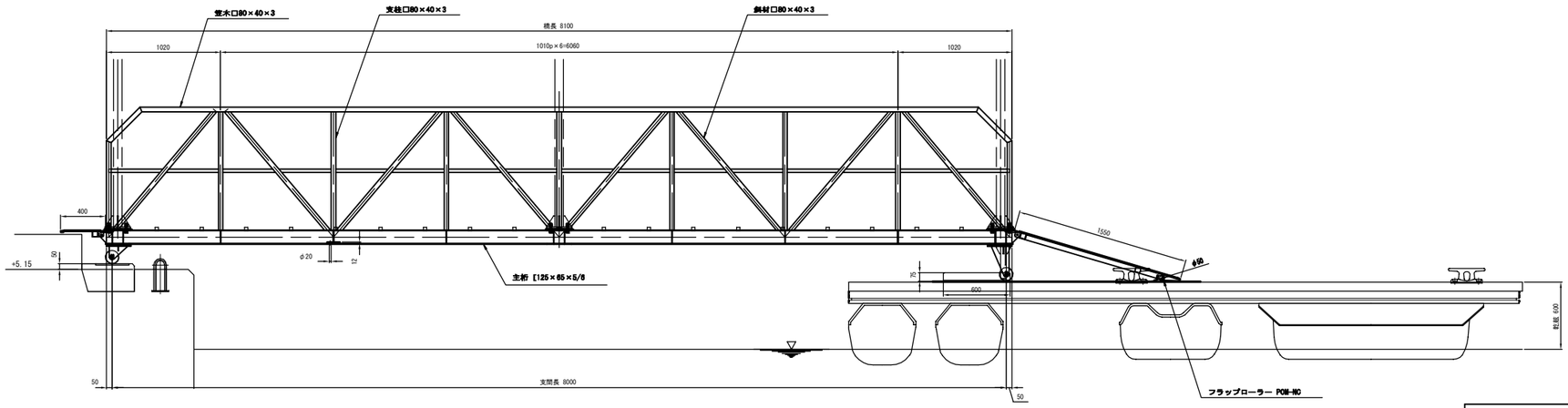
E～断面詳細図　S＝１：１０



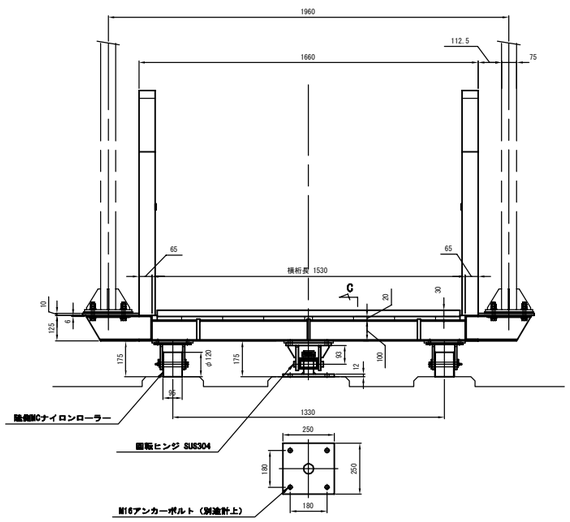
アンカー詳細図　S＝１：１０



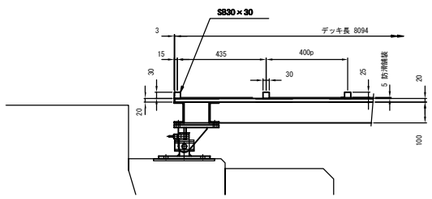
正 面 図



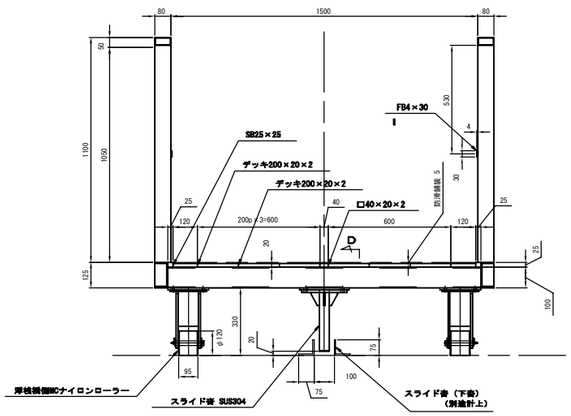
A-A断面詳細図　S＝１：３０



C～断面詳細図　S＝１：３０

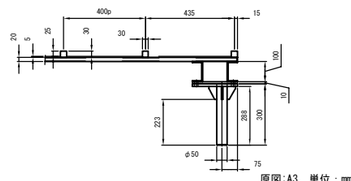


B-B断面詳細図　S＝１：３０



アルミ合金製連絡橋仕様	
形　　式	下路式桁橋
上載荷重	1.5kN/m²
橋　　長	8.1m
支　　間	8.0m
有効幅員	1.5m
自　　重	830Kg
材　　質	A6005CS、A6063S、A5052P

D～断面詳細図　S＝１：３０

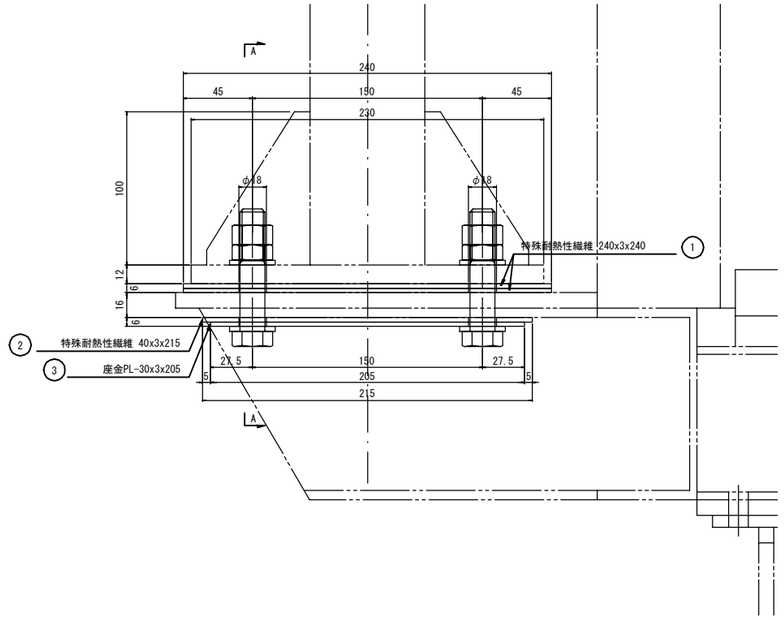


原図:A3、単位：mm

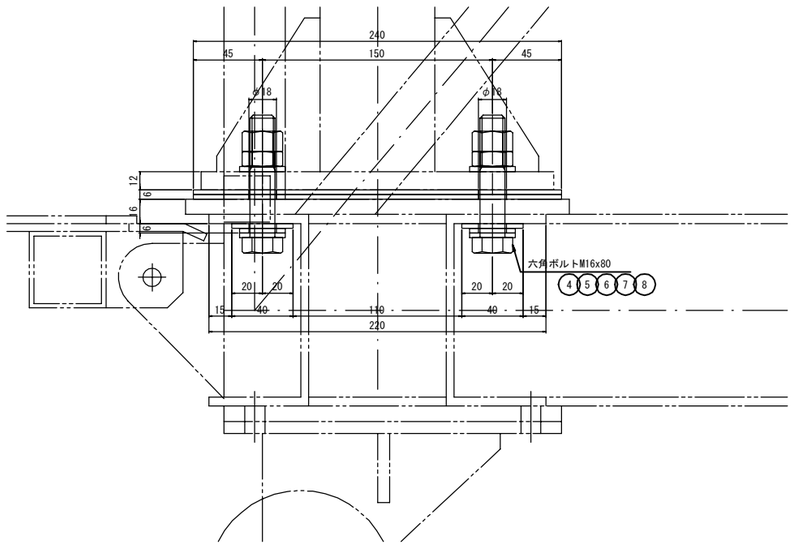
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋一般図		
縮　尺	図示	図面番号	177
下関市ボートレース企業局			

支柱基部詳細図　　S＝１：４

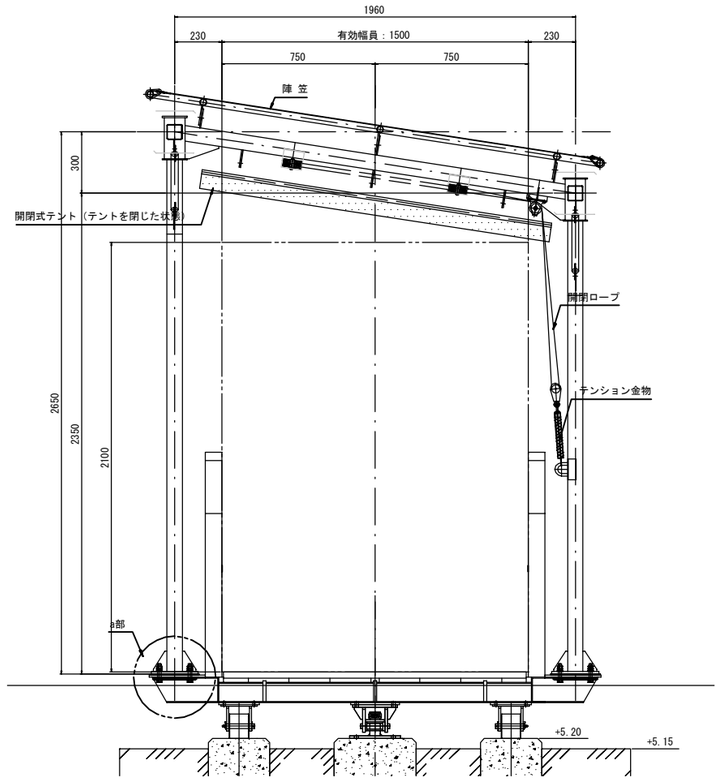
a 部 詳 細



A-A



標準断面図　　S＝１：３０



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	特殊耐熱性繊維 240x3x240	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
2	特殊耐熱性繊維 40x3x215	2	ﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾄ
3	座金PL-30x3x205	2	SUS304
4	六角ボルトM16x80	4	SUS304
5	六角ナットM16（1種）	4	SUS304
6	六角ナットM16（3種）	4	SUS304
7	平座金M16	8	SUS304
8	防錆キャップM16（ダブルナット用）	4	ポリカーボネート

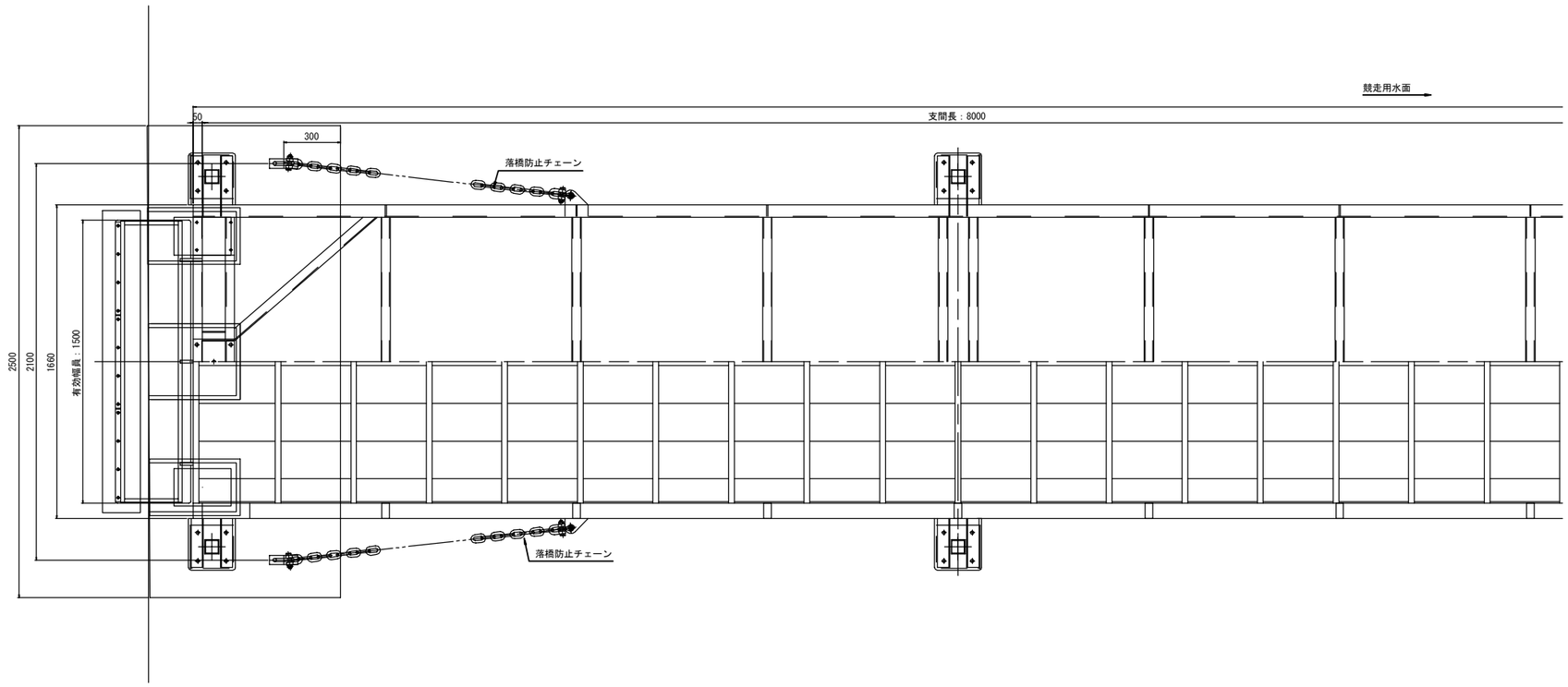
備考
１．数量は柱1基分を 示す。6基分製作・購入のこと。
２．防錆キャップは、NETIS：KK-190041-VE相当品とする。

注記
１．固定ボルト長は、購入した連絡橋側のブラケット厚を確認の上、調整のこと。

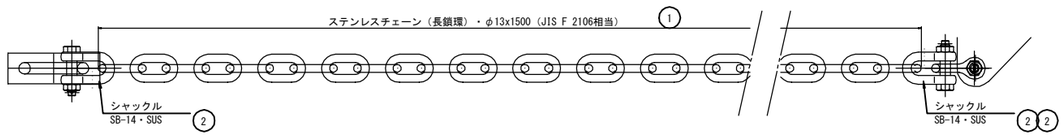
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	支柱基部詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	178
下関市ボートレース企業局			

落橋防止チェーン詳細図　　S＝1：30



落橋防止チェーン　　S＝1：10



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	ステンレスチェーン（長鎖環）φ13x1500	2	SUS304
2	シャックルSB14	6	SUS

備考
1．数量は全数を示す。
2．チェーンは、JIS F 2106相当品を購入のこと。
3．橋台側及び橋体側吊環は別途計上している。

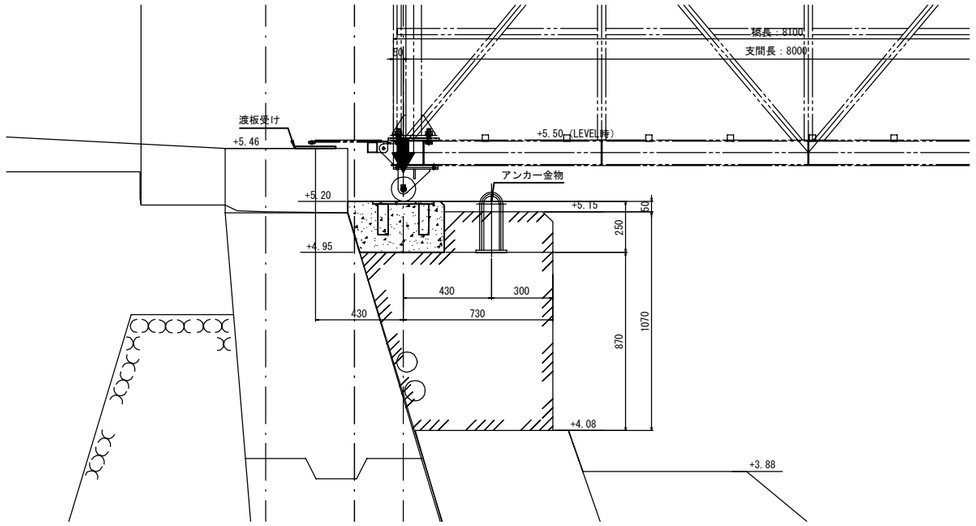
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	落橋防止チェーン詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	179
下関市ボートレース企業局			

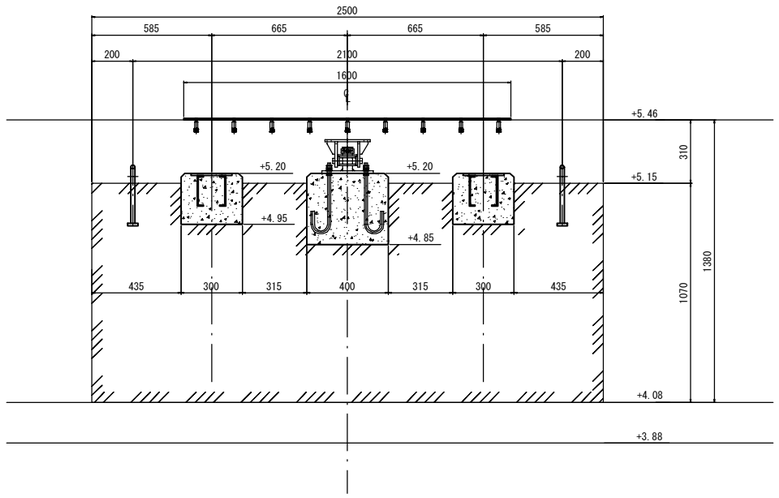
土木関連図　　S＝1：30

参考図

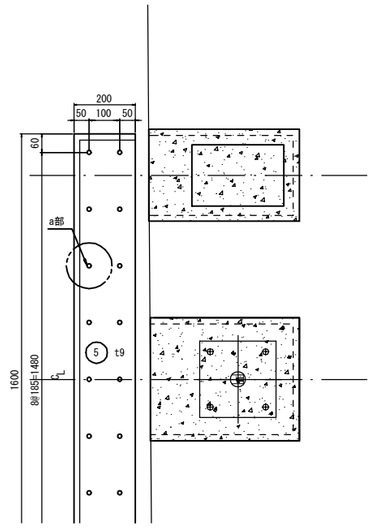
A-A



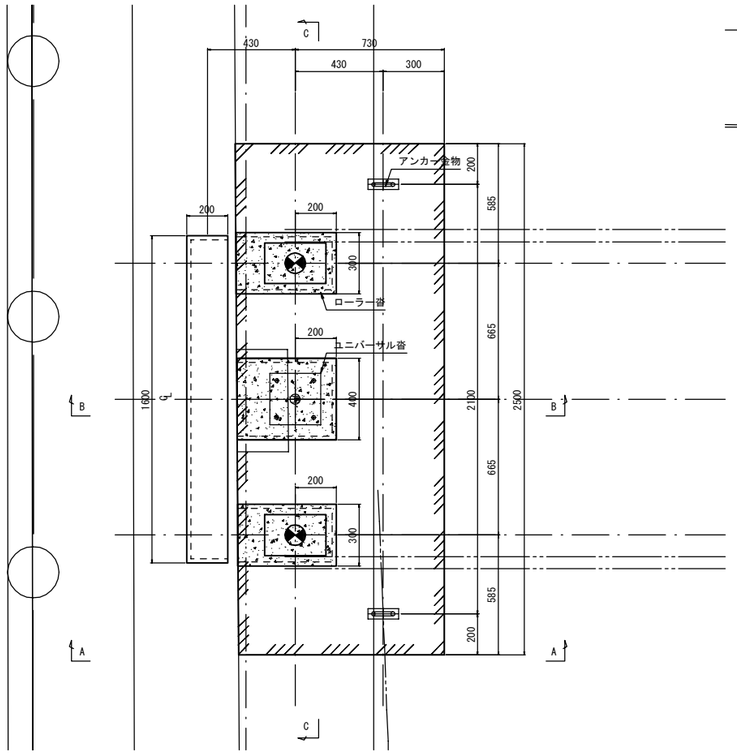
C-C



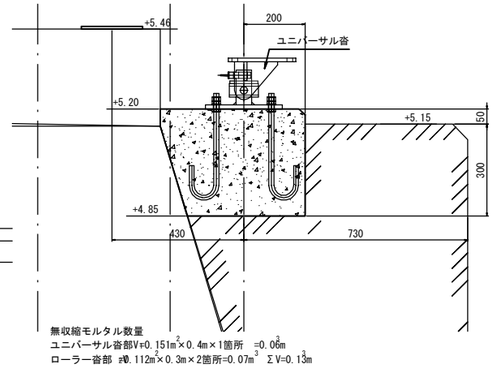
渡板受け　S＝1：20



平 面 図

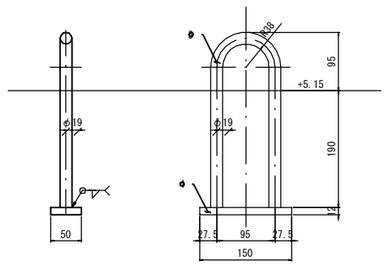


B-B　S＝1：20

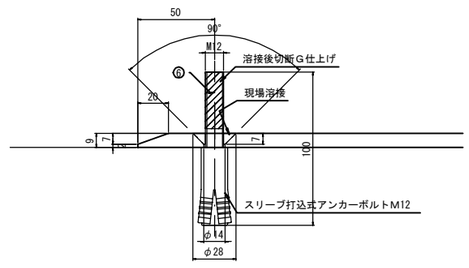


無収縮モルタル数量
ユニバーサル沓部V=0.151m³×0.4m×1箇所　=0.06m³
ローラー沓部 ≠0.112m²×0.3m×2箇所=0.07m³　ΣV=0.13m³

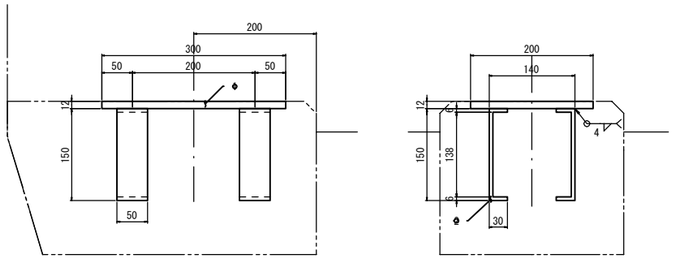
アンカー金物　S＝1：10



a 部 詳 細　S＝1：4



ローラー沓敷板　S＝1：10



＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	PL-200x12x300	2	SUS304
2	FB-50x6x210	4	SS400
3	RB-φ19x605	2	SUS304
4	FB-50x12x150	2	SS400
5	PL-200x9x1600	1	SUS304
6	スリーブ打込式アンカーボルトM12x100	18	SUS304

備考
1．数量は全数を示す。
2．ユニバーサル沓及びアンカーボルト・ナットは別途計上とする。

注記
1．本図はCLに対して対象とする。
2．▨は、一次コンクリートを示す。
3．▩は、二次コンクリート（無収縮モルタル）を示す。
4．▽は、荷重の作用点を示す。
5．橋台部数量は別途図面を参照のこと。
6．アンカー金物は橋台施工時に設置のこと。

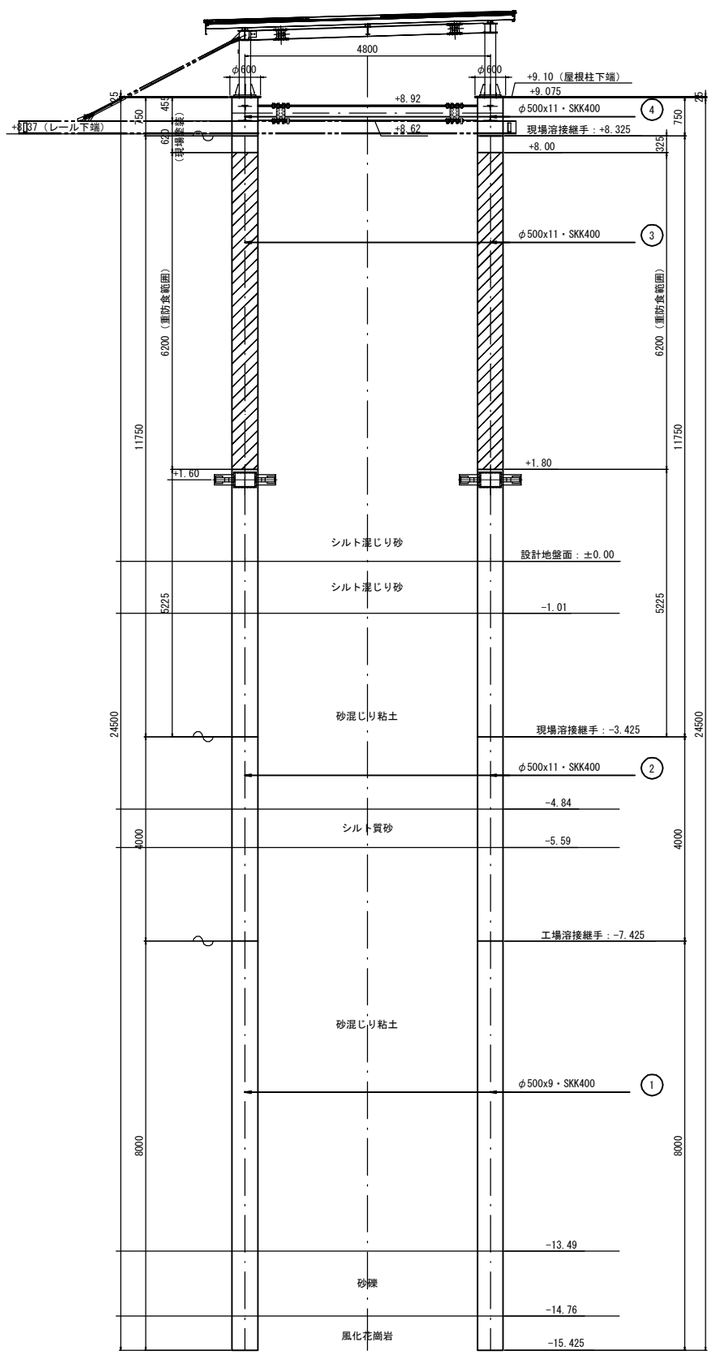
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	土木関連図		
縮　尺	図示	図面番号	180
下関市ボートレース企業局			

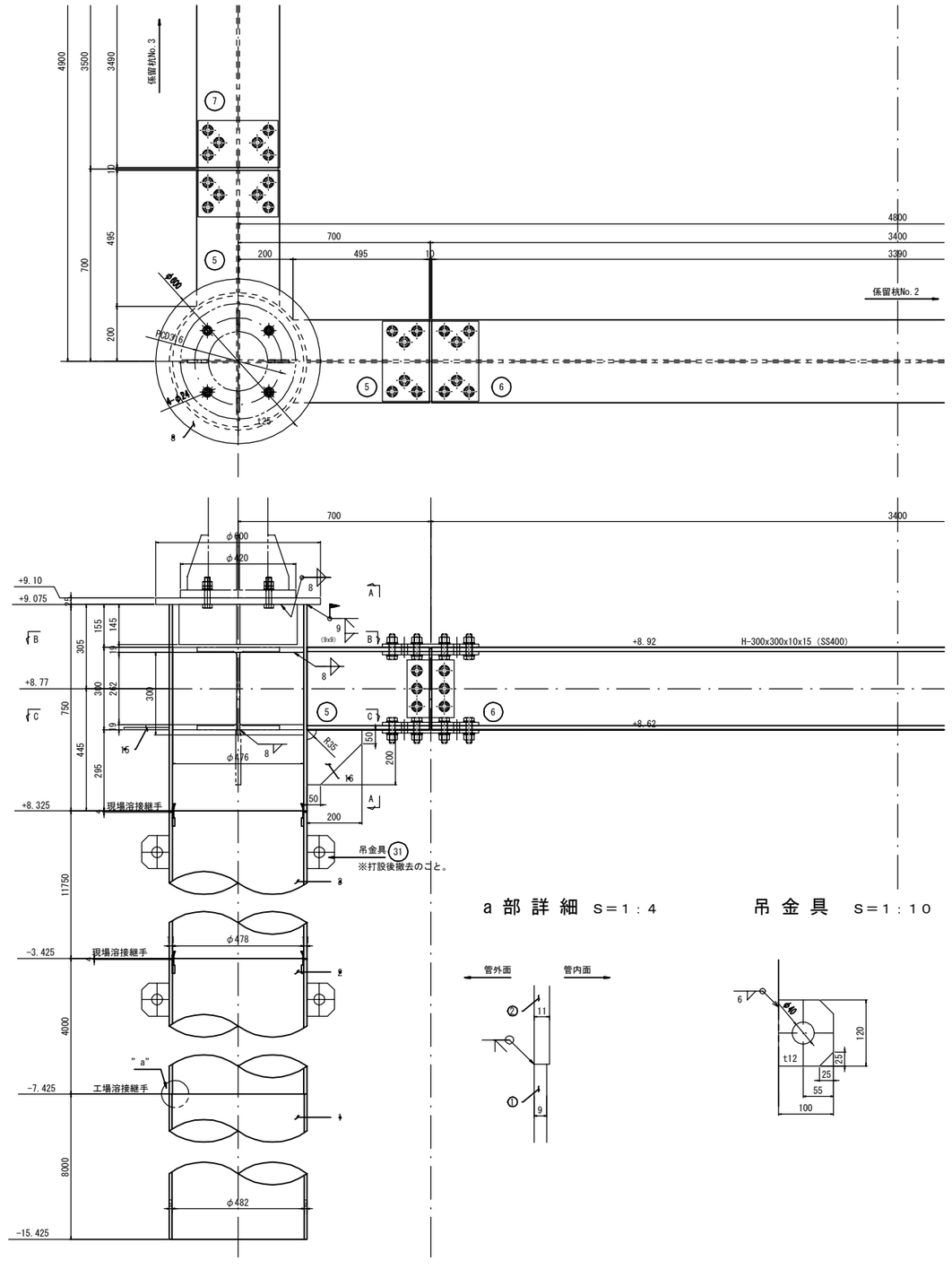
係留杭詳細図（その１）

係 留 杭　　S＝１：１２０

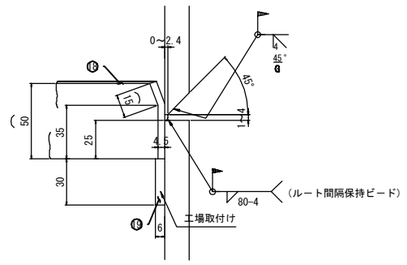
係留杭No.1,3　　係留杭No2,4



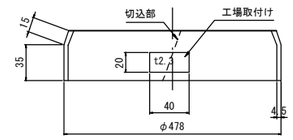
杭頭部詳細　　S＝１：２０



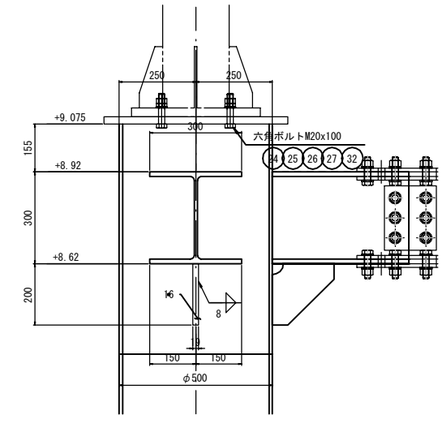
現場溶接継手部詳細　　S＝１：４



裏当てリングの形状



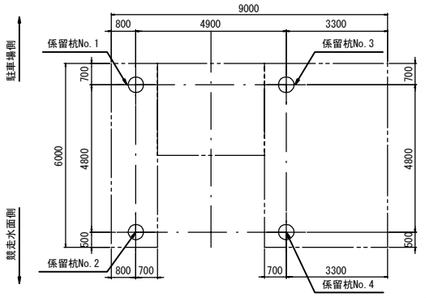
Ａ－Ａ　　S＝１：２０



ａ 部 詳 細　S＝１：４

吊 金 具　S＝１：１０

配 置 図　　S＝１：２００

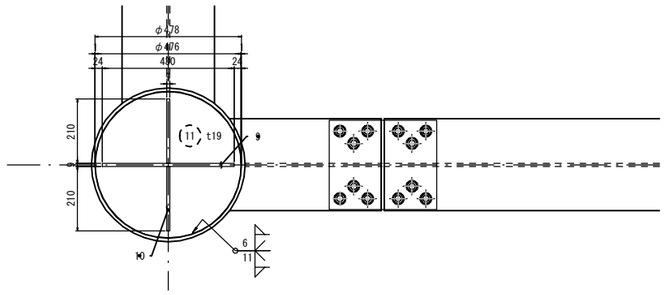


原図:A3、単位：mm

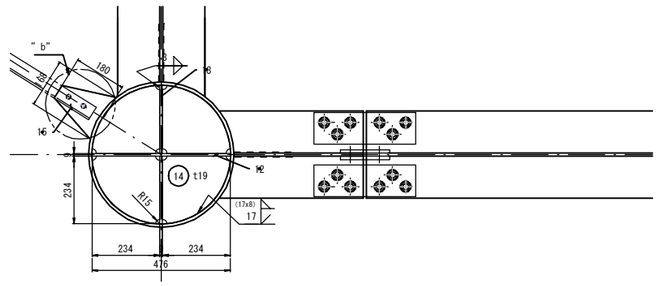
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留杭詳細図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	181
下関市ボートレース企業局			

係留杭詳細図（その２）

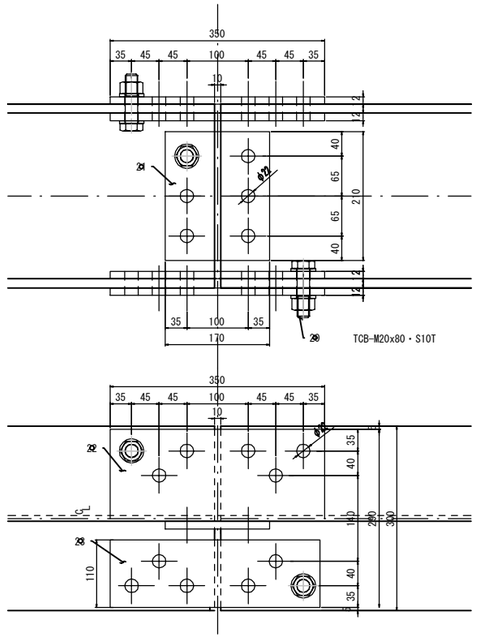
Ｂ－Ｂ　　Ｓ＝１：２０



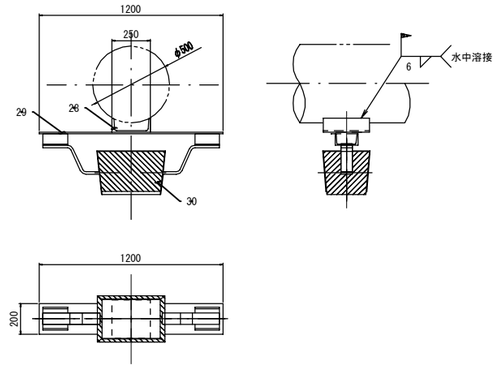
Ｃ－Ｃ　　Ｓ＝１：２０



添接部詳細　　Ｓ＝１：１０



電気防食用陽極　　Ｓ＝１：４０



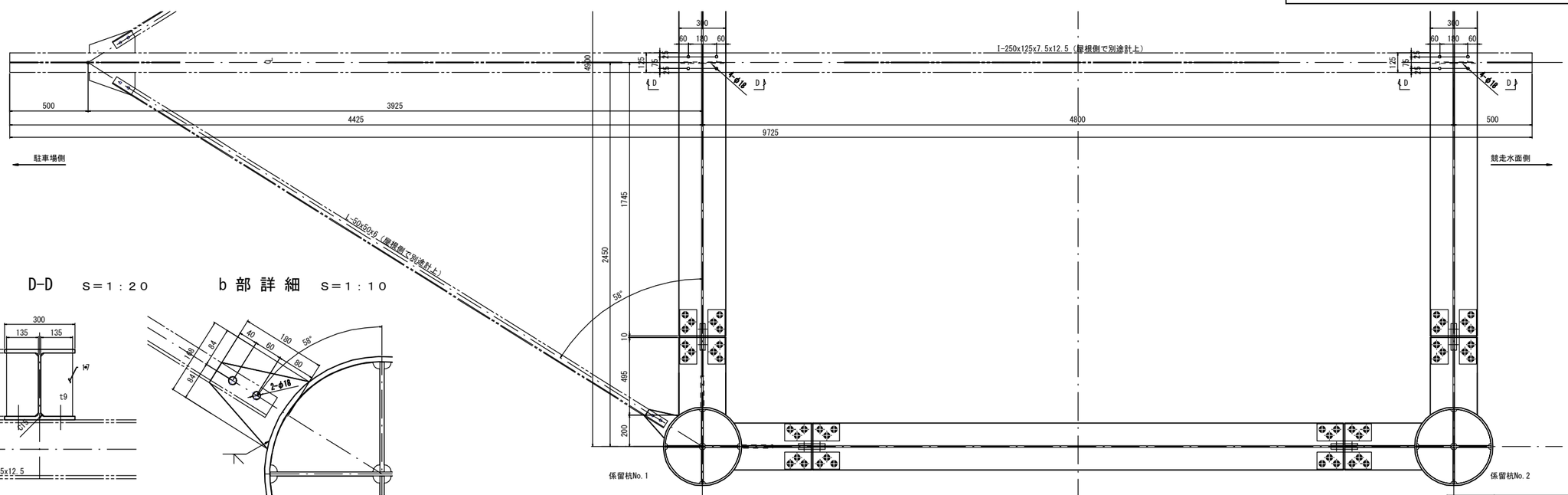
注記
1．本図は0Lに対して対称とする。
2．特記なき溶接は、 5 の連続溶接とする。
3．杭の打設は中心間隔及び倒れに注意して施工のこと。
　杭打設後、浮体メーカーと杭芯、傾き計測結果を協議のこと。
4．屋根アンカー、添接部はボルト本締め後に現場塗装のこと。
5．斜材ガセットは、係留杭No.1、3に取付のこと。
6．杭頭PLは、屋根支柱位置調整後に取付のこと。
7．杭打設後、高さ調整が必要な場合はライナー等で調整のこと。

＜材料表＞

番号	規格	数量	材質
1	鋼管杭　φ500x9x8000	4	SKK400
2	鋼管杭　φ500x11x4000	4	SKK400
3	鋼管杭　φ500x11x11750	4	SKK400
4	鋼管杭　φ500x11x750	4	SKK400
5	H-300x300x10x15x495	4	SS400
6	H-300x300x10x15x3390	2	SS400
7	H-300x300x10x15x3490	2	SS400
8	PL-φ600x25	4	SM400A
9	PL-145x9x430	4	SM400A
10	PL-145x9x210	8	SM400A
11	PL-φ476x19	4	SM400A
12	PL-300x9x476	4	SM400A
13	PL-234x9x300	8	SM400A
14	PL-234x19x234	16	SM400A
15	PL-168x9x180	2	SM400A
16	PL-200x19x200	8	SM400A
17	PL-135x9x270	4	SM400A
18	FB-50x4.5x1488	8	SS400
19	FB-25x6x30	32	SS400
20	TCB-M20x80	240	S10T
21	SPL-170x12x210	16	SM400A
22	SPL-290x12x350	16	SM400A
23	SPL-110x12x350	32	SM400A
24	六角ボルトM20x100	16	SS400
25	六角ナットM20（1種）	16	SS400
26	六角ナットM20（3種）	16	SS400
27	平座金M20	16	SS400
28	C-250x90x9／13x300	4	SS400
29	FB-200x12x1200	4	SS400
30	電気防食用陽極 耐用年数50年-1.0A	4	アルミ合金
31	PL-100x12x120	16	SM490A
32	防錆キャップM20（ダブルナット用）	16	ポリカーボネート

備考
1．数量は全数を示す。
2．ホイストレール、固定ボルト及びブレス固定ボルトは別途計上（屋根側で計上）とする。
3．防錆キャップは、NETIS：KK-190041-VE相当品とする。

ホイストレール固定部　　Ｓ＝１：３０



D-D　　Ｓ＝１：２０

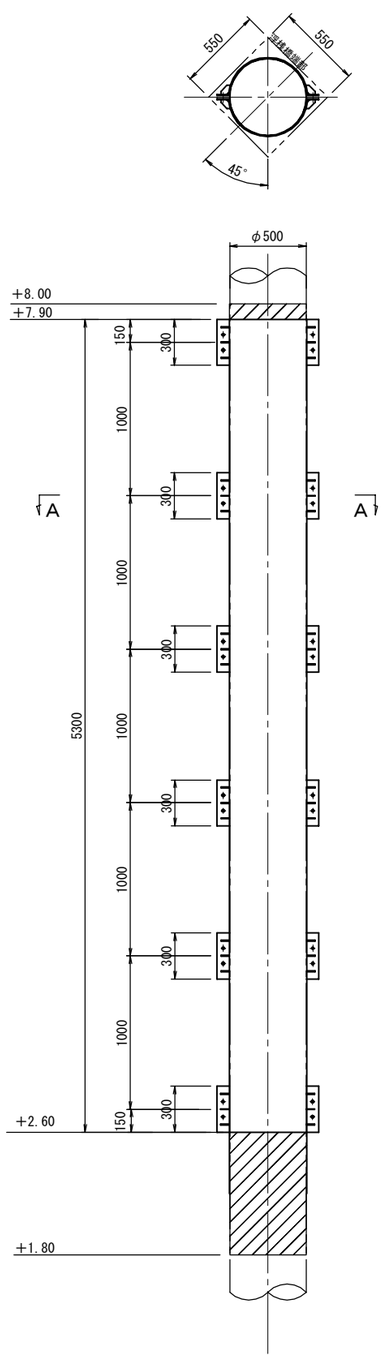
b 部 詳 細　　Ｓ＝１：１０

原図：A3、単位：mm

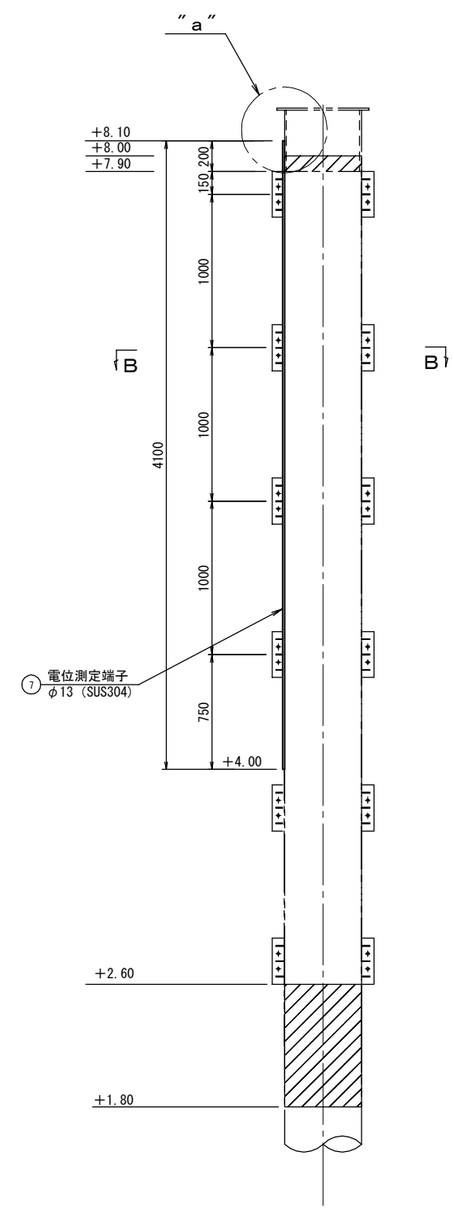
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留杭詳細図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	182
下関市ボートレース企業局			

戸当り詳細図　　S＝1：40

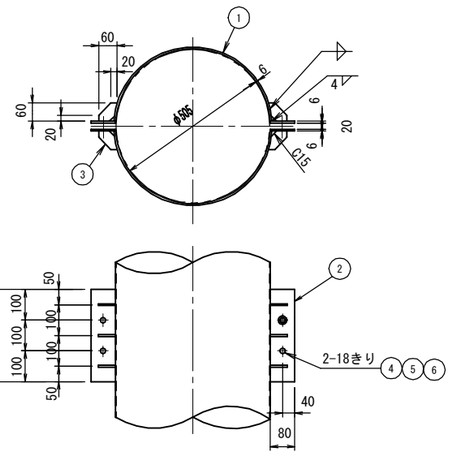
戸当り



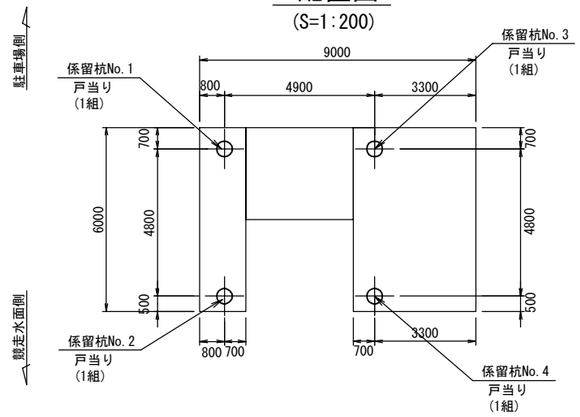
電位測定端子詳細図



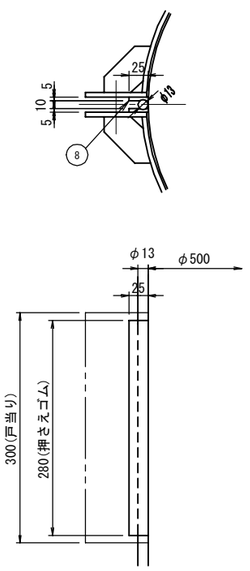
A－A
(S=1:20)



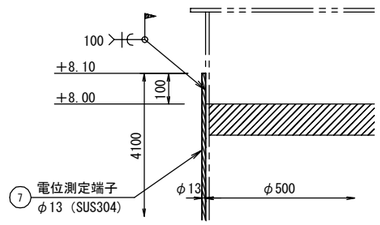
配置図
(S=1:200)



B－B
(S=1:8)



" a " 部詳細
(S=1:20)



番号	規格	個数	材質	摘要
	係留杭No.1～No.4			
①	PL- 771 x 6 x 5300	2	SUS304	
②	PL- 80 x 6 x 300	24	SUS304	
③	PL- 60 x 6 x 60	72	SUS304	NET 67%
④	六角ボルト M16 x 60	24	SUS304	
⑤	六角ナット M16(1種)	24	SUS304	
⑥	ばね座金　M16	24	SUS304	
⑦	電位測定端子 φ13 x 4100	1	SUS304	
⑧	押さえゴム PL-25 x 5 x 280	8	合成ゴム	

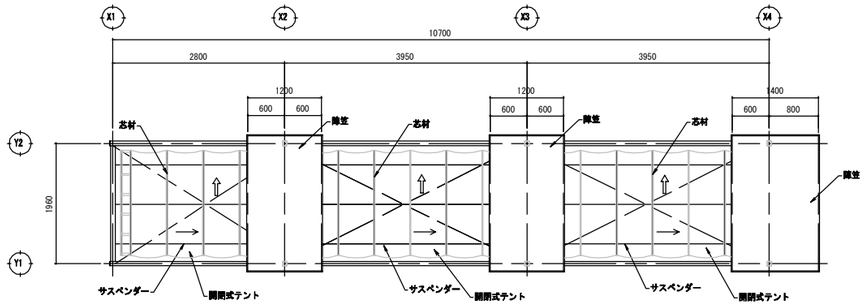
注；1. 数量は係留杭1本を示す。4本製作のこと。
2. 電位測定端子は現場溶接とし、その後現場塗装を施すこと。
3. 電位測定端子取付方向は、係留ローラー取付方向と重複しないこと。
4. 押さえゴムと戸当りは接着すること。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	戸当り詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	183
下関市ボートレース企業局			

連絡橋意匠図　　S＝1：100

ホイストクレーン浮桟橋



屋根伏図　S=1/100

⇦：水流れ方向を示す。

→：開閉式テント開閉方向を示す。

膜材		
5R-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

- 骨材は錆止め+塗装仕上げとする
- 芯材は溶融亜鉛メッキとする
- 開閉式金物はSUSとする

サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS

シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）	
屋根開時	V0=10m/s
屋根開時	V0=34m/s

＜工場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

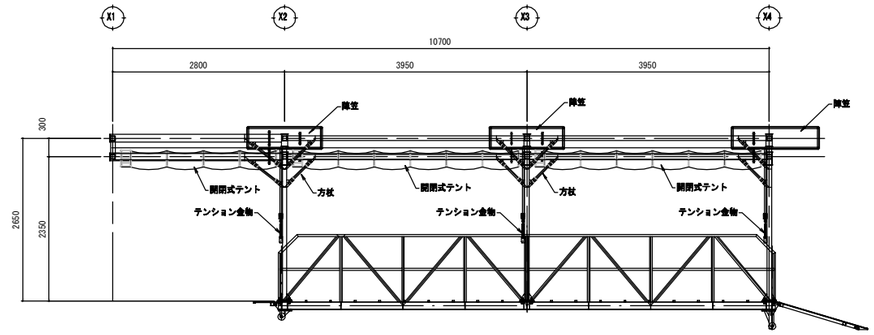
工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
二次素地調整	ブラスト処理　ISO Sa2　1／2	－	－
防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	75
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	－
下塗	厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	200
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル

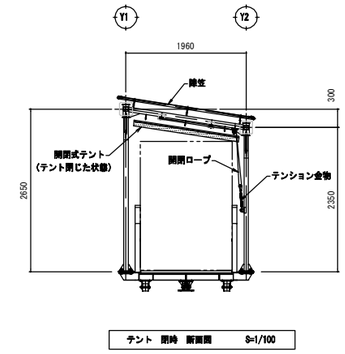
＜現場塗装仕様：海洋厚膜エポキシ樹脂　CM-A＞

工程	塗料名	塗装方法	目標厚膜（μm）
素地調整	動力工具処理　ISO　st3	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー	75
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー	150
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	30
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	25

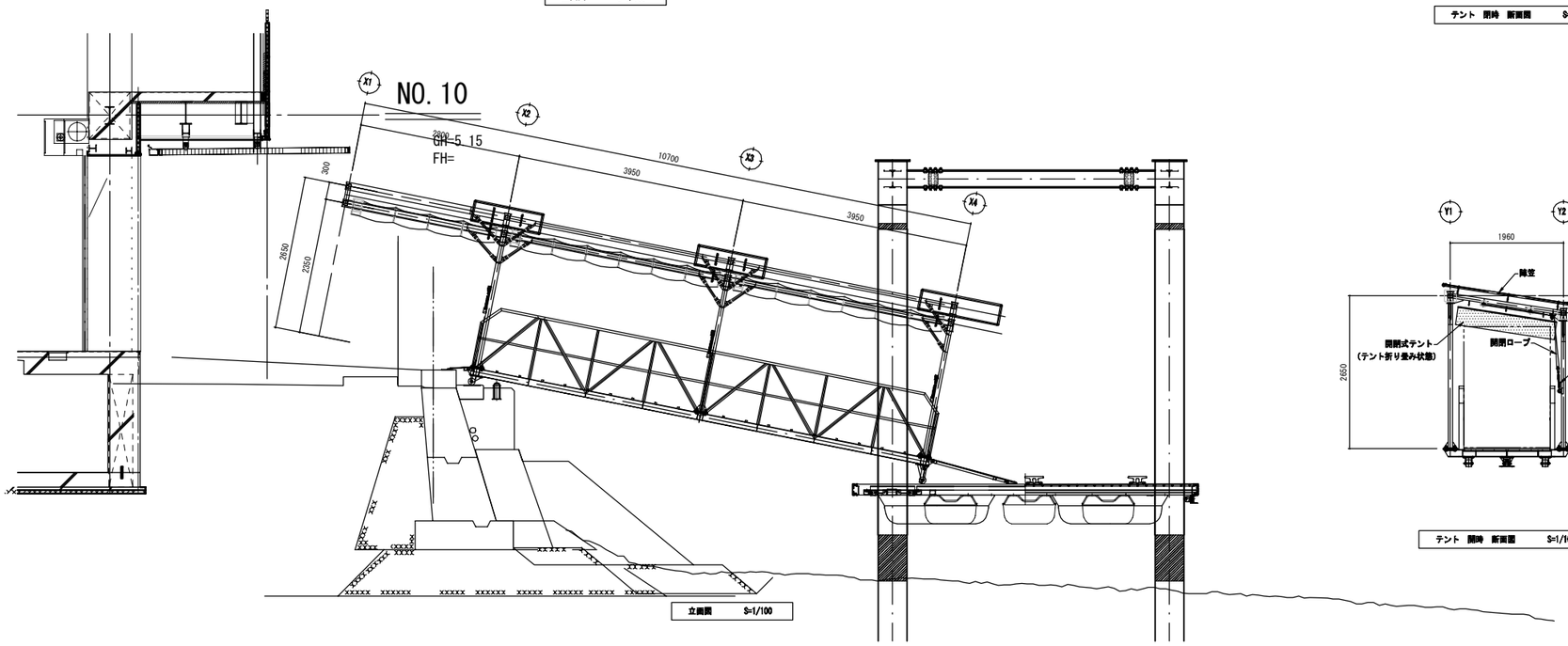
※港湾鋼構造物防食・補修マニュアル



立面図　S=1/100



テント　開時　断面図　S=1/100



立面図　S=1/100

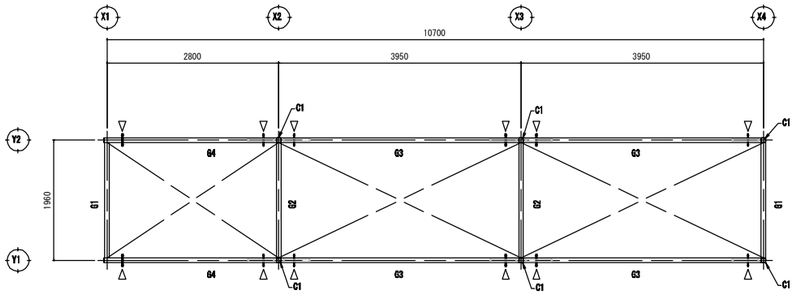
テント　開時　断面図　S=1/100

原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋意匠図		
縮　尺	1/100	図面番号	184
下関市ボートレース企業局			

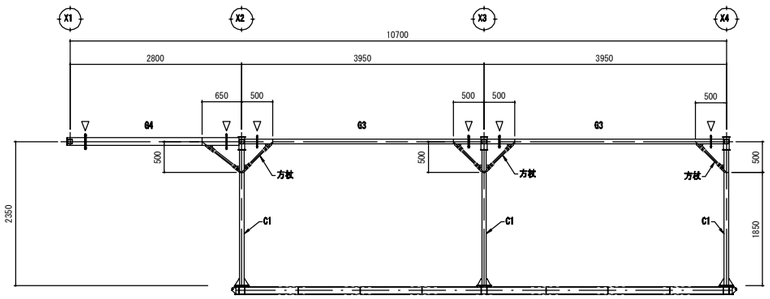
連絡橋小屋伏図　　S＝1：100

ホイストクレーン浮桟橋

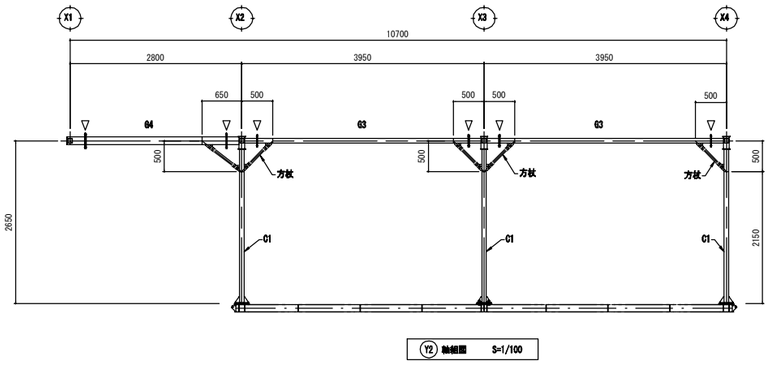


小屋伏図　S=1/100

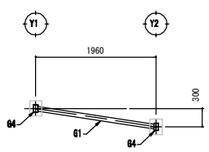
▽：フランジジョイント位置を示す
（フランジジョイント位置は製作時に再検討とする）



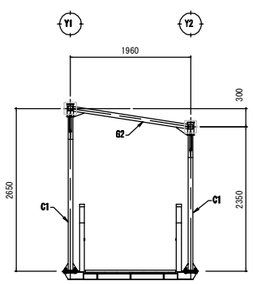
Y1 軸組図　S=1/100



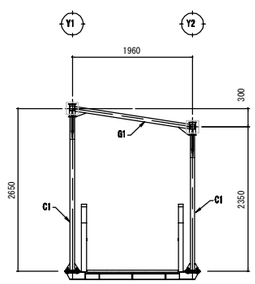
Y2 軸組図　S=1/100



X1 軸組図　S=1/100



X2 X3 軸組図　S=1/100



X4 軸組図　S=1/100

＊C1材にフランジジョイントを設けることについては製作時に再検討とする。

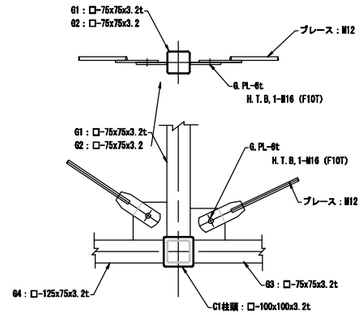
メンバーリスト

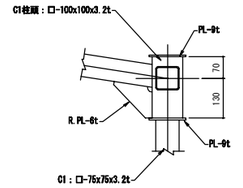
記号	部材	材質
C1	□-75x75x3.2t	STKR400
	柱頭：□-100x100x3.2t	STKR400
G1	□-75x75x3.2t	STKR400
G2	□-75x75x3.2t	STKR400
G3	□-75x75x3.2t	STKR400
	方杖：P-34.0φx2.3t	STK400
G4	□-125x75x3.2t	STKR400
	方杖：P-34.0φx2.3t	STK400
ブレース	M12（ターンバックル付）	SS400
除雪	P-34.0φx2.3t	STK400
先導芯材	2P-21.7φx1.9t　D=150	STK400
一般芯材	P-21.7φx1.9　@@588, @594	STK400
サスペンダー	ワイヤーロープ　6φ	

膜材		
5R-F		
認定番号	建築基準法第37条第二号（材料認定）	MMEM-0021
	建築基準法施行令第136条の2の2第一号	UM-9010

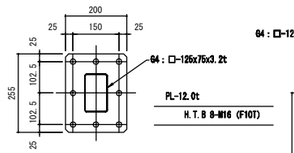
＊　板骨は錆止め+塗装仕上げとする
＊　芯材は溶融亜鉛メッキとする
＊　開閉式金物はSUSとする
　　サスペンダーワイヤー、吊り環はSUS
　　シーブはナイロンシーブ　ケースはSUS

設計条件（風荷重）
　屋根開時：V0=10m/s
　屋根閉時：V0=34m/s



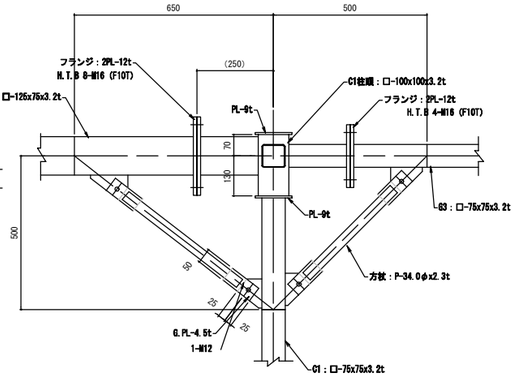


柱頭部　詳細図　S=1/20

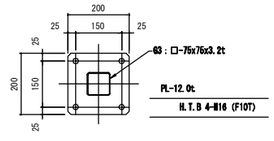


フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

G4フランジ　詳細図　S=1/20



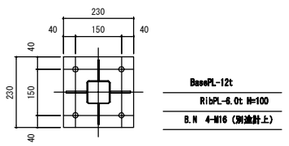
柱頭部　詳細図　S=1/20

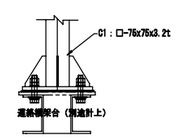


フランジPL-パイプ間は突きあわせ溶接とする。

G3フランジ　詳細図　S=1/20

＊C1材にフランジジョイントを設けることについては製作時に再検討とする。





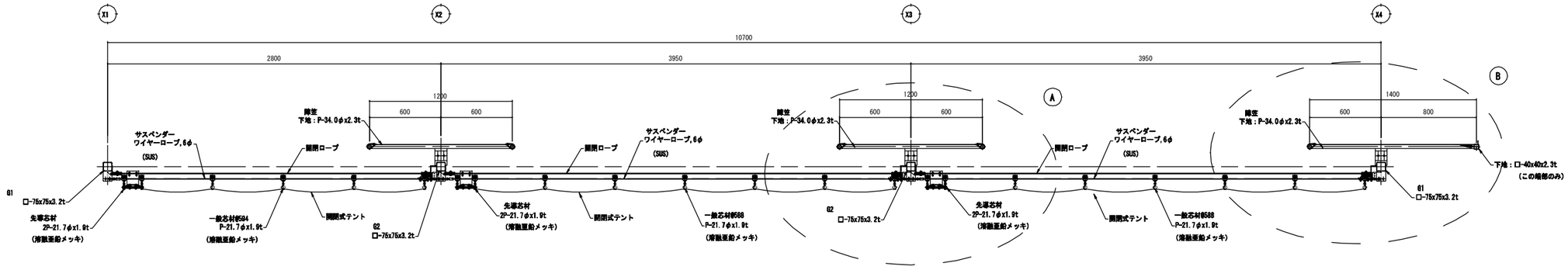
柱脚　詳細図　S=1/20

原図：A3、単位：mm

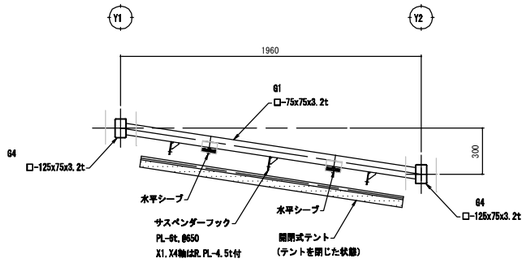
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋小屋伏図		
縮　尺	図示	図面番号	185
下関市ボートレース企業局			

連絡橋矩形図　S＝1：40

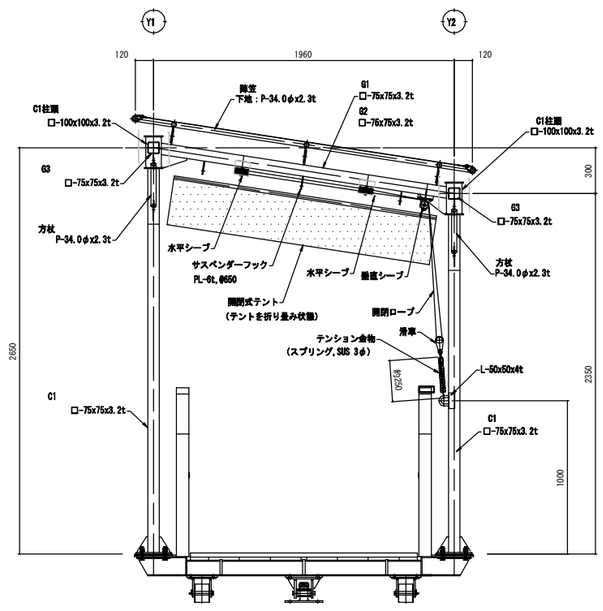
ホイストクレーン連絡橋



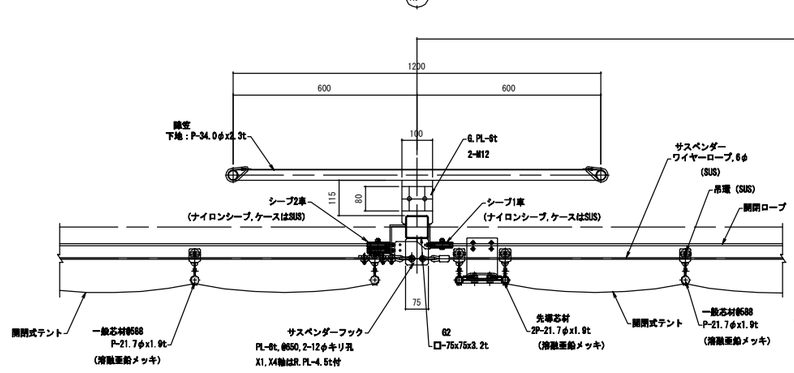
長辺方向　断面図　　S=1/40



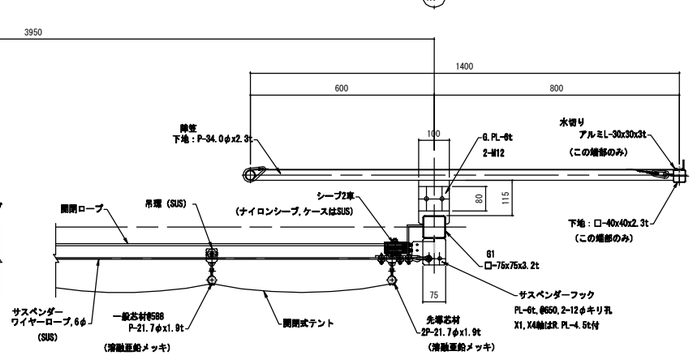
X1軸　断面図　　S=1/40



矩計図　　S=1/40



A　詳細図　　S=1/20



B　詳細図　　S=1/20

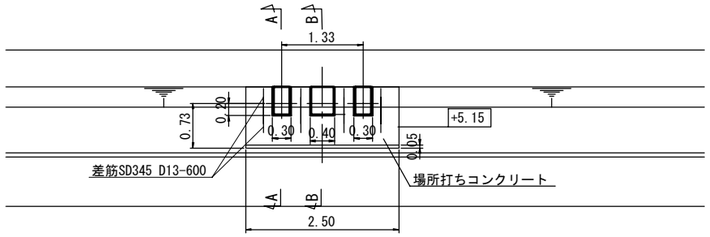
原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	連絡橋矩形図		
縮　尺	図示	図面番号	186
下関市ボートレース企業局			

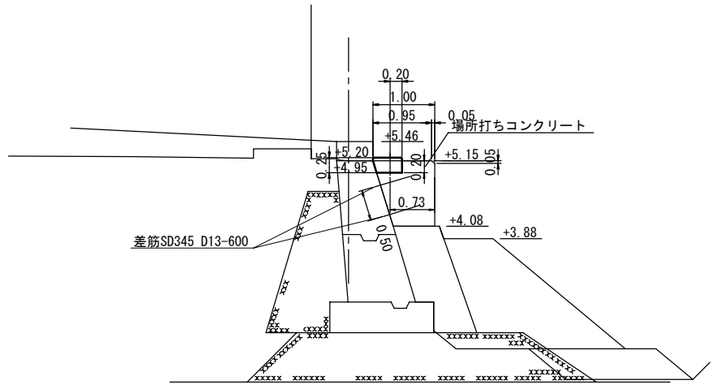
橋 台 詳 細 図　　S＝1：100

(No.10付近)

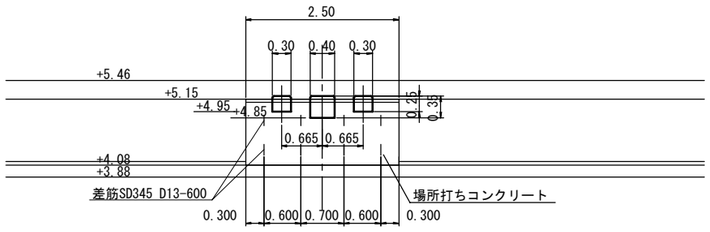
平 面 図



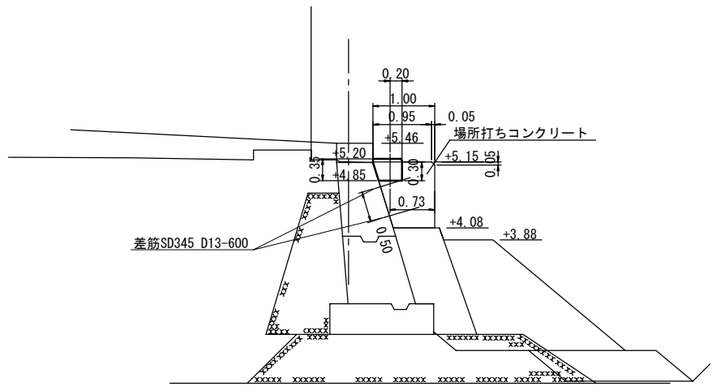
A-A 断 面



正 面 図



B-B 断 面

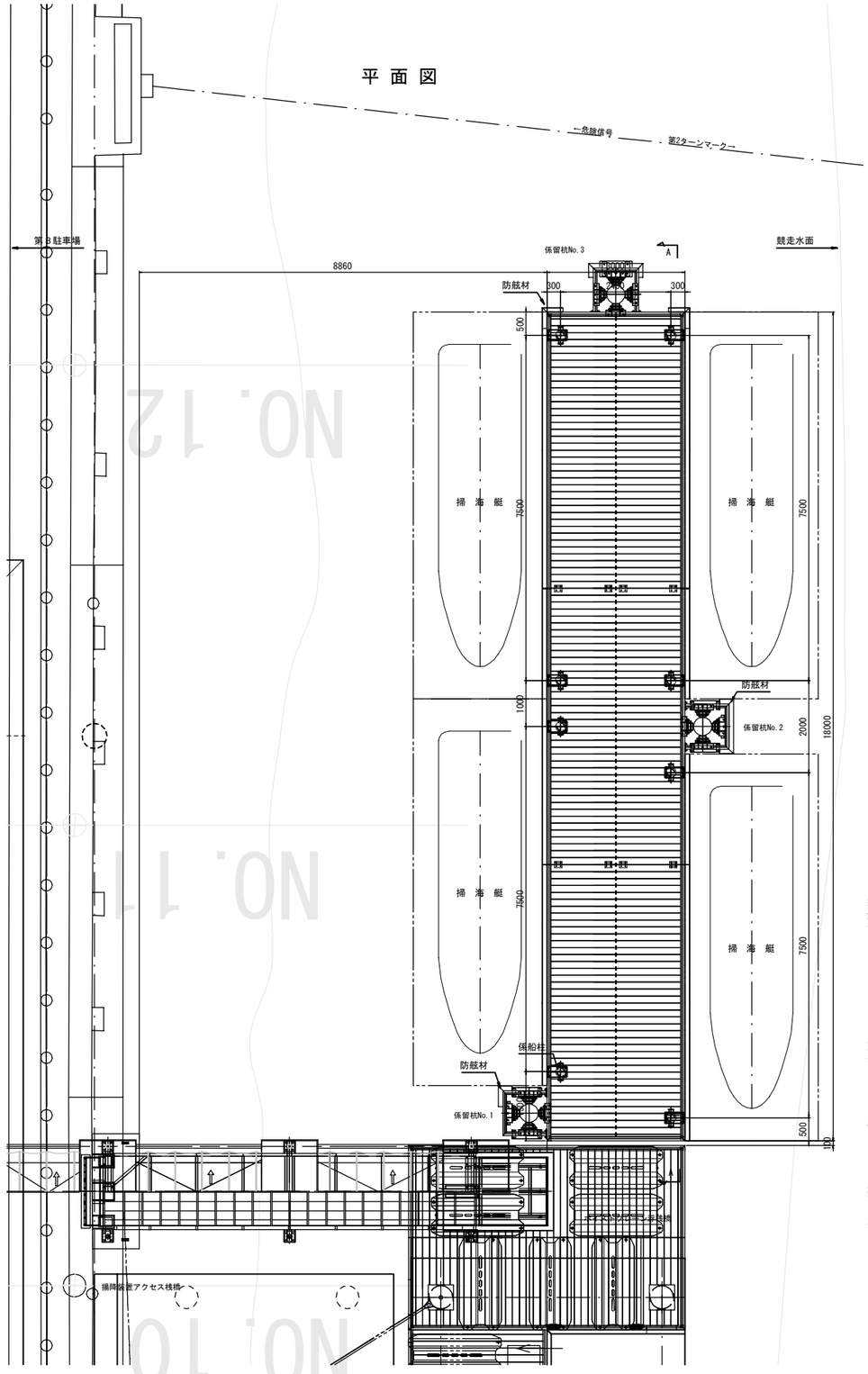


原図:A3、単位：m

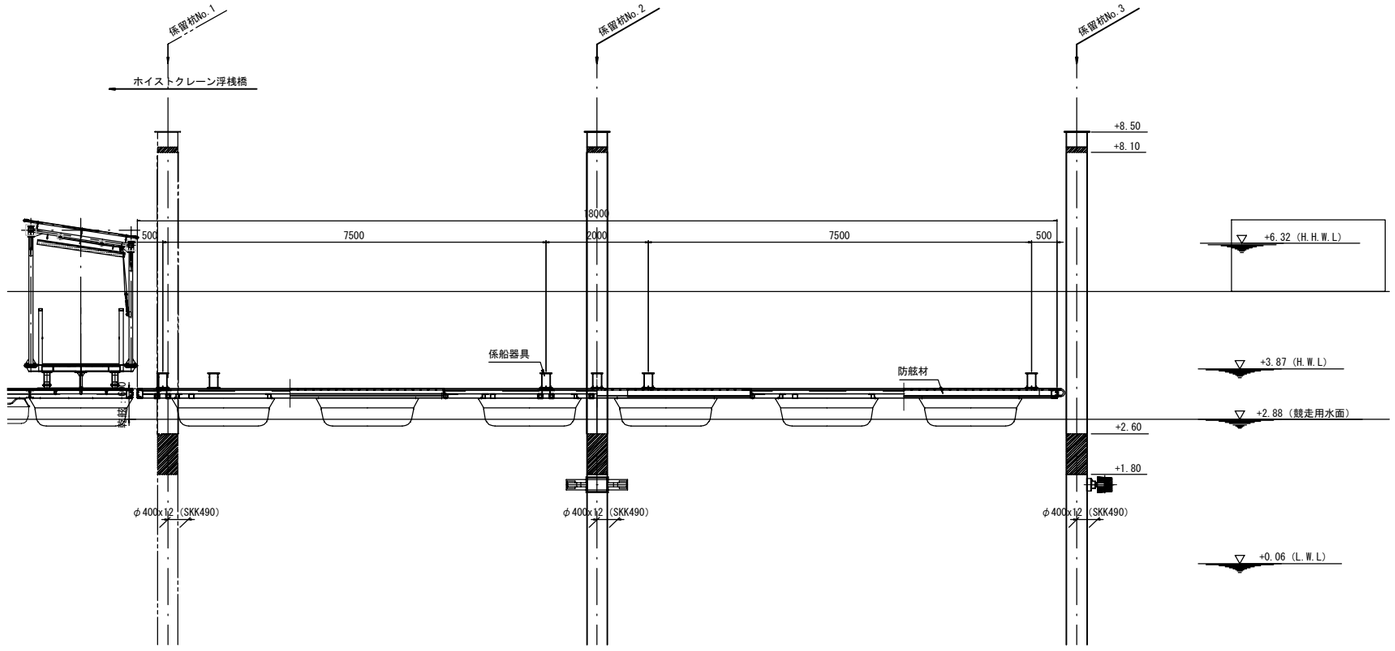
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	橋台詳細図		
縮　尺	1/100	図面番号	187
下関市ボートレース企業局			

浮桟橋一般図　　S＝1：120

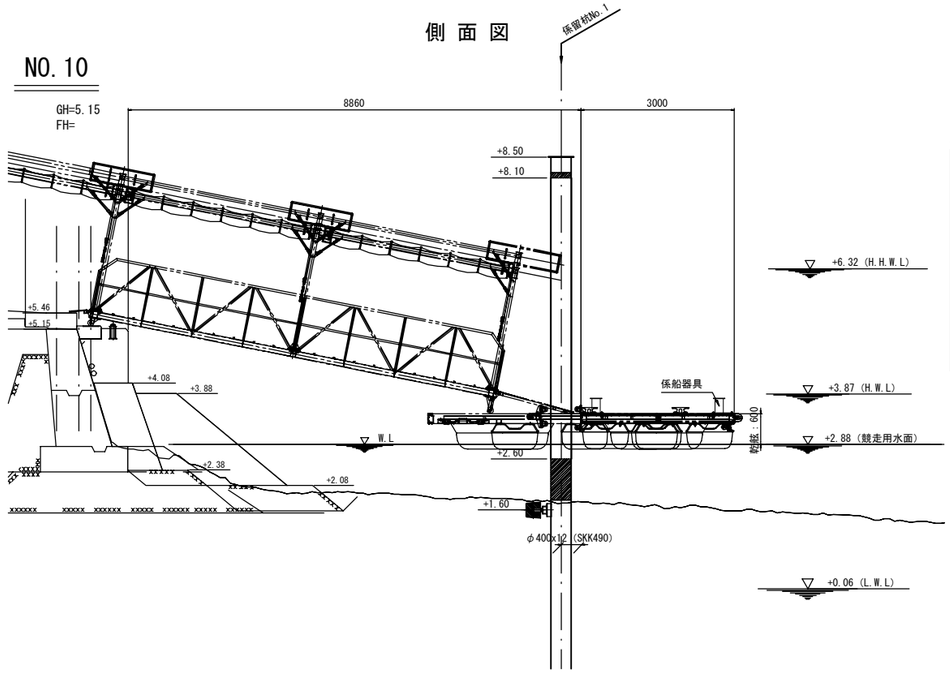
平面図



A－A



側面図



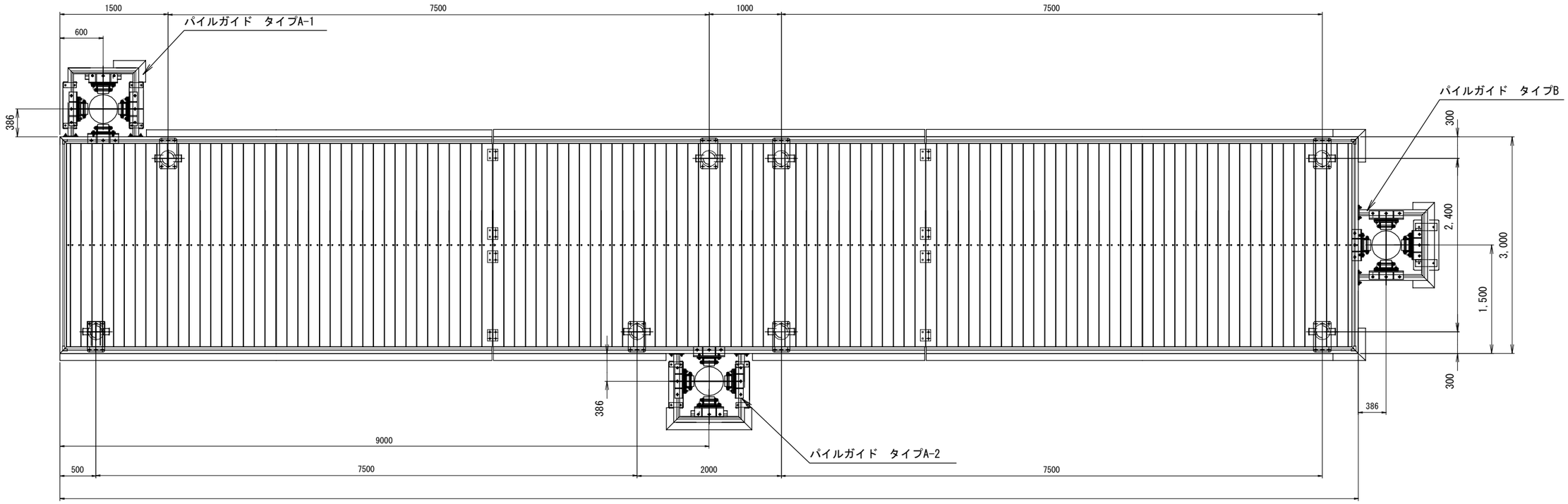
＜掃海艇浮桟橋設計要目＞

形　式	アルミフレーム+樹脂フロート（セパレート）
寸　法	18.0m×3.0m
乾 舷 高	0.60m（無載荷時）
上載荷重	1.5kN／m^2
対象船舶	掃海艇（1GT漁船 L7.00mxB1.80m　喫水1.0m）
床　版	合成木材
防　食	係留杭　：重防食被覆+塗装（CM-A） 電気防食（流電陽極方式）
付属物	係船柱8基、防舷材D型100H

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	浮桟橋一般図		
縮　尺	1/120	図面番号	188
下関市ボートレース企業局			

構造一般図　　S＝1：60

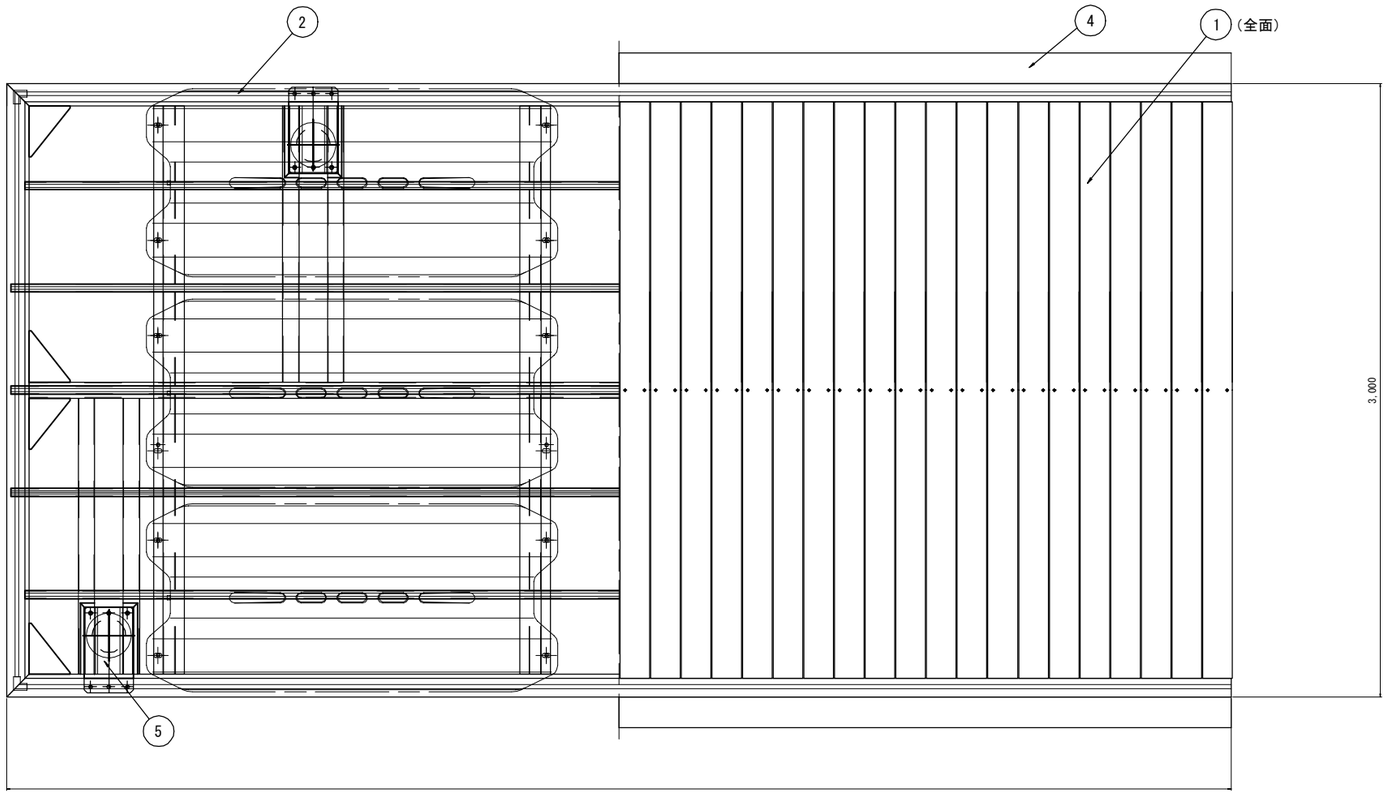


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	構造一般図		
縮　尺	1/60	図面番号	189
下関市ボートレース企業局			

ＭＳ－０１詳細図　　Ｓ＝１：３０

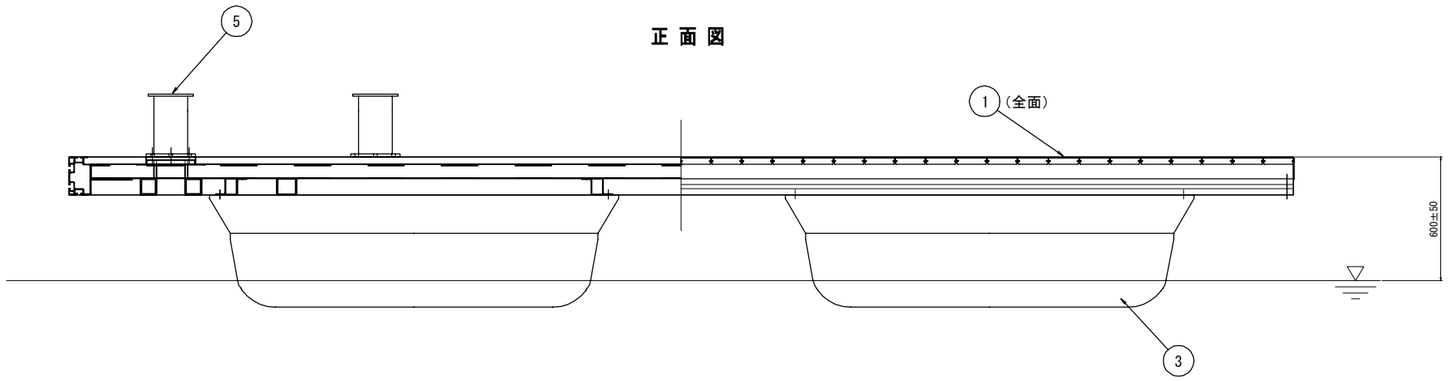
平 面 図



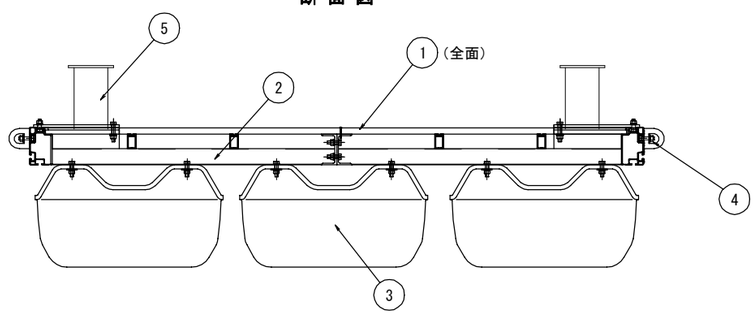
浮桟橋ユニット（MS-01）　材料構成表

No.	部 位	仕　様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約40枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	
③	フロート	高密度ポリエチレン	6個	
④	防舷材	合成ゴム　D型100mm	12m	両サイド
⑤	係船器具	SUS	2個	

正 面 図



断 面 図

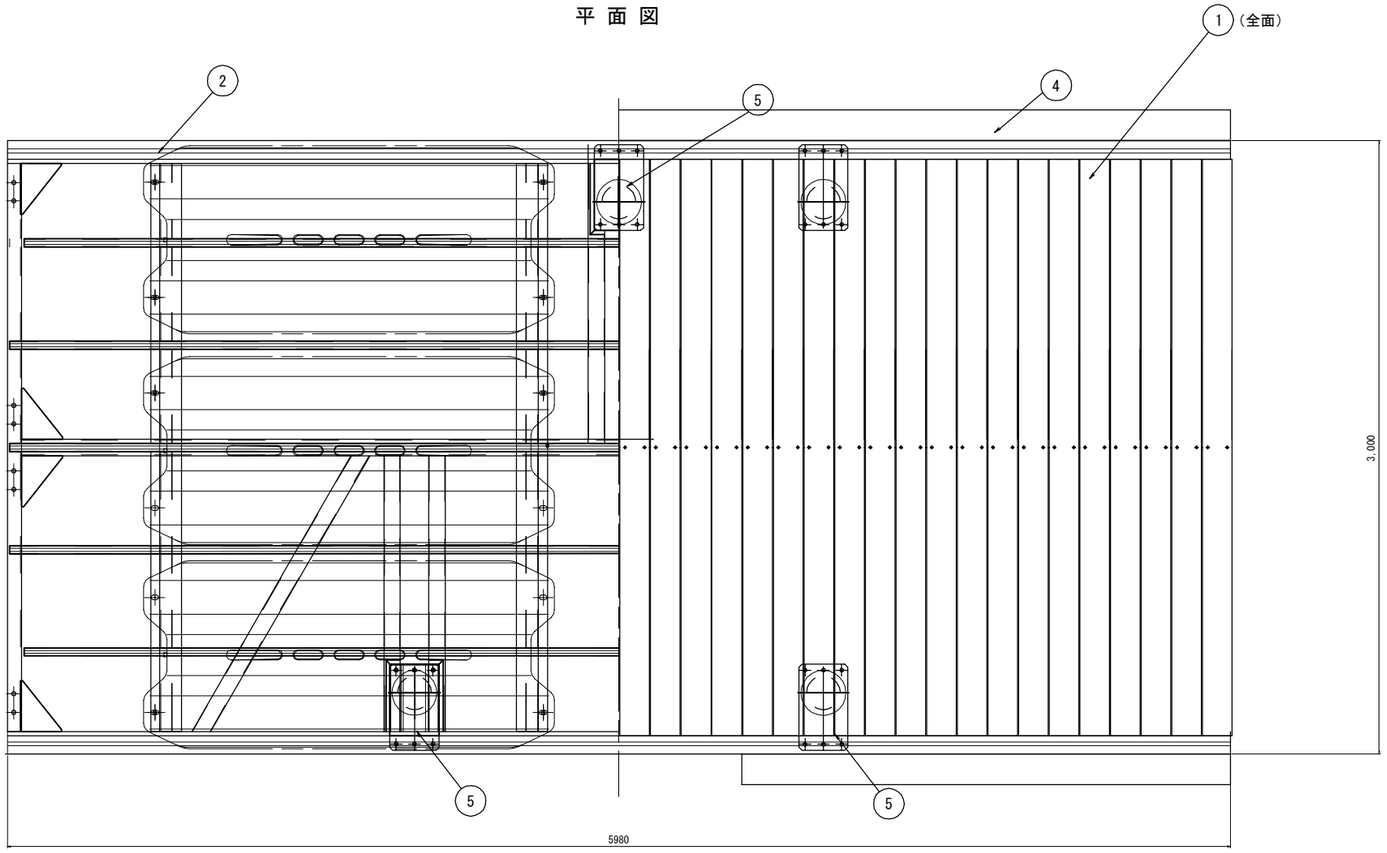


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＳ-01詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	190
下関市ボートレース企業局			

ＭＳ－０２詳細図　　Ｓ＝１：３０

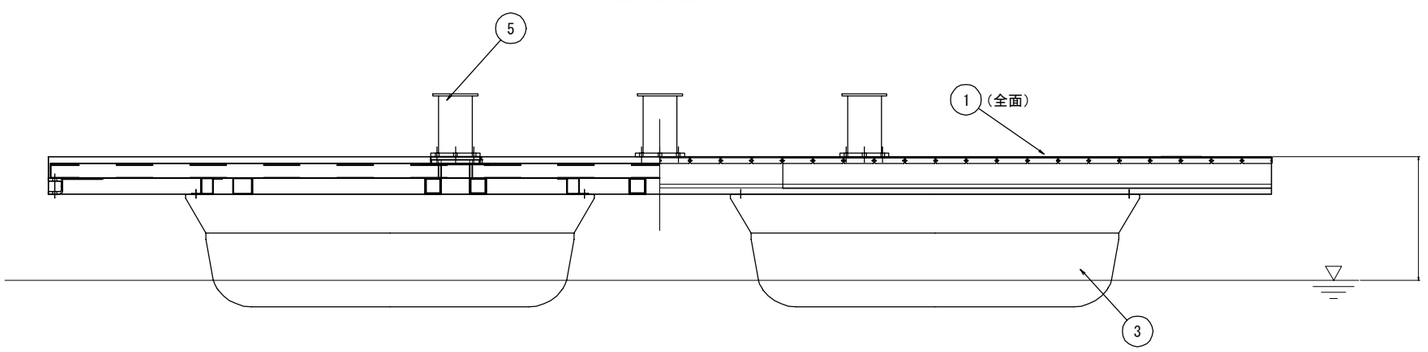
平 面 図



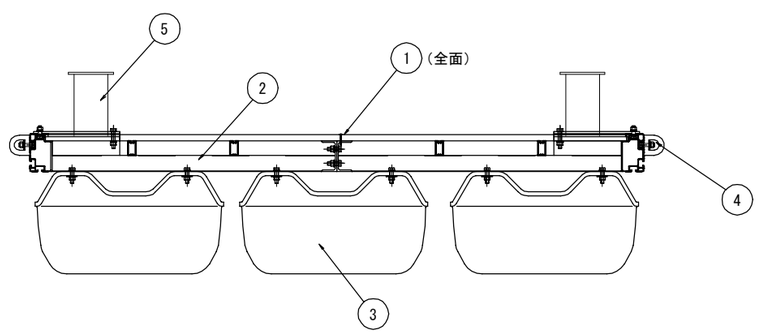
浮桟橋ユニット（MS-02）　材料構成表

No.	部 位	仕　様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約40枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	
③	フロート	高密度ポリエチレン	6個	
④	防舷材	合成ゴム　D型100mm	11m	両サイド
⑤	係船器具	SUS	4個	

正 面 図



断 面 図

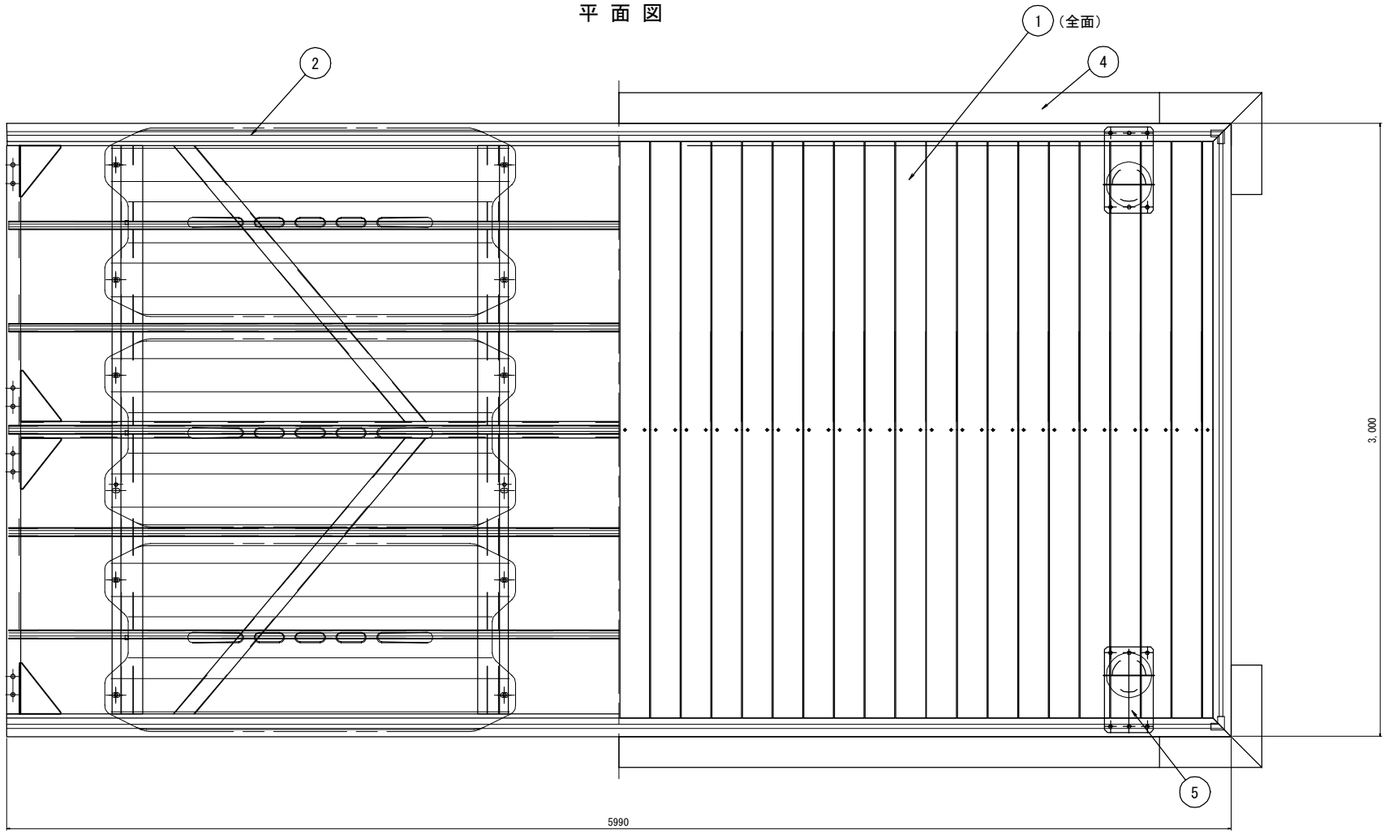


原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＳ-02詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	191
下関市ボートレース企業局			

ＭＳ－０３詳細図　　Ｓ＝１：３０

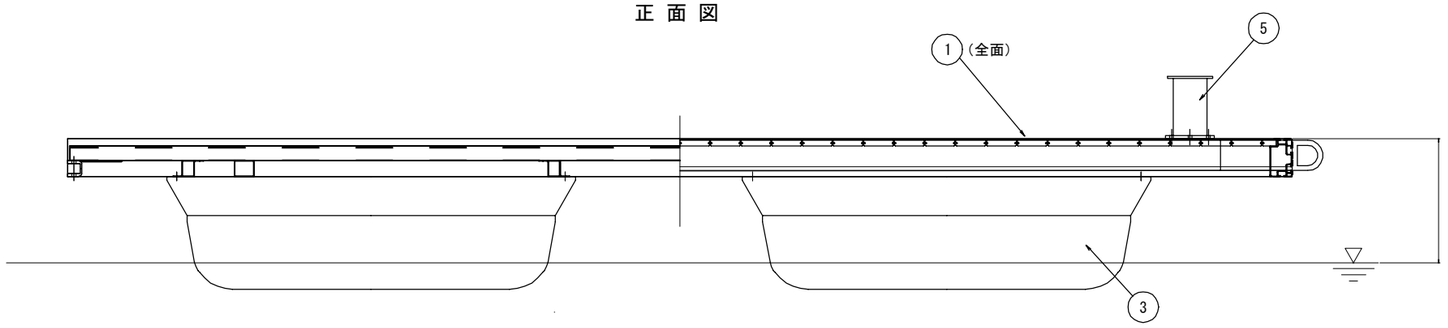
平 面 図



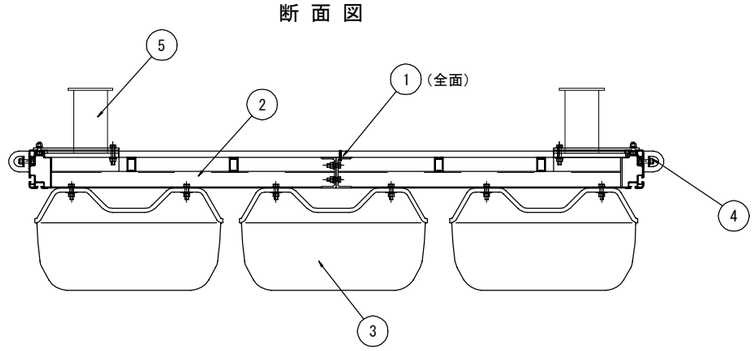
浮桟橋ユニット（MS-03）　材料構成表

No.	部 位	仕 様	数 量	備 考
①	甲 板	合成木材	全面	約40枚
②	フレーム	アルミ合金（A6005）	1基	
③	フロート	高密度ポリエチレン	6個	
④	防舷材	合成ゴム　D型100mm	12m	両サイド
⑤	係船器具	SUS	2個	

正 面 図



断 面 図

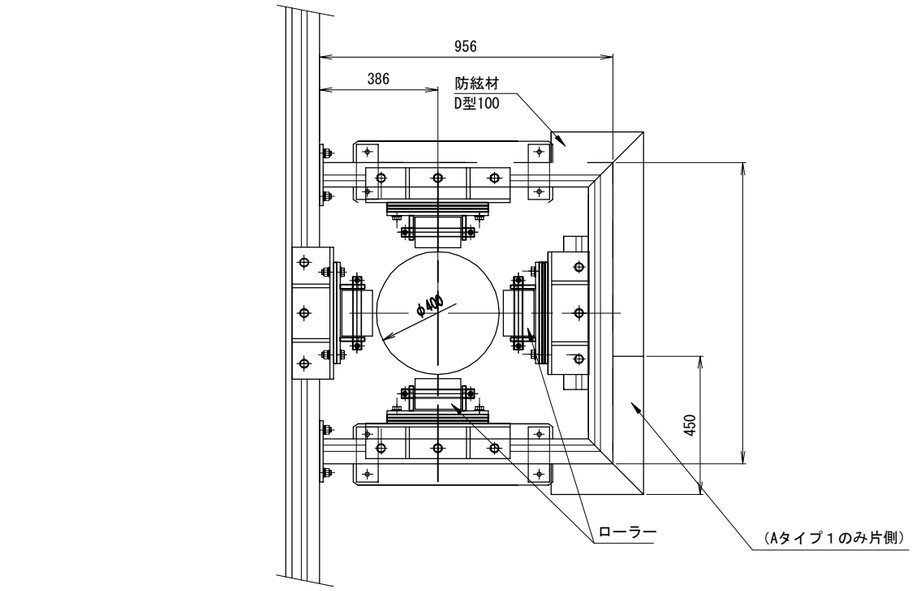


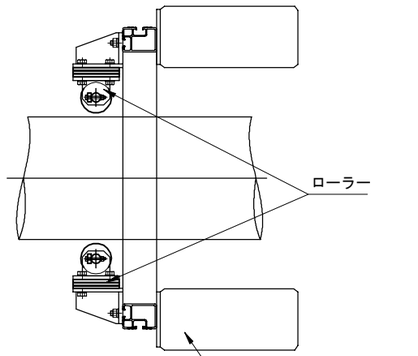
原図:A3、単位：mm

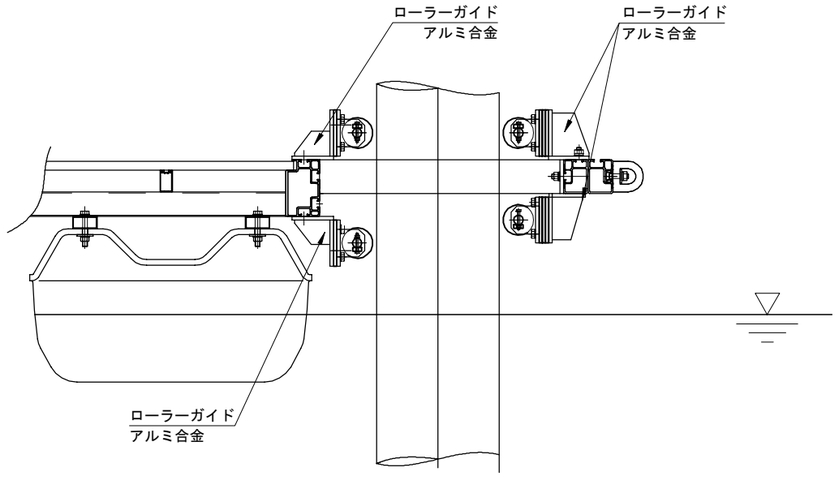
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	ＭＳ-03詳細図		
縮　尺	1/30	図面番号	192
下関市ボートレース企業局			

係留ガイド詳細図（その１）　　Ｓ＝１：２０

タイプA





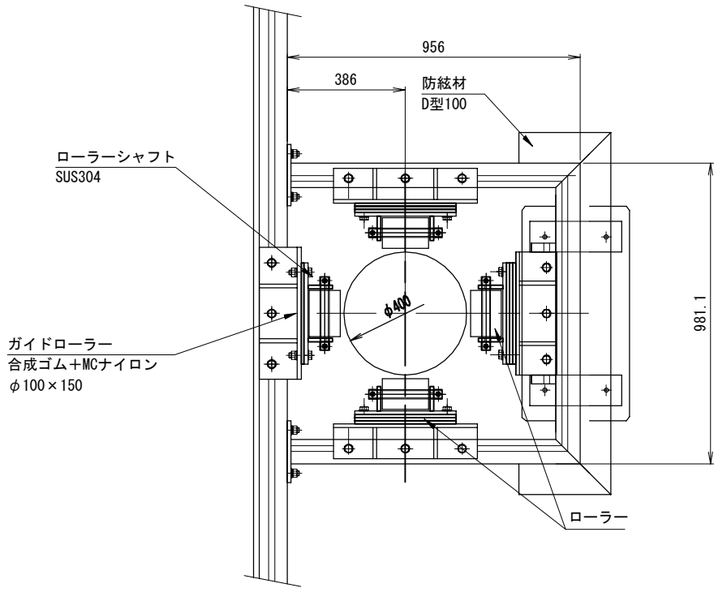


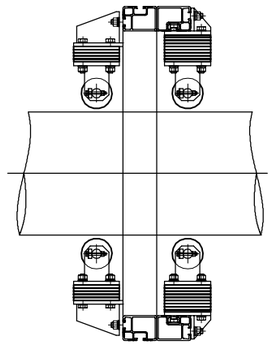
原図:A3、単位：mm

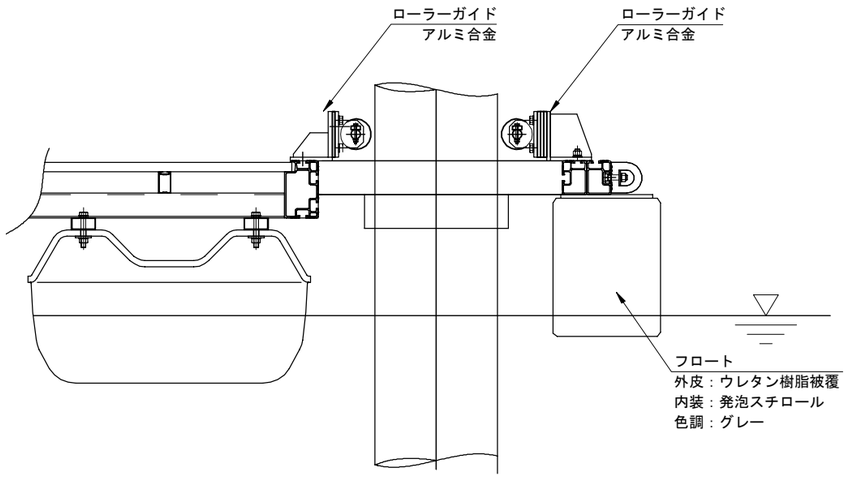
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留ガイド詳細図（その1）		
縮　尺	1/20	図面番号	193
下関市ボートレース企業局			

係留ガイド詳細図（その２）　　Ｓ＝１：２０

タイプB



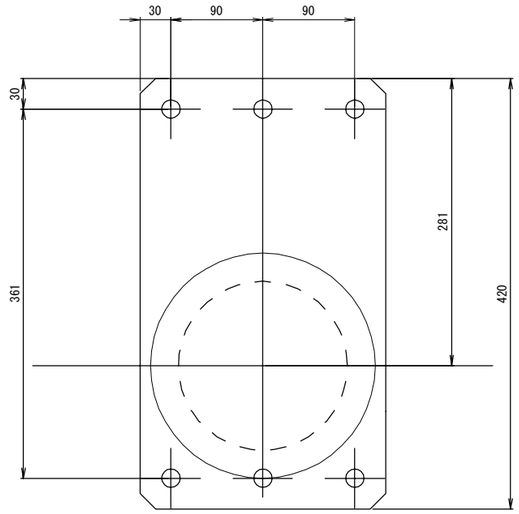


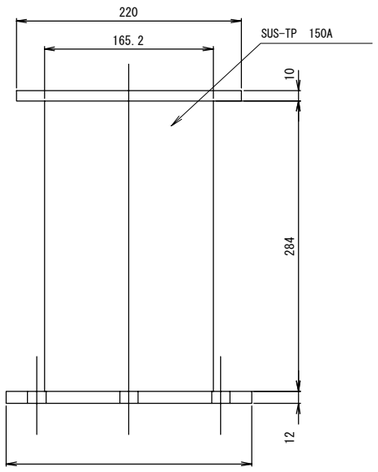


原図:A3，単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係留ガイド詳細図（その2）		
縮　尺	1/20	図面番号	194
下関市ボートレース企業局			

係船柱詳細図　　S＝1：6



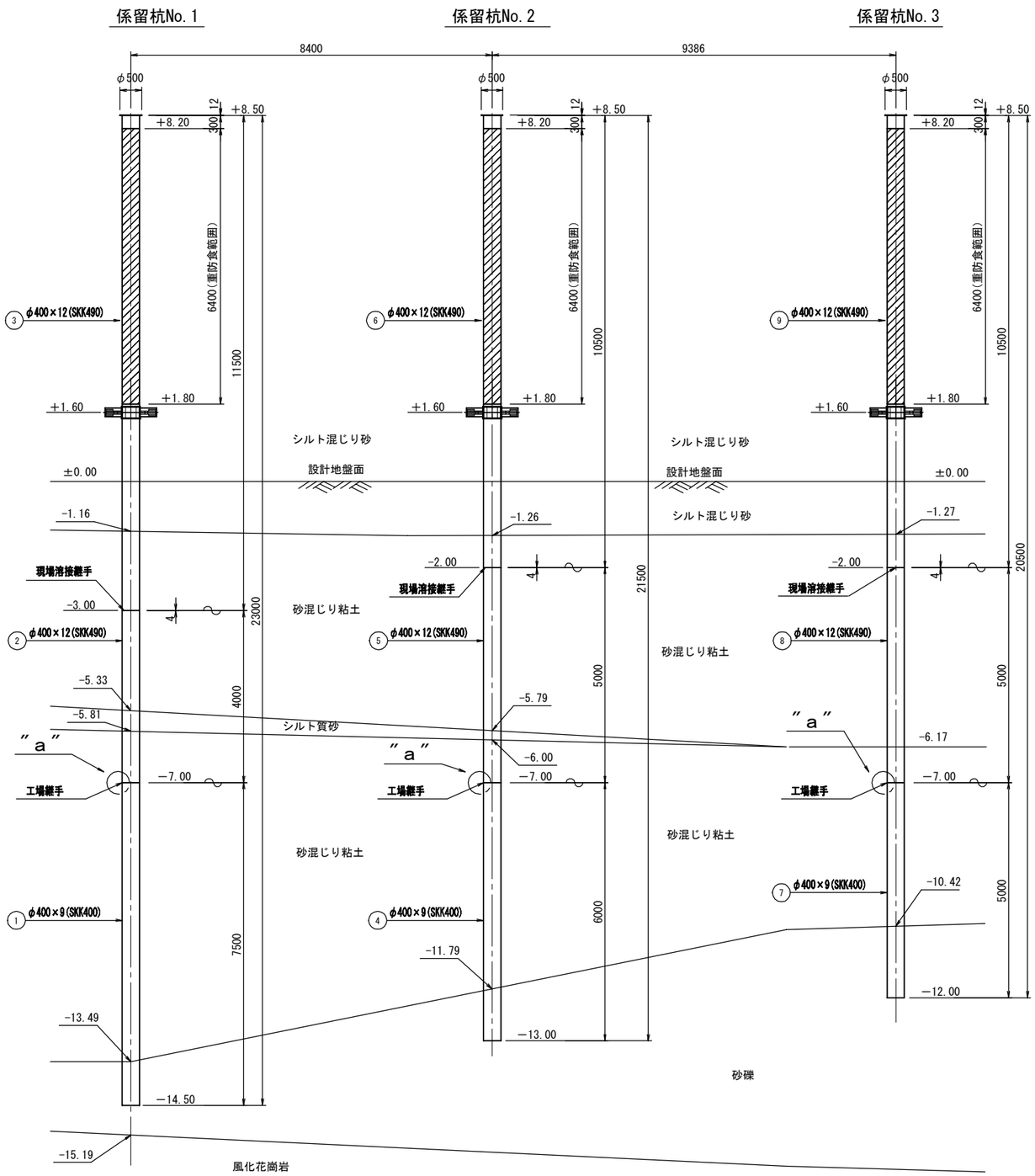


原図:A3、単位：mm

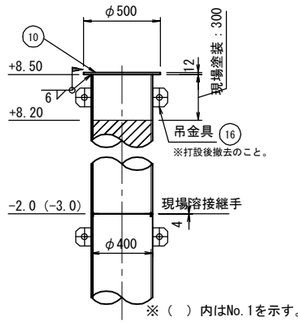
工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	係船柱詳細図		
縮　尺	1/6	図面番号	195
下関市ボートレース企業局			

係留杭詳細図　　S＝1：120

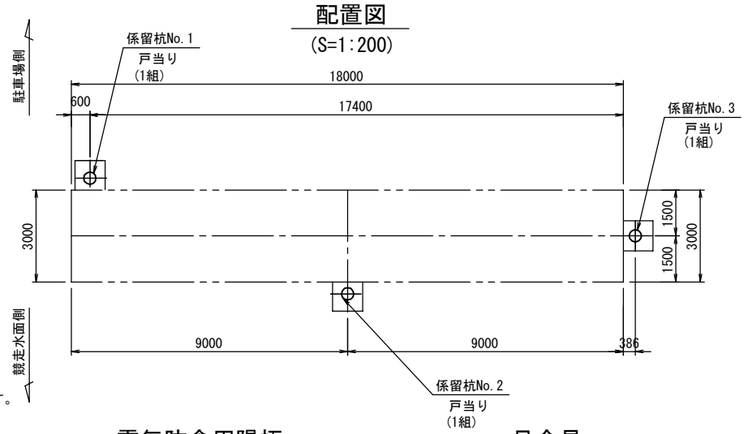
係留杭
(S=1:120)



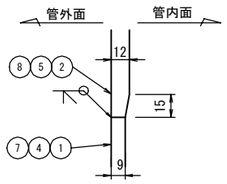
杭頭部詳細図
(S=1:40)



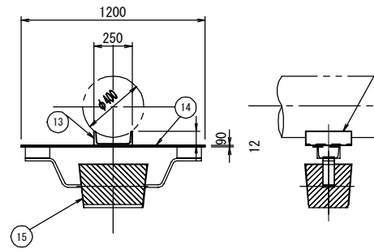
配置図
(S=1:200)



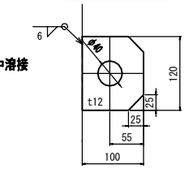
〃a〃部詳細
(S=1:4)



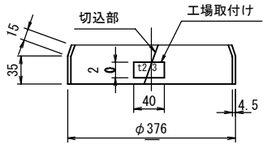
電気防食用陽極

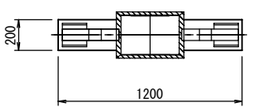


吊金具 (S=1:10)

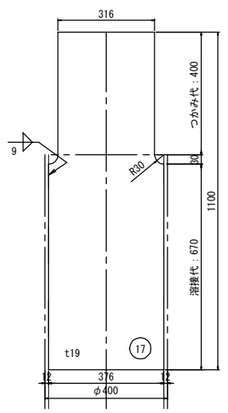


裏当てリングの形状

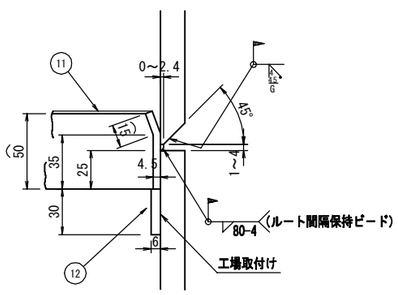




チャッキングプレート



現場溶接継手部詳細
(S=1:4)



番号	規格	個数	材質
	係留杭No.1		
①	鋼管杭 φ400 x 9 x 7500	1	SKK400
②	鋼管杭 φ400 x 12 x 4000	1	SKK490
③	鋼管杭 φ400 x 12 x 11500	1	SKK490
⑩	PL- φ500 x 12	1	SS400
⑪	FB- 50 x 4.5 x 1167	1	SS400
⑫	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑬	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑭	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑮	電気防食用陽極 (耐用年数 50年－1.0A)	1	アルミ合金
⑯	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A
⑰	PL- 376 x 19 x 1100	2	SS400
	係留杭No.2		
④	鋼管杭 φ400 x 9 x 6000	1	SKK400
⑤	鋼管杭 φ400 x 12 x 5000	1	SKK490
⑥	鋼管杭 φ400 x 12 x 10500	1	SKK490
⑩	PL- φ500 x 12	1	SS400
⑪	FB- 50 x 4.5 x 1167	1	SS400
⑫	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑬	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑭	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑮	電気防食用陽極 (耐用年数 50年－1.0A)	1	アルミ合金
⑯	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A
⑰	PL- 376 x 19 x 1100	2	SS400
	係留杭No.3		
⑦	鋼管杭 φ400 x 9 x 5000	1	SKK400
⑧	鋼管杭 φ400 x 12 x 5000	1	SKK490
⑨	鋼管杭 φ400 x 12 x 10500	1	SKK490
⑩	PL- φ500 x 12	1	SS400
⑪	FB- 50 x 4.5 x 1167	1	SS400
⑫	FB- 25 x 6 x 30	4	SS400
⑬	C- 250 x 90 x 9/13 x 300	1	SS400
⑭	FB- 200 x 12 x 1200	1	SS400
⑮	電気防食用陽極 (耐用年数 50年－1.0A)	1	アルミ合金
⑯	PL- 100 x 12 x 120	4	SM490A
⑰	PL- 376 x 19 x 1100	2	SS400

注；数量は係留杭1本を示す。1本ずつ製作のこと。

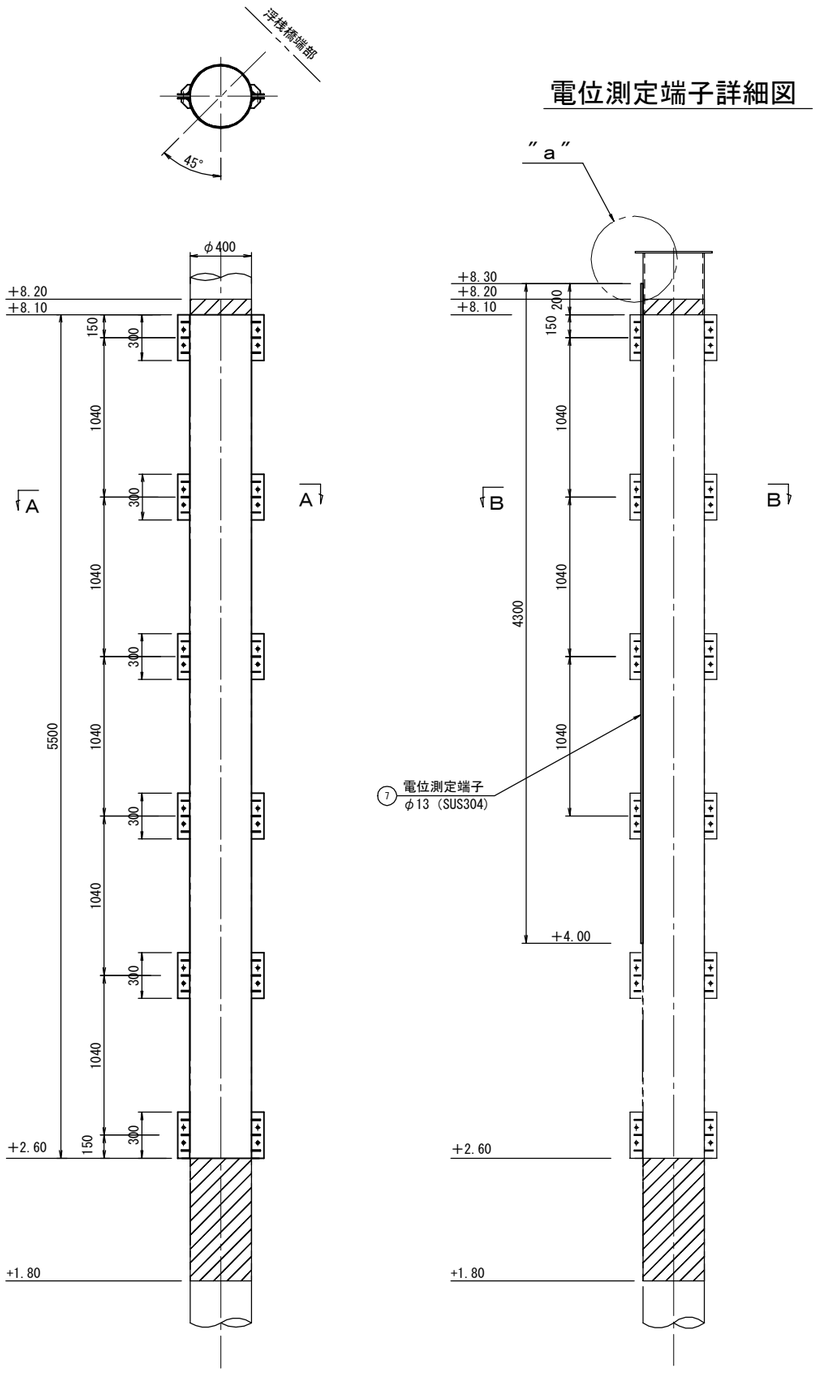
注記
1．杭の打設は中心間隔及び倒れに注意して施工のこと。
2．杭打設後、浮体メーカーと杭芯、傾き計測結果を協議のこと。

原図:A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事
図面名	係留杭詳細図
縮　尺	図示
図面番号	196
下関市ボートレース企業局	

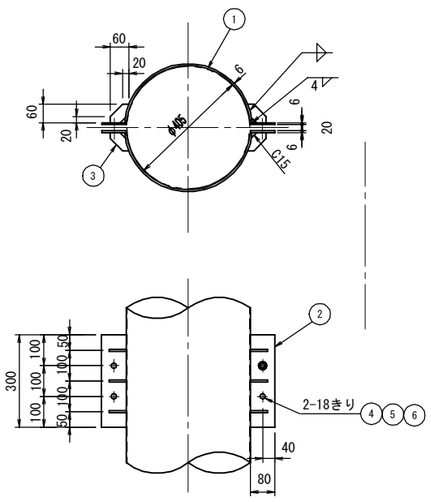
戸当り詳細図　　S＝１：４０

戸当り

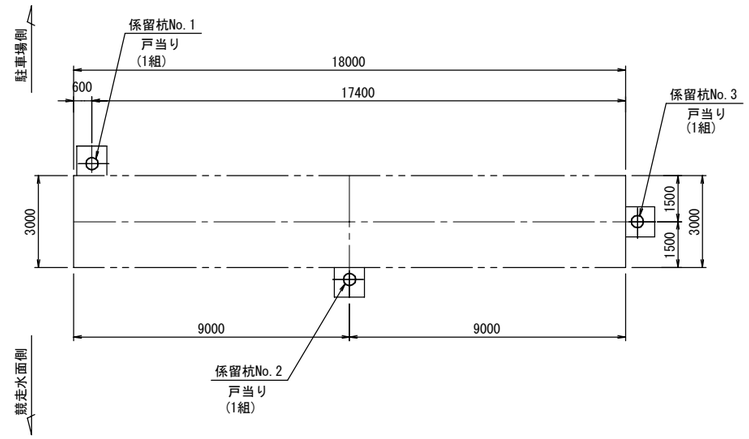


電位測定端子詳細図

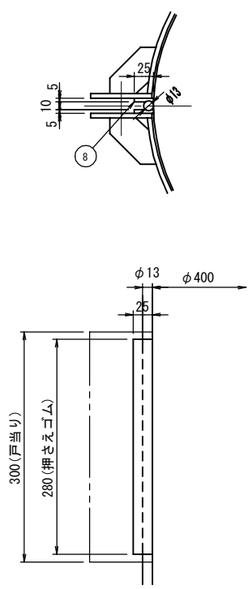
Ａ－Ａ
(S=1:20)



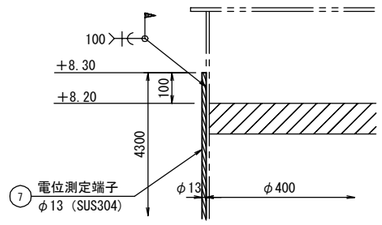
配置図
(S=1:200)



Ｂ－Ｂ
(S=1:8)



”ａ”部詳細
(S=1:20)



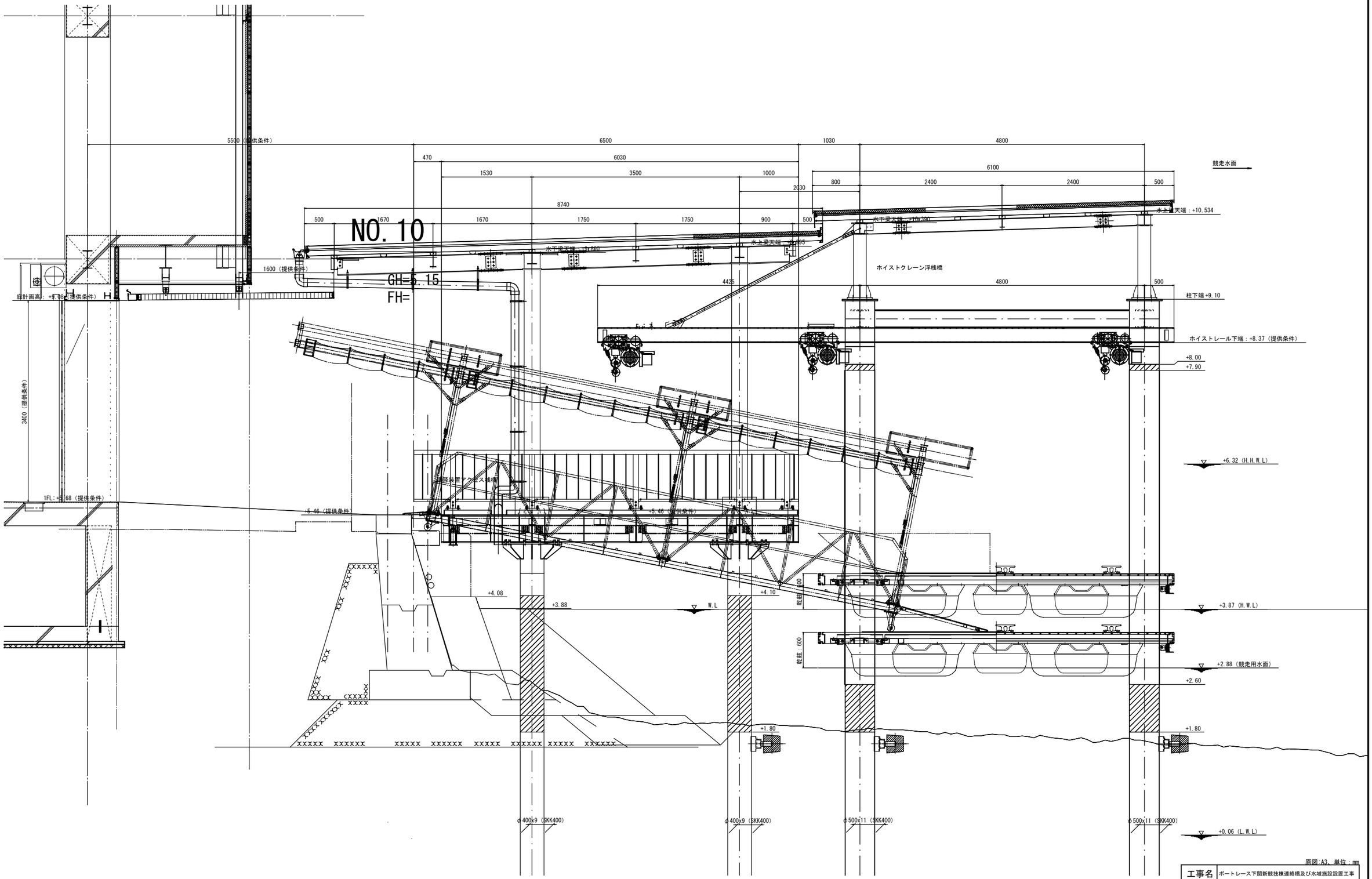
番 号	規　　格	個数	材　質	摘　要
	係留杭No. 1, No. 2, No. 3			
①	PL- 614 x 6 x 5500	2	SUS304	
②	PL- 80 x 6 x 300	24	SUS304	
③	PL- 60 x 6 x 60	72	SUS304	NET 64%
④	六角ボルト M16 x 60	24	SUS304	
⑤	六角ナット M16(1種)	24	SUS304	
⑥	ばね座金　M16	24	SUS304	
⑦	電位測定端子 φ13 x 4300	1	SUS304	
⑧	押さえゴム PL-25 x 5 x 280	8	合成ゴム	

注：1. 数量は係留杭1本を示す。3本製作のこと。
2. 電位測定端子は現場溶接とし、その後現場塗装を施すこと。
3. 電位測定端子取付方向は、係留ローラー取付方向と重複しないこと。
4. 押さえゴムと戸当りは接着すること。

原図:A3、単位：㎜

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	戸当り詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	197
下関市ボートレース企業局			

標準断面図（その１）　　Ｓ＝１：６０



原図：A3、単位：mm

工事名	ボートレース下関新競技棟連絡橋及び水域施設設置工事		
図面名	標準断面図（その1）		
縮　尺	1/60	図面番号	198
下関市ボートレース企業局			